

○森田委員 色々御意見見承りマシタガ、ソコで學生ヲ總動員スルトカ、或ハ青年團其ノ他ノモノヲ利用スルトカ、或ハ或ル縣ニ於テハ縣知事ガ自ラ出動シテ、色々勸誘スルトカノコトヲ色々オヤリニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云ツタヤウナコトハ非常ニ觀念的ナコトデ、無イヨリハ宜イデセウケレドモ、ソノナコトデ木炭ノ増産ヲ圖ラウト致シマシテモ容易デナイ、結局私等ノ考カラ見マスト、適正ナル木炭價格ト云フコトニナラナケレバイケナイ、此ノ適正ト云フノハ、要スルニ他ノ物價ト比較シテ見テ、ソレガ適當ナ價格デナケレバナラヌ、ト云フコトニナラナケレバイケナイ、ハナイカト思フ、生産費ノ構成要素ト云フノハ何々デアアルカト言ヒマス、木炭ニ於テハ第一ニ原木、第二ニ勞賃、第三ニ運費、第四ニ金利、第五ニ利潤、此ノ五ツノ要素ガ集ツテ初メテ適正價格ト云フコトニナル、而モ他ノ平均物價ト平衡ガ取レルト云フ所ニ行カナケレバイケナイと思フ、現在公定價格ニ依ツテ最高ノ價格ハ決メラレテ居リマス、是ハ其ノ通り便宜デアリマセウガ、然ラバ原木ヲドウナサツテオ居デニナルカト云ヘバ、ナサツテ居ナイ、勞賃ノ高クナルノヲ御止メナサツテ居ルノカト云ヘバ、是モナサツナイ、運費ハドウカ、金利ハドウカ、利潤ハドウカ、是等ハ或ル程度マデ統制ガ出來ルデアリマセウガ、一番問題ニナルノハ、原木ト勞賃ト運費、此ノ三ツガ皆統制ガ付イテ居リ、コレニ最小限度ニ於ケル利潤ト云フモノヲ加味シタモノデアリト本當ノ價格ニナラナイと思フ、是ハ原則トシテ恐ラク農林省モ御認メナサ

ルノデハナイカト思フデアリマス、是モラバ宜イカモ知レマセウガ、併シテ生活ヲ賤メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學校ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ノ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラヌト云フ感シヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアケレドモ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭鑿設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々トシテハ、相當增加スルト思ヒマス、六億五千萬圓ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬圓ノ計畫通りニハ參ラスト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更ニ増産ヲスル積リテ居リマスガ、計畫通りニ參リマセウニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給何シテモ追付カナイと思ヒマス、此モ此ノ現狀ノ生産條件、林力、林業ノ状態デハ追付カナイと思ツテ居リマス、非常ニ苦慮シテ居ルデアリマスガ、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセウガ、併シテ生活ヲ賤メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學校ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ノ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラヌト云フ感シヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアケレドモ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭鑿設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々トシテハ、相當增加スルト思ヒマス、六億五千萬圓ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬圓ノ計畫通りニハ參ラスト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更ニ増産ヲスル積リテ居リマスガ、計畫通りニ參リマセウニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給何シテモ追付カナイと思ヒマス、此モ此ノ現狀ノ生産條件、林力、林業ノ状態デハ追付カナイと思ツテ居リマス、非常ニ苦慮シテ居ルデアリマスガ、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセウガ、併シテ生活ヲ賤メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學校ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ノ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラヌト云フ感シヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアケレドモ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭鑿設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々トシテハ、相當增加スルト思ヒマス、六億五千萬圓ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬圓ノ計畫通りニハ參ラスト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更ニ増産ヲスル積リテ居リマスガ、計畫通りニ參リマセウニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給何シテモ追付カナイと思ヒマス、此モ此ノ現狀ノ生産條件、林力、林業ノ状態デハ追付カナイと思ツテ居リマス、非常ニ苦慮シテ居ルデアリマスガ、御話ノ通

五厘、是ガ三戸驛ニ出マシテ、三十二圓デ仕切ラレテ居ル、サウスルト一依當リ一圓二十四錢ニナツテ居ルデアリマス、ソコデ先程申上ゲマシタヤウニ、原木代ヲ引イテ外ノモノハ統制スルコトモ何モ出來ナイノデアリマス、カラコ、デ私ハ問題ニ致シマセウ、ソコデ結局問題ヲ此ノ原木代ニ限ツテ申上ゲマシテ、私ノ質問ノ焦點ト致シタイト思フデアリマス、ソコデ此ノ原木代ゴザイマスガ、是ガ國有林野カラ拂下ガラレタモノデアリマス、一依十二錢平均ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、所ガ民木其他ノ公有木ノ場合ニハドウ云フコトニナルカト申シマス、一依七十錢カラ八十錢見當ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、故ニ非常ニ大キイ差ガアルノデアリマス、サウスルト一體燒賣ガドレ位ニナルカト云フコトヲ調ベテ見マシタ所ガ、官木ノ方ハ一人一日當リガ大體一圓五十錢カラ二圓ニナルサウデアリマス、所ガ民木ノ場合ハドウ云フコトニナルカト云フコト、先程ノ差額ノ關係ガアリマス、ソノ先ツ七八十錢カラ一圓二十錢見當ニシカナラナイデアリマス、私ハ青森縣ニ於テモ參リマシタ、其ノ他一般業者ノ間ニ入りマシテ調査シタ結果ガ斯ウナツテ來タデアリマス、ソコデ山林局長ニ御同致シタイトハ、原木代ト致シマシテ國有林野ノ拂下ノ場合ハ一依十二錢見當ト云フコトニナリ、民木並ニ其ノ他ノ公有木ノ場合ハ一依七十錢カラ八十錢ト云フ見當デアアルコト隨テ燒歩ノ燒賣モ亦前ニ申上ゲタヤウナ差異ガ生ズルト云フコトヲ御認メナサレカドウカ、此ノ點ヲ一ツ御同致シタイト

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセウガ、併シテ生活ヲ賤メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學校ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ノ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラヌト云フ感シヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアケレドモ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭鑿設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々トシテハ、相當增加スルト思ヒマス、六億五千萬圓ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬圓ノ計畫通りニハ參ラスト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更ニ増産ヲスル積リテ居リマスガ、計畫通りニ參リマセウニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給何シテモ追付カナイと思ヒマス、此モ此ノ現狀ノ生産條件、林力、林業ノ状態デハ追付カナイと思ツテ居リマス、非常ニ苦慮シテ居ルデアリマスガ、御話ノ通

方逃ゲルノデアリマス、ノミナラズ、股販
産業ノアル地方、殊ニ東北デハソレガ激シ
イヤウデアリマスガ、安クナクテモ製炭夫
ガ去ツテシマフデアリマス、隨テ從來ノ
ヤウナ經驗者ヲ相手ニ製炭スルト云フ
コトガ出来ルデアリマス、ソコデ一
般ノ農家ニ農閑期ヲ利用シテ製炭スルヤウ
ニ仕向ケルコト、モウ一ツハ山元ニ勞働力
ヲ保有スルコトガ非常ニ必要デアリ、是ハ
炭ノ問題ダケデナク、今木材ヲ非常ニ増産
シテ居リマスガ、其ノ人夫モ段々ト減ツテ
行クデアリマス、ソレデ豫算ガ決ツテ居
リマスカラ、金デハドウモ出来マセヌノ
デ、色々ト出来ル範圍デ指導其ノ他組織方
面ニ努力シテ山元ニ勞力ヲ保有スル、サウ
云フ方面ニ營林局トシテハ非常ニ苦心シテ
居リマス、サウ云フヤウナ關係カラ、或ハ
多少ノ無理ヲシテ居ル所モアラウカト思ヒ
マス、併シソレガ爲ニ却テ木炭ノ増産ヲ減
ズルト云フヤウナコトデアツテハ困リマス
カラ、其ノ點ハ注意シタイト思フテ居リマ
ス

○森田委員 ソコテ私ハ實行組合ノ性格ニ
付テ御参考ニ申上テ見タイト思ヒマス、
成ベク山元ニ勞力ヲ蓄積シテ、サウシテ營
林署ト色々ナ計畫上ノ連絡ヲ付ケタイ、サ
ウ云フコトハ確ニ國有林野經營上必要ナコ
トデアリマス、其ノ關係上多少サウ云ツタ
ヤウナ利益關係ガ結ビ付クコトニナルノデ
アリマセウガ、組合員ニナルニハ住居ノ制
限ガアル、ソレカラ戸主ナケレバ大體入ラ
ナイ譯デアリマス、サウシテソレニ地元
ノ最モ近イ所ヲ拂下ケスルノデス、サウシ
テ一方公定價格ト云フモノハチヤント決ツ
テ居ル、斯ウ云フコトニナリマス、此ノ

實行組合員ト云フモノハ大抵農家デアリマ
スカラ、農閑期デナケレバ炭ヲ焼カナイト
云ツタヤウナコトニナルデアリマス、年
中通シテ炭ヲ焼クト云フコトニハナラナイ
デアリマス、サウナリマスカラ、結局炭
ノ生産力ト云フモノガ、政府ノ望ムヤウナ
形デ出来ナイト云フ結果ニナル譯ナノデ
ス、然ラバ他ノ舊來ノ一般木炭業者ト云フ
モノハドウカ、ソレハ果シテ勞力ヲ自ラノ
手許ニ集メルダケノ力ガアルノカト云フ
ト、是ハ過去カラノ傳統、テ相當關係ガ
結ビ付イテ、サウシテ焼キト云フモノハ其
ノ土地ニ定住シテ居ル者デナク、他ノ方面
ニナル資格ノナイ者デ移動シテ歩イテ炭焼
ヲ年百年中ヤルコトノ出来ル者、燒キヲ專
門ニスル者等カ舊來ノ所謂業者ト連絡關係
ガ出来テ來テ居ル譯デアリマス、是ト雖ヒ
マス、先ニ述ベタ組合ハ範圍ノ狭イ次第デ
アリマス、デアリマスカラ業者ノ方デハ何
處カラデモ次男、三男ノ者ヲ集メラレル、舊
來金ヲ貸シテアルトカ、物資ヲ提供スルト
カ色々ノ人的關係、物的關係ニ依ツテ結
レターツノ利益團體ト云ツタヤウナ形ノ連
關關係ガソコニ付イテ來テ居リマスカラ、
是亦侮ルベカラザル一ツノ力ヲ持ツテ居ル
譯デス、而モ年百年中燒イテ居ル、又一方
木炭ガ生産力アリマスカラ、一生懸命スル、
ソコデ生産力全體ノ立場カラ見マス、實
行組合ガ持ツテ居ル製炭能力ト、業者ノ持
ツテ居ル製炭能力ハ相匹敵スルモノガアル、
斯ウ云フノガ東北地方、少クモ岩手縣、
青森縣ニ於ケル實情ナノデス、所ガ此ノ狀
態ニ拘ハラズ營林局デハ一方的ニ「イデオ
ロギー」ヲ強制シテ、サウシテ此ノ時局ニ

便乗シテ、組合ニダケ原木ノ拂下ヲスルガ、
一般業者ニ對シテハ昭和十三年度カラ絕對
拂下ゲナイ、斯ウ云フコトニナツテキルノ
デアリマス、平時ノ場合之ヲヤルト云フコ
トナラバ、或ル程度マデ「イデオロギー」
ノ實行モ許サルベキデアルガ、今日斯ノ如
ク逼迫セル全國的ナ木炭不足ノ際ニ、一方
的「イデオロギー」ヲ時局ニ便乗シテ之ヲ強
制スルコトニ依ツテ舊來ノ業者ガ製炭能力
アルニ拘ラズ原木ヲコチラノ方ハ拂下ゲナ
イナド云フ様ナコトヲスルノハ觀念ニ閉籠ツ
テ日本ノ國ノ現實ヲ忘レテ考ヘ方デ是コソ
本當ノ官更獨善ノ考方デハナイカト私ハ考
ヘル、之ヲモウ少シ大キイ考ヘ方カラ、此
ノ製炭能力アル者ニモナゼ公平ニ原木ヲ拂
下ゲナイノデアルカ、茲ニ私ハ大キイ疑
點ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ營林
省ノ御當局ハ斯ノ如キ實情ニ付テ果シテ
ウ云フヤウナ御考ヲ御持ニナツテオ居デ
ナルノデアルカ、此ノ點ヲ御同致シタイト
思ヒマス

○田中政府委員 吾々ト致シマシテハ、サ
ウ云フ能力ノアル場合ニ於テハ出來ルダケ
利用シタイ——利用ト云フト語弊ガアリマ
スガ、ヤツテ實ヒタイト考ヘテ居リマス、
隨ヒマシテ唯便利ナ山ガト云フノデ皆押寄
セラレルト、ソコハドウシテモヤハリ地元
ノ人ニ優先サセザルヲ得ナイ、斯ウ思フノ
デアリマス、ゲカラサウナイ場所デア
リマスレバ、吾々トシテハ寧ロ歡迎シテ色
々ナ便宜ヲ圖リタイ、現ニ實ハ吾々ノ考ト
シテハ、農村ト同ジヤウニ、勞力移動ニ付
テモ指導或ハ出來得ルナラバ、助成モト、
斯ウ考ヘテ居リマスガ、ソレガ具體化シテ
居リマセウケレドモ、サウ云フ考ヲ持ツテ

タナイヤウナ企業家ノ方ガアツテ、營林署
ニ燒キノ世話ヲシテ呉レト云フ申込ノ所モ
アルノデアリマス、兩方言ヒ分ガアラウカ
ト思ヒマスカラ、具體的ノ問題ニ付キマシ
テハ注意ヲシタイト考ヘマス

○森田委員 尙ホモウ少シ御参考マデニ申
上テ置キタイ點ガアルノデアリマス、ソ
レハヤハリ或ル營林署ニ於テハ極端ニ此ノ
「イデオロギー」ヲ強行シテ居ル、サウシテ
組合ハオ上カラ拂下ゲタ山以外ニヤハリ民
木ヲ買フカ、或ハ自ら持ツテ居ル木ヲ燒イ
テ居ル場合モアル、其ノ場合其ノ組合デハ
所謂業者ノ方面ヘ其ノ炭ヲ賣ル場合ガアル、
所ガソレモ絕對ニ阻止スル、是ハ組合一本
建デヤラナケレバナラナイモノダトスル、
サウシテ商人ノ倉庫ガアルノデ、其ノ倉庫
ヘ炭ヲ納メラレレバ困ルト云フノデ、熊
營林局ノ人ガ其ノ倉庫ノ所ニ行ツテ番ニ立
ツテ居ル、サウシテ若シ其ノ組合ノ炭ガ業
者ノ倉庫ヘ持ツテ來ルト云フコトニナリマ
スト、一ツノ罰トデモ云フカ、一ツノ制裁
ト云フヤウナコトヲヤツテ、其組合ニハモ
ウ官木ハ拂下ゲナイ、斯ウ云ツタコトマデ
ヤツテ一般製炭業者ノ製炭能力ヲ阻止スル
措置ヲ執ツテ居ル所ガアルサウデアリマス、
是ハ具體的ニ其ノ例ヲ舉ゲロト云フコトデ
アレバ舉ゲ得マスケレドモ、人ノ一身ノ問
題デアリマスカラ私ハ是レ以上指摘致シマ
セウガ、ソコマデ此ノ「イデオロギー」ノ強
制ト云フモノガ徹底シテ居ルノデアリマス、
是ハ非常ニ大キナ問題ダト思ヒマスカラ、
ドウカ此ノ點ニ付テハ十分一ツ御考慮ヲ御
願致シタイト思フデアリマス

今マデノコトハ生産方面ニ付テ申上テタ
ノデアリマスガ、今度ハ配給方法ニ付テモ
ウ一點御同致シタイト思フデアリマス、
ソレハヤハリ此ノ「イデオロギー」ノ強制カ
ラ來ルノデアリマセウカ、組合系統一本建
デ一元化シヨウ、斯ウ云フコトガ東北地方
ノ縣ニ於テ行ハレテ居ルヤウデアリマス、
今青森縣ニ於テ是マデ組合ト所謂業者側ト
デ取扱ツタ毎年ノ取扱數量ヲ調べテ見マシ
マスガ、組合ニ於テ生産致シタモノガ百八
十二万一千五百七十一依斯ウ云フコトニナ
ル譯居ルヤウデアリマス、ソレガドンナ手
ヲ通シテドウ云フ風ニ配給サレタカト言ヒ
マス、産業組合ヲ通シテ販賣セラレタモノ
ノガ五十七万五千五百九十七依、次ハ實行
組合ノ共同販賣、即チ實行組合ガ其ノ己レ
ノ所屬シテ居ル上級ノ組合ヲ通ズルコトナ
ク、其ノ單位組合其ノモノガ直チニ今マデ
ノ業者ニ賣ル量デアリマス、ソレハ百十
七万九千六百五十四依、斯ウ云フコトニナ
ル譯居ルノデアリマス、ソレカラ實行組合
ソレ自體ガ各自ノ自由販賣ニ致シテ居ルモ
ノガ十一万四千九百七十九依、斯ウナツテ
居リマス、此ノ計ガ百八十七万二千二百七
依トナツテ居リマス、是ハ幾ラカ其ノ年ノ
生産額ヨリ多クナツテ居リマスケレドモ、
其ノ年度以前ノ持越ガ若干アリマシタ爲ニ
多クナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ
配給機關ノ商人ノ手ヲ經由シタモノト組合
自體ノ系統ヲ經タモノトヲ「パーセンテー
ジ」デ現ハシテ見マスルト、商人ノ手ヲ經
テ行ツタモノガ八四、組合系統ヲ經タモノ
ハ僅ニ一六、多クト云フノガ青森縣ノ實情デア
リマス、所ガ之ヲ其ノ後ドウ云フ風ニナサ
ツテ居ルカト言フト、是亦組合一本建デ行
カウト云フノデ、單位組合ガ舊來ノ業者ヘ

實ルコトヲ絕對ニ禁ジテシマツテ居ルノデ
ス、若シ單位組合カラ商人ノ手ヲ經テヤ
ウトスルト、將來其ノ組合ニハ原木ノ拂下
ヲシナイソト云フノガ一ツノ強壓手段トシ
テ利用サレテ居ルサウデアリマス、然ルニ
青森縣廳ノ建前ハドウナツテ居ルカト云ヒ
マス、是ハ商人ト組合トノ二本建ヲ許可
シテ居ルノデアリマス、縣ノ方針トシテニ
本建ヲ許可シテ居ルニ拘ラズ、營林局ハ先
程申上ゲマシタ「イデオロギー」一本ニ立籠
ル、斯ウ云フコトニナツテ縣ノ方針ト營林
局ノ方針ト云フモノガ甚ニ大キナ食違ヒヲ
生ジテ來テ居ルト云フノガ青森縣ノ實情ナ
ノデアリマス、果シテ斯ノ如キコトニ依ツ
テ色々ノ配給關係ニ摩擦ヲ生ズルト云フノ
ガ營林省ノ御方針ナノデアルカ、青森縣デ
執ツテ居リマスルヤウニ商人ト組合トノ二本
建デ行ツテ、此ノ際相剋摩擦ノナイヤウニ
行カウト云フノガ營林省ノ御方針ナノデア
リマス、此ノ點ニ付テ一ツ御同致シタイ
ノデアリマス

○田中政府委員 此ノ配給機構ト關取引ノ
問題ガ現在ノ公定價格ノ或ル品物ニ付テノ
大キナ問題デアルト思ヒマス、隨ヒマシテ
此ノ配給機構ニ付テ或ル程度ノ整備ヲスル
ト云フコトガ必要デアルコトハ申スマデモ
ナイト思ヒマス、併シ急激ナル變化ヲ與ヘ
ルコトニ付テハ、吾々トシテハ賛成シテ居
ナイノデアリマス、殊ニ木炭ニ關スル限リ
ニ於キマシテハ、實ハ少クモ本年度木炭ニ
付テハ、餘リ配給機構ニ付テヤラレルト云
フト木炭ノ流レヲ阻止スル結果ニナル、ソ
レ少クモ東京市ノ如キニ於キマシテハ成
ベク自由ニ木炭ガ入ルヤウニシテ置イテ賣
ヒタイト云フコトヲ申シテ居ルヤウナ譯デ

ハ非常ニ大キイ問題ト思ヒマス。今日此處ヲ局長サシカラ色々ノ方面カラ私等ノ考ト同ジヤウナ答辯ヲ得タノデアリマス。ルカラ、單ナル議會デフ答辯ト云フコトデナク、ドウカ此ノ趣旨ヲ下級官廳ニ徹底セシメテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ御願申上ガマシテ私ノ質問ヲ打切ル次第デゴザイマス。

○庄司委員長代理 一寸御一同ニ御語り申シマスガ、内務省ノ地方局長ガ見エテ居ルノデアリマスガ、貴族院ノ豫算總會其ノ他ノ關係上午後ハ到底來レナイヤウナ關係ニアルヤウデゴザイマシテ、私ノ地方局長ニ對スル質問ハ三分位ノ質問デゴザイマスガ、御諒解ヲ得マシテ一寸地方局長ニ質問ヲサセテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ間森田サシニ委員長ヲ代ツテ戴キマス。

○庄司委員 東北地方ノ國稅並ニ地方稅ノ稅制上ニ關スル質問ヲ内務省ノ當局ニ御伺フ申上ゲマス、雪國地方ノ稅制上ノ負擔輕減問題ニ關シマシテハ、過般東北六縣市町村長、系統農會長、產業組合長其ノ他公職ニ在ル者三千六百八十二名ノ請願ガ、本廳會ノ請願委員會ニ於テ滿場一致採擇ニナツテ居ルノデアリマス、所デ私ノ内務省ニ御伺申上ゲタイノハ、東北六縣ハ御承知ノ如ク氣候寒冷ノ爲ニ冷害頻發、或ハ海岸地方ニ於キマシテハ、高潮害、或ハ桑畑ニ於テハ霜害其ノ他各種ノ災害ガ頻々トシテ起リ、爲ニ東北地方ノ産業經濟ト云フモノハ非常ニ衰ヘテ居ルコトハ内務當局ニ於テモ既ニ御承知ノコトデアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ國稅デアル所ノ地租ノ問題ニ付テハ、

今ヨリ約二十五年前ニ秋田縣ノ故代藩士齋藤宇一郎サシ、又只今此處ニ居ラレル現東北振興同盟會長龍谷翁ノ如キ方ガ率先サレテ、東北六縣雪國地方ニ於ケル稅ノ負擔ノ輕減運動、一毛作、三毛作、或ハ高知縣ノヤウニ五毛作以上モ收獲アル地方ト、氣候寒冷ノ爲ニ絕對ニ一毛作以上ノ收獲ヲナイ東北地方ト、同率ナル所ノ地租、例ヘバ其ノ當時ニ於キマシテハ實價價格ノ百分ノ三ニ六ト云ツタヤウナ稅ノ賦課率デハ、東北ノ擔稅者ハ助カラス、斯ウ云フ意味ノ運動ガ長イ間繼續サレマシタ、最近ニ於テハ雪國協會ト云フモノヲ作リマシテ、現拓務省政務次官松岡代議士ナドハ、コト數年背中ニ觀望ノ像ヲ背負ハレテ、此ノ地租ノ特別ナル東北ニ關スル限リ輕減ノ運動ヲ繼續サレマシタコトハ、内務省モ御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマス、東北地方ノ擔稅力或ハ生産力ハドウナツテ居ルカト云ヒマスナラバ極力簡單ニ申シマス、昭和十年ノ大日本帝國統計年鑑ニ依リマス、東北六縣民一人當リ平均ノ生産額ハ全國一三府四三縣ノ最末等デアリマス、具體的ニ申シマス、北海道一人當リノ生産額ハ百八十四圓デアリマス、青森縣一人當リノ生産額ハ百圓ト云フ一人當リノ收入ハ四十五圓トデアリマス、岩手縣ノ百四十四圓一人當リノ生産額ハ全國ノ第三十六番目、宮城縣ノ百二圓ト云フハ、是ハ全國ノ四十四番目、山形縣ノ百三十三圓ト云フハ全國ノ四十三番目、秋田縣ノ百四十四圓ト云フハ全國ノ三十七番目デアリマス、福島縣

ノ百七圓ト云フハ全國ノ四十二番目デアリマス、斯ノ如ク全國一三府四三縣ノ最末等ト云フノ方東北六縣ノ生産力デアリマス、然ルニ一方大阪府ハ一人當リ四百九十二圓、愛知縣ハ四百二十九圓、兵庫縣ハ四百十圓、神奈川縣ハ四百三圓ト云フハ、斯ノ如キ驚クベキ差額、三倍、四倍ノ差額ガアル、他府縣ト東北六縣ニ關スル限リノ生産力ノ比較檢討ニ於テ斯様ナ關係ニ相成ツテ居リマス、是等ハ孰レモ冷害ニ依リ、凶作ニ依リ、高潮害ニ依リ、霜害ニ依リ、其ノ他ノ災害ヲ爲ニ生産力ガ斯ノ如ク衰ヘテ居ルノデアリマス、日本勸業銀行調査報ト云フ雜誌ノ昭和元年ヨリ昭和七年マデノ土地實價價格東北六縣平均ハ田畑一反歩ニ付テ二百七十八圓デアリマス、北海道沖繩縣ノ二箇所ヲ除イタ以外ノ他ノ三十九府縣ノ平均ハ四百十八圓デアリマス、斯ノ如ク土地實價價格ニ於テ差額ガゴザイマス、又一方農林省ノ公ナル統計ノ發表ニ依リマス、昭和元年カラ昭和五年マデ東北六縣一反歩當リ耕地收穫高ハ四十三圓五十錢、是ハ田畑平均致シマシテ一反歩當リ四十三圓五十錢デアアル、然ルニ北海道一反歩當リ收穫高ハ六十三圓四十錢、實ニ二十圓ト云フ差額デゴザイマス、斯ノ如ク東北六縣ト他ノ府縣ト比較ベマシタ場合ニ於テ、生産力ノ點ニ於テモ田畑ノ實價價格ノ點ニ於テモ、彼ハ三ノ力ガアリ東北ハ二ノ力シカナイ、三對二デアリマス、田畑ノ實價價格ノ點ニ於テモ、生産力ノ點ニ於テモ三對二デアアル、斯ノ如ク東北ト云フモノハ、産業ニ於テ、經濟ニ於テ、生産高ニ於テ貧弱ナル所ノ經濟力ヲ示シテ居ル、

生産力ヲ示シテ居ル、斯様ナ狀態デアリマスガ故ニ、今申上ゲルヤウナ地租輕減運動ト云フヤウナ運動ガ起リマシテ、一毛作、或ハ五毛作、十毛作、高知縣ノヤウナ米ガ二度モ出來ルヤウナ所ト同ジ百分ノ二・八ト云フ、地租ニ於テハ左様ナ課率ヲサレテ居ル、東北六縣ハ左様ナ非常ナル所ノ生活難生活苦ノ上ニ出發シタル所ノ地租輕減ノ運動デゴザイマス、幸ナルカナ雪國地方ニ關スル救済並ニ稅制上ノ負擔ノ輕減問題ニ關シマシテ、衆議院ニ於テ決議案トシテ現ハレマシテ、全國ノ同情ガ猛烈トシテ起リマシタ、昭和十二年度ノ地租實價價格ノ改定ノ場合ニ於キマシテハ、全國ノ平均ハ地租ニ於テ二割輕減サレマシタガ、東北六縣ハ特ニ左様ナ理由ノ下ニ實價價格ノ査定ノ場合ニ於テ四割二分ノ輕減ニナリマシタ、即チ關西、關東、四國九州方面ノ地租ノ課率方二割ヲ輕減サレマシタ場合ニ於テ、東北ハソレ等ト比較シテ二割二分ガケラ安タシテ戴イタノデアリマス、是ハ非常ニ東北ノ爲ニハ有難イコトデアリ、感謝スル所デアリマス、擔稅力ガナイ所ハ少額ヲ取ルト云フコトハ、蓋シ此ノ所得稅ノ體系トスル所、或ハ實價價格ヲ基本トスル所ノ稅制上ノ課率賦課ニ對シテハ、當然ノ權利デアアル、然ルニ今回御承知ノ通り稅制上ニ大ナル變化ガ行ハレトシテ居リマス、國稅體系ニ於テモ、地方稅體系ニ於キマシテモ、大ナル今回改革ガ行ハレル此ノ際ニ於テ、ヤハリ昭和十二年地租改定當時ノ實價價格ノ改定ノ場合ニ於テ大藏省及内務省ガ東北六縣ニ對シテ特ニ四割二分減ト云フ御理解ヲ示シテ下サイマシタアノ心ヲ以テヤウツ戴キ

タイ、今回ノ稅制改革ニ於キマシテモ、特ニ東北六縣ノ地租或ハ家屋稅、又各種ノ稅制ノ種目ヲ通ジテ實價價格ノ評價ト云フ場合、課率ノ改正ト云フヤウナ場合ニ於テ、昭和十二年度ノ東北ニ對スル溫カイ御理解ト大ナル英斷ヲ御忘レナク、今回ノ稅制ノ改革ニ直面致シマシテ、而シテ東北六縣ノ擔稅力ノ少イ方面ヨリハ、擔稅力ノ旺盛ナル方面ト較ベテ實價價格ニ著シイ所ノ差等ヲ設ケルヤウニ價格ノ差等ニ付テ御同情ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ見地カラ過般ノ建議委員會ニ於テモ滿場一致採擇ニナツテ居ルノデアリマスガ、東北地方ト云フ特異性ヲ有シテ居ル、生産力ノ少イ、擔稅力ノ少イ、災害交々至ル疲弊困難ノ東北六縣ニ對シテ、當局ハ稅制上ニ於テ如何ナル御信念ト御理解ヲ御持チデアアルカ、昭和十二年ノ地租改革ノ際御示シ下サイマシタヤウナ御理解ヲ今回ノ稅制改革ノ際ニ於テモ御示シ下サルコトガ出來得ルカドウカト云フコトヲ、内務當局ニ御伺申上ゲルノガ私ノ内務省關係ニ對スル全部ノ質問デアリマスガ、ドウカ胸襟ヲ開イテ本當ニ寛イデ東北ニ對スル所ノ稅制上ヨリ見タル御理解アル所ノ御信念ヲ御計畫ヤラフ御志シタイノデアリマス。

○狹間政府委員 御尋ニナリマシタ東北地方ニ於ケル稅負擔ノ問題ニ付キマシテハ、當局ト致シマシテモ、東北地方ニ於ケル産業經濟ノ狀態、或ハ一般ノ生活狀態カラ考ヘマシテ、出來ルダケ其ノ振興ヲ各方面カラ企圖シナケレバナラヌト云フコトヲ年來考慮致シテ居ルノデアリマス、御存ジノ通り施設ノ方面ニ於キマシテハ、東北振興調査會等ヲ設置致シマシテ、其ノ中ニ基キソレノ部門ニ於キマシテ振興計畫ヲ實

行シテ居ルノデアリマス、内務當局ト致シマシテ、地方稅制ノ上ニ付テ東北ノ如何様ニ考ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、東北振興ノ問題ト相關聯致シマシテ、深甚ナル注意ヲ拂ツテ考究ヲ致シテ居ルノデアリマス、御述ベニナリマシタ稅負擔ノ實際ノ生産力ヨリモ高イト云フコトニ付キマシテハ、現行ノ稅制ノ運用ト將來ノ一回企圖致シテ居リマス、地方稅制改正ノ内容ト分ケテ申上ゲマシテ、十分ノ御理解ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、現行制度ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタ通り、貨價價格ノ調査ニ付キマシテ、政府トシテ十分ノ考慮ヲ東北地方ノ土地實價價格ニ付テ盡シテ居ルノデアリマスガ、其ノ外收穫皆無トナリマシタ場合ニハ、無論災害免租ガゴザイマスガ、災害免租ニナライ場合ニ於キマシテモ、御存ジノ通り臨時稅措置法、又臨時稅措置ニ關スル勅令ニ依リマシテ、或ハ冷害、潮害、水害等ノ場合ニ於キマシテ減收ガ生ジマスレバ、或ハ程度ノ輕減ヲ致スコトモ考慮致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ臨時ノ措置デゴザイマシテ、將來ノ問題ト致シマシテ考ヘマスナラバ、今回ノ地方稅制ノ改正ハ恰モ御述ベニナリマシタヤウナ狀態ニ對シテ、稅制ヲ地方ノ財政事情ニ即應セシムルヤウニ考究立案致シテ居ルノデアリマス、即チ今日ノ地方團體ハ非常ニ稅收入ガ少クテ、而モ年々増加シテ來ル事務ニ追ハレテ居ルヤウナ狀況デアリマス、負擔ガ過重ニナルコトヲ避ケ難イ情勢デアリマス、而モ他ノ一面ニ於テハ非常ニ資力ノ豐富ナ團體モアルノデアリマシテ、此ノ狀態ヲ此ノ儘繼續致シマシ

テハ、地方財政方地域的ニ見マシテ非常ニ不均衡デアアル結果、益々窮乏ノ一途ヲ辿ルコトニナリマス、此ノ度ノ稅制改正ニ於キマシテハ、大體地方稅收入ノ六割數分ト云フモノハ獨立財源ヲ以テ充當致シマスガ、三割數分ハ所謂地方分與稅トシテ財政調整ノ目的ヲ以テ地方財源ヲ分與スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ分與ノ問題ハ、課稅力ト云フモノガ大キナ分與ノ標準ニナルノデアリマシテ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、土地ノ生産力ガ非ニ低イ、或ハ營業ガ十分盛デナイ、家屋ノ實價價格モ低イト云フヤウナ土地柄ニ於キマシテハ、ソレガ分與稅ノ分與ノ基準トシテ用ヒラレマス、課稅力ノ低イ所ニハ分與稅ガ多額ニ分與セラレルヤウナ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ東北地方ノ例ニ申シマス、從來土地、家屋、營業等ノ負擔ニ於テ過重デアツタノガ、全國大體平均シテ負擔トナリマシテ、而モ財源トシテハ分與稅ノ方面ニ於テ相當餘裕ノアル財源ヲ與ヘラレルコトニナルト思ヒマス、尙ホ市町村ニ付キマシテハ、戶數割ヲ、今同全廢致シタノデアリマシテ、動モスレバ地方負擔ノ過重ニナツテ居リマシタ原因ノ戶數割ガ今回全然ナクナリマシテ、地方ノ負擔ハ此ノ意味ニ於テモ輕減セラレルコトニナルト思フノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、今回ノ稅制改正ハ、恰モ御述ベニナリマシタヤウナ制改正ハ、恰モ御述ベニナリマシタヤウナ財政窮乏シテ居ル地方ニ對シテ、必要ナル財源ヲ分與スルト云フ建前ニナツテ居リマス、此處具體的ニ、東北某縣ニ於テ或ハ某町村ニ於テ、ドレダケノ財力ノ餘裕ガ今回ノ稅制改正ニ依ツテ與ヘラレルカト云

フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセマスガ、全體的ニ大量觀察ヲ致シマシテ、只今申上ゲマシタ通り、財政窮乏セル地方ニ對スル十分財源ヲ付與スルト云フコトガ、今回ノ稅制改正ノ内容ニ盛ツテアル次第デアリマス、又實價價格ノ問題ニ付キマシテ、土地家屋等ニ付テ御述ベニナツタ點モ非常ニ同感デゴザイマス、唯課率ヲ其ノ爲ニ下ゲルト云フコトハ、是ハ如何カト思フノデアリマシテ、自然土地並ニ家屋ニ對スル實價價格ノ問題ハ、國ガ全國的ニ之ヲ調査致スルノデアリマシテ、生産力ノ大ナル地方ノ土地ノ實價價格ト、冷害乃至雪害等ニ依ツテ生産力ガ非常ニ低イ土地ノ實價價格ト云フモノハ、自ラソコニ相當ノ差等ガ設ケラレルトコトニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ地租ニ付テノ其ノ課稅標準タル土地實價價格ノ決定ニ付キマシテハ、曾テ政府ガ執行リマシタト同様ナ方針ヲ以テ其ノ調査ニ當ルコトト考ヘテ居リマス、次ニ家屋ノ實價價格ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ家屋稅ガ府縣稅デゴザイマス、各府縣各、勝手ナ調査ヲ致シマス、非常ニ實價價格ノ決定ニ對シテハ、不均衡ガアルノデアリマシテ、是ハ地方稅負擔トシテ適當デナイト考ヘラレマス、今回ノ稅制改正ニ於キマシテハ、家屋稅モ之ヲ國稅ニ移管スルコトニ致シマシタノデ、將來國ニ於テ全國一律ニ統一シタル標準ノ下ニ家屋ノ實價價格ヲ決定スルコトニナツテ參リマス、御述ベニナリマシタヤウナ實價價格ニ付キマシテモ、全國ヲ押並ベテ合理的ナ實價價格ノ決定ガ出來ルト思フテ居リマス、但シ家屋稅ニ付キマシテハ、此ノ調査ニ數年ヲ要シマス、稅制改正後昭和十五年、十六ノ兩年度間ハ貴

ホ地方税トシテ殘サレテ居リマス、併シナ
ガ其ノ貨物價格ニ付キマシテハ、其ノ適
正ヲ期スルコトガ必要ナルト認メマス、
正、昭和十五年度ニ於キマシテ、早速政府
ニ於テ此ノ貨物價格ノ補正ヲ致スコトニナ
ツテ居リマス、是ハ早急著手致シマシテ、
全國ノ家屋貨物價格ヲ此ノ暫定ノ補正方法
ニ依ツテ統一一致シマシテ、此ノ統一セラレ
タル貨物價格ニ依ツテ十五、十六ノ兩年度
間ハ地方税ヲ課シ、又此ノ貨物價格ヲ今回
ノ分與稅分與ノ基準トシテ用ヒルト云フコ
トニ致シテ居リマス、色々ノ點ヲ申述セマ
シタガ、之ヲ綜合シテ申上ゲマス、今回
ノ稅制改正ハ、只今御質疑ニ相成リマシタ
ヤウナ地方財政窮乏ノ問題ヲ根本的ニ是正
シ、地方的ニ均衡化スルコトヲ云フコトヲ目標
トシテ考案制定致シタモノデアリマス、
御述ニナリマシタ點ニ付テハ十分之ヲ以
テ救済ガ出來ルコトデアルト考ヘテ居ル
デアリマス

○庄司委員 只今ノ地方局長ノ御答辯ハ、
洵ニ東北ニ對スル御認識ト御理解ノ上ニ立
ツタ御答辯デアリマシテ、大變満足致シマ
シタ、ドウカ此ノ上トモ大藏省關係ト能ク
適當ナ機會ニ御懇談ヲ繼續サレマシテ、只
今御述ニナラレマシタ通り、結果ニ於テ東
北ノ負擔ト云フモノガ東北ニ即シタル所ノ
擔稅程度ニ公正ニ行ハレコトガ出來得マ
スルヤウニ、内務省ニ於テモ層層ノ御心
配ヲ御願致シマス、是デ私ノ質問ヲ終リマ
ス

(森田委員長代理退席、庄司委員長代
理者席)

○庄司委員長代理 ソレデハ、内務省關係
ニ付テ簡單ナ御質問ノアル方ハゴザイマセ

○中田委員 二三山林局長ニ御伺致シタ
イト思ヒマス、木材價格ノ暴騰ヲ防グ爲ニ、
農林省デハ昨年ノ議會ニ於テ公費廢止ノコ
トヲ山林局長ハ聲明サレテ、現在ソレガ實
行サレテ居ルノデアリマスガ、公費ガ廢止
サレタ後ニ於ケル状態ヲ見マス、特賣
ニ依ツテ拂下ノ價格ガ安クナリマシタケレ
ドモ、木材ノ暴騰ト云フモノハ非常ナ勢ヲ
以テ上ツテ來マス、拂下ヲ受ケタ業者
ガソコニ非常ナ三倍以上ノ暴利ヲ得テ居ル
斯ウ云フ現狀デアリマス、此ノ事實ハ山林
局長モ御承知ダト考ヘルノデアリマスガ、
之ニ對シテ如何ナル御對策ヲ御考ヘニナツ
テ居ルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○中政府委員 國有林ノ拂下木材業者
ニ相當ノ利益ヲ與ヘテ居ル點ハ、具體的ニ
レドレト云フコトモ出來マセスケレド
モ、サウ云フ場合ハアラウト思フ、之ニ對
スル問題ト致シマシテハ、木材ノ全體ノ需
給ノ問題トソレカラ價格調整ノ問題ガアル
譯デアリマスガ、價格調整ノ問題ニ付キマ
シテハ、營業者ノ意見ニ依ツテ吾々ノ方デ
研究致シテ居ルノデアリマス

○中田委員 營業者ガ非常ナ利益ヲ得テ居ル
デアラウト云フ只今ノ御答デアリマスケレ
ドモ、是ハ地方ニ於キマシテハ非常ニ問題
化シテ居リマシテ、或ル一部ノ特賣ヲ受ケ
得ル者ノミガ三倍四倍ト云フヤウナ非常ナ
利益ヲ得テ居ツテ、他ノ者ハ全ク之ニ均當
スルコトガ出來ス、一般ノ木材ヲ消費スル
階級ハ、之ニ依ツテ非常ナ苦痛ヲ感ジテ居
ルニ拘ラズ、斯ノ如キ業者ニ不當ナル利益

ヲ得セテ居ツテ唯漫然トシテ國ハ之ニ對
スル對策ヲ講ジナイノダラウカ、斯ウ云フ
聲ガ吾々ノ耳ニ頻々トシテ響イテ來ルノデ
アリマス、若シ此ノ事實ヲ局長マダ十分ニ
御認メニナラナイトスルナラバ、速ニ營林
局ニ御質問シナツテ、事實ヲ十分御認識ヲ
願ヒタイト思ヒマス、之ヲ若シ此ノ儘ニ放
置シテ置キマシレバ、ソコニ非常ナ不滿不
平ノ聲ガ燃エ上ツテ來ル、成程只今局長ノ御
御話ニナリマシタ通り木材價格ノ調整ト云
フコトハ非常ニ難シイ問題デアリマシテ、
簡單ニ即効的ナ對策ハ立子得ナイトハ考ヘ
マスケレドモ、只今ノ公費ヲ廢止シタコト
ニ依ツテ國家ノ收入ガ非常ニ減ズル、隨テ
ソレガ一般ノ消費者ニ恩惠ヲ與ヘルナラ宜
イケレドモ、唯一部ノ木材業者ノミニ利益
ヲ得サレコトハ洵ニ不當不合理ノ現狀デ
アルト考ヘノデアリマス

(庄司委員長代理退席、委員長著席)

○中田委員 國家ノ收入ヲ補フヤウナ方宜イ
チヤナイカト言ヒ得ルト考ヘルノデアリマ
ス、此ノ對策ニ付テハ十分御調査ト御研
究ヲ御願致シマシテ、速ニ是正サレルヤウ
ニ御願致シタイノデアリマス

次ニ東北振興、ハルブ會社ノ秋田工場ガ
遠カラズ竣工致シマシテ、作業開始ノ運ビ
ニナルダラウト思フノデアリマスガ、之ニ
對シテ國有林ヨリ七十萬石ノ原木ヲ供給ス
ルコトニ決マツテ居ルヤウニ承知シテ居リ
マスガ、此ノ七十萬石ノ原木ノ支給ハ現在
色々ナ資材關係、努力關係カラ林道其ノ他
ノ計畫ニ支障ヲ來スノデハナカラウカト考
ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點支障ナク

「ハルブ」ノ原木供給ニ付テハ、ソレノ計
畫ヲ立テ營林局デヤツテ居ルコト云フコト
デアリマスガ、地元ニ於テハ非常ニ心配致
シテ居ル問題デアリマス、豫定通りノ供給
ハ出來得ナイノデハナカラウカ、サウナルト
工場竣工シタ後ニ、作業ヲ開始致シマス
ルト、會社トシテ工場ヲ遊バセテ置ク譯ニ
ハ行キマセヌカラ、民間ノ色々ナ原木ヲ手
近ナ各方面カラ集メル結果ニナルノデナカ
ラウカ、サウナルト民間ノ木材ガ非常ナ高
價ニナル、サウシテ「ハルブ」原料ニナル物
ハ必ズシモ立派ナ木材デナトモ宜イ、地
方ニ於キマシテ薪等ニ使ツテ居ツタ物ガ皆
其ノ方ニ流レテ行クコト云フコトニナツテ、
薪炭材ニ非常ナ支障ヲ來ス結果ニナルノデ
ハナカラウカト云フコトヲ非常ニ心配ヲ致
シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ具
體的ノコトヲ御尋シテモ此ノ席デハ御答辯
ハ難カシト思ヒマス、唯其ノ地方
ニ於テ非常ニ心配ヲ致シテ居リマスコトヲ
御考下サイマシテ、御調査下サイマシテ、
成ベク之ニ對シテモ若シ豫定通りノ原木ノ
供給ガ出來レバ之ニ越シタコトハナイノデ
アリマスガ、出來得ナカツタ場合ノコトニ
付テ御考慮キテ願ヒタイト思フノデアリマ
ス

次ニ特賣ノ方法ニ關スルコトデアリマス
ガ、從來ハ營林局ノ特賣デアレ、公賣デア
レ、木材ノ拂下ハ最寄ノ驛或ハ森林鐵道ノ
土場ニ卷立テテ拂下ヲシテ居ツタノデアリ
マス、隨テ拂下ヲ受ケタ業者ガ其ノ土場カ
ラ鐵道ナリ、森林鐵道ヲ利用シテ、木材製
造ガ出來ルヤウニナツテ居ツタノデアリマ
ス、下云フ關係デアリマスガ、最近
ニ於キマシテハ、立木ノ儘若クハ伐採シテ

倒シタ儘デ山元ニ於テ拂下ヲスル、其ノ結
果トシテ山元カラ運搬スル人夫ニ付テ非常
ナ苦痛ヲ感ジテ居ルヤウデアリマス、併シ
一旦拂下ヲ受ケタモノヲ一日モ早ク處分シ
タイト云フ關係カラシテ、色々ナ方法ヲ取
ツテ努力ノ聯合ヒヨツテ居ル、無統制ノ
儘デ山ノ中ノ狭イ所デ人夫ノ聯合ヒヨツ
テ居ルカラシテ、斯ウ云フヤウナ情勢カラ
勞働賃銀ガ果シタ段々上ツテ行ク、其ノ
結果ト致シマシテ木材價格モ段々上ツテ行
ク、先程モ薪炭材ノコトニ付テ色々森田サ
ンカラ御話ガアリマシタガ、是モ一ツノ原
因ニナルト思フノデアリマス、斯様ナコトハ
從來ノヤウナ方法デ土場デ拂下ヲスルコト
フコトニナツタナラバ、營林局デ努力ノ統
制ガ出來テ一元的ニヤツテ行キマシタナラ
バ、左様ナコトモナク「スミス」ニ行ク管
ダト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ
ドウシテモ現在ノヤウナ方法ヲ執ラナケレ
バナラナイ理由ハ、如何ナル理由デアルカ、
此ノ點ヲ御伺シタイノデアリマス

○中政府委員 專門家デアレバ御分リニ
ナルヤウニ、國家ノ收入ヲ學ゲルト云フ點
カラ言ヒマスレバ、市場マデ運シテ行ク方
ガ宜イデアリマス、併シ決ツテ經費デア
ル關係カラ致シマシテ、サウ致シマス木
材ノ増産ト云フモノハ非常ニ困難デアリマ
ス、所ガ吾々ト致シマシテハ、其ノ收入モ
サルコトデアリマスケレドモ、現下ニ於テ
ハ物ヲ出スト云フコトガ第一義デアル關係
カラ致シマシテ、兎ニ角物ヲ多ク出ルヤウ
ニスルト云フコトニ努メテ居ル譯デアリマ
ス、經費サヘ潤澤ニアリマスレバ、又特別
會計ノ如クデアツテ賣ツテハ其ノ收入ヲ利
用スルト云フヤウナ建前デアリマスレバ、

土場ナリ或ハ驛近タマデ運搬スルト云フコ
トガ出來マスケレドモ、單價ガ決ツテシマ
ツテ居リマスカラ、御話ノ通り勞賃ハ高イ
シ、輸送賃ハ高イシ、伐倒シ賃モ高イト云
フ譯デアリマス、結局山ノ中ニ引込
テ仕事ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、
結局經費ガ足りナイカラサウ云フコトニナ
ツテ居ルコト云フ次第デアリマス、隨テ山デ
伐倒シテ居レバ却テ出ニタイト云フ場合モ
アリ得ルコトト思ヒマスケレドモ、ドウシ
テモソレハ經費ノ關係上已ムヲ得ナイノデ
アリマス

○中田委員 私人御尋スル重點ハサウ云フ
山村ニ於ケル勞力ノ供給ノ關係ヲ調整スル
ト云フ意味カラシテ、營林局デ從來ノ
ヤウナ方法デアツタ方ガ適當デハナイイカ
ト思フノデアリマス、唯私共ノ聞ク所
ニ依リマス、從來カラ豫算ノ關係上出
來得ナイ、豫算ガ足りナイカラ山元デ倒シ
テ、拂下ヲ受ケタ者ニ運搬料ノ負擔ヲサセ
ナケレバ出來得ナイ、官廳ノ事情デサ
ウ云フコトヲヤツテ居ルコト云フコトヲ聞イ
テ居リマスガ、併シ斯様ナコトハ努力問題
ガ非常ニ重大ナ問題ニナツテ居リマス、今日
デハ、作業豫算ガ少カツタナラバ、是ハ豫
算ヲ増シテモ營林局デ或ル程度マデノ作業
運搬ヤツテ、サウシテ拂下ゲシタ方ガ非
常ニ適當ナ方法デアルト思ヒマス、是ハド
ウシテモソレガ出來得ナイ事情ニアルカド
ウカ、斯ウ云フコトヲ御尋スル次第デアリ
マス

○中政府委員 今申シマシタヤウニ、御
話ノ通り經費ガ無イカラ出來ナイ、ソレナ
ラバ要求スレバ宜イチヤナイカ、斯ウ云フ
コトデアリマスガ、吾々トシテハサウ思ヒ

豫定通り供給出來ルノデアリマスガ
○中政府委員 前ノ問題ニ付テハ、吾々
ト致シマシテ、國有林木材ニ付テハ現在モ
指導致シテ居リマスガ、更ニ若シ暴利ヲ取
ツテ居ルコトヲ事實ガアリマスレバ、是ハ
出來ルダケ指導ヲシテ行ク積リ、現ニ計
畫モシテ居ルノデアリマスガ、山林局トシ
テハ難カシイ立場ニアリマシテ、尙ホ國有
林ノ木材拂下價格ヲ下ゲルト云フ強イ御要
求モ、是ハ軍部デハナクシテ民間ノ人ノ中
ニアリ、吾々トシテハ立場ニ苦シンデ居ル
ノデアリマスガ、併シ暴利ヲ取ルト云フヤ
ウナコトハ、此ノ際避クベキデアリマスガ
ラ、出來ルダケ是正出來ルヤウニヤリタイ
ト思ツテ居リマス、東北振興「ハルブ」ニ對
スル供出材ニ付キマシテハ、出來ルダケ目
的ヲ完遂シタイ、サウ云フ積リデ營林局ニ
モ指導ヲシテ居リマス、多分間違ナイト思
ツテ居リマス

○中田委員 木材ノ價格ヲ下ゲルト云フ要
求モアルト云フ今ノ御話デアリマスガ、私
ハ下ゲルト云フコトニ對シテハ何等異議ノ
ナイ者デアリマシテ、拂下價格ガ下ツタコ
トニ依ツテ消費者ガ其ノ恩惠ニ浴シ得レバ
此ノ上ナイコトデアリマス、唯拂下ヲ受ケ
タ一部ノ業者ノミガ非常ニ不當ナ利益ヲ得
テ居ルコト云フ現狀デアルカラ、之ヲ是正シ
ナケレバ國家ガ折角價格暴騰ヲ抑止ス
ル爲ニ公費ヲ廢止シタル理由ト云フモノ
ハ全然ナクナツタ、斯ウ云フ現狀デアルガ、
只今承ハルト、相當ナ計畫ヲ御立テニナツ
テ居ルコト云フコトデアルカラ、成ベク早ク
適切ナ計畫ヲ御立テニナツテ、斯様ナ不當
不合理ナコトノ解消スルヤウニ御盡力ヲ御
願致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ

豫算ハ増額サセテ拂下價格ヲ上げテモ此ノ點ハ解決シテ載キタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

ソレカラ次ニ木炭ノコトニ付テ簡單ニ御同致シマス、新聞ヲ見マスト二億五千萬カノ木炭ヲ來年度ニ於テ生産致シマシテ、サウシテ大消費地ノ需要ニ充テルト云フヤウナコトガ掲載サレテ居リマスガ、此ノ計畫ハドノ程度マデ進ンデ居リマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○田中政府委員 基準數量ハ六億五千萬貫デアリマスガ、十四年度ハ一億五千萬貫ノ増産計畫ヲ立テテ、十五年度ハ更ニ「プラス」五千萬貫ノ計畫デアリマスカラ、約二億貫ノ増産計畫ヲ立テテ居リマス、ソレカラ前ノ問題ハ拂下價格ヲ高クシテモ宜イ課デアリマス、是ハ高クストル言ヒマスヨリカ、要スルニ運賃ガ加ヘル課デアリマスカラ、當リ前ノ値段デ賣レバ宜イ課デアリマス

○中田委員 若シソレガ拂下價格ヲ高クシテモ出來ルナラバ、殊ニソレハヤウツテ載キタイト思ヒマス、ソレハ地方デハ痛切ナ問題ニナツテ居リマスカラ、其ノ點ハ十分御研究願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今ノ炭ノ生産ノ問題デアリマスガ、是ハ營林局等デ直轄ナサルノカ、ドウ云フ方法デオヤリニナルノカ、其ノ點ヲ承ツテ置キマス

スルシ、官行製炭モ割合ニ増加スル、併シ官行製炭ヲ非常ニ多クストルコトハ經費ノ關係デ出來マセスガ、全體ヲ多クシマス、拂下モ多クストルシ、官行製炭モ多クシマス

○野村委員長 中田君、餘程アリマスカ、アリマスレバ十二時過ギデスカラ午後ニ御願シマセウ

○中田委員 少シシデス

○野村委員長 ソレナラバオヤリナサニナリマスガ、一體木炭對策ノ主管ト言ヒマスカ、之ヲ一元的ニ政府ニ於テオヤリニナツテ居ルノデアリマスガ、昨年ノ木炭騒動ノ際ニ於テハ、何處ノ地方モサウダト思ヒマスガ、秋田縣ナドデハ警察ガ乗出シテ警察署長ガ警察署ノ管内ニ配給協議會トカ云フ新シイ機構ヲ設ケテ配給ヲヤリ出シタ、サウシテ生産シテ者モ其ノ管外ニハ絶對ニ出スコトガ出來ナイ、又賣リタイ者モ賣ルコトガ出來ナイ、物ヲ持ツテ居ツテモ金ニストルコトガ出來ナイト云フノデ、コンナヤカマシイノナラ炭燒ヲ止メテシマツテ外ノ仕事ヲスル方ガ宜イト云フノデ、他ニ轉業シテ行クト云フ現狀デアツタノデアリマス、ドウモ吾々考ヘテ見ルニ、木炭ナドノコトハ縣デアツタナラバ林務課ガ總テノ計畫ヲ立テテオヤリニナルベキモノデアリナツテ居ルノデアリマス、殊ニ又冬ニ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ又冬ニナツテ急ニ需要期ニナツテ大騒ギヲシナイデモ、需給ノ關係ハモツト早ク分ルベキ筈デス、又主ナル生産地デハ木炭検査ヲ實行シテ居リマシテ、木炭検査員ト云フモノガアリ、更ニ又各山元ノ事情ハ分ツテ居ルベキ筈デアリマス、又國有林ノアル所デ

ハ營林局、營林署其ノ他ノ組織ガアリマシテ、山村ノ事情ハ十分分ツテ居ルカラ、木炭ガ何處ニドレ位生産サレルト云フ數量ハ推定サレテ居ルベキ筈デス、唯需要ガ確ニタノハ外ノ方デ需要ガ確ニタト云フコトハ分ルベキ筈デアツテ、需要期ニ入ツテアア云フ風ナ大騒動ヲサセルト云フコトハ、普斷何ヲヤツテ居ラレタカ、主管課ガドンナ仕事ヲオヤリニナツテ居ツテ、アア云フ風ナ泡ヲ食ツテ醜態ヲ演ゼラレタカト云フコトヲ熟ク不慮ニ考ヘラレタ課デアリマス、

○田中政府委員 御話ノ通りニ數量ニ見テアノ時期ニアア云フ騒ギヲスルト云フコトハ不慮ニ考ヘラレタ課デアリマス、吾々モサウ思ヒマス、併シ實價ハヤハリ米デ大騒ヲシタト同ジヤウニ、結局配給ノ不圓滑ト、ソレニ伴フ人氣ト言ヒマス、木炭ニ對スル不足感ト云フヤウナコト、サウ云フコトガ紛々マツテアア云フコトニナツタト思ヒマス、殊ニ政治都市デアル東京市ガ一番先ニ木炭不足感ヲ與ヘラレタノデアリマス、是ハ相當東京市ニ木炭ヲ流シテ居タ近クノ縣デ移出禁止ヲヤラレタ結果、相當ナル影響ガアリ、且ツ色々ナ問題ガアリマス

○中田委員 能ク分リマシタ、炭ノ問題ニ付キマシテハ、農林省ガ大半ノ責任ヲ御持チニナルト云フコトニ承リマシタガ、之ニ對シテハ是非御盡力ヲ御願シタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○中田委員 是ハ農林省ガケデナク、ヤハリ關係各廳、企業院トカ商工省トカ、サウ云フ方面ト御協議ニナツテ對策ヲ御立テニナラウトシテ居ルノデアリマスカ、農林省ダケノ省内ノ一ツノ對策デスカ

○中田委員 企業院ニモ相談シテ居ル問題モアリマスシ、商工省ト相談スル問題モアリマス、問題ニ依リキリデアリマス、又取締關係ノモノニ付テハ警察保局ニモ相談致シマス

○中田委員 木炭ノ問題ニ關スル主管ハ何處デアリニナルノデアリマスカ

○田中政府委員 御承知ノ通り現時ニ於キマシテハ單純ニ配給ト云フコトダケデ事務マズニ、生産計畫、殊ニ數量ノ足ラナイ木炭デアリマスカラ、増産計畫ト云フ所カラ築キ上ゲテ、其ノ出來タ炭ヲドウ配給スルカト云フコトマデ、ズツト系統的ニ築キ上ゲナケレバナラナイデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、主トシテ農林省ガ主管シテヤツテ居リマス、ノミナラズ御承知ノ通り人間トシテモ山ノ關係ノ專門家モ澤山要

ケレドモ、ソコマデ申上ゲスデモ思ヒマスガ、サウ云フコトデ實際以上ニ不足感ヲ與ヘテ、配給ノ不圓滑、分配ノ不均衡ガ起ツタ、斯ウ云フ譯デアリマス

○中田委員 昨年ノ事情ニ付テハ、今御話ノアツク通りデアルト思ヒマス、私共ハヤハリ昨年ハ大騒ギシタノハ、實際私ノ見聞スル範圍内ニ於キマシテハ、丁度冬ノ需要期ニ入ル前ニ安カツタ、ガカラ結局公定價格ハ値上ゲニナルノダト云フコトデ、山元デハ炭ヲ出サナカツタ、其ノ内ニ段々雪ガ降ツテ來テ運搬ガ非常ニ難カシクナツテ出サウト思ツテモ出セナクナツタ結果、消費地ニ來ズニ大騒ギニナツタノダト思フ、所デ今年モヤハリ農林省ハ農林省デ一ツノ生産ノ計畫ヲ立テレバソレデ吾々ノ責任ハ濟ムノダ、更ニ配給ハ配給デ商工省ナリ企業院ナリ外ノ方デアルノダト云フコトデ、一貫シテ綜合的ナ計畫ガ立タナケレバ、又去年ト同ジヤウナコトニナツテ、去年ノ二ノ舞ヲアルノデハナカラウカト思フノデアリマス、更ニ生産方面ニ於キマシテハ、先程森田君カラモ御話ガアリマシタガ、昨年ノ警察ガ乗出シタ當時ノコトヲ考ヘルト警察ハアルモノヲ分配スルト云フコトニ重點ヲ置イテヤリ出シタ、ソレデアルカラ私ノ縣デモ配給協議會ガ出來テ、警察部長ハモウ非常ナ完全ナ機構ヲ拵ヘタ全縣下ノ各關係者ガ集マツテ配給協議會ヲ作り、各警察署ノ管内デ生産者ハ絶對ニ配給協議會ノ承認ヲ得ナケレバ木炭ヲ賣出スコトハ出來ナイ、運搬モ出來ナイト云フコトデアルカラ、是非非常ナ立派ナ機構ダト云フコトヲ非常ニ自慢サウニ話シテ居ツタ、ソコデ私ハ、大變結構ナ機構デアルケレドモ、如何ニ立派ナ配給機構ヲ作ツテモ

最後ニ簡單ニ御同致シマスガ、木材ノ檢査ノコトデアリマス、是ハ既ニ請願委員會豫算委員會ニ於テヤハリ論議サレタノデアリマス、民間ノ聲ガ何處ニアルカト云フコトハ、能ク局長ハ御承知ノコトト思ヒマス、具體的ニドウ云フ風ニ木材檢査ヲ改メテ行クカト云フコトニ付テ、山林局デハ具體的ナ御考ヲドウノ程度マデ進行ニナツテ居ルカ、其ノ程度ヲ簡單ニ御同致シマス

○中田委員 檢査木材ノ用途ト公正ナ目的ニ反セザル限リ、當業者ニ對スル弊害ヲ輕減スル爲ニ、著々改正スベキ點ハ改正シ、監督スベキ點ハ監督シマス

○中田委員 是デ宜シウゴザイマス

○野村委員長 十二時モ餘程過ギマシタカラ、一時休憩致シマシテ、午後一時半カラ始メマス、ソレデハ休憩致シマス

午後一時三十分開議

○野村委員長 是カラ開會致シマス——小野君

物ガ無ケレバ消費者ニ満足ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、此ノ騒ギヲ解消スルコトハ出來ナイト思フ、生産セズシテ新シイ機構ヲ立テテモ、生産者ノ實情ヲ顧慮シナイデ、配給機構ダケニ圓滿ニ増産ガ出來ルカ、満足ニ消費者ニ所要量ノ配給ガ出來ルカト申シマシタ所、ソレニ對シテ御答ガナカツタノデアリマス、答ヘラレナイ筈ダト思フノデアリマス、ヤハリ從來ノ古イ機構ト申シマスカ、東京ノ大キイ問題カラ地方ノ商人ガ金ヲ借りテ山ヲ買ツテ、燒キニ或ル契約ノ下ニ金ヲ貸シテ炭ヲ燒カシテ、出來上ツタモノヲ契約シテ價格ヲ買取ツテ東京ノ市場ニ問屋ノ方ヘ送り出す、サウ云フ風ニ古イ機構ガ一ツノ運轉ヲシテ居ツタ、所ガ生産ヲ顧慮シナイ唯配給ノミヲ考ヘタ新シイ機構ニ依ツテ總テモノヲヤツテ行カウトフノデアリマスカラ、是ハトモモ——一時的ノアア云フ急場ノ大騒ギシタ時ハ已ムヲ得ナイ處置デアルト思ヒマスガ、又アア云フバツノ機構デ、警察ハ警察デ、林務課ハ林務課デ、商工課ハ商工課デ、地方廳ニ於テモサウ云フ風ナバツノシタコトヲヤリ出シタノデハ、又今年ノ冬モ同ジヤウナコトヲ繰返ス結果ニ陥ルト思フノデアリマスガ、何トカ政府ニハ綜合的ナ計畫ガアルノデアリマスカ、ヤハリ農林省山林局トシテハ單ニ生産ノ部面ニダケ御關係ニナルト云フコトデアリマスカ、其ノ點ヲ御同シマス

○中田委員 從來ノ儘デアリマスルト、御話ノ通りノ結果ガ豫想サレマス、ソコデ目下吾々トシマシテハ對策ヲ練ツテ居リマス

○中田委員 其ノ對策ハ農林省山林局ダケ

○中田委員 能ク分リマシタ、炭ノ問題ニ付キマシテハ、農林省ガ大半ノ責任ヲ御持チニナルト云フコトニ承リマシタガ、之ニ對シテハ是非御盡力ヲ御願シタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○田中政府委員 御話ノモノ以外ニ勿論無價デアリマセスケレドモ、自家用薪炭材、或ル程度ノ薪炭材ヲ緣故安價ニ拂下ゲテ居ルノデアリマス

○小野委員 大體斯ウ云フモノノ利用資源ノ金額的ニ見積リマシタモノガ農林省アタリニ於テ全國的ニ統計ガ出來テ居リマセウカ

○田中政府委員 金額ハ私ト致シマシテハツキリ致シマセウカ、山ノ利用トシテハ御承知ノ通りニ委託林トカ、簡易委託林トカ云フ制度デヤツテ居ルデアリマス、其ノ外部分林モアリマセケレドモ、東北ノ委託林ハ兩方引括マシテ約百四十万町歩位アリマス、是ハ地元山村ニ對シテノ建設デアリマスガ、其ノ他山産物ノ利用或ハ御承知ノ通りニ經濟更生運動ガ盛ニナリマシテカラノ營林局ノ地元山村ニ對スル經濟更生ハ、御承知ノ通りニ寧ろ營林局長ガ熱心ニヤツテ居ルト云フ程度デアリマス、山林局關係ニ於テモ、サウ云フ地元山村ノ經濟更生ニ理解ノアル森林主事ナリ、營林署員ナリガ最近ハ重要視セラレルト云ヒマス、サウ云フコトニ理解ノアル山役人デナケレバ時代ニ目覺メタ山役人デハナイト云フ位ニ評價サレルヤウニナリマシテ、地元山村ニ對スル指導等ガ相當行儀イテ居ルト思ヒマス、今後モ其ノ點ハ尙ホ益々ナル積リテ居リマス

○小野委員 先般農林大臣ニ對スル國有林野開放ノ質問ニ對シマシテ、農林大臣ハ調査ノ出來テ居リマス部分カテ順次ニ適當ナ機會ヲ見テ、モウ一段ト廣イ意味ノ開放ヲザナル御考ガアルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、私ノ承知シテ居リマス所ニ依リ

マスト、有馬サウガ農林時代ニ、國有林野開放ノ問題ヲ相當深ク御考ニナリマシテ、當時ノ山林局長ニ對シマシテ全面的ニ調査ヲ御命ジニナツテ、既ニ成案ガ出來テ、大臣ノ御考如何ニ依ツテハ、是カラ調査ヲスルノデナシニ、最早調査ハ全面的ニ出來テ居ルヤウニ記憶シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點モ先般農林大臣ニ伺ヒマシタ所、全面的ニ出來テ居ルト云フコトハハツキリ御認メニナリマセシタケレドモ、サウ云フモノガ出來テ居ルトシテ、極メテ最近ノ機會ニソレデハ開放スルカト云フコトニ對シテハハツキリシテ御答ガナカクヤウデアリマス、私ハ今申上ゲタヤウニ既ニ開放スルト云フ方針ガ決マレバ何時デモ開放スルヤウナ措置ガ出來テ居ルカドウカト云フコトヲ山林局長ニ伺フテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 開放ト云フ意味ガ茫漠トシテ居リマス、農林大臣ガドウ云フ御答ニ對シテハ或ル調査ハ済ンデ居ルモノニ付辯ニナリマシタカ分リマセウカ、地元施設キ、又新シイモノハ新シク調査ヲ致シマシテ、著々實行シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通りニ國有林全體ガ全部施設計畫ガ立ツテ居ルト云フ譯デハナク、又新シイ林道ガ付ケバ付イテ新シイ施設計畫ニ修正スルト云フコトニナリマスカラ、ヤハリ絶エズ調査ハ具體的ニ繼續シテ行クデアリマス

○小野委員 次ニ私ハ木炭ノ問題ニ付キマシテ極ク簡單ニ御答ヲ見タイト思フノデアリマスガ、木炭ノ本年度ニ於ケル豫定計畫ノ増産ガ出來ナクテ寧ろ減産ニナツタト云フ原因ニ付テハ、先般來諸君カラ色々ノ點ヲ指摘サレマシテ御答ガアツタヤウ

デアリマスガ、何レニシマシテモ本年度ノ増産ハ更ニ各方面ニ於ケル需要ノ増加ト相俟ツテ、果シテ今御考ニナツテ居ル程度ノ増産デ本年ノ木炭需要期ニ於ケル需給關係ヲ圓滑ニ調整シ得ルヤウニ對シマシテハ、私共今日尙ホ多大ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、申上ゲルマデモナク、木炭ノ需要ハ單ニ家庭用バカリデナク、生産力ノ擴充ノ意味カラ色々ナ方面ニ利用サレ、又「バス」其ノ他ノ動力ノ關係デモ非常ニ利用ノ範圍ガ廣クナツテ居ルヤウナ情勢ニアルノデアリマシテ、農林大臣ノ先般ノ御説明ニ依リマス、木炭ヲ需要セザル期間即チ夏季ノ間ニ手配ヲシテ焼溜ヲシテ相當ナ施設ヲスルノデアリカラ、今年ノ需要期ニ對シテハ大シク心配アルマイト云フヤウナ御説明デアラフノデアリマスガ、私ハ從來トモ夏カカラ炭塊ガ全體積ンデ居ル譯デハナカクツテハナイト考ヘテ居リマス、ソレ等ノ點ニ對シマシテ農林省ノ御手配ガドウナツテ居ルカ、又木炭生産ノ減少ヲ見マシタ重大ナル原因トシテ燒子ノ應召其ノ他ト先達テ私ハ農林大臣ニ申上ゲタノデアリマスガ、一ツハ一般山労働者ノ勞銀ノ騰貴ニ伴レマシテ燒子ノ轉業ガ非常ニ多クツテ居ルハ、是亦山林局長ノ御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマス、青森縣ノ木炭ノ最も大ナル生産地デアアル三戸郡方面ニ於ケルマシテモ、自由労働者ノ勞銀ハ二圓五十錢乃至三圓五十錢、宮城縣ノ一部ニ於テハ、何カ漁撈ノ雜業ニ使用サレルヤウナ労働者ハ四圓見當デアアル、北海道ノ出取、所謂労働者ハ松浦周太郎代議士ノ話ニ依リマシテモ、昨秋五圓、斯ウ云フコトデアリマスナレバ從來炭塊ガ一家三人デ日ニ

二圓五十錢内外ニシカナラヌ點ニ比較シマシテ、非常ナ多數ノ専門ノ燒子ガ労働者ニ變ツタト云フヤウナコトガ此ノ木炭ノ増産ヲ著シク計畫ヨリモ減少セシメタト云フ原因ヲ爲スモノト承知スルノデアリマス、ソレコト當局ト致シマシテハ本年度ノ増産計畫ニ對シテ、一方ニ於テ燒子ノ講習ニ依リ專門技術者ノ養成ト、更ニ從來ノ燒子ヲ轉業セシメザル用意ノ爲ニ是等ノ收入ヲ一般勞銀ト配合セテ、ドノ程度ニ彼等ノ收入ヲ維持シテヤツクナラバ本年度ノ増産計畫ニ萬遺憾ナキヲ期スルコトヲ得ルヤト云フコトデアリマス、其ノ點ヲ伺フテ見タイト思フノデアリマス

○田中政府委員 現在ノ木炭ノ價格ガ十分ナ價格デアルト云フコトハ實ハ考ヘテナイノデアリマス、併シ前々申上ゲマシタヤウニ、低物價政策、木炭ガ一人殘ラズ國民ノ消費對象物デアルト云フヤウナコト、サウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、木炭價格ヲ引上ゲルト云フコトニ付テハ、事務當局トシテハ躊躇シテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ吾々ト致シマシテモ慎重シテ居ル點デアリマスガ、只今ノ所ハ其ノ程度ニ御話申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス、併シ今朝程モ申上ゲマシタヤウニ、生産條件ノ緩和、生産費ノ低下ト云フコトニ付キマシテハ、能率ノ増進ト同時ニ出來ルダケ考ヘナケレバ、目的ノ増産計畫ヲ遂行スルコトハ出來

ナイト思ツテ居リマス、又需要ノ方面ニ付キマシテハ相當豫想以上ノ需要ト云フモノガ十四年度ニモ起ツタノデアリマスガ、十五年度ニ於ケルマシテモ石炭ノ規定如何ニ依リマシテハ、或ハ吾々ノ豫想以上ニ需要ガ増加スルカモ知レマセウカ、併シ外ノ方面ガ規定サレテ木炭ガ之ヲオンブスルト云フヤウナコトハ、到底出來ネマスカラ、ヤハリ或ル程度ノ消費節約ト云フコトハヤツテ實ハナケレバナルマイカト思ツテ居リマス、サウシテ消費節約ト増産ト調和ニ於テ、需給關係ヲ考ヘルヤウニシタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○小野委員 増産ト消費ノ節約ト配給ノ圓滑ト相俟ツテ消費者ニ迷惑ヲ掛ケナイト云フコトハ、御尤モナ御意見ダト思ヒマスガ、私ハ増産方面ハドウシテモ今ノ製炭業者ノ收入ヲ或ル程度マデ確保シテヤラナケレバ、到底當局ノ期待シテ居ルヤウナ増産ハ不可能ナリト信ズル者デアリマス、其ノ點ニ對シテ今日尙ホ御意見ガナイヤウニ拜聴シタノデアリマスガ、此ノ點ハ甚ダ遺憾ニ存スル次第デアリマス、更ニ私ハ明年ノ木炭ノ需要期ト申シマセウカ、來年度ハ一般ノ心理ト致シマシテ、需要期ニナラナイ、假ニ木炭ノ必要トセザル期間ニ於テ、假ニ相當ノ生産額ヲ農林省ガ御計畫ニナツテ居ルトシテモ、一般ノ消費者ノ立場カラスルトシテモ、本年ノ苦イ經驗ニ鑑ミマシテ、需要期ニハ到底配給ノ圓滑ハ幾ラ當局ガ御精勵ニナツテモ出來ナイノデヤナイカ、隨テ早期ニ是等ノ手配ヲシナケレバ、再ビ非常ナ不自由ヲ感スルト云フヤウナ心理カラ、明年ハ夏分カラ此ノ木炭ノ蒐集ニ有ル方面デ狂奔スルヤウナ事實ガ起ツテ來ルノデハナ

イカ、ソレハ單ニ或ル團體若クハ個人ノ心理バカリデナシニ、國家トシテモ同様ノ事實ガアルト私ハ思ヒマス、假ニ亞米利加ガ或ル物資ニ對シテ輸出ヲ禁止スルトシマシレバ、其ノ禁止令ノ出ル前ニ他ノ國家ガ之ニ先ンジテ買付ケルト云フヤウナコトガアリ得ルト私ハ思フノデアリマスカラ、是ハ個人若クハ團體トシテモサウ云フヤウナ心理ニ動カサレルト云フコトハ、今年ノ經驗カラ當然ナリト斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、其ノ心理方結合シマシタ場合ニ、是ハ又非常ニ遺憾ナル結果ヲ招カスル因ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ今日カラ豫想シ得ルノデアリマス、是等ニ對シテハ生産方面ニ御努力ニナツテ居ル所ノ農林當局デハ、豫メ是等ノコトヲ御考慮ニ入レテ如何ナル對策ヲ御考ニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ伺フテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 御心配ノ點、程度コソ違フト思ヒマスガ、吾々トシテモ同様ノ感ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ從來トモ木炭配給規則等ノ如キモノヲ以チマシテ、ソレヲ運用シツツアリマスガ、更ニ其ノ運用ヲヤリマス同時ニ、増産其ノ他ノコトヲ勿論ヤリマス、更ニ今ノヤウナ問題ニ付キマシテハ、只今吾々ト致シマシテモ考究シテ居リマシテ、其ノ結果ニ依リマシテ、本年カラ來年ニ掛ケテノ需要期ニ出來ルダケ對應シタイト思ツテ居リマス、總テドウモ斯ウ云フ時代デ萬全ニ行カドウカト云フコトハ中人ノ智ノ外ノ問題デアラウデアリマスガ、人智ヲ盡シテ出來ルダケ需給ノ圓滑ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○小野委員 モウ一點伺フテ見タイト思ヒ

マシタガ、是ハ或ハ農林省ノ範圍デナイ、所管事項外ト仰シヤルカトモ存ズルノデアリマスガ、現在生産シテ居リマス所ノ木炭、一般家庭用ノ木炭ト「バス」ニ使ヒマス所ノ木炭トニ於テハ、私ハツキリシテ數字ヲ忘レカ十二錢トカノ差ガ公定價格デ認メラレテ居ル、ソレハ私個人デ能ク分リマセウカ、「バス」ニ使用スル所ノ木炭ト一般家庭ニ於テ使用スル木炭トハ其ノ生産ノ行程ガ無論違フノデアリナイカト私ハ考ヘルノデスガ、然ルニ「バス」用ノ木炭ハ十四錢バカリ高イモノガカラ、一般家庭用ノ木炭モ之ニ準ジテ、是ハ一種ノ合法的設法ト云フカ、マア設法ニ合法的ト云フコトハナイデセウケレドモ、設法ヲ合理化スル爲ニ、性質ガ違フモノデアツテモヤハリ家庭用ノ炭ヲ切りマシテ「バス」用ノ炭トシテ從來出シテ居ツタサウデアリマス、ソレハ一依ニ對スル切リ賣ハ四錢デ済ムサウデアリマス、所ガ切リマシテ之ヲ「バス」用ノ木炭ナリトシテ出セバ、ソレコト十錢乃至八錢ノ差額ガアルモノデアリマスカラ、一依ニ付テソコニ十錢若クハ八錢ノ收入ガ殖エル、是ハ殆ド公認サレマシテ、其ノ檢査ガアルカモ存ジマセウカ、ソレコト深イ檢査デナイト見エマシテ、是ハ公然通ツテ居ルサウデアリマス、ソレカラ又は何處デ行ハレタコトデアリマスガ、木炭ノ取引ニ對シマシテハ、十車買付ケマスト十車分ノ金ヲ拂フ、而シテ是モ其ノ設法行爲ガ合理化スル爲デアリマセウカ、此ノ十車分ノ金ヲ拂フテ自分ハ十車ノ中八車ヨリ受取ラス、二車ハソレヲ

マシタガ、是ハ或ハ農林省ノ範圍デナイ、所管事項外ト仰シヤルカトモ存ズルノデアリマスガ、現在生産シテ居リマス所ノ木炭、一般家庭用ノ木炭ト「バス」ニ使ヒマス所ノ木炭トニ於テハ、私ハツキリシテ數字ヲ忘レカ十二錢トカノ差ガ公定價格デ認メラレテ居ル、ソレハ私個人デ能ク分リマセウカ、「バス」ニ使用スル所ノ木炭ト一般家庭ニ於テ使用スル木炭トハ其ノ生産ノ行程ガ無論違フノデアリナイカト私ハ考ヘルノデスガ、然ルニ「バス」用ノ木炭ハ十四錢バカリ高イモノガカラ、一般家庭用ノ木炭モ之ニ準ジテ、是ハ一種ノ合法的設法ト云フカ、マア設法ニ合法的ト云フコトハナイデセウケレドモ、設法ヲ合理化スル爲ニ、性質ガ違フモノデアツテモヤハリ家庭用ノ炭ヲ切りマシテ「バス」用ノ炭トシテ從來出シテ居ツタサウデアリマス、ソレハ一依ニ對スル切リ賣ハ四錢デ済ムサウデアリマス、所ガ切リマシテ之ヲ「バス」用ノ木炭ナリトシテ出セバ、ソレコト十錢乃至八錢ノ差額ガアルモノデアリマスカラ、一依ニ付テソコニ十錢若クハ八錢ノ收入ガ殖エル、是ハ殆ド公認サレマシテ、其ノ檢査ガアルカモ存ジマセウカ、ソレコト深イ檢査デナイト見エマシテ、是ハ公然通ツテ居ルサウデアリマス、ソレカラ又は何處デ行ハレタコトデアリマスガ、木炭ノ取引ニ對シマシテハ、十車買付ケマスト十車分ノ金ヲ拂フ、而シテ是モ其ノ設法行爲ガ合理化スル爲デアリマセウカ、此ノ十車分ノ金ヲ拂フテ自分ハ十車ノ中八車ヨリ受取ラス、二車ハソレヲ

實ツタ方ニ保管ヲシテ賣付ト云フ形式ニシテ、二車ハ前ノ方デ保管ヲシテ置イテ必要ナ時ニ出シテ與レ、併シ保管ニ對シテモ盜難其ノ他ノ責任ハ一切負ハヌデモ宜イト云フヤウナ、極メテ巧妙ナ方法ヲ行ハレテ居ル、實際ハ十車分ノ取引モ八車分シカ来ナイノデスカラ、二車分ハ向フノ不當利得ニナルコトナラウト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナコトデ、極メテ經濟警察ニ提ヘラレマシタ場合ニモ十分ニ辯明ノ出來マデアツテ、此ノ外ニモ幾多方法ガアルサウデアリマス、是等ハ極メテ巧妙ナ一二ノ例ヲ擧ゲテ過ギナイデアリマスガ、是等ニ對シマシテハ、折角農林當局ナリ商工當局ナリガ聯繫ヲ執リマシテ増産配給ニ御努力ニナツテモ、他ニ斯ウ云フヤウナ事項ガ屢々繰返サレテ居リマスノデ、是又消費者ニ對シテハ、實際ニ非常ニ迷惑ノ掛カル問題デハナイカト考ヘマスノデ、是等ニ對スル豫防ト申シマセウカ、無論犯罪ヲ防ジテハハレノデスガ、是等巧妙ナル方法ノ防止ト云フヤウナ點ニ對シテ、農林當局ハドウ云フ考ヲ持チ、又如何ナル方法ヲ商工省ト連絡ヲ執ツテ取締ニ當ラレルカト云フコトヲ私ハ尋ネテ見タイト思フデアリマス

○田中政府委員 閣取引ガ木炭ニ付テモ行ハレテ居ツタコトニ付キマシテ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマス、隨ヒマシテ地方廳ニ於キマシテモ警察關係ニ於テ相當取締ツテ居ラレノデアリマスガ、如何センドウモ各方面ニ付テ色々ナ問題ガ現ハレマシテ、十分出來ナイヤウナ實情ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ若キト致シマシテハ、ヤハリ警察取締ヲケテ以テ斯ウ云フコトヲヤルコト云フ

○林委員 一寸關聯シテ、次ノ木炭需要期ニ對シテ農林省ノ執ラレル態度ニ付テ、只今小野委員ノ御質問ニ當局ノ御答デゴザイマシタガ、其ノ中消費ノ節約ト云フコトヲ擧ゲラレタヤウデゴザイマスガ、此ノ點ヲ私ハ實ハ御懸念シタコトデアリマス、唯觀念上ノ問題トシテ、消費ノ節約スレバ餘ルト云フコトハ分ツテ居リマスガ、併シナガラ消費節約デドノ位ノ數量、全體ノ上

○田中政府委員 消費節約ハ有ニル物資ニ付テ非常ニ難カシイ問題デアルコトハ、御話ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ消費節約ノミニ頼ツテ此ノ供給ノ「バランス」ヲ取ルト云フ考ハ持つテ居ナンデアリマス、消費節約ヲ國民的運動トシテ是ガ爲サレ、更ニ出來得ルナラバ大口需要者ニ對シテモ、必要ノ程度ニ應ジテ、或ル程度ヤハリ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論増産計畫ノ遂行ニ付テハ、極力ヤラナケレバナラヌト云フ考デアリマス

問ヲ終リマス

○野村委員 川俣君

○川俣委員 昨昨日ニ續イテ木炭對策ニ付テ局長ニ御尋シタイト思フデアリマス、昨日ハ國有林ノ原木ノ拂下ニ當ツテ、隨意契約トハ言ヒナガラ單價カラ言ヒマスレバ、値上リハ來シテ居リマセスケレドモ、所謂製炭サレタ結果カラ見ルト、値上ト同ジヤウナ状態ニマデ見積リガ嚴格ニナリ、豫定數量ガ生レテ來ナイ、製炭サレナイト云フ結果、原木ノ値上リニナツテ居ル結果ヲ來シテ居ルト云フコトヲ御尋致シタノデゴザイマスガ、政府ハ斯ルコトハナイト云フコトヲ言明サレテ居リマセケレドモ、隨意契約ニ依ル場合ニ、今マデノ寬大デアツタノガイカスノデ、今度ハ嚴格ニヤルノガヤハリ至當ダト斯ウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御尋シタイト思ヒマス

○田中政府委員

寬大トカ嚴格トカ云フヤウナコトハナイデアリマシテ、形式的ト言フト怒ラレルカモ知レマセガ、合法的適正ナル評價ヲ拂下ゲル譯デアリマス、唯多クノ營林署員ノヤルコトデアリマスガ、或ハ比較研究ヲ致シマスレバ、多少ノ難點ガアルカモ知レマセガ、何シロ御承知ノ通り原木ニ對スル操作ハ非常ニ難カシクテ、前ニ燒イタモノト、後ノ拂下原木トノ比較ト云フモノハ、是ハ活キ物デアリマスガ、中々難カシイコトデアリマス、具體的ノ場合ニハ色々論難ルカ點ガアルカモ知レマセガ、若シアリトスレバ、サウ云フ點ハ直サセマスガ、現ニ角適正ナ方法デアラセルト云フ考デアリマス

○川俣委員

是ハ民有林ニ付デアリマス

レバ、生産サレタ結果ケケナラ所謂検査ニ依ツテ大體御分リニナルト思ヒマス、併シ民有林何石伐村ノ上何石燒イタカ、或ハ何立方米燒イタカ、何坪賣山致シタカト云フヤウナコトハ、ソレハ御知り得ラレナイダラウト思ヒマスケレドモ、國有林ニ付テハ既ニ所管ノ營林署デアリマスレバ、ドノ程度ノ原木ヲ拂下ゲタカト云フコトハ明瞭デアリマス、隨テソコカラ出テ參リマス炭ノ數量ト云フヤウナコトモ、最初カラ豫定サレテ居ルコトデアリ、一昨午或ハ一昨午年アツリマデニ拂下ゲタ原木カラ生レタ數量ト、今年度即チ十四年度ニ於キマシテ原木ヲ拂下ゲラレマシタ結果カラ生レタ數量ヲ御引合セナリマスレバ、ドノ程度原木ニ於テ價格ヲ上ゲテ居ツタカト云フコトハ明瞭ニナルノチヤナイカト私ハ思フデアリマス、勿論山相ノ状態デアルトカ、或ハ交通ノ便不便等ニ依リマシテ原木ノ値段モ必ズシモ同一デナイコトヲ私共認メマス、併シシナガラ十二年度、十三年度ニ比較致シマシテ、恐ラク坪當リ石數ニ致シマシテ同ジ石數デアリナガラ國庫ノ收入ガ殖エテ居リハセスカ、サウ致シマスレバ、單價ヲ上ゲナイデ收入ガ殖エタト云フコトハ、結局石數ノ見積リ方ガ嚴格ニナツタノダ、ソレヨリ私ハ收入ガ殖エル方法ハナイノデハナイカト思フ、去年ハ十石拂下ゲタ、今年ハ十石ダト云フガ、其ノ十石ハ計算テ言ヘバ同一ノ十石デアリマスケレドモ、去年ハ十一石アツテモ十石ト計算ヲシテ、今年ハ十石ハ十石ト計算スル、確ニ計算上ハ間違ヒナイコトデアリマセウカ、ヤハリソコニハ御承知ノ通り木材ノ測定ト云フモノハ相當ナ手心ガ出來ルモノデアリマス、手心ガ出來ル

○田中政府委員

ト云フコトヨリモ、手中心ト云フ心持ニナラナイニ致シマシテモ、餘裕ヲ以テ推定スルノト、嚴格ニ推定致シマスノトデアハ、結果ニ大キナ隔リガ出ルコトハ當然ダト私ハ思フデアリマス、ソコデ政府ノ方針トシテ原木ヲ値上ゲラテ致サヌト云フコトヲ現實ニ、如實ニ實行ナサルト云フ方針ヲ立テテ居ラレマスナラバ、其ノ趣旨ヲ徹底サセナケト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、實際ハ嚴格ニヤツテ、否見積リ過少ニシテ收入ヲ殖カ、其ノ點ヲ御尋致シタイノデアリマス

○田中政府委員

國有林ノ拂下ニ付テハ是ハ申上ゲルマデモナク會計法ノ命ズル所ニ從ツテヤラザルヲ得ナイノデアリマスガ、其ノ範圍ノ事情ノ必要デアルコトハ勿論デアリマス、氣持ト致シマシテハ御趣旨ノ通り、殊ニ地元山村民ニ對スル問題ニ付キマシテハ、今デハ一人々々拾ヒ上ゲル譯デアリマセスガ、殆ド事情ヲ以テ營林署員ハ對シテ居ルト云フ確信ヲ持つテ居リマス、ノミナラズ端的ニ是ガ方針ニハナリマセスケレドモ、昨日申上ゲマシタヤウニ軍需材、輸出資材、薪炭材、坑木、原木ニ付テハ公賣制度ヲ廢メ省令ヲ以テ特賣制度ヲ執ツタト云フコトハ、少クモ政府トシテハ價格ヲ或ル許サレル範圍ニ於テ成ベク安價ニシヨウト云フ方針ハハツキリシテ居ルト思ヒマス

○川俣委員 原木ノ値上ヲセスト云フ政府ノ聲明ヲ得マシテ、其ノ徹底ヲ政府モ期セラレシコトヲ希望シ、吾々モ若シモ斯ルコトガアリマスレバ、今後ハ嚴重ヲ警告ヲ發シタイト思フデアリマス、政府ハ單價モ上

ゲテ居ナン、斯ウ云フ御説明デアル、地方ノ營林局、營林署ニ於テモ單價ヲ上ゲナイト云フコトヲ申シテ居リマスケレドモ、是ハ參考デスケレドモ、一體木ヲ伐ツテ參リマスト段々奥ニ入ルコトニナリマス、即チ交通ノ便ガ一步々ト困難ニナツテ來ルノデアリマス、隨テ山相カラ見レバ別デアリマスガ、交通ノ便カラ見ルト、奥ニ入ルニ從ツテ大體單價ガ安タナルノガ普通デアリマス、其ノ山ガ大體山相モ似テ居ルモノト見マス、サウスルト山ノ中部ヨリモモツト高クナツタ所ヘ行キマスレバ單價ガ安タ見積ラレルノガ當然デアリマス、所ガ昨年特賣ヲ受ケテ拂下ゲタヨリモ、今年ハ一歩山ノ奥ニ入ツテ居リナガラ價值ガ變ラナイト云フヤウナコトガ事實アリ得ルヤウデアリマス、サウスレバ單價ハ上ゲナイケレドモ、不便ニナツタ分チヤハリ上ツテ居ルトスウ見做スベキ點モナイ譯デアリナイデアリマシテ、私共ハ政府ノ低物價政策カラ生レテ參リマス原木ヲ上ゲナイト云フ趣旨ヲ、山村ノ隅々マデ徹底セシメル意味カラモ、又政府ノ政策ガ那邊ニ在ルカト云フコトヲ徹底サセル上カラモ、所管ノ末梢神經ニ至ルマデ其ノ趣旨ヲ徹底サレト同時ニ、炭ヲ燒イテ居ル者ニモ其ノ趣旨ガ徹底スルヤウ御取計ヒアラシコトヲ私ハ切望スルノデアリマス

○田中政府委員 消費節約ハ有ニル物資ニ付テ非常ニ難カシイ問題デアルコトハ、御話ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ消費節約ノミニ頼ツテ此ノ供給ノ「バランス」ヲ取ルト云フ考ハ持つテ居ナンデアリマス、消費節約ヲ國民的運動トシテ是ガ爲サレ、更ニ出來得ルナラバ大口需要者ニ對シテモ、必要ノ程度ニ應ジテ、或ル程度ヤハリ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論増産計畫ノ遂行ニ付テハ、極力ヤラナケレバナラヌト云フ考デアリマス

テ居ル所ヨリモ、モット別ナ所ニアルノデ
ハナイカト云フコトヲ指摘シテ申上テ居
ルノデアリマスガ、私ガ指摘シテヤウナ傾
向ガ不幸ニシテ生レテ來テ居リマスコトヲ
遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一般ニ言
ハレテ居リマスコトハ、物價ガ高クナツテ
來、労働賃金ガ高クナツテ來テ利益ガ
ナイト云フト炭ヲ燒カナイ、斯ウ云フ風ニ
總テ規定サレテ居ルヤウニ思フノデアリマ
ス、労働賃金ガ高ク、物價ガ高ク、炭
ダケガ安クレバ決シテ炭ヲ燒ク者ハナイ
ト、斯ウ云フ風ニ言ハレルノデアリマス
レドモ、成程一面ヤウモ言ヘナイコトハ
アリマセウケレドモ、私ハ必ズシモサウ
デハナイト思フテ居リマス、所謂資本家ノ
考ヘラルヤウナ今日ノ營利經濟ヲ營ンデ
居ラレル人カラ見マシムレバ、炭ヲ燒ク
タナリ或ハ諸物價ガ高クナレバ、炭ヲ燒ク
者ガナイデアラウト云フコトハ、誰デモ想
像サレル點デアツテ、其處ガ急所デアリヤ
ウニ考ヘラレト思ヒマス、所ガ私ハ今日
マデ炭ヲ燒イテ參リマシタ燒子ノ心理ハ、
必ズシモ儲ルカラ炭ヲ燒ク、儲リナイカラ
炭ヲ燒カナイト云フヤウナ簡單ナ考デ今日
マデ參ツテ來テ居ナイト思フ、ソレ程賃
經濟ニ禍ヒサレテ居ナカク、サウ私ハ
見テ居ルノデアリマス、一體收支價ハナケ
レバ生産ニ從事シナイノガ普通デアリマス
ケレドモ、山村ノ農民ノ生活ト云フモノハ
必ズシモサウデハナイ、ソコニ私ハ山村ノ
美風ガアリ特質ガアルト思フ、此ノ美風ヤ
特質ト云フモノハ失ハレト再ビ取戻スコ
トガ出來ナイ特質デアルケレドモ、今日マ
デサウ云フ特質ヲ持ツテ來タノダ、隨テサ
ウ云フ特質ヲ逆用サレマシテ、今日マデ炭

ノ價格ト云フモノハドシナニ安クテモ炭ハ
燒クモノダ、ドシナニ他ニ好景氣ガアツテ
モ炭ハ燒クモノダ、斯ウ云フ所謂調子巧
ニ逆用サレテ、今日マデ炭ノ値段ト云フモ
ノガ割ニ合ハナイ計算ヲサセラレテ來タ、
斯ウ云フ特質ヲ逆用サレテ結果炭ノ價格單
價ト云フモノガ安クナリテハナカク、
ト私ハ思フノデアリマス、所謂山村ノ美風
ヲ逆用サレテ、特質ヲ逆用サレテ云フコ
トガ今日マデ炭燒ガ非常ナ窮地ニ陥ツテ居
ツタ原因ノ一ツデアルト思フ、炭ノ生産費
ニ致シマシテモ、物價局邊リノ御計算ニ依
リマシテ、アア云フ價格ヲ算定サレマシタ
ノモノ、私ハ此ノ特質ヲ逆用サレテ所ル所
ノ通念ニ基イタノデハナカク、アア云フ
サウデナレバ、アア云フ生産費ハ生レテ
來ナイ、吾々ノ計算スル所ニ依リマシテハ、
斯ル安イ生産費ハ算定出來ナイ、他ニ原本
ト云フモノヲ正確ニ見積リマシテ、原本ノ
數量測定ヲ嚴格ニ致シマシテ、是ダケノ材
石カラ炭ヲ燒キマシムレバ、斯ル安イ生産費
デ炭ガ一依焼上リ出來ルモノデハナイト思
フ、ソレデハ何處ニ今マデノ燒子ノ利益ガ
アツタカ、何故炭ヲ燒イタカト云ヘバ、其
ノ一點ハ他ニ利益ノアル仕事ニ取ツテヨリ
モ、長年慣レタ場所ニ於テ、慣レタ仕事ニ
於テ收入ヲ得ラレト云フコト、モウ一ツ
ハ家族共ニ一ツノ生産事業ニ當ルニテ云フ
コト、モウ一ツハ計算ハ出テ來ナイケレ
ドモ、若シ此ノ立木ヲ燒クト二百依ナラニ
百依出來ルノダ、斯ウ見積ラレタニモ拘ハ
ラズ、燒キ方巧クテ二百二十依乃至三十
依出來タ、其ノ二十依、三十依、結局所謂
立木ノ見積ノ寬大サトモ見ルベキ所カラ生
レテ來ル餘得ガ燒子ノ利益ダツタ、二百依

ヨリ出ナイト云フ炭ヲ二百依燒クナラバ、
ソレハ二十五六錢カ三十五六錢ノ一日ノ手
間ニシカ付キヤウガナイ、生産費ノコトヲ詳
シク申上テマシムレバ分ルト思ヒマスルガ、
今ハ申上テマセウガ、二百依出來ル炭ヲ二
百依燒イタナラバ、一日ノ手間ハ二十五六
錢カ三十五六錢ニシカナラナイ、ソレヲナ
燒イタカト云ヘバ、今申上テマシタヤウニ
一ツハ二百依ヨリ出ナイト云フ炭ヲ、實際
ハ燒子ノ技術モアリマセウシ、見積ノ寬大
サカラモアリマセウガ、二百二十依燒イテ
ソコニ一割ノ餘分ガ出來タ、ソレガ燒子ノ
餘得デアル、モウ一ツハ一四五錢、一四
八十錢或ハ二四〇ト云フ労働賃銀ノ者ヲ使
タノデハ炭ハ斯ル安價ニハ燒キ上ラヌモノ
デアリマスケレドモ、六十、七十ト云フ老
年デ、他ノ仕事ニ掛ケテハ一日一人前出來
ナイデ三分前ヨリ出來ナイ者、或ハ十二三
歳、或ハ七八歳ノ二分カ三分前シカ出來
イ家族ノ労働ヲ全部合シマシテ、一家ノ勞
働トシテ炭ヲ、燒クコトガ出來ルト云フ所
ニ、炭價ガ安クテモ炭ヲ燒イテ參ツテ理山
ガアルト私ハ思フテ居ルノデアリマスガ、
此ノ點ニ付テ見解ヲ同ジサレルカ、異
ツテ見ラレマスカ、其ノ點ヲ御尋致シマ
○田中政府委員 原本ノ拂下ガ寬大デ、燒
歩ノ利益ガ多クナルト云フ點ヲ除イテハ、
御趣旨ニハ同意デアリマス

有林ニ入ル、ソレバカリデナク、官有
林ニ致シマスレバ、競争入札ナラバ、
リマス、競争者ガナカク場合ニハ民有
林ノ方ガ安イ、最近ノヤウニ競争者ガ激
シケレバ炭燒子同土ノ競争デハナイガ、
他ノ建築材、或ハ坑木材或ハ其ノ用材
或ハ薪材等トノ競争ガ激シケレバ、民有林
ノ燒子ハ官有林ニ移動スルノデアリマス、
御承知ノヤウニ、今日デハ木炭ヲ燒クヨリ
モ薪ノ儘賣ツタ方ガ得デアリマス、ソレ
程原本ガ値上リ致シテ來テ居リマス、官有
林カラ炭材トシテ拂下ゲテ居リナガラモ、
其ノ儘賣ツタ方ガ利益ダツタコトヲ、
炭ヲ燒カヌデ薪ヲ賣出シタ場合、隨意契約
ノ規則違反デ營林署カラ大分御叱リ受ケ
タト云フ例ヲ聞ク位ニ原本ノ方ガ高クナツ
テ居ル、高クナルト云フコトバカリデナク、
ソレガ價格ニナルト云フコトニナリマスレ
バ、全ク燒子ノ餘得ガナクナル、私ハ別ニ
見積リ寬大ニ餘分ニシテ與レトハ必ズシモ
言ハナイ、會計法モアルコトデアリマシテ、
國家ノ一ツノ財産デアリマスカラ、如何ニ
燒子ガ氣ノ毒ダカラ申セ、悲惨ナ生活ヲシ
テ居ルカラト申セ、個人ニ對シテサウ云フ
特別ノ計ヒヲ以テ實際アル數量以上ノ數量
ヲ餘分ニヤルト云フコトハ、適當ヲ缺クコトデ
其ノ點ハ認メマス、併シナガラ恐ラクド
ナ仕事ニ致シマシテモ、例ヘバ一反ノ生地
ヲヤツテは何故ノ「エブロン」ニ指ヘロト
カ、或ハ軍需品ノ中、木材ハ何石トカ、或
ハ何貫目ノ釘ヤルカラ幾ツノ箱ヲ造レト
言ツテモ、全然餘裕ナシニ現在ヤツテ居
カト申セバ、釘カラ見テモ、木材カラ見
テモ、餘裕ガアル筈デアル、今日軍需工業ヲ
ヤツテ居ラレル人々ニ鐵何處或ハ鉛板何

應、或ハ石炭何處ト見積ツテ賣ツテ居リマ
シテモ、餘裕ナシニハ賣ツテ居ラヌノデア
リマス、必ズ「ロス」ヲ見テ賣ヒ、「ロス」以
上ノ物ヲ見テ賣ツテ居ル、ソコデ私ハ事業
ガ成立ツテ居ルヤウニ考ヘルガ、燒子ダツ
テアノ山ノ中ニ入ツテ燒キ縮尻ルコトモア
ル、サウシテ價格ニ二百依ナラニ二百依シカ
燒ケナイ時ニ、若シ縮尻レバ九十依或ハ
百八十依依シカ燒ケナイト云フヤウナ嚴格
ナ拂下ゲ方ヲシタナラバ、燒子ヲ官有林カ
ラ奪ハセ、セルコトニナルト私ハ思ヒマス、
失ツタツテ惜シクナイト言ヘバソレマデ
アリマスガ、一度燒子ガ他ノ方ヘ轉業スレ
バ、再ビ燒子ニナルコトハ中々考ヘラレ
ナイ、決シテ山奥ノ製炭ハ好イ仕事デハナイ、
割ノ悪い仕事デ、決シテ見榮ノ好イ仕事デ
ハナイケレドモ、長年ヤツテ居タト云フ慣
習ニ捉ハレテ居ルヤウナモノデ、二年デモ
三年デモ例ヘバ樺太、或ハカムチャツカ方
面ノ漁業労働ニ行ツテ來テ、兩館附近ニ於
ケル一海上生活ノ苦ミモアルガ享樂ヲ考
ヘルト、又燒子ヲ廢メテ樺太、或ハカムチ
ヤツカヘ行キ、或ハ北海道ヘ止ツテ漁場ヲ
轉々廻リ、炭鑛ヲ轉々廻ルト云フヤウナコト
ニナツテ、元ノ燒子ニハ戻ツテ參リマセ
ヌ、隨テ今日一寸政策ヲ誤リマス、益、燒
子ヲシテ其ノ職カラ離レシムルヤウナ結果
ニナツテ參リマシテ、是カラ燒子ヲ作ル
云フ時代デハナクナツテ居リマス爲ニ、燒
子ト云フモノハ私ハ尊重シテ考ヘナケレバ
ナラヌ時代デアルト思フノデアリマスルケ
レドモ、再度此ノ點ニ付テ御尋致シテ置キ
マス

ノデハナイカト云フ考ヲ持ツテ指導シ、
吾々トシテモ考ヘテ居リマス、燒子ニ去
レテハ仕事ガ出來マセウカラ、其ノ點ハ出
來ル範圍デ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、勿
論物質的ニハ官行製炭ハ非常ニ不利益デア
リマスガ、其ノ代リ手ノ届クヤウニ指導シ
テヤツテ居ルノデアリマス

○田中政府委員 相當細カク格差ヲ付ケテ
決メテ居リマス、併シ人ノヤル仕事デア
リマスカラ、中々具體的ノ問題トシテハ、必
ズシモ總テガ満足デアルト云フ確信ハ實ハ
持ツテ居ナイノデアリマスルガ、アノ當時
アノ方法ハ已ムヲ得ナイ程度デアツタト確
信ヲシテ居リマス

ヘテ居リマス、勿論今後ノ地方ノ協力ガ絶
對ニ必要デアリマスカラ、其ノ地方ノ協力
ノ如何ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、計畫ト
シテハ出來ルモノダト思フテハ居リマス
○川俣委員 其ノ豫定數量ノ中ノ原本別ニ、
官有林ガ幾ラ、民有林ガ幾ラデアリマセウ
カ

○田中政府委員 燒子ノ尊重ハモウ非常ニ
尊重シテ居リマシテ、更ニ是デモ足りナイ
八以前ノ、今日ノ公定價格ヲ決メマスル以
前ニ取引サレタ價格ハ、其ノ當時ノ情勢カ
ラ見テ妥當ト御思ヒニナツタノデセウカ

○川俣委員 昨年度決定致サレマシタ九・一
八以前ノ、今日ノ公定價格ヲ決メマスル以
前ニ取引サレタ價格ハ、其ノ當時ノ情勢カ
ラ見テ妥當ト御思ヒニナツタノデセウカ

○田中政府委員 尙ホ申上ゲタイコトハ澤山ア
ルノデスガ、モット細目ニ互ツテ此ノ點ハ
ハツキリサセタイト思フノデス、ケレドモ
局長モ御用意ガアルヤウニ見受ケマスカラ
政府ニ於テ木炭配給法ヲ本議會ニ御出シ
マシテ、私ノ質問ハ其ノ程度デ打切りタイ
ト思ヒマスガ……

○田中政府委員 原本ノ値段ハ段々ト高ク
ナツテ來テ居リマスカラ、之ニ付テハ今朝
程モ申上ゲタヤウニ、原本供給ニ際シテハ
民間ニ於テ委員等ヲ設ケテ相談シ、又
政府トシテモ色々ナ方法ヲ以テ、原本ヲ安
價ニ確實ニ提供シテ賣フト云フヤウナ方法
ヲ執リタイト思フテ居リマス

○田中政府委員 其ノ點ハ全國的ノ資料ヲ
此處ニ持ツテ居リマセウノデ、正確ニ申上

實ハ率直ニ申上ゲテ積リデアリマス、或ハ私ノ答辯ハ、上ノ方カラハ、アソナ答辯ハ言ヒ過ギデハナイカト言ハレル位ニ、率直ニ今マデ申上ゲテ居リマス、ノミナラズ今ノ問題ニ付テモ、實ハ其ノ時ノ主任官ノ打合せ會議ニ於キマシテ、勤勞奉仕ガ主カ、木炭増産ガ主カト云フ質問ニ對シマシテハ、勤勞奉仕ガ主カ、併シ手段ハ木炭増産ニアラシメテ居ルコトヲ、其ノ打合せ會議デモハツキリ申上ゲテ居リマス、サウ云フコトデ御承テ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ木炭ノ増産ニ億貫ト云フノハ、全國的ノコトデアリマス、而シテ東北六縣ニドノ位割當テラカト云フコトハ、實ハマダ決メテ居リマセス、ヤハリ十四年度ノ實績ヲ見テ決メタイ、既ニ十四年度ノ一億四千萬貫ハ割當テマシタガ、實ハ縣ニ依ツテハ無理ナ所モアリマシタガ、ソレカラ昨年ハ早害地方ガアリマシタカラ、其ノ早害地方ニ付テハ、今年ハ又別ナ考ヲ持タナケレバナリマセスカラ、今ノ所マダ割當テシテ居リマセスノ位ト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○林委員 東北ニ於ケル木炭増産ノ數字ハマダ分ツテ居ラズト云フ御答辯デアリマスガ、ソレデハ御同致シマスガ、東北ニ對シテ十四年度ニ期待サレタ増産額ヨリモ、更ニ相當ニ増スコトヲ期待サレラグラウト思フノデアリマスガ、御配付戴イタ資料ニ依ツテ見マスノニ十四年度ニ於テハ東北ニ對シテ三千六百萬貫ノ増産ヲ期待サレテ居ルノデアリマス、サウシテ精々努力サレタ結果、此ノ増産ハ期待シ難イコト云フ御報告デアリマス、洵ニ御尤モダト云フヨリモ、

寧ろ此ノ資料ノ報告ノ書キ振リガ私ハ満足シナイ、否誤ツテ居ル御報告ダト思フ、ト云フノハ此ノ御報告ニ依リマス、増産ガ期待出來ナイト云フノデゴザイマスガ、増産ドコロノ話デハゴザイマセス、平年産ノ三割減ト云フノガ實際ノ數量ト思ヒマス、平年産サヘモ期待出來ナイノニ、増産ガ期待困難ダナト云フノハ、ドモ書キ振リガ世ノ中ヲ欺クヤウナコトデハナイカト思フノデアリマス、而モ昨十四年度ニ於テサヘモ人手ガ足りナイ爲ニ、又物ガ上ツタ爲ニ増産ガ出來ナカッタノニ、今年ハ更ニ物ガ上ルコトハ應大ナ豫算ニ依ツテモ想像ガ出來マス、ノミナラズ東北カラ拓務省ガ多クノ青年移民ヲ期待シテ居ル、拓務省バカリデナイ、其ノ他ノ各省ニ於テモ東北ニ人ノ資源ヲ期待シテ居ルコトハ即チ東北カラ人ノ資源ガ減ツテ行クコト云フコトナラズ、益々人ノ資源ガ減ツテ行キ、物ガ高ナツテ行ケバ、十五年度ニ於テ十四年度ヨリモ減收セルコト當然デス、然ルニ二億萬貫ノ増産セルコト當然デス、少クトモ其ノ何割カハ東北ニ期待サレラデアリマセウガ、實ニ私ハアナタ方ノ御計畫ガ不安デ堪ラナイノデス、何カ一ツヤウコトニ付テ、ソラ此ノ通りト云フコトノ御示ヲ願ハレルモノナラバ本當ニ信ジテ行ク心持ヲ持ツテ行キタイノデス、サウ云フ去ノ事實ガ鬼角御計畫ノ通りニ行ツテ居ナイ、サウシテ今伺ツタコトノヤウニ、青年、學生ヲ動員シタノハ炭ヲ作ル爲デハナイ、社會奉仕ガ目的ダナト云フコトニナツテハ、實ニドモ何處マデ信ジテ行ク

テ行シテ宜イカ分ラナイノデゴザイマス、ドウカ増産計畫ニ付テハ、モツト徹底シタ所ノ具體案ヲ立テテ吾々ニ御示ヲ願ヒタイ、是ガ即チ東北ノ振興問題ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居ル、炭ヲドレダケ増産スルカ、又人的資源ヲドウ云フ風ニ見テ居ラレルコト云フコトハ、東北ノ振興上由々シキ重大ナル關係ヲ持ツノデゴザイマスカラ、是非トモ此ノ委員會ノ終了シナイ内ニ、東北ノ薪炭増産計畫ニ付テ承ツテ置キタイノデアリマス

○川俣委員 先程局長ガ農林省トシテ木炭配給ノコトハ是レ以上大シテ考ヘテ居ナイト云フ御話デアツタケレドモ、商工省デハ何カ御考ニナツテ居リハセヌカ

○田中政府委員 全體的ノ配給機構ヲ改メルヤウナ計畫ハ考ヘテ居ナイト云フコトヲ申上ゲテデアリマス、需給調整策ニ付テハ目下考ヘテ居リマス、併シマダ確定シタコトテ居リマセスカラ御發表マデニ至ツテナイト云フコトヲ御承テ願フ、斯ウ申上ゲタ譯デアリマス

○川俣委員 ソレト今年ノ増産トハ關係ナク御考慮ニナリ得ラレルノデスカ

○田中政府委員 無關係ト云フコトハ出來ヌト思ヒマス、或ル程度ニ關係ガアリマス

○小野委員 今局長カラ伺ツタノデアリマスガ、二億萬貫ノ増産計畫ニ付テ、此ノ間農林大臣カラ私ノ質問ニ對シテ斯ウ云フ御答ガアツタノデス、(大キナ數量ヲ炭ノ要ラナイ時期ニモ燒カシテ、燒溜メヲシテ置イテ、ソレヲ必要ナ時ニ段々流シテ行クコト云フ工夫ヲ考ヘテ行クコトガ一番安全デハナイカト云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ只今研究シテ、之ニ對シテハ立案ヲシテ、成案ヲ得マ

スレバ、此ノ議會中ニデモ追加豫算ナリ或ハ立法ノ形ヲ以テ御相談ヲ願ヒ、御協賛ヲ仰グヤウニシタイト云フコトデ、今折角其ノ點ニ付キマシテハ努力ヲシテ居リマスガ、此ノ既ニ御協賛ヲ得タル豫算ノ中ニモ、増産計畫トシテ、所謂燒子ノ養成ト云フヤウナコトニ付テハ、相當ノ費用ヲ認メテ貰ツテ居ルデアリマスカラ、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ二億萬貫ノ増産計畫ハ、吾等ガ協賛ヲ與ヘテ今貴族院ニ廻ツテ居ル豫算ノ中ニアルダケノ手配出來ルト思フカ、農林大臣ガ仰シヤウナ前段ノ點モ、今折角考究シテ居ル、是カラ議會ニモ協賛ヲ仰ガウト云フ施設ヲモ合セテ初メテ此ノ二億萬貫ノ増産ガ出來ルト云フノデアリマスカ

○田中政府委員 多少關係ヲ持ツテ居リマスケレドモ、併シ大體ハ貴族院ニ回付サレタ豫算ノ範圍ニ於テ、ソレガ大部分デゴザイマス

○小野委員 今考ヘテ居ルコトガ成案ヲ得ナクテモ、只今マデノ計畫ダケデモ大體出來ルト、サウ云フ意味ニ諒承シテ宜イカ

○田中政府委員 現在認メラレタ豫算ダケデアリマスト非常ニ努力ヲ要スル、更ニ考ヘテ居ルコトガアリマスレバ其ノ努力ガ割合輕減サレルグラウト、斯ウ思ツテ居リマスカ

○小野委員 ソレデハ今御考ニナツテ居ルコトハ、近イ將來具體化シテ此ノ議會ニ何カノ案ニナツテ出來ルト、斯ウ承知シテ宜イカ

○田中政府委員 大臣ノ御答辯ヤウニ計畫ガ進ンデ居ルノデアリマシテ、最後ノ政府トシテノ確定ガアルカドウカガ問題

デアリマスガ、大臣ノ御答辯ノ程度ト御諒承テ願ヒタイ

○小野委員 サウナツテ參リマス、今マデノ決ツタ 無論貴族院モ協賛ヲ與ヘルデセウガ、衆議院ダケハ通ツタ豫算ノ範圍内デヤツテ出來ナイコトデハナイガ、非常ニ努力ヲ要スル、其ノ努力ヲ要スル量ノ範圍ハ私共共々分リマセス、大變私共不安ガ出來ルト思ヒマスガ、サウ諒承シテ宜シイカ

○田中政府委員 御尤モデアリマス、努力ノ測定ハドウモムツカシイノデスガ、併シ御承知ノ通り、十四年度ニ於テハ非常ニ派ラマシイ程ノ、生産業者ハ勿論デアリマスガ、縣廳等ニ於キマシテモ、其ノ他民間有志ニ於カレマシテモ、餘程努力ヲシテ戴キタイノデアリマス、十四年度ノ増産ニ付キマシテモ、早害其ノ他目的ヲ達スルカドウカハ一寸疑問デアリマスケレドモ、其ノ上ニ増産デアリマスカラ、勿論吾々ト致シマシテハ林道 御承知ノ通り十四年度ハ林道計畫百萬圓ニ過ギナカツタノデアリマスガ、ソレガ五百萬圓ニナツタ譯デアリマス、其ノ林道ニ付テモ既ニ計畫ヲ立テマシテ、何時モナラバ、四月ニ主任官會議ヲ開キマシテ相談スルノデアリマスガ、本年ハ既ニ二月二十三日頃デシタカ、開キマシテ、大方ノ意見ヲ聽イテ豫算ノ御協賛ヲ經レバ成ベク早イ機會ニ林道計畫ニ著手ノ出來ルヤウニ準備モ實ハ致シテ居ル譯デアリマス、サウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、薪炭材ノ供給ヲ更ニ一層潤澤ニスルコト云フ計畫ヲ持ツテ居リマスカラ、サウ云フ計畫其ノ他デアリマスケレドモ、大部分ハサウ云フ計畫ノ下ニヤレル、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ戴イテ宜カラウト思ヒマス

○小野委員 端的ニ大臣ノ仰シヤウナヤウニ出セルト局長カラ御答ガ出來マセヌカ

○田中政府委員 其ノ通りデアリマス、大臣ノ御答辯通りニ御諒承願ヒタイ

○林委員 關聯シテデゴザイマスガ、十四年度ノ増産ガ期待シタ程困難ダト云フコトデゴザイマスガ、十三年度ノ分ヨリモ減産ヲシタト云フ事ハ御認メニナラナイノデスカ、減産ハ無論シナイガ唯思フヤウニ増産モシナイト云フノデスカ、十四年度程モ出ナイト云フ、詰リ減産ヲ認メラレルカドウナクテ、東北六縣ダケニ付テノコトデアリマスカ

○田中政府委員 増産ハ全國的ニ見マシテ、先程言ヒマシタヤウニ一億四千萬貫ノ計畫ヲシマシテ、マダ三月末日マデノ統計ヲ見ナイト分リマセヌガ、早害其ノ他ノコトデ多少引込ムカモ知レマセヌガ、殆ド目的通り行クト考ヘテ居リマス、東北六縣ノ増産ノ數字ヲ實ハ持ツテ居リマセヌガ、減産デハナカツタト思ヒマス、ヤハリ全體的ニハ増産デアツタト思ヒマス、唯秋田縣等ハ割當量ガ多カツタノデ、其ノ割當量ニ相當追ツカナカツタト云フコトハアリマスガ、東北六縣全體トシテハリ増産デアツタト思ヒマス

モ寄リナイ數字デアルト云フコトダケハ、ハツキリ申上ゲテ宜イト思ヒマス、ソレデ先程御願シテ置キマシタ東北ノ木炭計畫ト云フモノヲ委員會ノマダ終ラナイ内ニ御出シ願ヒタイト申上ゲタノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○田中政府委員 是ハ林道網其ノ他ノ資料ト關係ガアリマスカラ、其ノ全體ノ計畫ガヤハリ並行シテ參リマセヌト計畫ガ立チ兼ネマスノデ、此ノ委員會ノアル二三日内ニ正確ニ御話ヲスルコトハ一寸困難カト思ヒマスカ

○林委員 併シ其ノ二億萬貫ノ増産ト云フモノヲ大體大綱ニ見込マレテ、ソレニ對スル經費モ既ニ豫算ニ見込マレタノデスカラ東北六縣大綱ニ見込ム位、福島縣デドノ位、宮城縣ハドノ位、秋田縣ハドノ位ト云フヤウナコト位ハ分ラナイ管ハナカラウト思ヒマス、極ク細密ニ互ツタコトハ御聽キシタタテモ、極ク大體ノ計畫ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○田中政府委員 實ハ十四年度ノ實績ガ先程申上ゲマシタヤウニ分ツテ居リマセヌシ、ソレカラ林道網ノ問題ニ付キマシテ、例ヘバ此ノ位ノ林道ヲ作レバ此ノ縣カラドノ位ノ木材ガ伐レルト云フヤウナコトヲ具體的ニヤル譯デアリマス、今度ノ林道ニ付イテハ特ニサウ云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ今度ニ計算シテ居リマスカ、サウ云フヤウナ關係カラ大綱ニノコトヲ申上ゲテ又間違ツテモ却テ色々誤解ヲ生ズルトイケマセヌノデ、考ヘテハ見マスケレドモ、出來ルナラバ御免除ヲ願ヒタイト思ヒマス

先程私線返シテ申上ゲマシタヤウニ、東北カラ政府ハ非常ナ多數ノ人的資源ヲ考ヘテ居ラレルヤウデゴザイマス、ソコヘ持ツテ行ツテ、農林省トシテハ多量ノ製炭ヲ豫想サレ、ソレヲ製炭スル人的資源モ亦必要デゴザイマスカラ、ソコニ喰違ヒガアツテハ困ルノデアリマス、デアリマスカラ政府全體トシテドレダケノ人的資源ガヨリ多ク必要ナ状態ニナルカト云フコトヲ急イデ御調ヲ要望スルコトハ當然ダト思フノデアリマスカ、今御答ガ出來ナケレバ仕方ゴザイマセウガ、成ベク速ニ此ノ案ヲ立テラレンコトヲ希望シマス

○小野委員 前ノ議會ニ協賛シタ豫算ノ中ニ農林水産物ノ増産ニ關スル政府ノ助成見タヤウナモノガアリマシタネ、アノ中デ全國的ニ木炭ノ増産ニ關スル製炭ニ獎勵シタ金額ト、窯ノ數、ソレカラ其ノ中デ東北六縣ニ新シク築造シタ窯ニ對スル助成金ト分ツタラ、今デナクテモ宜シウゴザイマスカ、アトデ頂戴出來マシタラ……

○田中政府委員 所謂農林水産物ノ増産資金ト云フノハ、實ハ木炭ニ付テハアノ趣旨ノモノハ總テ止マリマシタ、唯今ノ案ノ問題ノハ續イテ居リマス、調ベテ出來ルダケ差上ゲマス

○林委員 國有林ノ開放ニ付キマシテハ農林大臣ノ御出席ヲ毎日御待チシテ居ツタノデスガ、御出席困難ナ様デアリマスカラ、山林局長ニ御尋致シタイト思ヒマス、去ル二十四日ニ森田君ニ對スル島田農林大臣ノ御答辯ヲ速記デ拜見シタノデゴザイマスガ、(委員長退席、井上委員長代理著席)ソレニ依リマス、東北ノ人々ノ希望スルヤウナ開放ヲシマス、ドウシテモ木材ヤ薪炭材ヲ

濫伐サレテ、サウシテ治山治水事業ニ惡影響ヲ與ヘルト云フヤウナ風ニ御答ニナツテ居ルノデゴザイマス、或程濫伐スレバ治山治水ニ惡影響ヲ及ボスコトハ、是ハ大臣ノ仰セラレマデモナク、尤モ至極ノコトト思ヒマス、併シナガラ私ハ之ニ對シテ農林大臣ハ東北ノ國有林ニ對スル認識ガ十分デナイ結果ノ御答ヲ思フノデアリマス、何故サウ思フカト申シマスレバ、第一東北地方ガ特ニ國有林開放問題ニ付テ長年ニ互ツテ叫バレテ居ルト云フコト、即チ東北ニ限ツテ特殊ノ叫ビ聲デアルト云フ此ノ事實ヲ見落シテ居ラレノデハナイカト思フ、全國到ル處ニ置キテ起ツテ居ル問題デハナク、多少ハ勿論アリマスケレドモ、殆ド東北ニ限レル問題デアルト云フモ宜イヤウナ國有林開放問題デアリマス、然ラバ特ニ考ヘラレテ宜イノデアル、私共ノ考ヲ以テ申上ゲルナラバ、東北ガ特ニ雨ガ多イ地方デアルトカ、或ハ地形ガ急傾斜デアルトカ、何レノ地方ヨリモ洪水ガ多イ地方デアル、サウ云フ特別ノ地方デアルガ故ニ、餘所ノ地方ヨリモ國有林ガ深山ニ必要デアルト云フ結論ガ得ラレラバ、大臣ノ仰セハ尤モダト思フ、所ガ東北ガ特ニ洪水ノ多イ地方デアルト云フ譯ニハ參リマス、特ニ雨ガ多イト云フ譯デモナイ、特ニ傾斜地ガ多イト云フ譯デモナイデアリマス、寧ロ或ハ其ノ逆カモ知レマセヌ、デアリマスルカ、東北ニ限ツテ特殊ナ厄大ナ國有林ヲ持ツテ居ラナケレバナラヌト云フ理論的根據ハ何處ニモナイノデゴザイマス、サウシテ多クノ人々ノ言ハレル通り、吾々モ亦ソレヲ信ジテ居ルノデゴザイマスガ、東北ノ疲弊困憊ハ餘リニ國有林ガ多過ギル結果デア

ルトサヘ言ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ實情ヲ認識サレラバ、ドウシテモ東北ヲ振興サセナケレバナラヌト云フ政府ノ御方針ヲ立テ、國ノ資材ヲ深山ニ振向ケラレテ居ルコトデゴザイマスルカラ、モツト國有林開放ニ付テハ特殊ノ觀點ヨリ既メラレテ宜イト思フノデゴザイマス、併シナガラ大臣ハ始終更ルコトデゴザイマシテ、兎角東北ノ山林ニ付テ御認識ニ缺ケル點モゴザイマセウガ、山林局長ハ農林省生ハ抜キノ方デゴザイマスルカラ、能ク御分リデゴザイマスルカラ、吾々ノヤウナ考ト同ジ考デゴザイマシタラ、ドウカ一ツ大臣ヲ説得サレ、進言サレテ、サウシテ大臣ノ御心持ヲ直シテ戴ク、是正シテ戴クト申シマセウカ、是非東北ノ國有林ヲ開放シテ戴クヤウナ御努力ヲ願ヒタイノデアリマスガ、之ニ對スル山林局長ノ御所見ヲ伺ツテ置キマ

ハ秋田營林局管内等ニ付キマシテハ、軌道ノ施設、林道ノ施設等ニ付キマシテモ、比較的ニ多ク施設サレテ居ル、其ノ他民間ノ問題ト致シマシテハ、官有委託林問題ニ付キマシテモ、比較的東北ハ多ク、且ツ指導方面ニ於キマシテモ、非常ニ居届イテ行ハレテ居ルコト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、

○林委員 此ノ問題ト何時間應答論議ヲ重ネデモ同ジデゴザイマスガ、結論ヲ申上ゲテ御尋シタイト思フコトハ、ドウデセウカ、農林省デモ年々歳々、何年モ何十年モ、此ノ東北ノ國有林開放問題ガ叫バレテ來タノダガ此ノ聲ヲナカラシムルト云フ態度ニ出テハ實ハマスマイカ、斯様ナ聲ヲナカラシムルヤウニ、詰リ其ノ聲ヲ發スル必要ヲナカラシムルト云フヤウナ風ニハ、ドウスレバ宜イダラウカト云フ點ニ御心持ヲ移シテ戴キタイ、特ニ東北ガ國有林ノ開放ヲ要求シテ居ルコト云フコトハ、ドウ云フ點デアラウカ、間違ツテ居ルノナラバ、オ前等ハ間違ツテ居ルノダ、是キノ點ヲ間違ツテ居ルト御論シテ願ヒタイ、間違ツテ居ナイナラバ、之ニ應ズルヤウナ方法ヲ急遽ニ執ラレテ、以テ東北ニ於ケル國有林開放ノ聲ヲ解消セシメル爲ニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、如何デセウカ

○田中政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ、國有林ノ所有權ノ開放ト云フコトハ、國策トシテ決ツテ居リマスノデ、吾々トシテハ困難デアラウガ、併シナガラ其ノ利用ハ勿論地元ノ方ガオヤリニナル譯デアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、山村ノ經濟ニ付テハ、特別ナ關心ト指導ヲヤツテ居ルノデアリマス

○林委員 伐採後ノ植林計畫ト云フノガ此ノ材料ノ中ニゴザイマスガ、此ノ植林計畫ノ實施ハ何處デオヤリデゴザイマセウカ、

○田中政府委員 御承知ノ通り國有林ハ國デナル譯デアリマス、公有林ハ一部官行造

林デヤリマス、民有林ニ付キマシテハ造林獎勵施設ガアリマスカラ、ソレデ御願スル、其ノ他自力ノ造林ト云フコトニナルゾデアリマス

○林委員 「バルブ」會社ガ出來マス當時相當議會ノ問題トモナツタヤウニ記憶致シマス、ソレハドウ云フ點カト申シマス、無暗ニ東北ノ山ヲ伐リ倒サレテハ東北ノ治山治水ニ惡影響ヲ來シ、第二ノ樺太ノヤウニナツテハ大變ダト云フヤウニ心配サレタガ可ナリ多クツタノデゴザイマス、ソコデ一年ノ伐採量ト云フモノヲ凡ソ制限サレタカノヤウニ思ツテ居リマスガ、私ノ記憶違ヒカドウカ知レマセヌガ、多分三十万石程度ニ止ムベキモノダト云フヤウナ當局ノ御答ヲ聽イタヤウニ記憶シテ居リマス、マダ見付カウテ來ナイ、併シ三十万石ト決マタカ、幾万石ト決マタカ知レマセヌガ、無制限ニ伐ツテ行クト云フコトノ宜シクナイコトハ申スマデモゴザイマセヌカラ、凡ソ限度ト云フモノハ嚴ニ決マテ置カナクテハナラヌト思フノデゴザイマスガ、農林省トシテハドウシテ伐ツテ行クテモ差支ナイト云フ御見地デゴザイマセウカ

○田中政府委員 東北振興「バルブ」會社ニ付キマシテ國有林カラノ供給分量ト云フモノハ大體決メテアリマス、唯振興狀況ガ速レマシタラ、其ノ供給ニ付テ多少變更シナケレバナラヌカトモ思フテ居リマスガ、國有林カラノ供給數量ト云フモノハ大體決メテ居リマス

○林委員 ソレハ幾ラデスカ

○田中政府委員 今一寸其ノ材料ヲ持ツテ居リマセウカラ、後デ御知ラセザシマス

○林委員 ドウモ一度許セバ段々増石スル

コトヲ斷ハル譯ニハ行カナイト云フノハ人情デアリマシテ、初ハ三十万石ト云フコトニ抑ヘテ見テモ、會社ノ都合デ四十万石欲シト云フハ、ツイ四十万石モ許ス、五十万石モ許スザラ得ナイヤウニナルノハ、ソレハ勢ヒテ當然デアラウト思フ、併シナガラ國策ノ上カラ、東北振興ノ上カラ、永遠ノ東北ノ發展ノ上カラ見マシテ、其ノ大體ノ見當ヲ決メラレテ、如何ケル事情ガアツテモ、ソレヲ超サナイト云フヤウナコトニシテ置キタイノデアリマス

次ニ一點伺ツテ置キタイノハ、東北カラ八十万石ツツモ「バルブ」材料ヲ伐出シ、又支那行ノ枕木ナドモ非常ニ多量ニ伐出スト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、枕木トカ、他ノコトハ暫ク置イテ斯様ニ「バルブ」會社ガ多量ノ木材ヲ伐出シマシテハ、東北ノ他ノ木材ノ騰貴ヲ促サナイモノカ、制限シナイモノカドウカ、此ノ點ハ如何ヤウニ御考デゴザイマセウカ

○田中政府委員 國有林カラノ供給スル「バルブ」材ト致シマシテハ、サウ影響スル程ト問題デハナイトデアリマスガ、一般民衆ノ「バルブ」資材ニ付キマシテモ、其ノ爲ニ非常ク値上リラヌルト云フ特別ナ事情ハ今ノ所考ヘラレヌノデアリマス

○林委員 ドウモ段々其ノ御話ヲ進メテ行クト思ヒニハ御別レラスルト云フコトニナツテシマフノデスカ、私ハドウモ常識的ニ考ヘテ、國有林ヲ「バルブ」ノ材ニ伐出シ、其ノ材ヲ民衆林ノ植込ガ止ツテ行カナイカトトハ想像出來マセヌ、殊ニ況ンヤ民間

ヲ四十万石モ伐ツテ行ケバ、其ノ影響ガ他ノ山ノ値段ニ影響シナイナドト云フコトハ以テノ外ノ考ヘ方ダト思フノデス、今年ハ伐ラナクとも其ノ次ノ年ニ其ノ隣ノ山ヲ買ハネバナラヌコトデアリマスカラ、段々ト騰貴シテ行キマス、ソレナラズ「バルブ」ニ用ヒナイ他ノ用材ニマデ影響スルコトハモウ當然ノコトダト思ヒマス、ドウモサウ云フモノガ影響シナイト云フヤウナコトニナツテハ、ソレデハモウ全ク問答無用ト云フコトアリマス、確ニ斯様ニ多量ノ「バルブ」材ヲ伐出シテ、東北ノ山林ガ暴騰ヲ來サナイナント云フコトハ以テノ外ノ考ダト思ヒマス、隨テ私共ハ實ハ低物價政策ノ逆ノ效果ガ現ハレテ來ルノデハナイカト思フノデゴザイマス、サウ云フコトモ御考下サイマシテ、東北ノ國有林ニ限ラズ、東北全體ノ山林ニ付テ深キ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ私ハ建議案ヲ出シテ置キマシタラ、其ノ時ニ申上ゲテ見タイノデスカ、今ハ茲ニホソソ簡單ナコトダケ同ウテ置キタイト思ヒマス、ソレハ木材検査ト東北ノ影響ト云フコトニ實ハ詳細シク應答ヲ重ネカクノデスカ、時間ガアリマセヌカ、カクノ點ヲ要點ダケ同ウテ置キタイ、私ノ見ル所デハ最近極分限ル制限法ヲ頻々ト實施サレテ居ル、極端ニ言フナラバ、惡法又惡法ガ次ギ、ト現ハレテ參ルヤウデゴザイマスガ、此ノ木材検査ノ惡法ハ近來稀ラダト思フテ居ルノデゴザイマス、殊ニ此ノ木材検査ノ結果ト致シマシテハ、東北ノ人的資源ニ實ニ甚大ナル惡影響ヲ及ボシテ來ルゾデゴザイマス、其ノ細カイ數字ヲ申上ゲルコトハ省略致シマスガ、結論トシ

○林委員 「バルブ」會社ガ年々東北ノ國有林及ビ民有林ヲ八十万石以上ツツ伐採シテ行クヤウナ計畫ノヤウニ承ツテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ治山治水ニハ別ニ關係ガナイトノ御見込デゴザイマスガ、伺ツテ置キマス

○田中政府委員 官有林カラノ東北振興開發ニ對シマシテノ供給ニ付キマシテハ、治山治水ニ影響ノナイ程度ノ計畫ヲ立テテ進メテ行ク積リデアリマス

○林委員 是ハ特殊會社デアリマシテ、東北興業會社ノ責任ニ於テ出來タ「バルブ」會社デゴザイマスガ、其ノ會社デ伐採スル所ノ木材デゴザイマスカラ、國有林バカリデナク、民有林ハ皆坊主ニシテモ差支ナイト云フコトハ、國家ガ出來ナイデゴザイマセウガ、民有林ニ對シテモ亦十分ニ國有林ト同ジヤウナ心持デ對シテ居ラレラカドウカ、伺ツテ置キタイ

○田中政府委員 御説ノ通り民有林ニ對シテモ從來ヨリモ實ハ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り隨分過伐早伐ノ聲ガアリマスカラ、實ハ森林法ヲ運用致シマシテ、過伐早伐ノ結果、治水國土保安ニ影響ガアツテハナラナイ、幾ラ事變デモ最小限度ニハ其ノ濫伐防止ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○林委員 伐採後ノ植林計畫ト云フノガ此ノ材料ノ中ニゴザイマスガ、此ノ植林計畫ノ實施ハ何處デオヤリデゴザイマセウカ、

○田中政府委員 御承知ノ通り國有林ハ國デナル譯デアリマス、公有林ハ一部官行造

ニ箱用材ト云フヤウニ、松ダケニ付テ用途ガ非常ニ集中シテ居リマス、最近石炭ノ問題ガアリマスガ、坑木ガ足りナイカラト云ツテ坑木ノ供給ニ付テ色々言ハレマス、ソレカラ軍需ニ付テモ、簡易建築用材トシテウナ場合ニ於キマシテ、力ノ有ル者ガ松ヲ取ツテシマフト云フヤウナコトニナリマスルト、國家ノ斯ウ云フ際ニ於キマシテ、色々支障ガ生ズルト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハヤハリ或ル程度ノ素材ニ付テノ検査ヲ致シテ置キマシテ、サウシテ皆ニ其ノ利用ガ出来ルヤウニスル必要ガアルノデハナイカ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウシテモ検査ガ前以テ準備サレテアリマセスト、其ノ時ニ急激ニドウダト云フコトモ出来マセシ、又急激ニヤリマシレバ、ソレダケノ迷惑ガ掛ルト云フコトニモナリマスノデ、資材ノ検査ヲ廢メルト云フコトハ、只今ノ所困難デアルト思ヒマス

○林委員 ドウモサツバリ實際ニ當座ツク御答デハゴザイマセスガ、素材ヲ検査スル必要ト云フモノハ、今ノ御話デハドウモサツクマセス、先ツ木取りヤ何カニ付テモ云々ト云フコトデゴザイマセスガ、一體此ノ検査ヲスル人ガ、木ト云フモノガドウ云フモノガカ知ラナイ者ガ四五日ノ講習位デ、今マデ炭焼ヲシテ居ツタヤウナ人達、或ハ米ノ検査デモシテ居ツタヤウナ人達、ロクニ五日ノ講習ヲ受ケタダケデアツテ、ロクニ吾々ハ山ノ中デ育ツテ相當能ク知ツテ居ル積リデアルガ、吾々モ實際ノ板ニナツタ時ニハ是ガ松ノ板カ杉ノ板カ分ラナイ、杉カ、檢カ分ラナイヤウナ場合ガ多イノデス、洵

ニ滑稽ナ話ガ澤山アル、検査ニ行ツタ者ガ小僧ヲ掴ヘテ、オイ是ハ檢カ松カ軟ヘテ臭レ、イヤ検査員ニ軟ヘル譯ニハイカナイ、オ前ノ方デ検査スレバ宜イダラウ、何ダ貴様生意氣ダト云フコト、撰リ合ヒニナツテ喧嘩シタト云フ話ヲ二三聞イテ居ル、恐ラク到ル處ニ斯ウ云フ滑稽ナ問題ガ起ツテ居ルノダト思フ、二十圓カ二十五圓ノ少イ月給ヲ支給シテ足リルヤウナ者デ、木ノ中カラ生レテ來タヤウナ、玄人ノ木村人ノ物ヲ検査スルト云フヤウナコトハ、テンド其ノコト自體ガ誤ツテ居ルノデス、國家ノ權力サヘアレバ、切レナイ刀デモ切レルト考ヘル所ガ間違ツテ居ルノデス、切レ能力ノナイ刀デ切ツテ行ケル管ガナイノデス、ソレト同ジヤウナコトハ、少イ月給ヲ與レテ間ニ合フヤウナ人達デ、木カラ生レタト同ジヤウナ木村人ノ物ヲ検査シテ品位定メマデスルト云フヤウナコトハ、以テノ外デス、サウ云フ不合理ナコトヲ無理押シニサレルカラシ、驚キトシテ國民ノ不平ノ聲ガ起ツテ來ルノデス、サウシテ大キナ木村ト云フモノハ大體不便ナ所ニアリマス、檢組ナ奥山ニゴザイマス、其ノ奥山ニ行ツテ目通り三尺モ五尺モアルヤウナ太イ木ヲ伐倒シテ、サウシテソレヲ検査スル爲ニ一箇處ニ集メルト云フコトガ如何ニ困難カト云フコトハ、アナタ方御分リデハゴザイマセスカ、検査ヲ受ケル爲ニ一箇處ニ集メテ來ルコト自體ガ、如何ニ困難デアルカト云フコトガ分リマセスカ、而モ之ヲ集メテ來フコトガ分リマセスカ、而モ之ヲ集メテ來テ、其ノ大木ヲ上ニシタリ下ニシタリシテ、一本ノモノヲ天地返シテ見セナケレバナラス、検査場ニ來テ一本ヲ動かサダケデモ容易ナ任務チゴザイマセス、ソレガ

通牒一本デ嚴守サセル方法ガアラウト思フ、寧ろ炭、米ノ開取引ヲ防グヨリハ遙ニ簡易ニ取締ルコトガ出來ルト固ク信ズルノデアリマスルガ、飽マデヤハリ實際山ニ行ツテ調査シナケレバ實行出來ナイト云フオ考ヘデゴザイマセウカ、モウ一遍伺ツテ見タイ

何百本、何千本ト云フモノヲ検査スルニハ、實ニ莫大ナ所ノ努力ヲ要スルノデゴザイマス、而モ山主ガ居ナケレバ検査ヲシテヤラヌト云フヤウナコトヲ言ハレバ、山主ハ熊其處マデ出張シナケレバナラス、殊ニ役人デスカラ、雨ガ降ツテ行カナイコトモアルデアラウシ、時間外デ行カナイコトモアルデアラウシ、中々検査ヲ完了スルマデニハ容易デハナイノデアリマス、而モソレガ效果ノアルモノナラバ是ハ宜シウゴザイマスガ、原木ヲ検査シテ、品ノ良否ナドハ分ラナイノデアリマス、長サガ規格ニ合ハナイトカ、不揃ヒデアルトカ仰セラレケレドモ、ソナモノハ一本ノ通牒ヲ出サレテ、今度ハ板ノ厚サハ斯ウセヨ、長サハドウセヨト云フ規格ヲ定メラレテ全國ニ通牒ヲサレタナラバ、何人デモ之ヲ守ラナイ者ハナイデセウ、第一停車場ニ來テ、直チニ寸ノ縮ンデ居ルモノ、伸ビテ居ルモノハ分ルノデゴザイマセスカラ、間カヲ間ニ使用スル譯ニハ行カナイ、唯一本ノ通牒ヲ以テスレバ、數百人、數千人、數万人、數十万人ト云フ多クノ人ヲ要スルヤウナ煩瑣ナコトヲヤラレル必要ハナクナルノデハナイカト思ヒマス、先ツ大體一萬圓ノ山ノ木材ノ検査ヲ受ケルノニハ、約百人ノ努力ヲ要スル計算ニナツテ居ルノデアリマス、假ニ福島縣ニ一萬圓ノ木材ガ出ルトスルナラバ、百萬人ノ努力ヲ要スルノデアリマス、勿論是ハ延人員デアリマスガ、斯ウ云フ驚キベキ數字ニ上ツテ來ルノデゴザイマセスカラ、努力、人的資源ノ極度ニ拂底シテ居ル今日、何ノ效果モナイ此ノ木材検査ヲ續ケテ行カレルト云フコトハ、私共ノ常識ヲ以テスルナラバ、官吏ノ方々ガ自分ノ面目ヲ

○田中政府委員 米、炭ハ既ニ検査ガ施行サレテ居リマシテ一定規格ノ下ニ取引ガ爲サレテ居リマス、隨ヒマシテヤハリ木材ニ付テモ検査ト云フモノガナイ以上ハ中々厲行ガ困難ダト思ヒマス、ノミナラス木材ハ規格ハ多種多様ニ出來得ルト考ヘテ居リマ

立テントシテ國民大衆ニ迷惑ヲ掛ケルコトヲ顧ミナイト云フヨリ外ナイト思フ、此ノ點ニ對スル御考慮ヲ願ヒタイト思フノデスガ、如何ナモノデゴザイマセウカ

○田中政府委員 木材検査ノ場所、方法等ニ付テ、何分施行當初ノコトデアリマスカラ、或ハ地方的ニハ不便ナ場合ガアルカト思ヒマス、サウ云フ點ハ出來ルダケ改良スルヤウニ地方廳トモ相談ヲシタイト思ヒマス、併シ此ノ木材検査ヲ廢メルト云フ考ヘ方ハ、將來ノ木材供給ノ關係、取引上ノ問題、或ハ價格ノ問題モ、既ニ昨年ノ七月カラ相當大キナ問題ニナツテ、吾々ニハ公定價格ヲ作レト云フ主張ガ非常ニ強ク起ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ吾々トシテハ規格ヲ定メサシテ裁カケレバ價格ト云フモノハ出來ナイ、東京市場デサヘモ數十萬圓アルト云ハレテ居リマス、大阪市場亦十萬トカ二十萬トカ云フヤウナコトデアリ、又名古屋市場十萬カラアルト稱サレテ居リマス、サウ云フモノニ關シマシテ公定價格ヲ決メルトコトハ、是ハ吾々トシテハ又開取引ヲ助長セセルト云フヤウナコトニモナリ、ソコニ色々ナ問題ガアリマシテ、又十五年度ニ於ケル需給關係カラシテモ、從來ノ儘デアルト當業者モ困ラデアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○林委員 其ノ規格ノ點ハ通牒一本デ國民ハソレヲ守ルト私ハ信ジマス、忠良ナル、善良ナル國民ハ、通牒一本デ規格ヲ定メラレタナラバ必ず守ルモノナリト固ク信ジテ疑ヒマセスガ、農林省ハ信ズルコトハ出來マセスカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○田中政府委員 ヤハリ規格ハ合理的ニ實際ノ取引ニ即シクヤウニ定メルト云フコト

ガ必要デアリ、又木材業者ノ方ハサウ云フ風ニ御考ニナリマシテモ、註文者ノ方カラ色々ナ規格ガ註文サレルノデアリマス、其ノ間ノ關係モアリ、サウ簡單ニ通牒一本デアリハレト云フコトハ、國民ノ信不信ノ問題デハナクシテ、實際ノ問題トシテ中々困難ダト思ツテ居リマス

○林委員 ソレデハ益、フカシクナツテ來ルノデス、註文者ノ方ノ好キ不好キ、希望ト云フヤウナモノニ依ツテモ色々變ルト云フノデハ、ソレデハ規格ト云フモノハ無クナツテシマフノデス、ソレハ規格ト云フモノハ註文ヲ十尺ニシタイトカ、九尺八寸デ宜イトカ、十尺三寸デ宜イトカ、ソナコトヲ言ハズニ、キツバリ十尺ナラ十尺ニスルトカ、十尺五寸ニスルト云フトコロニ規格ガアルノデ、色々、賣手ニハ賣手ノ註文ガアリ、買手ニハ買手ノ註文ガアラツテ、中々サウハ行カナイト云フコトニナレバ、モウ既ニ規格ト云フモノハ認メナイコトニナリ、規格検査ハ出來ナイト云フコトニナルノデアリマセウカ

○田中政府委員 サウ云フヤウナ事情カラ致シマシテ數十萬ト云フ規格ガ出來タノダト思ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ吾々ト致シマシテ今日ノ程度ノ規格ヲ基礎トシテ、サウシテソレニ或ル程度ノ制限ヲ設ケテ、成ベク此ノ規格ノ範圍ニ於テ止メヨウト云フコトニシテ居ル譯デアリマス

○野村委員長 同ジコトヲ繰返シテ見タツテ仕様ガナイガ、ドウデス

○林委員 同ジコトヲ繰返スコトハモウ止メマス、ソレデ實際檢頭徹尾農林省ノ御意見ヲ承認スルコトハ出來マセスガ、規格ハアナタ方ハ飽マデモ通牒一本デハイカス、實際現場ニ付テ一々調査シナケレバナラスト云フノデスカラ、是ハ努力ノ非常ナ多クヲ要スルコトヲ覺悟ナサル譯デゴザイマスガ、サウスレバ茲ニ御尋シタイ、サウ云フヤウニシマス、此ノ検査ヲ受ケル爲ニ必要ナル人夫ノ負擔ハ荷主デゴザイマスガ、荷主デアラウガ、誰デアラウガ、ソレハ別トシテ、非常ニ多數ノ努力ヲ新ニ要スル結果トシマシテ、勞銀ノ昂騰ヲ來スト云フコトハ當然ダト思フガ、ソレヲ御認メデゴザイマセウカ

○田中政府委員 ソレ程多數ノ努力ニ要スルトハ思ツテハ居リマセス、或ハ部分的ニ努力ノ不足ノ所ハ多少アルカモ知レマセスガ、ソレハ全般的ニサウ云フ現象ハナイト

○林委員 規格ヲ定メラレタナラバ規格以外ハ沒收スルトカ賣買ヲ禁ズルト云フコトニナレバ、何モ何十萬、何百萬ト云フヤウニ全國的ニハ實ニ驚クベキ數ニ上ルヤウナ新タナル努力ノ擱口ヲ能ク作ラナクトモ、

○田中政府委員 同ジコトヲ繰返シテ見タツフ、寧ろ炭、米ノ開取引ヲ防グヨリハ遙ニ簡易ニ取締ルコトガ出來ルト固ク信ズルノデアリマスルガ、飽マデヤハリ實際山ニ行ツテ調査シナケレバ實行出來ナイト云フオ考ヘデゴザイマセウカ、モウ一遍伺ツテ見タイ

○林委員 無責任甚ダシイト思フ、吾々ノ計算ニ依ルト、ハツキリ數字ヲ申上ゲテ居ルノデス、山代金一萬圓ノ山ヲ處理シテ行ク爲ニハ百人ノ人夫ヲ新ニ要スルト云フハツキリシタ數字ヲ申上ゲテ居ルノデス、所ガアナタ方ハ國民ニ非常ナ負擔ヲ負ハセルコトニ付テナンボ掛ルカ知りマセウカ、居ラレナイデセウ、昔段ナラバ兎モ角モ、今此非常時ニ人的資源ガ最モ重大ナル國策遂行ノ一ツノ要素ニナツテ居ル時ニ、非常ニ國家ニ迷惑ヲ掛ケナケレバナラス、國民ニ負擔ヲ負ハセナケレバナラス、此ノ仕事ヲ新ニ實施サレルトニ、大シタコトハアリマス、マイ位ナ態度デ居ラレルト云フハ、餘リニ無責任ト云ハナケレバナラスト思フ、是ハ是非トモ調ベテ裁カナケレバナリマセウカ

○田中政府委員 吾々ノ検査ハ、斯ウ言ツテハ釋迦ニ設法デアリマスガ、吾々ガ好キ好シデ御迷惑ヲ掛ケテ居ルト云フ考デハナイノデアリマシテ、國家ノ目的カラ言ヒマシテドウモ検査ヲヤルノデアリマスカラ、シテドウモ検査ヲヤルノデアリマスカラ、犧牲ハ或ル程度ニアルト思ヒマス、ソレハ木炭検査デモ米ノ検査デモ同様デアリマス、併シナガラ今後ノ木材供給ノ關係カラ言ヒマシテ、之ヲ其ノ儘放任スルト云フコトデハ實際此ノ事變下ニ於ケル資材ノ要求ニ應ズルコトモ出來ナイト思フノデス、最近陸軍用材ニ付テ吾々ニ御要求ガアリマシタガ、此ノ検査ガアツタ爲ニ全國的ナ規格ニ依ツテノ價格ノ協定ガ出來タノデアリマス、若シ是ナクシテヤルト云フコトデアリマスレバ、吾々ノ手デハ一寸出來兼ネマシノミナラス、又今協定價格、公定價格ノ問題ガヤカマシイノデアリマスガ、協定價格、公定價格ヲ作レニ付キマシテハ、申上ゲルマデモナク規格ヲ定メナケレバ不可能ナコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、吾々役人ガ好キ好シデヤツテ居ル譯デハナクシテ、兎ニ角國民ノ爲、又當業者ノ爲、又林業ノ爲ニモ其ノ必要ガアルト云フノデアリマス、分量アリマス、一人當リノ検査員ノ検査ノ分量ト云フモノハ大體見當ラ付ケテ居リマス、其ノ他検査ニドレダケノ人夫ヲ要スルカト云フコトハ、先程申上ゲマシタヤウニ急ニハ參リマセウカ、或ル程度ノ時間ガアレバ、又現在検査ヲ施行シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ施行ノ狀況ニ付テノ基礎數字モアリマスカラ、調べヨウト思ヘバ出來ルト思ヒマスレドモ、急ニ御間ニ合セルト云フコトハ出來兼ネル、斯ウ云フ譯デ

アリマス
 ○林委員 検査ガアツカテ軍用材ナドノ要求ニモ應ズルコトガ出来タト言ハレルガ、是ハ實ニ途方モナイ話デアツテ、假令サウ云フ検査ガナクテモ、幾ラモ別ノ方法ヲ軍用材ニ容易ニ應ズル方法ハアラウト思フ、ナカウナラバ應ジラレナカウツト云フコトハ、實ニ私共カヲ見ルト論辯トハ申上ガスケレドモ、不思議ナ御言葉ト拜聴スルヨリ外ハナイノデアリマス、併シソレモ押問答デスカラ止メマス、先程同ツタ勞銀ノ點モ大シクハ要ラナイカラ、勞銀ニモ影響シナイト云フ御口吻デゴザイマスガ、是モ徹頭徹尾吾々ハ諒承スルコトガ出来ナイ、諒解ハ出来ナイノデスガ、尙ホモ一度伺フコトハ、此ノ奥山ニ於テ検査ヲスル時ニ使用スル所ノ人夫、サウ云フ人達ハ商人トカ百姓トカ云フモノガ行ツテヤルノデハナイ、大體炭燒デモスルヤウナ側ノ人達ガ行クノデゴザイマス、サウ云フ人達ガ臨時ニ今日ハ検査ガアルカラ來テ與レト云フヤウニ屈ハレテ行クノデアリマスカラ、結果トシテハ製炭ノ増産ニ影響ヲ持チ、木炭ノ生産ニ影響ヲ持ツト云フコトモ想像出来ルノデゴザイマスガ、サウ云フ影響ナシトノ御見解デゴザイマセウカ

○田中政府委員 寡聞ニシテ製炭業者ガ検査シテ居ルト云フコトヲ實ハマダ聞イテ居リマセウガ、其ノ検査場所或ハ方法ニ付テ負擔ガ重クテ困ルト云フ點ニ付キマシテハ、調査ヲ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ出来ルダケスル積リデアリマス、検査員ノ質ニ付キマシテノ御話デアリマスガ、検査員ノ質ニ付キマシテモ、質ノ悪い者ニ付キマシテハ、段々改メテ行キタイト

○小野委員 只今ノ御答辯ヲ得マシテ大體ノ文部省ノ御方針ガ分ツタノデアリマスガ、是等ノ人的資源ノ養成ハ、現在、將來ニ於ケル東北振興ト不可分ノ關係ニアルノデアリマス、殊ニ東北六縣ニ於ケル専門ノ實業學校ト申シマセウカ、是等ノ専門學校ノ配置ヲ見テミマスニ、唯一校ヲモ有セザルモノハ青森縣デアリマス、而モ最近ニ於テ八戸港ヲ中心トシタル近代産業ノ勃興ハ、東北各縣ヲ通ジマシテ最モ顯著ナルモノアリト私ハ左様ニ信ジテ居リマス、是ハ關係ヲ考慮ヒマシテ、近イ將來ニ文部省ノ最初ノ方針ヲ御實施ニ相成リ、而モ其ノ際ニハ特ニ是等ノ狀況ヲモ御考慮下サイマシテ、最善ノ方法ヲ講ゼラレントト特ニ御願ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ打切りマ

○井上委員 小野君ノ質問ニ關聯シマシテ簡單ニ御答致シタイト思ヒマス
 ○野村委員 宜シウゴザイマス
 ○井上委員 燃料資源ノ開發ハ、現下ノ我國、又將來ノ我國ニ取リマシテ最モ大事ナコトデアラウト思ヒマス、ソコデ秋田鐵山専門學校——勿論秋田縣ハ非常ナ工業縣デアリマスカラシマシテ、採鑛冶金科トカ何トカ云フ學科ハ秋田鐵山専門學校ニアルデアリマセウガ、アノ學校ニ石油ニ付テ研究スル所ノ一學科ガアルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス
 ○舟橋政府委員 秋田鐵山専門學校ノ學科中ニ石油研究關係ノ講座ヲ持ツテ居リマスカレバ、總理大臣ガ四時ニ來ルト云フノガ遅レマシタガ、少シ待ツテ下サイ、サウセスト機會ヲ失スル虞ガアル——ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
 午後五時一分散會

○林委員 ドウモ餘リ御禮キスルト意見ノ一致シナイヤウニナツテシマヒマスカラ、私ハ農林大臣ニ對スル御答ヲ留保シマシテ、山林局長ニ對スル御答ハ是ヲ以テ終リマス
 ○野村委員長 小野君
 ○小野委員 私ハ極ク簡單ニ文部省ノ政府委員ニ對シテ御伺致シタイト思ヒマス、生産力擴充計畫ニ伴ヒマシテ、政府ハ本年度カラ高等工業學校ヲ全國ニ互ツテ數箇所開設ラシタノデアリマスガ、アノ計畫ハ最初ハ相當大規模ナ豫定ニカツテ居ツタヤウニ承知シテ居ツタノデアリマスガ、愈々豫算ニ出テ見マシテ最初ノ計畫ハ二十何校デアツタト思ヒマスガ、豫算ニ現ハレマシタモノハ七校ニ過ギナカウツタノコトデアリマス、相當國民ヲ失望セシメタモノガアルト信ズルノデアリマス、尤モ政府カラ言ハシムレバ、國家財政トノ關係ヲモ睨ミ合セナクレバナラズト云フヤウニ何時モ言譯サレルノデスガ、ソレト今一ツハ折角學校ヲ開設シテモ、先生ガドウモ今年ノ春ニハ間ニ合ハナカウツタ、其ノ他色々機設備ノ關係デモ間ニ合ハスモノガアル、斯様ナ理由デ結局文部省ハ相當大規模ナ計畫ヲ最後マデ遂行シタイト云フ御考デアツタラシイガ、大藏省ノ方ノ大斧鐵ヲ蒙リマシテ結局現在ノ七校ニナツタヤウデアリマシテ、隨テ是等ノ施設ノ遅レテ居リマス所ノ東北地方デハ極メテ猛烈ナル誘致ノ運動ト申シマセウカ、筆奪ノ運動ノ起ツタコトハ御承知ノ通りデアリマセウ、其ノ結果吾々トシテハ色々ナ點ニ遺憾ヲ感ジタイデアリマス、一々例ヲ指摘申上

○田中政府委員 寡聞ニシテ製炭業者ガ検査シテ居ルト云フコトヲ實ハマダ聞イテ居リマセウガ、其ノ検査場所或ハ方法ニ付テ負擔ガ重クテ困ルト云フ點ニ付キマシテハ、調査ヲ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ出来ルダケスル積リデアリマス、検査員ノ質ニ付キマシテノ御話デアリマスガ、検査員ノ質ニ付キマシテモ、質ノ悪い者ニ付キマシテハ、段々改メテ行キタイト

○小野委員 只今ノ御答辯ヲ得マシテ大體ノ文部省ノ御方針ガ分ツタノデアリマスガ、是等ノ人的資源ノ養成ハ、現在、將來ニ於ケル東北振興ト不可分ノ關係ニアルノデアリマス、殊ニ東北六縣ニ於ケル専門ノ實業學校ト申シマセウカ、是等ノ専門學校ノ配置ヲ見テミマスニ、唯一校ヲモ有セザルモノハ青森縣デアリマス、而モ最近ニ於テ八戸港ヲ中心トシタル近代産業ノ勃興ハ、東北各縣ヲ通ジマシテ最モ顯著ナルモノアリト私ハ左様ニ信ジテ居リマス、是ハ關係ヲ考慮ヒマシテ、近イ將來ニ文部省ノ最初ノ方針ヲ御實施ニ相成リ、而モ其ノ際ニハ特ニ是等ノ狀況ヲモ御考慮下サイマシテ、最善ノ方法ヲ講ゼラレントト特ニ御願ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ打切りマ

○井上委員 小野君ノ質問ニ關聯シマシテ簡單ニ御答致シタイト思ヒマス
 ○野村委員 宜シウゴザイマス
 ○井上委員 燃料資源ノ開發ハ、現下ノ我國、又將來ノ我國ニ取リマシテ最モ大事ナコトデアラウト思ヒマス、ソコデ秋田鐵山専門學校——勿論秋田縣ハ非常ナ工業縣デアリマスカラシマシテ、採鑛冶金科トカ何トカ云フ學科ハ秋田鐵山専門學校ニアルデアリマセウガ、アノ學校ニ石油ニ付テ研究スル所ノ一學科ガアルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス
 ○舟橋政府委員 秋田鐵山専門學校ノ學科中ニ石油研究關係ノ講座ヲ持ツテ居リマスカレバ、總理大臣ガ四時ニ來ルト云フノガ遅レマシタガ、少シ待ツテ下サイ、サウセスト機會ヲ失スル虞ガアル——ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
 午後五時一分散會

第七十五回帝國議會 院 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第七回

(二一五)

會議

昭和十五年二月二十八日(水曜日)午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事林 平馬君 理事森田重次郎君

理事松川 昌藏君 理事庄司 一郎君

信太儀右衛門君 栗山 博君

菊池 良一君 北村 文衛君

大内竹之助君 小平 重吉君

熊谷 直太君 小笠原八美君

井上 知治君 中田 儀直君

菊地養之輔君 川俣 清吉君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 米内 光政君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 廣瀬 久忠君

內閣東北局長 宇都宮孝平君

農林政務次官 岡田喜久治君

農林省山林局長 田中 長茂君

農工商省鑛產局長 小金 義照君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)

東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)

○野村委員長 是カラ開會致シマス—林

君

○林委員 東北局長ニ御致シタイコトガ

君

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄 第七回 昭和十五年二月二十八日

九五

數點ゴザイマス、先ツ第一點ハ此ノ兩會社ガ初メテ出來マスル時ニハ、株ノ半分ハ國ガ持ツテ、半分ハ東北デ持ツ、サウシテ東北以外ノ人ニ株ヲ移ルヤウナコトノナイヤウニト云フコトハ、是ハ最モ強ク叫バレタ條件デアツタヤウデゴザイマス、私モ實ハ當時ノ委員デモアリマシテ、之ニハ直接關係アリシテ居ツタノデゴザイマスガ、其ノ理由トスル所ハ、東北振興ト云フ名ノ下ニ、東北ノ資源ヲ開發スルト云フ名ノ下ニ、中央或ハ關西方面ノ所謂大資本家ノ手ニ經營サレルヤウナ形ニナツテ實際ノ利益ハ東北以外ニ吸收サレルヤウナコトニナルコトヲ非常ニ憂慮致シマシテ、株ノ他ノ方ニ流レルコトヲ特ニ注意スルヤウナ條件ガアツタノデゴザイマス、サウシテ其ノコトガ本トナツテ、東北六縣ニ適當ニ株ノ數ヲ割當テラレマシタ、サウシテ各縣ニ割當テ株數ヲ、又關係町村諸團體ニ割當テ株數ヲ、ウナ鹽梅ニ出來上ツタノガ兩會社ノ株式デゴザイマス、然ルニ其ノ後益東北ノ經濟狀態ガ惡イ、又兩會社ノ成績モ期待シタ程デナカツタト云フノ段々株モ下ツテ來ル、或ハ拂込モ困難ニナルト云フヤウナ事情ニ遭遇シタ結果、此ノ資料ニ御報告モアリマスヤウニ、多數ノ株ガ東北外ニ流レ出テシマツタノデゴザイマス、サウシテ國ノ保障ニナツテ居ル洵ニ有利ナル所ノ株ガ今日ハ大資本家ノ手ニ移ツテ居ルト云フヤウニナツタ次第デアリマス、サウシテ見マスルト、最初此ノ會社ガ出來タ時ノ希望ニ副ハ

ナイ形ニナツテ居ル譯デゴザイマス、私共ハヤハリ最初ノ通りノ形ニ引戻シタイモノダト思フノデゴザイマスガ、他地方ニ移ツタ所ノ株式ヲ又元ノヤウナ形ニ引戻スニ付テノ御苦心御考慮ヲ辨ハレテ居ラレルカドウカ、或ハ是非サウシタイト云フ御心持デアアルカドウカ伺ツテ置キタイノデアリマス

面ノ人々ガ、東北ノ株ヲ肩替リシタト云フコトハ、唯單ニ採算上有利ナモノデアアルト云フヤウナ、慾得算盤バカリデヤツタモノデハナイト思フノデゴザイマシテ、東北ノ人ニ持ツテ貰ハバ尙ホ結構ダト云フ御心持ハキツトアラレルト私ハ思ヒマスカラ、當局ニ於テサウ云フ御心持デアアルナラバ、何等カノ方法ヲ盡サレテ、亂暴ナ條件ヲ附スヤウナコトナク、心持好ク東北ニ引戻シテ、又元ノヤウニ肩替リラシテ貰フコトガ出來ルト私共ハ資本家ヲ信ジテ見タイト思フ、デアリマスカラ誠意ヲ盡サレテ東北振興ノ眞意ヲ懇ハラレタナラバ、心持好ク當時引取ラレタ債段ヲ渡シテ呉レルコトヲ深く私ハ信ズルノデゴザイマスガ、一ツ此ノ際特ニ御骨折ヲ戴イテ、サウシテ今年度ノ中ニデモサウ云フコトガ出來ルヤウニ是非トモ工作シテ戴キタイト思ヒマス、サウ云フヤウナコトヲナサルコトガ、又東北局ガ東北民ニ大イニ交渉ヲ深メテ行ク一ツノ原因トモナルト思ヒマス、ドウゾ切ニ御願ヲ致シマス、第二トシテ御尋致シタイノハ、此ノ兩會社ト東北民トノ間ガドウモ遊離シテ居ルヤウナ風ニ思ハレルノデゴザイマスガ、之ヲ緊密化セシメテ貰ヒタイ、此ノ點ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒ、御骨折ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、兩會社當局カラ見マスレバ、此ノ事業報告等ヲ見マシテ、吾々ハ此ノ數年ノ間ニ是ダケノ仕事ヲ興シテ居ルチヤナイカ、是々ノコトヲヤウテ居ルチヤナイカ、最善ヲ盡シ

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ二ツノ會社ノ出來マス時ハ、其ノ株ハ東北ノ方ノ人ガ持ツト云フノガ原則的ナ考デゴザイマス、初ハソレレ行ツテ居ツタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ産業組合デ持ツテ居リマス株ノ拂込ニ付テ色々困難ナ事情モアリマシテ、肩替リノ必要ガ起リマシタ爲ニ、東北興業ノ株五万株バカリハ、東京方面ノ大キイ所ヘ固マツテ參リマシタ、是ハ已ムヲ得ナイ事情デアツタノデゴザイマスガ、決シテ初ニ考ヘタ所ノ株主ハ成ベク東北ノ人ヲト云フ考ヲ捨テテデアリマセナシタノデ、當時他ニ方法ガナクテ其ノ應急ノ方法トシテ之ヲ執ツタモノデゴザイマス、將來ニ於キマシテハ、ヤハリ此ノ會社ガ出來マシタ時ト同ジ考デ、此ノ會社ノ株ハ、成ベク東北ノ人ガ持ツヤウニト云フ考ニ付テハ少シモ變ツテ居リマセス

○林委員 局長ノ御心持ハ大變結構ナ御心持ダト感謝致シマス、就キマシテハ其ノ御心持ヲ持タレタダケデナク、實行ニ移ス御工夫ヲ願ヒタイト思ヒマス、私共考ヘマスノニ、三井トカ三菱トカ其ノ他有力ナル方

付託議案
東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)(第四三號)
東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)(第四四號)

テ努力ヲシテ居ルチヤナイカト云フヤウニ
御覽ニナツテ御満足ヲ感ジテ居ラレト思
ヒマス、併シナガテ東北民ノ側カヲ見マス
ルト、何ダカ東北民トビツタリ緊密化シテ
居ルヤウナ気分ヲ持ツテ居ナイノデゴザイ
マス、此ノ點ハドウ云フ點ニアルカト研究シテ
見ナケレバナラヌ問題デゴザイマスガ、今
數十ノ會社ヲ起シテ直接ニ、間接ニ關係ヲ
持ツテ居ラレレドモ、唯東北全體カラ見
マスト、福島縣ニ數箇所、宮城縣ニ數箇所ト
云フヤウニ、或ル場所ニ種々ナル事業ヲ起サ
レテ見テモ、其ノ極少シノ部分ダケハ利害
關係ヲ持ツテ居リマスケレドモ、全體カラ見
ルトドウモ利害關係ガナイノデゴザイマス、
唯中央ノ資本家ガ東北ニ行ツテ或ル地域ニ
仕事ヲ起シタト云フ位ナ程度ノモノデアリ
マス、デアリマスカラ、東北ノ兩會社ハ東
北民全體ト接觸スル工夫ハナイモノデセウ
カ、ソレヲ考ヘテ實ヒタイノデアリマス、
其ノ一ツトシテハ、私ハ肥料ノ自給計畫ヲ
立テルコトガ一番宜イと思フ、是ハ會社側
立ノ當時ニ私共ハ強ク主張シテ居テモゴザ
イマス、肥料ヲ使ハナイ者ハ一人モナイ、東
北全體ガ肥料ニ關係ヲ持ナイ者ハナイ、
其ノ肥料ガ東北ノ會社ニ自給自足ノ計畫ヲ
立テ、又實際ソレガ出來ルト云フコトナラ
バ、ソレコソドナ仕事ヲシナクとも、ソ
レダケデ東北ノ人達ハ満足ヲ感ジテ行ク
トガ出來ルト私ハ思フ、又ソレダケデ東北
振興ニ非常ニ貢獻スルコトガ出來ルト思フ
ノデゴザイマス、所ガ肥料ノ計畫ヲ見マシ
テモ、殆ド其ノ豫定通りニ行ツテ居ナイ
ノデアリマス、サウシテアレモナル、是モ
ナルト、各方面ニ關係ヲ持ツテ居ルト云フ
マスケレドモ、ソレハ八百屋ノヤウナモノ

デ、八百屋ノ店ニ澤山色々モノハアルケ
レドモ、ソレヲ賣ツテシマヘバ品物ハナク
ナツテシマツテ、又別ニ仕入レナケレバ
ラヌ、數バカリ多イケレドモ深味ハナイ、
丁度東北ノ兩會社ハ八百屋ヲ始めタヤウナ
感ジテ居ルノデゴザイマス、モツト
深味アル全體ノ幸福ヲ招來スル計畫ヲ立
テテ載キタイ、ソレニハ今申シマシタヤウ
ニ、先ヅ以テ肥料ノ自給自足ノ計畫、是ハ
最初ノ使命デモアツタノデゴザイマス、所
ガ此ノ最初ノ計畫ニ依ルト、昭和十四年度
ノ初メニ於テ確安ガ十萬匁ハ出來ル見込デ
アツタ管デゴザイマスガ、ドウモ聞ク所ニ
依ツテハ十分デナイヤウニモ聞イテ居ル
デゴザイマスガ、此ノ點ハドウナツテ居ル
デセウカヲ伺ヒタイノデアリマス、殊ニ昨
今ハ東北バカリノ問題デゴザイマセヌ、全
國ノ農村ノ問題デハアリマスケレドモ、東
北ハ雪ガ消エマスト直チニ農作ニ著手シ、
サウシテ秋ノ切上ガ早イモノデスカラ、他
地方ヨリモ急イデ肥料ヲ必要トシテ居ル
譯デゴザイマス、然ルニ殆ド満足ニ得ラレ
ルヤウナ状態ニナツテ居ラナイ、サウシテ
東北ノ肥料ノ備ミハ他地方ノ農村ノ備ミト
同ジデゴザイマス、長野縣ノ農村ノ備ミモ、
新潟縣ノ農村ノ備ミモ、四國、九州、中國ノ
農村ノ備ミモ、東北ノ農村ノ備ミモ同ジダ
ト云フノ、實ニ不思議デ堪ラナイ、東北ニハ
東北興業會社ガアルガ爲ニ、其ノ備ミハ非
常ニ少イト云フナラバ、實ニ東北興業會社
ノ功績ト云ハナケレバナラヌと思フ、又存
在ノ意義アリト云ハナケレバナラヌ、然ル
ニ特別ニ肥料ニ著眼シテ計畫サレタコトガ
實行サレナイデ、他地方ト同ジ備ミト申シ
マセウカ、ヨリ大キキ備ミヲ肥料ニ對シテ持ツ

ト云フコトデアリマスカラ、此ノ事ダケデ
モ東北民ハ東北興業會社ノ存在ノ價値ヲ疑
ツテ居ル譯デゴザイマス、ドウカ肥料ノ自
給自足ハ是非トモヤツテ實ヒタイ、他ノ總
テノモノヲ止メテモト言ヒタイ、極論スル
ナラバサウ言ヒタイ、多方面ニ八百屋ノ
手ヲ出スコトヲ手控ヘテモ、全力ヲ先ヅ此
ノ肥料ノ自給自足ト云フコトニ集中サレタ
ラドシナモノデセウカ、機械ガナイ、獨逸
カラ來ナイ爲ニ計畫ガ挫折シタトカ、色々
ノ資料ガ不足シテ計畫ガ挫折シタトカ、色
色ノ申譯ハゴザイマセウ、キツトアルニ違
ヒナイ、併シナガテサウ云フ申譯ヲナサ
ヨリモ餘リニ手廣ク色々ノ事ヲナサラズ
ニ、先ヅ此ノ肥料ノ自給自足ト云フコトヲ
完遂スル爲ニ御努力ヲ願ヒタイと思フノデ
ゴザイマスガ、此ノ點及ビ今年ノ十萬匁ノ
確安製造ノ御見込ニ對シテハ、ドンナ風ニ
ナツテ居ルカヲ御尋致シマス

○宇都宮政府委員 初メ御話ノ兩會社ト東
北民トノ接觸ニ於テ旨クナイモノガアツタ
ト云フ御話デゴザイマス、私モ遺憾ナガラ
其ノ事實ガ或ル程度アツタノデハナイカト
思ヒマス、六縣ヲ廻ツテ見テモサウ云フ
トヨ言ヒマス、又東京デモ能ク話ヲ聞キマ
ス、ソレガドウ云フ爲ニ起ツタカト申シマ
スルト、即チ會社ノ方針ヲシマシテモ、マ
ダ出來テ尙々爲ニ縣當局其ノ他自治團體
ノ人、或ハ縣民ノ人ニ對シテノ折衝ノ仕方
ニ於テ十分デナカツタ點モアリマシタラウ
シ、又六縣ノ人ノ會社ニ對スル考ニ於キマ
シテモ、私等ガ見テモ必ズシモ十分ノ理解ガ
アルトハ言ヘナイ所モアツタヤウニ思ヒマ
ス、兩方ノ關係デドチラト云フコトハ申上
ガラレマセヌガ、サウ云フ關係デ十分デナ

カツタ點モアツタヤウニ思ヒマス、是ハ御
話ノヤウニ、洵ニ遺憾ナ點デゴザイマスノ
デ、十分サウ云フコトノアリマセヌヤウニ、
是マデモ努メテ居ル積リデハゴザイマス、
又會社ノ方デモ首腦部ニ於テモ其ノ點ハ十
分留意致シテ居ルヤウデゴザイマス、將來
ニ對シマシテハ一層注意シタイと思ヒマス、
又縣廳方面ノ人ニ對シマシテモ、能ク理解
スルヤウニ話シテ貰ツテ居リマス、惜テ其
ノ關係ヲ圓滑ニスル一ツノ有力ナ方法トシ
テ肥料問題ヲ御取上ニナリマシタノハ、是
ハ全ク同感デゴザイマス、此ノ會社ノ出來
マス時ニハ、御話ノヤウニ資金ノ非常ニ大
キイ部分ガ肥料ノ製造ト云フコトニ充テラ
レテ居リマシテ、石灰窒素、確安ト云フヤ
ウナモノガ第一ニ掲ゲラレタ項目デゴザイ
マス、ソレハ單ニ肥料ヲ造ルコトガ農村ニ
必要ダト云フコトデナシニ、東北ノ全般ニ
廣イ利害關係ヲ持ツモノトシテ、ココニ著
目サレタノハ洵ニ當然ノコトデアルト思フ
ノデアリマス、然ルニ其ノ後ノ實際ヲ見マ
スルト、御話ノヤウニ甚ダ計畫ハ豫定通り
參ツテ居リマセヌ、石灰窒素ヲ造リマス
東北振興化學ト云フ會社ガ、諸般ノ設備
ヲ終ヘマシテ、ボツ／＼仕事ニ掛ツテ居リ
マスカラ、是ハ其ノ内豫定ノ石灰窒素ヲ出
シテ來ルコトト存ジマスカラ、一番大キナ確
安ノ製造ニ付キマシテハ、先日資料申上
ガマシタヤウナ状態デアリマシテ、ハツキ
リシコトヲ今申上ガラレナイヤウナコト
ニナツテ居リマス、私ノ方デモ、會社ノ方
デモ、確安製造ト云フ使命ニ鑑ミマシテ、
色々研究致シマシテ、昨年ニナリマシテ、
ドウヤラ見當ラ付ケマシテ、松尾鎮山ノ在
來他處ニ賣ラズニ山ニ止メテ居ツタ貧

ト、小川炭礦ノ炭ヲ使ヒマシテ——是ガ確
安製造ニ適シタ炭ダサウデゴザイマスガ、
ソレヲ使ヒマシテ、岩手縣下ニ十萬匁ノ確安
ヲ製造スルノプランヲ相當詳細ニ作りマシ
テ、獨逸ノ方ノ會社ノ特許ヲ得ル内相談モ致
シマシテ、愈々是デ出來ルト云フ風ニ吾々モ
考ヘマシテ、關係方面ノ企業院、商工省、
農林省ニ對シテ非常ニ努力致シタノデアリ
マス、所ガ確安製造ニ對スル國トシテノ方
針ガアリマス爲ニ、其ノ方針ニ合ハナイノ
デ、ソレニ合フヤウニ更ニ案ヲ變ヘ、經營
ノ方法ヲ變ヘマシテ、又外國カラ來ル品物
ヲ減ストカ致シマシテ、更ニ改訂シテ出
シ、漸ク是ナラバト云フ風ナ大體ノ意向ヲ
關係當局デ漏ラシテ與レタ所マデ行ツタノ
デス、唯十四年度ノ資料關係トシテハ國ノ
方針ノ關係上十四年度ノ資料ハ廻セヌガ、來
年度ニナツテハ考慮ノ中ニ入レル一ツトシ
テ考ヘテヤラウト云フ所マデ行ツタノデゴ
ザイマス、所ガ歐洲戰爭ガ起リマシテ、獨
逸ハ機械ヲ出スト云フヤウナコトヲ言ツテ
居ツタサウデスガ、中々戰爭ニナツテ見マ
スト、實際ニ機械ヲコツチニ持ツテ來ルト
云フコトモ出來マセヌ爲ニ、初メニ考ヘテ
居リマシタ確安ヲ製造致シマス其ノ方法ニ
非常ニ困難ヲ來シマシテ、現在ハ獨逸カラ
機械ガ來ナクテモ、或ハ特許ヲ得ルトカ、
或ハ技術者ヲコツチニ招クト云フ方法ヲ以
テ、何トカシテ此ノ確安ノ製造ト云フ方ニ
行キタイト云フ考ハ非常ニ強ク持ツテ居リ
マス、御話ノヤウニ東北興業デヤツテ居リ
マス仕事ハ多種多クニナリマシテ、是モ或
ル方面ニ於テハ已ムヲ得ナイ點モアルノデ
ゴザイマスガ、併シ斯ウ云フ方面ニ力ヲ注
ギマシタ爲ニ、確安ニ對シテノ考ガ薄クナ

ルコト云フヤウナコトデハ決シテゴザイマセ
ヌ、確安ト云フ問題ハ非常ニ頭ヘコビリ付
イテ一生懸命ヤツテ居ル所デゴザイマス、
唯去年ノ夏頃考ヘマシタ程、吾々ノ確信ヲ
持ツ案ガ今尙ホ出來ナイ状態ニナツタト云
フコトハ甚ダ遺憾トシテ居ルノデゴザイマ
スガ、其ノ熱意ニ付テハ少シモ衰ヘテ居リ
マセヌカラ、此ノ點御諒承ヲ願ヒタイと思
ヒマス

○野村委員長 林君、此ノ際熊谷君ニ替
テ載キタイと思ヒマスガ……

○林委員 宜シウゴザイマス

○熊谷委員 先ヅ東北局長サンニ御聽キヲ
願ヒタイと思ヒマスガ、東北ハ氣候ニ於テ
惠マレズ、政治ノ上ニ於テモ是マデハ惠マ
レテ居ナイト云フ點カラ、色々議論ガ出マ
シテ、東北振興ノ爲ニ東北局ガ今日出來テ
居リマス、又一方東北振興電力會社、東北
興業會社ガ出來テ居リマス、是ハ日本國家
全體カラ見テモ、國策トシテ遂行シテ行カ
ナケレバ、此ノ會社ノ目的ヲ達成スルコト
ガ出來ヌト云フコトハ、新シク言フマデモ
ナイコトデアリマス、ソコデ果シテ此ノ會
社ガ國策ノ線ニ副ウテ適正ナル目的ヲ遂行
シツアルカドウカト云フコトニ付キマシ
テハ、是ハ殆ド疑モナクヤツテ居ルト思
ヒマス、ダガ吾々ハ何トモ疑ハヌガ、世ノ
中ノ人ガ大分疑ツテ居ル、此ノ疑ヲ一應解
イテ置クノデナケレバ、會社ノ爲ニ宜シク
ナイデアアラウトと思フ、ソレハドウ云フコ
トデアルカト云フト、展問題トナル所ノ
問題デアリマスガ、此處ノ總裁トカ社長
トカ云フ役員ガ、折々送ツテ行ク、初代人ノ
ガ送リ、二代目モ送リ、今度ハ三代トナツ
テ居ルノデス、僅ノ間總裁ナリ社長ニナツ

テ居ルグケデ、自分ノ工合ノ宜イ時ニハ之
ヲ捨テ去ツテシマフト云フコトガ、世ノ
中ノ非常ニ疑惑ノ點ニナツテ居ルノデス、
是ハ已ムヲ得ザル事故ノ爲ニ、已ムヲ得ズ
退クコトニナツタと思ヒマスガ、是ハ東
北局ニ於テモ政府ニ於テモ十分ニ民間ノ諒
解ヲ得ルヤウナ辯解ヲシテ載キタイと思
フ、此ノ點ハ局長サンハドウ感ゼラレマス
カ、先ヅ第一ニ此ノ點ヲ承ツテ置キタイ
と思ヒマス

○宇都宮政府委員 只今東北興業、振興電
力ノ總裁、社長ノ變更ガ度々アツタコトニ
付テ、ドウ考ヘルカト云フ御尋致ゴザイマ
スガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、總理モ本
會議ニ於キマシテ、十分考慮スルヤウニ御
答致シマシテ、其ノ意思ヲ明ニ致シテ居リ
マス、吾々モ總理ノ意思ニ從ヒマシテ、其
ノ點ニ付テハ、適當ニ考ヘタイト云フ風ニ
存ジテ居リマス

○熊谷委員 是マデノ過ギ去ツタコトニ付
テ私ハ云々スルノデアリマセヌガ、兎モ角
モ事情巴ムヲ得ズシテ退カレタニ相違ナイ
ト思ヒマスガ、今度ノ總裁、社長ハソソ
ナコトハアリマスマイト思ヒマスガ、此ノ
點ハ如何デス

○宇都宮政府委員 今度ノ總裁、社長ハ東
北振興ノ爲ニ一生懸命ヤツテ居ラレルヤウ
デゴザイマシテ、吾々モ共々ニ東北振興ノ仕
事ニ盡シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○熊谷委員 所デ道途傳フ所ニ依ツテ見
ルト、阿部内閣ノ成立ノ時ニ於テモ大分色
色ナ風ニ周旋努力シタト云フヤウナ話ガ聞
エテ居ル、私ハドウモ東北ノ兩會社ノ
仕事ニ對シテハ、總裁及ビ社長ハ失禮ダケ
レドモ素人デアル、實業家デナイ所ノ今ノ

總裁社長ト云フモノハ全力ヲ盡シテモ尙ホ
足りヌト思フテ居ル、然ルニア、云フ騒ギ
ヲシテ居ルト云フコトハ、如何ニモ閉日月
ガアルヤウデアリマスカ、其ノ點ニ付キド
ウ御考ニナリマスカ

○宇都宮政府委員 當時サウ云フヤウナコ
トガアツタヤウニモ聞イテ居リマスガ、會
社ノ仕事ハ御話ノヤウニ中々兩方ノ仕事デ
ナルベキコトハ澤山アリマス、決シテ閉日
月ガアルト云フノデハゴザイマセヌ、其ノ
時ノ狀況モ會社ノ仕事ニ付テ影響ノナイヤ
ウニ十分考ヘテ行動シテ居ラレルトト思
ヒマス

○熊谷委員 是モ過ギシ事ヲ私ハ咎メルノ
デハアリマセヌ、能ク東北ノ人民ヲシテ諒
解セシメルヤウナ行動ヲ取ツテ貰ヒタイ爲
ニ、此ノ場合ニ一言申シテ置キマスカラ、局
長サンカラモ能クソレヲ御傳ヘ下サルヤウ
ニ御願シタイと思ヒマス、而シテ此ノ兩會社
ノ事業ニ付キマシテハ、御配付ニナツタ所
ノモノニ依リマシテ段々分ツテ來マシタガ、
之ヲ全部研究シテ見ルト、中々疑ノ點ガ餘計
アルノデス、此ノ通りテ洵ニ結構デゴザイ
マシタ、兩會社ハ洵ニ都合好ク行ツテ居ル
ト云フ讚辭ヲ呈スルコトハ出來ヌヤウナ狀
態デアル、之ヲ一々問ウテ行クト云フコト
ニナリマス、大變面倒ニナリマスカラ、
私ハ極ク大キイ所デ御同致シマス、此ノ振
興會社ノ方デモ、電力會社ノ方デモ、東北ヲ
救フ爲ノ會社デアリマスカラ、東北ヲ救フ
ト云フハ東北ニアル所ノ各縣ヲ救フ所ノ會
社デアラネバナラス、即チ國策ノ見地カラ
東北ノ各縣ヲ救フモノデアラネバナラスノ
デアリマス、之ヲ一寸見マス、大變ニ或
縣ニハ澤山アツテ、或縣ニハ少イヤウデア

ル、是ハドウ云フ考カラ出テ居ルカ、其ノ
點ニ付テモハツキリシタ御説明ヲ伺フテ置
キタイト思フノデス

○宇都宮政府委員 現在マデニヤツテ居リ
マス仕事ニ付キマシテ申上ガマスレバ、御
話ノヤウニ各縣ノ狀況ハ其ノ投資シマシタ
狀況ガ相當開キガゴザイマス、ソレハ吾々
ト致シマシテモ成ベタ各縣ニ同ジヤウナ風
ニ仕事ガ行ハレト云フコトヲ考ヘマシテ、
會社ノ出來マス時モ、其ノ仕事ノ各縣ノ分
布ト云フコトニ付テハ、熱心ナ御希望モゴ
ザイマスルシ、又當局モ出來ルダケソレニ
副ヤウニ言明致シテ居リマスノデ、吾々
トシマシテモ、サウ云フ方面ニ付テハ考ヘ
テ居ルノデゴザイマスガ、仕事ヲ致シマス
ニ付キマシテモ、資源ノ分布シテ居ル關係
トカ、或ハ交通關係トカ、電力關係トカ、
色々ナ關係ガ仕事ヲ行キマス關係上、
自然或ル縣ノ方ヘ仕事ガ餘計行クト云フヤ
ウナコトニナツテ居リマス、ソレデ仕事ノ
餘リナイ所ヘハ、ソレモ出來ルダケ考ヘ
タイト思ヒマシテ、小サイ仕事モ少シデ
モ取ラレヤウナ仕事ハ、假令ソレガ採算
ノ點カラ言フト、或ハ十分デナイヤウナ所
ガアリマシテモ、其處ニ仕事ヲ持ツテ行ク
ト云フ風ニ考ヘテハ居リマスガ、何シロ大
キイ仕事トナリマス、ヤハリ資源ノ分布
トカ、交通關係トカ、其ノ他色々ナ點ヲ制
限ノ出來テ來マスノハ、或ル程度是ハ已ム
ヲ得ナイコトデアラウト考ヘマス、將來ノ計
畫ト致シマシテハ、御覽ニナリマスヤウニ
仕事ニ依リマシテハ必ズシモ各縣ニ均當
ト云フコトヲ考ヘナイデ——全然考ヘナイコ
トハナイノデゴザイマスケレドモ——サウ
云フ點ヲ非常ニ主トシテ考ヘタト云フ譯ニ

ハナツテ居リマセス、東北全體トシテバカ
リ考ヘル譯デモゴザイマセスガ、縣毎ニ御
考ニナレバ今仰シヤウナコトニナツ
テ居リマス、ソレニ對シマシテハ先程申上
ガマシタヤウニ、大キイ仕事ノ行カス所ニ
ハ小サイ仕事モ少シ手ヲ掛ケテ有シテ行
ツテヤル餘地ハナイカト云フコトニ付テハ、
是非非常ニ熱心ニ考ヘテ居ル譯デアリマス
○熊谷委員 此ノ會社ハ國策ノ會社デアリ
マスカラ、各縣ニ平均ト云フコトヲ考ヘル
ヤウニト云フコトハ、決シテ註文出來ナイ譯
デアリマスケレドモ、併シナガラ今局長サ
ンノ言ハレル通りニ、出來ルナラバ其ノ御
考ヲ以テ會社事業ノ發展及ビ東北ノ振興ヲ
圖ルヤウニ御願シタイノデアリマス、ソレ
ダケ申上ゲマス

次ニハ、東北ノ事業ト云フハ、必要シマスル
ニ、電力トカ、鑛山業トカ、或ハ山林トカ、
化學工業トカ、斯ウ云フモノニ止ツテ居ル、
其ノ他種多ク小サイモノガアリマスコトハ
疑ナイノデアリマスガ、是等ノコトヲ致シ
マスニ付テ、一番主要ナルモノハ何デアルカ
ト言フト、鐵道ノ事業デアリマス、鐵道ノ事
業ガ發展シテ來ナケレバ、ドウシテモ是等
ノ本當ノ效果ヲ收メルコトハ出來ヌヤウデ
アリマスガ、東北ニ於テ將來此ノ鐵道ハ見
込ガアルモノデアル、是ヲヤラナケレバナ
ラス、斯ウ云フコトニ付キマシテ、東北局
ニ於キマシテハ、ドウ御願ニナツテ居リ
マスガ、ソレヲ先づ第一ニ承ツテ置キタイ
ト思ヒマス

○野村委員 一寸餘計ナコトカモ知レマ
セスガ、今鐵道省ノ建設局長ハ來ラレル途
中ダサウデスガ、此ノ政府委員デ宜シウゴ
ザイマスカ

○熊谷委員 是ハ東北局長カラ御聽キシテ、
ソレカラ鐵道省カラ聽イタ方ガ宜イノデス
○宇都宮政府委員 東北開發ニ付テ電力、
鑛山化學工業ト云フヤウナモノガ、主ナ資
源開發ノ事業デアルト云フコトハ御話ノ通
リデアリマス、又鐵道ノコトニ付テモ御話
ノ通りデアリマス、在來東北ニ色々ナ仕事
ノ參リマセヌノモ、交通關係ガ不十分デア
ラト云フコトガ有力ナ原因ヲ成シテ居ル
ト考ヘマス、唯將來鐵道ヲ付ケマス場所、
或ハ豫定線、或ハ將來ノ希望ニ付テ東北局
ハドウ云フ見當ヲ付ケテ居ルカト云フ御話
デゴザイマスガ、是ハ私ノ方デ見當ヲ付ケ
ル鐵道省ニ御話ヲ致シマス方ガ筋デアリ、
且ツ有力デアルト考ヘマスノデ、サウ云フ
風ニ致シテ居リマス、唯是非公式ノコト
デゴザイマスルケレドモ、今回東北方面デ
主ナ官廳ノ者モガ集リマシテ、東北振
興ニ付テ協議ヲシ、仕事ノ連絡ヲ圖ルト云
フ申合セガゴザイマスガ、ソレニ付キマシ
テハ、鐵道方面ノ關係者ヲ網羅致シマシテ、
成ベク其ノ人ニ東北振興ト云フコトニ付テ
能ク心得テ貰フコトニ力ヲ入レテ居
リマス、私ノ局ダケデ、路線ニ付テ彼此レ
ト云フコトヲ外部ニ申上ゲルコトハ如何カ
ト考ヘラレマス

○熊谷委員 私人承ラント欲スルノハ、鐵
道省ヲ抜キニシテ東北局ノ意見ヲ聽ク譯デ
ハナイ、鐵道省ト打合セテ、斯クノノ線
ハ有效ナ線デアル、有利ナ線デアルト云フ
諸點ニ付キマシテ、御願ノアツタモノガア
リマスナラバ承リタイ、斯ウ云フ意味デア
リマス

○宇都宮政府委員 東北全般ニ付キマシテ、
サウ云フモノヲ調査致シタコトハマダゴザ
イマセス、個々ノモノニ付テハ連絡シタコ
トハゴザイマスガ、全般的ニハゴザイマセ
ス

○熊谷委員 會社ニ於テモ其ノ點ニ付テハ
調ベタモノハナイデセウカ、アルノデセウ
カ

○宇都宮政府委員 會社ニ於キマシテモ全
般的ニサウ云フモノヲ調ベタモノハ協力無
イ管デゴザイマス

○熊谷委員 鑛産局長ガオイデニナツテ居
リマスカラ一寸伺ヒタイ、是モ同様ノ
問題デアリマスガ、東北局長カラ先ヅ御答
ヲ得マシテソレカラ鑛産局長カラ御答ヲ得
タイト思ヒマス、ソレハ東北ニ於テハ各種
ノ鑛山ガ豐富デアルトハ疑ナイ、ソレデ
東北振興ニハ東北ノ鑛山ヲ相手ニセナケレ
バナラヌト云フコトハ當然デアリマス、ソ
コデ材料ノ中ニ東北ノ金鑛其ノ他鐵ト云フ
ヤウナモノニ付テ、東北振興會社ガアラレ
タコトハ分ツテ居リマスカラ、其ノ點ヲ聽
ク譯デアリマセスガ、今殘ツテ居ル與羽
六縣ノ各種ノ鑛山ニ於テ、相當有望ナルモノ
ハドレ位アツテ、ドレガ一番最初ニアルベ
キモノデアラウト云フ御調ガ東北局ニアリ
マスガ、或ハ又會社ノ方ニアリマスガ

○宇都宮政府委員 全般的ニ東北ノ鑛山ヲ
調ベマシタモノハ私共ノ方ニハゴザイマセ
ス、會社ノ方ニハ全般的ニ互ツテ調ベタノ
ハ極クザツトシタモノハアルダラウト云フ
コトハ推測致シマスガ、今確ニアリマス
トモ、アリマセヌトモ申上ゲ兼ネマス、是ハ
後デ調ベテカラ御返事致シタイト思ヒマス

○熊谷委員 調ベタコトガナイト云フノ
ハ、マルキリ手ヲ付ケナイノカ、或ハドウ

云フ方法デ調ベルノカ、例ヘバ鑛山ヲ持ツ
テ居ル者ガドウモ金ガ少クタイカスカラ、
アナノ方ノ會社デ助ケテ貰ヒタイト云ウ
テ材料ヲ提供シテ來テ調ベルカ、サウデナ
ク會社ガ率先シテ東北振興ノ爲ニハドウシ
テモ有望ナル所ノ鑛山ヲ調ベテ置カナケレバ
ナラス、斯ウ云フ點カラ調ベタモノガアル
ノカナイノカ、其ノ點ハ如何デアリマスガ
○宇都宮政府委員 會社デ鑛山ヲ買ヒマシ
タコトモゴザイマス、又現ニ買ハントシテ
居ルノモゴザイマスガ、是ハ持込マレタ時
ダケデナシニ、コチラデ相當廣ク調ベマシ
テ、是ハト云フ所ヘ見當ヲ付ケテ買フヤウ
ニ致シテ居リマス

○熊谷委員 サウスルト、買入ノ申込ガア
ツテソレカラ調ベテ、平生ハ特別ノ調ヲシ
ナイト云フコトニナルノデス

○宇都宮政府委員 東北全般ニ付キマシテ
各種ノ鑛山ヲ全部調ベテ居ルカドウカト云
フコトハ一寸申上兼ネマスガ、鑛山ヲ買ヒ
マス時ニハ申込ガアツテ初メテ買フ時バカ
リデゴザイマセヌデ、斯ウ云フ方面ノ鑛山
ガ欲シイト思フ時ハ、コチラデ探シテ話ヲ
進メテ行ツテ居ルモノモゴザイマス

○熊谷委員 餘リ追究シテモ無理ナ質問デ
アリマスカラ此ノ邊テ止メマシテ、次ニ鑛
産局長サニ御伺フシタイノデアリマスガ、
東北ノ金鑛デモ銀鑛デモ相當ナルモノ
ガアツテ、能クヤレバ日本ノ寶庫ニハナル
ノダト云フ素人ノ噂、是ハ鑛産局長サシカ
御覽ニナツテドシナモノデアリマセウカ、
相當ニナツテドシナモノデアリマセウカ、
相當ニハ大イナル有望ナルモノデアリマセ
ウカ、其ノ點ニ付テハ如何デセウカ

○小金政府委員 東北地方ノ鑛物資源ノ狀
況ハ之ヲ概括的ニ申上ゲマス、我國ニ於

テハ極メテ有望ナル地帯ト申上ゲテ差支ナ
イノデアリマス、尙且此ノ有望デアル外ニ
マダ今後開發ノ餘地ガ非常ニ大キイ、即チ
今後試掘乃至探鑛ヲ行ツタラバ、相當ナル
即チ日本ニ一流ノ鑛山トマデ發達シ得ルダ
ラウト推測サレル山ガマダ相當深アルノ
デハナイカ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘテ居
リマス、鑛物ノ種類ハ既ニ東北局カラ御手
許ニ御配付シテアルト存ジマスガ、其ノ資
料ニ依ツテモ御分リノ通り金鑛鑛銅鑛ソレカ
ラ硫化鐵、石油等ヲ初メトシテ、殆ド東北ニ
ハ我國ノ鑛業法ガ掲ゲテ居リマス、鑛物ノ
殆ド全般ニ渡ツテ埋藏サレテ居ルト云フ狀
況デゴザイマス

○熊谷委員 鑛産局長ニ於キマシテハ色々御
調下サツタデアリマセウガ、其ノ中ノ優秀
ナモノハドウノ邊ノモノガ一番優秀ダト云フ
簡單ニ御調ガアルモノデセウカ、ドウデセ
ウカ

○小金政府委員 商工省デ調査致シマス方
法ハ、先ヅ國デ行ツテ居リマス地質調査デ
アリマス、是ハ茲ニ三年前マデハ非常ニ經
費ノ削減ト人件費ノ削減等ニ遭ヒマシテ、
殆ド明治時代ニ計畫シタ最モ合理的ナ調査
ガ手ニ著イタバカリデ何等見ルベキモノガ
ナイト云フヤウナ悲シムベキ結果デアリマ
ス、ソコデ其ノ他ノ調査ト致シマシテハ、
鑛山監督局並ニ鑛産局本省ノ技術者ガ時々
必要ニ應ジテ調査スル程度デアリマシテ、
何等計畫的又一貫シタ方針ノ下ニ調査シタ
モノハゴザイマセス、ソコデ歸納的ニ東北
地方ノ鑛物ガ如何ナル分布狀態ヲ示シテ居
ルカ、又如何ナル地方ニ如何ナル種類ノ鑛
物ガドウ云フ具體的狀態ニアルカト云フコ
トハ、ドウモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併

シナカラ先般來國策會社トシテ出來マシタ
日本産金振興株式會社、或ハ帝國鑛業開發
株式會社ト云フヤウナモノモ、幸ニ徐々デ
ハアリマスガ、技術者其ノ他ノ陣營ヲ強化
致シマシテ、東北地方ノ希望モ相當アリマ
スノデ、其ノ方面ニ向ツテ折角努力ヲスル
計畫ニナツテ居リマス、ソレ等ノ調査乃至
ハ實地ノ探鑛ガ實ヲ結ンダラバ、相當ナル
論ガ得ラレルト思ヒマスガ、只今ノ所デハ
ドウノ方面ノドウ云フ鑛物ガ一番有望デア
ルカ、ドレニ早ク著手スベキデアルト云フ
コトハ、茲デ一概ニ私ハ申上ゲ兼ネルノデ
アリマス、例ヘバ東北地方ニハ他ノ地方ニ
餘リナイ所謂黑鐵——黒物ト謂ハレテ居リ
マスモノガ各地ニアル、又硫化物、硫化鐵
ガ方々ニアル、ソレカラ又東方地方一帶ノ第
三期層地域ト謂ハレル方面ニ石油ノ試掘ヲ
マダ相當スル必要ガアルダラウ、斯ウ云フ
風ナ大雜把ナコトシカ申上ゲル程度ニナツ
テ居マセス

○熊谷委員 今我國ノ國策トシテ言ヘバ、
石油ハ秋田山形、方々ニアリサウデア
ソレカラ國ガ盛ニ民間ノ金ヲ取入レヨウ
ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ金ヲ
集メルト云フコトガ國策ノ重大ナル問題
一ツデアル、所デ石油ノ方ニ付テモ、又金
ノ方ニ付テモ、其ノ他硫化鐵ノ方ニ付テモ、
人ガナク金ガナクテ、商工省ニ於テ御調
ガ出來テ居ラヌト云フコトハ、實ハ非常ニ
遺憾ト申上外ハナイ、局長サシカ其ノ道
ヲモナイガ、獨逸ノ如キハ、モウシツカリ
ト全國ニ互ツテ地質調査ヲヤツテ、何處ニ
ハドウ云フモノガアリ、何處ニハドウ云フ
モノガアルト云フコトハ、非常ニ綿密ニ調

ラレテ居ルノデアリマス、國事多端ナル際
ニ於キマシテ、國ガソレ等ノコトヲヤラズ
ニ、唯國民ノ持ツテ居ル所ノ管ヲ出セトカ、
指輪ヲ出セトカ云フヤウナコトダケデハ、
申々今日ノ世ノ中ヲ持ツテ行クコトハ出來
ナイト思フノデアリマス、併シ是ハ局長サ
シニ申上ゲテモ甚ダ失禮ニ當リマスガ、唯
茲ニ私ハ取調ベガナイト云フコトハ、甚ダ遺
憾デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト
思ヒマス、是ト同時ニ國策會社タルモノガ
一番標的ニスル大事ナモノニ付テ取調ベヨ
十分ニシテ居ナイト云フコトハ、是ハ忙シ
イカモ知レヌガ、少シ時ヲ割イテ其ノ方ニ
頭ヲ向ケテ行カナケレバナラスモノデハナ
イカト思ヒマス、併シ色々ナコトヲ申上ゲ
テモ、是ヨリ以上申上ゲレバ議論ニナリマ
スカラ、是デ切ツテ置キマス

○小金政府委員 一寸補足シテ申上ゲマス
ガ、調査ガ完全ニ出來テ居ラナイト云フ事
柄ニ付キマシテハ、大變御同情ノアル御言
葉ヲ戴キマシタガ、或ル程度ノ調査ハ出來
テ居リマス、唯只今御指摘ニナリマシタヤ
ウナ、獨逸デ實際行ツタヤウナ所謂科學的
ナ完全ナル調査ガ出來テ居ラナイト云フ意
味デアリマスガ、其ノ點ヲ御諒承ヲ願ヒマ
ス、今後電氣探鑛トカ、物理探鑛トカ、サ
ウ云フヤウナ方法ヲ利用致シマシテ、其ノ
調査ノ完壁ヲ期シテ、地下資源ノ開發ニ遺
憾ナカラシメヨウト云フ努力ハ、十分續ケ
ル積リデゴザイマス

○熊谷委員 洵ニサウ云フ御決心ヲ下サイ
マシテ御奮發下サルコトハ、國家ノ爲ニ結
構ナコトデアリマスカラ、ソレハ御禮ヲ申
上ゲテ置キマス、モウ一ツ附加ヘテ置キマ
スガ、方々ニヤツテ居リマス金ノ採掘モ、

是ナドモ大キイ良イモノガアルヤウニ段々進シテ來タヤウデアリマス、又石油ノヤウナモノモ相當ニ出ル見込モアルヤウデアリマスガ、是等ニ付キマシテモ、十分御援助下サランコトヲ希望シテ置キマス、ソレカラ鐵道省ノ方ハ見エラレテ居リマスカ

○野村委員長 今鐵道省ノ建設局長が見エマシタ
○熊谷委員 東北ノ振興シナイ原因ノ一ツハ何デアアルカト言ヘバ、疑ヒモナク交通機關ノ設備ノ不十分デアルト云フコトガ、何ト云フテモ學ガナケレバナラス點ノ一ツデアルト思ヒマス、所デ山嶽重疊シテ居ル東北ノ地ニ、戰時ノ今日ニ於テ鐵道ヲ架ケテ吳レト云フコトハ、甚ダ時ヲ得ナイト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レマセウガ、何ト云フテモ東北ノ産業ヲ發展サセテ行カウト云フノニハ、鐵道ヲ盛シニ架ケテ載タシカカ法ハナイト思ヒマス、鐵道省ノ方デハ是等ノ點ニ向テドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルカ、其ノ點ニ付テ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○堀越政府委員 只今御話ニナリマシタ東北地方ノ振興ノ意味ニ於テ交通機關ノ必要デアルト云フコトハ、洵ニ御尤モナコトト考ヘルノデアリマス、鐵道省ト致シマシテモ、先年來東北振興ノ意味ヲ以テマシテ、鐵道ノ普及ト云フコトヲ圖リツツアルノデアリマスガ、只今御話モアリマシタヤウニ、此ノ時局下ニ於キマシテ、資材、勞力、資金共ノ他ノ關係カラ致シマシテ、明年度ハ軍事上必要ナルモノ、又生産力擴充ノ上、輸送力ノ増強ノ意味ニ於キマシテ、最モ必要ナルモノノ建設線ノ工事ヲ遂行スルト云フコトニ重點ヲ置イテ居ルヤウナ次第デア

リマスガ、尙ホ將來ニ於キマシテモ、此ノ東北ノ振興ト云フ意味合カラ致シマシテ、東北地方ノ交通機關ノ發達ト云フコトニ於キマシテハ、十分其ノ點ヲ考慮致シマシテ、鐵道ノ普及及發達ヲ圖リタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○熊谷委員 洵ニ局長シヤンガ仰シヤル通りデアラウト思ヒマスガ、兎モ角モ軍事ニ關スルモノトカ、或ハ生産擴充ニ關スルモノデナケレバイカスト云フコトハ、是ハ御尤モナ話デアアル、所デ生産擴充ニ關スル所デ收支相償ヲヤウナ場所ニハ、思切ツテ御掛リニナル御見込ガアルノデアリマスガ、アリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒマス
○堀越政府委員 只今東北地方ニ於キマシテモ、相當ニ建設線ガ豫算ニ計上シテアルノデアリマシテ、是等ノモノヲ出來ルダケ早ク、而モ只今御話ノアリマシタヤウニ、生産力擴充ノ意味合ノアリマシタモノハ勿論ノコト速成シタイ、斯様ニ考ヘテ進メテ居ル次第デアリマス
○熊谷委員 鐵道省ニ於テ御調ベニナツテ居ル線ハ何處ニキタリマセウカ、御差支ナイ限リ承ツテ置キタイト思ヒマス
○堀越政府委員 熊谷サンモ御存ジノ通りニ鐵道網ト云フモノガ十數年前以前ニ出來マシタノデスガ、其ノ後地方ノ交通關係、又地方ノ狀況ガ非常ニ變化シテ參ツテ居ルノデアリマシテ、最近此ノ網ノ再調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ網ノ再調査ト同テ居ルノ地方カラ請願ナリ建議ナリガアリマシタ線、又私共ガ考ヘマシテ、將來鐵道敷設ノ必要ガアリハシナイカト云フ意味合ノ線ナドモ合セマシテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、勿論是等ノ中ニハ生産力擴充

ノ意味合ノモノモ含シテ居ルノデアリマス、是ハ餘程澤山アリマスノデ……
○熊谷委員 最モ有望ナ線ハ御分リニナツテ居リマセウカ
○堀越政府委員 是等ノ中デ調査中デアリマス、マダ結果ヲ比較研究シテ綜合的ニ繼上ゲテナイノデアリマス、調査中デアリマスノデドウ云フ線ガ有望デアアル、ドウ云フ線ハ餘リ有望デアナイト云フコトヲ申上ゲルマデニ立至ツテ居ラナイノデアリマスガ、東北地方ノ豫定線ナリ、請願、建議ニ係リマシタ線路ヲソレデハ申上ゲルコトニ致シマス、弘前・田代間、青森・五所川原間、五所川原・大澤間、ソレカラ弘前・田代ヲ經テ深浦又ハ岩崎ニ至ル鐵道、三戸・千曳間、三戸・毛馬内間、五戸又三本木カラ毛馬内ニ參リマス鐵道、ソレカラ八戸・沼宮内間、北福岡・久慈間、久慈・小本間、一戸・荒屋間、小島谷・落合附近間、小本・宮古間、花輪カラ鳩ノ湯ヲ經テ生保内間、阿仁合・楡木内間、米内澤・一日市間、能代・船川間、碓氷川尻間、横手・前郷間、湯澤・羽後大島間、院内・矢島間、十文字・楡山間、楡山・一ノ關間、十文字・鳴子間、十文字・水澤間、黒澤尻・摺澤間、水澤・遠野間、水澤・盛岡間、平倉・盛岡間、釜石・盛岡間、川井・高田間、津谷・田尻間、志津川・石巻間、古川・仙臺間、松島・石巻間、神町・川崎間、長町・青根間、上ノ山・中村間、中村カラ丸森ヲ經テ福島間、日中・米澤間、川俣・浪江間、浪江・船引間、白河・廣田間、猪苗代・福島間、川口・只見間、只見・田島間、長沼・須賀川間、石川・植田間、其ノ他ニモマダアリマスガ、大體ソレ位ノ線デアリマス
○森田委員 横カラ甚ダ失禮デゴザイマス

私共ト致シマシテモ、最近ニ調査致シタノデアリマス、マダ其ノ結果ヲ纏メツツアルヤウナ次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス
○熊谷委員 私ハ山林局長ニ一ツ聞キタイノデスガ、出席ヲ要求シテ貰ヒタイト思ヒマス
○野村委員長 承知致シマシタ、建設局長ニハ是デ宜シウゴザイマス
○熊谷委員 宜シウゴザイマス
○林委員 建設局長ガオ居デゴザイマスカラ、牽聯シテ御尋シタイト思ヒマス、東北六縣ガ非常ニ行詰リマシタ時ニ、東北振興調査會ト云フモノガ出來マシテ、ドウ云フヤウニスレバ東北ガ救ハレルカト云フ審議ヲ重ネテ次第デアリマス、其ノ時ニ鐵道省カラ委員トシテ高安次官ガ御列席サレマシテ、非常ニ御熱心ニ東北ノ鐵道ニ付テノ御親切ナル御話モゴザイマシタシ、他ノ委員ノ方々モ何トシテモ鐵道問題ガ先ヅ主タル問題ダト云フコトニ意見ガ一致シ、サウシテ東北ノ鐵道ヲ促進スルト云フコトニ全力ヲ盡サレツツアツタノデゴザイマス、所ガ二三年來凶作ガ止ツテ居ルト申シマセウカ、幾ラカ豊作ニナツテ來タ爲デセウカ、一ツハ時局ト云フコトモゴザイマセウガ、鐵道ニ付テモ東北ガ幾ラカ輕ンゼラレタヤウナ向ガナイカト思ツテ心配シテ居リマス、ト云フノハ今年度ノ鐵道ノ御計畫ニモ中止、繰延ノ程度ガ——全國的ニ中止、繰延ハ行ハレタノデゴザイマセウカ、東北ノ方ハ其ノ中止、繰延ヲシナイ率ヲ成ベク少クスルヤウナ御苦心ガ拂ハレテ居ナイノデハナイカ、世間並ノ中止、繰延ヲサレタノデハナイカト云フヤウナ感ジヲ實ハ持ツテ居

ツタノデアリマス、ト云フノハ、アノ線ハ繰延ナクテモ宜イデヤナイカ、或ハ中止シナクテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ感ジノ所ヲハハリ中止、繰延ガサレテ居ルノデアリマス、國策トシテ東北振興ヲ今續ケテ居ル最中デゴザイマスカラ、御方針ヲ變ヘラレテハ、東北トシテハ大變迷惑ヲ感ズル譯デアリマス、此ノ點ハ如何デゴザイマセウカ、是非トモ一ツ相變ラズ東北ノ鐵道網完成ニ付テモ御心變リノナイヤウニ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス、如何デセウカ
○堀越政府委員 只今林サンガ御話ニナリマシタコトハ、洵ニ御尤モダト思フノデアリマス、政府ト致シマシテハ、東北振興ノ意味合ヲ決シテ輕ンジタ譯デハナイノデアリマスガ、御話モアリマシタヤウニ、時局下ニ於キマシテ、資材、勞力、資金共ノ他ノ關係カラ建設線ガ已ムヲ得ズ繰延ベラレルコトニナツタノデアリマス、併シソレバカリデナシニ、工事前ノ關係カラ繰延ベラレタノデアリマスガ、明年度ハ四十三線建設シタ、アトノ五線ダケガ繰延ベナイコトニナツタノデアリマスガ、此ノ五線ハモウ出來上リマシテ、開業スルバカリニナツテ居ル線ナノデアリマス、東北ノ方ノ繰延ベラレシマシタガ、是等ノ中ニハ工事前上已ムナク繰延ニナツタ線モアリマス、東北ヲ輕ンジテ他ト様ニ繰延ベタト云フ譯合デモナイノデアリマシテ、其ノ點ハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ先程申上ゲマシタヤウニ、東北振興ト云フ意味合ハ十分ニ尊重致シマシテ、將來トモ鐵道ノ普及ト云フコトニハ十分ニ力ヲ盡ス積リテ居リマス
○中田委員 私ハ建設局長ニ御伺致シタイ

ト思ヒマス、東北ノ振興ニ付テ鐵道ガ根本デアルト云フコトニ付テハ十分ノ御認メニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、更ニ繰返シテ申上ゲル必要モナイノデアリマスガ、唯、現在時局下ニ於テ最モ重要ナル問題デアリ、此ノ議會開會以來本會議、委員會ヲ通ジテ、最モ活潑ニ議論サレテ居ツタノハ物質ノ問題デアアル、此ノ見地カラ致シマシテ、東北ヲ見渡ス時ニ、一面カラ云ヘバ、東北自體カラ言ヘバ東北振興ヲヤウツテ、東北民ノ幸福ヲ増進シテ貰ヒタイト云フコト共ニ、國家的ニ見マス、未開發ノ資源ヲ開發シ、物資ノ増産ヲスルト云フ立場カラ見テ、東北ニ對シテハ國家トシテ、何か特殊ナ一ツノ考ヲ以テ進マナケレバナラスコトダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、單ニ東北振興ノ立場カラ言フト鐵道ニ對スル考ヲ決メルト云フコトト、更ニ現在ニ於テハモウツト廣イ意味ニ於テ此ノ點ハ考慮セナケレバナラスコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、只今局長ノ御答辯ノ中ニハ、鐵道網ノ再調査ヲサレテ居リマシテ、ソレハ之ヲ改定セラレテ居ル中デアルト云フコトヲ承リマシタ、此ノ調査ハ何時頃御完了ニナル御見込デゴザイマスカ、此ノ點ヲ御伺シタイ

○堀越政府委員 豫定線其ノ他ノ調査デアリマスガ、是ハ豫定線ガ只今幾ツテ居リマスノガ七千、キロ、バカリゴザイマス、サウシテ豫定線外ノ調査ノ必要アル線路モアルノデアリマスガ、是等ヲ合セマス、相當「キロ」アルノデゴザイマス、年々調査致シテ參リマシテ、只今ノ所殘リ約千、キロ、足ラズニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、

ガ、私一寸間違ヒカモ知レマセウガ、青森縣ノハ三戸デスカ、三本木デスカ
○堀越政府委員 三戸カラ毛馬内ニ參リマスノト、五戸カラ毛馬内ニ參リマスノト、三本木カラ毛馬内ニ參リマスノトアリマス
○熊谷委員 ソレヲ承ツテ居リマス、大分其ノ中ニハ複線ノヤウニ重複線ガアルト云フヤウナモノモアルノデセウケレドモ、私共考ヘテ居ル線ノ一例デアリマスケレドモ、重要ナ線ガ、抜ケテ居ルヤウニ思フ、ソレハ鶴岡市ト大島間ト云フ線ガアリマス、是ハドウデセウカ
○堀越政府委員 鶴岡・大島間ハツヒ落シマシタ
○熊谷委員 鶴岡・大島間ノアレハ先刻鐵山局長ガ來ラレマシテ、大日本金銀會社デスカ、ソコニ非常ニ大キナ設備ヲヤウツテ、金ガ非常ニ有望ナ場所デスカ、是ハ段々陳情申上ゲテアリマス、ソレカラ朝日鐵道ノ下ニアリマシテ、何千万石ト云フ薪炭ノ出ル有望ナ場所デスカ、是等モ僅カ三百万圓位アレバ鐵道ガ出來ルト思フノデスカ、斯ウ云フモノニ付キマシテ請願ハ何過モ出テ居リマス、今度モ請願シテ居リマス、ドウソ當局ニ於カレマシテハ忘レナイヤウニ御留意ヲ下サイマシテ、早速御著手下サイマシテ、國策ノ一端ニ資セラレシコトヲ希望致シマス、建設局長ニ色々御馳キスルヤウナコトモアリマセウケレドモ、政策ニ關スルヤウナコトニ付キマシテ御馳キシテモ仕様ガアリマセウカ、先ヅ此ノ程度ニ致シマス
○堀越政府委員 只今鶴岡・大島間ヲ落シマシテ洵ニ申譯アリマセウガ、此ノ線ハ御話ノヤウニ豫定線デアリマシテ、サウシテ鐵石ガアリ、薪炭ガアル所デアリマシテ、

成ベク早イ機會ニ之ヲ完了シテ善處シタイトス様ニ考ヘテ居リマス
○中田委員 先程熊谷サンノ御答辯ニ舉ゲラレタ線ハ、全部豫定線トシテ調査セラレル線ノ中ニ入ツテ居ル管ダト思フノデアリマス、其ノ點ヲ一ツ御伺致シタイト思ヒマス、更ニ鐵道網ノ改定ト云フモノハ、其ノ調査ガ全部終ツタ後何レヲ編入スルカト云フ順序ニナルノデゴザイマス
○堀越政府委員 此ノ調査ノ方法デアリマスガ、是ハ可ナリ澤山アリマスノデ、中ニハ私設鐵道ガ出來マシタ場所モアリマス、又極ク接近シタ場所ニ鐵道ガアリマシテ、圖面ダケヲ見テモ大體ノ見當ハ付クト云フヤウナモノモアリマスノデ、圖上デ線路ヲ研究致シテ行クモノト、實地ヲ調査シテ參リマシテ、簡單ナ測量ヲヤウツテ參リマスモノト、色々ナ方法ヲ進メツツアルノデアリマス、此ノ調査ガ完了致シマシタ上デ、鐵道網ノ改廢ヲ如何ニ決メラルカト云フコトヲ考慮致シタイトス様ニ考ヘテ居リマス
○中田委員 サウシマス、其ノ調査ガ全部完了シナイ内ハ鐵道網ノ改廢ト云フモノハ出來得ナイト云フコトニナルト思フノデアリマスガ、左様デアリマス
○堀越政府委員 大體左様ニ考ヘテ居リマス

○中田委員 先程私申上ゲマシタガ、現在ノ日本ノ國情カラシテ物資ノ増産ト云フコトハ非常ニ重要ナル問題デアアル、サウ云フコトニナルト東北ノ資源ノ開發ト云フコトガ非常ニ強イ關係ヲ持ツコトニナルノデアリマスガ、其ノ資源ノ開發ハ鐵道ノ開通ニ依ツテ初メテ出來ル順序ニナツテ行クト思フノデアリマス、サウシマス、今ノ調査

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年一月二十八日

ハ何時マデニ完成スルカ、マダハツキリシタ時期ヲ御發表ニナラナイヨウデアリマスガ、ソレガ相當ビルト云フコトニナルト、折角非常ニ重要ナ路線デモ、現在鐵道網ニ編入サレテ居ナイモノハ建設ニ著手スルコト出来ナイト云フ結果ニナルト思ヒマス、是ハ東北自體カラ見マシテモ、現在物資ノ増産ガ非常ニ急務デアルト云フ點カラ考ヘマシテモ、非常ニ遺憾ニ考ヘラレルノデアリマスガ、斯様ナ點ハ何カ建設ノ方針トシテ全部調査ヲ終ヘタ上デナケレバ、新ニ鐵道網ニ適當ナ線ヲ編入スルト云フ扱ハ出来得ナイコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御同致シマス。

○堀越政府委員 此ノ鐵道網ノ改廢ト云フコトハ、鐵道網其ノ他ノ線ノ調査ガ完了シタ上デ善處シタイ考デ居ルノデアリマスガ、此ノ資源ノ開發又其ノ他ノ意味合デ建設線ニ編入スル、豫算ニ計上スルト云フコトハ、此ノ網ガ完了致シマセデモ、資金、資材其ノ他ノ關係ガ許シマセレバ、順次計上シテ建設ニ著手スル豫定デ居ルノデアリマス、最近モサウ云フ意味合ヲ以テマシテ、ヤハリ建設線ニ計上シテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス。

○中田委員 私順序ガ能ク分ラナイノ点見當邊ヒノ御尋ラシテ居ルカモ知レマセマス、唯私ハ鐵道網ニ編入サレテ居ル路線デナケレバ絕對ニ建設ニハ扱ハレナイモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハサウデハナイノデアリマスガ、

入レルト同時ニ建設線ニ編入スルコトガ出来ルノデアリマシテ、今マデモサウ云フ方針デヤツテ居ルノデアリマス。
○中田委員 只今ノ御答辯ノ點ハ能ク諒承致シマシタ、次ニ只今林君カラモ御希望ガアリマシタガ、ドウモ私共ノ難カ分リマセヌケレドモ、東北ノ鐵道ニ對シテハ當局ハ相當關心ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、屢々色々ナ機會ニ於テ承ルノデアリマス、併シ吾々ノ感想ト致シマシテハ、ドウモ東北ハ二番目、三番目ニナツテ居ルノデハナカテウカト云フコトガ感ゼテレルノデアリマス、結局人口ガ稀薄デアアル、旅客ノ交通量ガ少イ、斯ウ云フ點カラ東北ノ鐵道ハ後廻シデモ宜イデハナイカト云フコトハ一應ノ理窟ハアルト思フノデアリマスガ、併シ現在ノ如キ物資ガ重要ナ時代ニハ、東北ノ鐵道ハ別ナ意味ニ於テ非常ニ重要性ヲ持ツテ來ルコトハ申上ゲルマデモナイ、ソレハ十分御認メ下サルコトト思フノデアリマス、此ノ點ニ從ツテ建設ノ御方針モ十分改メテ御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、職制改正カ、機構ノ改正ニ依ツテ、從來東北ニハ盛岡、秋田ノ兩建設事務所ガアリマシタガ、先年其ノ中ノ秋田ノ建設事務所ガ廢止サレタ、私共率直ニ感ゼタコトハ、此ノ秋田ノ建設事務所ノ廢止ト云フコトハ、東北ノ鐵道ハマア後廻シニシヨウト云フ意思表示ダト云フヤウニ感ゼラレタノデアリマス、只今伺ツテ見マスルト、左様ナコトハナイト云フ御話デアリマスケレドモ、併シドウモ東北民ハ鐵道省ノ方針ガサウデアラウト云フコトヲ強ク感ゼテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ色々ノ事情ハアルト存ジマスケレドモ、何カ此ノ點ニ付テ御説

明ヲ承ルコトガ出来レバ幸デアリマス。
○堀越政府委員 東北ノ鐵道建設ヲ輕ンジタト云フ心持デハナイノデアリマス、只今御話ニナリマシタ秋田建設事務所ガ廢止ニナツタト云フコトデアリマスガ、是ハ最近職員ガ時局下ニ於テ現地ノ方ニ可ナリ派遣サレテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係上非常ニ手不足ヲ感ゼテ居ル、ソレカラモウ一ツハ交通機關ガ順次發達シテ參リマス關係、又其ノ附近ノ仕事ノ量ノ關係上秋田建設ハ廢シテ盛岡ノ所管ニ加ヘタノデアリマスガ、又仕事ノ量ガ變化シテ參リマスケレバ、必要ナ所ニハ建設事務所又設置スルコト云フコトハ當然ノコトト考ヘテ居ルノデアリマス。
○中田委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、現在ノ東北ノ鐵道ニ對シテハ、決シテ第一、第三ト云フヤウニ考ヘラレル譯デアハナイト云フコトヲ諒承致シマシタ、所ガ此ノ點ニ付テハ先程申上ゲマシタヤウナ意味ニ依ツテ、一層建設ノ方針ニ付テハ東化ヲ重ク見テ敵タヤウニ御配慮ヲ御願致シタイノデアリマス。
次ニ簡々ノ路線ニ付テノコトヲ御同致シタイノデアリマスガ、鷹巣、角館線、現在ハ阿仁合ガ終點ニナツテ居リマスガ、此ノ路線ハ餘ス所僅カ十數哩ニ過ギナイデアラウト記憶シテ居リマス、而シテ此ノ線ハ最近時局下ニ於テ沿線ニ鑛山ガ非常ニ開發セラレマシテ、非常ニ重要ナル路線ニナツテ居ルノデアリマスガ、真中程ガ僅カバカリ結ビ付ケラレナカツタ關係上、富源ノ開發シ得ベキ鑛山モ、之ヲ唯手ヲ東ネテ居ラナケレバナラス状態ニナツテ居リマス、殊ニ阿仁合驛カラ僅カ一里バカリノ所ノ荒瀨炭

田ハ是ハズツト前カラ其ノ開發ガ問題ニナツテ居ツタノデゴザイマスガ、時局ノ波ニ乘ツテ此ノ炭田ニ付テ倉、企業家ガ之ヲ著手致シタノデアリマス、更ニ其ノ炭田ヲ昨年モ早稲田大學ノ石川博士ノ調査ニ依リマシタ、現在表面ノ炭質ハ餘リ良クナイケレドモ、段々掘ツテ行クニ從ツテ非常ニ良クナツテ行ク、宇部ノ沖ノ山炭坑ノ炭ト同質ノモノニナル、埋藏量モ七千萬噸以上ニナルト云フコトヲ調査ノ結果御發表ニナツテ居リマス、是ハモウ既ニ工事ニ著手シテ居リマスガ、其ノ炭モ少クトモ今年中ニハ市場ニ出テ來ルト思フノデアリマスガ、斯様ナ豐富ナ資源ヲ持ツテ居ル線デアリマスガ、私共ハ何トシテモ此ノ僅カバカリノ十數哩ノ線ヲ成ベク早く結付ケルコトハ非常ニ大切ナコトデアアルト考ヘルノデアリマスガ、是ハ先年、一昨年デアリマシタカ、十六年度ノ完成ヲ十七年度ニ一年延期セラレタヤウニ記憶致シテ居リマス、是ハ逆ニ速成シテ早クヤル、少クトモ最初ノ豫定ノ明年度中ニ之ヲ完成スルト云フヤウナコトハ出来ナイモノデアリマセウカドウカ、此ノ點ヲ御同致シタイト思ヒマス。
○堀越政府委員 只今御話ニナリマシタ檢木内線デアリマスガ、此ノ線ハ一工區、二工區、角館カラ西明寺、西明寺カラ川岱間ノ二工區ハ目下工事中ナノデアリマス、川岱カラ先檢木内マデハ今線路ノ選定中デアリマシテ、線路ノ選定ガ進ミマスニ連レテ工事ニ著手シテ行ク考デゴザイマス、是ノ沿線ニ金鑛アリ、他ノ鑛石ナリ木材ガ可ナリアルト云フコトハ私ノ方デモ存ジテ居ルノデアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、資材、勞力其ノ他ノ關係カラシテ、一

般ニ工事ガ延期サレルコトニナツタノデアリマスガ、只今ノ御話モアリマシタヤウナ次第デアリマスガ、將來出來ルダケ進捗シテ完成ヲ早メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス。
○中田委員 一寸混線シテ申上ゲタヤウデアリマスガ、檢木内、角館間ハ現在工事ニ著手サレテ居リマスガ、檢木内カラ阿仁合間デアリマス、其ノ間ハ大シク難工事モナイヤウニ承ツテ居リマス、又先程申上ゲマシタヤウニ、最近其ノヤウナ炭田ガアルト云フコトモハツキリ分リマシテ計畫サレテ居ルノデアリマスガ、ドウゾ此ノ點ヲ十分御調査下サイマシテ此ノ線ノ完成ヲ成ベク促進セラレルヤウニ御願致シタイト思ヒマス。

マシタヤウニ、ドウゾ鐵道建設方針ニ付テハ東北ニ對スル御關心ヲ十分ニ御持チ下サルヤウニ御願致シマス。
○野村委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシテ午後一時半カラ始メマス
午後一時四十九分開議
○野村委員長 是カラ開會致シマス——熊谷君

ガ、勿論、バルブノ資材ニソレダケ取ラレルト致シマセバ、外ノ原料トシテヤハリソレダケノ制約ヲ受ケル譯デアリマスカラ、全然其ノ影響ガナイト云フ譯デアリマセヌガ、ソコハヤハリ國家産業ノ必要ノ度ニ依リマシテ、調整ヲスルト云フコトヨリ他ハ致シ方ガナカラウカト考ヘテ居リマス、治水、治山等ニ付キマシテハ、是ハ十分ナル考慮ヲシテ行ク積リデアリマスカラ、其ノ方ノ關係ハサシタル影響ハナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス。
○熊谷委員 十五年度、十六年度、十七年度ノ三箇年ノ計畫デアツテ、若シ其ノ次ニ行ケバ更ニ又拂下ヲヤルト云フコトノ御見込デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ
○中田政府委員 十四年度、十五年度、十六年度デアリマス、十七年度以後ニ於テモ繼續シテ行カケレバ、會社ノ經營上如何カト思ツテ居リマス、今ノ所十七年度ニ於キマシテモ尙ホ繼續スル豫定デハゴザイマス。
○熊谷委員 サウシマスト、十七年度、十八年度、十九年度ノ三箇年デ又約四十萬石ノ材木ヲ出シテヤラナケレバナラスト云フコトニナルノデスカ
○中田政府委員 ヤルト云フコトニナリマスケレバヤハリ大體四十萬石位出スト云フコトデナケレバナラヌコトニナルト思ヒマス。

日治水ノ方ニ於テモ餘リ林ヲ伐リ過ギタ結果トシテ、濫伐ノ結果ガ治水ノ上ニ大イナル影響ガアルト云フコトハ、段々聞ク點デアリマスガ、當局ニ於キマシテハ、差支ナイト云フ御見込デアリマセウカ
○中田政府委員 此ノ國有林カラ供給致シマス原木ハ松デハナクテ、毛山樺デアリマス、若シ松デアリマスト是ハ相當枕木、枕木、箱材、バルブノ用材ト云フヤウナモノガ適合ヒマスカラ、是ハ餘程何デスケレドモ、山毛樺ノ方ニナリマセバ、松程ハナイト思ヒマス、併シ勿論御話ノヤウニ、薪炭材、山毛樺ノ利用、用途モ相當發達シツツデアリマスカラ、更ニ將來發達サセナケレバナラナイモノデアリマスカラ、段々ト競合ハ強クナリマセウケレドモ、併シ國策上決ツテ居ル問題デアリマスカラ、少々他ノ競合ハ調整致シテモヤラナケレバナラヌコトデアリマシテモ實ハ相當苦慮シテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ施設計畫等ニ付キマシテハ、十分ノ注意ト、更ニ荒廢地、造林、其ノ他ニ付キマシテモ、出來ルダケノコトヲシテ行キツツアルノデアリマスガ、更ニ必要デアルトスレバ、ヤハリ場所ニ依ツテハ制限ノ方法ヲ講ジナケレバナラナイト云フコトニナラウカトモ考ヘテ居ルノデアリマス。

戸船川ヲ結付ケル東北ノ北部ノ橋樑線ノ一ツデアアル尻内毛馬内間、若クハ三戸毛馬内間ハ關係地方カラ陳情ニナツテ居リマス、本年モ請願ガ出テ居ルヤウデアリマスガ、此ノ兩線ノ御調査ハ當局ニ於テ完了セラレテ居リマスガ、若シ完了セラレテ居リマシタナラバ其ノ結果ヲ承リタイト思ヒマス。
○堀越政府委員 尻内、毛馬内間ノ鐵道デアリマスガ、是ハ五戸ヲ廻ツテ行キマス線ト、ソレカラ三戸カラ參リマス豫定線ト、斯ウ二色アルノデアリマス、是等ノ線ニ付キマシテハ、一應概略ノ調査ハ致シタノデアリマスガ、其ノ中間ニ十和田湖附近ニ參リマシテ、可ナリナ隧道モ出來マシ、兩線ノ比較ト云フコトヲ尙ホ慎重ニ能ク研究致シマシタ上デ敷設シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

只今計畫シテ居ル數量ニ於キマシテハサシタル差支ガナイト考ヘテ居ルノデアリマス
○熊谷委員 此ノ山林行政ノ上カラ見マシテ、各縣ニ、例ヘバ青森縣ガ八萬石、岩手縣ガ十二萬石、宮城縣ガ八萬石、秋田縣ガ四萬石、山形縣ガ四萬石、福島縣ガ五萬石ト云フヤウナ大キナ數ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ數ハタツタ一度拂下ゲテ後ハ拂下ゲナイ見込デアアルノデセウカ、ドウデアリマセウカ
○中田政府委員 本計畫ハ只今三年度計畫デ一應立ツテ居ルノデアリマス、十四年度、十五年度、十六年度ト計畫サレテ居リマス、ソレカラ先又計畫ヲ繼續スル譯デアリマス

○熊谷委員 今日山林ニ關スル種々ナル問題ガアル、只今御話ノ治水ノ問題モアレバ、木炭ノ問題モアル、其ノ他百般ノ問題ガアル、サウ云フモノニ紙觸ナク、巧ク是ハ切抜ケテ行カレルモノデセウカ、素人カラ見ルト、非常ニ疑ハシイト思フノデスカ、今

○熊谷委員 一面ニ於テ「バルブ」會社ハヤハリ國策遂行ノ一端ニモナルト思ヒマス、又成ベク是ハ便宜ヲ與ヘテヤリタイコトデアリマスガ、併シ非常ナ數量ノ材木ヲ伐出スト云フコトニナリマスト、素人目カラ見ルト、種々ナル支障ガ出來テ來スカト云フ心配ガアルノデスカ、併シ其ノ道ニ堪能ナル

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年二月二十八日

所ノ山長局長方大丈夫ト太鼓判ヲ捺サレルナラバ、私共ハ安シクハ何等ノ異議ヲ唱ヘナイノデアリマス...

○宇都宮政府委員 販賣物旋業ヲ致シマスルノハ、東北ノ物産ニ付キマシテ新シイ方面へ販路ヲ擴張シテ行キタイ...

○宇都宮政府委員 賣上ゲマス高方同ジ額デゴザイマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

○宇都宮政府委員 販賣物旋業ヲ致シマスルノハ、東北ノ物産ニ付キマシテ新シイ方面へ販路ヲ擴張シテ行キタイ...

○宇都宮政府委員 賣上ゲマス高方同ジ額デゴザイマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

ト云フ御答デゴザイマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

數字デ明白デアリマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

○宇都宮政府委員 所ガ御話ノヤウナ御持ト實際ト大變違フト思フデアリマス...

サツバリ手ヲ著ケナイデ、喜バナイヤウナコトニ大資本ヲ投ジテ居ルト云フコトハ、會社本位デアツテ、東北民本位デナイト言ハレテモ御辯解ノ餘地ガナイデヤナイカト...

○宇都宮政府委員 木炭ノ生産ガサウ殖エテ居ナイカラ、會社デ投ツタ分ダケハ一般ノ人ノヤル仕事ニ食込シテ來ルデハナイカ...

カラ一ツ落著イテ研究シヨウト云フコトハ甚ダ心細イ感ジニ堪ヘナイノデアリマス、茲ニ私ハ具體的ニ申上ゲテ善處シテ載キタイト思フコトハ、今申上ゲタヤウニ、東北ノ特性ト云フモノハ立ドコロニ集ルコト...

間ガ居ラナイニモ拘ラズ、東北ニ對シテ人の資源ヲ或ハ過大ニ政府ハ考ヘテ居ルノデアリカト...

イマスガ、資料ヲ集メテ調査致シテ居リマス、是ハ二ツニ御考ガ類ヒタイト思フノ...

ニ付テ始終主務者ト連絡ヲ執ツテ居ルノハ勿論...

○小笠原委員 一寸關係シテ伺ヒマス、東北振興...

○宇都宮政府委員 調査ノコトデアリマス...

ルノデアリマス、然ルニ其ノ綿ノ縫糸ガ今度ハ...

誤ラザルヤウニ、雪ノ利用ト云フコトヲ餘程...

○宇都宮政府委員 今御話ノコトハ全ク御話...

ニ經營シテ居ル會社ガ其ノ數約四十機ツカアリ...

ノ方面ニ重點ヲ置クカト云フコトハ、吾々
考ヘテ居ルコトモゴザイマスガ、是ハ委員
會決定マルコトニナツテ居リマスノデ、只
今ドノ方面ニト云フコトヲ此處デ申上ゲ兼
ネル次第デゴザイマス

○菊地委員 此ノ時局ノ進展ハ非常ニ目マ
ダシク進ムルガ、第二期計畫ハ
相變ラズ五箇年ヲ限度トシテ考ヘラレテ居
ルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ
「テンポ」ノ早イ時代ニハ、五箇年ト云フヤ
ウナ長イ時間ヲ要スル計畫デナク、一年位
ニ期間ヲ短ク決メテ行カケレバ、巧クヤ
ツテ行ケナイノデハナイカト考ヘルノデア
リマスガ、政府ハドウ考ヘテ居リマスカ

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ斯ウ云フ
時代ニハ五箇年ト云ヒマスノハ長イカモ知
レマセス、是ハ御趣旨ノヤウニ感ジモ吾々
持ツテ居リマスノデ、委員會デ其ノ點ハ十
分研究シタイト考ヘテ居リマス

○菊地委員 新シイ計畫ト云フモノハ、少
クモ物動或ハ生産擴充ノ問題ト混シ合セ
テ決メナクテナラヌト思フノデアリマス
ガ、時間的、時期的ニ是ト照應シテ計畫ヲ
ヤルコトハ可能デアルカドウカ、其ノ點ヲ
御伺シタイ

○宇都宮政府委員 物動計畫ガドウ云フ風
ニ決マルカ、内容ハドウカト云フコトハ、
吾々ガ知リマスノハ困難デアリマシテ、或
ル程度必要モノニ付テハ、直接企業院ア
タリニ行ツテ話ヲ聽イテ居リマスガ、全般
的ニ知ルコトハ困難デゴザイマシテ、常ニ
物動計畫或ハ生産擴充計畫ト共ニ歩調ヲ取
レルカドウカニ付テハ疑問ヲ持ツテ居リマ
ス、併シ必要部分ニ付テハ、始終企業院ト
連絡ヲ取ツテ、其ノ狀況ヲ知ツテ、後ノ祭
御伺シタイ

○宇都宮政府委員 東北興業ノ仕事方國家的ノ必
要ニ基ク工業生産ノ擴充ニミテ殆ド全力ヲ
傾倒致シマシテ、東北ノ農村ニ對スル特殊
ノ振興又ハ是ガ經濟的活動ヲ助成スルコト云
フ點ニ於テ非常ニ薄イノデハナイカト云フ
感ジテ居ルノデアリマスガ、政府ハ

ニナラヌヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス
○菊地委員 次ハ東北振興兩會社ノ問題デ
伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ東北興業ハ
極メテ自營事業ノ少イ、今局長ガ仰セラレ
タヤウニ、極メテ儲カデアツテ、投資ガケ
ガ多イ、サウ云フヤウニ自營事業ガ少クテ
収益ヲ舉ゲルコトガ出来ルカ、此ノ會社自
體ガ將來經濟的基礎ノ確立ガ出来ルカ、此
ノ點ニ對シテ政府ハドウ考ヘテ居リマス
カ

○委員長退席、庄司委員長代理著席
○宇都宮政府委員 御懸念ハ御尤モデア
ルと思ヒマス、御承知ノヤウニ東北興業デ
リマス仕事ハ、採算ト云フコトバカリヲ考
ヘテアル譯ニ行キマセスノデ、地方ノ開發
ニ資スルコトノ出来マシ場合ハ、採算上ノ
不利モ忍ビテヤルコト云フ場合モゴザイマ
ス、又一面ニ於キマシテハ、豫定ノ配當モキ
ナケレバイカスト云フヤウナ關係モゴザイ
マシテ、果シテ將來健康ニ自力デヤルヤウ
ニナルカドウカト云フコトニ付テハ、今ハ
ウキリシタ見込ハ申上ゲラレナイノデア
リマス、唯何時マデモ國ノ補助金ヲ當テシ
テヤルコト云フコトハ、東北振興ノ本當ノ趣
旨デナイト思ヒマスノデ、出来ルダケ國ノ
御厄介ニナラナクテモ、獨リデヤツテ行ケ
ルヤウニナルコトヲ理想トハ致シテ居リマ
スガ、此處デハウキリ申上ゲル状態ニハナ
ツテ居リマセ

○菊地委員 東北興業ノ仕事方國家的ノ必
要ニ基ク工業生産ノ擴充ニミテ殆ド全力ヲ
傾倒致シマシテ、東北ノ農村ニ對スル特殊
ノ振興又ハ是ガ經濟的活動ヲ助成スルコト云
フ點ニ於テ非常ニ薄イノデハナイカト云フ
感ジテ居ルノデアリマスガ、政府ハ

ノ銜衝ニ付テハ將來政府ハ非常ニ注意ヲシ
ナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、其ノ點政府ハドウ考ヘテ居リマス
カ

○宇都宮政府委員 會社ノ首腦部ト申シマ
スカ、責任アル地位ノ者ニ付テハ心構ヘノ
御話ガゴザイマシタガ、此ノ會社ハ御承知
ノヤウニ東北振興ヲ使命ト致シマシテ、利
潤ノ追求ヲ目的トスルモノデハゴザイマセ
スノデ假令在來普通ノ民間會社カラ入ツタ
ト致シマシテモ會社ニ參リマシテハ、此ノ
會社本來ノ使命ニ依ツテ働クノガ當然デゴ
ザイマス、唯實際ノ仕事ヤツテ行キマス
場合ニ於キマシテ、或ハ十分ニ心ヲ配リガ
足ラナカウツコトガアツタカモ知レマセ
ス、全然ナイト云フコトハ今デモ申上ゲ兼
ネルノデゴザイマスガ、サウ云フ點ハ度々
地方ノ人ニ接シテ居リマス間ニモ、會社ノ
本當ノ使命ハ自然感得スル譯デアリマスガ
ラ、ソレニ依ツテ行動スルモノト考ヘマス、
又將來ニ付テモ十分サウ云フ方面ノ監督ハ
致シタイト考ヘテ居リマス

○菊地委員 私は是等ノ人が會社ノ利益ヨ
リモ元ノ古巣デアツタ財閥ノ利益ヲ考慮シ
テ行動シタト云フ事情ヲ二三知ツテ居ルノ
デアリマス、私ハ政府ガ之ヲ調査シテ相當
改革ヲセラレト云フ御考ナラバ、此ノ際
其ノ事實ヲ發表致シマスガ、此ノ儘地ツテ
置クコト云フノナラバ、私ハ黙ツテ居ル譯ニ行
カスト思フノデアリマス、政府ハ斯ウ云フ
事實ガ——私ノ知ツテ居ル事實ヲ政府ガ知
ツテ居ルカドウカハ知りマセスケレドモ、
今ノ重役ガ完全ニ會社ノ爲ニ行動シテ居
ナイデ、元居ツタ會社ノ爲ニ利益ヲ圖ルヤウ
ナ行動ガアルヤウナ噂ヲ聞イタコトガナイ

○宇都宮政府委員 東北興業ノ考ヘテ居
リマス計畫ノ中デ農村ノ振興ニ資スルモノト
致シマシテハ、大キイモノハ肥料デゴザイ
マスガ、其ノ以外ノモノデ關係スル項目ハ
ゴザイマスガ、農村ノ目標ニシタイト云フ
ヤウナモノハ餘リゴザイマセス、會社ノ仕
事ト致シマシテハ、肥料ノ問題デアリマス
トカ、其ノ他一般工業ノ方面ニ力ガ入ツ
トカ、將來モサウ云フ風ニナツテ行クノデ
ハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、此
ノ點ハ吾々モ農村ノ方面ノ振興ニ役立ツモ
ノヲ欲シト思ヒマシテ、國デヤツテ居
リマス第一期綜合計畫、或ハ今度ヤラント
スル第二期綜合計畫ニ於テ農村方面ナドノ
振興ニ力ヲ入レタイ、例ヘバ具體的ノ問題
ヲ申シマスト、米ノ増産ニ關係スル施設、
只今サウ云フコトニ付テ農林省ノ方ト十
分協議ヲ遂ゲテ行ツテ居リマス、又將來モ
遂ゲテ行キタイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居
リマス

○菊地委員 此ノ點ハ極メテ重大ダ
ト思フノデアリマス、爾方資本ヲ皆出シテ勝
手ニ工業方面ノ仕事ヲシテモ、ソレハ差支
ヘナイ、或ハ財閥ガ多額ノ金ヲ出シテ其ノ
資源ヲ開發スルコト云フコトハ、是ハ自由
アル、併シナガラ東北振興、電力兩會社ノ
資本ノ構成ガ考ヘテ見マスト、所謂東北地
方ノ貧弱ナル町村、是等ノ公共團體並ニ農
民ノ土產トシタ所ノ産業組合、是等ノ連中
ガ東北振興ノ爲ダト云フノデ、無ケナシ
金ヲ所謂株金トシテ應募シタト云フ事實ハ
政府モ御承知デアリマセウ、東北ノ八割ハ
全部農村デアリマス、東北ノ振興ト云フモ
ノハ、所謂農村ノ振興デアル、直接デア
ラ

カト云フコトヲ先ツ伺ヒマス
○宇都宮政府委員 サウ云フ噂ニ付キマシ
テハ開イテ居ルナイノデゴザイマスガ、サ
ウ云フ事實ハアルベカラザルコトデア
ルノハ勿論デゴザイマス、ソレデ今御話ノア
リマシタノヲ機會ニ能ク調査シテ見タイト考
ヘテ居リマス

○菊地委員 ソレカラモウ一ツ振電ノ問題
デ御話シタイノデスガ、振電デハ昭和十六
十七、十八年度ニ株金ノ拂込ヲ爲ス豫定ニ
ナツテ居ツタモノヲ、昨年ノ十二月二十八
日ノ御用納メノ其ノ日ニ是等ノ三年分ノ株
金ノ殘額ヲ一時ニ拂込ムコトヲ重役會決
定シテ、二月一日ニ拂込ム請求ヲシタト云
フ事實ヲ政府ハ御存ジデセウカ

○宇都宮政府委員 残り三回分ヲ一遍ニ取
ルト云フヤウナコトハ致シマセスデ、此ノ
二月一日ニ取ツテ居リマスノハ、最後ノ一
回分、詰リ四分ノ一ヲ此ノ二月一日ヲ期シ
テ拂込マシテ居ル譯デアリマス

ウト間接デアラウト、農村ノ振興ガナクシ
テ東北ノ振興ハナイノデアリマス、而モ東
北ノ振興ヲ使命トスル兩會社ガ、單ナル東
北ノ資源ヲ開發スル、サウ云フ方面ダケ重
點ヲ置イテ、サウシテ農村關係ハ放テ置
ナイト云フ態度ヲ執ルナラバ、是ハ誤リノ
甚キモノデアリマス、政府ハサウ云フコトヲ
考ヘテ居ラナイトスルナラバ、吾々ガ此ノ
東北兩振興會社ニ對シテ最初考ヘテ期待シ
テ居ツタコトトマルデ違フ、此ノ兩會社ノ
使命ト云フモノハ所謂東北ノ振興、言ヒ換
ヘレバ東北農村ノ振興デアル、サウ云フ點
ヲ私共ハ今日會社モ政府モ忘レテ居ルノデ
ハナイカト思フ、東北ノ振興即農村ノ振興
デアル點ヲ十分私ハ御認識ニナラナケレバ
ナラヌト考ヘルノデアリマスガ、今一點此
ノ點ニ對シテ御伺シタイ、今マデハサウデ
アツタガ、是カラ第二期計畫ニ對シマシテ、
直接ナリ間接ナリ東北ノ農村ニ適スル施設
ヲシナケレバ、此ノ東北振興會社ノ特殊ノ
使命ガナクナル、所謂東北ノ市町村及ビ産
業組合ガ其ノ貧弱ナル財政カラ此ノ株式ニ
應募シタト云フノハ所謂東北ノ農村ヲ振
興スルコト云フコトヲ考ヘタカラデア
ル、而
モ資本ノ構成ガ斯ウ云フヤウニナツテ居
ル場合ニ、即チ株金ハ農村カラ取上ゲテ、
其ノ仕事ハ農村ニ關係ノナイ仕事ニ進ム
コト云フノハ誤リデハナイカト思フノデア
リマス、今一ツ政府ノ御答辯ヲ承リタイト
思ヒマス

○宇都宮政府委員 御話ノ點ハ御尤モダ
ト思ヒマスノデ、十分出来ルダケ其ノ方面
ニ力ヲ入レテ見タイト考ヘテ居リマス

○菊地委員 此ノ點私ハ政府委員ガ一ツ此
所デハ、残り三回分ヲ一遍ニ拂フト云フヤ
ウナコトハ致シテ居リマセ

○菊地委員 サウスト二月一日ノ拂込ヲ
命ジタノハ豫定ノ通りヤツタト、斯ウ仰シ
ヤルノデスカ、少シモ繰上ゲテ請求シタ
ト云フ事實ハナイト仰シヤルノデスカ

○宇都宮政府委員 個々ノ拂込ヲ意ツタ人
ノ分ニ付テハ存ジマセスガ、一般ノ株主ノ
拂込ト致シマシテハ、昨年ノ十二月一日ニ
豫定シテ居ツタモノヲ延シマシテ、サウシ
テ今年二月一日ニ残りノ四分ノ一ヲ拂込サ
セテ居ルノデアリマス、何カ特別ノ問題デ
ハナイカト考ヘマスガ……

○菊地委員 其ノ點ハ調査ノ上又御懸キス
ルカモ知レマセスガ、其ノ程度度打切りマ
ス、唯私ハ相當斯ウ云フ事情ニ詳シイ所カ
ラ聽イテ居ルノデ、間違ナイト思フノデ
スガ、私ハ是ハ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、所謂地元ト連絡ヲ執ラナイ結果デハ
ナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、金持ノ所
ナバ株金ノ支拂ハ直チニ出来ルケレドモ、
公共團體トカ或ハ産業組合トカト云フモノ
ハ、豫算ガチャント出来テ居ルノデスカ
ラ、繰上ゲテ請求サレト云フヤウナコトガ
アツテハ到底納メルコトガ出来ナイ、ソレガ
爲ニ、二月一日ノ此ノ拂込ト云フノハ極メ
テ不良デアツタト云フ事實ヲ聽イテ居ルノ
デアリマスガ、是ハ政府ハサウデナイト仰
シヤイマスカラ私是レ以上ハ伺ヒマセ

○庄司委員長代理 一寸御話ヲ致シマスガ、
林平馬君ノ午前中カラ農林省方面ノ質問
ガ保留ニナツテ居リマス、幸ヒ農林政務次

官が御見エニナツテ居リマスカラ、此ノ際
林君ノ質問ヲ御許シ致シタイと思ヒマス
ガ...

○庄司委員長代理 ソレデハ林君

○林委員 農林大臣ニ御尋シタイと思
ツテ毎日御待チシテ居ラヌデアリマスガ、
御差支デ御出デガ出来ナイサウデゴザイマ
ス、併シ岡田政務次官ハ特ニ農林行政ニ付
テ堪能ナ御方デゴザイマスカラ、此ノ際一
ツ東北振興ノ爲ニ特ニ伺ツテ置キタイと思
ヒマス、第一點ト致シマシテハ、十五年度
産米ノ東北ニ期待スル數量ニ付テデゴザイ
マスガ、是ハ去ル二十四日ノ委員會ニ於テ
栗山委員ノ質問ニ對シテ農林大臣ノ御答ガ
アツタノデゴザイマス、其ノ御答ハ、十四
年度ノ成績ヲ維持スルコトヲ期待スルモ
デアルト云フヤウナ意味ノ御答デアツタノ
デアリマス、私ハ其ノ時席ヲ外シテ居リマシ
テ、速記ヲ見テ後ニ承知シタノデゴザイマス、
席ニ居リマシタナラバ、關聯質問ヲセズニ
ハ居ラレナクツタ管デゴザイマスガ、其ノ
機會ヲ今日マデ得ナクツタ次第デゴザイマ
ス、農林大臣ハ東北ニ對シテ今年ノ産米ハ
昨年ノ成績ヲ維持スルコトヲ期待シテ居ル
ト云フコトデゴザイマスガ、是ハトシテモ
ナイ無責任ナ御心構デアラウ、ト云フノハ、
昨年昭和十四年度産米ノ如キハ、絶後トハ
申シマセスケレドモ、恐ラク空前ノ大豐作
デゴザイマス、東北民ノ特別ノ努力ニ依ツ
テ出来タモノナラバ、今年モ同様ニ期待サレ
ルノハ少シモ無理トハ思ヒマセスケレドモ
大豐作ト云フモノハ努力以外ノ力ニ依ツテ
デゴザイマスカラ、今年ノレダケノ米ヲ期
待シテ國民ノ食糧政策ヲ考ヘテ居ラレルト

○岡田政府委員 肥料ノ配給ニ付キマシテ

ハ、御話ノ通り十分ニ之ニ増配スルコトヲ
考ヘテ行キタイノデス、併シ實際ニ於キマ
シテ、御承知デモアリマセウガ、肥料事情
ハ極メテ難境ニアルコトヲ免レスノデス、
殊ニ確安ニ付キマシテハ、全體ト致シマシ
テ昨年年度程度ノ配給ヲスルコトガ手一杯デ
アリマシテ、増産分ニ相當スル配給ヲスル
コトハ中々次テ見込ガ立チマセズ、デアリ
マスカラ、一應ノ標準ハ米ニ於キマシテハ
約八割程度ノ配給ニナリ、或ハ桑ニ對シマ
シテハ六割程度デアリコトヲ免レナイ、斯
ウ云フコトデアリマシマス、併シナガ
ラ此ノ確安ノ不足ヲ補給スベク、或ハ智利
ノ硝石ヲ相當程度輸入ガ出来ルヤウニ
モナツテ來テ居リマスルシ、其ノ他糞肥、
堆肥等ノ獎勵ニ於キマシテ、何トカ此ノ肥
效分ヲ補ヒタイ、斯様ナ程度ニ於テ全體ト
シテ既ニ肥料事情ガ存在シテ居ルノデアリ
マスカラ、東北ニ對シマシテハ、モットモ
ツト力ヲ入レネバナラスコトハ當然デアリ
マスガ、中々是ガ意思ヲウニハ參ルマイカ
ト思ヒマスルガ、併シ東北特有ノ事情ニ付
テ斟酌セネバナラスコトハ當然デアリマス
ルカラ、努メテ之ニ相當ノ増配ヲスルコト
フコトニ付テハ、考慮ヲ加ヘテ行ク、斯ウ
云フコトヲ申上テ置キタイと思ヒマス

○林委員 ソレデハツキリ分ルノデゴザイ

云フコトハ實ニ私ハ失望セザルヲ得ナイノ
デゴザイマス、併シ唯無暗ニ失望スル必要
ハナイカラ、茲ニ御尋シテ置キタイノハ、サ
レバ之ニ如何ナル對策ヲ講ジテ居ラレルカ
ト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、昨
年ト同ジヤウナ収入ヲ期待スルコト云フノハ、
唯頭ノ中デサウ望ムデ居ルト云フヤウナ無
責任ナ考デハナイデセウ、期待スルニ付テ
ハ期待スルヤウナ對策ヲ持ツテ居ラレルト
思ヒマスノデ、其ノ對策ヲ拜聴シタイノデ
ゴザイマス

○岡田政府委員 只今御話ガアリマシタ通

リ、大體ニ於キマシテハ各地トモ少クモ
前年ノ成績ヲ維持シタイ、殊ニ東北地方ニ
於キマシテハ、御説ノ如ク昨年非常ニ豐作
デアリマシタ爲ニ、前年度ノ産額ヲ維持ス
ルコトガ出来ルト云フコトハ、寧ろ最高ノ
標準トモ言ヒ得ルノデス、兎ニモ角ニモ
非常ニ増産ヲ要スル折柄デアリマスカラ、
是非トモ昨年年度ノ程度ノモノヲ維持シタイ
ト云フ目安ヲ置イテ居ル譯デアリマス、是
ハ一ツノ計畫デアリ、目安デアリマス、隨
ヒマシテ各地方ニ付テ申セバ、或ハ中々以
テ單ナル計畫ト目安トガ其ノ通り行發スル
場合モアラウトと思ヒマス、日本ハ御承知ノ
通り非常ニ狭小ノ國デアリマスカラ、北
ト南ニ於キマシテハ、通例非常ニ天候ノ工
合ガ一致致シマセズノデ、北方豐作ノ場合
ニハ南方凶作、南方豐作ノ場合ニハ北方不
幸ニシテ凶作、斯様ナ轉換ノ順序モアルト
云フヤウナ譯デアリマス、ソレダケニ必ズ
シモ北ニ於テ考ヘタコトガ其ノ儘計畫通り
ニ參ラスコトモアリマセウ、併シ今申サ
ウナ事情カラ或ハ是ガ轉換致シマシテ、南
ニ於テ豫期以上ノ成績ヲ收メルト云フコト

○林委員 質問ニ對スル要點トハ少シ

モアリ得ル、デアリマスルカラ計畫ト云フ
モノハ致シ方アリマセズノデ、左様ナ程度
ニ於テ全體ノ目安ヲ置イテ考ヘテ居ル譯
デアリマス、併シ尙又東北ハ昨年ノ作柄ハ
實際未會有ト言ヒ、或ハ近年稀有ト云フ程
以上ノ良作デアツタノデアリマスルカラ、
昨年年度ニ追付クト云フコトハ、實際以テ
是ハ容易デナイコトハ承知シテ居リマス、
之ニ對スル色々増産ノ計畫、實施ノ方法
ニ付キマシテハ、私一切ノコトヲ巨細ニ申
上ゲルダケ只今手許ニ材料ヲ持ツテ居リマ
セスガ、大體ノ考ヘ方ハ品種ノ改良ヲ一段
ト考ヘルトカ、或ハ又肥料ノ配合ニ付テ考
ヘルトカ、又耕地ノ開墾、若クハ耕地ノ改
良、用排水ノ改良事業助成等、斯ノ如キ各
種ノ政策ヲ併セ用ヒマシテ、而シテ肥培管
理ニ於テ、或ハ又其ノ他人爲ニ依リマシテ、
ドウカシテ努力勸勵以テ一層ノ増收ヲ圖ル
ヤウニシタイ、茲ニ大體ノ手段方法ガ加ヘ
ラレテ居ルノデアリマス、或ハ見様ニ依リ
マシテハ非常ニ變ツタ方法ハナイカト云フ
御考モアルデアリマセウガ、必ズシモ申上
ゲル程變ツタ方法ハアリマセズ、大體ハ御
察シノヤウナ諸般ノ事業ニ謂ハバ然リヲ掛
ケマシテ、之ニ一層ノ獎勵ト助成トヲ加ヘ
テ行キタイ、殊ニトモスレバ冷害關係ノ多
イ東北デアリマスルカラ、御想像ノ通り温
床苗代ノ獎勵デアルトカ、或ハ苗床ノ植替
デアルトカ、サウ云フ點ニ至ツテマデ雪害
對策事業ヲ以テ實施スル諸般ノ事情ヲ併セ
用ヒマシテ、而シテ各種ノ増産獎勵ノ途ヲ
講ジタイ、斯ウ云フコトニ於テ大體考ヘテ
居ル次第デアリマス

○岡田政府委員 今申上テマシタコトハ必

ズシモ將來ノミデハナイノデアリマス、改
良品種ノ非常ニ普及スルコト云フコトモ、普
及スルコト云フコトニ力ガアルノデアリマシ
テ、必ズシモ二年、三年若クハ十年將來
ニ互ツタ品種改良ノ研究ヲヤラウト云フ意
味デ申シタノデアリマス、デアリマシテ、左
様ナ、例ハバ改良品種ノ普及ヲシヨウト
カ、或ハ病害蟲ノ驅除ヲ致スニシマシテモ、
驅除事業ハ毎年ヤツテ居ツタコトデアリマ
スガ、一層之ニ力ヲ入レマシテ、之ガ普及
ヲ圖ラウ、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイマス、
今マデ大體ハヤリ來ツタコトデアリマスガ、
事ノ良キコトハ一層之ヲ普及擴張シテ、而
シテ明年年度ノ増産ニ資セウ、斯ウ云フ考
ニ於テ大體申シテ居ル譯デアリマス

○林委員 御答ノ中ニモアリマシタヤウ

トハ、ソレハ確ニ御話ノ通りダト思ヒマス、
又ソレ以上ハナイカモ知レマセズ、唯私ガ

御答辯ノ中ニ期待スルコトハ、少クトモ肥

料ニ付テダケハ昨年ニ劣ラザル所ノ、手遅
レノナイヤウニ十分ニ行クノダ、此ノ點ダ
ケニ於テモモウ昨年ヲ期待シテモ宜イデヤ
ナイカ、斯ウ云フ逆襲的ノ御答ガ實ハ欲シ
イノデゴザイマスガ、何カサウシタコトノ
仰セテ願ヒタイノデアリマス

○岡田政府委員 肥料ノ配給ニ付キマシテ

ハ、御話ノ通り十分ニ之ニ増配スルコトヲ
考ヘテ行キタイノデス、併シ實際ニ於キマ
シテ、御承知デモアリマセウガ、肥料事情
ハ極メテ難境ニアルコトヲ免レスノデス、
殊ニ確安ニ付キマシテハ、全體ト致シマシ
テ昨年年度程度ノ配給ヲスルコトガ手一杯デ
アリマシテ、増産分ニ相當スル配給ヲスル
コトハ中々次テ見込ガ立チマセズ、デアリ
マスカラ、一應ノ標準ハ米ニ於キマシテハ
約八割程度ノ配給ニナリ、或ハ桑ニ對シマ
シテハ六割程度デアリコトヲ免レナイ、斯
ウ云フコトデアリマシマス、併シナガ
ラ此ノ確安ノ不足ヲ補給スベク、或ハ智利
ノ硝石ヲ相當程度輸入ガ出来ルヤウニ
モナツテ來テ居リマスルシ、其ノ他糞肥、
堆肥等ノ獎勵ニ於キマシテ、何トカ此ノ肥
效分ヲ補ヒタイ、斯様ナ程度ニ於テ全體ト
シテ既ニ肥料事情ガ存在シテ居ルノデアリ
マスカラ、東北ニ對シマシテハ、モットモ
ツト力ヲ入レネバナラスコトハ當然デアリ
マスガ、中々是ガ意思ヲウニハ參ルマイカ
ト思ヒマスルガ、併シ東北特有ノ事情ニ付
テ斟酌セネバナラスコトハ當然デアリマス
ルカラ、努メテ之ニ相當ノ増配ヲスルコト
フコトニ付テハ、考慮ヲ加ヘテ行ク、斯ウ
云フコトヲ申上テ置キタイと思ヒマス

○林委員 ソレデハツキリ分ルノデゴザイ

マスガ(ハツキリシナイヨ)ト呼フ者アリ
イヤ、ハツキリシタト云フコトハ到底農林
省ノ御期待通りニナド行カナイモノダト云
フコトガハツキリシタノデアリマス(笑聲)
ソレカラ此ノ際農林省ニ御願シテ置キタイ
ノデスガ、米ニ對シテハ八割、桑ニ對シテハ
六割ノ肥料ヲ配布サレルト云フコトガデゴザ
イマスルガ、十分ニ行ク時ニハ決シテ争ツテ
割前ヲ取ルト云フヤウナトコトハ起ラナイ
ノデアリマス、自然ニ皆公平ナ分配ガ行ハ
レルノデアリマス、所ガ八割トカ七割ト云
フ其ノ不足ノ時ニハ色々ノ摩擦ヲ起シテ、
色々ノ力ヲ用ヒルトカ摩擦ヲ起シテ、有
ラニル方法ヲ講ジマシテ、自分ノ所ニダケ
ハ八割五分取ラウ、九割取ラウ、中ニハ自
分ダケハ八割取ラウト云フヤウナ者ガ起
リマスカラ、此ノ間ノ摩擦、争ヒニ依ツテ、
事實ニ於テハ八割行ク人モアリマセウ、反
對ニ五割シカ行カナイ人モアルト云フヤウ
ニ、非常ニ公平ニナルコトモアルノデゴザ
イマスカラ、是ハ十分ニ其ノ邊ノ消息ニ通ジ
テ居ラツシナル政務次官デゴザイマスカラ、
左様ナコトノナイヤウニ、一層ノ御注意ヲ
願ツテ置キマス、モウ一點ハ先程小笠原委
員カラモ糞肥ノ御話ガデゴザイマシタガ、東北
ノ雪ト云フコトヲ忘レナイヤウニ、雪ノア
ル内ニ肥料ヲ配布スレバ、配布ノ費用モ輕
ク済ム、極ヲ以テ隣カラ隣ヘト運シテ行ク
ガ、雪解ノ頃、三月ノ末四月ノ初ノゴタ
ゴタ道路ノ壞レテ居ルヤウナ時ニナレバ、
非常ニ費用モ多ク掛ルシ、又肥料ヲ施ス時
機ヲモ逸スルト云フヤウナコトデゴザイマ
スカラ、東北ニ對スル肥料ノ配布ハ、特ニ
急イデヤツテ載タト云フ此ノ二點ヲ御願致
シテ置キマスガ、左様ナ御運ビガ願ヘルモ

○岡田政府委員 御話ノ段ニ付キマシテハ、

十分左様ナ希望ニ副フベク努力ヲ致シタイ
ト思ヒマス、何レモ肝要ナ注意スベキ點
デアリマシテ、ソコニ一段ト注意ヲ置キマ
シテ、ドウカシテ努力シタイと思ツテ居リ
マス、丁度二三日前モ私北陸四縣ノ雪害對
策大會ト云フモノガデゴザイマシタノデ、議
會申上テハアリマシタガ、特ニ實際ヲ見タタ、
又地方ノ本當ノ要望スル所ノ眞相モ知リタ
ク臨席致シタノデアリマス、初メテ福井カ
ラ金澤或ハ長岡ヘ掛ケカシテノ雪害ノ實情
モ見マシテ、如何ニ雪害ノ恐ロシイコトカ、
隨テ雪中生活ノ困難サヲ初メ、此地方ニ於
ケル生産諸般ノ問題ニ對シマシテモ、如何
ニ困難ナ事情ニ置カレテ居ルカト云フコト
ヲ實感致シマシタ次第デアリマス、東北各
縣ニ於キマシテハ、固ヨリ雪害地帯デアリマ
スルノデ、其ノ點ニ付テモ考慮致シマシテ、
肥料ノ配給ニシマシテモ何ニ致シマシテモ、
ソレ等ノ事情ヲ能ク斟酌シテ事ニ當ツテ行
クコトノ大事デアルト云フコトヲ感ジテ居
ルノデアリマス、此ノ點ニ一層ノ注意ヲ加
ヘタイト云フコトヲ申シテ置キマス

○林委員 第二點ト致シマシテハ、東北ノ

冷害對策ト日本ノ食糧政策ト云フヤウナ點
ニ付テ御尋シテ見タイと思ヒマス、東北ガ
屬、冷害ニ襲ハレテ、飢寒ノ苦シミニ陥リ
マシタ其ノ結果トシテ、屠カモ恩賜ノ縛倉制
度ト云フモノガ出来タノデゴザイマス、サ
ウシテ何處ノ部落ニ參リマシテモ、恩賜縛
倉ト云フモノガ存在シテ居ルノデゴザイマ
ス、其ノ縛倉ノ中ヲ覗イテ見マスルト、最
近ハ皆充實シテ參ツタノデゴザイマス、充
實シテ參ツタコトハ洵ニ結構ナコトデゴザ

私ハ農林大臣ガ此ノ東北ニ期待スル數量ト

云フモノ十四年度産米ヲ維持シタイモノダ
ト云フコトニ對シテ無理ト思フガ、兎ニモ
角ニモソレニ對シテ然ラバトシテ對策ヲ講
ジテ居ラレルカト云フコトヲ御尋シタイノデ
ゴザイマス、是カラ品種ヲ改良シテ見ヨウ
トカ、或ハ配合肥料ヲドウシテ行カウトカ
用排水ヲドウスルトカ、耕地ヲ擴張改良シ
テ行クト云フヤウナコトハ將來ノ對策中ニ
入ツテ行クノデアウテ、今年直グ今眼ノ前
ニ追ツタ問題ニ對シテ、ドンナ風ニ東北ニ
對シテナサラントスルカト云フコトヲ御尋
シタ譯デスガ、モウ一度重ネテ御尋致シマ
ス

○岡田政府委員 今申上テマシタコトハ必

ズシモ將來ノミデハナイノデアリマス、改
良品種ノ非常ニ普及スルコト云フコトモ、普
及スルコト云フコトニ力ガアルノデアリマシ
テ、必ズシモ二年、三年若クハ十年將來
ニ互ツタ品種改良ノ研究ヲヤラウト云フ意
味デ申シタノデアリマス、デアリマシテ、左
様ナ、例ハバ改良品種ノ普及ヲシヨウト
カ、或ハ病害蟲ノ驅除ヲ致スニシマシテモ、
驅除事業ハ毎年ヤツテ居ツタコトデアリマ
スガ、一層之ニ力ヲ入レマシテ、之ガ普及
ヲ圖ラウ、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイマス、
今マデ大體ハヤリ來ツタコトデアリマスガ、
事ノ良キコトハ一層之ヲ普及擴張シテ、而
シテ明年年度ノ増産ニ資セウ、斯ウ云フ考
ニ於テ大體申シテ居ル譯デアリマス

ノ大體作アルト云フヤウナ時ニ、是ハ一ツ強制的ニモ貯蔵ヲサセテ置クコト云フコトコソ、不意ニ來ル所ノ冷害對策デアラウト思フ、斯ウ云フコトヲ意味シテ置キテ、東北カラ米ヲ出セ、ト云フテ米ヲ押リ上ルヤウナナリ方ヲサツテハ、又此ノ幕ニ冷害ニテモ遭ツタトシタナラバ、到底東北ヲ救フコトハ出來ナイコトニナツテシマフ、斯デハ折角出來タ恩賜會制度ニ對シテモ、甚ダ遺憾ナ結果ヲ見ルコトニナルト思フ、デゴザイマス、故ニ政府ニ於テハ此ノ際際會制度ヲ徹底シテ、此ノ來ルベキ東北ノ冷害ニ備ヘル對策ヲ立テラレル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○岡田政府委員 御説ノ如ク、恩賜會ノ制度ハ先年ノ凶作其ノ他ノ實情ニ鑑ミマシテ、非常ナ熱意ノ下ニ是ガ段々増設サレタ次第デアリマス、爾來相當程度ニ普及ハ致シテ居リマセウガ、未ダ之ヲ以テ決シテ十分ダトハ申上ガ兼ネル實況ニアリマス、隨テ一段トニ對スル擴充、擴大ヲ圖ツタラ宜シクハナイカ、洵ニ御説御尤モデアアルト存ジマス、其ノ點ニ付キマシテモ一層ノ考慮ヲ致シタイトハ思ヒマス、又併シ今此處ニ統計ヲ一寸拜見致シテ見マスル、總數ノ總數ガ東北六縣ニ互リマシテ六千三百九十六ト云フヤウナ數ニナツテ居リマス、而シテ現在ノ貯蔵石數ガ約八十三萬石、之ニ對シマシテ貯蔵ノ能力ガ百六十四萬石ト云フヤウナ數字ニ計算サレテ居ルヤウデアリマスカラ、一面カラ申セバ現在ノ貯蔵數ハ能力ニ對シマシテモ半分ト云フヤウナ格好ニ當ルノデハナイカト思ヒマス、デアリマスカラ折角出來テ居ル恩賜會デアリマスカラ、一面

ニ於キマシテハ既設恩賜會ニ對シテ十分能力ニ相當スルヤウナ貯蔵石ヲスルヤウナコトガ必要デアラウト思ヒマス、考ヘテ見レバドレモ是モ努力シナケレバナラナイ點ガ多ク殘サレテ居ルト思ヒマス、是非御話ノ通り是ガ發達ヲ圖ルヤウニ考慮シタイト思フテ居ル次第デアリマス

○林委員 御説成ヲ戴イテ大變有難イ次第デアリマス、隨テ先程來申上ガタ通り東北カラ米ヲ出セ、ト際際限ナシニ農林省ガ誘ヒ出サレルコトハ、是ハ恩賜會ノ精神ニモ悖ルコトデアリマス、東北ノ冷害對策ニモ反スルコトデアリマス、殊ニ豐作ノ時ニハ先程申上ガマシヤウニ、強制的ニ貯蔵セル所ノ好イ機會デゴザイマスカラ、是非トモ實行シテ戴キタイシ、又今年アタリハ幾ラカ農村ノ好景氣ヲ利用サレマシテ、多少政府補助デモサレタナラバ、恩賜會ノ普及徹底ト云フコトヲ期スルコトガ出來ナラウト思フ、恐ラク洵ニ得難イ、チャンス、デアラウト思ヒマスカラシテ、此ノ恩賜會制度ヲ徹底サレテ、以テ假令東北ニ恐シイ凶作凶作ガ襲來シテモ尚ホビクトモシナイヤウナ將來ニ備ヘテ立テラレコト切ニ希望スル次第デアリマス

向又私ハ序デニ農林當局ニ伺ツテ見タイト思ヒマスガ、此ノ恩賜會制度ハ獨リ東北ノ問題デハナイト思フ、一體世間デハ日本ハ米ガアル、米ハ自給自足デアアル、握飯ト梅干ガアリサヘスレバ何ゾ長期抗戰ヲ足ラント云フヤウナコトヲ言ヒ觸ラシテ居ツタ、國民モ亦左様ニ信ジテ居ツタデアリマス、所ガ、是ハ非常ナ誤算デアツタ、誤ツタ認識デアツタ、即チ昨年ナドハ唯朝鮮ノ旱害ダケニ依ツテ稀カサレシマツタ、決

シマス、會津ニ身知ラズ補ト云フノガアリマス、自分ガ會津デ會津補ヲ自慢シテハ恐縮デスガ、恐ラク是ハ補ノ王デアラウト思ヒマス、其ノ補ノ王デアアル身知ラズ補ト云フノハ本來ハ濫補デゴザイマスカラ、ドウシテモ濫補ヲ以テ濫ヲ拔キ取ラナケレバナラズ、此ノ濫補ガ不十分ナラバ濫補ガ不十分ナツテ濫價ヲ落スノデゴザイマス、濫價ヲ濫價マスタツプリ使ハナケレバナラズ、所ガ會津ノ身知ラズノ濫補ハ幾クベキ數量ガ出テ參リマス、最近ニハ七十七萬兩程產出致シマス、一兩ニ付テ假ニ一合ト見マシテモ、一合以上要ルノデアリマスガ、一合ノ濫價ヲ用ヒルトシマシテモ、七百石ノ濫價ガ要ル譯デアリマス、而モ一兩三圓ト見ルト二百萬圓以上ノ農產物デアリマスカラ、アノ狹イ會津地方ト致シマシテハ、可ナリ大キナ農產物デアリマス、獨リ會津ニ止マラナイ、他ノ地方ニモ濫價ヲ抜イテ他ニ移出スル所ノ補ハ各地ニアルノデアリマスカラ、他ノ地方ノコトハ兎ニモ角ニモ、東北ニ斯ウシタ事實ガ存在スルノデアリマス、昨年アタリハ此ノ濫價ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイデ、可ナリ出荷ノ量ヲ減ジ、或ハ濫價ヲ落スト云フヤウナ爲ニ、農村ノ收入ヲ減少シタコト夥シイノデアリマス、デアリマスカラ農林省ト致シマシテモ、斯ウシタ特産物ニ對シテ、是非遺憾ノナイヤウニ、東北ノ爲ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ

○岡田政府委員 濫價ノ糾制其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、實ハ私十分ニ心得テ居リマセウ、御満足ヲ得ルダケノ答辯ガシ難ネマスガ、御慮意ハ能ク了承致シマシタ、尙ホ取調ベタ上デ是亦閉却スベカラザル間

シマス、會津ニ身知ラズ補ト云フノガアリマス、自分ガ會津デ會津補ヲ自慢シテハ恐縮デスガ、恐ラク是ハ補ノ王デアラウト思ヒマス、其ノ補ノ王デアアル身知ラズ補ト云フノハ本來ハ濫補デゴザイマスカラ、ドウシテモ濫補ヲ以テ濫ヲ拔キ取ラナケレバナラズ、此ノ濫補ガ不十分ナラバ濫補ガ不十分ナツテ濫價ヲ落スノデゴザイマス、濫價ヲ濫價マスタツプリ使ハナケレバナラズ、所ガ會津ノ身知ラズノ濫補ハ幾クベキ數量ガ出テ參リマス、最近ニハ七十七萬兩程產出致シマス、一兩ニ付テ假ニ一合ト見マシテモ、一合以上要ルノデアリマスガ、一合ノ濫價ヲ用ヒルトシマシテモ、七百石ノ濫價ガ要ル譯デアリマス、而モ一兩三圓ト見ルト二百萬圓以上ノ農產物デアリマスカラ、アノ狹イ會津地方ト致シマシテハ、可ナリ大キナ農產物デアリマス、獨リ會津ニ止マラナイ、他ノ地方ニモ濫價ヲ抜イテ他ニ移出スル所ノ補ハ各地ニアルノデアリマスカラ、他ノ地方ノコトハ兎ニモ角ニモ、東北ニ斯ウシタ事實ガ存在スルノデアリマス、昨年アタリハ此ノ濫價ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイデ、可ナリ出荷ノ量ヲ減ジ、或ハ濫價ヲ落スト云フヤウナ爲ニ、農村ノ收入ヲ減少シタコト夥シイノデアリマス、デアリマスカラ農林省ト致シマシテモ、斯ウシタ特産物ニ對シテ、是非遺憾ノナイヤウニ、東北ノ爲ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ

シテ日本ハ食糧ニ確信ノアル國柄デアリマス、云フコトヲ暴露シテシマツタノデゴザイマス、尤モ其ノ管ゲト思フ、日本ノ食糧ハ其ノ年ニ生産シタモノヲ其ノ年ニ食ツテシマフト云フ建前デゴザイマスカラ、其ノ年ニ獲レナケレバ其ノ年ニ不足ヲ感ズルト云フノハ當然ナコトナラナイデアリマス、サウ云フ建前ノ國柄デゴザイマスカラ、凶作ナリ、旱害ガアレバ困ルト云フコトハ洵ニ當然デアツタニモ拘ラズ、安閑トシテ米ダケハ日本ハ瑞穂ノ國デアラカラ安心ダト感ジテ居ツタ所ニ大衆モ政治家モ手振りガアツタト思ヒマス、ソコデ考ヘナケレバナラナイノハ、ドウシテモ恩賜會制度ニ戻ツテ來ルノデアリマスガ、

○岡田政府委員 御説ノ如ク、恩賜會ノ制度ハ先年ノ凶作其ノ他ノ實情ニ鑑ミマシテ、非常ナ熱意ノ下ニ是ガ段々増設サレタ次第デアリマス、爾來相當程度ニ普及ハ致シテ居リマセウガ、未ダ之ヲ以テ決シテ十分ダトハ申上ガ兼ネル實況ニアリマス、隨テ一段トニ對スル擴充、擴大ヲ圖ツタラ宜シクハナイカ、洵ニ御説御尤モデアアルト存ジマス、其ノ點ニ付キマシテモ一層ノ考慮ヲ致シタイトハ思ヒマス、又併シ今此處ニ統計ヲ一寸拜見致シテ見マスル、總數ノ總數ガ東北六縣ニ互リマシテ六千三百九十六ト云フヤウナ數ニナツテ居リマス、而シテ現在ノ貯蔵石數ガ約八十三萬石、之ニ對シマシテ貯蔵ノ能力ガ百六十四萬石ト云フヤウナ數字ニ計算サレテ居ルヤウデアリマスカラ、一面カラ申セバ現在ノ貯蔵數ハ能力ニ對シマシテモ半分ト云フヤウナ格好ニ當ルノデハナイカト思ヒマス、デアリマスカラ折角出來テ居ル恩賜會デアリマスカラ、一面

シテ日本ハ食糧ニ確信ノアル國柄デアリマス、云フコトヲ暴露シテシマツタノデゴザイマス、尤モ其ノ管ゲト思フ、日本ノ食糧ハ其ノ年ニ生産シタモノヲ其ノ年ニ食ツテシマフト云フ建前デゴザイマスカラ、其ノ年ニ獲レナケレバ其ノ年ニ不足ヲ感ズルト云フノハ當然ナコトナラナイデアリマス、サウ云フ建前ノ國柄デゴザイマスカラ、凶作ナリ、旱害ガアレバ困ルト云フコトハ洵ニ當然デアツタニモ拘ラズ、安閑トシテ米ダケハ日本ハ瑞穂ノ國デアラカラ安心ダト感ジテ居ツタ所ニ大衆モ政治家モ手振りガアツタト思ヒマス、ソコデ考ヘナケレバナラナイノハ、ドウシテモ恩賜會制度ニ戻ツテ來ルノデアリマスガ、

○岡田政府委員 御説ノ如ク、恩賜會ノ制度ハ先年ノ凶作其ノ他ノ實情ニ鑑ミマシテ、非常ナ熱意ノ下ニ是ガ段々増設サレタ次第デアリマス、爾來相當程度ニ普及ハ致シテ居リマセウガ、未ダ之ヲ以テ決シテ十分ダトハ申上ガ兼ネル實況ニアリマス、隨テ一段トニ對スル擴充、擴大ヲ圖ツタラ宜シクハナイカ、洵ニ御説御尤モデアアルト存ジマス、其ノ點ニ付キマシテモ一層ノ考慮ヲ致シタイトハ思ヒマス、又併シ今此處ニ統計ヲ一寸拜見致シテ見マスル、總數ノ總數ガ東北六縣ニ互リマシテ六千三百九十六ト云フヤウナ數ニナツテ居リマス、而シテ現在ノ貯蔵石數ガ約八十三萬石、之ニ對シマシテ貯蔵ノ能力ガ百六十四萬石ト云フヤウナ數字ニ計算サレテ居ルヤウデアリマスカラ、一面カラ申セバ現在ノ貯蔵數ハ能力ニ對シマシテモ半分ト云フヤウナ格好ニ當ルノデハナイカト思ヒマス、デアリマスカラ折角出來テ居ル恩賜會デアリマスカラ、一面

シマス、會津ニ身知ラズ補ト云フノガアリマス、自分ガ會津デ會津補ヲ自慢シテハ恐縮デスガ、恐ラク是ハ補ノ王デアラウト思ヒマス、其ノ補ノ王デアアル身知ラズ補ト云フノハ本來ハ濫補デゴザイマスカラ、ドウシテモ濫補ヲ以テ濫ヲ拔キ取ラナケレバナラズ、此ノ濫補ガ不十分ナラバ濫補ガ不十分ナツテ濫價ヲ落スノデゴザイマス、濫價ヲ濫價マスタツプリ使ハナケレバナラズ、所ガ會津ノ身知ラズノ濫補ハ幾クベキ數量ガ出テ參リマス、最近ニハ七十七萬兩程產出致シマス、一兩ニ付テ假ニ一合ト見マシテモ、一合以上要ルノデアリマスガ、一合ノ濫價ヲ用ヒルトシマシテモ、七百石ノ濫價ガ要ル譯デアリマス、而モ一兩三圓ト見ルト二百萬圓以上ノ農產物デアリマスカラ、アノ狹イ會津地方ト致シマシテハ、可ナリ大キナ農產物デアリマス、獨リ會津ニ止マラナイ、他ノ地方ニモ濫價ヲ抜イテ他ニ移出スル所ノ補ハ各地ニアルノデアリマスカラ、他ノ地方ノコトハ兎ニモ角ニモ、東北ニ斯ウシタ事實ガ存在スルノデアリマス、昨年アタリハ此ノ濫價ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイデ、可ナリ出荷ノ量ヲ減ジ、或ハ濫價ヲ落スト云フヤウナ爲ニ、農村ノ收入ヲ減少シタコト夥シイノデアリマス、デアリマスカラ農林省ト致シマシテモ、斯ウシタ特産物ニ對シテ、是非遺憾ノナイヤウニ、東北ノ爲ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ

○岡田政府委員 濫價ノ糾制其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、實ハ私十分ニ心得テ居リマセウ、御満足ヲ得ルダケノ答辯ガシ難ネマスガ、御慮意ハ能ク了承致シマシタ、尙ホ取調ベタ上デ是亦閉却スベカラザル間

シマス、會津ニ身知ラズ補ト云フノガアリマス、自分ガ會津デ會津補ヲ自慢シテハ恐縮デスガ、恐ラク是ハ補ノ王デアラウト思ヒマス、其ノ補ノ王デアアル身知ラズ補ト云フノハ本來ハ濫補デゴザイマスカラ、ドウシテモ濫補ヲ以テ濫ヲ拔キ取ラナケレバナラズ、此ノ濫補ガ不十分ナラバ濫補ガ不十分ナツテ濫價ヲ落スノデゴザイマス、濫價ヲ濫價マスタツプリ使ハナケレバナラズ、所ガ會津ノ身知ラズノ濫補ハ幾クベキ數量ガ出テ參リマス、最近ニハ七十七萬兩程產出致シマス、一兩ニ付テ假ニ一合ト見マシテモ、一合以上要ルノデアリマスガ、一合ノ濫價ヲ用ヒルトシマシテモ、七百石ノ濫價ガ要ル譯デアリマス、而モ一兩三圓ト見ルト二百萬圓以上ノ農產物デアリマスカラ、アノ狹イ會津地方ト致シマシテハ、可ナリ大キナ農產物デアリマス、獨リ會津ニ止マラナイ、他ノ地方ニモ濫價ヲ抜イテ他ニ移出スル所ノ補ハ各地ニアルノデアリマスカラ、他ノ地方ノコトハ兎ニモ角ニモ、東北ニ斯ウシタ事實ガ存在スルノデアリマス、昨年アタリハ此ノ濫價ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイデ、可ナリ出荷ノ量ヲ減ジ、或ハ濫價ヲ落スト云フヤウナ爲ニ、農村ノ收入ヲ減少シタコト夥シイノデアリマス、デアリマスカラ農林省ト致シマシテモ、斯ウシタ特産物ニ對シテ、是非遺憾ノナイヤウニ、東北ノ爲ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ

シマス、會津ニ身知ラズ補ト云フノガアリマス、自分ガ會津デ會津補ヲ自慢シテハ恐縮デスガ、恐ラク是ハ補ノ王デアラウト思ヒマス、其ノ補ノ王デアアル身知ラズ補ト云フノハ本來ハ濫補デゴザイマスカラ、ドウシテモ濫補ヲ以テ濫ヲ拔キ取ラナケレバナラズ、此ノ濫補ガ不十分ナラバ濫補ガ不十分ナツテ濫價ヲ落スノデゴザイマス、濫價ヲ濫價マスタツプリ使ハナケレバナラズ、所ガ會津ノ身知ラズノ濫補ハ幾クベキ數量ガ出テ參リマス、最近ニハ七十七萬兩程產出致シマス、一兩ニ付テ假ニ一合ト見マシテモ、一合以上要ルノデアリマスガ、一合ノ濫價ヲ用ヒルトシマシテモ、七百石ノ濫價ガ要ル譯デアリマス、而モ一兩三圓ト見ルト二百萬圓以上ノ農產物デアリマスカラ、アノ狹イ會津地方ト致シマシテハ、可ナリ大キナ農產物デアリマス、獨リ會津ニ止マラナイ、他ノ地方ニモ濫價ヲ抜イテ他ニ移出スル所ノ補ハ各地ニアルノデアリマスカラ、他ノ地方ノコトハ兎ニモ角ニモ、東北ニ斯ウシタ事實ガ存在スルノデアリマス、昨年アタリハ此ノ濫價ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイデ、可ナリ出荷ノ量ヲ減ジ、或ハ濫價ヲ落スト云フヤウナ爲ニ、農村ノ收入ヲ減少シタコト夥シイノデアリマス、デアリマスカラ農林省ト致シマシテモ、斯ウシタ特産物ニ對シテ、是非遺憾ノナイヤウニ、東北ノ爲ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ

ナ見送シテ付ケルコトハ困難アリマスカラ、今日ノ觀察ガ必ズシモ絕對安全デアリ、確實デアルトハ申上ガマセ、隨ヒマシテ此ノ點ニ付キマシテハ目下御承知デモアリマセウガ、當局シテハ各方面ノ意見ヲ聽取能フ集メマシテ、色々ナ方面ノ意見ヲ聽取致シマシテ、之ニ對スル萬全ノ策ヲ講ジマシテ、爲ニ生ズル所ノ絲價ノ暴落トカ、隨テ生ズル所ノ暴落ナドト云フコトヲ生ゼシメナイヤウニ有ル政策ヲ執リ、且又苦心ヲ致シツツアルヤウナ次第デアリマス。

○林委員 今日ハ何モ絲ノ値段ノ押問答ヲシヨウト云フ肚ハナカウツノデゴザイマスガ、御丁寧ニ仰シタルモノデスカラ私モヤハリ少申上ゲテ置カナクテハナラヌコトニナツクノデスカ、ドウモ根本的ニ農林省ノヤリ方ニハ賛成ガ出来ナイノデゴザイマス、擬ヲ持ツノデゴザイマス、ト云フノハ今政務次官モ仰セニナリマシタガ、絲價ノ安定ト云フ所ニ眼目ヲ置クノダト云フコトデアリマス、併シ其ノ點ガ既ニ開議ツテ居ル、日本デ外國カラ金ヲ咬ヘテ來ルモノハ何ト云ツテモ生絲デゴザイマス、生絲ガ高ケレバ高イ程金ヲ運シテ來テ呉レル譯デゴザイマス、所ガ是ハ成ベク上ゲナイ方宜イノダト云フコトハドウモ吾々ニハ了解ガ出来ナイノデゴザイマス、内地ノモノニ影響スルト云ツテ見テ所デ、生絲ガ内地ニ影響シテモ、ソレハ國內ニ於テ印刷シタ札行間ニ合フコトダシ、織物ニ税金ヲ課シテ行クコトモ出來ル、高級品、殊ニ贅澤品ナドニハ目ノ玉ノ飛出ル程ノ税金ヲ取ツテモ差支ナイト思フ、所ガ外國ニ行ツテ外貨ヲ獲得スル使命ヲ帯ビルモノガサウ高クナツ

テハ困ルト云フコトハ、ドウモ外國ノ政治家ガ言フノナラバソレハ結構ナコトデアアルガ、日本ノ政府ノ仰シタル言葉デハナトイフノデゴザイマス、殊ニ不思議ナ、吾々ノ考デ分ラナイコトハ、大惡影響ヲ與ヘタ後ニ方々ノ智能ヲ集メテ研究シテ行クナドト云フコトハ以テノ外ダト思フ、責任ヲ轉嫁スル意味デアルノカドウカ分リマセウケレドモ、洵ニ以テノ外ノ無責任ナコトダト思フ、段々開イテ見マセウガ、數字ニ或ハ違ヒガアルカモ知レマセウガ、極ク大マカデ申シマス、假ニ輸出ニ向ケ得ル高級生絲ガ五十万捆アルトスレバ、其ノ中三十万捆ヲ橫濱ニ積ンデ置イテ、是ハ外國ニ向ケルノダ、亞米利加ニ向ケルノダト決メテ置キ、十萬捆位ハ内地ニ向ケ、今十萬捆ハ亞米利加ノ模様ニ依ツテハ亞米利加ニ向ケヨウ、又模様ニ依ツテハ内地ニ向ケヨウ、緩衝地帯ト云ヒマセウガ、準備ノ荷物トシテ取ツテ置ク、斯ウ云フ三段階ト申シマセウガ、サウ云フ態度ヲ執ツテ本年一月ノ二十日カラ切符制度ヲ實行サレタノデアリマス、實ニドウモ滑稽極ク話デゴザイマス、吾々カラ見ルト滑稽ト云ハウカ、惡策ト云ハウカ、實ニ御話ニナラナイ態度ダト思フ、亞米利加ノ方ノ買手ノ側カラ見レバ三十萬捆ト云フモノガ滑稽ニ積ンデアルカラ是ハ急ガスデモ宜イ、何時デモ買ヘルノダ、又之ヲ賣ラナクテ日本デ困ルノダ、斯ウ云フ氣持ヲ亞米利加ニ持タセドウシテ生絲ヲ高ク買ハセルコトガ出來マセウ、忽チソレカラソレト考ヘテ見ルト、何カ大手筋ト連絡シテ作意的ニ暴落策ヲ執ツテ居ルノデハナイカトサヘモ考ヘラレル、更ニ色

色考ヘテ見ルト、存ニ絲ヲ下ゲテ置イテ、今度ハワイノノ農民ガ騒イテ來ル頃即チ秋頃ニナツテ絲ヲ上ゲル、結局儲カル者ハ大手筋デアリ、悲シム者ハ繭生産者デアルト云フヤウナコトヲ考ヘテ見ルト、ソレコトヲ計畫スルヤウナ、サウ云フ手デモ動イテ居ルノデハナカラウカトサヘモ疑フ程ノ結果ヲ招來シテ居ル、サウシテ一捆ニ付テ千圓ツツ下ダレバ假ニ三十萬捆ナラバ三億圓ノ金ヲ外國カラ取り損ネルト云フコトニナルノデスカラ、國家ニ對スル損害ハ莫大ナルモノニナルト思フ、斯ウ云フ見エ透イタヤウナ愚カナ政策ヲ執ツテ、三十萬捆ハチヤント積ンデ置クノ都合ニ依ツテハ二十萬捆モ外國ニ向ケルコトガ出來ルノダナドト云ツテ、品物ヲ捕ヘテ積ンデ置クテ居ルヤウナ政策ヲスルニ至ツテハ、實ニドウモ驚キ入ツタ、惡策愚策ト云ハザルヲ得ナイト思フノデゴザイマス、サウシテ大騒ギヲ始メタト云フノデ、今度ハ智能ヲ集メテ對策ヲ講スルト云フニ至ツテハ、實ニ驚キ入ツタ、今全國的ニ驚キ入ツテ此ノ不平ノ聲ガ捲起ツテ居ル譯デゴザイマスガ、此ノ實情ニ鑑ミマシテ、斯様ナ對策ヲ廢メテ實ヒタイ、速ニ切符制度ヲ廢メテ實ヒタイト云フコトデゴザイマス、私ハ確ニ原因ガ此處ニアルト思フ、又理窟ハ電ニモ角ニモサウ云フ對策ヲ立テテカラ急轉落ヲシタノデスカラ、是ハ何トシテモ政府ノ處置宜シカラザルニ原因シタト云フコトハ辯解ノ餘地ガナカラウト思フ、農林省ニ於ケレマシテハ、一ツ率直ニ左様ナ態度ヲ改メテ、生絲ニ限リ絲價安定ナドト云フヤウナ誤レル對策ニ出ラレナイヤウナ

風ニシテ實ヒタイ生絲ガ上リ繭ガ二十圓ニモナツタ多々益、宜シト思フノデゴザイマスガ、御所見如何デゴザイマセウカ
○岡田政府委員 御述ニナリマシタ御意見ハ十分ニ能ク了解出來マス、又丁度御説ノヤウナ御意見ハ林君ニ限ラズ御承知ノヤウニ隨分力ナ方面カラ幾多吾々聞カサレテ居リマス、先般丁度林君ノ御一語デアツタト思ヒマスガ、或ル席上ニ於キマシテ、サウ云ツタヤウナ隨分明確ナ徹底シタ御意見ガアリ、又而シテ半面ニ於テハ中々以テ非常ニ慎重ナ御意見モアリ、要スルニ經濟的ノ現象デアリマス爲ニ、斯ウ云フ際ニ於キマシテハ、言フマデモナク幾多ノ是ハ對蹠的ノ意見ガ現ハレルモノデアラウト思ヒマス、ソレダケニ又政府當局トシマシテモ經濟政策ニ付キマシテハ一層ノ慎重ヲ期シマシテ獨善ヲ許スミナト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於テ私共ハ努メテ各方面ノ意見ヲ心ヲ慮ウシテ而シテ聽クト云フコトハ當然デアリカト思フノデアリマス、サウデナイト獨善ニ陥ル弊デアリマス、經濟政策ハ洵ニ複雜多端デアリマシテ、先程申シマシタ通り、非常ニ困難ナ問題デアリマス、デアリマスカラ今回ノ色々ノ現象ニ對處シマシテモ、白紙ニ還ツテ申シマセウカ、慮心損傷ニ、而シテ斯ウ云フ經濟政策ニ對シマシテハ、必ズシモ慌テズ必ズシモフタメカズ、而シテ獨善ニモ陥ラズ、宜シク慎重ナル考慮ノ下ニ更ニ策ヲ立テテ臨ムベナラヌト云フコトヲ考ヘツツアルノデゴザイマス、是レ以上ハ意見ニ屬スルコトデアリマスカラ、政府ノ眞意ヲ申上ゲテ置クニ止メテ置キマス、御意見ノ次第ハ十分ニ之ヲ拜承スルト云フコトニ止メテ置キタイト思ヒ

マス

○林委員 無論役人ガ國家ニ損害ヲ與ヘルヤウニト考ヘル管ハゴザイマセ、ケレドモ私ハ一ツ政務次官ニ御願シテ置キタイコトハ、從來ノ役人ハ一ツノ事ヲ實行シヨウトスレバ、先ツ自分デ案ヲ決メテシマフ、サウシテ調査會ニ諮ツタトカ、智能ニ諸ツタトカ言フケレドモ、集マツタ調査會委員ニ對シテ其ノ立案ノ成立ヲ強ヒルト云フ傾向ガアルノデス、サウシテ成ベク其ノ案ニ賛成セセテ、調査會ノ答申ナリト云フ形ダケハ執ルケレドモ、自分ノ案ヲ強ヒルト云フヤウナ傾向ガアルノデゴザイマセ、實質的ニハ智能ヲ集メテ居ナイノデス、智能ヲ取上ゲナイト云フコトガ多イ、ソレガ官僚獨善ト云ハル所以ダト思フノデゴザイマス、デスカラ豫メ甲トカ乙トカ決メテ掛ルナラバ調査ノ必要モナイ、智能ヲ集メル必要モナイ、其態度ヲ改メテ實ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ是ハアナタニ申上ゲテモドウカト思フノダケレドモ、役人ハ唯立案ノ責任ダケデアル、例ヘバ一ツノ案ガ出來ル時ニハ澤山判ヲ捺ス、私モ少シ役人ノ眞似ヲシテ見タガ、ドウモ毎日々々判捺シバカリスル、唯立案ノ責任ハ取ルケレドモ、實行ノ責任ヲ取ラナイヤウナ場合ガ多イ、例ヘバ今日ノ生絲問題ニシテモサウデス、切符制度ヲ實行スルタメニハ關係局課長等澤山ノ判ヲ捺シテヤツタニ相違ナイガ、其ノ結果大暴落ヲ招來シタコトニ付テ責任ハ負ハナイ、サウシテ色々ナ理窟ヲ付ケル、昨日モ押問答シタノデスカ、學生ヲ炭燒ニ使フ、使フ時ニハ木炭ノ増産ト云フコトヲ目標ニ學生ノ勞働員ヲシタ譯デスガ、結果ガ皆クナイ、世間ノ非難ガアリ

豫期シタ程増産ガ出來ナカウツタナルト、アレハ何モ木炭ノ増産ガ目的デナカウツノデアル、勞働奉仕ガ目的デアツタノダカラ炭ガ出來ル出來ナイハ問題デアリマセウナドト空囀イテ居ルト云フニ至ツテハ、實ニ白々シイ態度ト云ハナクテバナラヌ、或ハ又自分ノヤツタコトガ縱令惡イト知リツツモ改メヨウトシナイノガ官僚ダト思フ一ツノ例ハ木材ノ検査デアリマス、是ナドハ私ハ斷然撤廢シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデ、是モ御聽キシヨウト思ヒマスガ、今日ハ省略致シマセケレドモ、アノ山奥ニ行ツテ原木ヲ検査スルナドト云フコトハ、全ク無意味ナモノデアアル、惡法ト云フ言葉ガアリ、又實際惡法ラシイモノモアルケレドモ、最近ノ惡法ノ代表トモ云フベキモノハ生絲ノ統制ト原木ノ検査ダト思フノデス、サウ云フ惡イ結果ヲ齎ラスニモ拘ラズ、改メヨウトシナイ、國民ニ大迷惑ヲ掛ケテモ自己ノ面目ヲサヘ押セバ宜イ、是ガ即チ官僚ノ惡イ癖ダト思フ、少クトモ大損害ヲ與ヘ大迷惑ヲ掛ケル原木検査ナドト云フコトハ無意義ナコトデアアルト云フコトガ御分リナラバ、人的資源ノ必要ナル時ニ是非トモ撤廢シテ戴キタイト思ヒマスガ、併シ政務次官ハ其ノ點ハ釋迦ニ説法デアリマスカラ、此ノ上申上ゲルコトハ致シマセウ、ドウモ其ノ邊ノコトヲ十分ニ御諒承ノ上、折角吾々ノ期待ニ副ヒマスルヤウニ、東北振興ノ爲ニ御盡心戴クコトヲ御願シテ私ノ質問ヲ終リマス

○野村委員長 ソレデハ總理大臣ガ御見エニナレルサウデスカラ、ソレマデ御待致シマス——庄司君
○庄司委員 米内内閣總理大臣ニ對シマシテ、只今本委員會ガ審議ヲ致シテ居リマスル東北興業、振電兩法案ニ關聯致シマシテ、極メテ簡單ニ御質疑ヲ申上ゲマシテ御答辯ヲ頂戴スルコトヲ、國策東北振興ノ爲ニ欣快ニ堪ヘナイノデアリマス、過般ノ本會議等ニ於キマシテモ總理ニ於ケレマシテハ、國策東北振興ノ急務ナル所以ハ相當或ハ十分ニ御聽取ヲ御願スルコトガ出來タト思フノデアリマスガ、東北地方ハ御承知ノ如ク六無齋林子平ガ仙臺藩ニ獻策シタル所ノ建言書ニハ、北緯三十度以北ニ於ケル農業ノ如キハ極メテ困難デアルト云フコトヲ仰シヤツテ居ラレマス、大伴家持ハ又當時多賀城ノ國府ノ總督ノ時代ニ於テ、東北地方一帯ノ開發ハ極メテ困難デアルト云フコトヲ時ノ中央政府ニ報告ヲサレテ居ル、斯様ニ氣候ガ寒冷デアリ、海岸地方ハ高潮ガヤツテ來ル、桑畑ニハ霜害ガヤツテ來ル、冷害ノ爲ニ凶作災害文、至ル所ノ東北地方ト云フモノハ氣候風土ノ上ニ於テ天然的ニ災害ノ多イ地域デアルトハ總理大臣御自身能ク御承知ノコトデアリト思フノデアリマス、第二ハ後天的ニハ明治御維新以來、東北二十一年ノ御承知ノアノ騒ギノ場合ニ於テ薩長土肥ノ藩閥ノ政府ニ依ツテ有ル差別的ナ進退ヲ受ケタコトモ總理大臣御承知デアリト思フノデアリマス、此ノ先天的ノ氣候風土ノ災害ト差別待遇、通過ニ久シイ間東北ハ泣キマシタ、斯様ナ後天的ノ政治經濟上ノ關係カラ被壓困態ノ状態ニ陥リマシタ東北ト云フモノハ、最近ニ於テ愈々益々窮迫ノ度合ガ高度化シテ參リマシタコトモ御承知ノ通りデアリマス、昭和六年青森縣ヲ中心トスル地方一帯ノ凶作ガ最近ニ於ケル東北運動ノキツカケトナリマシテ、ソレカラ

ラ昭和八年三陸海岸地帯一帯ノ大海嘯、ソレカラ昭和九年ノ大凶作、サウシテ岩手縣ノ山村地方ニ於キマシテハ、私共宮城縣ナドモ御同様農民ハ木ノ皮ヲ剝イテ食ベタ、或ハ草ノ根ヲ掘ツテ食ベタト云フヤウナ哀話ガ隨所ニゴザイマシタコトハ、ヤハリ總理御自身ニ於テモ御聽ニナツテ居ラレル事實デアルト思フノデアリマス、時方ニ斯様ナ東北ノ悲慘ナル慘狀ガ天聽ニ達セラレマシテ、東北救濟ノ爲ニ御聖慮ヲ極メシ奉リ、辱クモ東北地方更生ニ關スル深キ御思召ヲ戴キ、且ツ 皇后陛下ヨリハ莫大ナル御内帑金ヲ東北ノ爲ニ賜リマシタノデアリマス、仍デ此ノ至高至大ノ御聖旨ニ應ヘ奉ランガ爲ニモ、東北七百萬民衆ハ老若男女ヲ問ハズ心カラナル感激ト感奮トヲ以テ所謂自奮自動シナケレバナラヌ、齋藤實閣下ノ如キ當時自力更生ト云フ言葉ヲ示サレマシタガ、東北民自身ガ自力更生スルコトハ言フマデモアリマセウガ、自力更生スルコトハ餘リニモ力ガ當時弱カウツノデアリマス、政府ノ他力ト稱ラナケレバナラナイ、此ノ自力ト他力ト兩々相俟ツタ力ニ依ツテ東北ガ更生シテ此ノ上御一人ノ聖旨ニ應ヘ奉リ、所謂國家ノ軍事、國防、産業其ノ他ニ吾々ハ協力シナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ、一生懸命東北民衆ハヤウツテ積リデアリマス、此ノ朝野ノ輿論ガ遂ニ官制ノ上ニ東北振興調査會ナルモノヲ御設置ニナリマシテ、昭和十一年八月十六日三億二千餘萬圓ノ第一期東北振興綜合計畫ト云フモノガ出來上ツタノハ總理大臣御承知ノコトデアリマス、然ルニ其ノ計畫ノ三億二千餘萬圓ガ各省縣別ニ所要經費ト云フモノガ再更側方各省縣別ニ所要經費ト云フモノガ再更正サレマシテ、結局大藏省ニ於テ大鉅ヲ擲

ハレマシテ、此ノ三億二千餘万円ノ金ガ一億九千六百餘万円ト云フ風ニ差額ヲ加ヘテ...

費用ノ三億二千餘万円ガ、結局只今申上セマシテ...

ル、所謂各々ガ要望シテ居ル東北廳ト云フモ...

ル農民ノ生活の場面ヲ如實ニ寫實セル現實...

ニ攻致シタイト考ヘテ居リマス...

バ東北振興ニ一番必要ナ、今マデ餘リ手ヲ...

底其ノ東北振興自ラノ大ナル抱負ヲ實現ス...

マスガ、第二回ハ折角政府ノ御心配ニ依...

○小野委員 私ハ東北振興株式會社ノ經營...

テ最モ必要デハナイカ、斯様ニ思ヒマス...

ハ思フデス、其ノ三ハ肥料ノ問題ニモ手...

カト申シマスレバ、勿論政府カラ金ヲ戴イ...

期スル爲ニ、將來ニ於テ左様ナル首腦者ヲ此ノ會社ニ求メ、而シテ事業ヲ發展セシムル上ニ御指導ニナル御意思ガアルカドウカ、是ガ第二點デアリマス、ソレハ要スルニ仕事ノ運用ハ人ニアル、如何ニ立派ナ機構ヲ作りマシテモ、如何ニ陣容ヲ整ヘマシテモ、要スルニ其ノ運用ハ人ニアル、適當ナル人ヲ得ナケレバイカスト云フ所ニ、私ノ質問ノ趣意ガアルデアリマス

第三點ハ、先般二月十四日ノ本會議ニ於キマシテドナカノ御質問ニ對シテ總理ニ代リマシテ法制局長官カラ御答ニナツタ間題デアリマス、本店ヲ東京ニ移轉スル意思ハナイカ、之ニ對シテ「東京支店ニ重役等ガ主ニ居ルト云フヤウナ實情ハ現在ノ狀況デハ已ムヲ得マセス、併シ是ガ爲事業上ニ支障ヲ來スト云フヤウナコトハナイヤウニ致シタイト存ジマス」是ダケデハ一應ノ御答辯デアリマスガ、了解ハ出來ヌノデアリマス、現在ハ會社ガ色々政府ト交渉スル事件ガ多ク爲ニ重役ノ大部分ガ東京ニ居ルノハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フヤウナ御考デアリマセウガ、併シ將來此ノ會社ノ仕事ガ益、多クナル、即チ仕事ガ本格的ニナルニ從ツテ私ハ東京ニ居ル必要ガ益、増加スルト、斯様ニ見テ居ルノデアリマスカラ、是ニ於テ本社ヲ東京ニ置イテ支社ヲ仙臺ニ置ク方ガ有ユル仕事ノ上ニ宜クハナイカト、斯様ニ考ヘマシテモウ一應總理大臣ノ之ニ對スル御考ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○米内國務大臣 第一ノ御質問ハ萬屋ノヤウニアチラニモコチラニモ小サナノガアルト三兎四兎ヲ追ウテ一兎ヲ得スト云フヤウナコトガアルカラ、重點主義デヤレ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、是ハ御尤

モナ御質問ト思ヒマス、政府ト致シマシテハ、東北ト申シマシテモ、特殊ノ事情ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ邊ノ點ヲ睨ミ合セマシテ、三兎ヲ追ウテ一兎ヲ得ナイト云フヤウナコトノナイヤウニ、十分ニ努力メタイト思フノデアリマス、金及ビ非鐵金屬ニ關シテノ御質問ハ是ハ御尤モナコトト考ヘルノデアリマス、是モヤハリ重點ヲ置クベキコトノ問題ダト考ヘテ居リマス

ソレカラ肥料ノ問題ノ御話モゴザイマシタガ、先般東北ノ長官ガ全部御見エニナリマシテ陳情サレタヤウナ關係モアリマス、尙又農林大臣ニ於キマシテ肥料ノ問題ト云フモノヲ非常ニ重視サレマシテ、殊ニ東北ノヤウニ季節ニ依ツテ其ノ時期ヲ過ギルト何ニモナラナイト云フヤウナ所ニ對シテ優先的ニ供給スルト云フコトニ付キマシテ、隨分骨ヲ折ツテ居ラレマス、農林大臣ノ手腕ニ信賴致シマシテ、此ノ方ハ大丈夫ダト考ヘテ居リマス

ソレカラ第二ノ問題ハ人事問題デアリマスガ、是ハ實際ノ仕事ニ當ル者ハ政治問題何カニ没頭シテハイカスト云フコトハ、是ハ誰シモ御異議ハナイコトト思フノデアリマス、人事ニ關シマシテハ將來能ク慎重ニ考慮致シマシテ、遺憾ノナイヤウニ十分ニ私カラモ監督シ、又サウ云フ人ガ假ニアツタト致シマスレバ自覺サセラユウニ十分考慮致シマス、ソレカラ會社ノ所在ノ問題デアリマスガ、是ハ先般御答辯ニ依ツテ大體御分リト思フノデアリマスガ、是ハヤハリ色々組織機構ノ問題ニ關係スルト思フノデアリマスガ、此ノ問題モ一體何處ニ本社ヲ置イテ何處ニ支社ヲ置カト云フヤウナ點モ併セマシテ、能ク研究致シマシテ、要ハ東

北振興ノ目的ヲ達シ目的ニ副フヤウニ十分ニヤリタイト思ヒマス

○林委員 東北振興ニ付テ總理大臣ニ數點御質問申上ゲテ見タイト思ヒマス、其ノ御質問申上ゲル前ニ是非申上ゲテ置キタイトゴザイマス、ソレハ外デモゴザイマセガ、此ノ委員會ノ空氣ハドシナモノダカト云フコトヲ總理ノ御耳ニ達シテ置キタイト思ヒマス、此ノ委員會ハ東北ノ振興ヲセラル爲ニ三百万圓ノ金ヲ預載スルト云フコトデアリマス、而シテ委員ハ多ク東北ノ議員ガ當ツテ居ルノデゴザイマス、デアリマスルカラ文句ナシニ即決可決、喜ンデ協賛シテ委員會ハ終了スベキ筋ノモノダト思ヒマス、然ルニモ拘ラズ、毎日冬々熱心ニ質疑應答ヲ續ケテ居ル所ノ此ノ空氣ヲ見マスルト、異口同音ニ東北振興ノ目的ニ副ハナイト、大會社ニ對スル不平ノ聲バカリデアルト云フ此ノ空氣ヲ慮テ御諒解願ツテ置キタイトデアリマス、斯様ナ空氣ヲ先ツ御諒解願ツテ置キマシテ、次ニ申上ゲテ置キタイトコトハ斯様ナ狀態デアリマス以上、從來ノヤウナ程度ノ東北振興振リガ續ケラレテ行クナラバ、百年河清ヲ待ツヤウナモノデア

ル、到底東北民ノ期待スルヤウナ振興ヲ見ルコトハ出來ナイデアラウ、ソレニ付キマシテ是非共總理ノ特別ノ御考慮、御奮發ヲ煩ハシタイトガ爲ニ、要點ヲ申上ゲテ御所見ヲ伺ヒタイトゴザイマス

第一點ハ東北振興ノ當時者ノ熱意、殊ニ責任觀念トノ關係ニ付テ御考シタイト、先ツ此ノ東北ノ振興ヲセヨウト云フ二ツノ會社ガ使命ヲ帯ビテ立上ツタ以上ハ、之ニ關係ヲ持ツ所ノ當事者ハドウシテモ其ノ使命ヲ

達成スル所ノ熱意ヲ持ツテ貴ハナケレバナリマセヌ、是レナクテハ東北振興ノ使命ヲ達セラレルガ方アリマセヌ、此ノ熱意ヲドウノ總理カラ注射シテ戴キタイト、此ノ熱意ヲ注射ガ先ツ根本ダト思フ、サウシテ同時ニ是非トモ責任觀念ヲ植付ケテ貰ヒタイトイデオザイマス、近來ノ通弊ハ責任觀念ガ衰退シタコトダト思フ、日本精神ト云フノハドウ云フモノダカ、赤イ色カ黒イ色カ白イ色カ、色ハ知リマセヌ、圓カ三角カ形ハ知リマセヌ、併シナガラ責任觀念ノ旺盛デアルト云フコトダケハ間違ヒナイ、ソレガ年毎ニ衰退スルコトハ洵ニ遺憾ニ堪エナイコトデアリマス、殊ニ東北興業會社ノヤウナ特別ノ使命ヲ持ツテ居ル會社ノ當事者ハ特ニ責任觀念ガナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、私ハ先般新聞デ非常ニ感心シタコトハ「フィンランド」ニ駐劄シテ居ル所ノ「ソビエト」ノ公使ノ「ヴァンズキー」ト云フ人ガ、「ソビエト」政府ニ向ツテ情報ヲ發シタ、「ソビエト」ノ威力ヲ以テセバ、「フィンランド」ハ一舉ニシテ縮ミ上ツテシマフニ相違ナイ、威壓スルコトガ出來ルト云フヤウナ情報ヲ發シテ、ソレニ依ツテ「ソビエト」ハ兵ヲ送ツタ、所ガ案ニ相違シテソナ簡單ニ行カナイト云フノデ、詰リ誤報ヲシタト云フ所ノ責任ヲモツテ死刑ニナツタト云フ新聞ヲ見マシテ、實ニ私ハ感心シタノデス、露西亞ノコトヲ感心シタト云フト御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角責任ヲ斯クマデ重シクシタト云フ點ダケハ他山ノ石トシテ探ツテ宜カラウト思フ、サウ云フヤウナ點ヲ思ヒ合セテ、ドウモ日本ノ最近ノ官吏、官界ニ於ケル色々ノ手違ヒニ對スル責任ノ執リ方ガ少イデアハナイカ

ツノ意味ヲ含ンデ居ルト思ヒマス、即チ東北地方ニ於テ時局ニ必要ナル資源ヲ開發シ、生産擴充ヲ圖ツテ、國策ノ遂行ニ資スルト云フ一面ト、他ノ一面ハ東北ノ經濟力ヲ綜合的ニ振興サセル、ソレニ依ツテ東北民ノ利福増進ヲ圖ルコトガ刻下ノ必要ナル國策デアルト云フ、此ノ二ツノ意味ガ國策ト云フ言葉ノ中ニ包含サレテ居ルト思フノデアリマス、東北振興ガ東北民衆ニ多大ノ熱意ヲ以テ歡迎サレタノハ、此ノ國策ノ意味ト信ジタカラデアアルノデアリマス、東北振興第一期綜合計畫實施要綱ノ第一ヲ見マス、此ノ點ガハッキリシテ居ルノデアリマス、「東北振興綜合計畫」目的ハ東北地方ニ於ケル産業ノ振興ヲ圖リテ同地方住民ノ生活ノ安定ヲ期スルト共ニ國家内外ノ情勢ニ鑑ミ國防上ノ人的及物的基礎ヲ確立シ資スル爲所謂廣義國防ノ實ヲ舉グルニ在ルモノト云フコト東北振興ガ國策デアルト云フ私ガ申上ゲタ内容デアルト私共ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ其ノ東北振興兩會社ノ事業ノ傾向ヲ見マスルト、國策デアルト云フ意味ヲ漸次私ノ前ニ申上ゲタ前者ノミニ解シ、東北ノ經濟力ノ綜合的振興ニ對シテハ、之ヲ顧ミナイト云フ傾向ガ益々助長サレテ居ルノデアリマス、現ニ此ノ種ノ意味ニ解シテ居ル所ノ當路者ハ、此ノ國策ノ爲ニ東北人ハ私經濟ノ犧牲ニスベキデアル、斯ウマデ極言スルノデアリマス、振興兩會社ノ第一期計畫第二期計畫ヲ首相ハドウカ御覽ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ計畫ノ中ニハ東北ノ町村ヲ形成スル農民ニ對シテハ何等利福増進ヲ與フルモノガナイ、殆ドナイト云フヤウナラバ宜イガ、何モナイト申上ゲテモ宜シイ、此ノ振興計畫ノ

ト思フ、是レ總テ國民全體ノ責任觀念ノ薄クナツテ行ク所以デハナカラウカト考ヘル、サウ云フ點カラ考ヘテ見テ、最近我ガ東北ノ二大會社ニ汚點ヲ殘シタ所ノ木炭採取引ニ關スル處置ハドウナサレカ、是ハ實ニ大キナ問題ダト思ヒマス、ドウゾ飽クマデモ責任ヲ追究サレテ、開カラ開ニ葬ムラレルヤウナコトノナイヤウニシテ、以テ兩會社ノ建直シラスル所ノ一ツノ原因段階ニシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル總理大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイトデアリマス

○米内國務大臣 二大會社ニ對スル委員會ノ空氣ト云フコトカラ、先ツ第一ニ人事問題ニ付テノ御質問デアツタヤウデアリマスガ、要スルニ熱意ヲ注射シロ、責任觀念ヲ植付ケロ、斯ウ云フ御話デアリマス、過去ノ事ハ兎モ角ト致シマシテ、將來ハサウ云フ御指摘ノナイヤウニヤリタイト思フノデアリマスガ、官吏ニ致シマシテモ、亦其ノ他ノ者ニ致シマシテモ、何ガ一番大事カト云フト、信實必罰ガ一番大事デ、是ガナケレバ總理ガ緊縮出來マセヌ、此ノ見地カラ十分ニ考ヘマシテ、今日マデ誤リノアツタ所ハ是正シ、又將來ニ互ツテ同ジ誤リヲ二度ト繰返サナイヤウニ、私モ熱意ヲ以テヤリタイト考ヘテ居リマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○野村委員長 菊地養之輔君
○林委員 私人時間ガアリマスカラ……
○野村委員長 ソレデハ無理ニ止メマセヌガ、成ベク自省シテ……
○林委員 次ニ總理ニ御考シタイト點ハ、是ハ小野委員カラモ御考ガアツタ所デゴザイマスケレドモ、結局東北ノ二大會社ノ不評

ナル所以ノ一ツハ、何トシテモ總裁ガ出世ノ土臺ニズルト云フコトデゴザイマス、レバ之ヲドウスト云フコト云フ問題ニナルノゴザイマスガ、私ノ考ヘル所ニ依リマス、總裁、重役等ヲ現役ノ官吏ヨリ採ルト云フコトガナカウツタナラバ、サウシタ不評ガ起ル原因ガナイト思フ、ウレカラ更ニ總裁、重役ノミナラズ一般ノ職員ニシテモ、現役ノ役人ガ直チニ行クカラ色々ノ惡イ評判ガ起ルノデゴザイマスガ、是ガ退職後數年ヲ經タ人ヲ採ルナラバ弊害モナク、又ソレヲ採ツテイケナイト云フコトハ、少シ酷ナ註文ダト思ヒマス、デアリマスカラ退職後數年間ヲ置クト云フコトデアツタナラバ、弊害モ無イシ、世ノ中ノ疑惑モナクナラウト思フノデゴザイマスカラ、一般ノ現役ノ役人ガ直チニ會社ニ移ルト云フヤウナコトデハナク、數年間ヲ置クト云フコトニシテ戴キタイトラバサウシタ疑惑ヤ不評モナクナルダラウト思ヒマスガ、是非ハ實行ヲ願ヒタイト思ヒマス、折角總理ハ此ノ席上ニモ御言明下サレ、又本會議ニ於テモ人事ニ付テハ考慮スルト云フ御言明デゴザイマスカラ、此ノ點ハ御答ヲ戴カナクとも宜シウゴザイマ

スガ、ドウカ私共ノ希望ノ達成出來ルヤウニ御願致シテ置キマス
次ニ御答辯ヲ願ヒタイトコトハ、東北局ノ中ニ東北産業相談部ト云フモノヲ設ケテ置イテ戴キタイト、ナゼ斯ウ云フコトヲ總理ニ御願ヲ申上ゲルカト申シマス、東北ニハ色々ノ數多イ仕事ガ今日マデモアリ、是カラモ起ツテ來ルデゴザイマセウ、其ノ仕事ヲ東北興業會社ニ持ツテ行ケバ、東北興業會社自ラガ之ニ手ヲ染メテ、算盤ガ採ルカ採レナイカト

○野村委員長 一寸申上ゲマスガ、總理大臣ハ五時半ニハ是非トモ行カナケレバナラヌ所ガアルサウデス、マダ三人アルノデスガ、ドウ云フ風ニシタラ宜イデセウカ
○小笠原委員 最初カラサウ言ヘバ宜イガ、殘ツタ者ニ押付ケルノハ困ル
○野村委員長 ソレナラバ明日デモヤリマ

云フヤウナ頭デラ見マシテ、サウシテ自分ノ計算ニ於テ出來ナケレバ地ヲカシテシマフト云フヤウナ傾向ガアリマスガ、自分ノ計算ニ於テヤレナイト云フヤウナ頭ヲ度外ニシテ、東北ノ六縣ノ中ニ芽生ヘテ來タ所ノ色々ノ仕事ニ付テ、小サナ資本ヲ以テハ出來ナイモノモアリマセウカラ、サウ云フ人達ガ何處ニ持ツテ行ツテ相談スルコトモ出來ナイデ困ツテ居リマスノデ、之ヲ一ツ取上ゲテ相談シテヤラウト云フコトニナリマシタナラバ、東北全體ニ新シイモノガ興ツテ來ルト思ヒマス、自分ノ計算ト云フモノカラ頭ヲ離レタ本人本位ノ相談部ト云フモノガ東北局ノ中ニアツタナラバ、非常ニモサウ云フ部門ヲ設ケラレマシテ東北ノ振興ニ資セラレタイト思ヒマスガ、總理ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○米内國務大臣 御尤モヤウナ御質問デアリマスガ、是ハ一ツ政府委員ノ方カラ御答サシテ戴キタイト思ヒマス
○廣瀨政府委員 只今ノ點ハ能ク相談ヲ致シマシテ考慮致シマス
○野村委員長 一寸申上ゲマスガ、總理大臣ハ五時半ニハ是非トモ行カナケレバナラヌ所ガアルサウデス、マダ三人アルノデスガ、ドウ云フ風ニシタラ宜イデセウカ
○小笠原委員 最初カラサウ言ヘバ宜イガ、殘ツタ者ニ押付ケルノハ困ル
○野村委員長 ソレナラバ明日デモヤリマ

○菊地委員 東北振興ハ國策デアアル、此ノ點ニ對シテハ何等ノ疑義ガナイノデアリマス、然ルニ此ノ場合國策ト云フ言葉ノ中ニハ二

出來場合ハ、東北ノ農民ノ大部分デアル所ノ町村ノ自治團體カラ澤山ノ金ヲ募集シ...

○米内閣務大臣 只今ノ御質問ノ要點ハ資源ノ開發ト生産ノ方バカリナルカライカス...

ニ於テ近衛總理大臣ハ、政府ニ於キマシテハ、東北地方ノ振興ハ之ヲ國策トシテ取上...

○小笠原委員 モウ時間モアリマセヌカラ、簡單ニ三點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト...

ノ點ニ付テノ御方針ヲ一ツ承リタイノデアリマス...

北ニハ同一帯地ニ小學校ガ三箇所モアルト云フ所ガアル、サウ云フ廣汎ナル所ニ東北ハ...

モ聲バカリデアル、實際問題ニ於テ、其ノ内容ノ上ニ大キナ缺陷ガアルト云フコトヲ...

家ノ爲ニ愛フベキ大キナ問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、食ヲ與ヘズシテ、權...

第二點ハ、御承知ノ通り、我國ハ暖國カラ寒國ニ互ツテ國土ヲ有シテ居ルノデアリ...

北ニハ同一帯地ニ小學校ガ三箇所モアルト云フ所ガアル、サウ云フ廣汎ナル所ニ東北ハ...

モ聲バカリデアル、實際問題ニ於テ、其ノ内容ノ上ニ大キナ缺陷ガアルト云フコトヲ...

家ノ爲ニ愛フベキ大キナ問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、食ヲ與ヘズシテ、權...

ノ點ニ付テノ御方針ヲ一ツ承リタイノデアリマス...

北ニハ同一帯地ニ小學校ガ三箇所モアルト云フ所ガアル、サウ云フ廣汎ナル所ニ東北ハ...

モ聲バカリデアル、實際問題ニ於テ、其ノ内容ノ上ニ大キナ缺陷ガアルト云フコトヲ...

家ノ爲ニ愛フベキ大キナ問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、食ヲ與ヘズシテ、權...

十餘圓ノ金ガナクテハ迎モ生活ガ出来ナイヤウナ状態デアリマス、隨テ眞面目ニ俸給ヲケテ生活スル者ハ其ノ地位ニ居ラレナイカラ、何か俸給以外ニ財産ノアル者收入ノアル者ケガ残ツテ、他ノ者ハ全部他ニ職ヲ求メルト云フ状態デアリマス、斯様ナ下級官吏ガ如何ナルコトヲシテ生活ヲシテ居ルカヲ、政府ノ方デ實際ニ調査シテ居ルカドウカ、ソコデ考ヘナケレバナラヌコトハ、東北ノ下級官吏デアリマス、岩手縣デモ、青森縣デモ、秋田縣デモ、山形縣デモ半年間雪ニ閉サレテ居ルノデアリマシテ、隨テ燃料モ非常ニ多ク要ルノデアリマス、衣服費ハ雪ノナイ國ノ生活ヨリモ三倍モ要ルコトハ總理モ御承知ノコトト思フデアリマス、ソレニ比ベテ又給料ハ關東、關西ヨリ東北ノ方ハ二割モ安イデアリマス、ソコデ官吏ノ行詰ルノハ、東北ニ第一著ニ是ハ行詰リヲ生ズルト云フコトニナルデアリマス、其ノ上ニ物價政策モ殆ド全國的ニ統制サレテ結果、諸物價モ殆ド全國同様に騰貴シテ居ルノデアリマス、生活ニ困難ノ餘リ官吏トシテ東北地方ニ殘ル者ハ段々ニ素質ガ低下シテ來マシテ、俸給ヨリモ官僚トシテノ權力ヲ望ム者バカリガ段々ニ官吏ヲ希望スルヤウナ傾向ガアルデアリマス、斯ウナルニ付テ迷惑スルノハ地方民バカリデアリマス、洵ニ危險此ノ上モナイヤウナ次第デアリマス、隨テ之ニハ今申上ゲタ通り警察官モ刑務所ノ看守モ、或ハ又學校教員ト云フヤウナ重要ナ職責ヲ持ツテ居ル官吏、公吏、教員等ガアルデアリマスガ、之ヲ先ヅ以テ官吏ノ色々ナ生活ノ不安ノ爲ニ、間取引デモ横行スルヤウナコトガアヲマシタラ、是

ナドハ國家ノ一大事ト思フデアリマシテ、殊ニ昨今ノヤウニ物價ガ全國一律ニ騰貴シタニモ拘ラズ俸給ガ安イ、ソレニ衣服燃料等ガ相當ニ多ク掛ルト云フコトニ眼ヲ通シマシテ、先ヅ第一著ニ東北ノ官吏ノ生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトニ御考ガアルカドウカト云フコトヲ同時ニ、是非ノヲ急連ニ生活ノ安定ヲセシムルヤウニシテ戴キタイト思フデアリマス、此ノ三點デアリマス

○米内國務大臣 第一ノ問題ハ東北廳ヲ設ケルコトノ可否ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ一體東北廳ヲ設ケルガ善イカ悪イカト云フコトハ、關係スル所大分廣イヤウデアリマシテ非常ニ重要ナ問題ト考ヘルデアリマス、一番先ニ申上ゲマシタヤウニ此ノ問題ハ篤ト研究致スコトニ致シタイト思ヒマス

ソレカラ第二ハ東北振興政策ノ狙ヒ所ニ缺陷ガアルデハナイカ、アルノカナイノカト云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、能ク研究致シマシテ缺陷ガアリマシタラバ、其ノ缺陷ヲ除クヤウニ十分努力致シタイト思ヒマス

第三ハ俸給ノ薄イ官吏ノ手當、此ノ問題ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ能ク親切丁寧ニ篤ト考ヘマシテ、十分ニ考慮ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス、尙ホ官吏ニシテ權力ヲ弄シテ惡イコトヲスルヤウナ者ニ對シマシテハ、生活ノ安定ヲ圖ル一方ニ於キマシテ、十分ニ監督致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 東北振興ニ對スル政府ノ考ヘ方ノ中ニハ、主ニ考ヘラレテ居ル點ハ國庫

豫算ヲ以テ色々東北振興ヲ圖ラウト云フ點ガ多クアルト思ヒマスルケレドモ、ソレハ財政的ニ中々ナシ得ナイ年モアルシ、爲サナケレバナラヌコトモアリ得ルト思フデアリマスガ、問題ハ政治的ニ解決スル點ガアリ得ルノ、ソレヲ解決シナイデ居ルト云フ點ヲ見落シテ居ルノデハナカラウカ、ソレハ御承知ノヤウニ、政治的ニ東北振興ガ圖ラレル點ハ、例ヲ舉ゲテ申シマスルナラバ、東北ノ特殊事情ト致シマシテ、或ハ寒地ノ特殊事情ト致シマシテ酒ニ親シム、其ノ酒ヲ政治的ニ解決スルト云フコトガ考ヘラレナケレバナラヌト思フ、ト云フノハ東北古來カラ酒ヲ以テ此ノ酒ノ問題ヲ解決シテ來タ、殊ニ濁酒ハ今日ノ節米運動トモ決シテ矛盾撞キヲ來サナイデアリマシテ、屑米ヲ以テ濁酒ヲ造リ、一方ハ食糧ヲ解決シ一方ハ酒ヲ解決シ、米ト酒ト兩方解決シタノガ、是ガ屑米ニ依ル濁酒ノ效果デアリマス、之ヲ今日マデ所謂酒造會社ノ方面カラ考慮ニ依ツテ、此ノ問題ガ政治的ニ解決サレナイデ、今日節米ノ方カラ行ツテ、或ハ東北振興ノ方カラ行ツテ、政治的ニ解決サレル問題デ、唯税金ノ問題デ、其ノ税金ヲ國稅トスルバカリデナク、町村附加稅トシ、市町村稅トシ、縣稅ト致シマシテ、住民オ互方取縮ルコトニ依ツテ少額ノ課稅ヲ致シマスルナラバ、此ノ問題モ解決スル、寧ロ地方財源ニモナリ得ル、斯ウ云フ風ニ政治的ニ解決スル問題ヲ見落シテ居ラレルノデハナイカ、隨テ豫算ヲ與レ、道路ヲ造レト云フヤウナコトノ經費ヲ要求スルダケノ問題デハナイ、政治的ニ解決スル問題ヲ非常ニ見逃サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル首相ノ御考ヲ伺ヒタイ

モウ一ツハ早場米ノ問題デアリマスルケレドモ、時間ガアリマセヌノデ申上ゲマセヌガ、裏日本一帶ニ同ジ立場ニ立ツテ居ル秋田、山形ガ今度ノ早場米カラ除カレテ居ルヤウニ思ヒマスルケレドモ、是ハ東北ノ醇朴ナ氣持カラ政府ノ早場米供出ニ對シテ、官吏ノ命令ニ依ツテ相當犠牲ヲ忍ンデ、補償問題ガ起ツタ場合ニ、政府ノ壓力ガ利キマシテ、新潟ヤ北陸ノ方ハ大分喧シクナリマシタガ、東北ハ抑ヘラレテシマツテ泣寝入りノ形ニナツテ居ル、泣寝入ダカラト云フノデ、之ヲ見逃ガサレテ居リマスルナラバ、地方長官ノ責任問題ガ當然起ルト思ヒマス、政府ノ威信問題モ起ルト思ヒマス、北陸四縣ダケデナク、秋田、山形ニ對シテモ、同様ノ處置ヲ執ラレンコトヲ第二點トシテ希望致シテ置キマス

モウ一ツ先程ノ御答辯ノ中ニ鑛山開發、地下埋藏物開發ニ付テ重點主義デ、地下埋藏物所謂重要鑛物ヲ掘出スコトハ非常ニ結構ダ、東北興業會社ノ仕事ノ一ツデアルヤウニ御答辯ニナツタノデアリマスルケレドモ、東北振興トシテソレヲ掘出スコトハ適當ダガ、東北振興會社ガ必ズシモヤルベキコトデアリナイト考ヘテ居リマスルケレドモ、誤解ガアツテハイケマセヌカラ、其ノ點ヲ併セテ御答辯ヲ願ヒマス

○米内國務大臣 第一ハ濁酒ノ問題デアリマスガ、是ハ御所見ヲ拜聽シテ置タコトニ致シテ置キマス

第二ノ問題ハ早場米ノ補償問題ノヤウニ御同致シマシタ、是ハ十分ニ考究致シテ見タイト思ヒマス

ソレカラ先程鑛業ノコトニ付テ申シマシタガ、ソレハ實際申上ゲマスト、此ノ鑛業

ト云フモノハ中々危險ノ點モアルト思ヒマス、實際申シマスト其ノ方面ノ事業ヲ進メルニ當リマシテハ、是ハ餘程注意シテヤラナケレバナラヌト思ヒマス、唯先程申上ゲマシタノハ、ヤハリソレモ一ツノ主ナルモノダラウト云フ氣持デ御答ヲ致シタノデアリマスカラ、ドウソ御諒承願ヒマス

○野村委員長 今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午後一時半カラ開會致シマス、午後五時五十分散會

第七十五回帝國議會 院

東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
東北興業株式會社法中改正法律案
(政府提出)(第四三三號)
東北興業電力株式會社法中改正法律案(政府提出)(第四四四號)

會議

昭和十五年三月一日(金曜日)午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 野村 嘉六君
- 理事 森田重次郎君 理事林 平馬君
- 理事 松川 昌藏君 理事 庄司 一郎君
- 栗山 博君 仲西 三良君
- 北村 文衛君 熊谷 直太郎君
- 井上 知治君 東條 貞君
- 中田 儀直君 菊地養之輔君
- 川俣 清吉君 小野 謙一君

出席政府委員左ノ如シ

- 内閣東北局長 宇都宮孝平君
- 法制局長官 廣瀬 久忠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)

東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)

野村委員長 コレカラ開會致シマス

ソレデハ松川君

○松川委員 東北局長ニ御尋致シタイト思ヒマス、第一ハ東北振興兩會社ノ本社所在地ノ件デアリマス、此ノ點ニ付テハ色々異論ガアルヤウデアリマス、併シ現在ノ機構其ノモノガ非常ニ不完全デアルガ爲ニ此ノ問題ヲ起シテ居ルト思ヒマスガ故ニ、私ハ此ノ際率直ニ御尋致シマスガ、本社ヲ東京ニ引上ゲル所ノ意思ガアルカナイカ、ドウモ此ノ問題ハ妾ト本妻ヲ混同シテ居ルヤ

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄 第八回 昭和十五年三月一日

ウナ感ガアルノデアリマシテ、事實仕事ヲシナイ仙臺ニ本社ヲ置イテ居ル、サウシテ形式上東京ニ支社ヲ置イテ居ル、此ノ問題ガアリマシタガ爲ニ會社機構改革ト稱シマシテ、基礎ダケハ本社ヲ仙臺ニ置イテ仕事ヲヤツクノデアリマスガ、都合ガ悪いト云フコトデ、此ノ本社ノ仙臺ノ機能ヲ東京ニ引上ゲテ、サウシテ尙ホ本社ハ仙臺ニアル、本社ハ仙臺ニ仕事ヲ執ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ東北六縣全體カラ見マシテモ、今日ニ於テハ仙臺ニ本社ヲ置クト云フコトハ殆ド意味ヲ爲サナイノデアリマス、仙臺ニ行ツテハ仕事ノ出来ナイモノヲ仙臺ニ本社ヲ置イテモ仕方ガナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ガ議會ニ於キマシテモ一ツノ問題トナツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ機會ニ於キマシテ、ドウチカ一方ニ本當ニ決メテ貰ヒタイ、本社ダケヲ仙臺ニ置イテ、本當ノ仕事ハ東京デヤツテ居ルト云フヤウナコトデ、有ニル機構ノ不完備カラシテ色々ノ問題ヲ惹起シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テハ、或ハ色々内外事情ノ困難ナ點モアリマセウガ、此ノ際斷乎トシテ之ヲヤラナケレバイケナイ、東北振興兩會社ノ機構改革ノ上カラ言ヒマシテモ、先ヅ以テ此ノ問題ヲ解決シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、東北局長ハ之ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレルカ

○宇都宮政府委員 東京ニ本店ヲ置クト云フ意思ハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、

此ノ本店ト支店トノ關係ニ付キマシテハ、松川サンモズツト前カラ經緯ヲ御存ジノ通りデ今日ニナツテ居リマスノデ、不徹底ナ感ジガアルト云フコトハ、全く吾々モ認メテ居ルノデアリマス、唯初メ本店ヲ仙臺ニ置キマシタ趣旨ハ、此ノ仕事ガ東北振興ニアルカラ、地元ニ本店ヲ置ク方ガ色々ナ實情ヲ知ル上カラ、或ハ感ジノ上カラ適當デアリマス、初メハ事實向フデ本店ノ仕事ヲヤツテ居ツクノデアリマスガ、色々監督官廳ノ關係トカ、資材、資金ノ關係等デ、ドウシテモ東京ニ主ナル幹部ガ居ラナクハ工合ガ悪いト云フノデ、コチラノ支店ガ大部分ノ幹部ヲ持ツテ居ルト云フヤウナコトニナリマシタ、其ノ點甚ダ當然トシナイ所ガアリマスガ、結局現在ノ實情ニ於キマシテハ、今ノ儘デヤツテ行ク外ナイト思ヒマスガ、將來ノ問題トシテハ、ヤハリ其ノ時勢トカ、狀況ニ於テ考ヘテ行クベキモノデアルト考ヘテ居リマス

○廣瀬政府委員 先日此ノ委員會デ庄司委員ヨリノ御尋ノ中、吉野、八田兩氏ニ對シマスル慰勞金ニ付テノ資料ノ御要求ガゴザイマシタ、此ノコトニ付キマシテ色々取調

ベマシタ所、會社ト致シマシテハ、在職年月其ノ他色々ナ事情ヲ斟酌致シマシテ、大體ノ見當ト致シマシテ、先ヅ此ノ邊ナラバ適當デアラウト云フ所デ慰勞金ノ決定ヲ致シマシテ、之ヲ兩氏ニ贈ツテ居ルノデゴザイマス、ソコデ金額ノ問題デアリマスガ、是ハ大體世間一般ノ實情ト致シマシテハ一々之ヲ公ケニ致サナイヤウニ存ズルノデアリマス、此ノ慣例ハ政府ノ特別ノ監督ニ屬シテ居リマスル國策會社デアリマスル此ノ二ツノ會社ニ付テ考ヘテ見マシテモ、ヤハリ同ジヤウニ取扱ツテ行キタイト存ズルノデアリマス、勿論此ノ會社ノ色々ナ經營運營ノ上デ改メルベキコトハ監督上改メテ行カナケレバナリマセウシ、又庄司委員ノ御要求ノ趣旨モ十分ニ諒察ハ致ス次第デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、以上申述ベクヤウナ事情ガアリマスルノデ、此ノ點ヲ能ク御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○庄司委員 吉野、八田兩總裁兩社長ニ對シマシテ、當會社ガ政府ノ監督下ニ退職記念慰勞金ヲ贈ラレタト云フ其ノ事實ニ對シテ、私ハ決シテ反對ノ意見モ何モ持ツテ居リマセウ、他ノ多クノ民間ノ諸會社等ニ於テモ、又其ノ他ノ國策會社等ニ於キマシテモ、左様ナ慣例ニナツテ居リマス、併シナガラ私ガ此ノ問題ヲ敢テ資料マデ要求ヲシテ質問致シマシタ根本ノ理由ト云フモノハ、第一回ノ吉野サンガ臺閣ニ列セラレテ福島カラ飛行機ヲ來ラレタト云フ其ノ直後、八田サンガ後任ニ任命セラレマシテ、仙臺市ノ公

會堂ノ八田總裁就任記念ト云フヤウナ場面ニナリマシク總會ノ席上ニ於テ、現業議院副議長田子一民君方總裁、株主總會ニ出席サレマシテ、私ハ吉野前社長總裁トハ同意或ハ「クラスメート」ト云フヤウナ關係デアリ、

テ來タト稱シテ、アア云フコトヲ言フテ居リナガラ、會社ノ方カラ持ツテ行ツタトハ云ヘ、之ヲ受取ツテ居ルナラバ、吉野氏其ノ人ノ人格ノ爲ニ私ハ遺憾ニ思フ、尙ホ其ノ際八田嘉明氏ハ新總裁就任ノ場合私ハ東北ノ天地ニ骨ヲ埋ムル覺悟ヲ以テ今回就任ヲ諾シマシタト云フ、洵ニ悲壯ナル言葉ヲ以テ東北人ニ與ヘタ感激ノ場面ヲ私ハ今モ忘レナイノデアリマスガ、此ノ方モ亦直チニ大臣ニナラレテ御罷メニナツタ、此ノ方ニ對シテモ亦慰勞金ヲ出シテ居ル、ドウモ私ハ退職慰勞金ト云フモノノ性質ハ、相

ノデアリマス、其ノ額ガ分リマセスカラ額ニ對スル批判ハ出來マセスケレドモ、ドウカサウ云フ無理ナコトヲサセナイヤウニ、此ノ後長官ニ於テ或ハ東北局長ニ於テ、此ノ上トモ十二分ニ會社ノ左様ノ關係ノ問題ニ付キマシテハ宜シク御監督下サレマシテ、苟モ東北民衆ガ膏血ヲ搾ツテナケル無シノ株金ヲ東北振興ノ爲ニ支拂ヒマシタ其ノ旨ヲ、而モ政府ヨリ、補給金ヲ頂戴シテ居リ、尙ホ將來モ頂戴シナケレバナラズ其礎未ダ盤石ニ至ラナイ所ノ此ノ會社ノ總裁ガ、御病氣ニナツタトカ、或ハ何カ御不幸ノ場合デモアレバ別問題デアレケレドモ、稟聞ニ列シ名實共ニ其ノ終リモ宜イ方ニ、無理ヲシテマデ附ル必要ハナイ、又決シテ頂戴シナイト云フコトヲ公

ハ考ヘテ居リマスガ、血氣ニ任シテ一騎討ノ痛快ヲ演説ヲヤルコトヲ知ラナイ私デモアリマセスケレドモ、ドウカ私ノ意ノアル所ヲ御酌取戴イテ、要ハ東北振興ノ爲ニ、オ五ガ協力スルコトヲ云フコトガ根本問題デア

テ去ル、斯ウ云フ工合デ、ドウモ東北民ノミナラズ、一般ノ國民カラモ端のニ申スト怪シマレテ居ル、サウシテ此ノ會社ハ國民皆ノ負擔ニ屬スル金デ出來上ツテ居ルニ拘ラズ、是ノ清算ヲ公表出來ナイト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、非常ナル故ニ堪ヘ難イ大ナル理由ガアレバ、是ハ餘儀ナイ話デアリマスガ、事ハ退職資金デアリマス、其ノ額ノ是非ハソレハ人ニ依ツテ所見ヲ異ニシマセウ、サリナガラ國民ヨシテ安心セシムル爲ニ之ヲ言フノハ當然デアラウト思フ、之ヲアナタガ強ヒテ仰シヤラナケレバ、私ハ此ノ儘報告シマスガ、ソレハ益々東北人ニ疑惑ヲ起サセルノミナラズ、國民全體ニ疑惑ヲ起サセ、サウシテ東北振興ノ爲ニソレガ決シテ利益デアリマセウ、必ず不利ト私ハ思フ、此ノ點ヲ考慮ナサイマシテ、ドウデアリマセウカ、又他人ニ言フコトガ嫌ナラバ、庄司君ノ希望モアリマスガ、秘密會ニ致シマス、委員長ハ公平ナル立場デ、國家ノ利害ヲ公平ニ判斷シテ、一ツ之ヲ政府委員ニ申シマス

トニナツテハ益々暗影ヲ止ムルコトニナルト思ヒマス、サウ云フコトハハツキリト發表ナサラナイト、非常ニ國民ノ疑惑ヲ招クコトニナラウト思フ、ドウカ速ニ發表セラレシコトヲ希望シマス

東北ノ人々ノ一般ノ氣持カラ端的ニ申上ゲマスルト、東北ノ振興會社デナクシテ官吏ノ古手ノ振興會社ガ、斯ウ云フヤウナ世評ガ非常ニ強イノデアリマス、私達ハ協賛致シマシタ關係上、極力之ニ瞭解ヲ加ヘテ居リマスケレドモ、吾々ダケノ瞭解ハ容易ニマスケレドモ、吾々ダケノ瞭解ハ容易ニマスケレドモ、大衆ヲ納得セシムルコトガ出來ナイ、折柄斯ウ云フ問題ガ庄司君カラ提起セラレタノデアリマシテ、私ハ政府當局ハ眞ニ東北ヲ愛サレルノデアウツナラバ、率直ニ表明シタ方ガ宜イノチヤナイカト思ヒマス、ソレダケデハアリマセウ、退職サレタ人々ヲ優遇スルニアラズシテ、現在幾多會社デ働イテ居ル人々ニ對スル優遇ト申シマスルカ、何ト申シマスルカ、非常ニ怪シゲナモノガ澤山アル、申上ゲテ宜ケレバ、申上ゲマスルカラ、實ハ隱忍自重シテ居ルノデアリマスルガ、政府ガ飽クマデモサウ云フコトハ國策會社ノ看板ニ對シテ拒否サレルノデア

○木村委員 會社幹部ノ一身上ニ關スル問題ナルガ故ニ内容ヲ發表スルコトガ出來ナイ、一體其ノ人ノ會社デアリマスガ、東北ノ會社デアリマスガ、政府ノ會社デアリマスガ、非常ニ内容ガ不明瞭ニナツテ來ルノデアリマス、茲デ私端のニ東北振興電力會社ノ内容ヲ率直ニ御話申上ゲマス、一體東北振興電力會社ノ幹部ノ人々ガ眞實ニ眞面目ニ東北電力事業開發ノ爲ニ努力シテ居ラレト云フ確信ヲ持ツテオ居デニナリマスカドウカ、一言御伺申上ゲマス

○野村委員長 林君

○林委員 局長ノ先程ノ御話ニ依リマス、一體特殊會社ト云フモノハ、大體サウシテ慣例ニナツテ居ルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、實ニドウモ私ハ驚キ入ツタノデゴザイマス、大體慰勞金ト云フモノハ、株主總會ニ諮ラナクテハナラズシ、又報告モシナケレバナラズト思フ、株主ニ聽カセラレコトガ議會ノ委員會ニ報告ガ出來ナイト云フコトハ甚ダ怪シカラス、サウシテ特殊會社ハ凡テ皆サウナツテ居ルト云フコ

○野村委員長 林君

○林委員 局長ノ先程ノ御話ニ依リマス、一體特殊會社ト云フモノハ、大體サウシテ慣例ニナツテ居ルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、實ニドウモ私ハ驚キ入ツタノデゴザイマス、大體慰勞金ト云フモノハ、株主總會ニ諮ラナクテハナラズシ、又報告モシナケレバナラズト思フ、株主ニ聽カセラレコトガ議會ノ委員會ニ報告ガ出來ナイト云フコトハ甚ダ怪シカラス、サウシテ特殊會社ハ凡テ皆サウナツテ居ルト云フコ

○野村委員長 林君

○林委員 局長ノ先程ノ御話ニ依リマス、一體特殊會社ト云フモノハ、大體サウシテ慣例ニナツテ居ルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、實ニドウモ私ハ驚キ入ツタノデゴザイマス、大體慰勞金ト云フモノハ、株主總會ニ諮ラナクテハナラズシ、又報告モシナケレバナラズト思フ、株主ニ聽カセラレコトガ議會ノ委員會ニ報告ガ出來ナイト云フコトハ甚ダ怪シカラス、サウシテ特殊會社ハ凡テ皆サウナツテ居ルト云フコ

○野村委員長 林君

○林委員 局長ノ先程ノ御話ニ依リマス、一體特殊會社ト云フモノハ、大體サウシテ慣例ニナツテ居ルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、實ニドウモ私ハ驚キ入ツタノデゴザイマス、大體慰勞金ト云フモノハ、株主總會ニ諮ラナクテハナラズシ、又報告モシナケレバナラズト思フ、株主ニ聽カセラレコトガ議會ノ委員會ニ報告ガ出來ナイト云フコトハ甚ダ怪シカラス、サウシテ特殊會社ハ凡テ皆サウナツテ居ルト云フコ

現在ノ機構ヲ正シク運用スレバ、仙臺ガ本社ノデアルカラ、當然總裁以下仙臺ニ常駐ニナツテ、偶々東京ニ來ル時ニ出張ニナルノガ、本筋デアル、所ガ現在ハ總裁以下ノ重役ハ却テ支社ノ方ニ常駐ノ形デアツテ、仙臺ニ行ケバ出張ニナル、是ハ機構ヲ正シク運用シテ居ナイコトニナルト思フノデアリマス、ドウシテサウ云フ變態ノ形ヲ執リマス、從來ノ總裁ガ東京ニ生活ノ本據ヲ持チ、仕事ニ頭ヲ置クヨリハ政治ニ頭ヲ置クハ結果デアルト私ハ此ノ間カラ申上ゲテ居ル、ソコニ私ノ信念ノ裏書ヲサレルヤウナ事實ガアル、ダカラ私ハ政治家ヲ總裁ヲ副總裁ニスルト云フ從來ノ政府ノヤリ方ガ間違ヒデ、仕事ニ熱心ナ、仕事ニ終始スルヤウナ人ヲ總裁ニスレバ、仙臺ニ生活ノ本據ヲ移シテ立派ニ仕事ガ出來ル、是ハ會社ノ將來ノ運命ニ、將來會社ガ育ツテ行ク力カナイカ、仕事ガ發展スルカシナイコト云フ、會社經營ノ根本ニ關係ノアル問題デアツテ、一ツノ事務ノ問題デハナイ、斯様ニ私ハ思フカラ、此ノ間カラ繰返シテ、本會議ニ於ケル法制局長官ノ答辯ガアツタケレドモ、ソレニ満足セズシテ、總理大臣ニ御答ヲ願フタノデアリマス、總理大臣ハ比較的之ヲ輕ク取扱ツテ、事務ノ問題ト機構ノ關係ガアルカラ之ヲ變ヘルコトハ考慮ヲ要スル、斯ウ云フ御話デアツタノデス、ソコデ折返シテ御答ヲシナケレバ、ナラヌノデスガ、遺憾ナガラ私ノ時間ガ盡キタカラト云ツテ御催促ガアツタカラ、私ハ止メタノデステレドモ、是ハ重大ナ問題デアツテ、事務ト力何トカ云フ問題デナシニ、此ノ會社ガ將來健全ニ發展ヲシテ行クカドウカ、育

ツテ行クカドウカト云フ經營ノ根本ニ關スル重大ナ問題デアル、斯ウ思フカラ、ソコヲハツキリ局長カラ御答ヲ得テ置キタイ、監督官廳トシテサウ云フ風ニ御考ニナルカドウカ、今ノ機構ヲ正シク實施スル考ガアルカドウカ、ソレハ機構ヲ變ヘナイデモ、今ノ儘本社ガ仙臺ニ置カレテアルカラ、總裁以下仙臺ニ常駐スルノガ當リ前デアリ、今ノ變態ノ狀態ヲ正シクスレバ宜イト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 最初ノ松川委員ノ御話ノ趣、能ク承リマシタ、ソレハ實情ヲ御話ニナリマシテ、只今問題トシテ肩替リノ要求ハ起ツテ居ナイガ、サウシタイト云フ希望ノ者ガアル、決シテ全部デハナイト云フ御話ノ趣ニ付テハ能ク承リマシテ、參考ト致シマス

ソレカラ次ノ小野委員ノ御答デアリマスガ、本店支店ノコトニ付テハ、會社ノ主幹部ハ東京ニ居リマシテ、仙臺ニ行ク時ニハ出張ニナルト云フ、是ハ御話ノ通り洵ニ變態デアルト思ヒマス、又ソレハ不徹底デアルト考ヘマス、斯様ニ狀態ニナリマシタノモ、創立以後ノ色々ノ經過ニ依ツテ斯ウナウタコトデアルト思ヒマスガ、此ノ狀態ハ不徹底ナモノデアルト云フコトハ、私モ同感デアリマス、ソレカラ之ニ付テモ幹部ニナル者ガ一生懸命ニナラナケレバナラヌト云フ御話、是ハ御尤モデゴザイマシテ、人事ノコトニ付キマシテハ、總理大臣モ先刻此ノ席デ能ク考慮スルト云ツテ色々御話モゴザイマシタガ、私ハ其ノ趣旨ヲ體シテ仕事ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 是ハ實際小野、松川兩委員ノ言ハレル通り、抑設立ノ當初カラ問題ノアツタコトデアリマス、設立委員會デモ問題ニナツタノデアリマスガ、其ノ當時ハ斯ル狀態ガ起ルデアラウカラ、寧ろ四五年前ノ間ハ東京ニ置イテ、會社ノ基礎ガ決ルマデハ對政府關係、或ハ金融關係等カラ見て、實際重役ヲ東京ニ置カケレバナラヌヤウナ事態ガ起ルデアラウカラ、東京ニ置イタラドウカト云フコトガ委員ノ中デハ私ダケデアツタノデアリマス、ソレヲ強ク主張シタノデアリマス、當時ノ東北ノ民衆ノ氣持ト云フモノハ、東北ニ出來ル會社ノ本社ガ東京ニアルト云フコトハ面白クナイト云フ、是ハ實際感情ニ因ハレテ寧ろ仙臺ニ置イタト思フノデアリマス、寧ろ實情ニ合ハナイ、所謂感情ヲ満足サセル爲ニ無理ニ仙臺ニ置イタト云フノガ當時ノ實情デハナカウタカト思フノデアリマス、其ノ點ハ東北ノ民衆ハ、自分達ノ感情ハ満足サセルコトハ出來タガ、實際ノ機能ハ發揮出來ナカウタト云フコトヲ今日デハ認識シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ認識ニ基イテ正常ニ直考ニナル方ガ至當デハナイイカ、基礎ガ出來タナラバ、之ヲ仙臺ニ移スモ、或ハ福島ニ移スコトモ宜イデアラウ、何處ニ移スカト云フコトハ寧ろ第二ノ問題トシテ、基礎ノ出來次第適當ニ會社ノ運用ガ出來ルヤウニ考慮スル方ガ本當デハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承リマス

○宇都宮政府委員 初メ本店ヲ仙臺ニ置キマシタ時ノ事情ハ、私色々ノ人カラ聞イテ居ル所ニ依リマス、御話ノ通りデアツタヤウニ存ジテ居リマス、只今ノ狀態ハ不徹底ナ状態ニナツテ居ルト考ヘマスカラ、御意見ノ點ニ付キマシテハ能ク研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○松川委員 只今ノ御答デ本店ノ問題ハ稍明確ニナリマシタガ、モウ一點申上ゲテ置キタイト思ヒマス、會社創立當時ノ事情ト今日ハ事情ガ非常ニ變化シテ居ル、會社創立當時ニ於テハ東北興業會社ハ東北ノ振興スルノデアルカラ、本店ヲ東北ノ中心地ニ置キタイト云フノガ東北人七百万ノ聲デアツタ、所ガ今日ニ於テハ仙臺ニ置イテモ其ノ仕事ハ出來ヌ、之ヲ端のニ申シマスナラバ、監督官廳ノ關係ガ重大ナル問題デアリマス、是ハ恐ラクハ東北廳設置ノ問題マデ進ンデ行カケレバナラヌモノデアリマスガ、少クとも東北高位ハ一緒ニ東北ニ持ツテ行カケレバ是ハ出來ナイ、其ノ外ノ各省トノ關係モアリマス、要スルニ今日ニ於キマシテハ政治經濟ノ中心ガ東京ニナリマシタ爲ニ、本店ヲ東京ニ置カケレバ仕事ガ出來ナイ、假ニ仙臺ニ本店ヲ持ツテ仕事ガ出來ナイト思フ、サウ云フ點ニ於テ狀況ガ兩會社ノ設立當時カラ見ルト非常ニ變ツテ參ツタ、殊ニ政治經濟ノ中心ガ東北カラ離レテ東京ニアルノデアリマス、ソレデ東北局トカ、内務省トカ、或ハ農林省マデ一緒ニ仙臺ニ持ツテ行カケレバ、本店バカリ持ツテ行ツテモ恐ラク仕事ガ出來ナイノチヤナイイカ、併シサウ云フコトハ今日事實上出來ナイイカ、本店ヲ東京ニ置クヨリ外ナイ、サウシテ支店ヲ仙臺ニ置イテ、仙臺ニ於テハ支店トシテノ機能ヲ十分發揮スレバ宜イト思フ、重ねテ此ノ點ニ付テ御伺シマス

○宇都宮政府委員 本店ヲ東京ニ置クコトニ付テノ御意見ハ十分拜聴致シマシタ、其ノ點ニ付キマシテハ能ク研究シテ見タイト思ヒマス

○中田委員 委員長……

○野村委員長 關聯デスカ——關聯ナラバ中田君

○中田委員 本社ノ所在地ニ付テハ先般來論議ノ中心ニナツテ居リマスガ、是ハ只今川俣君カラモ御話ノアツタ通り、私共モ創立ノ當時秋田縣ノ立場カラ秋田ニ本店ヲ置ク陳情ヲ致シタノデス、勝手ナ話デスケレドモ、其ノ當時ハ秋田縣ニ事業ノ量ガ多イト豫想サレテ居ツタカラ、交通關係カラモ本社ヲ秋田縣ニ置イテ置キタイ、若シソレガ出來ナカツタラ東京ニ置イテ置キタイト云フ陳情ヲ出シタノデス、其ダ勝手ナ陳情デアリマスガ、是ハ何故カト云ヘバ、仙臺ハドウシテモ不便デアル、自分ノ所ニ置ケナケレバ、東京ニ置イテ置キタイ方ガ交通關係カラ言ツテモ、私共ガ往復スルニモドウモ東京ニハ用ガアルカラ都合ガ好イ、單ニ東北ノ會社デアラガ故ニ本社ヲ東北ニ置カナケレバナラヌト云フ氣分ダケデハ濟マサレナイ、實際問題ダツタノデアリマス、其ノ意味カラ色々ト陳情シタノデアリマスガ、其ノ當時ノ東北民ノ感情トシテ、仙臺ニ置イタノモ尤モダト思ヒマス、併シ現實ノ問題トシテハ、ヤハリ國策會社デアリ、關係スル官廳ガ皆中央ニアルノデアルカラ、ドウシテモ其處ニ不便齟齬ガアツテ、現在ノ如ク本社ガ支社カ、支社ガ本社カト云フヤウナ變態ナ形ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ヤハリ其ノ點ハハツキリ是正サレル必要ガアル、先程局長カラ此ノ點ハ色々ト

研究スルト云フ御答辯ガアリマシタガ、思ヒ切ツテ實情ニ副フヤウニ考慮スルコトガ當然ダト私モ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ先程松川君ノ御質問ノ中ニアツタ拂込ノ株ノ肩替リノ問題デアリマスガ、當初私共ガ東北振興運動ニ東北六縣ノ縣會ノ代表トシテ關與致シマシタ當時、亡クナツタ馬場サンカラ此ノ東北興業會社ト云フ案ニ付テオ聴キシタノデアリマシテ、馬場サンノ意見ニ依ルト、折角東北ニハ非常ナ資源ガアルケレドモ、其ノ資源ガ他地方ノ者ニ依ツテ皆斷斷サレテ居ル、サウシテ東北人ハ洋バカリ管メテ居ルニ過ギナイノデアルカラ、東北ノ資本ニ依ツテ擧ゲ得タ利益ハ東北ニ落スヤウニシナケレバナラヌト云フ趣旨デ、此ノ兩會社ノ株式ハ優先的ニ東北人ニ持ツタノデアリマス、其ノ後拂込ヤ何カニ付テ論議サレテ、零碎ナ資金ヲ集メテ置キナガラ云々ト云フ話モアリマス、私ハ東北人ガ東北兩會社ノ株ヲ持ツト云フコトハ、根本ハ決シテ惡クナイト思フ、ソレデ吾々ハ更ニ此ノ兩會社ヲ助成シテ出來ルダケ育テ上ゲテ立派ナ會社ニシテ行ツタナラバ、他地方ニ是ガ戻サレルトコトナク、東北ニ殘サレルトコトナリ、之ニ依ツテ初メテ此ノ目的ヲ達成スル、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、現在ノ狀態デハ、株主ハ拂込シテ株ニ相當スルヤウナ配當ガ行ハレテ居ルノデアリマスカドウデスカ、其ノ邊ノコトヲ簡單ニ御伺致シタイ

○宇都宮政府委員 東京ニ本店ヲ移スコトガ宜シイト云フ御意見ニ對シマシテハ、御意見ノ點ヲ能ク研究致シマシテ、適當ニ處置シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ肩替リノ問題ニ關聯シテ配當ヲ現在受ケテ居ル

カドウカ、是ハ初メ三箇年ハ政府ノ保證シマシタ四分ノ配當ヲ致シマシタ、第四年目ニ當ル年度ト致シマテハ六分ノ配當マデ政府ノ保證ガアル譯デスカ、是ハマダ決算ヲ済ミマセズ、總會モ済ミマセスカ、何トモ申上ゲ難ネマスガ、六分ノ配當ヲシタイト云フノデ萬事進行サセテ居リマス

底ナ状態ニナツテ居ルト考ヘマスカラ、御意見ノ點ニ付キマシテハ能ク研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○松川委員 只今ノ御答デ本店ノ問題ハ稍明確ニナリマシタガ、モウ一點申上ゲテ置キタイト思ヒマス、會社創立當時ノ事情ト今日ハ事情ガ非常ニ變化シテ居ル、會社創立當時ニ於テハ東北興業會社ハ東北ノ振興スルノデアルカラ、本店ヲ東北ノ中心地ニ置キタイト云フノガ東北人七百万ノ聲デアツタ、所ガ今日ニ於テハ仙臺ニ置イテモ其ノ仕事ハ出來ヌ、之ヲ端のニ申シマスナラバ、監督官廳ノ關係ガ重大ナル問題デアリマス、是ハ恐ラクハ東北廳設置ノ問題マデ進ンデ行カケレバナラヌモノデアリマスガ、少クとも東北高位ハ一緒ニ東北ニ持ツテ行カケレバ是ハ出來ナイ、其ノ外ノ各省トノ關係モアリマス、要スルニ今日ニ於キマシテハ政治經濟ノ中心ガ東京ニナリマシタ爲ニ、本店ヲ東京ニ置カケレバ仕事ガ出來ナイ、假ニ仙臺ニ本店ヲ持ツテ仕事ガ出來ナイト思フ、サウ云フ點ニ於テ狀況ガ兩會社ノ設立當時カラ見ルト非常ニ變ツテ參ツタ、殊ニ政治經濟ノ中心ガ東北カラ離レテ東京ニアルノデアリマス、ソレデ東北局トカ、内務省トカ、或ハ農林省マデ一緒ニ仙臺ニ持ツテ行カケレバ、本店バカリ持ツテ行ツテモ恐ラク仕事ガ出來ナイノチヤナイイカ、併シサウ云フコトハ今日事實上出來ナイイカ、本店ヲ東京ニ置クヨリ外ナイ、サウシテ支店ヲ仙臺ニ置イテ、仙臺ニ於テハ支店トシテノ機能ヲ十分發揮スレバ宜イト思フ、重ねテ此ノ點ニ付テ御伺シマス

振興電力ガ最初聲明シマシタ通りニ東北六縣ヲ通ズル一ツノ大キナ送電線ガナケレバナラヌト思フノデアル、然レニ今日表日本ノ方面ニ於キマシテハ送電線ガアリマセズ、僅ニ一關町方面ニ於テハ東北電燈ノ施設ニ依リマスル所ノ送電線ヲ利用シテ居リマシテ、今日一關町地方ニ於キマシテハ、東北振興會社カラ電氣ノ供給ヲ受ケテ居リマスガ、此ノ送電線ハ非常ニ故障ガ多イノデアリマシテ、殆ド停電ニ停電デアツテ、需要カラ非常ニ非難ヲ受ケテ居ルノデアリマス、少クとも六万六千「ボルト」ノ東北全體ヲ一貫スル送電線ガ必要デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、或ハ資金ノ點ニ於テ、今直チニ之ヲ計畫スルコトハ出來ナイイカモ知レマセマスガ、是ハ振興會社ガ成立致シマシタ當初カラノ問題デアリマス、而モ其ノ計畫ハ出來テ居ラス、既設ノ會社ノ一部分ノ古い惡イ而モ六万六千「ボルト」ノ高壓ノ電力ヲ送ルコトノ出來ル設備デナイモノヲ利用シテ間ニ合シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ振興會社ハ如何ナル計畫ヲ持ツテ居ルカ、サウシテ速ニ吾々ハ之ヲ實行致シテ置キタイト思フノデアリマス、其ノ爲ニ或ハ政府保證ニ依ル、社債ノ發行モ亦之ヲ意トスルニ足ラナイト思フノデアリマス

○宇都宮政府委員 石炭、亞炭ニ付テ東北興業ガドウ云フヤウニヤツテ居ルカト云フ御話デアリマス、石炭ニ付キマシテハ岩手炭礦ハ採行ヲ開始致シマシテ、其ノ事業ニ參加スル爲ニ、幾分ノ投資ヲシマシテ、自分ノ方ノ仕事ノ都合ノ好イヤウニ岩手炭礦ノ仕事ヲ運シテ參リタイト云フ一種ノ發言

ガ嶺山開發ニ力ヲ入レテ居ル事業ノ一ツ
デアルト云フコトヲ聲明シテ居ルコトニ、
私ハ色々ナ誤解ヲ生ミ、又問題ヲ紛糾サ
セルノデハナイカト思フテ居リマス、現
在ノヤウナ機構ト現在ノヤウナ技術員ヲ
以テ、或ハ其ノ地位ノ技術員ヲ手許ニ養成
サレマシタリ、或ハ機能ヲ發揮サレマシテ
モ、當然東北ノアノ巨大ノ資源ヲ開發出來
ルト云フ考ガ抑、鑛業ニ對スル認識ヲ缺イ
テ居ル原因ダト私ハ思フ、隨テ東北興業會
社ガ嶺山開發事業ニ對シテ努力スルノ
ダト云フヤウナ聲明ヲ致サレテ居リマスモ
ノデアリマスカラ、之ニ期待ヲ懸ケテ色々
ナ要請ナリ或ハ希望ヲ會社ヘ持込ム、所ガ會
社デハソレニ付テ十分調査スルコトモ出來
ナイシ、十分ノ開發モ出來ナイ所ニ寧ロ不
平ヲ生シテ居ル大キナ原因ガアルト思フ、
第一東北興業會社ト云フモノハ所謂零碎ナ
株主ノ金ヲ集メテ居ルノデアリマスカラ、
相當ノ固定資本ヲ要スルヤウナ、又餘リ確
實デモナク、偶ニハ冒險ヲ冒サナケレバ
ラヌヤウナ鑛業開發ニ付キマシテハ、相當
私ハ考慮ヲ要スベキデアルト思フ、尙又是
ハ相當専門ノ機能ト要員ヲ持タナケレバ
開發出來ナイノデアリマシテ、東北興業會
社ガ副業ノ大百貨店式ナ鑛業開發ヲナサ
ウト云フ所ニ寧ロ私ハ根本ノ誤ガアルト思
フ、唯他ノ有力ナ嶺山ヲ買収致シマシテ、
或ハ基礎ノ出來タモノニ對シテ資金ヲ投資
スルト云フヤウナ程度デアリマスレバ、危
險モ少カラウト思ヒマスケレドモ、嶺山開
發事業ニ對シテハ、十分力ヲ入レテ居ルト
云フヤウナ聲明ニ私ハ寧ロ缺點ガアルノデ
ハナカラウト考ヘテ居リマスガ、之ニ對
スルモウ一度ハツキリシテ御意見ヲ承リタ

イト思ヒマス
○宇都宮政府委員 嶺山事業ヲ興業會社ガ
替ヒマスニ付テ、危險ガ多ク仕事デアルカ
ラ、ソレヘ無暗ニ力ヲ入レルコトハ宜シク
ナイト云フ御意見ヲ拜聴致シタノデゴザイ
マスガ、嶺山事業ニ力ヲ入レルト申シマシ
テモ、色々ナ山ヲドシ、買ツテ、ソレヲ
所謂當テテ行クト云フ行キ方デハゴザイマ
スノデ、先程申シマシタ、例ヘベ亞炭ノ
開發デアルトカ、ソレカラ東北ニハ、アル
ミニウム、含有ノ粘土ガ多クゴザイマス、
其ノ粘土ニ付テアルミニウムノ製造ヲ研
究シテ、サウシテ有利ニ事業化スル方法ヲ
考ヘル、或ハ秘藏ノ利用ヲ考ヘテ居リマス
ノデ、サウ云フ方面ニ仕事ノ手ヲ伸バシテ
行クコトハ、東北興業トシテハ適當ナ途デ
ハナイカト考ヘマス、色々ナ山ヲ買込シテ當
テテ行クト云フコトハ會社ノ方針トシマシ
テ致シマセス、又今御話ノヤウニ鑛業ハ危
險ダト云フ御話デゴザイマス、是ハ松川委
員ノ御話モ結局同ジコトデゴザイマス、其
ノ點ニ付テハ十分考慮シマシテ、會社ノ使
命ノアル所ニ進シテ行キタイト考ヘテ居リ
マス
○野村委員長 庄司君ガ先刻カラ一言タケ
之ニ牽聯質問ガアルサウデスカラ——庄司
君
○庄司委員 私人ノ關係質問ハ先程才藤ノ松
川委員、中田委員等ヨリ御話モゴザイマシ
タ兩會社ト本社ヲ名實共ニ東京ニ移轉スル
アノ問題デゴザイマスガ、本日ハ大石、菊
地君ナドノ委員モ居リマセヌノデ、孤軍奮
闘ノヤウナ形ガアリマス、宮城縣ト云フ小
サナ立場カラノミ考ヘルノデハゴザイマセ
ヌガ、名實共ニ仙臺ニ兩會社ヲ置キタイト

云フコトハ、仙臺市長カラモ請願ガ出テ居
ルヤウナ譯デゴザイマシテ、兩君ノ御説ハ
御説トシテ拜聴シテ居リマシタ、ソレニ對
シテ局長ノ御答辯モアツタヤウデアリマス
ガ、之ヲ無關心デ聞キ流シマスト、ドウモ
滿場一致ノヤウナ空氣ニ誤解サレマシテ困
リマスノデ、明瞭ニ其事ニ反對ノ意思ヲ
表示シテ置キマス
○林委員 當局ハ御忘レニナツテ居ルノデ
ハナイカト思ヒマスガ、議事ノ進行ノ上ニ
非常ニ差支ガアリマスコトハ、木炭ノ開取
引ノ御報告ガ今ニ尙ホナイコトデアリマス、
アレハドウシテモ此ノ委員會ヲ開カラ間ヘ
審通リスル譯ニハ行カナイノデアリマス、
先程ノ重役退職慰勞金同様デゴザイマス、
是ハ明瞭ニ御報告ヲ願ハナケレバナラヌト
思ツテ居リマスガ、只今其ノ大要ヲ伺ハレ
レバ尙ホ結構デアリマス
○宇都宮政府委員 所謂開取引ノ問題ニ付
テ御報告ガゴザイマシテ、資料ヲ出セト云フ
御要求ガアツタノデゴザイマスガ、是ハサ
ウ云フ事實ノ有無其ノ他ニ付キマシテ、當該
官廳ニ於テ調査シテ居リマス、會社トシテ報
ヒマシタ數字ニ付キマシテハ、先日刷物ニ
シテ差上ゲマシタ數字ガゴザイマスガ、其
ノ中ニ付テ是ガ法規ノ關係デ違反ニナルカ
或ハナラヌカト云フコトニ付テ、其ノ方面
ノ官廳ニ對シテ居リマスノデ、私ノ方ハ其
ノ方面ト始終連絡ハ執ツテ居リマス、ソレ
デ若シ此ノ委員會ノアリマス間ニ、何分ノ
御報告ガ出來得マシレバ、シテ實ヒタイト
云フコトヲ度々折衝致シテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ其ノ趣旨ハ諒承シテ、出來レバ
サウシタイト旨ツテ居リマスガ、マダ尙フ
ト致シマシテモ、唯調ベテ居ルト云フコト

位ヲ言フナラ宜イガ、多少内容ニ入ツテ言
フベキ時機デハナイト言ツテ居ルモノデア
リマスカラ、遺憾ナガラ其ノ經過ヲ此處デ
申上ゲルマデニハナツテ居リナイノデアリ
マス
○林委員 結論ヲ御聽キ出來ナクテモ、其
ノ途中マデノ中間報告デ結構デゴザイマス
○宇都宮政府委員 此ノ間數字デ申上ゲマ
シタ通り十三、十四ヲ通ジテ約六十餘万俵
ヲ扱ヒマシテ、其ノ中家庭用ガ四十餘万俵
ラスト云フ數字ハ上ツテ居リマスガ、其ノ
數字ノ扱ヒ方ニ付キマシテ、詳細ニ今關係
官廳ガ調ベテ居リマス爲ニ、扱ヒマシタコ
トノ内容ガ、全部調ベラレル内容ノ對象ニナ
ルモノデアリマスカラ、途中デ今ドウ云フ
所マデ行ツテ居ルカ、或ハドウ云フ積リデ
アツタト云フコトヲ申上ゲルコトガ出來ナ
イノデゴザイマス、ソレハ私ノ方デ申上ゲ
ラナイノデハゴザイマセス、ヤハリ其ノ
方面ノ官廳ト連絡ヲ執リマシテ、官廳ノ方
デモサウ申シテ居リマス、是ハ私共ノ方デ
ハ出來レバ發表致シタイト思ツテ居リマス
ガ、サウ云フ事情ナノデゴザイマス
○林委員 局長ヨリ先程私ニ御提出載キマ
シタ材料デゴザイマスガ、是ハ先日伺ツテ
置キマシタ件、即チ東北物産販賣株式會社
於テ取扱ツタ所ノ主ナル品目、數量價格等
ヲ御報告シテ居ツタノデゴザイマスガ、ソレ
ニ對シテ先程局長ヨリ紙片ニ依ツテ御報告
ガゴザイマシタガ、ソレヲ見マスルニ、昨
年四月ヨリ十二月マデノ九ヶ月間ニ木炭ガ
百萬圓、米ガ七十九萬圓、雜物ガ百七十九
萬圓、雜品ガ五萬圓、酒ガ十五萬圓、合計
三百七十八萬圓ト云フ御報告デゴザイマス、
之ヲ月ニ割ツテ見ルト大體四十萬圓以上

デゴザイマスカラ、一年ニスレバ約五百
萬圓ニ達シテ居ル、僅ニ五品デゴザイマス
ガ五萬圓ニ達シテ居ル、百品以上御扱ヒ
デゴザイマスカラ、少クモ一千万圓以上ノモ
ノヲ扱ハレタデアラウト想像ガ出來ルノデ
アリマスガ、其ノ内木炭ニ付テハ開取引ト
云フモノガ暴露サレタト云フ結果デアル、
ソレニ付テ段々考ヘテ見マスルニ、是ハ
昨日モ申上ゲタコトデゴザイマスガ、東北
興業會社デ斯ウ云フヤウニ百種類モ品物ヲ
扱ハレテ、此ノ僅カ五品ニ付テダケデモ一
年ニ五萬圓モ扱ハレルト云フコトハ、ソ
レダケ東北ノ個々ノ民業ヲ奪フト云フ結果
ニナルト、先達モ私ハ自分ノ意見ヲ申上ゲ
テ御尋シタ譯デゴザイマシタガ、一千万圓
以上ニ上ルト假ニスルナラバ、ソレダケ東
北ノ民業ヲ壓迫スル譯デス、而モ御報告ニ
依リマス、木炭百萬圓扱ツテ僅ニ千圓ノ
儲ケダト云フコトナノデス、千圓ノ儲ケヲ
得ル爲ニ百萬圓ノ金ヲ運用シテ、ソレダケ
ノ民業ヲ壓迫シテ、ソシテ安イモノヲ賣ル
、ハ結構ダガ、結局安イモノヲ賣ツタ會社、
資本家ガ喜ブト云フコトニナルナラバ、中
央ニ於ケル大キナ會社、資本家ノ手先ヲ
東北興業會社ガヤツテ居ルト云フ結果ニナ
ルノデゴザイマス、サウ云フ意思ハナイデ
セウ、私モ又アルトハ思ヒタクナイ、ダガ
結果カラ見マスルト、斯ウ云フ諸雜品ヲ皆
大キナ會社ニ納メテ居ルト云フコトニナル
ト、ソレ等ノ資本家ノ手先ヲ東北興業會社
ガヤツテ、東北ノ民業ヲ壓迫スルト云フコ
トデゴザイマスカラ、是非トモ是ハ此ノ際
第二期計畫ニ於テハ止メテ貫ヒタイト私ハ
思フ、轉旋ハ宜シイ、轉旋ハ大イニ努メテ
貫ヒタイ、捌ケ口ノ御心配ハ願ヒタイガ、

會社自ラノ計算ニ於テ取引ヲナサルト云フ
コトハ開取引ノヤウナコトモ仕出カスシ、決
シテ役人上リノ方ガヤツタツテ旨ク行ク
管ノモノデゴザイマセス、百害アツテ一利
ナイコトデゴザイマスカラ、轉旋ダケニ止
メテ置イテ、會社ノ計算ニ於テハセラレナ
イヤウニシテ貫ヒタイト、切ニ私ハ希望ス
ルノデアリマスガ、局長ノ御所見ハ如何デ
ゴザイマセウカ
○宇都宮政府委員 會社ノ販賣轉旋所デ扱
ツテ居リマスヤリ方ニ付キマシテノ御話デ
ゴザイマスガ、民間ノ其ノ方ノ業者ヲ壓迫
シテ其ノ會社ガ乘出スト云フ氣ハ全クゴザ
イマセヌノデ、此ノ間差上ゲマシタ資料デ
モ御存ジノ通り極ク僅カナ差金デゴザイマ
スガ、是モ金利トカ色々ナコトヲ考ヘマス
レバ、先日林委員ノ御話ノヤウニ、チツト
モ利得ニハナツテ居ナイコトダラウ、サウ
云フモノガ多イノダラウト考ヘルノデゴザ
イマス、併シ轉旋ヲヤリマスニ付キマシテ
ハ唯口ノ宣傳ミタイナノデハ中々出來ナイ
ヤウナ實情ガ多イ爲ニ、一應會社ガ買取ツ
テ、サウシテ何ガシカノ資金ヲ拂ツテ品物
ヲ受取ツテコナラヘ渡スト云フ形ニ致シマ
セスト、實際ノ取引ガ出來ニクイ爲ニ、形
ノ上デハ一應會社ガ買ツテ、サウシテ賣ツ
タ形ニナリマシテ、其ノ間ノ差金ニ付キマシ
テハ、金利トカ人件費トカ云フモノニ當ル
程度ノモノニナツテ居リマス、確詰其ノ他
ニ付キマシテモ、是ハ大口ノ、例ヘバ滿洲
方面トカ海軍ノ方面トカ云フ所ノ希望ニ依
リマシテヤツテ居リマス關係デゴザイマシ
テ、之ニ依ツテ其ノ方面ノ業者ノ壓迫スル
ヤウナコトノナイヤウニト云フコトハ十分
注意致シテ居ル譯デゴザイマス

○林委員 轉旋ニ依ツテ民業ヲ壓迫シナイ
ト仰シヤルガ、少クモ轉旋事業ハ東北六
縣何處ノ縣デモ大イニヤツテ居リマスカ
ラ、縣ノ轉旋事業ヲ奪フト云フコトニモナ
ルノデゴザイマス、餘計ナコトデゴザイマ
スカラ、モツト方法ヲ變ヘテ、各縣ノ轉旋
事業ヲ育テ行クトカ、助ケテ行クトカ云
フヤウナコトニ止メテ載キタイ、ドウゾ再
考セラレントコトヲ切ニ要望致シマシテ、質
問ヲ終リマス
○野村委員長 モウ時間モ進ミマシタカ
ラ、今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日
ハ午前十時カラ開會致シマス
午後零時三十分散會

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第八回 昭和十五年三月一日

第七十五回帝國議會 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄速記第九回

付託議案 東北興業株式會社法中改正法律案 (政府提出) (第四三號) 東北興業株式會社法中改正法律案 (政府提出) (第四四號)

會 議 昭和十五年三月二日(土曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 野村 嘉六君
理事 森田重次郎君 理事 林 平馬君
理事 松川 昌藏君 理事 庄司 一郎君
栗山 博君 釘本 衛雄君
熊谷 直太君 小笠原八十美君
井上 知治君 中田 儀直君
菊地養之輔君 川俣 清吾君
木村 武雄君 小野 謙一君
出席國務大臣左ノ如シ 文部大臣 松浦鎮次郎君
出席政府委員左ノ如シ 內閣東北局長 宇都宮孝平君
內務省土木局長 成田 一郎君
農林省水産局長 栗屋 仙吉君
電氣廳部長 森 秀君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)
東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)

○野村委員長 是カラ開會致シマス——森田君
○森田委員 農林省ノ水産局長方御見エノヤウデゴザイマスカラ、私ハ東北地方ノ漁民ト北洋漁業ノ關係ニ付テ二三疑ヲ質シテ見タイト思フノデアリマス、先ツ第一ニ御伺シタイトハ、聞ク所ニ依リマスルト、

農林省デハ魚類ガ、我が日本ノ食糧政策ノ上ニ及ボス影響ノ大ナルニ鑑ミテ、水産漁業會社ノ統一ヲ圖ルト同時ニ、販賣機構ノ統一ヲ圖ルト云フ御意向ガアルヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、若シサウ云フ御意向ガ御アリナサルモノデアリマシタナラバ、舊來ノ所謂北洋漁業ト稱スルモノ、竝ニ東北地方ノ漁業ニ對シマシテ、只今申上ゲマシタ一ツノ統制會社トノ間ニ、ドウ云フヤウナ關係ヲ持ツタ組織ニナサルノデアリマスルカ、其ノ點ヲ先ツ一ツ御伺シタイト思ヒマス

ハ、御存ジノ通り色々ナ問題ガアリマシテ、餘程體制ヲ整ヘテ參リマセスト、此ノ權益ヲ維持シ、之ヲ保護シテ行クコトガ出來ナイヤウナ情勢ニアリマス、サウ云フ意味カヲ致シマシテ、北洋ノ漁業ハバラ／＼ニヤツテ居ツタノデハイケナイ、ドウシテモ統制ヲシ、然ルベキ體制ヲ整ヘテ臨ムニアラザレバ將來思ハシクナイ、斯ウ云フ考ノ下ニ、此ノ事ニ付キマシテハ、農林當局ト致シマシテモ、統制ト云フ方ニ進マナケレバナラスト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、今日ノ場合法案其ノ他豫算ヲ通ジテマダ之ヲ具體化シ得ナイコトハ遺憾トスルノデアリマスガ、將來成ベク早クサウ云フ風ニ努メタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、併シナガラソレト雖レマシテ、他ノ沿岸漁業、是トソレトハ全ク違フノデアリマシテ、全部ヲ統一シテドウスルスト云フ考ハ差當リ持ツテハ居リマセヌ、併シナガラ我國ノ漁業ノ大半ノ漁獲ヲ擧ゲテ居リマス所ノ沿岸漁業ト云フモノハ、今後何處マデモ漁獲ヲ益大ナラシムルヤウニ指導シテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレニ對シマシテハ、漁業組合運動等ヲ通シマシテ、各業者ノ人々ニ漁獲ノミナラズ其ノ他ノ經濟ニ於キマシテモ、之ヲ今日ノ一般ノ他ノ方面ノ經濟關係ト相並行シテ不利ニ陥ラナイヤウニ其ノ立場ヲ維持シ、其ノ利益ヲ擧ゲテ行キマス上ニ、福利ノ増進ノ爲ニ指導ヲシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今北洋漁業ノ統制ノ問題ト沿岸漁業ノ

問題トノ間ニハ何等關聯ヲ以テ考ヘテ居ル譯デアアリマセヌ
○森田委員 ソコデモウ少シ統制サレル内容ニ付テ承リタイノデアリマスガ、只今ノ御答辯デアリマス、マダハウキリシタコトニナツテ居ラナイラシイノデアリマシテ、サウ致シマス、成程内容ニ入ツテ詳シク御伺スルコトハ聽ク方モ少シ無理カト思ヒマスガ、併シ大體ニ於テドウ云フヤウナ輪廓デアルカ、其ノ内容ヲ成ス組織ノ主體サウ云ツタヤウナモノハドウ云フ見込デアルカ、或ハ資金ノ關係ハドウ云フ風ナ關係ニナルノカト云ツタヤウナ「アウト・ライン」ダケデモ、若シ御漏ラシ願ヘレバ伺ヒタイト思ヒマス
○野村委員長 森田君、文部大臣ハ貴族院ノ豫算委員會ニ行カナケレバナラヌサウデスカラ、水産局長ニ對スル質問ヲ一時休ンデ貰ヒマシテ、直グ文部大臣ニ御質問願ヒタイト思ヒマス
○森田委員 今ノ御答辯ダケヲ御聽キシテ...

シテハ、大體露領漁業、カムチヤカニ於テ致シテ居リマス漁業、公海致シテ居リマス蟹工船、鮭工船、サウシテ又北千島ノ鮭工船對象トスル漁業、斯ウ云ツタモハ當然其ノ中ニ入レテ一精ニナラナケレバ意味ヲ成サナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、餘リ細カク申上ゲルコトハ不適當デアリシ、又決マツテモ居リマス、大體サウ云フ輪廓ヲ以テ考ヘテ居リマス

○森田委員 ソレデハ水産局長ニ對スル質問ガマダ少シアルノデアリマスガ、文部大臣モ御急ギヤウデアリマスカラ、私文部大臣ニ對シマシテ三ツノ點ヲ御同致シタイト思ヒマス、第一點ハ我國ノ教育ガ非常ニ畫一的ナル、此ノ點ニ一ツノ缺點ヲ持ツモノト考ヘマス、吾々ノ具體的生活ハ決シテ全人類ト云フヤウナ抽象的文化生活ヲ營ンデ居ルノデモナイノデアリマス、日本ハ日本ノ自然ト、日本ノ社會機構ト、日本ノ民族國家ノ根本性格トモ見ラレル國體ト云フヤウナモノカラ、一ツノ日本民族ノ個性ト云フモノヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ個性ニ即シテ教育ヲセナケレバナラズト云フコトハ、是レ極メテ明瞭ナコトナノデアリマス、ソレト同ジヤウナ理論ヲ以テ致シマス、我國ノヤウニ北樺太、千島、北海道カラ、南ハ臺灣ニマデ互ルヤウニ、周圍ノ事情ガ色々違フ國ニ於テハ、大體ニ於テ地方的ニ共通ダト認メラレル地方ノ特殊性ニ即シテ一ツノ教育方針ヲ立テラレナケレバナラナイモノトダシテ、無論ソレハ日本共通ノモノトシテ教育モ先ヅ第一ニ認メラレナケレバナラナイノデアリマスガ、ソレハ第一の條件デアリマス、第二の條件ト致シマシテハ、地方ノ

特殊性ニ應ジタル教育方針ガ立テラレナケレバナラナイ、私ハ斯ウ思フ、然ルニ舊來ノ教育ヲ見マスドドウモサウデハナイノデ、地方ノ特殊性ト云フモノヲ殆ド認メテ居ラス、斯ウ云フ風ニ見ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ、文部省ハ、地方ニ特殊性ガアルカラバ、其ノ特殊性ニ應ズル教育方針ヲ立テナケレバナラナイト云フ建前ヲ今御執リニナツテキラツシアルノデアリカドウカ、若シサウ云フ建前ヲ御執リニナツテキラツシアルノデアリマシタラバ、東北地方ト云フモノニ共通シタ特殊性ヲ御認メナサルノデアリカ、御認メナサルトスレバ東北地方ニ對シテハドウ云フ風ナ教育方針ト云フモノヲ御立テナサル御執リデアリカ、此ノ點ニ付テ文部大臣ノ御考ヲ御同致シタイノデアリマス

○松浦國務大臣 只今御質問ノ教育ガ畫一ニ偏スルト云フコトハイケナイト云フ御尋ハ大體御同感デアリマシテ、私モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ガ國民教育ノ基礎ト申シマスカ、サウ云フ所デハ是ハ何レノ地方ニアツテモ、又學校ヲ出テドウ云フ職業ニ從事スル者デアツテモ、一般ニ必要ナ國民トシテノ基礎教育ト云フモノハ、大體大キイ所デ申セバ同ジコトデアリマスカラ、其ノ點カラ申スト、日本全國ニ互ツテ大體ニ於テ同ジヤウナ基礎教育ヲ授ケルコト云フ必要ハ、是ハ無論アルノデアリマスケレドモ、ソレト同時ニ、此ノ國民教育ニ於キマシテモ、ソレノ地方々々ノ事情ニ即應シタル特殊ノ意味ヲ加ヘテ教育ヲ其處ニ加味スルト云フコトハ、是ハ又同時ニ必要ナコトデアリマス、今同ノ國民學校制ニ於キマシテモ、殊ニ其ノ上ノ方ノ部分

ニ於キマシテハ、一層其ノ地方々々ノ事情ニ即應シタ、實際生活ニ即シテ教育ヲヤル、斯ウ云フ意味デ、從來ヨリモ一層學校ノ畫一性ト云フコトヲ打破シテ、其ノ地方ニ即應シタ教育ヲ施シタイ、斯ウ云フ意味デ考ヘラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ方針ハソレカラ上ノ學校ニ於キマシテモヤハリ同ジコトデアリマシテ、大體實業學校ノ教育ナラバ、實業人トシテノ素養トシテ必要ナ教育ハ同ジヤウニヤラナケレバナラズ部分モアリマスケレドモ、ソレニ致シマシテモヤハリ地方々々ノ特色ヲ帶ビシメテ教育ヲアリマシテ、隨テ東北地方ノ教育ナラバヤハリ其ノ地方ニ即應シタ教育ヲヤル、建前トシテハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森田委員 原則論ト致シマシテハ、私モ同ジ考ヲ持ツテ居リマシテ、一應承認致シマスガ、大體東北地方ノ特殊性ニ即應シタ教育方針ト云フモノヲ文部省デ御立テニナツテキラツシアルノデアリカ、又、今立ツテ居ナイトスレバ、將來御立テナサルコト云フ御方針ナラバドウ云フヤウナ點ヲ御執ヒニナツテ居ルニナルノデアリマスルカ、若シ其ノ點ニ對シテ御考ガアリマシタラバ御同致シタイ

○松浦國務大臣 今申上ゲマシタ如ク、各地方ノ實情ニ即シテ教育ヲヤルト云フコトデアリマスカラ、東北地方トシテハヤハリ地方ノ實際ノ事情、産業ノ状態、其ノ他東北地方ニ即應シタ教育ヲヤル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリカ、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 ソレデハ少シ私ノ考ヲ若干申上ゲテ、ソシテ文部省ノ御執リニナル御態

度ニ對シテ御同致シタイト思フノデアリマス先ヅ東北人ノ根本性格ト云ツタヤウナ、詰リ主體の即主體の方面ノ特殊性ト云ツタヤウナモノニ付テノ方針ト云フモノヲ私ハヤハリ立テナケレバイカズデヤナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、然ラバ東北人ノ特殊性ト云フモノハドウ見ルノデアリカト云ヒマス、ソレハ私ハ非常ニ素朴的デアリ、思索的デアリ、綜合的デアリ、非常ニ重厚性ヲ持ツテ居ル、サウシテ性格全體ノ上カラ見ルト、先ヅ衝動的ナ生命ト云フヤウナモノニ付テハ他地方ヨリモ相當濃厚ナモノヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトモ考ヘサセラレル、併シナガラ遺憾ナガラ表現ト云フ立場、社會生活上ニ於ケル表現ト云フ立場、平均水準ト云フモノノ上カラ批判致シマス、是ガ又非常ニ洗練サレテ居ナイト云フ感ジヲ與ヘル、一定ノ筋肉ヲ通ジテ社會的ニ顯現サレル一ツノ行爲ノ上カラ考ヘルト、ソレハ洗練サレテ居ナイ、潜在的デアツテ洗練サレテ居ナイ、斯ウ考ヘマス、是ハドウシテモ言語ノ上カラ考ヘマシテモ、或ハ技術的ナ點カラ考ヘマシテモ、相當社會性ヲ持ツテ洗練ヲ之ニ加ヘテ、内在的ナ、或ハ潜在的ナ要素トシテノ良素質ヲ持ツテ居ルモノニ對シテ、特別ナ洗練ヲ加ヘルト云フ點ニ一ツノ重點ヲ置ク教育方針ヲ立テナケレバイカズデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○松浦國務大臣 大體ニ於キマシテ東北人ノ特性トシテ素朴デアリ極メテ重厚デア

ト云フ長所ガアルト云フコトハ確ニ認メラレラデアリマス、ソレト同時ニ今御話ノヤウニモウ少シ洗練ト云フコトニ於テハ一層之ヲ誘發シナケレバナラズ、斯ウ云フヤウナ必要ヲ感ジマスルコトハ御同感デアリマス、或ハ又重厚デアリ素朴デアリ其ノ點ハ非常ニ長所ヲ持ツテ居ルケレドモ、一方ニハ稍消極的デアルト云フヤウナ點モ或ハアルカモ知レマセ、サウ云フ風ニシテ若シ短所ト云ヒ得ベクシ、其ノ短所ハ之ヲ何處マデモ是正シ、其ノ長所ハ益之ヲ保持シ又之ヲ一層發揮セシムル、斯ウ云フ風ニシナケレバナラズモノト考ヘルノデアリマス

○森田委員 大體私等ノ考ト同ジデアリマシテ、大體意ヲ強ウ致シマス、只今ノハ主體の方面カラ見タ一ツノ特殊性デアリマスガ、客觀的ナ方面カラ見マシタ東北ノ特殊性ノ中ノ最も根本的ナモノノ一ツハ何デアリカト云フト、文獻ニ傳ハツテ居ルモノ約六七百年以來ノ調査ニ依リマス、少クモ五十年ニ一週ハ周期的ニ冷害ヲ受ケテ居ルト云フ事實ガアル、是ハ東北ノ宿命的ナモノトダト私ハ思フ、之ヲ科學的ニ克服スルコトガ出來ルカドウカニ東北人ノ本當ノ文化生活ヲ營ミ得ルカドウカガ懸ツテ居ルト私ハ思フ、是ダケ重大ナモノデアリ、最近昭和六七年カラ八九年ニ掛ケテ冷害デ、初メテ政府モ目ヲ覺マシタト云フヤウナ形デアリ、教育者モ亦初メテ之ニ著眼スルト云フヤウナコトニナツテ來タノデアリマシテ、是ハ實ニ驚クベキ認識不足デアツタト云フコトヲ私自身モ亦感ズルノデアリマス、是ハ實ニ悲惨ナル歴史ヲ述ツテ來テ居ル、封建時代ニ於ケル各藩ノ凶作ニ對スル對策ト云フモノ

ノハ、今考ヘテ見マス、實ニ惘然肌ニ粟ヲ生ゼシムルヤウナ對策ヲ講ジテ、而モツレデ旨ヲ行カスデ、天保ナリ天明ナリ、其ノ以前ノ元祿アタリノ飢饉ニ於キマシテモ、極ク僅カノ範圍内ニ於キマシテモ、何万ト云フ人ガ死ンデ居ルト云フヤウナ悲惨ナ事實ガアルノデアリマス、現在私ノ知ツテ居ル所ナドデモ、子供ノ捨テラレタト云フ淵ガアル、母親ガ子供ヲ殺サウトスルガ、殺セナイ、到頭河原ニ連レテ行ツテ、子供ノ頭カラ風ヲ取ツテヤツテ居ツタ、子供ガウトノ眠ツテ居ルノヲ、側ニアツタ石ヲ以テ子供ノ頭ヲ殴ツタ、サウスト子供ガ目ヲ醒マシテ、「オ母サン私ヲ殺スノカ」ト言ツテ叫ンダノデ、無理ニ川ノ中ニ押込ンデ殺シタト云フヤウナ悲惨ナ記録モ私ハ此ノ間因作ノ記録ヲ見タ時ニ見タノデアリマス、此ノ宿命ナデアル、是ガ東北ノ文化ノ遅レタ根本原因デアリ、然ルニ今日マデ、私ハ青森縣デアリマスガ、吾々ノ縣ニ於キマシテモ、亦東北地方全般モ、斯ウ云フ宿命的ナ自然カラノ規則ガアルニ拘ラズ、之ニ對シテ備ヘル所ノ人間ノ「心構ヘ」ト云フモノヲ知ラシテ居ラス、是ハ教育ノ上カラ考ヘテ、私ハ非常ニ大キイ遺憾ダト實ハ思フ、五十年ニ一週大冷害、之ヲ中心トシテ平均五年ニ一週ツツ此ノ冷害ガ來ルノデアリマスカラ、其ノ都度唯オ上ニ縫ツテ、サウシテ何カ御零レドモ頂戴スレバト云フヤウナ妙ナ考ヲ抱イテ居ルト云フヤウナ始末デアリ、私ハ意識的ニハ克服スベキモノトダト思フ、ソコニハ教育ノ力ガ最も重要ナ役割ヲ持ツモノトダト思フ、然ルニ今日マデ、文部省ニ於テモ、各縣ニ於テモ、之ニ對シテ適切ナル教育資料ト云フモノガ與

ヘラレテ居リマセ、サウナリマス、是ハ教育ノ特殊性ニ應ミルト云フ點カラ考ヘマシテ、文部省トシテモ相當御考ニナラナケレバナラナイ點デハナイカ、斯ウ私ハ考ヘル、ソコデ、將來若シ私ガ只今申上ゲマシタヤウナ意見ニ御賛成デアリマスナラバ、文部省トシテハ、此ノ東北地方ノ宿命的ナル自然制限ト見ラレル冷害ニ對スル資料ヲ御蒐集ニナリ、サウシテ各學校ヘ御配布ニ對シテ特別ナル留意ヲ中心トシテ此ノ點モノトダト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フヤウナ御考ヲ御持チデアリマセウカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○松浦國務大臣 東北地方ニ來ル所ノ冷害ト申シマスガ、サウ云フモノガ宿命的ニ來ルト云フヤウナコトガアツテ、之ヲ克服スル之ニ對スルコト云フヤウナ覺悟ヲ持タセナケレバナラズト云フ意味デノ御話デアリマスガ、先頃東北帝大ニ農業研究所ト云フモノヲ設ケマシテ、サウ云フ農業ニ付テノ基礎的ノ研究ヲヤラセルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、是等ノ研究ニ依リマシテ、サウ云フ天災ニ對スル對策、又農業方面ニ付キマシテモ之ヲ克服スルナリ方ト云フヤウナコトニ付テモハ根本的ニ研究ヲ致スデアラウト思フノデアリマスガ、只今御話ノヤウナ、サウ云フヤウナ色々ノ文獻ト云ヒマスカ記録ト云ヒマスガ、サウ云フヤウナモノノ一般ニ示シテ、其ノ天災ニ對シテ之ヲ克服スル心構ヲ強クスルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ御趣旨ハ至極宜カラウト思ヒマス、之ニ付テハ能ク文部省トシテ考慮シタイト考ヘマス

○森田委員 只今ノ點トウカ一ツ、形式的

ナ議會答辯ト云フヤウナ意味デナイヤウニ、私ハ是ハ極メテ重大ナ點ト考ヘテ居ル次第ナノデアリマシテ、私自身多年小學校ノ教育ニ携ツタ者デアリマスルガ、實ハ此ノ點ヲ忘レテ居ツタト云フ點ニ付テ非常ニ遺憾シナケレバナラズヤウナ氣持マデ持ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、ドウカ私等ノ意ノアル所ヲ一ツ御酌取リ下サイマシテ、此ノ點ダケハ是非一ツ何等カノ形デ、少クモ青年ニ對シテハ此ノ心構ヲ持タセルヤウナ御方針ヲ具體的ニ一ツ御示アラシム、ソコデ第一ノ自然カラノ特殊性ト云フモノニ付テノ御施設ヲ願ハナケレバナラズト云フ質問ナノデアリマスガ、ソレハ、東北ノ農業經營ト云フモノハ御存ジノ通り努力ガ短日月ノ間ニ集中サレルト云フ特殊性ヲ持ツテ居ル、サウシテ冬ノ開始ト私ノ縣ナドデハ六箇月ノ間ハ外へ出ツテ農業ト云フモノガ不可能ノヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ出稼等デマア大體生活ノ資ヲ得テ居ルト云フヤウナ次第ナノデアリマス、甚ダシイ村ナドニ至リマスルト、老人十八歳以下ノ子供ヲ除イタ男ノ約九割ハ冬ノ出稼ト云ツタヤウナコトニマデ行ツテ居ル、所ガ此ノ給料ナドト云フモノハ極メテ低イノデアリマシテ、家庭生活ノ上カラ考ヘマシテモ、四箇月モ五箇月モ家ヲ明ケテ置タト云フコトハ面白クナイ事情モ發生シテ參リマスシ、經濟ノ點カラ考ヘマシテモ、其ノ程度ノ出稼ナドデハ洵ニ困ツテ居ルト云フヤウナコトデ、本當ニ生命線ノ最低ヲ歩ンデ居ルト云フヤウナ生活ヲシテ居ル農民漁民ガ非常ニ多イノデアリマス、其ノ點ヲ考ヘマスルト、

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第九回 昭和十五年三月二日

私等ハ此ノ冬期間ノ空イテ居ル餘剩勢力ト云フヤウナモノヲ、モウ少シ合理的ニ何トカ救済シテヤル施設ト云フモノヲ立テナケレバ、本當ノ政府ノ目的ト云フモノハ到達セナイモノデアラト考ヘテ居ル、然ラバソレニ對スル所ノ教育上ノ施設ト云フモノガ、東北ノ特殊性ニ應ズル程度ニ出來テ居ルカト言ヒマス、私等ハサウ考ヘラレナイノデアリマス、然ラバドウ云フ具體的ナ方法ヲ講ズレバ宜イノデアアルカト言ヒマス、冬期間ノ餘剩勢力ヲ家庭工業ナリ、其ノ他ノ工業ヘ向ケヤウトスル爲ニハ、少クモ眼ト頭腦ト指トノ關係、是ノ訓練ヲ十分ニスルノデナケレバイカナイト云フコトハ、是ハモウ教育理論カラ考ヘマシテモ、ドウナクモ異論ノナイ所デアラウト思フノデアリマス、是ガ先程申上ゲマシタ東北人ノ缺點トシテノ表現洗練ト云フ立場カラ見マシテモ、非常ニ意味ナル點ダト私ハ考ヘテ居ル、主觀的意味カラ見ルト表現洗練、客觀的意味カラ見ルト、農村工業等ニ順應スル訓練、私等ハ教育上ノ施設ガ、之ニ適應スルモノヲ欲シト考ヘルノデアリマス、何ヲレバ宜イカ、サウスルト東北ノ特殊性ニ應ジテ「手工科」ヲ重視スルト云フコトガ、極メテ重要ナ教育上ノ施設ニナルト

考ヘルノデアリマス、ソコデ先程御願申上ゲマシタ因作ノ資料ヲ與ヘ心構フ訓練スルト云フノ同位ノ重要サニ於テ、手工科ヲ特ニ重視スルト云フ教育方針ヲ特ニ東北ノ爲ニ立テル必要ガアルノデハナイカ、是ガ本當ノ地方々々ニ應ズル教育方針トナルモノノ一ツダト、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツテオ居デニナリマス、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 只今ノ御話ノコトハ御尤モニ考ヘマス、是ハ例ヘバ師範學校等ニ於テキマシテ、手工科ヲ授ケマスル場合ニモ特ニ之ヲ重視シテ、師範學校ニ於テサウ云フ教育ヲ養成シ、其ノ教員ガ小學校ニ參ツテ其ノ意味デ教育スル、ドウシテモ師範學校ト云フモノガ其ノ本ニナツテ、手工教師ト云フヤウナ所ニ重點ヲ置イテ基ヲ作ツテ行ク、斯ウ云フコトデナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ特ニ注意ヲスル必要ガアルカト存ズルノデアリマス

○森田委員 只今ノ御答辯デアリマス、大體ニ於テ意見ハ一致スルヤウニモ見エマス、併シマダ私ハ本當ノ狙ヒ所ト云フノガ、文部大臣ト一致スルカドウカニ付テ、今ノ御答辯デハ若干ノ疑ヲ持ツノデアリマス、ナゼト云ヒマス、實ハ私ハ師範學校ヲ卒業シテ者デアリマス、師範學校ニ於ケル手工科ト云フモノハ、非常ニ輕ク見ラレルノデス、ナゼ輕ク見ラレルカト云フト是ガ日本ノ畫一性カラ來ルモノデアリマス、ト云ヒマス、ハ、日本ノ劃一的ナ教育ノ上デハ所謂文化的ナ科目ガ重要視サレル、ソレハ一般共通ナ抽象人ヲ造ルコト

ガ、日本教育ノ當面ノ目標ニナツテ居ルカラダト思フ、文部省ガ御示シナサレル御方針トモ違フヤウナ意味ニ於テ、漠然トシテ抽象人ヲ造ルコトガ教育ノ目標ニナツテ居ル、ソコデ漠然トシテ一般文化ヲ尊重スルノデアリマシテ、手工科ノヤウナ、アア云フ實質的ナモノハ、社會一般ガソレヲ重視シナイト云フヤウナ點カラ、隨テ先生ノ頭ト云フモノモ、手工科ノヤウナモノハ成ベク輕ク見ルト云フヤウナ點ガ見エル、隨テ學校ノ生徒モ亦手工科ニ對シテ、科目ガアルノダカラ之ヲ習ハナケレバ、ナラヌノダケレドモ、非常ニ大切ナモノダト云ツクヤウナ觀念デ手工科ヲ練習シテ居ルカト云フト、サウデハナイト云フ傾向ガアルノデアリマス、ソレハ何處カラ來ルノデアアルカト云フト、要スルニ東北ノ特殊性トシテ手工科ト云フモノハ大切ナモノデア、東北人ノ生活ニハ極メテ根本的ナモノダト云フコトヲ自覺シテ、ソレニ相應シイ手工專門ノ先生ニ對スル待遇ト云、或ハ政府モソレヲ重ク見テ居ルノダト云フ一ツノ空氣ガ馴致サレテ來ナイカラ、隨テ唯形ダケ手工科ニバツテ合セテ行クト云フ位ノ程度ニシカナラナイト思フノデアリマス、ソレデアリマス、私ハドウシテモ是ハ一ツ手工科ト云フモノハ東北地方ニハ極メテ重要デア、ルゾト云フ、根本的ナ文部省ノ態度ヲ東北ノ教育界ニ御示シナルノデナケレバ、假令手工科ヲ設ケテ居ツテモ、到底私等ノ要求スルヤウナ目的ハ到達シ得ナイモノト考ヘルノデアリマス、其ノ點カラ考ヘマシテ文部大臣ハ果シテ東北地方ニ於テハ、他地方ト比ベテ、手工科ハ重要視スベキモノデア、ルト云フ御方針ヲ御示シ下サル考ガアリ

マスカドウカ、此ノ點ニ付テ御同致シタイノデアリマス

○松浦國務大臣 只今ノコトハ十分其ノ意味ヲ徹底致シマスヤウニ努メツツデアリマシテ、是亦文部大臣ノ御考ヲ御同シタイノデアリマス、ソレハ唯漠然トシテ手工科ハ、中々舊來ノ此ノ傳統的ナ空氣ト云フモノカラ逸脱スルコトハ出來ナイト思フ、此ノ空氣ヲ超越スルヤウナ形ノモノヲ何處カニ私ハ作上ゲナケレバナラヌノデアリマス、本當ニ手工科ヲ重視ナサルト云フ御考デアリマス、手工ノ專科ノ先生ト云フモノヲ各學校ニ配置スル位ノ心持デナケレバ、私ハウマクナイト考ヘルノデアリマス、此ノ意味カラ東北地方ニ特別ナ手工ノ師範學校ト云フヤウナモノヲ設ケテラドウカト云フ私ハ一ツノ試案ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテハ文部大臣ハドウ云フ御考デアリマス

○松浦國務大臣 特別ノ手工ノ師範學校ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ考ヘテ居リマセ、師範學校ニ於ケル手工科ト云フモノノ專攻ニ依ツテ其ノ目的ヲ期シタイト考ヘテ居リマシテ、只今ノ所特別ニ手工ノ師範學校ト云フモノヲ設置スル考ハ持ツテ居リマセ

○森田委員 デハ時間モナイヤウデアリマス、出來ルダケ簡單ニ申上ゲマス、瑞典、諾威、フィンランド邊リニ於ケル手工科ニ對スル一ツノ考ヘ方、隨テアノ地方ガ如何ニ工業的ニ訓練サレテ居ルカト云フ點ト對照致シマス、ドウモ東北地方ト云

フモノト共通シクヤウナモノヲ持ツテ居ルヤウナ感ジガ致シマシテ、私ハ是等ノ點ニ付キマシテハ、文部省ハ別箇ノ御考ヲ持ツコトヲ御願フシタイト思ヒマス、茲ニ私ハ右ノ希望ヲ申上ゲマシテ、其ノ點ニ對スル質問ヲ打切りタイト思ヒマス

モウ一點、是ハ簡單デ宜シウゴザイマス、昨年軍馬資源保護法其ノ他此ノ馬ノ増産獎勵、是ガ國策トナリマシテ、我ガ東北地方ハ此ノ國策ニ順應致シマシテ、相當ノ決意ヲ持ツテ増産ニ當ツテ居ルヤウナ次第デア、ルノデアリマス、所ガ最近獸醫ガ非常ニ不足ニナリマシテ實ニ困ルノデアリマス、世ノ中ガ進ムニ從ヒマシテ、ドウ云フモノカ、馬ノ病氣、豚ノ病氣ト云フヤウナ非常ニ妙ナ病氣ガ流行ツテ參ルノデアリマス、ソレデ増産ト云フコトニハ中々骨ガ折レルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ文部省デハドウ云フ御考デアリマス、舊來尋常六年ヲ卒業致シマシテカラ五箇年間學校ヘ入りマス、獸醫科ト農學校ト合併シテヤウナ學校ガ舊來地方ニアツタノデアリマス、ソレヲ獸醫科ノ方ヲ廢止ナサツタ、其ノ爲ニ今年デスカ、卒業生ガナクナルヤウナコトニナルト云フ狀況ニナツタノデアリマス、隨テ地方ニハモウ專門學校卒業生デナイト獸醫ニナレナイト云フコトニナル所ガ專門學校卒業生ト云フモノハ、ドウ云フモノカ、地方ニハ容易ニ分配サレナイト云フヤウナ形デアリマス、殊ニ山村ニナリマス、容易ニ獸醫ヲ求ムルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナツテ來テ居ルノデアリマス、ソレガ非常ニ困ツタ問題ニナリマス、ソレ昨午實ハ私等ハ其ノ意味ヲ若シ其ノ程度ノ獸醫科ト云フモノガナクナルノデアラナラバ、

少クモ東北地方ニハ專門ノ獸醫科大學ヲ設ケテ貰ヒタイト云フ建議案ヲ出シタコトガアリ、時ノ文部大臣モ此ノ點ニ付テ考慮ヲ拂フト云フヤウナコトデアツタノデアリマ、今年ノ豫算ヲ見マス、是ハ計上サレテ居ナイト云ツクヤウナコトデアリマス、ソレトモウ一ツハ馬ノナイ所ニ農林學校ニ獸醫科ヲ附設シテ、一時ノ間ニ合フヤウナモノデヤラウト云フコトニナツタ、馬ノ實驗材料ノナイ所ニサウ云ツクヤウナ附設サレテ專門科ナドヲ設ケタト聞キマス、サウ云フ臨床上ニ經驗ヲ持タナイヤウナ獸醫ナドニ馬ナド、トモ預ケラレルモノデモナイノデアリマス、其ノ點ナドモ考ヘマシテ、私等ハ地方ニ元ノヤウナ尋常六年ヲ卒業シテ五箇年間學問ヲシマシタナラバ、獸醫ヲ爲スコトガ出來ルト云フ特別ノ又復活シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ今ノ獸醫科大學ト云フヤウナモノヲ東北地方ニ設ケテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ文部省デハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○松浦國務大臣 獸醫ノ養成ノコトニ付テノ御考デアリマス、獸醫ノ養成ト云フコトニ對シマシテハ、盛岡高等農林學校ノ獸醫科ノ學生ノ増募ヲ昨年カラ既ニ致シマシテ、段々卒業生ガ出ルニ從ツテ、獸醫ノ數ガ殖エルダラウト思ヒマス、今回又其ノ外ニハ農林省ノ方カラ獸醫師ノ不足ニ鑑ミマシテ、獸醫師法ニ依リ資格ヲ出テ者デアリマシテモ、市町村或ハ畜産組合其ノ他ノ團體ノ職員トシテ、其ノ所屬ノ家畜ノ診療治療ニ從事スル資格ヲ與ヘル、斯ウ云フ

法律案ガ只今貴族院ニ提案サレテ居リマシテ、何レ衆議院ニモ廻ツテ來ルト思ヒマス、其ノ法律案ニ依リ資格ノ特別ニ伴ヒマシテ、文部省トシマシテモ、是ハ東北バカリデハアリマセケレドモ、農業學校ニサウ云フ意味ノ中等ノ獸醫科ト云フモノヲ設置シマシテ、サウシテ所謂獸醫手ト申シマス、サウ云フ人ノ養成ヲ關リタイト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、東北地方ハ何レ畜産ノ盛ナ所デアリマス、サウ云フ獸醫科ヲ設ケラレル學校モ相當出來ルカト思ヒマス、其ノ點ハ目下計畫中デアリマスカ、何レ近イ中ニ追加豫算トシテ計上サレルコトニ相成ララウト思ヒマス、獸醫大學ト云フコトハ是ハ只今ハ考ヘテ居リマセ、何レ篤ト考慮致シマス、只今ノ計畫トシテハソレハ考ヘテ居リマセ、其ノ意味ニ於キマシテ東北方面ニ於テ盛岡高等農林學校ノ獸醫科ヲ擴張致シタイト斯樣ニ考ヘテ居リマス

○森田委員 聞ク所ニ依リマシテ今年ノ豫算ニ獸醫專門學校ヲ計上セテラテアツタノコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、果シテ其ノ通りデアリマス、若シサウダト致シマシタラバ、今年ハ已マ得ナイト致シマシテモ、明年度ハハリ再ビ計上ナサレ御積リデアリマス、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ

○松浦國務大臣 其ノコトハ私承知致シテ居リマセ

○野村委員長 木村君、大臣ハ十一時カラ貴族院ノ豫算委員會ヘ約東ガアルノダサウデスカ、極ク簡單ナラ御許シ致シマス、——木村君

○木村委員 今東北ノ特殊性ノ御話ガアリ

マシタガ、森田君ノ質問ニ對シマシテ東北ノ特殊性ヲ御認メニナツテ、ソレヲ織込シテ教育ヲ考ヘテ見ヨウト云フ御話デアリマシテ、非常ニ結構デアリマス、唯問題ナノハ東北ノ特殊性ノ問題デアリマセケレドモ、東北ノ特殊性ハ所謂淳風美俗ヲ未ダニ保存シテ居ル、言ヒ換レバ人類共通ノ隣保相助ノ精神ガ未ダ減シテ居ナイ、茲ニ東北ノ特殊性ガアル、モット大膽ニ申シマス、歐米ノ資本主義文化ガ比較的東北ヲ尊重シテ居ナカツタト云フコトガ、是ガ東北ノ特殊性デアリマス、此ノ特殊性ヲ文部大臣ガ日本ノ教育ノ全般ニ及ボサレマシタナラバ非常ニ結構ダラウト思フテ居ル、最近滿洲ノ移民地ナシカヲ週ツテ見マス、東北人ハ非常ニ完全ニ民族協和ヲ行ツテ居リマス、關西方面ノ人々ハドウカト云フト民族協和ハ行ハレテ居ナイ、學校教育ヲ受ケテ者ト受ケナイ者トノ差ガ非常ニ出テ居ル、防空演習ナンカヲ見ルト、下町方面ノ防空演習ノ狀態ハ、皆一生懸命ニナツテ、商賣ヲ休ンデ働イテ居ル人ガ非常ニ多イノデアリマス、山ノ手方面ニ於テハ兎角冷淡デアリマ、文部省ノ御役人サン達、果シテ防空演習ガアル時ニ、商賣ヲ休ンデヤルダケノ熱意ガアルカドウカ疑問デアルト思フ、東京ニ於ケル下町方面ト山ノ手方面トノ差、所謂教育ヲ受ケテ者ト、比較的近代ノ教育ヲ受ケナイ者トノ差ト云フモノガ、國家觀念ニ非常ニ隔ツタル現レヲ呈シテ居ル、最近才偉イ人々ノ講演ナシカヲ聞イテ居リマス、結論ハ皆斯ウナシマス、戰爭問題ニ因ハレテ、最後ハ民族協和、必ズ民族協和ガ起ル、弱肉強食、優勝劣敗デアルト云フヤウナ議論ガ公然ト行ハレテ居ル、ソレハ

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第九回 昭和十五年三月二日

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第九回 昭和十五年三月二日

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第九回 昭和十五年三月二日

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第九回 昭和十五年三月二日

何處ニ原因ガアルカト云フト、教育制度ノ缺陷デアリマス、私ハ民族問題ニナルトドウシテモ民族協和ヲ行カナケレバナラズト思フ、民族協和ノ實際ハ合衆國ニ見ルコトガ出來ル、各民族ヲ合衆國ノ作ツテ盛ニヤツテ居ル、ヒトトシテハ「チエロ・スロワキア」ヲ合併致シマシテ、民族協和ノ國家ヲ作ルンダト云フコトヲ放送シテ居ル、露西亞ノ最近ノ狀態ヲ見マス、如何ニ多クノ民族ヲ自分ノ國家ノ勢力下ニ集メテ行クカト云フコトガ大キナ問題デアリ、ソコデ文部大臣ハ在來ノ方針ヲ一掃サレマシテ、民族協和ノ精神ヲドウ云フ風ニ織込シテ行クカ、言換ヘレバ東北ノ特殊性ヲ多分ニ日本ノ教育ノ中ニ織込シテ行クカト云フ、此ノ御考ガ教育問題ニ對シテオアリニナルカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス、是ハ根本問題デアリマス

○松浦國務大臣 農村ニ於キマシテ昔カアラソノ淳風美俗ト云フモノヲ維持スルコトハ無クハ無論必要デアリマシテ、是ガ東北ニ於テ強ク其ノ特色ヲ持ツテ居ルノハ洵ニ喜ブベキデアリト思ヒマス、從來ニ於テキマシテモ農村ノ醇風美俗ヲ維持スルコト云フコトニ付テハ出來ル限リ努力シテ居ルノデアリマシテ、ソレガ都會地ニ於テハ自然環境ノ關係カラ農村程或ハ行キ衰ネルト云フ感ジガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ其ノ環境ニ依ルコトデアリマシテ、教育ノ方針トシテハ何處マデモ醇風美俗ヲ保持シテ行ク、斯ウ云フコトニ在來ト雖モナツテ居ルノデアリマス、況ンヤ今後ノ教育ニ於テキマシテハ、尙更其ノ點ハ努メナケレバナラヌノデアリマス、無論其ノ方針デ今後ヤツテ行クコト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中田委員 先日來木安副團長ニ對スル中等學校生徒及ビ青年團ノ動員問題ニ付テ、山林局長トノ間ニ可ナリ論議ヲ交サレタ譯デアリマス、私ハ勤勞奉仕ト云フコトハ非常ニ宜イコトデアリ、又學校教育トシテ勤勞教育ト云フコトモ非常ニ考ヘナケレバナラズト云フコトノ根本ニハ何等ノ異存ガナイノデアリマスガ、唯併シ左様ナコトヲスルニ上ニ於テハ、其ノ學校々々ニハヤハリ一定ノ學年間ノ計畫ガアルノデアリカラ、其ノ計畫ト能ク見合セテ斯様ナコトヲヤルベキモノデアリト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ先般山林局長ニ伺ヒマス、強ヒテ無理ニヤツテ吳レト云フ譯デアリ、唯斯ウ云フ場合デアリカラ、率仕的ニヤルコト云フコトハ適當ナコトデアリト考ヘテヤツタコトデアリカラ、學業ヲ擲置シテマデモヤツテ吳レト要求シテ譯デアリト云フ御話デアリマス、併シ一旦文部大臣カラノ訓令ト言ヒマスカ命令ト言ヒマスガ、サウ云フモノガ出マス、地方ノ縣ナドデハ非常ニ之ヲ重大ニ取ルノデアリマシテ

(委員長退席、庄司委員長代理著席)

隨テ現實ノ狀態トシテハ農林學校ハ勿論ノコト、中學校アタリデモ半バ生徒ハ學業ヲ休ンデ炭坑ヲヤツテ居ルコト云フ狀態デアリマシテ、可ナリ生徒ハ過勞ニ陥ツテ居ル、ソレカラモウ一ツハ次カラ次ト此ノ時局以來色々ナ新規ノ行事ガ重ナツテ來ルノデ、落付イテ學業ヲ勉強スル氣持ガ段々薄ライデ來テ居ル、斯ウ云フヤウナコトハ私非常ニ重大ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアリト思フノデアリマス、又最近動モスレバ何デモ被テ色々ナコトガ突發スレバ青年團、在郷軍人ト云フモノニ對シテ自由労働者ノ

ヤウナ考方ヲシテ居ルト云フコトハ甚ダ怪シカラズト思フノデアリマス、現在ノ青年團員ト云フモノモ決シテ遊シテ居ル譯デアリ、ヤハリ一家ノ爲ニ相當働イテ職ヲ持ツテ居ル者デアリカラ、ソレニ對シテ上カテ系統的ニ色々ナコトヲ課シテ行クコト云フコトハ、中央ニ於テ色々ナ計畫ヲサレテ行ク方々トシテハ相當ニ地方ノ實情ヲ慎重ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、現在根本的ノ問題ハ私ハ何ト云フテモ教育ニ依ツテ將來ノ青少年ヲ本當ニ興亞ノ大任ヲ背負ヒ得ルヤウニ教育シテ行クコト云フコトガ必要デアリト思フノデアリマスガ、現在ニ於テハ此ノ時局ノ影響ヲ受ケテ優良ナ教育員ガ中々求メ得ラレナクナル、サウシテ次カラ次ニ當座ノ計畫ヲ重テ來ルコト云フコトニナレバ、結局本當ノ教育ハ到底出來得ナイ狀態ニナツテ來ルト思ヒマスガ、是等ノ點ニ關シテ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、特ニ木炭飢饉ニ關スル對策ノコトハ東北ニ關係ガ深いデアリマスカラ御考ヲ致ス次第デアリマス

○松浦國務大臣 學校ノ生徒ガ其ノ本分トシテ學校ノ學業ニ全力ヲ注イデ修養ニ努メルト云フコトハ勿論デアリマス、學業ノ習得ニ支障ヲ及ボサヌ計畫ノ下ニ又生産ノ擴充ニ御奉公致スト云フコトモ斯ウ云フ重大時局ニアリマシテハ無論ヤルベキデアリマス、要スルニ其ノ點ハ餘リ無理ナコトヲシナイヤウニ、學校ノ學習ト相反セザル範圍内ニ於テ學校ニ於テ其ノ校內ニ於ケル實際ノ事情ニ鑑ミマシテ、相當ノ御奉公ヲ致スコトガ一番適當デアラウ、唯無理ヤスル、ソレガ爲ニ學校ノ學習ニ多クノ支障ヲ來スト云フ場合ハ如何デアラウカト考ヘルノデアリマス

○森田委員 先程中絶サレタコトデアリマス、中央ニ於テ色々ナコトヲ御計畫ニナルコトハ、ソレガ適當スルカドウカト云フコトヲ御檢討ニナツテカラ、色々ナコトヲ御計畫ニナツテ裁キタイ、適當ナコトヲ御計畫ハ頗ル簡單ナ話デアリマスガ、實際ハサウハ出來マセヌカラ、此ノ點ヲ能ク御認識ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ點ヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○森田委員 先程中絶サレタコトデアリマス、中央ニ於テ色々ナコトヲ御計畫ニナルコトハ、ソレガ適當スルカドウカト云フコトヲ御檢討ニナツテカラ、色々ナコトヲ御計畫ニナツテ裁キタイ、適當ナコトヲ御計畫ハ頗ル簡單ナ話デアリマスガ、實際ハサウハ出來マセヌカラ、此ノ點ヲ能ク御認識ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ點ヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○栗屋政府委員 東北カラ北洋漁業ニ參加シテ居ルマシ業者ノ數ハ私共ノ調査ニ依リマス、二万六千九百二十五、是ハ十三年度ノ調査デアリマスガ、大體サウ云フモノデアリト考ヘテ居リマス

○森田委員 ソコデ私ガ心配致シマスコトハ、今日色々ノ労働力ガ他ノ方ニ廻ルヤウナ關係ニナツテ居リマス、將來トモ此ノ労働力ヲソコニ集中シテ行クコト云フコトニ付テハ、相當困難ガアルノデアリ、斯ウ思ヒマス、ソコデ之ヲ他ノ方ニ散ラサナイヤウニスル方法ヲ考ヘナケレバナラナイ、私ハ斯ウ思フ、是ハ無論政府ニ於テモ之ニ反對ノ氣持ヲ持ツテ居ルニナラナイデアラウト思フ、併シ今ノヤウニ三箇月カ四箇月向フ方ニ行ツテ働ク、其ノ分ハ宜イノデスケレドモ、歸ツテ參リマシテカラ適當ナ仕事ガナイ、アツテモ皆ク連絡ガ執レテ居リマセスト、此ノ仕事ガ他ノ方ニ散ル、一旦散ツテシマヘバ、又來年度果シテソコニ集中シ得ルヤウニナレルカナレナイカト云フコトハ、斯ウ云フ世相ニナツテ參リマス、相當懸念シナケレバナラナイコトダト思フ、ソコデ私御伺シタイコトハ、今度若シ北洋漁業ト云フモノガ統一セラレルト云フコトニナリマシテ、若シソレガ先程局長カラ御示シニナリマシタヤウナ内容ダケノモノデアルト云フコト、労働力トノ關聯ト云フモノハ、ソコニ中斷サレルト云フヤウナ心配ヲ多分ニ持ツノデス、ソレデアリマスカラ、私等ハ是ハドウニカシ

テ、今ノ東北地方ニハ東北地方ノ一ツノ團體ト云フヤウナモノヲ設ケラレテ、此ノ團體トシテ北洋漁業トノ間ニ一ツノ連鎖ヲ持ツテ、サウシテ北洋漁業ノ方ニ參リマシタ労働力ト云フモノガ歸ツテ參リマシタナラバ、東北地方ノ地元トノ間ニ一ツノ連鎖ヲ執ツテ、コツチデ使用スル、向フニ行ク時ハ向フト連鎖ヲ執ル、斯ウ云フヤウナ連鎖ヲ執ルノデアリト、向フノ労働力モ困ルシ、コツチノ労働力モ困ルト云フヤウナ現象ヲ生ズルト云フコトヲ心配スル、是ハ心配バカリデハナイ、目下著々サウ云フヤウナ徵候ガ見エテ居ルト一般業者モ見テ居ルヤウデアリマスガ、是等ニ對スル御考ハドウデアリマセウカ

○栗屋政府委員 北洋漁業ノ統制ト労働者ノ關係ニ付キマシテハ、假令是ガ合同統一セラレマシテモ、別ニ從來ト違ツタ實質ノモノニスルト云フ考デアリナイノデアリマシテ、會社ガ色々ニ分レテヤツテ居ルノヤウニシテ、合理的ニヤツテ行クコト云フノガ担ヒ所デアリマシテ、ソレニ從事シマス所ノ労働者關係ハ、ヤハリ從來ト同ジヤウナ關係ヲ續ケテ行ク積リデゴザイマシテ、特別ナモノガ出來タカラ労働關係モ全ク別ノモノガ出來テ來ルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセス、併シナガラ此ノ戰時ニナリマシテカラ、労働力ガ中々得ラレナイ實情ハ、私共モ之ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、此ノ貴重ナル漁業ニ對シテモ、サウシテ方面ニ相當ノ心配ヲシナケレバナラヌヤウナ實情ニアリマス、併シナガラ之ニ付キマシテハ、今御述ニナリマシタヤウナコトモ確ニ適當ナ方法デアリト思ヒマシテ、労働ノ合理的ナ配分ト云ヒマスガ、調節ト云ヒマスガ、

○森田委員 其ノ調節ノ關係ガ皆ク行ケバ無論問題ハナイノデアリマスガ、其ノ調節ガ果シテ皆ク行ケドウカニ付テハ、是ハ客觀情勢ノ上カラ考ヘマシテ、相當懸念ニ堪ヘナイモノガアル、是ハ局長サンモ私等ノ考ニ同感デアルト云フコトデゴザイマスガ、サウスルト私等ハ此ノ新ニ出來ルデアラウ今ノ團體、其ノ中ニ東北地方ノ一ツノ漁業者モ參加セシムルト云フコトニ依ツテ、主體トシテ調節ヲ取ツテ、サウシテ今ノ労働者ノ調節ヲ圖ルト云フコトガ一ツノ方法デアリナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ水産局長ノ御意見ヲ御伺シマス

○森田委員 其ノ調節ノ關係ガ皆ク行ケバ無論問題ハナイノデアリマスガ、其ノ調節ガ果シテ皆ク行ケドウカニ付テハ、是ハ客觀情勢ノ上カラ考ヘマシテ、相當懸念ニ堪ヘナイモノガアル、是ハ局長サンモ私等ノ考ニ同感デアルト云フコトデゴザイマスガ、サウスルト私等ハ此ノ新ニ出來ルデアラウ今ノ團體、其ノ中ニ東北地方ノ一ツノ漁業者モ參加セシムルト云フコトニ依ツテ、主體トシテ調節ヲ取ツテ、サウシテ今ノ労働者ノ調節ヲ圖ルト云フコトガ一ツノ方法デアリナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ水産局長ノ御意見ヲ御伺シマス

○森田委員 其ノ調節ノ關係ガ皆ク行ケバ無論問題ハナイノデアリマスガ、其ノ調節ガ果シテ皆ク行ケドウカニ付テハ、是ハ客觀情勢ノ上カラ考ヘマシテ、相當懸念ニ堪ヘナイモノガアル、是ハ局長サンモ私等ノ考ニ同感デアルト云フコトデゴザイマスガ、サウスルト私等ハ此ノ新ニ出來ルデアラウ今ノ團體、其ノ中ニ東北地方ノ一ツノ漁業者モ參加セシムルト云フコトニ依ツテ、主體トシテ調節ヲ取ツテ、サウシテ今ノ労働者ノ調節ヲ圖ルト云フコトガ一ツノ方法デアリナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ水産局長ノ御意見ヲ御伺シマス

○栗屋政府委員 先程申上ゲマシタ通り、北洋漁業ノ統制ト云フモノノ内容ハマダ決ツテ居ラヌノデアリマス、此ノ場合今ノ御尋ニ對シテ的確ナル御答辯ハ申上ゲ難イノデアリマスガ、併シ現ニ此ノ漁業ヲ進メルニ上ニ於テ、労働關係ト云フモノハ非常ニ重要ナ要素デアリマス、之ニ對シテハ特別ナル考慮ヲ拂ツテ行キタイ、斯ウ云フ氣持ヲ持ツテ居ルト云フ程度ノ御答辯ヲ致シマシテ、御承知ヲ得タイト思ヒマス

○森田委員 マダ出來テ居ラナイモノニ對シテノ御答辯トシテハ、私モ一應諒承致シマス、併シ此ノ點ニ付テハ相當考ヲ致シマセスト、只今申上ゲタヤウナ労働關係ニ於テ相當ノ問題ガ起ル、斯ウ見ルノデアリマシテ、希望トシテ私ハ將來主體關係ニ於テノ關聯ト云フ意味デ、東北地方ノ人々ヲモ其ノ「ブロック」ノ中ニ入レルト云フヤウナ形ヲ取ツテ裁キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ打切りマス

○釘本委員 二ツバカリ御聴キシタイコトガアルノデアリマスガ、出席ノ政府委員ノ關係デ、其ノ中ノ一ツダケニシテ置キマス、ソレハ東北ノ電力政策トモ申シマスガ、東北地方ニ於ケル電氣問題ニ關スルコトデアリマス、先程來頻リニ東北ノ特殊性ニ付テ述ベラレマシタガ、私ハヤハリ電氣問題ニ付テモ、東北ニハ特殊ナ御取扱ヲ願ハナケレバナラヌト思フテ居ルノデアリマス、現ニ東北振興電力會社ガ存在スルト云フコト其ノコトガ電氣問題ニ付テハ、特別ニ他地方ト違ツタ御取扱ヲ願ハナケレバナラヌト云フコトヲ立證シテ居ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、先般來電氣ガ非常ニ不足ヲ致シマシタ際ニ、東北モ他地方同様電力ノ確保問題ト云フヤウナコトガ起リマシテ相當ニ騒イダノデアリマスガ、其ノ際ニ東北振興電力會社ガアルニ依ツテ、他地方ト何カ違ツタ利益ガアツタコトガアリマセウカ、同ツテ置キタイノデアリマス、若シ東北振興電力會社ガアリマシテモ、他地方ト同ジデアルトスルナラバ、東北振興電力會社ハアツテモナクテモ同ジダト云フ結論ニナルノデアリマスカラ、其ノ點ニ關シマシテ、東北地方ハ東北振興電力會社ガアルニ依ツテ、ドレダケノ利益ヲ他地方以上ニ得タカト云フコトヲ御聴キシタイノデアリマス、更ニ申上ゲルマデモナク、東北地方ハ他地方ニ比較シマシテ資本ガ非常ニ

○釘本委員 二ツバカリ御聴キシタイコトガアルノデアリマスガ、出席ノ政府委員ノ關係デ、其ノ中ノ一ツダケニシテ置キマス、ソレハ東北ノ電力政策トモ申シマスガ、東北地方ニ於ケル電氣問題ニ關スルコトデアリマス、先程來頻リニ東北ノ特殊性ニ付テ述ベラレマシタガ、私ハヤハリ電氣問題ニ付テモ、東北ニハ特殊ナ御取扱ヲ願ハナケレバナラヌト思フテ居ルノデアリマス、現ニ東北振興電力會社ガ存在スルト云フコト其ノコトガ電氣問題ニ付テハ、特別ニ他地方ト違ツタ御取扱ヲ願ハナケレバナラヌト云フコトヲ立證シテ居ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、先般來電氣ガ非常ニ不足ヲ致シマシタ際ニ、東北モ他地方同様電力ノ確保問題ト云フヤウナコトガ起リマシテ相當ニ騒イダノデアリマスガ、其ノ際ニ東北振興電力會社ガアルニ依ツテ、他地方ト何カ違ツタ利益ガアツタコトガアリマセウカ、同ツテ置キタイノデアリマス、若シ東北振興電力會社ガアリマシテモ、他地方ト同ジデアルトスルナラバ、東北振興電力會社ハアツテモナクテモ同ジダト云フ結論ニナルノデアリマスカラ、其ノ點ニ關シマシテ、東北地方ハ東北振興電力會社ガアルニ依ツテ、ドレダケノ利益ヲ他地方以上ニ得タカト云フコトヲ御聴キシタイノデアリマス、更ニ申上ゲルマデモナク、東北地方ハ他地方ニ比較シマシテ資本ガ非常ニ

○森政府委員 只今阿賀野川筋ノ例ヲ御取
リニナリマシテ東北振興電力會社ハ福島縣
ニ於テ將來開發スベキ良イ地點ガナイ、隨
テ福島縣ニ於テ特ニ工場其ノ他電力ノ需要
ガ非常ニ多クナル場合ニ不都合ヲ來スデナ
イカト云フヤウナ御尋ト伺ツタノデアリマ

○野村委員長 此ノ問題ニ關聯シテ——木
村君
○木村委員 今釘本君カラノ御話モアリマ
シタガ、實際問題ト致シマシテ、在來ノ日
本ノ大キナ會社ガ持ツテ居リマシタ東北地
方ノ水利權ハ、殆ド日本發送會社ガ受續
ガレマシテ、未開發ノ場所ハ、所謂東北振興
電力會社ガ開發シ得ラレル箇所ト云フモノ
ハ殆ド採算ノ取レナイ場所ダケガ殘サレテ
居ルヤウナ状態デアリマス、現在日本發送
會社ガ持ツテ居リマシタル阿賀川サウ云フ
方面ノ未開發地點約十三箇所ベカリ、之ヲ
其ノ儘開發シタダケモ五十萬「キロ」ノ電

力ヲ得ラレル「ダム」ヲ造レバ八十萬「キロ」
カラ百萬「キロ」位マデ得ラレル状態ニアル
ガ、現在ノ日本發送會社ハ其ノ技術モ持
合セテ居ナイ、人力モ持合セテ居ナイ、其
ノ爲ニ未ダ之ヲ開發スルコトガ出來ナイヤ
ウナ状態ニナツテ居ル、東北電力會社ガソ
レヲヤル權利ヲ持ツテ居ナイ、ソシテ殘サ
レタ場所ヲ開發致シマスレバ殆ド採算ガ取
レナイヤウナ状態デアリマス、昨日カラ問
題ニナツテ居リマス松川君ノ質問デアリマ
シタカ、送電線ガ極メテ不完全デアアル、所
所非常ニ壞レテ居ル、ソレダケデナク全東
北ニ互ル送電線ガ出來上ツテ居ナイ、サウ
云フヤウナコトカラ推シテ參リマスルト、ド
ウシテモ日本發送會社ガ持ツテ居リマス
ル此ノ水利權ヲ東北電力會社ニ何等カノ形
デ權利ヲ移ス、ソシテ東北電力會社ガ之ヲ
開發シテ、安イ値段デ水力ヲ起シテ東北ノ
需要ニ充テルト云フ方針ヲ執ラナカクナ
ラバ本當ノ振興ガ出來ナカラウト私ハ思ッ
テ居リマス、電氣廳ニ於キマシテハ實情ヲ
能ク御承知ノ答デアリマスカラ、日本發送電
會社ガ持ツテ居リマス阿賀川ノ方面ノ水
利權ノ一部ヲ東北電力會社ニ移スト云フ御
尋ヲ現在御持チニナツテ居リマセヌカ、若
シ御持チニナツテ居ナイト致シマスナラバ
相當ノ理由ガアルデアラウト思ヒマスカラ、
其ノ理由モ併セテ御説明願ヒタイト思ヒマ

○森政府委員 只今阿賀野川筋ノ例ヲ御取
リニナリマシテ東北振興電力會社ハ福島縣
ニ於テ將來開發スベキ良イ地點ガナイ、隨
テ福島縣ニ於テ特ニ工場其ノ他電力ノ需要
ガ非常ニ多クナル場合ニ不都合ヲ來スデナ
イカト云フヤウナ御尋ト伺ツタノデアリマ

○野村委員長 此ノ問題ニ關聯シテ——木
村君
○木村委員 今釘本君カラノ御話モアリマ
シタガ、實際問題ト致シマシテ、在來ノ日
本ノ大キナ會社ガ持ツテ居リマシタ東北地
方ノ水利權ハ、殆ド日本發送會社ガ受續
ガレマシテ、未開發ノ場所ハ、所謂東北振興
電力會社ガ開發シ得ラレル箇所ト云フモノ
ハ殆ド採算ノ取レナイ場所ダケガ殘サレテ
居ルヤウナ状態デアリマス、現在日本發送
會社ガ持ツテ居リマシタル阿賀川サウ云フ
方面ノ未開發地點約十三箇所ベカリ、之ヲ
其ノ儘開發シタダケモ五十萬「キロ」ノ電

力ヲ得ラレル「ダム」ヲ造レバ八十萬「キロ」
カラ百萬「キロ」位マデ得ラレル状態ニアル
ガ、現在ノ日本發送會社ハ其ノ技術モ持
合セテ居ナイ、人力モ持合セテ居ナイ、其
ノ爲ニ未ダ之ヲ開發スルコトガ出來ナイヤ
ウナ状態ニナツテ居ル、東北電力會社ガソ
レヲヤル權利ヲ持ツテ居ナイ、ソシテ殘サ
レタ場所ヲ開發致シマスレバ殆ド採算ガ取
レナイヤウナ状態デアリマス、昨日カラ問
題ニナツテ居リマス松川君ノ質問デアリマ
シタカ、送電線ガ極メテ不完全デアアル、所
所非常ニ壞レテ居ル、ソレダケデナク全東
北ニ互ル送電線ガ出來上ツテ居ナイ、サウ
云フヤウナコトカラ推シテ參リマスルト、ド
ウシテモ日本發送會社ガ持ツテ居リマス
ル此ノ水利權ヲ東北電力會社ニ何等カノ形
デ權利ヲ移ス、ソシテ東北電力會社ガ之ヲ
開發シテ、安イ値段デ水力ヲ起シテ東北ノ
需要ニ充テルト云フ方針ヲ執ラナカクナ
ラバ本當ノ振興ガ出來ナカラウト私ハ思ッ
テ居リマス、電氣廳ニ於キマシテハ實情ヲ
能ク御承知ノ答デアリマスカラ、日本發送電
會社ガ持ツテ居リマス阿賀川ノ方面ノ水
利權ノ一部ヲ東北電力會社ニ移スト云フ御
尋ヲ現在御持チニナツテ居リマセヌカ、若
シ御持チニナツテ居ナイト致シマスナラバ
相當ノ理由ガアルデアラウト思ヒマスカラ、
其ノ理由モ併セテ御説明願ヒタイト思ヒマ

○森政府委員 只今阿賀野川筋ノ例ヲ御取
リニナリマシテ東北振興電力會社ハ福島縣
ニ於テ將來開發スベキ良イ地點ガナイ、隨
テ福島縣ニ於テ特ニ工場其ノ他電力ノ需要
ガ非常ニ多クナル場合ニ不都合ヲ來スデナ
イカト云フヤウナ御尋ト伺ツタノデアリマ

○野村委員長 此ノ問題ニ關聯シテ——木
村君
○木村委員 今釘本君カラノ御話モアリマ
シタガ、實際問題ト致シマシテ、在來ノ日
本ノ大キナ會社ガ持ツテ居リマシタ東北地
方ノ水利權ハ、殆ド日本發送會社ガ受續
ガレマシテ、未開發ノ場所ハ、所謂東北振興
電力會社ガ開發シ得ラレル箇所ト云フモノ
ハ殆ド採算ノ取レナイ場所ダケガ殘サレテ
居ルヤウナ状態デアリマス、現在日本發送
會社ガ持ツテ居リマシタル阿賀川サウ云フ
方面ノ未開發地點約十三箇所ベカリ、之ヲ
其ノ儘開發シタダケモ五十萬「キロ」ノ電

ト言フテモ、ドツチトモ付カヌヤウナモノ
ニナツテ居ルト思ヒマスガ、ドウカ此ノ點
ニ付キマシテハ、吾々ガ要望スル東北興業
出來ナイニシテモ、東北局デハシツカリヤ
ツテ戴カケレバナラス、現代ノ機構ノ上
ニ於テハ、或ハ場合ニ於テハ、東北局ノ監
督ガ餘リニヤカマシイ爲ニ仕事ガ出來ナイ、
アレハ御無理モアリマス、大藏省ナド
ハ豫算ヲ減ラスコトバカリ考ヘテ居リマス
ノデ、成ベク減ラスコトガ上司ノ意見デモ
アリマセウガ、其ノ結果東北興業ノ豫算ト
云フモノハ斯ウ云フ風ニ減ツテ來テ居ルノ
デアリマス、ドウカ斯ウ云フコトニ付テ東
北興業會社ノ監督ヲ嚴ニスルト共ニ、政
府ニ於テ東北興業ノ大ナル目的ノカラ言フ
テ、東北局ト云フモノハモツト積極ノ活
動シテ貰ヒタイ、是ガ私ノ希望デアリマ
ス、ソレカラ第二期ノ計畫ト云フ御話
デアリマスガ、其ノ第二期ノ計畫ニ付テ
ハ、大體如何ナル御腹案ヲ持ツテ居ラレ
ルカ、概略デモ宜シウゴザイマスカラ御聽キ
シタイ

○宇都宮政府委員 東北局ノ機能ニ付テ御
御意見ガゴザイマシタガ、十分拜聴致シマ
シテ研究致シタト思ヒマス、ソレカラ第
二期計畫ニ付テドウ云フ腹案ヲ持ツテ居
カト云フ御話デアリマシタガ、是ハ只今出
テ居リマス豫算ニ第二期計畫ヲ立テマス委
員會ノ費用トシテ一萬五千圓計上シテ居
マスガ、是ガ御腹案ヲ得マシタナラバ、其
ノ費用ヲ以テマシテ委員會ヲ作ツテ、其ノ
委員會デ萬事決マラレルコトニナルト云フ
方針ヲ行キタト思ヒマス、大體ノ方向ト
シテ私ノ方デ考ヘテ居リマス建前ハ東北興
業ガ主眼ニナルノデアリマス、同時ニ時局ニ

○松川委員 モウ一點簡單ニ御同致シマス、
ソコデ私ハ第二期綜合計畫ニ付テハ私ノ意
見トシマシテハ、第一期綜合計畫ハ其ノ實
效ガ著ツテ居ラナイノデアリマスカラ、ド
ウカ第二期綜合計畫ヲアル場合ニ於キマシ
テハ、第一期綜合計畫ノ足リナイ部分ヲ全
部補ツテ貰ヒタイ、是ガ先決問題デアリマ
ス、然ル後ニ今ノ或ハ重點トカ或ハ時局ニ
關シテ變更シタ問題ヲ盛ツテ貰ヒタイ思
ヒマス、ソレカラモウ一點ハ大體此ノ東北
興業會社ガ出來タト云フコトデ、政府並
ニ東北局ト云フモノガ之ニ主力ヲ注ガベ、
東北興業ノ目的ガ達成スルヤウニ考ヘテ居
ル人モアリマスガ、私ハ此ノ東北興業兩會
社ガ出來マシテモ、尙ホ政府及ビ東北局ト
シテ東北興業ノ爲ニ爲サセバナラス仕事ガ
澤山アルト思フ、例ヘテ申シマスナラバ、是
カラ申上ゲマス所ノ北上川ノ改修ノ問題ノ
如キ、或ハ道路港灣ノ改修ノヤウナ問題ノ
如キモノハ、恐ラク東北興業會社ヲ以テ
シテハ其ノ目的ヲ達シ得ナイト思フノデア
リマス、基本的ノ問題デアリマス、斯ウ云
フ基本的問題ニ付テ更ニ十分御努力ヲ願ヒ
タイト思フノデアリマスガ、政府ニ於テハ
恐ラクサウ云フ考ハアリマス、私ノ思ヒマ
スケレドモ、世間一般ニサウ云フ風潮ガア
ルノデアリマスカラ、此ノ際東北局ニ於テ
モ東北興業ノ爲ニ兩會社ヲ除イテ澤山殘サ
レタ仕事ガアルガ、今後ドレヲスルト云フ
御言明ヲ得タイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 第二期ノアル場合ニハ
第一期ノ是ラズ所ヲ補ヘト云フ御話デアリ
マスガ、其ノ趣旨ニ付テハ能ク考究シタイ
ト考ヘテ居リマス、第二番目ノ東北興業ニ
付テハ會社タケ出來ルモノデナイト云フ
御話、是ハ全ク御同感デアリマスガ、御指
摘ニナリマシタ例ヘバ北上川ノ治水事業其
ノ他地方ニ於ケル重要ナル問題ガ澤山ゴザ
イマス、之ニ付キマシテハ吾々モ及バズナ
ガラ主務省、關係省ト常ニ連絡ヲ執ツテ、其
ノ實現ヲ期シテ居ルデアリマス、或ハ民
間ノ會社ヲ誘致スルト云フコトモ是亦重要
ナコトデゴザイマシテ、是モ御話ノヤウニ
會社ノ仕事以外ノコトデゴザイマスガ、是
モ大事ナコトト考ヘテ居リマス、御趣旨ノ
點ハ全ク御同感デアリマスガ、其ノ趣旨
ニ依ツテヤリタイト考ヘマス

○林委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、段々
御質問ヲ拜聴シテ居リマス、頗ル重複
シタコトモ段々出テ參リマス、申ニハ唯聽
タケケルキ味ルダケ味ツテ出テ行ツテ、又
ヒヨツト出テ來テ一度聽イタコトヲ又聽イ
テ居ル、斯ウ云フコトニナレバ何時マデ經
ツテモ、此ノ委員會ノ結束ヲ見ルコトハ還
延スルバカリト思ヒマス、ソコデ如何デセ
ウカ、私ハ委員長ニ御願シタイト思ヒマス
ガ、第一ニ長ク缺席シテ居ラレル方ガ質問
ヲナサレ時ニハ、速記録ヲ御覽ノ上デ成ベ
ク重複ヲシテ戴カナイヤウニスル、ソレカ
ラモウ一ツハ大凡時間デモ何分位ト云フコ
トニデモシテ、何時頃此ノ委員會ガ終了ス
ルカト云フ見透シヲ付ケ戴イテハドウカ
ト思フ、ソレカラ週日政府ニ對シテ庄司委
員カラ重要ナル質問ガアツテ、之ニマダ答
ガナイノデゴザイマスガ、アレハ私モ關聯

實測ノ費用ヲ寄附シテ、實測ニ著手シタト
云フ事情ニナツテ居ルノデアリマス、現在
食糧問題ガ非常ニ重要ナ問題ニナリマシ
テ、殊ニ米産地方トシテノ東北ニ於ケル耕
地保護ノ問題ガ非常ニ重大ナ問題ニナツ
テ居リマスガ、未墾地ヲ開墾スルヨリ、既墾
ノ優秀ナ農耕地ノ災害ヲ防止スルコトガ目
下ノ急務ト思ヒマス、此ノ米代川ノ上流
ニハ約五千町歩ノ美田ガアリマス、是等ノ
鑛毒水ガ氾濫スルト、殆ド原始河川ニ等シ
イ河川デアリマスカラ、其ノ被害ハ測リ知
ルベカラザルモノガアルト考ヘルノデアリ
マス、詳シクハ他ノ機會ニ於テ申上ゲルコ
トト致シマシテ、私ハ此ノ見地カラ致シマ
シテ、地方デハ一日モ早ク此ノ米代川ノ上
流ノ改修ニ著手シテ戴キタイト念願シテ居
ルノデアリマス

更ニ私ハ此ノ際一ツ成ベク早く著手ヲ願
ヒタイト云フ理由ノ一ツトシテ、現在ノ情
勢カラ致シマシテ是ハドウシテモ實際問題
トシテハ、短期間ニ到底出來ナイト思ヒマス、
三年若クハ五年ト云フコトハ計畫ハ立チマ
シテモ、到底出來ナイ、努力ノ關係、資材
ノ關係デ、今マデ三年掛ツタモノガ五年、
五年掛ツタモノガ七年十年掛ル、是ハ已ムヲ
得ナイ、ソレデ著手ヲ成タケ早クヤツテ
貰ハナケレバ、自然延ビテ來ルダラウト思
フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ
此ノ米代川ノ上流ノ改修ト云フモノハ、特
殊ナ性質ヲ持ツテ居ル河川デアリマスカラ、
モウ既ニ實測ガ済ミ、調査ガ済ミマシタ今
日ニ於テ急速ニ改修ニ著手ヲ願ヒタイト云
フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ
對スル土木局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○成田政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シ
マス、米代川ノ改修ノ問題ニ付キマシテハ、
只今沿革ニ付テ色々御話ガアツタ通りデア
リマシテ、既ニ昭和八年ノ第三次治水計畫
ニ於テモ、米代川ハドウシテモ改修シナケ
レバナラスト云フ川ニ選定サレテ居ルノデ
アリマシテ、現在下流ニ於テ改修工事ヲ實
施シテ居リマス、只今ハ其ノ上流ニ於ケル
改修ニ付テハ既ニ調査ハ済ンデ居ルノデア
ルカラ、急速ニ實施ヲシテ貰ヒタイト云フ
御意見デアツクノデアリマス、唯現在土木
局ノ考ト致シマシテハ、下流ニ於キマスル
中途半端デ上流ヲ又ヤルト云フコトニ付
テハ、ドウモ技術ノ上カラ云ツテ困難デハ
ナイダラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデ
アリマシテ、其ノ間ノ調節ガ取レ得マシレ
バ、只今ノ御希望ノヤウナコトモ考ヘテ宜
イト思ヒマスガ、只今ノ所デハ先ツ下流ヲ
成ベク早くヤル、而シテ上流ニ及ブト云フ
考デ居リマス、併シ御意見ノ點ハ十分ニ參
考ニ致シマシテ、將來成ベク早イ機會ニ上
流ノ方ノ計畫ヲ立テテ實施ヲスルヤウニ致
シタイ考ヲ只今持ツテ居ルノデアリマス

○中田委員 現在第一期ノ下流ノ改修ヲヤ
ツテ居ルカラト云フ話デアリマス、併シ下
流ノ改修ハ主トシテ米代川ノ河港ノ改修ガ
主デアリマシテ、第二期ト下流ノ改修ガ
出來ナケレバ、上流ノ改修ガ出來ナイヤウ
ナ聯關ハナイヤウニ私ハ存ジテ居リマス、
此ノ點ハドウゾ十分御調査願ヒマシテ、若
シドウシテモ下流ト聯關ガアリ、下流ノ改
修ガ終ラナイ中ハ著手出來ナイト云フ事情
デアルナラバ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、
私トシテハ並行シテ行ケルト考ヘテ居リマ

スシ、只今申シマシタヤウニ、鑛山ノ毒水
ノ氾濫ト云フコトヲ十分御認識下サイマシ
テ、此ノ點ニ對シテハ成ベク早く御著手ア
ランコトヲ希望シテ置キマス

○野村委員長 松川君

○松川委員 私ハ北上川ノ改修ニ付テ御尋
致シタイノデアリマスガ、是ハ恐ラク東北
興業中殘サレタ一番大キナ問題デハナイカ
ト思フノデアリマス、北上川ハ日本ノ三大
河川ノ一ツデアリマスガ、外ノ河川ニ付テ
ハ皆改修計畫ガ出來、或ハ著手完成シツツ
アルノデアリマス、然ルニ此ノ北上川ノ一
ツガ今尙ホ取殘サレテ居ルノデアリマス、
此ノ北上川ノ一ノ關地方ハ丁度上流ノ方カ
ラ流レテ來マス所ノ水ガ溜ル場所デアアル、
上流カラ二十數里ニ互ツテ蜿蜒殆ド落差ノ
ナイ北上川ガ流レテ居リマス、サウシテ一
ノ關ヲ中心トスル兩側ニ水ガ溜ツテ、其ノ
下流ニ水ガ吐ケナイト云フ特殊ナ川ニナツ
テ居ル、電氣モ出來ナケレバ、何モ出來ナ
イ、非常ニ害毒ヲ流スケレドモ、少シモ利
益ガナイト云フ川ノデアリマス、是ハ内
務省ニ於テモ十分御承知ノコトト思フノデ
アリマスガ、一雨毎ニ非常ナ被害ガアリマ
シテ、一年ノ中ニ十數回水ガ上ル、水ガ上
ルト、海ノ如ク、沼ノ如ク溜ルノデアリマ
ス、岩手縣ノ土木課ニハ一雨毎ニ何百萬圓
何十萬圓ト云フ損害ガ出來テ居ル、雨ガ降
ルト北上川ガ氾濫スル、サウシテ全部一ノ
關町ニ溜マルノデアリマス、ソコデ岩手縣
ノ縣債ノ狀況ヲ見マス、大部分ハ北上川
ノ氾濫ニ依ル所ノ災害復舊工事ノ起價デア
リマス、昭和六年マデハ八百萬圓バカリノ
借金ガアツタノデアリマスガ、其ノ中ノ約六
百萬圓ハ北上川ノ氾濫ノ改修ニ要シタル費

流ノ改修ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、更ニ今回内務省ト致シマシテハ、東北地方ニ於ケル東北振興ノ基本施設ヲ調査スル必要アリト致シマシテ、此ノ調査費ヲ今度ノ議會ニ提案ヲシ、要求ヲ致シテ居ルノデアリマス、三箇年ニ亙リ、東北地方ヲ振興セシムル爲ニハ、如何ナル基本施設ヲ必要トスルカト云フコトニ付キマシテ、主トシテ土木局關係ノ仕事デアリマスガ、其ノ調査ノ中ニ北川筋ニ於ケル貯水計畫ト云フモノヲ入レマシテ、調査ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、北川筋ノ最モ上流ニ於ケル適當ナル箇所ニ「ダム」ヲ設ケマシテ、治水並ニ利水ヲ圖ル、之ニ依ツテ東北地方ノ振興ニ資セヨウトスル考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、只今ノ北川筋上流ニ於ケル貯水計畫ト相俟チマシテ、北川筋上流全線ニ對シテ改修ノ計畫ヲ立テテ、其ノ計畫ガ立チマシテ上ニ於キマシテ、之ヲ豫算化シ、實施シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松川委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ下流工事ノ事ニ付テ申上ゲタイト思フノデスガ、一體内務省ノ工事ハ下流カラ上流ニ工事ヲ計畫シテ行クト云フ所ニ開違ヒガアルト思フノデアリマス、下流ニ於テ一千數百萬圓ヲ投ジテ工事ヲ致シタコトハ私ハ全然失敗アルト考ヘルノデアリマス、ナゼカト申シマスルナラバ、現在宮城縣ノ下流ノ工事ヲ致シタ爲ニ、其ノ工事ノ狀況ニ依ツテ、上流ノ水ヲ呑切レナイト云フコトニアルノデアリマス、上流ノ水ヲ下流ニ引張ツテ行クト、下流ノ工事ガ其ノ效果ガ無クナルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、私共ハナゼ此ノ下流工事ヲスル時ニ

於テ、上流ノ改修工事トモ併セテ工事ヲ致サナクツカト考ヘルノデアリマス、今度ハ下流工事ニ於テ一定ノ水シカ溜ルコトノ出来ナイヤウナ工事ヲ致シテ居ルノデアリマス、上流カラ無限ニ流レル所ノ水ヲ下流ニ流シテ行クト云フコト、下流デヤツタ工事ガ效果ガ無クナルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於キマシテモ此ノ北川筋ハアア云フ大キナ川デアラナラバ、上流カラ中流、下流ト計畫ヲ立テテヤルベキモノデアラト思フノデアリマスガ、既ニ出来テシマツタノデアリマスガ、兎ニ角計畫ヲ立テル時ニ、下流ヲ上流ノ考ヘナイデ、水ノ保タセ方等ヲ十分ニ考慮シナイデヤツタト云フコトハ、是ハ失敗アル、此ノ事ニ付テハ、東北局長モ既ニ現場ヲ御覽ニナツテ居リマス、此處ニ居ラレマス橋本事務官モ十分御努力ヲ下サツテ居ルノデアリマスケレドモ、私共ハマダ其ノ御努力ハ十分デヤナイト思フ、ト云フノハ十數年前カラ一番先ニ北川筋ハヤラナケレバナラヌト云フノ内務省ニ於テハ考ヘテ居ル、ソレカラ只今ノ局長ノ御話ニ依リマスケレド、二箇年間幾ラデ以テ貯水計畫ノ調査ヲスル、斯ウ云フノデアリマス、調査ヲシテ結果、果シテヤルノカ、ヤラナイノカ、是ハ分ラナイ、二年モ三年モ掛ツテ調査シタガデ、又金ガナイカラ延バス、斯ウ云フコトニナルグラウト思フ、必要ハ認メテ居ルカラ調査ヲスル、私ハ調査ノ必要ハナイト思フ、調査ヲヤラナクテ直ダ著手出来ルト思フノデアリマス、殊ニ此ノ北川筋ノ改修ニ付キマシテハ、恐ラク續續事業ニ出テ来ルグラウト思フ、短

クテ五年、普通デモ十年、長ケレバ二十年掛ルノデアリマス、此ノ完成シナイ間ハ吾等ハ年々歳々洪水ノ被害ヲ受ケナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ事情ガハツキリ分ツテ居ル、殊ニ土木局長ハ御覽ニナツテ居リマスガ、千歳橋ト云フ橋ハ天下稀ニ見ル橋デアアル、舟橋デアリマスガ、水ガ上ルト云フト、此ノ橋ヲ解體スル、自動車、「トラック」ガ通ルト川ノ中ニ落テテ、人ガ死ス、是ハ縣道デナクテ危險道ト云ハレル位デ、其處デ死ンダ人數ダツテ大變ナ數デアル、又五米モ水ガ上ルト此ノ舟橋ハ解體ヲシナケレバナラス、湯水ガ来ルト此ノ舟橋ガ出来ナイ、一年ノ中ニ十回舟橋ヲ取ツタリ架タリスル非常ニ不可思議ナ橋デアリマス、サウ云フヤウナ次第デ、今年モ丁度アノ橋ガ水ノ爲ニ流サレマシテ、今彼處ハ水ノ上ヲ渡ツテ歩カケレバナラス、春ニナツタドウスル考デアリマセウカ、是ハ北川筋ノ改修ト一緒ニヤルンダト云フテ居リマスガ、北川筋ノ改修ハ二十年先ニナルカ、三十年先ニナルカ分ラナイ、斯ウ云フヤウナ状態デアリマスガ、只今ノ御答辯ニ依ツテ土木局長ガ御努力ヲサレテ居ルコトハ認メマスガ、二年間ノ調査費ナドト云フ、サウ云フ悠長ナ考ヲ持タナイデ、即刻ヤツテ費ヤウナ計畫ヲ御願シタイト思フ、ドウカ岩手ノ爲ニ、東北振興ノ爲ニ御願致シタイ、殊ニ岩手ニ於テハ内務省ハ岩手縣民ヲ救フンダトマデ言ツテ居ル位デアリマスガ、是非トモサウ云フ悠長ナ考デナク、大藏省ガ豫算ガナイトカ、或ハ計畫ガ立タヌト云

フコトヨリモ、私ハ拙速ヲ貴ブ、完全ニ其ノ水害ヲ免レルト云フコトハソレハ出来マセヌ、洪水ガ来ルト水ハ五十尺以上モ上ルノデアリマスガ、是ハドンナ事ヲシタツテ防グ譯ニハ行キマセヌガ、少クトモ十尺ヤ二十尺、或ハ三十尺程度ノ水害ハ防ゲルヤウナ方法ヲ一日モ速ニ立テテ貰ヒタイ、此ノ點ニ付テ重テ御答辯ヲ願ヒタイ

○成田政府委員 私人技術家デアリマセヌカラ、技術ノコトハ能ク存ジマセヌ、併シ只今御話ノ中ニ下流カラ改修工事ヲヤルノハ間違ヒデアアル、且ツ洪水量ガ幾ラアルカ分ラナイノニ、下流デヤツテモ仕方ガナイチヤナイカト云フヤウナ御批評ノヤウデアリマシタガ、私ノ聞イテ居リマス所デハ、ヤハリ技術的ニ下流カラ改修スベキモノデアアル、而シテ洪水量ト云フモノヲ十分調べマシテ、ソレヲ呑込ムダケノモノトシテ改修ノ計畫ヲ立テテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマスノデ、申上ゲテ置キタイト存ジマス

ソレカラ大變ドウモ調査々々遅レテシマツテ、何時上流ノ改修ヲヤルカ分ラヌト云フコトニ關聯シテノ御答辯デアツタノデアリマス、是ハ先程ノ御答辯ニ於テ申上ゲマシタ如ク、又質問セラレマス委員ニ於テ十分御承知ノ如ク、非常ニ難川デアリマシテ、中途ニ於テ非常ナル狹窄部ガアツテ、改修上非常ニ困難ナ川デアアルサウデアリマス、困難デアリマスカラ、何時マデモ葉テテ置カト云フ意味合デハ毛頭ゴザイマセヌケレドモ、之ニ對シテ如何ナル方法デ洪水ヲ防ガカト云フヤウナコトニ付テハ、十分ニ確固タル計畫ヲ立テル必要ガアルト存ズルノデアリマス、更ニ之ニ關聯致シマシテ、上流ニ貯水ノ「ダム」ヲ造ルト云フコトニ依ツ

テ洪水量ヲ一定ナラシメル、之ニ付キマシテハ、サウ調査ガ簡單ニ行クト云フ譯ニハ參ラヌト思ヒマス、山間部ノドウ云フ溪流ニ「ダム」ヲ造ルカト云フコトニ付キマシテハ十分ニ慎重ナル調査ヲ致シ計畫ヲ立テマセヌト、後ニ至リマシテ、其ノ「ダム」ガ缺潰スルトカ云フヤウナコトモアリマセウシ、又ドレ程ノ水ヲ溜メ得ルカト云フコトニ付キマシテハ、實地ニ付キマシテ十分ニ調査ガ必要チヤナイカト思ヒマス、唯御話ニ依リマシタヤウニ、出来得ル限りノ努力ヲ致シマシテ、成ベク早く調査ヲ遂ゲ、其ノ調査ニ基イテ實施計畫ヲ立テルト云フコトニ付テハ、出来ルダケノ努力ヲ致シタイト存ジマス

○松川委員 モウ一點ダケ、後ハ止メマス、土木局長ノ改修計畫ニ付テハ、下流カラヤツテ居ルノダ、或ハ洪水量モ調査シテヤツテ居ルノダ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、北川筋ノ分ハ洪水量ヲ調査シタカモ知レマセヌガ、現ニアノ溪谷路ヲ抜イテ行クト云フト呑切レナイト云フコトヲ内務省ハ認メテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ或ハ是ハ意見ニナルカモ知レマセヌガ、其ノ爲ニ溪谷道ヲ抜クト云フコトハ出来ナイデ、「ダム」ト云フ計畫ニ變更致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於テ私共ハ上流ニ於ケル洪水量ニ於テモ、モウ少シ調査ガアツテ然ルベキモノデアツタト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ其ノ他ノ點ニ付キマシテハ大キナ問題デアリマスカラ、「ダム」ノ計畫ニ付テモ私共大ニ心配シテ居ル點モアリマス、折角推ヘテ貰ツタガ到頭「ダム」ハ役ニ立タナイデ、洪水ノ材料ニナツタト云フヤウナコトガ尾去澤ノ例デモアリマスカラ、ソレ等

ノ點ニ付テハ何レ後カラ申上ゲマスガ、ドウカ只今ノヤウナ大キナ、日本三大河川ノ一ツガ未ダ著手ニモナツテ居ラナイ、サウシテ調査費ガヤツト何万圓カ申譯ノナモノガ出来ク、サウシテ是カラ二年モ掛ツテ、十年カ十五年後ニ完成スルヤウナ計畫ヲ立テルト云フコトガ漸ク出来タ譯ナノデスガ、ソレダケデモ満足セヨト云フナラ満足シマスケレドモ、吾々ハドウモソレダケデハ満足出来ナイ、モウ少シ速カナ計畫ヲ立テテ貰ヒタイ、是ダケ御願致シテ置キマス

○木村委員 先程モ申上ゲマシタ通り、東北電力會社ノ本年度ノ發電計畫ガ數箇所出来上ツテ居リマスガ、其ノ發電計畫ノ内容ハ東北電力會社ガ力デヤツタノデハ採算ノ取レナイ場所ノ發電計畫デアリマス、ソレデソレダケ出来上ツタ計畫デアリマスト、必ズ電力ノ値段ガ非常ニ高クナル、其ノ結果安イ値段デ供給スル譯ニハイカス、ソコデ現在計畫アリマス場所ノ水利工事ト併行シナケレバナラナイ、内務省ガ力ヲ入レテ、所謂縣ト國ト東北電力會社ト三位一體ニナツテ此ノ仕事ヲヤラナカツタナラバ、安イ電力ヲ提供スル譯ニハ參ラナイノデアリマス、本年度ノ計畫ニアリマス山形縣ノ内容デアリマスガ、野川ノ上流ニ發電所ヲ造ル、彼處ニ電力會社ガ發電所ヲ造ツタノデハ値段ガ迎ヒマセヌ、ヤハリ野川ノ河川改修工事ニ併行シテ發電所ヲ造リニナラナケレバ採算ガ合ハナイモノガ生レテ来ル、ソコデ本年度ノ計畫ノ内容ヲ仔細ニ吟味サレマシテ、内務省ガソレニ全力ヲ傾倒シテ力ヲ協セテ之ヲヤルカドウカ、此ノ御返事ヲ御願シタイノデアリマス

○成田政府委員 只今御質問ノアリマシタ

川ニ付テハ具體的ニ能ク存ジマセヌガ、内務省土木局長ノ方針ト致シマシテハ、日本發電電ノ發電計畫其ノ他ニ付キマシテ貯水「ダム」ヲ造ルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ出来ルダケ之ニ協力シ、出来ルダケ早く手續ヲ進行サセルト云フコトニ付テ協力ヲ致シタイト思ヒマス

○庄司委員 關聯シテ一寸土木局長ニ御伺致シマス、アナタノ御役所ノ仙臺ノ土木出張所ニハ東北ノ河川ノ統制調査所ト云フヤウナ新シイ看板ガ最近掲ゲラレテアリマス、ソレハ十四年度ニ於テハ豫算ガ殆ド或ハ絶對ニナカツタト思ヒマス、十五年度ニ於テ只今局長ノ御答辯ノ中ニ多少豫算ヲ求メテ居ルト云フ御話ガアツタヤウデアリマスガ、具體的ニ其ノ數字ヲ示シテ極々簡單ニ御説明ヲ頂戴シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○成田政府委員 先程御答辯致シマシタ東北振興ノ基本調査費二萬圓ト云フノハ、今回ノ豫算ニ計上サレテ居リマス、其ノ調査ノ對策ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタ北川筋ノ貯水計畫、ソレカラ最上流ノ貯水計畫、ソレカラ八郎湯ノ工場地造成計畫、ソレカラ仙臺地方ノ工業開發計畫ト云フヤウナモノヲ對象ト致シマシテ、三箇年間ニ互ツテ調査ヲ致シタイ、斯ウ云フ内容ニナツテ居リマス

○庄司委員 名取川ハ入ツテ居リマセヌカラ

○成田政府委員 御答辯致シマス、今ノ仙臺地方工場開發計畫ノ中ニ入ル問題ト考ヘテ居リマス

○野村委員 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○野村委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ――

本日ハ是散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後零時五十分散會

各縣ニ於テハ何レモ完成ノ迅速ヲ要望シテ
居ルノデアリマス、是等ノ具體的振興事業
ヲ重點トシテ取上ゲテ、速ニ第二期計畫ヲ
立テマシテ、第一期計畫トハ別個ニ昭和十
六年度ヨリ之ヲ實施スルコトガ最モ有効適
切デアリト思フノデアリマスガ、政府ノ此
ノ點ニ對スル御見解ハドウデアアルカ御伺シ
タイ

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ第一期綜
合計畫ガ實現セラレマシタ跡ヲ見マスル
ト、其ノ金額ニ於キマシテモ、内容ニ於キ
マシテモ、決シテ十分ト云フコトハ出來マ
セズガ、其ノ理由ニハ財政上ノ理由ガ大分
ゴザイマスガ、御話ノヤウニ案ノ内容ハ具
體的ニスルコトガ出來ナカッタト云フコト
ガ、農務方面トカ工業方面トカニ付テハ
比較的細カク出來テ居ッタノデアリマスガ、
土木事業ニ付キマシテハ、項目ヲ分ケテ總
金額ヲ算ダケテナラズ、立テマシテ、各縣
ノ具體的事情ニ基テ「プラン」ハ立ツテ居リ
マセズ、第二期綜合計畫ヲ立テマシテ、
是ハ餘程困難ナコトデアリト思ヒマスガ、
出來ルダケサウ云フモノニ付キマシテモ、
案ノ内容ヲ具體的ニシテ行キタイ、サウス
ルコトガ結局作ツタ案ヲ實現スルニ非
ニ役立ツコトデアリト云フ風ニ考ヘテ居リ
マシテ、サウ云フ風ノ方向ニ向ツテ行キ
イト考ヘテ居リマス、唯第二期計畫ヲ十六
年度カラハル意思ハナイカト云フコトデア
リマスガ、第一期ハ御承知ノヤウニ十二年
カラ十六年マデ五箇年ト致シテ居リマス
デ、ヤハリ是ハ十六年度マデ一應ヤリマシ
テ、第二期ト致シマシテ、十七年度カラ
案トシテ行タ方宜イノデアハナイカ、斯ウ

云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯御話ノ趣旨ハ
一日モ早ク現狀ニ適スルヤウニト云フ御趣
旨ダラウト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテ
ハ第一期ヤウツテ居リマス途中ニ於キマシ
テモ、時局其ノ他ノ情勢ニ合ヒマスヤウ
ニ、適宜進行シテ行タヤウニ致シタイト思
ツテ居リマス

○北村委員 御答辯ニ依リマシテモ第一期
計畫ト云フモノガ適切ノモノデナイト云フ
コトハ明カデアリマスガ、而モ是ガ事業ト
シテ繼續シタモノデナイト、又繼續シテ取
ツテ行タモノデナイト、是ト別個ニ第二期
計畫ヲヤルモノト致シマシタカラバ、其ノ
計畫ヲ促進致シマシテ、昭和十六年度ヨリ
實施スルコトガ當然デアラウト思フノデア
リマシテ、政府ハ之ニ對シテ深甚ノ御考慮
ヲ御願シタイト思フノデアリマス

○宇都宮政府委員 所謂綜合計畫ニ付テノ
御考ハ吾々モ全ク同感デアリマス、極力御
趣旨ノヤウニ進ミタイト思ツテ居リマス
○小野委員 農工商省ノ監理局長、農林省
ノ農務局長ニ對シテ御答ヲシテ見タイト思

フノデアリマス、先ツ商工省ノ監理局長カ
ラ御答ヲ得タイノデアリマスガ、私ノ聞ク
所ニ依リマス、政府ハ生鮮食料品ノ中デ
魚介ヲ除外シテ、蔬菜、野菜ノヤウナモノ
ニ對シテ、其ノ出荷配給ノ機構ニ一大變革ヲ
加ヘルト申シマセウカ、新シイ機構ヲ確立
スルト申シマセウカ、法律ニ依ラズニ勅令
ヲ以テ斯様ナ制度ヲ創設シヨウト云フ計畫
デアリマシテ、目下商工、農林、企業院ノ間ニ
相談ガ進メラレテ居ル、斯ウ云フ風ニ伺ツテ
居ルノデアリマス、而シテ其ノ中デ私共ノ最モ
重視シナケレバナラヌコトハ、例ハ青森ニ付キ
キマシテモ或ハ蔬菜ニ付キマシテモ、系統農會
ニ其ノ出荷ヲ統一スルト伺ツテ居ルノデア
リマスガ、私ハ蔬菜ノヤウナモノハ從來トモ
農會ガ之ヲ取扱ツテ十分ノ經驗ガアラウト
存スルノデアリマスガ、御承知ノ通り私共
ノ青森縣ニ於テハ、縣外ニ移出スル一大
産業デアアル所ノ林檎ハ縣外移出額一千万箱
三千万箱乃至四千万箱ノ收入ヲ上ゲテ居ル
ノデアリマス、青森縣ノ産業トシマシテハ、
縣外移出トシテハ米ヨリ以上ニ大ナル收入
ヲ上ゲ、縣民ノ生活ヲ確保シテ居ルヤウナ
實情ニアルノデアリマシテ、是等ハ現在ド
ウ云フ機構ニナツテ居ルカト申シマスレバ、
縣聯絡即チ産業組合ト林檎統制會ト云フ任
意組合、更ニ商工省ノ所管ニナツテ居リマ
ス所ノ同業組合、是等ハ又最近各生産地ニ
於テ商業組合ヲ組織シテ大體認可ニナツテ
居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ三本建
ヤウツテ居リマシテ、其ノ中デ一番出荷ノ多
イノハ同業組合デアッタヤウニ私ハ承知シ
テ居ルノデアリマス、然レニ從來何等其ノ
出荷ニタツツシテ居テカッタ所ノ系統農會
一本建テ新ナル機構ガ考慮サレルトシマシ

タナラバ、恐ラク此ノ林檎ノ出荷ニ非常ナ
ル混亂ヲ來シ、其ノ結果出荷ノ滯留停頓ニ
付テハ是等ノ生鮮食料品ノ腐敗損傷ヲ惹起
スルコトガ非常ニ多カラウト思フノデアリ
マス、其ノ損害ハ悉ク縣内ノ生産者若クハ
是ガ取扱者ノ負擔ニナルノデアリマシテ、
其ノ損害蓋シ莫大ナルモノガアラウト思ヒ
マス、當局ガ此ノ新ナル計畫ヲ致シマシタ
所ノ御趣意ハ何處ニアルカ存ジマセズガ、
要スルニ出荷ノ間滑ト、消費地ニ於ケル消
費者ノ利益ヲ主トサレタ所ニアラウト推察
スルノデアリマスガ、無論消費者ノ利益ニ
對シテ深甚ナル御考慮ヲ拂フコトニ對シマ
シテハ、吾々モ勿論異議ハナイノデアリマ
ス、併シナガラ是等ノ新シイ機構ヲ設定ス
ル爲ニ、從來ノ配給出荷狀況ニ大ナル混亂
ヲ來サシメ、而シテ間滑ナル配給ニ支障ヲ
來スト致シマシタカラバ、是亦生産、出荷
其ノ他ノ關係ニ於テ非常ニ迷惑ヲ蒙ルモノ
ト見ナケレバナラヌト思ヒマス、果シテ政
府ハ只今申上ゲマシタヤウナ御計畫ヲ持ツ
居ラレカドウカ、而シテ其ノ計畫ヲ持ツ
居ラレトスレバ、ドウ云フ程度ニマデ進
行シテ居ルカドウカ、更ニ私ノ承知ニ依
リマス、此ノ新機構ノ構成ニ對シテハ、
商工省、農林省、企業院ノ間ニ容易ニ相談ガ
難カラナカッタ、殊ニ商工省ハ農會一本建
ト承ツテ居リマスガ、從來商工省主管ノ同
業組合ナリ其ノ他ノ機關ニ依ツテ間滑ニ運
行サレテ居ツタ是等ノ出荷配給ヲ、根底カ
ラ破壊スルヤウナコトガアルトスレバ、無
論商工省ガ之ニ御反對ナサルコトハ、當然
デアラウト思ヒマスガ、先以テ商工當局カ
ラ私ノ申上ゲタコトニ付テ御答ヲ伺ヒ、農

林當局ニ及ビタイト思ヒマス
○委員長退席、松川委員長代理著席
○政府委員 御答申上ゲマス、生鮮食料
品ニ付キマシテ、配給機構ヲ整備シヨウト
云フヤウナ考ヲ以テマシテ、恒久的ナ措置
ト併セテ、最近ノ問題ニナツテ居リマス生
鮮食料品ヲ豊富低廉ニ供給スルコト云フ臨時
的ノ措置ト、兩方並ンデ目下關係當局ト共
ニ計畫シ實施シタイト云フコトハ事實デア
リマス、是ハ青果ノミデナク、生鮮食料品ノ
全部、魚介類ニ至ルマデ一掃ニナラウト云
フ考デアリマス、恒久的ノ措置ト云フ方ハ
中々ムツカシイ問題デアリマシテ、目下急
イテ研究致シテ居リマス、御答ノ點ハ主トシ
テ臨時の應急對策ノヤウニ承ツタノデア
リマスガ、出荷團體ニ對シマシテハ、大體
出來ルダケ範圍ノ統制ヲ圖リタイト云フ
趣旨ノ下ニ、企業院ヲ中心ト致シマシテ、
案ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、只今御答ノ
ヤウニ、現在各地ニアル出荷團體、青森縣
ニ付テ申シマス、林檎ニ付テ同業組合、
商業組合、任意組合トアリマスガ、是等ノ
出荷團體此ノ際非常ニ變革致シマシテ、
今申上ゲタヤウナ目的ニ持ツテ來ヨウト云
フノデアリマス、出來ルダケ現在アル出
荷團體ニ付テ配給上無理ノアル點ヲ調和シテ居
ルノデアリマシテ、其ノ調和ヲ圖ルニ付テ農會
等ニ斡旋ヲ勸メルト云フコトハ考ヘラレ
ノデアリマスガ、今マデノ配給系統ヲ全然
變更致シマシテ、今御答ノ結果ヲ生ズルコ
トニナルヤウナ考ハ持ツテ居ラスノデアリ
マシテ、或ハ其ノ土地々々ニ依ツテ考ヘナ
クテハナリマスガ、農會等ヲ斡旋セシメ
マシテ、先程申上ゲタ趣旨ノ配給出荷ヲヤ

ツテ行キタイト考ヘテ居リマス、具體的ノ
問題ニ付キマシテハ、農林省ノ農務局ト打
合セマシテ、各地ノ實情ニ副フヤウナ施設
ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○小野委員 只今御答ヲ伺ヒマス、恒久
的ノ配給機構ヲ革新ト申シマスガ、改革ト
申シマスガ、臨時の措置ト二本建ヲ御考
ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、
〔松川委員長代理退席、野村委員長著
席〕

恒久的ノ施設ト致シマシテハ、先般來此ノ
議會ノ初メカラ世間ニ傳ヘラレテ居リマス
所ノ、中央卸賣市場ノ改革ニ依ツテ、一般
ノ生鮮食料品ノ出荷配給ニ新機構ノ制度ガ
確立スル、斯ウ云フヤウニ承知致サレルノ
デアリマス、更ニ目下ノ急ニ應ズル爲ニ、臨
時的ノ措置ヲ考ヘテ居ルノヤウト云フヤウ
ナ仰セノヤウデアリマスガ、此ノ臨時の措
置ト云フノハ、恒久的ノ新機構ヲ確立ガ實
施サレ得ルマデノ暫定的ノ措置ナリト考ヘ
テ宜シイノデアリマスガ、而シテ只今ノ御
答ニ依リマス、農會一本建テヤルノデハ
ナイ、從來ノ出荷機構ノ中デ時勢ニ副ハザ
ルモノハ改革ヲ加ヘルガ、從來ノ通りヤ
セルノダ、斯ウ云フ風ニ其ノ儘認メルノダ、
是等ヤウノモノニシテドウスルト云フヤ
ウナ風ニモ伺ツタノデアリマスガ、從來通
リノモノニ、更ニ農會ニ斡旋ヲサスルコト
コトハ、是等ノ斡旋ニ依ツテヤウノモノニ
スルト云フ意味ニ私ハ拜承シナカッタノデ
アリマスガ、從來ヤウツテ居リマス所ノ三本
建ノ外ニ、農會ニ斡旋サセルト云フコトハ、
農會ヲモ介入セシメテ、四本建ニスルト云
フコトニ解シテ宜シイノデアアルカ、農會斡
旋ノ下ニ從來ノ三本建ヲ、出來ルカ出來ナ

イカハ分リマセズガ、一本建ニシヨウト云
フ御意思デアリマセウカ、其ノ點ヲ併セテ
伺ツテ見タイト思ヒマス
○政府委員 御答ノ恒久的ノ對策ハマダ
申上ゲル程度ニ立ツツテ居リマスガ、今ノ
臨時應急對策ト申シマシタモノモ、現在關
係ノ各省デ出來ル範圍内デ法律ノ改正等ヲ
考ヘテ出來ルダケ生鮮食料品ヲ豊富低廉
ニヤリタイト云フ趣旨ヲ臨時の措置ヲヤウ
テ居ル譯デアリマスガ、決シテ間ニ合セテ
ナモノデハナク、ヤハリ數年續クデアラウ
ト思ハレル此ノ時局ニ對應シマシテ、出來
ルダケ生鮮食料品ノヤウナ國民生活ニ關係
ノ深イモノヲ、今申上ゲタヤウナ趣旨ヲ配
給致シタイト云フ考ヲ以テヤウツテ居ルノデ
ゴザイマス、ソコデ今御答ノ青森縣ノ問題
デアリマスガ、農會ヲシテ斡旋ヲセシムル
ト申シマシタガ、各地ノ事情ニ依ツテ、或
ハ農會トナリ、他ノ機關トナル場合ガアリ
マスガ、從來アル出荷團體ニ加フルニ農會
ト云フ新ナル出荷團體ヲ設ケテ、四本建ニス
ルト云フ趣旨ハナイノデアリマシテ、從
來アル三ツノ出荷團體ガ、私共ノ考ヘテ居
ルヤウナ配給ヲ爲シ得ルヤウニ、調整ヲス
ル機關トシテ農會ヲ舉ゲタイ、尙ホ具體的
ニハ農林省ト打合セテヤル積リデアリマス
ガ、新ニ出荷團體ヲ認メルト云フヤウナ意
味デ農會ヲ使フ譯デアリマセズ

デアリマス、法律ニ依ル根本制度ノ改正
ハ中々難シイト申シマセウカ、各種ノ
色々ノ議論ガアリマシテイカスカラ、政府
ノ方デハ非常ニ好意ヲ持ツテソコマデ行
ク、ウツチヤウツテ置ク譯ニハイイカスカラ、
法律ニハ依ラズニ宜シイト云フ御考ガアリ
マセウガ、一方カラ言ヒマス、難カシイ
モノニハ手ヲ著ケズニ、勅令デアリ得ルモ
ノハ勅令デ、易キニ就タト云フ風ニ考ヘラ
レタト思ヒマスガ、ソレニ依ツテ損害ヲ受
ケル者ガ出來ナケレバ宜イノデアリマス、
甚シク不當ナルヤリ方ヲシテ居ル者ガ、是
ガ爲ニ從來ノヤウナコトガ出來ナクナツタ
トシテモ、是ハ已ムヲ得ナイイカモ存ジマセ
ズガ、然ラズシテ急激ナ變革ニ依リ相當大
ナル犧牲ヲ拂フ者ガアルトスルナラバ、私
ハ實行ニ容易イ所ノ勅令デ左様臨時の
措置ヲ執ルコトハ、考ヘヤウニ依ツテ甚ダ
怪シカラス——ト申シテハ言葉ガ適當デナ
イカモ知レマセズガ、遺憾ノ點ガアルノデ
ハナイカ、ソレデスカラ根本的對策ヲモ無
論考ヘテ居ルノデセウガ、イツ頃ニナレバ
政府ノ案方立ツテ、其ノ根本對策ガ確定ス
レバ、ソコデ今ノ臨時の措置ハ廢メ
ラ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シイカト云フコ
トヲ先刻御答申上ゲタノデアリマス、ソレ
ニ對シテハ御答ガカウツタ、又根本的ノ對
策ハ難カシイト仰シヤイマスガ、イツ頃政
府ニ於テ確定ノモノニナルカ、斯ウ云フ
見透シヲモ臨時の措置ヲスル以上ハ伺ツテ
置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、
更ニ又從來ハ三本建デアッタガ、新ニ農會ヲ
加ヘテ四本建ニスルノデアリナイ、農會ニハ
地方ノ實情ニ即シテ唯斡旋ノ勞ヲ執ラスノ
ダ、斯ウ云フ御話デアツテ、其ノ間ノ意味

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第十回 昭和十五年三月四日

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第十回 昭和十五年三月四日

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第十回 昭和十五年三月四日

第六期第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會議錄 第十回 昭和十五年三月四日

甚だ明瞭ナラザルモノガアルヤウニ私ハ拜
承シタリデアリマスガ、モウ少シハツキリ
ト商工、農林兩當局者カラ其ノ點ヲ伺ツテ
見タイト思ヒマス

○土屋政府委員 農會ノ統制ノ事ニ付テ御
質問デゴザイマスガ、私共ノ考ヘテ居ル方
法ハ、現在ノ青果物ハ、一口ニ申セバ無統
制ニ市場ニ出荷サレテ居ルノデアリマス、
出荷ノ主體ハ産業組合モアリマスシ、出荷組
合モ、會社モ、同業組合モ、色々ノモノガ
ゴザイマスガ、諸々各自ノ立場カラ市場ニ
出荷シテ居ル、隨ヒマシテ或ル時ハ或ル市
場ニ非常ニ暴落ヲ來シマス、又或ル時ハ荷物ガ
價格ノ暴落ヲ來シマス、價格ガ暴騰致シ
マス、ソコデ考ヘ方トシテハ、大體全國ノ
市場デハゴザイマセス、六大都市ガ主デゴ
ザイマスガ、各市場別ニ何ノ品物ガイツ頃
ドウ云フ程度ノ需要ガアルカト云フコトハ
大體分ツテ居リマス、帝國農會ガ多年經驗
ヲヤツテ居リマスカラ分ツテ居リマス、
其ノ知識ト技能ヲ利用致シマシテ、大體東
京ナラバ東京ノ中央市場ニ、玉葱ハ何月ニ
ドノ位アツタ宜イカ、林檎ハ何月ニドノ
位アツタ宜イカト云フ、其ノ數量ニ近イ
モノガ出荷サレテ参リマス、價格ノ暴騰
暴落ガゴザイマセスカラ、大體平均シテ公
正ナ價格ノ維持ガ出來ルデアラウ、是ガ根
本ノ考デアリマス、ソコデ農會ガ致シマス
統制ハ、其ノヤリ方ヲ決メルノデゴザイマ
ス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、法律ヲ作ルヤウ
ナモノデアリマシテ、其ノ法律ヲ實行致シ
マスノハ各團體ガヤル、ソコデ林檎ニ付テ
申上ゲマスレバ、帝國農會ガ青森縣農會ト
相談致シマシテ、例ヘバ東京ノ市場ニハ是

レ是レ斯ウ云フ數量ヲ何時頃出シタラ宜シ
イ、ソレハドウ云フ程度ヲ取ツテ出セト云
フヤウナ、出荷ノ方法、數量、時期等ヲ決
定スル、サウ致シマス、既設ノ出荷團體
ガ其ノ決メラレタコトニ從ツテ出荷スル
コトコトニナリマスカラ、先程商工省ノ政
府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、新シイ出
荷團體ガ出來ル際デハゴザイマセス、詰
リ既設ノ出荷團體ガ出荷致シマス場合ニ、
一定ノ計畫ニ從ツテ出荷スル、其ノ計畫ヲ
農會ガ作ル、斯ウ云フ風ニ今考ヘテ進ンデ
居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○小野委員 御趣旨ハ洵ニ結構ダト私思ヒ
マス、所ガ今マデ實施シテ居リマス所ノ實
情ヲ見テマシマス、或ル場合ニハ中央ノ市
場ニ荷物ガ澤山アルノニ殺到シテ、其ノ爲
ニ暴落スル、又或ル場合ニハ暴騰スル、是
ハ消費者ノ側カラスレバ洵ニ迷惑ナ話ダト
思フデアリマス、サウ單純ニ御考ヘニナ
ルヤウナコトデナクテ、地方ノ出荷團體ハ
極メテ其ノ點ニ現在機械ダト思ツテ居リマ
スガ、種ニハ中央卸賣市場ノ會社ト申シマ
スカ、配給團體カラ色々引合モ參ツテ居ル
ヤウデアリマシテ、少シ値段ガ良イト所謂
呼出シノ電報ニ依ツテ殺到スルヤウナ傾向
ガアルノデアリマス、大體ニ於テ今マデノ
出荷團體ハ、吾々素人ノ考ヘルヤウナモノ
デナシ、又恐ラク失禮ナ申分デアラガ、
アナタ方ガ考ヘルヤウナモノデナシ、各
地ノ市場ノ情勢ト申シマセウカ、値合ヲ見
テ居リマシテ、極メテ巧妙ニ荷物ノ割振リ
ヲシテ居ルヤウニ私ハ承知シテ居リマス、
ソコデ帝國農會ガ從來サウ云フコトニ經驗
ヲ持ツテ居ルコトハ洵ニ其ノ通りデアリマ
セウ、サシウテ縣ノ農會ト能ク相談ヲシテ

ソレ等ノ引越シヲシテ下サル、指導シテ下
サルト云フコトハ、私ハ結構ダト思ヒマス
ガ、何月ニハ消費量ガドウ云フコトノ、
六大都市ニ於ケル各青果物ハ、蔬菜ノ需給
ノ關係ヲ能ク統計ニ依ツテ調査シテ、大體
ソレデ御題シナルト云フコトハ、計畫ト
シテハ洵ニ結構ダト思ヒマス、ケレドモ實
際ノ問題トナルト申サウハ行カヌヤウデ
アリマス、其ノ關係ノ機械ナ點ハ寧ろ今マ
デ多年ノ經驗ニ依ツテヤツテ居ル者ガ、極
メテ鋭敏ニ、自己ニ損害ノナイヤウニ配
シテ居ル事口除計ナモノガ入ツテ商標ヲ失
スル虞ガ多分ニアルト云フコトヲ考ヘナケ
レバナラスト思フデアリマス、此ノ事變
下ニ際シテ多數ノ國民ニ其ノ生活必需品デ
アル所ノ生鮮食品ヲ豐富ニ低廉ニ配給ス
ルト云フ根本ノ御趣旨ハ洵ニ御尤モデアリ
マスガ、個々ノ問題ニ付キマシテハ、其ノ
出荷配給ノ關係ハ商會ノ關係デ、今當局
間デ御心配ニナツテ居ルヤウナコトガ、折
角實施サレテ見マシテモ、中々其ノ通りニ
參ラスト云フコトモ、實施前ニ御考慮ニナ
ルベキダト思ヒマス、而シテ今ノ御話ヲ伺
フト、主トシテ帝國農會ト連絡ヲ取ツテ縣
農會ガ之ニ「タッチ」スルト申シマセウカ、
農會ガ之ニ「タッチ」スルト申シマセウカ、
ウ云フコトガ果シテ迅速機械ニヤリ得ルカ
ドウカト云フコトモ、私ハ非常ニ考慮ヲ要
スルト思フ、私ハ商會ノコトハ素人デ全然
分リマセスガ、極メテ迅速機械ト云フコト
ガ第一ノ要點トナツテ居ルヤウニ承知スル
ノデアリマス、隨テ例ヘバ東京ニ一週出シ
タガ、東京ニ荷ガ多イト直ダ途中カラ大
阪、下關方面ニ廻スト云フコトモ屬聞イテ

ノ統制ハ唯漫然タルモノデ、吾々ハ何處ニ
聞イテモ分ラヌヤウナ状態デアリマスガ、
其ノ邊ニ付テ何カ御考ガアリマスカ、ソレ
ヲ伺ヒタイ

○牧政府委員 今マデ御話申上ゲタノハ大
體企業院ヲ中心トシテ纏マリマシタ案ヲ申
上ゲタノデアリマシテ、各地ノ統制ノ具體
的方法ニ付キマシテハ、今御話ノヤウナ點
ヲ色々御聽キシタ上デ具體的ニ決メテ行キ
タイト思ツテ居リマス、尙ホ具體的ニ效果
アル統制ノ方法ト致シマシテ、釘ノ配給ヲ
握ツテ、ソレニ依ツテヤツタ宜イデハナ
イカト云フ御意見、或ハ其ノ通りデアルカ
モ知レマセスガ、私ノ所管ト餘リ懸達ツタ
所管デアリマシテ、其ノ點御答ガ出來ナイ
ノデアリマスガ、具體的ニ統制方法ハ今申
上ゲタ通り、抽象的ニ決ツタバカリノ所デ
アリマスカラ、各地ノ事情ヲソレニ合フヤ
ウニ話シテ行カウト考ヘテ居ル譯デアリマ
ス

○土屋政府委員 農會ノ統制ト云フ文字ニ
付テモウ少シ説明ヲ補足シテ置キタイト思
ヒマスガ、今私共ガ考ヘテ居リマスノハ、
農會ガ出荷統制ノ計畫ヲ立テルト云フコト
デアリマシテ、必ズ農會ノ手ヲ經ナケレバ
出來ナイト云フ譯デハナイデアリマス、
ダカラ農會ガ統制シテ統制スル場合モ
モアリ、又農會ガ統制シテ統制スル場合モ
アラウト思ヒマス、例ヘバ青森縣ノ林檎ニ
付テ現在農會ガ全然「タッチ」シテ居ナイニ
拘ラズ、今度ハ農會ガ統制シナケレバ出荷
サセナイト云フコトニ、必ズシモスル必要
ハナイデアリマシテ、農會ハ先程申上ゲ
マシタヤウニ、出荷ノ筋ヲ決メマシテ、其
ノ筋ニ從ツテ從來ノ出荷團體ガ出スト云フ

居ルノデアリマス、デアリマスカラ是ハ私
自分ノ老婆心カラ申シテ何デスガ實際ソ
レ等ノコトヲ素人トシテ見聞シテ居ル私ト
シテハ、當局ノ折角ノ御苦心モ、却テソレ
ガ爲ニ複雑多手ナ數ヲ加ヘマシテ、生産
者及ビ出荷者ノ爲メ圖利目的ニ副ハザルコ
トガ出來ルデハナイカト思フ、是等ノ點
ニ深甚ナル考慮ヲ御加ヘ下サルコトヲ切ニ
希望シテ置キタイト思ヒマス

○土屋政府委員 私共ノ考ヘテ居リマス出
荷統制ニ付キマシテハ、只今小野君ノ御注
意ニナリマシタ點ハ洵ニ御尤モニ拜承致シ
マス、其ノ御趣旨ニ依リマシテ此ノ仕事ヲ
ヤツテ行キタイト思ヒマス、唯口デ申スコト
ハ、極メテ簡單ナコトデアリマスガ、實行ハ中
容易ナラザル問題デアリマスカラ、先程申
上ゲマシタ通り、其ノ細目ニ付テハマダ決定
シテ居リマセスケレドモ、是ハ系統農會ヲ使
フコトニナルト思ヒマス、帝國農會カラ町村農
會ニ至ルマデノ總動員デナイト出來マセ
ス、ソレカラ縣農會自身ガ商賣ヤルコト
ハ少イト思ヒマス、尤モ物ニ依リマシテハ、
現在、例ヘバ白菜ノヤウナモノ、或ハ蜜柑
ノヤウナモノ、サウ云フモノハ農會ガ委託
ヲ受ケテ現在ヤツテ居ルモノガアリマス
カ、サウ云フモノハ從來ノ方針デヤルコト
ニナリマセウガ、新ニ例ヘバ林檎ニ付テ、
農會ガ其ノ委託ヲ受ケテ、電報一本デアツ
チヘヤツタリ、コウチヘヤツタリシテ荷
廻スト云フヤウナコトハ、是ハ出來ナイト
思ヒマス、私共モサウ考ヘテ居ルノデアリ
マシテ、何ニ致シマシテモ、此ノ問題ハ非
常ニ重大ナ問題デアリ、又困難ナ問題デア
リマシテ、只今ノ御質問ノ御趣旨ニ從ヒマ
シテ、其ノ扱ヒニ付キマシテハ、極メ慎重

ニ、實情ニ即スルヤウニ致シタイト思ヒマ
ス

○小野委員 先刻モ承ツタノデアリマスガ、
ソレハ最近發表シテ實施サレル御見込デア
リマセウカ、ドノ點マデ進ンデ居リマセウ
カ、ソレカラ是ハ臨時的ノ措置デアルカラ、
將來ト申シマシテモ、何年モ先ノコトデハ
ナイデセウガ、根本的ナヤハリ法律ニ依リ、
サウ云フ制度ノ確立ヲスル御意思デアリマ
スカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○牧政府委員 御尋ノ恆久的ノ方策ハ現在
ノ配給機構ノ改革、其ノ他非常ニ重要ナ問
題ヲ含シテ居リマシテ、此ノ成案ヲ得ルニ
ハ少シ時日ヲ要スル關係ガアリマス、又關
係各省間ニモ一應折衝シ、考慮シナケレバ
ナライ色々ナ意見ガアリマス、ソレ等ノモ
トヲ纏メルノニ幾分ノ時日ヲ要スルト考ヘ
テ居リマスガ、此ノ問題ハ最モ重大ナ問題
ト致シマシテ、主トシテ企業院ガ中心ニナ
ツテ急イデ研究スルコトニナツテ居ルノデ
アリマス

○小野委員 今ノ臨時的措置ニ對スル時期
ハ分リマセウカ

○牧政府委員 恆久的問題ハサウ云フ風デ
アリマスガ、只今御尋ノ時日ハ申上ゲ發ル
ノデアリマス、ソレカラ臨時的ノ措置ハワ
イ數日ノ内ニ決ルヤウニナツテ居リマス

○小笠原委員 此ノ林檎ノ出荷ニ對シマシ
テハ、私モ販賣ノ方ニ關係シテ居ルノデ
アリマスガ、是ハ青森縣ニ取リマシテハ農
民ノ生活ノ根據ヲ成シテ居ルノデ、餘程慎
重ニヤツテ裁カスト、今ノヤウニ簡單ニ農
會ニ統制セシメテ片付ケルヤウナコトデ
ハ、餘程是ハ重大問題デス、從來出荷統制ニ
對シマシテハ、縣當局ガ多年此ノ問題ヲ統

制シヨウト掛ツテ、現在統制組合ノ會長ハ
經濟部長ガ擔任シテ居ルヤウデアリマス、
ソレデ色々ナ助成其ノ他權力等ヲ以テヤツ
テ見マシタガ、中々是ハ巧行カヌノデア
リマス、併シ此ノ統制スルコトニ對シテハ、
吾々無論反對シマセス、大イニ賛成デアリ
マス、唯其ノヤル方法デアリマス、農會ハ
今マデ林檎ニ付テハ何ニモ關係シテ居ラヌ
ノデアリマスカラ、之ヲ新ニ農會デアラウ
ト云フコトニナルト、ヤラウト云フ其人一
言ニ對シテモ大反對ガ起ケラウト考ヘ
ル、今ノ農務局長ノ御話ハ農會ニナラセ
ヤウデヤラセナイヤウ云、實際ヲ見テヤル
ト云フコトデアルカラ、其處ハドノヤウニ
吾々承レバ宜イカ分ラヌガ、兎ニ角然ルベ
ク宜クヤルト云フコトガカラ、宜クヤルダ
ラウトハ信ジテ居リマスケレドモ、唯商工
省ニ伺ヒタイノハ、統制ヲシタイト云フコ
トデアリマスガ、一番出荷ニ困難シテ居ル
ノハ釘デアリマス、昨年ノ如キハ出荷數量
ノ半分ノ釘シカ配給ニナツテ居リマセス、
アトハ全部間デス、開釘デヤツトドウニカ出
荷シタヤウナ實情デアリマス、若シアナタ方
ガ本當ニ出荷統制ヲスルト云フコトナラバ、
釘ヲ握ツテ釘ノ配給シテ出荷統制ヲヤレバ
一番簡單ニ出來ル、其ノ代リ責任ヲ負ウテ全
部ノ釘ヲ配給スルト云フコトヲ明答ヲシテ、
サウシテ實行シテ見セレバ、吾々ノ方ノ青
森縣下ノ各組合共満足スルダラウト思フ、
此ノ釘ノ配給ニ對シテレ程ノ費用ヲ費シ、
ドレ程ノ運動ヲシテ苦心シテ居ルカト云フ
コトヲ考ヘマスト、是サハ解決付クナラバ、
容易ニ出荷ノ方ハ統制ガ取レルダラウト思
フノデアリマスガ、其ノ邊ニ何カ御研究ガ
アリマスカドウカ、其ノ御研究ガナイト今

コトデ宜イダラウト思ヒマス

○小野委員 先刻來地方ノ事情ニ應ジテヤ
ルト云フ御答ガアツタノデアリマスガ、青
森縣ノ如キハ從來林檎ノ出荷ニ際シテハ、
農會ガ全然「タッチ」シテ居ナイ、或ハ仙臺ノ
如キハ白菜ノ出荷ニ際シテハ農會ガ主トシ
テヤル、ヤハリ地方ノ實情ニ依ツテ、從來
或ハ青果、或ハ蔬菜ニ深イ關係ヲ持ツテ、
最モ其ノ配給ナリ或ハ出荷ナリ或ハ消費ナ
リニ通ズルモノニハ、或ル場合ニハ農會ニ
關係ヲサセルガ、青森縣ノ林檎ノ如キ、從
來何モシテ居ナカウタモノニ對シテハ、計
畫ハ立テカドウカ知ラヌケレドモ、深ク
立入ルト云フコトハシナクテモ、即チ之ニ
依ラナクテモ出荷ヲ許スノダ、無關係デハ
ナイガ、餘リ深イ關係ヲ持タナイノダ、斯
ウ云フ風ニ承知シテ宜イカドウカ、農務
局長ニ伺ヒタイ

○土屋政府委員 青森縣ノ問題ヲドウスル
トカ、宮城縣ノ問題ヲドウスルトカ云フコ
トハ、一寸此ノ席デハ御答致シ難キマスガ、
大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、先刻申上ゲ
タ通りデアリマシテ、農會デ統制致シマス
ストカ、出荷販賣ノ時機、數量ニ關スルコ
トデアリマストカ、サウ云フモノノ大筋ヲ
決メルノデアリマシテ、其ノ實行ハ必ズシ
モ農會ガヤラナクテモ宜イダラウト云フノ
デアリマス

○林委員 私ハ大藏大臣ニ東北關係ニ付テ
二點御尋申上ゲタイト思フノデゴザイマス
其ノ第一點ハ稅制改革ト東北トノ關係ハ
ドウデアアルカト云フコトヲ御尋シタイ、ソ
レヲ細カニ分ケテ御尋スルナラバ、第一點
ハ今回稅制改革ヲナサルニ付テ、東北ニ對

カウタガ、ソレハ肥料ノ質銀モソレ程デナ
カウタガデスガ、今年ハ此ノ高イ米ヤ
ニ押サレテ肥料モ手間モ高クナツテ参リマ
スカラ、決シテ昨年ノヤウナ譯ニ行カスト
思ヒマス、事實東北地方ノ農村方面デソ
ナニ良イナラバ、借金ハ減ツテ居ルカト云
フト、農村ニ於ケル最モ苦シイ借金ト云フ
モノハ、決シテ著シイ減少ナドハシテ居
イ、デスカラ裕福デアツテ多ク益々良ク
ルデアラウト云フコトハトシテモナイコト
デアツテ、昨年ノヤウナ空前ノ大豐作デア
レバコソ、初メテ潤ウタノデアリマスケレ
ドモ、今年モ空前ノ豐作ガアルト信ズル譯
ニハ行キマセヌカラ、私共ハ左様ニ業
觀スル譯ニハ行キマセヌ

更ニ聴キタイコトハ、今日ノ新聞ニ愛國
債券ヲ大藏省ハ御賣出シニナルサウデスガ、此
ノ愛國債券ト東北トノ關係ヲドウ見テ居
ルカ御聴キタイ、ト云フノハ、愛國債券ハ何
トシテモ射撃心ヲ唆ツテ、債券ヲ賣出ス、
其ノ事柄ガ惡イトハ私ハ考ヘテ居ナイノデ
アリマス、相當射撃心ト云フモノヲ利用シ
テヤルベキモノナリト云フ考ヲ私ハ持ツテ
居ルノデ、ソレニハ反對ハシナイノデアリ
マスガ、射撃心ハ誰ガ一番持ツテ居ルカト
云フト、是ハ一番二番ト等級ヲ付ケルノハ
如何カト思ヒマスガ、働イテモ、食ヘナ
イノ方ガ、惜テ何カ良イコトデモナイカ
ト考ヘルノガ人情デアラウト思ヒマス、困
テ居ル方ガ餘計神頼ミ心惚悴心ガ多イト思
フノデアリマス、恐ラク總額ニ於テハ東北
ハ少イカドウカ知リマセヌガ、東北ノ民力
カラ推定シタナラバ、東北方之ヲ買取ル比
率ハ相當高イモノデアラウト思ヒマス、サ
ウシテ見ルト、先程來申シマシタヤウニ、

東北ニ札ノ流レテ行キ方ガ少イ、イン
レト云フノハ東北ニハナイ、股販產業方
面ニ多ク行ツテ困ルト云フノデ、其ノ方面
ノ札ヲ吸込マウト云フ債券賣出ガ、其ノ方
面ノ影響ハ少ナクテ、比較的の多ク、イン
フレノナイ地方カラ吸込スルト云フコト
ニナレバ益々高低ノ差ガ付イテ來ル、凸凹
ノ差ガ益々甚ダシクナツテ、東北ノ方ハ段々
弱小國民ニナリ、他ノ地方ハ益々強大ナル
力ヲ持ツト云フヤウナ等差ヲ付ケテ行ク
結果ニナリハシナイカト、私ハ憂フルノデ
アリマス、其ノ點ハドンナ風ニ御考デアリ
マスガ

○木村政府委員 只今愛國債券ト一實ハ
昨日ノ閣議ヲ報國債券ト名前ハ決ツタヤウ
デアリマスガ、是ト東北トノ關係ニ付テ御
尋ニナリマシタガ、是ハ林サンナドモ只今
申サレタヤウニ、ドウモ今日ノ時局カラ考
ヘテ、深山ノ政府資金ガ放出サレテ居ル、
之ヲ相當吸收スル必要ガアル、ソレニハ斯
ウ云フ報國債券ノ如キモノモ必要デアル、
斯ウ云フ御説デアリマシテ、其ノ御説ニ從
ツテ政府モヤツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリ
マスガ、其ノ點ハ御異存ガナイヤウデア
リマス、併シ東北地方ニハソレヲヤツテハ
ドウモ資金ガ吸收サレテ困ルハナイカト
云フコトデアリマスガ、從來ヨリ比較シテ東
北地方ニ資金ガ潤澤ニナツテ居ルト云フコ
トハ否定サレナイ事實デアリマス、數年前
ニ比較致シマス、今日ハ金ノ廻リガ多ク
ナツテ居ル、斯ウ云フコトガ否不定出來
ナイ所デアリマシテ、郵便貯金ト云ヒ、銀
行預金ト云ヒ、其ノ統計ノ示ス所ニ依レバ、
増加シテ居ルコトモ事實デアリマス、又聞
ク所ニ依リマスルト、或ハ不健全ナ株券等

ニ投資スル者ガ、東北地方ニ於テアルト云
フコトヲ聞イテ居ルヤウナ次第デアリマス
カラ、一概ニドウモ東北地方ニハ報國債券
ハ困ルト論ズルコトハ如何カト思ヒマス、
殊ニ今申サレタヤウニ、其ノ爲ニ產業資金
ト生活上ノ方面ノ金ニ窮乏ヲ來スト云フコ
トナラバ、是ハ勿論ナル譯ニハ參リマセヌ
ケレドモ、サウシテ國家ニ奉公スルト云フコ
トハ、私ハ極メテ結構ナコトデナカラウカ
ト思ヒマス、唯實施ノ方法等ニ付キマシテ
ハ、只今御述ベニナリマシタ所ヲ參酌シ
テ、十分注意致サナケレバナラヌト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○林委員 私人ツモ效果ナシトハ思ヒマ
セヌ、無論相當ノ通貨回收ノ役割ヲ果スコ
トガ出來ルト思ヒマスケレドモ、何分今年モ
百三億ノ金ヲ流シテヤル、其ノ外合計スレ
バ二百億近イ札ガ流レテ行クノデスカラ、
五億十六億ノ金ヲ吸取ツテモ、全體ニドレダ
ケノ效果ヲ持ツカト云フコトニ付テハ私ハ
懸念ヲ持ツ者デアリマス、而モ私ハ東北ニ
ハ好影響ヲ持タナイノデハナイカト密々憂
ヘル者デアリマス、此ノ際私ハ自分ノ考ヲ
申上ゲテ、大藏當局ノ御參考ニ供シテ御意
見ヲ伺ヒタイコトガアリマス、幸ヒ石渡書
記官長モ御見エノヤウデアリマスガ、是
非御聴キ願ヒタイト思フコトハ、斯ウ云
フ「インフレ」ノ起ツテ來ルコトニ付テ最モ
打撃ヲ蒙ルノハ、東北方面ノ農民ガ一番痛
手ヲ蒙ル譯デアリマス、私ノ考ヲ率直ニ申
シマスナラバ、先ツ以テ斯ウ云フ戰時體制
下ニ於テナサネバナラヌコトハ、日本國民ノ
生活公定價額トモ申シマセウカ、國民ノ
生活基準ヲ定メル必要ガアルト思フ、日本國

民ハ夫婦ニ子供三人親一人ト云フヤウナ、先
ヅ六七人位ノ家族ヲ背負ツテ行クノ、ドノ
位ノ札ガナケレバナラヌモノデアルカト云フ、大
體ノ公定標準ト云フモノヲ決メルベキモノ
ダト思ヒマス、尤モ次官ノ御話ノヤウニ、
ソレハサウ釘付ケニ出來ヌデハナイカ、或
ル地方ニ依ツテハ云々ト云フ御話モゴザイ
マシタカラ、具體的ニハ多少ノ差別ハゴザ
イマセウケドレモ、大凡國民生活ノ基準ガ
七十四ナラ七十四、八十ナラ八十、或
ハ百圓ニナルカモ知レマセヌケレドモ、大
凡ノ基準ヲ發見スルコトハ容易ダト思ヒマ
ス、又發見サセナケレバ國民生活ニ即シテ
政治ヲ行フコトハ出來ナイト思ヒマス、ソ
コヲ阻ツテ、假ニ七十圓ト云フモノガ基準
生活費デアルトスルナラバ、ソレニ遠イモ
ノハ、ソレニ近イヤウニ、低イモノニ對シ
テハ上ゲテ行クト云フコトニ段々努メテヤ
ラナケレバナラヌ、ソレヲ超過シテ居ルモ
ノニ對シテハ、之ニ對スル對策ヲ執ラナケ
レバナラヌ、例ハバ股販產業方面ニ從事シ
テ居ル所ノ人々ガ、一箇月ニ三百圓、四百
圓取ルコトハ一向珍シクナイ、五百圓モ八
百圓モ職工ガ取ツテ居ル、サウ云フ股販產
業關係ノ人達ニ政府ガ鉅太鼓債券ヲ賣出
シテ見たり、或ハ一割天引シテ見たりシテ
居ルガ、五百圓カラ一割引イテ見たり所ガマ
ダ四百五十圓ノ通貨力購買力ヲ持ツテ居
ル、是デ、インフレ」ガ起ラズニ居リマス
カ、ダカラドウシテモソコニ著眼シテ、標
準生活費ヲ超エタモノヲ何トカシナケレバ
ナラヌ、併シシナガラ、私ハ何モ過激ナコトヲ
申上ゲテ、或ル國ノヤウニ皆取上ゲロト云
フ考デアリナイ、「ヒツトラ」ノ「ナチス」ノ
綱領ヲ見ルト、努力シテ得タル財產ハ其ノ

者ノ所有ニ歸屬セシムベキモノトシテ居
ル、即チ私有財產制ヲ認メテ居ル、私モ是
ハ當然認メナケレバナラヌ原則デアルト思
ヒマス、デスカラ生活ノ標準ヲ超エタモノ
ヲ皆取上ゲルト云フコトハ、毛頭考ヘタコ
トモゴザイマセヌガ、斯ウ云フヤウナ國家
重大ノ時デアリマスガ、其ノ分ヲ親切ニ
預ツテヤツテ宜カラウト思ヒマス、預ツテ
サウシテ高財サセテ置ク、サウシテ時ガ來
タナラバ直チニ返還シテヤツタナラバ、財
産ガ出來ルチヤゴザイマセヌガ、法外ニ金ガ
入レバ兎角有頂天ニナリ勝チデス、殊ニ教
養ノナイ方面ニ金ガ多ク行クト云フコト
ハ、色々弊害コソアレ何ノ利益モナイコト
デアリマス、サウ云フ色々ノ角度カラ考ヘ
テ見マシテモ、連ニ標準生活費ト云フモノ
ヲ早ク發見スルコトガ企業院アタリノ大キ
ナ仕事チヤナイデセウカ、サウシテソレヲ
超過シタモノニ對シテハ課税ナント云フノ
ハ駄目デス、ヤハリソレヲ強制的ニ積立テ
サセテ、通貨力ヲ停止スル、通貨力ヲ停止
シテ置イテ、サウシテ蓄財サセテ財產ヲ作
ラシテ置イテ、時ガ來タナラバ之ヲ渡シテ
ヤツタナラバ、預ケラレタ人モ有頂天ニナ
ラズニ濟ンデシマフ、オ負ケニ財產ガ出來
ル譯デアリマス、サウスレバ、部分的ノ
「インフレ」ガ起ラナイ爲ニ、東北地方ノヤ
ウナ弱イ方面ヘノ惡影響ヲ防止スルコトガ
出來ルノデアリマス、何モ射撃心ニ懸ヘ
テ斯ウシテ債券ヲ發行シテ當該シタヤウナ
コトヲヤリ出サナクテモ宜イノデス、モット
徹底ノナ效果ノナモノデアリマス、ソコ
デ初メテ國民全體ガ事變ニ協力シテ居ルト
云フ實ガ事ヲ來ルト思フ、深ク私ハ之ヲ
考ヘルノデアリマスガ、一ツ之ヲヤツ

テ見ヨウト云フ御考ハゴザイマスマイカ、
御聴キシテ置キタイ
○木村政府委員 今中々大キナ問題ニ付テ
御話ガアリマシタガ、一體通貨ノ量ガドレ
ダケ必要デアルカト云フコトハ、是ハ其ノ
國ノ其ノ時ニ於ケル財政經濟上ノ實際上ノ
需要ニ依ツテ決定スルモノト考ヘマス、隨
テ今日非常ニ莫大ナ豫算ガ出來テ、サウシ
テ深山ノ資金ヲ放出スル、政府資金ガ出ル、
ソレ等ニ依ツテ「インフレ」ガ起ル、
處方アルカラ、是ハ適當ナ對策ヲ講ジナク
テハナラヌ、斯ウ云フ状態ニアリマスノモ、
現下ノ事態ガ是ニ至ラシメテ居ルノデア
リマシテ、林サンノ仰セニナリマシタヤウ
ニ、國民生活ニハ一體ドレダケノ通貨ノ量
ガ必要デアルカ、斯ウ云フコトヲ決メテ、ソレ
カラ割出シテ來ルト云フヤウナコトガ果シ
テ出來マスカドウカ、非常ナ困難ガアリハ
シナイカ、全體トシテ國家ノ財政經濟上ノ
實際ノ需要ト云フコトガ自ラ通貨ノ量ヲ決
定スベキモノデアツテ、サウシテソレガ非
常ニ廣大化シマスルナラバ、ソレヲ回收ス
ル所ノ適當ナ對策ヲ講ズルヨリ外ニ私ハ途
ハナカラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘル次第デア
リマスガ、只今ノ御話ノ點ハ十分參考ニ致
サナクテハナラヌト思ヒマス、又石渡書記
官長モ此處ニ見エテ居リマスガ、何カ御
話ガアラウト思ヒマス

○石渡政府委員 林サンカラ色々御話ゴザ
イマシタガ、中々難カシイ問題デアリマシ
テ、私モ大體ニ於キマシテ大藏政務次官ト
同様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○林委員 大藏次官ノ御話ニ依リマス、
標準生活ニハドレダケノ札ガアレバ宜イカ
ト云フコトハ札カラ決メテ掛ルコトハ中々

面倒ダト云フヤウナ御話ゴザイマスガ、
兎ニ角札ガ多ク流レテ行クコトガ、流レテ
行カナイ方面ニ如何ニ迷惑ヲ掛ケルカト云
フコトダケハ御認メダト思フノデアリマス
ス、例ハバ「デパート」ニ參リマシテモ、高
級品ハ實ニ飛バヤウニ賣レテ居ル、又芝居
ヤ活動ナドモ、吾々ハ行ツタコトハナイガ、
行ツタ人ノ話ニ依ルト、實ニ驚クベキ光景
ダト云フコトデアル、或ハ待合トカ料理屋
トカ云フ方面モ數日モ前カラ申込デ置カ
ナケレバ、連モ空部屋ガナイト云フコトデ
ゴザイマス、サウ云フコトノ爲ニ、據ドコ
ロナク買ハネバナラヌヤウナ人々ニ對スル
價格モ昂上ゲラレテ居ルノデアリマス、
如何ニ實際必要ナ生活品ヲモ壓迫スルカト
云フコトハ、御認メダト思ヒマス、隨テ生
活ニ付テ札カラ決メテ掛ルコトハ出來ナイ
カモ知レマセヌガ、一體米ハドノ位食フカ
ト云フコトハ分リ切ツテ居ルノデス、味噌
ハドレダケアレバ宜イカト云フコトモ分リ
切ツテ居ル、ドレダケ脂ニ要ルカト云フコ
トハ凡ソ常識デ分リ切ツテ居ル、デスカラ
大凡ノ國民生活基準ト云フモノガ立テラレ
ルナラバ、如何ニ幸福ナコトデアリマセ
ウカ、ソコデ此ノ基準ヲ超エタナラバ贅澤
ダ、少シ注意シヨウデヤナイカト云フコトニ
ナツテ銘々ニ自制心モ起ツテ來ル、或ハ此ノ
基準ヲ超エテヤツテ行ケルト云フコトハ幸
福ノコトデアル、感謝シナケレバナラヌト
云フ氣持モ起キテ來ル、何處カニ標準ト云
フモノガナケレバソレガ分ラヌ、幾ラアツ
テモマダ足りナイ、マダ足りナイト云フコ
トデ、遂ニハ自分ノ幸福感サヘモ味ヘナイ
ヤウナコトニナリハシナイカ、サウ云フ色
色ノ意味ニ於テ、私ハ大凡ノ基準ヲ立テテ

レコトハ政府トシテ最モ著眼スベキコト
デアルト思ヒマスノデ、深ク御考慮ヲ願
テ私ノ質問ヲ打切りマス、但シ附加ヘテ置
タコトハ是ハ東北ニ關係ノアル重大問題
アルト云フコトデアリマス、無論國家全般
ニ互ル問題デアリマスケレドモ、此ノ基
準ヲ立テラレルト云フコトガ、如何ニ東北
振興ノ上ニ重大ナル關係ヲ持ツカト云フコ
トニ於テ御考ヲ申上ゲ、又要望申上ゲタ
次第デアリマス
○野村委員 釘本君——敢テ抑ヘル譯デ
ハアリマセヌガ、モウ時間モ時間デアリマ
スノデ、簡單ニ願ヒマス
○釘本委員 東北興業株式會社ト東北振興
電力株式會社トハ疲弊困憊ノ極メテ居ル東
北人ガ多年叫ンデ漸ク興ヘラレタ唯一ノ救
濟策デアリマスガ、其ノ仕事ノヤリ振リ
ニ付テハ、東北人ハ非常ニ注意シテ見テ居
ルノデアリマスガ、存外成績ガ上ラナイ
ノヲ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、
其ノ成績ノ舉ガラナイ理由ハ色々アリマセ
ウガ、其ノ中ノ主ナル理由ハ過日頂戴致シ
マシタ參考書ヲ見テモ分ルノデアリマスガ、
會社ノ見本デモ作ルヤウニ、色々深山ノ會
社ヲ無暗ニ作ツテ、何處ニ主力ヲ注イデ居
ルノカ分ラナイト云フヤウナ状態ニ在ルコ
トガ東北興業會社ノ成績ノ不振ナル主ナル
理由デアルト私ハ思フノデアリマス、近頃
流行シテ居ル重點主義ニ依リマシテ、東北
ニ何ガ最モ必要デアルカ、何處ニ主力ヲ注
グベキカト云フコトヲ考ヘテ、ソコニ主力
ヲ注イダナラバ、昭和十一年ニ始メラレタ
仕事デアルカラ、今時分ハ相當ニ效果ガ上
ツテモ宜イ筈デアリマス、然ルニ報告書ヲ
見ルト云フト、事業ニ著手申上ゲタ、精々

者ノ所有ニ歸屬セシムベキモノトシテ居
ル、即チ私有財產制ヲ認メテ居ル、私モ是
ハ當然認メナケレバナラヌ原則デアルト思
ヒマス、デスカラ生活ノ標準ヲ超エタモノ
ヲ皆取上ゲルト云フコトハ、毛頭考ヘタコ
トモゴザイマセヌガ、斯ウ云フヤウナ國家
重大ノ時デアリマスガ、其ノ分ヲ親切ニ
預ツテヤツテ宜カラウト思ヒマス、預ツテ
サウシテ高財サセテ置ク、サウシテ時ガ來
タナラバ直チニ返還シテヤツタナラバ、財
産ガ出來ルチヤゴザイマセヌガ、法外ニ金ガ
入レバ兎角有頂天ニナリ勝チデス、殊ニ教
養ノナイ方面ニ金ガ多ク行クト云フコト
ハ、色々弊害コソアレ何ノ利益モナイコト
デアリマス、サウ云フ色々ノ角度カラ考ヘ
テ見マシテモ、連ニ標準生活費ト云フモノ
ヲ早ク發見スルコトガ企業院アタリノ大キ
ナ仕事チヤナイデセウカ、サウシテソレヲ
超過シタモノニ對シテハ課税ナント云フノ
ハ駄目デス、ヤハリソレヲ強制的ニ積立テ
サセテ、通貨力ヲ停止スル、通貨力ヲ停止
シテ置イテ、サウシテ蓄財サセテ財產ヲ作
ラシテ置イテ、時ガ來タナラバ之ヲ渡シテ
ヤツタナラバ、預ケラレタ人モ有頂天ニナ
ラズニ濟ンデシマフ、オ負ケニ財產ガ出來
ル譯デアリマス、サウスレバ、部分的ノ
「インフレ」ガ起ラナイ爲ニ、東北地方ノヤ
ウナ弱イ方面ヘノ惡影響ヲ防止スルコトガ
出來ルノデアリマス、何モ射撃心ニ懸ヘ
テ斯ウシテ債券ヲ發行シテ當該シタヤウナ
コトヲヤリ出サナクテモ宜イノデス、モット
徹底ノナ效果ノナモノデアリマス、ソコ
デ初メテ國民全體ガ事變ニ協力シテ居ルト
云フ實ガ事ヲ來ルト思フ、深ク私ハ之ヲ
考ヘルノデアリマスガ、一ツ之ヲヤツ

テ見ヨウト云フ御考ハゴザイマスマイカ、
御聴キシテ置キタイ
○木村政府委員 今中々大キナ問題ニ付テ
御話ガアリマシタガ、一體通貨ノ量ガドレ
ダケ必要デアルカト云フコトハ、是ハ其ノ
國ノ其ノ時ニ於ケル財政經濟上ノ實際上ノ
需要ニ依ツテ決定スルモノト考ヘマス、隨
テ今日非常ニ莫大ナ豫算ガ出來テ、サウシ
テ深山ノ資金ヲ放出スル、政府資金ガ出ル、
ソレ等ニ依ツテ「インフレ」ガ起ル、
處方アルカラ、是ハ適當ナ對策ヲ講ジナク
テハナラヌ、斯ウ云フ状態ニアリマスノモ、
現下ノ事態ガ是ニ至ラシメテ居ルノデア
リマシテ、林サンノ仰セニナリマシタヤウ
ニ、國民生活ニハ一體ドレダケノ通貨ノ量
ガ必要デアルカ、斯ウ云フコトヲ決メテ、ソレ
カラ割出シテ來ルト云フヤウナコトガ果シ
テ出來マスカドウカ、非常ナ困難ガアリハ
シナイカ、全體トシテ國家ノ財政經濟上ノ
實際ノ需要ト云フコトガ自ラ通貨ノ量ヲ決
定スベキモノデアツテ、サウシテソレガ非
常ニ廣大化シマスルナラバ、ソレヲ回收ス
ル所ノ適當ナ對策ヲ講ズルヨリ外ニ私ハ途
ハナカラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘル次第デア
リマスガ、只今ノ御話ノ點ハ十分參考ニ致
サナクテハナラヌト思ヒマス、又石渡書記
官長モ此處ニ見エテ居リマスガ、何カ御
話ガアラウト思ヒマス

○石渡政府委員 林サンカラ色々御話ゴザ
イマシタガ、中々難カシイ問題デアリマシ
テ、私モ大體ニ於キマシテ大藏政務次官ト
同様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○林委員 大藏次官ノ御話ニ依リマス、
標準生活ニハドレダケノ札ガアレバ宜イカ
ト云フコトハ札カラ決メテ掛ルコトハ中々

面倒ダト云フヤウナ御話ゴザイマスガ、
兎ニ角札ガ多ク流レテ行クコトガ、流レテ
行カナイ方面ニ如何ニ迷惑ヲ掛ケルカト云
フコトダケハ御認メダト思フノデアリマス
ス、例ハバ「デパート」ニ參リマシテモ、高
級品ハ實ニ飛バヤウニ賣レテ居ル、又芝居
ヤ活動ナドモ、吾々ハ行ツタコトハナイガ、
行ツタ人ノ話ニ依ルト、實ニ驚クベキ光景
ダト云フコトデアル、或ハ待合トカ料理屋
トカ云フ方面モ數日モ前カラ申込デ置カ
ナケレバ、連モ空部屋ガナイト云フコトデ
ゴザイマス、サウ云フコトノ爲ニ、據ドコ
ロナク買ハネバナラヌヤウナ人々ニ對スル
價格モ昂上ゲラレテ居ルノデアリマス、
如何ニ實際必要ナ生活品ヲモ壓迫スルカト
云フコトハ、御認メダト思ヒマス、隨テ生
活ニ付テ札カラ決メテ掛ルコトハ出來ナイ
カモ知レマセヌガ、一體米ハドノ位食フカ
ト云フコトハ分リ切ツテ居ルノデス、味噌
ハドレダケアレバ宜イカト云フコトモ分リ
切ツテ居ル、ドレダケ脂ニ要ルカト云フコ
トハ凡ソ常識デ分リ切ツテ居ル、デスカラ
大凡ノ國民生活基準ト云フモノガ立テラレ
ルナラバ、如何ニ幸福ナコトデアリマセ
ウカ、ソコデ此ノ基準ヲ超エタナラバ贅澤
ダ、少シ注意シヨウデヤナイカト云フコトニ
ナツテ銘々ニ自制心モ起ツテ來ル、或ハ此ノ
基準ヲ超エテヤツテ行ケルト云フコトハ幸
福ノコトデアル、感謝シナケレバナラヌト
云フ氣持モ起キテ來ル、何處カニ標準ト云
フモノガナケレバソレガ分ラヌ、幾ラアツ
テモマダ足りナイ、マダ足りナイト云フコ
トデ、遂ニハ自分ノ幸福感サヘモ味ヘナイ
ヤウナコトニナリハシナイカ、サウ云フ色
色ノ意味ニ於テ、私ハ大凡ノ基準ヲ立テテ

ノ所テ事業ニ著手シタイト云フ位ノモノ
デ、實際ノ成績ハ一ツモ見ルベキモノガナ
イノデアリマス、是ハ私ハ甚ダ遺憾ノコト
ダト思フテ居リマス、然ラバ東北デ何ガ一
番大切カト云ヘバ、東北ハハリ農業地帯
デアリマスカラ、農業ニ關シテコトニ主力
ヲ注グベキデアルト思フノデアリマス、然
ルニ色々ノ化學工業ノヤウナ小サナ會社ノ
設立ハ容易ニ許シマシテ、サウシテ石灰
素トカ或ハ硫酸トカ云フヤウナモノニ對シ
テ仕事ヲセントシテ居ルモノハ、大藏省ガ
許可シナイト云フヤウナコトガ報告書ノ中
ニ書イテアルノデアリマスガ、是ハ大變誤
ツテ居ルコトデハナイカト思フノデアリマ
ス、私ハ肥料ノヤウナモノニ全力ヲ注
イデ、此ノ四年間仕事ヲシタナラバ、今
時分ハ相當ニ成績ヲ上げて、東北地方ガ肥
料ノ爲ニ大ニ苦シメ居ルト云フヤウナコ
トヲ幾分緩和シ得テデアラウト思フノ
デアリマス、御承知ノ通り東北地方ハ早タ寒
サガ来マス關係上、植付モ早クシナケレバ
ナリマセヌノデ、目下大變肥料ニ困ツテ居
ル、隨テ大變高イ肥料ヲ使ハナケレバナラ
ス、寧ロ魚粕ヲ其ノ他ノ肥料ヲ買フヨリ
モ、米ヲ肥料ニシテ方ガ却テ安上リダト云
フ位ノ状態ニアルノデアリマス、サウ云フ
地方ニ對シテ此ノ肥料ノ製造ト云フヤウナ
コトニ何故獎勵ノ方針ヲ執ラナイカ、サウ
シテ色々ノ餘リ關係ノナササウナ會社ヲ無
暗ト作ラセルヤウナ方針ヲ執ルノデアアル
カ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、
先日ノ農林大臣ノ説明ニ依ツテモ東北ニ對
スル肥料政策ハ未ダ立ツテ居ラヌヤウデア
リマシテ、東北民ハ大變其ノ點ヲ憂慮シテ
居ルノデアリマス、私ハ此ノ東北興業會社

ハ色々ノモノニ手ヲ著ケナイデ、重點主義
ニ依ツテ一日モ早ク成績ヲ擧ゲルヤウニシ
テ賞ヒタイト思フノデアリマス、現在ノ食
糧ヲ供給スルトカ、燃料ヲ供給スルトカ云
フヤウナコトニ付テ、大變東北ハ重要ナ役
割ヲ爲シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云
フ點ニ便宜ヲ與ヘルヤウニ願ヒタイト思フ
ノデアリマス、何ダカ今日ノ新聞ニ依リ
云フト、大變ナドニ關シテモ、何カ新シイ
施設ヲサレルサウデアリマスガ、サウ云フ
點ニ對シテモ東北ト云フモノヲドウ云フ風
ニ御認メニナツテ居リマスガ、此ノ際伺ツ
テ置キタイト存ジマス

○石渡政府委員 段々ノ御話御尤モノ點モ
多イノデアリマスガ、併シナガラ會社ト致
シマシテモ、隨分色々ナ方面ニ努力ヲ致シ
テ居ルノデアリマス、方面ガ多過ギルト云
フ御話モゴザイマスガ、是ハ東北方面ニ於
キマシテ最初カラ色々ナ工業ヲ興スト云フ
コトハ、非常ニ困難ナ點モアツタノデアリ
マスガ、色々ナ方面ニ於テ東北ニ於テ工業ヲ
興シタイト云フコトデ、斯ウ云フコトヲヤ
ツテ居ルト思フノデアリマス、農業ニ關聯
スル所ノ工業ニ重點ヲ置ケ、斯ウ云フコト
モ御尤モノ點モアルト思フノデアリマスガ、
唯不幸ニ致シマシテ、此ノ會社ガ出来マシ
テ翌年支那事變ノヤウナ大キナ戰爭ガ始マ
リマシタ結果、各種ノ資材、人、其ノ他各
方面ニ於テ十分行渡ラヌ所ガ出来テ來タト
思フノデアリマシテ、其ノ點ハ此ノ周圍ノ
事情モ十分御諒察ヲ戴キタイト思フノデア
リマス、只今肥料ノ御話ガゴザイマシタ
ガ、此ノ問題モ色々ノ複雑シタ經緯ヲ孕
デ居ルト思フノデアリマス、私共モ一體原
料ノアル東北カラ應々滿洲マデ原料ヲ運シ

テ行ツテ、先方テ造ルト云フコトモ如何カ
ト思フタ點モアリマスガ、石炭其ノ他ノ關
係カラシマシテヤハリ其ノ方ガ有利デア
ル、斯ウ云フヤウナ結論ガ出テ居ツタヤウ
デアリマス、併シナガラ實ハ肥料ノ會社ナ
ドモ非常ナ金ノ掛ル設備モアリ、又肥料ヲ
出來ルダケ安ク賣リタイト云フコトニ依ツ
テ、此ノ肥料ノ値段ヲ抑ヘルト云フヤウナ
點モアルノデアリマシテ、申々政府ガ考
ヘ、又會社ガ考ヘテ居ルヤウニ參ラナイ點
ガ相當アツタト思フノデアリマスガ、御意
旨ノ點ハ能ク注意致シマシテ、更ニ其ノ方
向ニ努力致スト云フコトニ致シタイト存ジ
マス

○野村委員 先日庄司君カラ總裁關係ニ
對スル質問ガアリマシタガ、此ノ際政府ニ
於テ答辯ヲ願ヒタウゴザイマス

考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシ
テハ御話ノ次第モアリマシテ、研究致シタ
イト思ヒマス

○釘本委員 今ノ御説明デ大體分ツタノデ
アリマスガ、需要ノ状態ニ鑑ミテ順次ニ開
發シテ行クコトニ計畫ガ立ツテ居ルカラ、
其ノ計畫ニ依ツテヤルト云フノハ御尤モデ
アリマス、所ガ私共カラ見ルト云フト、其
ノ計畫ガドウモ東北ノ後進シニシテ、他ノ
地方ヲ先ニスルト云フヤウナ傾ガアルト思
フノデアリマス、邪推カモ知レマセヌガ、
ドウシテモサウ云フ風ニ感ゼラレルノデア
リマス、ト云フノハ阿賀川ダケデモ既ニ四
五十万「キロ」ノ未開發電力ガ殘ツテ居ルノ
ニ一向手ヲ著ケテ居ラス、漸ク此ノ頃始メ
ルラシイ模様ガアルノデアリマスガ、特ニ
此ノ東北地方ヲ閉却シテ居ル、後進シニス
ルト云フヤウナコトハ此ノ計畫ノ中ニハナ
イデセウカ、此ノ點ヲ一寸伺ツテ置キマス

○森政府委員 只今ノ御話ノ點ハ、實ハ昭
和十四年度ニ於テ著手スベキ點ハ御話ノ通
リニ少クアリマシタガ、今後ノ著手順序ヲ
繰上ゲマシテ出來ルダケ早クヤルヤウニ致
シタイト思ヒマス

○野村委員 一寸此ノ際申上ゲテ置キマ
スガ、本月一日本委員會ニ於ケル木村武雄
君ノ發言中ニ、他人ノ身上ニ及ブ不穩當ナ
言辭ガアツタヤウニ拜承致シマシタ、委員
長ハ速記録調査ノ上、適當ナ處置ヲ執ルヤ
ウニ致シマスカラ御諒承ヲ願ヒマス

○林委員 本委員會モ相當回ヲ重ネテ參リ
マシテ、重複スルヤウナ點モ段々ト殖エテ
參リマシタノデ、凡ソ質問ハ済ンダヤナ
イカト思フ、又多少殘ツテ居リマシテモ、

大體以前ニ尋ネタ點ト重複スルヤウナ點モ
アリマスカラ、此ノ程度デ打切ツテハドウ
カト云フ動議ヲ提出致シマス

唯此ノ際一言附加ヘテ置キマスコトハ、
先程石渡書記官長ガ政府ヲ代表サレマシテ
ノ庄司君ヘノ御答辯デゴザイマスガ、即チ
其ノ一點トシテハ東北振興會社ノ總裁社
長ヲ頻繁ニ選ヘルコトハイケンナイノダ、ソ
レハ認メル、隨テ今後左様ナコトノナイヤ
ウニスルト云フ御言明デゴザイマスガ、ソ
レハ大ニ満足デゴザイマス、唯併シナガ
ラ今マデノ例ニ依ルト、選ラレルノハ其ノ言
明ヲサツタ内閣ガ退却シタ後ノコトナノ
デゴザイマス、デスカラ其ノ點ドウモ今ノ
内ハ引抜クトカ榮轉サセルト云フコトハナ
サラナイニシテモ、ドウモソコガ東北ノ人
達ハ洵ニ不安デ堪マラナイノデアリマス、
デアリマスカラソコハドウゾ政變ト云フ
ヤウナコトガアツテモ、サウ云フコトノナ
イト云フ政府ノ方針デ、東北ノ振興ニ全力
ヲ盡シテ戴クコトヲ特ニ御含置キヲ願ヒタ
イノデアリマス

○野村委員 今ノ御話ノ點ハ、實ハ昭
和十四年度ニ於テ著手スベキ點ハ御話ノ通
リニ少クアリマシタガ、今後ノ著手順序ヲ
繰上ゲマシテ出來ルダケ早クヤルヤウニ致
シタイト思ヒマス

○野村委員 一寸此ノ際申上ゲテ置キマ
スガ、本月一日本委員會ニ於ケル木村武雄
君ノ發言中ニ、他人ノ身上ニ及ブ不穩當ナ
言辭ガアツタヤウニ拜承致シマシタ、委員
長ハ速記録調査ノ上、適當ナ處置ヲ執ルヤ
ウニ致シマスカラ御諒承ヲ願ヒマス

○野村委員 本委員會モ相當回ヲ重ネテ參リ
マシテ、重複スルヤウナ點モ段々ト殖エテ
參リマシタノデ、凡ソ質問ハ済ンダヤナ
イカト思フ、又多少殘ツテ居リマシテモ、

向ホ又モウ一點ハ兩總裁社長ニ對スル退
職慰勞金ノ問題ハ、不當トハ思ハナイガ、
併シ今後十分ニ監督シテ遺憾ナカラシム
コトヲ期スルト云フ御言明ガゴザイマシテ、其
ノ類等ニ付テノ御發表ガゴザイマセヌ、是
ハ洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌガ、併シ此ノ上押
問答ヲ進メテ行ツテ、唯徒ニ波瀾ヲ捲起ス
コトハ私共ハ好ンデ居ル譯デハゴザイマセ
ヌカラ、洵ニ残念デハゴザイマスガ、此ノ
程度デ質問ヲ打切ツテハ如何カト思フノデ
アリマス

○野村委員 只今ノ林君ノ動議ニ御賛成

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 只今ノ林君ノ動議ニ御賛成

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

○野村委員 全體一致——是デ質疑ハ終
了致シマシタ、ソレカラ明日ハ各派ノ黨議
ニ御掛ケニナルト思ヒマス、サウスルト明
後日討論ヲ致シマシテ、其ノ次ノ本會議ニ
上ルヤウニ取計ヒタイト思ヒマス

第七十五回帝國議會 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案
東北興業株式會社法中改正法律案
(政府提出)(第四三號)
東北興業株式會社法中改正法律案
(政府提出)(第四四號)

會議

昭和十五年三月六日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 野村 嘉六君
- 理事松川 昌藏君 理事庄司 一郎君
- 栗山 博君 釘本 衛雄君
- 熊谷 直太君 小笠原八十美君
- 井上 知治君 中田 儀直君
- 菊地養之輔君 川俣 清吾君
- 小野 謙一君 田中 耕君
- 村上 元吉君

出席政府委員左ノ如シ

内閣東北局長 宇都宮孝平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)

東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)

野村委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、前會既ニ質問ハ終了致シテ居リマス、仍テ本日ハ討論ニ移リマス

釘本委員 私人質問ノ際ニ十分各委員ノ意見ハ述ベ盡サレテアルト考ヘマスカラ、討論ヲ省略シテ直チニ本案ノ可決アラシコトヲ望ム者デアリマス、但シソレニ付テハ三ツノ希望條件ヲ附シタイト存ジマス、其ノ原文ヲ朗讀致シマス

一、政府ハ東北興業社ニ東北振興電力兩株式會社ノ從來ノ經營方針ヲ消極且ツ官僚的ナルニ鑑ミ是ガ是正ニ付キ適當ナル處置ヲ講ズベシ

二、政府ハ東北地方ガ農業ヲ中樞トスル特殊性ニ鑑ミ東北興業株式會社ヲシテ右特殊性ニ適應スル事業ノ實現ヲ期セシムルヤウ適當ナル處置ヲ講ズベシ

以上ノ二條件ヲ附シマシテ原案ニ賛成スル者デアリマス

野村委員長 討論ガアリマシタナラバドウゾ……

松川委員 私人政友會ノ中島派ヲ代表致シマシテ原案ニ對シ賛成ノ意見ヲ述ベマス、簡單ニ其ノ理由ヲ申上ゲマス

東北興業株式會社ノ政府ノ補償限度二億五千萬圓ヲ八百五十萬圓ニ擴張スル件、並ニ東北振興電力株式會社ノ社債發行限度、拂込株式金額ノ三倍ヲ五倍ニ擴張スルト云フ案ハ東北振興ノ立場ヨリ見テ最も適切ナ案デアルト考ヘラレルノデアリマス、隨テ此ノ案自體ニ對シマシテハ、全幅ノ賛意ヲ表スルモノデアリマス、併シナガラ東北振興兩會社ガ從來ヨリ來リマシタ其ノ業績ニ鑑ミマシテ、此ノ委員會ニ於テモ幾多ノ意見論難ガアツタノデアリマスガ、政府並ニ兩振興會社ノ當事者ハ是等ノ委員會ノ意見ニ基イテ、將來十分善處セラレレルベシト云フ希望ヲ申上ゲテ原案ニ賛成致ス者デアリマス

庄司委員 私人政友會デゴザイマスガ、所謂正統派ヲ代表致シマシテ、昨日此ノ委員會ノ經過ヲ觀テ幹部會社ニ代議士會モ私人報告ノ原案ヲ吞ム意味ニ於テ御賛成ヲ得

野村委員長 唯一ツ問題トナリマシテ、中ニ入ラレタ野村委員長ニモ可ナリ折衝上ノ御苦勞ヲ煩ハシマシタ例ノ退職資金ノ問題デゴザイマスガ、アレニ對スル答辯ガ政府ニ於テナカッタト云フコトハ甚ダ遺憾ナコトデアアル、仍テ野村委員長ヲ煩ハシテ本會議ニ御報告ノ場合ニ於テ、政府ノ答辯ガナカッタノハ遺憾デアルト云フ意思ヲ表示シテ戴クコトガ出來ナイデアラウカト云フコトガ幹部會ニ於ケル意向デアツカトデアリマス、其ノ事ノナルコトデアアルカドウカハ分リマセヌケレドモ、以上意ノアル所ヲ委員長ニ御傳ヘ申上ゲマシテ、此ノ兩改正法律案ニ賛成ノ意思ヲ表示スル者デアリマス

川俣委員 私人社會大衆黨ヲ代表致シマシテ討論ヲ致シマス、本委員會ノ速記録ヲ一讀致シマスルニ、表面カラ見ルト希望及ビ意見ガ非常ニ區々デアリマシテ、時ニハ實際中ノ良イ願望モ相當各所ニ含ンデ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、併シナガラ實際眼光紙背ニ徹スルト云フ風ニ之ヲ見テ參リマス、中々東北獨特ノ森林ナ氣分ガ各所ニ溢ミ出テ居リマシテ、中々意義深イモノガアルト考ヘルノデアリマス、丁度子ガ親ニ對スルヤウナ我儘ナ氣分モ決シテナイ譯デアリマセヌケレドモ、ソレダケニ東北ノ人々ガ此ノ問題ニ對シテ深イ理解ト深イ考ヲ持ツテ居ルト云フ點ガ切實ニ見エラルノデアリマシテ、此ノ會社ニ關係サレル人々、東北局ノ方々ハ此ノ點ヲ深く理解サ

レマシテ、本委員會ノ意思ヲ十分ニ尊重サレナケレバナラナイと思フノデアリマス、ドウモ一般カラ見ルト、非常ニ勝手氣儘ナ議論ガ各所ニ見エルト云フヤウナコトデ、此ノ委員會ノ意思ヲ若シモ將來ニ於テ躊躇サレルコトガアリマスナラバ、ソレハ非常ナ手違ヒヲ生ジ、非常ナ間違ツタ結果ヲ來スト云フコトヲ非常ニ憂ヘルノデアリマス、是ハ寧ろ非常ニ區々デアアルダケニ、ソレダケ又非常ニ無理ナ期待ヲ懸ケ過ギテ居ルヤウニモ見エマスケレドモ、其ノ無理ナ期待デアアルダケニ、此ノ會社ニ對スル希望切望ガ非常ニ強イト云フコトハ十分考慮サレナケレバ、ナラナイ點ダト思フノデアリマス、一體東北地方ノ人ガ此ノ會社ニ對シテ非常ニ期待ヲ多ク懸ケ過ギテ居ルコトハ或ハ間違ヒデアアルカモ知レマセヌガ、ソレダケニ此ノ會社ハ他ノ特殊會社ト違ヒマシテ、自分ノ會社デアルカラ育テナケレバナラスト云フ考カラ、色々無理ナ注文モアルコトト思ヒマス、會社經營ト言ヘバ、斯ル無理ナ注文ハ受入レラレナイ點モ多クアルト思ヒマスガ、ソレハ所謂他人ノ會社ニ對シテ或ハ單ナル批判デ批評ヲシテ居ルノデハナク、全ク自分ノ子供ニ對スルガ如ク、愛着ト熱情ヲ以テ色々ナ論難ガ下サレルト云フ點ハ深ク考慮スベキ點デアラウト思フノデアリマス、ソレト相俟ツテ兩會社ニ依ツテ、決シテ東北振興ノ萬全ヲ期セラレルモノデアナイノデアリマスカラ、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、東北局ガ十分共

ノ責任ヲ負ツテ解決シナケレバナラス點モ多キアルト思フノデアリマス、兩會社ノ使命ハ使命トシ、其ノ使命ノ達セザル點ハ東北局ガ東北ヲ打ツテ一丸トスル行政ヲ速ニ確立致シマシテ、其ノ目的ヲ達成スルヤウニ致サナケレバ、東北ノ本當ノ振興ハ出來得ナイ、兩會社ニミ其ノ責任ヲ負ハセマシテ、東北局ガ安閑ト致シテ居リマスナラバ、徒ニ疲弊困憊ノ極ニ至リマシテ、兩會社ノ設立ノ意味ヲ半減シ、得ル所ナキニ至ルデアラウト云フコトヲ憂フルノデアリマシテ、殊ニ東北局ハ十分兩會社ニ於テ爲シ得ラレナイ重大ナ米及ビ木炭ニ付テハ、十分ナル對策ヲ講ゼラレマシテ、兩會社ト共ニ東北振興ノ爲ニ御盡力ヲ乞ヒタイノデアリマス、此ノ點ガ若シ阻礙サレマスナラバ、如何ニ東北振興會社ニ金ヲ注ギ込ミマシテモ、私ハ所期ノ目的ハ達セラレナイ、其ノ他ノ行政上ノ手段ニ於キマシテ十分目的ヲ達シ得ラレル點ハ東北局ニ於テ其ノ點ヲ達シ、兩々相俟ツテ初メテ東北振興ガ完成サレルト云フ點ヲ十分ニ認識サレルコトヲ希望致スノデアリマシテ、尙ホ民政黨カラ出サレマシタ希望條項ニ付キマシテモ贊成ノ意ヲ表シ、本案ニ付テ全面的ナ贊成ノ意ヲ表シマシテ、私ノ討論ヲ終リマス

○野村委員長 小野君
○小野委員 私ハ東北振興ノ意味カラ東北振興株式會社竝ニ東北振興電力株式會社ノ健全ナル發達ヲ希望スル意味カラ本案ニ贊成ヲ表スルモノデアリマス、先般來ノ委員會ニ現ハレマシタ所ノ各種ノ質疑モ亦斯様ナル希望ノ下ニサレタモノデアラウト私ハ信ジマス、内閣ニ於カレマシテハ、此ノ會社ノ指導監督ニ銳意努力致サレマスト共

ニ、會社ノ當業者モ亦本委員會ニ現ハレマシタ所ノ希望意見等ヲ能ク御諒承願ヒマシテ、會社ノ發展ニ努力セラレシコトヲ希望シテ置クノデゴザイマス、而シテ先刻ノ希望條項ハ、此ノ委員會ニ現ハレマシタ所ノ各種ノ質疑ヲ要約シタルモノデアルト信ジマシテ、是亦所屬會派ヲ代表シテ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス

○野村委員長 ソレデハ討論ハ終結サレマシタ、採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(總員起立)

○野村委員長 起立總員、全會一致可決サレマシタ、東北振興株式會社法案ニハ希望條件ガ附サレマシタ、是ニテ散會致シマス
午前十時四十三分散會

昭和十五年三月六日印刷

昭和十五年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第六類 第五號)

第七十五回帝國議會 院 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件) 委員會議錄(筆記)第一回

付託議案
昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)(第四十五號)

委員會成立

本委員ハ昭和十五年二月十六日(金曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- 土屋 寬君 森下 國雄君
- 高田 耘平君 坂下 莊助君
- 坂下 仙一郎君 今成留之助君
- 福田 悌夫君 坪山 德彌君
- 助川 啓四郎君 小林 絹治君
- 山川 賴三郎君 森 幸太郎君
- 國光 五郎君 河野 一郎君
- 須永 好君 吉田 賢一君
- 平野 力三君 村上 元吉君
- 吉田 賢一君

○小林委員長 就任ノ挨拶ヲ述ヘ引續キ理事ノ五選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○坪山委員 理事ハ其ノ數ヲ四名トシ委員長ノ指名ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○小林委員長 坪山君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ土屋寬君、森下國雄君、坪山德彌君及森幸太郎君ヲ理事ニ指名ス

○小林委員長 散會ヲ宣告ス
午前十時三十分散會

(年長者山川賴三郎君投票管理者ト爲ル)

○山川投票管理者 委員長ノ五選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○坪山委員 投票ヲ用キス小林絹治君ヲ委員長ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス

○山川投票管理者 坪山君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ小林絹治君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(小林絹治君委員長ニ著ク)

ノ責任ヲ負ツテ解決シナケレバナラス點モ多クアルト思フノデアリマス、兩會社ノ使命ハ使命トシ、其ノ使命ノ達セザル點ハ東北局ガ東北ヲ打ツテ一丸トスル行政ヲ速ニ確立致シマシテ、其ノ目的ヲ達成スルヤウニ致サナケレバ、東北ノ本當ノ振興ハ出來得ナイ、兩會社ニ其ノ責任ヲ負ハセマシテ、東北局ガ安閑ト致シテ居リマスナラバ、徒ニ疲弊困憊ノ極ニ至リマシテ、兩會社ノ設立ノ意味ヲ半減シ、得ル所ナキニ至ルデアラウト云フコトヲ憂フルノデアリマシテ、殊ニ東北局ハ十分兩會社ニ於テ爲シ得ラレナイ重大ナ米及ビ木炭ニ付テハ、十分ナル對策ヲ講ゼラレマシテ、兩會社ト共ニ東北振興ノ爲ニ御盡力ヲ乞ヒタイノデアリマス、此ノ點ガ若シ阻礙サレマスナラバ、如何ニ東北振興會社ニ金ヲ注ギ込ミマシテモ、私ハ所期ノ目的ハ達セラレナイ、其ノ他ノ行政上ノ手段ニ於キマシテ十分目的ヲ達シ得ラレル點ハ東北局ニ於テ其ノ點ヲ達シ、兩々相俟ツテ初メテ東北振興ガ完成サレルト云フ點ヲ十分ニ認識サレルコトヲ希望致スノデアリマシテ、尙ホ民政黨カラ出サレマシタ希望條項ニ付キマシテモ贊成ノ意ヲ表シ、本案ニ付テ全面的ナ贊成ノ意ヲ表シマシテ、私ノ討論ヲ終リマス

ニ、會社ノ當業者モ亦本委員會ニ現ハレマシタ所ノ希望意見等ヲ能ク御諒承願ヒマシテ、會社ノ發展ニ努力セラレンコトヲ希望シテ置クノデゴザイマス、而シテ先刻ノ希望條項ハ、此ノ委員會ニ現ハレマシタ所ノ各種ノ質疑ヲ要約シタルモノデアルト信ジマシテ、是亦所屬會派ヲ代表シテ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス

○野村委員長 ソレデハ討論ハ終結サレマシタ、採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(總員起立)

○野村委員長 起立總員、全會一致可決サレマシタ、東北振興株式會社法案ニハ希望條件ガ附サレマシタ、是ニテ散會致シマス 午前十時四十三分散會

昭和十五年三月六日印刷

昭和十五年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第六類 第五號)

第七十五回帝國議會 昭和十二年法律第九十號中改正法律 委員會會議錄(筆記)第一回

付託議案 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)(第四十五號)

委員會成立

本委員ハ昭和十五年二月十六日(金曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- 土屋 寬君 森下 國雄君
- 高田 耘平君 坂下 仙一郎君
- 坂下 仙一郎君 今成留之助君
- 福田 悌夫君 坪山 德彌君
- 助川啓四郎君 小林 絹治君
- 山川頼三郎君 森 幸太郎君
- 國光 五郎君 河野 一郎君
- 須永 好君 吉田 賢一君
- 平野 力三君 村上 元吉君

同月十六日(金曜日)午前十時二十七分委員長理事互選ノ爲委員參集ス 其ノ氏名左ノ如シ

- 小林委員長 就任ノ挨拶ヲ述ヘ引續キ理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス
- 坪山委員 理事ハ其ノ數ヲ四名トシ委員長ノ指名ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス
- 小林委員長 坪山君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ土屋寬君、森下國雄君、坪山德彌君及森幸太郎君ヲ理事ニ指名ス
- 小林委員長 散會ヲ宣告ス 午前十時三十分散會

(年長者山川頼三郎君投票管理者ト爲ル)

- 山川投票管理者 委員長ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス
- 坪山委員 投票ヲ用キス小林絹治君ヲ委員長ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス
- 山川投票管理者 坪山君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ小林絹治君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(小林絹治君委員長ニ著ク)

第七十五回帝國議會 院

昭和十二年法律第九十號中改正法律 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第二一回

付託議案 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)(第四十五號)

(五八)

會 議 昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 小林 絹治君
- 理事士屋 寬君 理事森下 國雄君
- 理事坪山 德彌君 理事森 幸太郎君
- 高田 耘平君 土田 莊助君
- 今成留之助君 福田 悌夫君
- 助川啓四郎君 山川頼三郎君
- 國光 五郎君 河野 一郎君
- 須永 好君 吉田 賢一君
- 平野 力三君 村上 元吉君
- 出席國務大臣左ノ如シ 島田 俊雄君
- 農林大臣 島田 俊雄君
- 農林事務次官 岡田喜久治君
- 農林參事官 松本 弘君
- 農林省米穀局長 横山 敬教君
- 農林省臨時農村對策部長 重政 誠之君
- 農林事務官 石井英之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)

○小林委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス

○島田國務大臣 本案提出ノ理由ニ付キマシテ一應私ヨリ御説明致シマス、米穀ノ應急措置ニ關スル法律中改正法律案ノ提案理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ大體述べタ所デアリマスガ、尙ホ法案ノ内容ニ付テ

第六類第五號

昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第二一回 昭和十五年二月十七日

三

二三申上デタイト存ジマス

今回米穀ノ應急措置ニ關スル法律中改正ラ致シマスル要點ノ第一ハ、政府ハ米穀ノ配給上特ニ必要アリト認ムルトキハ、米穀ノ買入、賣渡ヲ爲シ得ル途ヲ開カントスルコトデアリマス、本會議ニ於テ申述ベマシク如ク、朝鮮米不作ノ結果、其ノ内地移入數量ガ非常ニ減少致シマシタルコト、早密ノ爲ニ内地西部ニ於ケル米穀ノ需給狀況ニ相當ノ變化ヲ來シタルコト等ノ爲ニ、從來ノ米穀ノ配給系統、取引關係等ニ相當ノ變動ヲ生ジマシタルミナラズ、戰時體制下ニ於ケル各般ノ經濟事情ノ影響等ニ因リマシテ、米穀ノ配給ハ容易ニ樂觀ヲ許サザルノ實情ニ在ルデアリマス、斯ノ如キ現下ノ米穀事情ニ對應致シマシテ、配給ノ円滑ヲ圖リマス爲ニハ、政府ニ於テ米穀ノ買入ヲ爲シ、之ヲ必要ナル地方ニ供給シ、又出廻期等ニ於テ必要量ノ米穀ノ買入ヲ爲シ、之ヲ出廻期以後ニ於テ賣渡ヲ爲ス等ノ措置ヲ執ル必要ガアルト存スルデアリマス、而シテ現行法ノ第二條ニ於キマシテハ、政府ガ本法ニ基イテ買入ヲ爲シ得ルノハ、米價ガ米穀統制法施行令ニ依リ定メテ居リマス、標準最高價格ノ一定割合以下ナル場合ニ限ラレテ居リマスガ、現在ノ米穀事情ニ於テハ、米價ハ標準最高價格ニ接近致シテ居リマスノデ、本法律ニ基キ買入ハ之ヲ實行スルコトヲ得ザルノ狀態ニ在ルデアリマス、故ニ改正法案ニ於キマシテハ、現行法ノ如キ價格上ノ制限ヲ設タルコトナク、時價ニ

準據シテ定ムル價格ニ依リ買入ヲ爲シ得ルコトト致シタルデアリマス

第二ハ、米穀ノ配給上特ニ必要アル場合ニ於テハ、米穀以外ノ穀物及ビ穀粉ノ買入及ビ賣渡ヲモ爲シ得ル途ヲ開クコトト致シク點デアリマス、現下ノ食糧需給ノ實情ヨリ見マスルニ、米穀ノ配給ノ調整ヲ致シテ參リマス爲ニハ、單ニ米穀ノ買入、賣渡ヲ爲スノミニテハ不十分デアリマシテ、是ト密接ナル關係ニアリマス麥類其ノ他ノ穀物及ビ穀粉ニ付テモ併セ考慮スルコトヲ要スル次第デアリマス、即チ雜穀類ヲ必要ナル地方ニ供給シ、以テ米穀ノ出廻ヲ促進セシメ、又ハ混食代用食等ノ實行ヲ容易ナラシムル等ノ措置ヲ講ズル必要ガアルデアリマシテ、是ガ爲ニハ政府ニ於テ米穀ノ配給調整ニ關聯シテ、必要ナル範圍ニ於テ雜穀及ビ穀粉ノ買入、賣渡ヲ爲シ得ルノ途ヲ開クコトガ必要デアルト存スルデアリマス、而シテ此ノ雜穀及ビ穀粉ノ買入及ビ賣渡ハ、時價ニ準據シテ定ムル價格ニ依リ之ヲ實施スルコトト致シタルデアリマス、尙ホ本法案ニ依ル米穀其ノ他ノ穀物及ビ穀粉ノ買入、賣渡ノ實施ニ付キマシテハ、十分慎重ヲ期スル必要ガアリマスノデ、米穀統制委員會ニ諮問シタル上、之ヲ實施スルコトト致シタルデアリマス

トト致シマシタルコト、及ビ米穀以外ノ穀物及ビ穀粉ノ買入ニ付テモ、是ガ代價ハ證券ヲ以テ支拂フコトト致シマシタルコトデアリマス、尙ホ現行法ノ第一條ハ其ノ備存置サレテ居リマスノデ、運米ニ付テハ從來通り米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ賣渡シ得ルコトトナツテ居ルデアリマス、又現行法ノ附則第二項ハ其ノ備存置サレテ居リマスノデ、本法案ニ依ツテ改正セラレマシタル法律ハ、ヤハリ支那事變終了後一年以内ニ之ヲ廢止スルコトト相成ル次第デアリマス、本法案ノ趣旨ハ大體以上申述ベマシタル通りデアリマスガ、現下ノ米穀實情ニ鑑ミ、一日モ速ニ實施スルノ必要ガアリマスノデ、何卒速ニ御審議アラシムコトヲ特ニ希望致ス次第デアリマス

○土屋委員

一寸資料要求ヲ致シタイト思ヒマス、甚ダ當局ニ御面倒デスガ、米ノ移動狀況ヲ知ルコトノ出來ル資料ヲ欲シイデアリマス、甚ダ漢トシタ言ヒ方デアリマスガ、兎ニ角配給圓滑ヲ何レノ點ニ於テ缺イテ居ルノデアアルカト云フコトガ認メラレ

ル、所謂米ノ移動狀況ヲ知ルコトノ出來ル表ガ欲シイデアリマス、ソレハ成ベク五箇年位ニ跨ツテ、如何ニ移動シテ居ルカト云フコトガ分ルモノヲ載キタイト思ヒマス、次ニ米ノ用途別ノ表ヲ五箇年分程ニ調べテ貰ヒタイ、米ハ食フモノトナツテ居ルヤウデアリマスガ、食フモノノバカリデアリマセヌ、米ノ消費ノ消長ガ如何ニナツテ居ルカト云フコトモ見タイト思ヒマス、ソレカ

ラ其ノ次ニ玄米ノ公定價格ト白米ノ販賣最
高價格トノ差額ハ、素人ガ見テハ解釋ガ付
キマセヌ、ソコ此ノ玄米ノ公定價格ト白
米ノ公定價格トノ差額ト云フモノヲ算出セ
ラレタル、所謂算出基礎ヲ知ラシテ載キタ
イノデアリマス、是ハ甚ダ面倒デアリマス
ケレドモ、素人カラ見マスト白米ノ販賣最
高價格ノ決定ハ、玄米ノ移動ヲ窮屈ナラシ
メテ居ルノ感ガアリマスカラ、是ガ分ルモ
ノヲ知ラシテ載キタイ、ソレハ窮屈ナ感ニ
ナツテ居ルヤウニ拵ヘテ貫ツテモイケン
ト思ヒマスガ、兎ニ角アノ差額ガドウナツ
居ルカ、ソレハ算出ノ基礎デアア云フ差
額ガ出テ居ルト思ヒマスカラ、ソレヲ知ラ
シテ載キタイ、モウ一ツ御願シタイノハ雜
費デアリマスガ、混用食若クハ代用食ヲ獎
勵セシムル思召ガアルヤウデアリマスカラ、
雜費ヲ如何ナル程度マデ米ノ補充トシテ使
用スルト云フ思召デアリマスガ、其ノ數量
ノ御見込ヲ知ラシテ載キタイ、之ヲ御願シ
テ置キマス

○高田委員 私モ一寸資料ヲ要求致シマス、
ソレハ十五年度年度ニ於ケル需給關係デア
リマス、私モ多少調べタモノヲ持ツテ居
リマスガ、ドウモ大臣ガ委員會ナリ本會議
說明ナサルノトハ違ヒマスカラ、内容ヲ同
ハナイト分リマセヌノデ、詰リ十五年度年
度ニ於ケル米穀需給ノ調ヲ載キタイノデ
アリマス、此ノ案ハ直接ノ關係ガナイヤ
ウデアリマスガ、全國民ガ食糧問題ニ付テ
不安ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスカラ、此
ノ機會ニ不安ヲ一掃スル方法ヲ探ラナケ
レバナラス、勿論豫算總會等ニ於テ各委員
ヨリ質疑ガアツクヤウデアリマスケレド
モ、私ハ此ノ委員會ニ於テ出來ルガケ食糧

問題ニ對スル國民ノ不安ヲ一掃スル方法ヲ
採リタイ、ソレハ只今申上ゲタコトガ一
ツト、ソレカラ十五年ニ於テ内地ニ於テ米
ガ七千万石、小麥三千三百万石ヲ得ントス
ルノ計畫デアツテ、ソレニ基イテ豫算ガ出
來テ居ルト拜承シマス、而シテソレノミナ
ラズ、昨日ノ豫算分科會ノ應答等中一寸新
聞ニ漏レタモノヲ見ルト、馬鈴薯ナドニ於
テモ、何カ積極的増産計畫ヲ立テタヤウニ
米、小麥其ノ他有ニル食糧ニ關係スルモノ
ノ増産計畫——唯資料バカリデハ困リマス
ガ、ドウ云フ風ニシテ増産スルカ、是ハ七
千万石ト云フモノ實際ニ國民ハ信ジマセ
ス、デスカラドウ云フ風ニシテ七千万石
ガ獲レルカ、肥料ヲドウスル、努力ヲドウ
スル、各種ノ方面カラ七千万石ガ出ル
ウガ、種々ノ方面カラ七千万石ガ出ル
デアリマスカラ、其ノ内容ニ付テ具體的ニ、
豫算ニハアルト思ヒマスガ、私ハ文書ヲ説
明ヒタイト思ヒマス、サウデナイト安心
出來マセヌ、併セテ朝鮮、臺灣ニ於キマシ
テ、各十五年度ヨリ五箇年ニ互ル——十年
デアリマスガ、ハツキリ分リマセヌガ、何
カ米其ノ他食糧ノ増産計畫ガアルヤウデア
ザイマス、此ノ内容ヲ同フコトガ、極メテ
全國民ヲシテ食糧ニ付テ不安ヲ一掃セシ
ムル爲ニ必要デアリマスカラ、只今申上ゲ
タ意味ニ於テ、臺灣、朝鮮ニ於テ、五箇年
カ十年年カハツキリ分リマセヌガ、米其ノ
他ノ食糧ノ増産計畫ヲ文書ヲ以テ御示願
ヒタイト思ヒマス、又内地ニ於キマシ
テ十五年度バカリデナク、十六、十七年
度ニ互リマシテ、増産計畫ガアリマシタ
ラバ、ソレモ何フコトガ非常ニ必要ト思

ヒマス、ソコデモウツノ問題ハ、配給機
構ニ關スル問題デアリマス、六百万石ノ米
ノ買収ヲ爲スニ當ツテ、是ハ縣ニ依ツテ
多少事情ガ違ヒマスガ、大體ニ於テ産業組
合ト商業組合ニ分ケテ、集荷ヲ行ツテ居ル
ト思ヒマス、所ガ縣ニ依ツテハ、大體ニ於
テ産業組合ガ成績ガ好クテ、商業組合ノ成
績ガ悪イト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリ
マスガ、マダ六百万石ノ買収ハ終リマセヌ、
デスカラハツキリシタ數字ハ出マセヌデセ
ウケレドモ、最近マデニ於テ商業組合ト産
業組合ト各別ニ、各縣各數量ニ分ケテ、集
荷ニ從事シタ其ノ成績如何ト云フコトヲ參
考ノ爲ニ伺ヒタイト思ヒマス

○坪山委員 是ハ陸海軍ニ屬スルコトデス
ガ、陸海軍ノ代用食、混食ノ狀況——陸軍
ナドハ全ク混食ヲシテ居ルヤウナ話ヲ聞イ
テ居リマスカラ、是等ノ狀況ヲ一ツ御願致
シマス、ソレカラ是ハ直接米ニ關係ハアリ
マセヌガ、農業保險ノ全國ノ普及狀態、特
ニ今回ノ旱害ノ問題、中國方面デ之ニ惠
マレタモノ、或ハ入ツテ居ラヌ爲ニ惠マレ
ナイヤウナ其ノ狀態、ソレカラ今土屋君カ
ラモ御話ガアリマシタガ、特ニ菓子ノ原料
トシテ米ガ潰サレルモノ、酒ノ問題ハ分ツ
テ居リマスガ、菓子トシテ潰サレル其ノ數
量ヲ御願致シタイト思ヒマス

○平野委員 資料ヲ要求致シマス、米穀
需給特別委員會最新カラ今日マデノ收支ト
云フカ、其ノ内容ヲ御話願ヒタイト思ヒマ
ス、第二ハ未開墾地ノ開墾狀態ニ對スル年
別表ヲ一ツ出シテ載キタイ、第三ハ、陸稻耕
作反別ノ年々ノ増加表デアリマス、若シ是ガ
減少シテ居レバ減少表ニナリマスガ、大
體其ノ増加表デアリマス、第四ハ、最近三

簡年間ニ於ケル飛行場、砲兵工廠其ノ他工
場等ノ建物ニ依リ耕地ノ減少反別、以上四
點ノ表ヲ御願致シマス

○小林委員長 他ニ資料ヲ要求ハアリマセ
スカ——ソレハ通告願ニ依ツテ發言ヲ許
シマス、尙ホ大臣ハ今日ハ午前中コトヲ
御出席願フコトニ致シテアリマス、御質問
中デ成ベク大臣デナケレバ答辯ガ得ラレ
イモノ、大臣ニ答辯ヲシテ貫ヒタイト云フ
ヤウナコトヲ御質問願ツテ、政府委員デモ
宜シイモノハ後述シニシテ載イタラドウカ
ト思ヒマス、隨テ或ハ必ズシモ通告願ニ依
ラズ、通告ノナイ方デモ、關聯シテ大臣ニ質
問シタイト云フ人ガアリマシタラバ許
シタイト思ヒマス、御承知置キヨ願ヒマ
ス——今成君

○今成委員 私ノ質疑ハ、只今委員長ノ御注
意モゴザイマシタノデ、六點バカリゴザイ
マスケレドモ、其ノ中四點ハ後述シテ致
シマス、政府委員ノ方ニ御答願フコトニ致
シマス、大臣閣下ノ御臨席ノ際ニ二點ゲケ
御伺シタイ、米穀ハ申スマデモナク國民ノ
主要食物デアリマスカラ、此ノ處置ニ付キ
マシテハ、國民ノ生活ニ重大ナル影響ガア
ルバカリデハゴザイマセヌデ、之ヲ生産ス
ル農家ノ方面ニ取リマシテモ、忽セニスル
コトノ出來ナイ問題デアアルノデアリマス、
本會議ニ於テ同僚諸君ヨリモ幾多ノ質問ガ
アツクノデゴザイマス、殊ニ私ガ特ニ主管大
臣ニ御伺シタイト云フノハ、極メテ簡單ナ
法律デゴザイマシケレドモ、國民ハ米内
閣ガ米穀ノ政策ニ對シテ、ドウ云フ方針デ
アルカト云フコトヲ、頗ル關心ヲ以テ注目
シテ居ルノデゴザイマス、隨テ法律ハ簡單
デハゴザイマスガ、内容ハ頗ル重大デア

ト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テ疑ヲ
買シマシテ、國民ニ安心ヲ與ヘテ載キタイ
斯ウ云フ意味カラ是非御答願ヒタイ
ト思ヒマス、第一點ハ、本改正案ヲ御提出
ニナリマシタ根本精神ニ關レノデアリマ
ス、ソレハ第七十二帝國議會ニ於キマシテ、
改正セントスル昭和十二年法律第九十號ヲ
御提案ニナリマシタ當時ハ、丁度支那事變
ガ起キマシタ直後デゴザイマシテ、其ノ御
提案ノ理由ニ法文ノ内容ヲ見マスルト、
第一條ニハ軍用ニ必要ナル米ヲ時價ヲ以テ賣
渡ス、第二條ニハ支那事變ノ爲ニ數量ヲ確保シ
ナケレバナラスカラ、是亦時價ヲ以テ買入
レル、而シテ此ノ規定ハ附則ニ依リマシ
テ、支那事變終了後一年内ニ廢止スルト云
フコトヲ内容トシテ居リマス爲ニ、兎ニ角
支那事變ト云フモノヲ目標ト致シマシテ、
應急處置ヲ致ス爲ニ非常立法デアルト云フ
コトカラ致シマシテ、當時論議ニ上リマシ
テ、滿場一致通過シタト記憶シテ居ルノデ
アリマス、然ルニ此ノ度ノ改正ハ、第二條ニ
於ケル支那事變ニ關聯シ必要ナルト云フ文
字ヲ削リマシテ、米穀ノ配給上特ニ必要アル
場合ニ發動スルト云フコトニ改正ナサル趣
旨カラ致シマス、應急處置ノ臨時立法
ニアラズシテ、恒久的立法ニ變更ナサツタ
モノデハナイカト云フ疑ガアル、米穀ノ配
給上必要ナルコトハ、天災地變其ノ他、起
ル事象デゴザイマシテ、必ズシモ支那事變
バカリデハナイノデアリマスカラ、第二條ノ
改正ノ文字ノ上カラ考ヘマシテモ、昨日御
提案ニナリマシタ農林大臣ノ提案理由ノ要
旨ヲ考ヘマシテモ、ドウモ恒久的法律ノヤ
ウニ變ツテ來タヤウニ考ヘルノデアリマス
ガ、果シテサウ云フヤウニ御變ヘニナルノ

デアアルカドウカ、此ノ點ヲ提案ノ趣旨カラ
見マシテ、私共ハ疑ハナケレバナラスノデ
アリマス、若シ左様ニ致シマシテ、是ガ恒
久的ノ立法デアルト云フコトデゴザイマス
ルナラバ、今日マデ米穀ニ付テノ色々ノ法
律ヲ政府ハ御提案ニナツテ、議會ノ協賛ヲ
得テオ居デニナルノデアリマス、例ハ米
穀統制法、或ハ米穀配給統制法、米穀自治
管理法、政府所有米穀特別處理法、親共同
貯藏助成法、之ニ關聯致シマシタ勅令又ハ
省令ガ澤山發布ニナツテ居リマスノデ、米
穀統制法ノ運用ニ依ツテ、政府御提案ノヤ
ウナ趣旨ノ目的ヲ達成シ得ルノデアツテ、
本法律ノ改正ヲ要シナイモノデハナイカト
云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイ、イヤ、是ハ
ヤハリ非常立法ナノデアツテ、戰時ダケニ
用ヒルト云フ意味デゴザイマス、ドウモ
第二條ノ御改正ノ趣旨ガ、文字ノ足リナイ
觀ガアルノデアリマシテ、此ノ儘デハドウ
モ國民ニハ恒久立法ノヤウニ解釋セラレマ
シ、國民ノ此ノ法律ニ對スル不安ト云フモ
ノガ除去サレナイト思フノデアリマス、其
ノ點ハ如何デアリマセウカ、若シ是ハ恒久
的ニ配給上必要デアアルカラヤルノデアルト
云フコトデアリマスレバ、附則ノ支那事變
終了一年内ニ於テ廢止スルト云フ規定ハ、
必要ガナクナツテシマフノデアナイカ、所
謂立法技術ノ上ニ於テ、此ノ改正案ヲ多少
直シテオ居デニナラナイト、國民ニ此ノ誤
解ガアリマス爲ニ、此ノ點ニ付テ先ヅ農林
大臣カラ御伺シタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 御尤モ御質問考ヘマ
スガ、是ハ本會議ノ席上ニ於ケル質問應答
ノ際ニモ、一寸申述ベタカト思ヒマスガ、
御承知ノ如ク米穀ノ事情ガ非常ニ變ツテ來
テ居リマス、併シナガラ此ノ事情ハ將來更
ニ如何ナル變化ヲスルカ、或ハ大ナル變化
ヲスルコトガナイトハ考ヘラレマセヌ、ソコ
デ吾々ノ是マデノ經驗シタ所ニ依リマス、
先ニハ米ガ剩ルノデ、其ノ始末ニ付テ考ヘ
ナケレバナラスヤウナ狀態デアリマシタ、
然ルニ最近ニ於テ米ノ配給ガ非常ニ窮屈ニ
ナリ、需給ノ關係ガ非常ニ狭クナリ、又窮
屈ニナリマシテ、一歩進ンデ言ヒマス、
或ハ不足ヲヤウナ急迫シタ事情ガアリ、
ガアルト云フヤウナ急迫シタ事情ガアリ、
而シテソレニ事變ノ關係ト云フモノガアリ
マシテ、一層急迫事情ヲ呈シテ來タ、斯ウ
云フヤウナ事變ニナツテ居リマスノデ、糞
ニ統制法初メ現行ノ米穀關係ノ諸法律ハ、
之ニ對シテ相當檢討ヲ加ヘ、而シテ之ヲ
整備シテ、如何ナル米穀事情ノ下ニ於テモ、
其ノ運用ニ過チナイ、不便ノナイヤウニ
スルト云フコトニ付テモ、是ハ根本的ニ考
ヘナケレバナラスト云フ事情ガアルト存
ズルノデアリマス、然ルニ差向キノ事情ハ、
御承知ノ如ク昨年ノ旱魃ニ絡ミマシテ、特
ニ緊要ナ事變ニナツテ來マシタノデ、左様
ナ事情カラ致シマシテ應急處置ノ處置、殊
ニ此ノ事變下ニ於テ不安ナカラシムルト云
フ意味カラ、根本的ナ改正或ハ檢討ト云フ
コトハ姑ク第二ト致シマシテ、サウシテ當
面ノ處置ニ付テ應急ノ考ヲスル必要ガアル
ト云フ意味カラ、前内閣ニ於キマシテ、只
今提案ヲシテ居ル米穀應急措置ニ關スル法
律ノ改正案ヲ立案ヲ致シテ居ツタノデアリ
マス、今成君ノ御述ニナリマシタ事柄ニ付
キマシテハ、私ハ米穀事情ノ推移ニ鑑ミテ、
相當ノ再檢討ヲ加ヘテ見ル必要ガアルト考
ヘテ居リマスケレドモ、就任勿々議會ニ臨

ム際デアリマスノデ、先ヅ以テ此ノ當面シテ
居ル事情ヲ切抜ケテ行ク措置ト致シマシテ
ハ、此ノ事變ニ關聯シテ立案セラレマシタ
昭和十二年法律第九十號ノ改正ヲ以テ進ム
外ニ途ガナイ、根本的ノ種々ナル事柄ニ付
キマシテハ更ニ研究ヲ加ヘテ、サウシテ其
ノ整備ヲ圖ルヤウナ途ニ出ルコトガ適當デ
アラウト云フ考ヲ持チマシテ、前内閣ノ立
案シタモノヲ自分ハ踏襲シテ、本議會ニ提
案ノ手續ヲ致シタ次第デアリマス、隨
テ今御質問ニナルヤウナ事柄ガ、議論トシ
テ述ベラレル餘地ガアルト考ヘマスケレド
モ、ヤハリ本法律ハ、此ノ現行法ニアリマ
スヤウニ、支那事變終了後一年内ニ廢止ス
ルト云フ建前ヲ以テ、現時ノ實情ニ之ヲ應
用シテ行キマシテ、其ノ間ニ於テ更ニ全體
ノ米穀法規ニ關スル檢討ヲ加ヘマシテ、之
ヲ整頓シテ完備スルノ途ガアレバ其ノ途ニ
出タイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル次
第デアリマス、隨テ此ノ改正案其ノモノト
致シマシテハ、提案理由ニ申上ゲマシタヤ
ウニ、現在ノ米穀事情ニ鑑ミテ此ノ應急措
置ヲ執ツタ、斯ウ云フ意味ニ御諒解ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、根本的ノ問題ニ付キマシ
テハ、他日別ノ方法ニ依ツテ考ヘテ見タイ
ト思ヒマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○今成委員 米穀問題ニ付キマシテハ、事
頗ル重大デアリマスガ爲ニ、政府ニ於テモ
幾多ノ御苦心ノアル點ニ付キマシテハ、常
ニ私共モ敬意ヲ拂ツテ居ルノデアリマスガ、
サウ致シマス、此ノ法律ノ附則ヲ其ノ儘
ニシテオ置キニナルト云フ意味カラ致シマ
スレバ、支那事變終了前ニ米穀ノ諸法律ヲ
根本的ニ檢討ヲ致シマシテ、國民ニ不安ノ
ナイヤウナ改正ヲナサル御用意ガアルカ、

所謂支那事變終了前ニサウ云フヤウナ御用意ガアルノゴト云フ風ニ承ツテ宜シイノデアリマセウカ、ソレニ付キマシテ、特ニ此ノ際法制ニ練達シテ居ラセラレ、而モ政治上ニ長ク御經驗アル農林大臣デアラレマスカラ、附加ヘテ御願シタイコトハ、近時國民ガ色々苦シク居ルコトガ澤山ゴザイマスガ、其ノ中ニモ法制ガ重要ナルモノシテ、法制ノ上ニ法制ヲ布キ、屋上屋ヲ架スルヤウナ嫌ヒガアリ、ソレガ現在ノ國民不安ノ本ニモナツテ居ルと思フデアリマス、米穀ノ事一ツ研究セント欲シマシテモ、到底國民ガ之ニ適從シ、研究ノ及バナイヤウナ澤山ナ法律ガ布カレテ居リマシテ、ドノ法律ニ依ツタナラバ宜イカ、餘リニ法制ガ多イ爲ニ國民ガ之ニ備フデ居ル、而モ支那事變以來ト云フモノハ、其ノ弊害ガ益甚シクナツテ參リマシテ、中ニハ國民ノ權益ニ重大ナル影響ヲ及ボス法律ノミナラズ、若シ違反ラシク場合ニ於テハ、家門ノ名譽ヲ傷ケルヤウナ法律マデモ澤山ニ御出シシナツテ居リマシテ、國民ノ中ニハ知ラズ識ラズノ間ニ其ノ法律ヲ犯シタガ爲ニ警察ニ引カレマシテ、長ク拘禁ノ身トナルヤウナ悲惨ナ事實ガ我が國內ニ展開シテ居リマス、政府ハ法律ヲ作ツテ國民ヲ律セント欲シマシテモ國民ノ中ニハ此ノ法律ノ爲ニ涙ヲ流シ、血ヲ吞ムヤウナ苦シミヲ見テ居ルコトガ多イノデゴザイマス、只今農林大臣ノ御聲明ニ依リマスナラバ、是等ノ諸法律ヲ再檢討ラシテ、更ニ國民ノ生活ニ不安ヲ與ヘナイヤウナ法律ヲ御作りニナルト云フコトデアリマスナラバ、餘リニ法律ノ條章ノ多ク、煩瑣ニ涉ルヤウナ法律ヲ御作りニナラヌデ、後ハ運用ノ妙ヲ以テ國民ヲ率イテ行ク、法

律ヲ以テ國民ヲ縛ツテ、サウシテ強制力ニ依ツテ國民ヲ承服セシメバナラヌト云フコトハ、是ハ官僚ノヤル事デアリマス、酸イモ甘イモ噛ミ分ケテ居ル農林大臣デアリマスカラ、萬一様ナ事ハナイと思ヒマスケレドモ、是等ノ點ニ付キマシテハ、十分ニ御留意下サイマシテ、立法ニ御當リニナル際ニハ、國民ノ側ヲ御考下サイマシテ、御立案ヲ願ヒタイと思フデアリマス、此ノ問題ハ非常ニ御苦心ノアル點ハ、只今ノ御答辯ニ依ツテ分リマシタカラ、此ノ上私ハ御追究ヲ申上ゲマセウ、次ノ問題ハ、重大ナルコトヲ一點大臣カラ御答辯ヒタイと思フノハ、此ノ法律ハ第一條モ第二條モ、時價ニ準據シテ之ヲ賣渡シ若クハ買入レルト云フコトデゴザイマス、曩ノ本法ハ、買入ノ場合ニハ米穀統制法ノ命ズル價格ノ最高價格以下ヲ買入レルト云フ規定ニナツテ居リマスガ、今度ハ之ヲ御取リニナツテ、政府ノ見込ニ依ツテ時價ニ買入レル、依リマシテモ、米穀統制法ニ依ル最低價格、最高價格ト云フコトニ依ラズ、其ノ時價ニ依ツテ御買入ゲニナルノデゴザイマセウカドウカ、サウ致シマスト米穀統制法ガ最高價格最低價格ヲ定メテ居ルコトガ空文ニ屬シマフノデハナイカ、是ハ併シナガラ國民同土ノ買入ニ對シテ政府ハ取締ルノデ、政府ハ此ノ逼迫シテ事情ノ爲ニ、已ムヲ得ズ此ノ價格ニ依ルコトガ出來ナイ場合ニ於テ、時價ニ買入レルノゴト云フコトデアリマス、最價格ヲ超過シテ實際ノ時價ヲ買入レナケレバナラナイヤウナ建前ニ

ナツテ居ルノデスガ、今日ノ戰時體制下ニ於テ低物價政策ト云フコトヲ堅持サレルト、大藏大臣ハ屢々本議場ニ於テ御述ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ法律ヲ建前カラ言ハバ、其ノ低物價政策ト云フモノガ根本的ニ破壞サレルト思ヒマスガ、大藏大臣ノ言明ト農林大臣ノ只今ノ御說明ニ食違ヒガ生ジハシナイカ、此ノ點ヲ明ニシテ置キタイと思フデアリマス

○島田國務大臣 時價ニ準據スルト云フ事柄ニ付キマシテモ、本會議ノ席上ニ於テ御質問ガアリマシテ、私ノ見解ヲ申述ベテ置イタ次第デアリマスガ、現行法ニ依リマスルト、標準最高價格ノ一定割合以下ノモノニ付テ買入ル爲スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、標準最高價格、即ち只今ノ場合ニ付テ申シマスルト、最高價格ハ四十三圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ其一一定割合以下ニ於テ買入ルノデアリマス、然ルニ只今ノ事情ハ、御承知ノ如ク米穀ノ實際ノ時價ト云フモノハ、標準最高價格ニ接著シテ居ルト云フ状態デアリマス、下値ハアリマセウケレドモ、下値ヨリハ上値ニタツ付イテシマフ、丁度過剩米ノ非常ニ多イ時ニハ下値ニタツ付イテ、下値ノ又下廻リヲスルト云フヤウナ事情ノアルコトガアル、左様ナ場合デモ、下値ヨリ幾分カノ割合ヲ以テ買入ルト云フコトデアリマシテ、上値カラ一定ノ割合以下ニ於テ買入ルト云フコトニ、建前ノ理窟上ナツテ居ルノデアリマスガ、現在ノ取引ノ時價ト云フモノハ、殆ド最高標準價格ト云フモノニタツ付イテ動カナイト云フヤウナ状態デアリマスカラ、ソコデ一定割合以下

○山川委員 本日茲ニ上程セラレマシク昭和十二年法律第九十號中改正法律案、米穀ノ應急措置ニ關スル件デアリマスガ、政府ハ昨年ノ産米減收カラ苦イ經驗ヲ御積ミニナリマシテ、米穀以外ノ穀物及ビ穀粉ヲ此ノ法ニ加ヘテ、尙ホ戰争ノ爲ニト云フ臨時法ヲ、戰時デハアルケレドモ、一般ノ穀物ノ需給關係ヲ調整スル上ニ應用シヨウト云フ目的ノ爲ニ、改正サレマシクモノデアラウト信ズルノデアリマス、尙ホ本案ニ關聯

致シマシテ、食糧政策ト云フコトニ付キマシテ、聊カ愚見ヲ述ベマシテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ大切ナル食糧ノ不足ト云フ不安慮ノ今日、是ガ對策ヲ講ズルコトハ最モ大切ナコトデアリマス、本年ノ端境期ニ於ケル需給ノ見込ト云フモノト、十五年産米ノ増收確保、此ノ二ツニ付キマシテ十分ノ研究ヲシナケレバナラヌ問題デアラウト思フデアリマス、歐羅巴デハ食糧ハ平時不可缺ノ物資タルト同時ニ、戰時ニハ最後ノ決勝權ヲ有スル重要ノ兵器デアルト云フテ居ルノデアリマス、我國ハ日清、日露ノ兩戰時ニハ豊年デアリマシタ、又今次ノ事變以來豊年ガ續イテ、今後モ食糧タケハ安心ナ國デアル、天祐ノ國デアルト昨年マデハ言ツテ喜ンデ居ツタノデアリマス、然ルニ昨年ハ肥料ノ缺乏ヤ、勞力ノ不足ヤ、西日本、朝鮮ノ旱魃等カラ、非常ニ穀物ノ減少ヲ來シテ需給圓滿ヲ缺キ、食糧不安ノ状態ハ朝野ノ重大問題トナツタノデアリマス、是ガ對策ニ付キマシテ、以下各項ニ分チマシテ政府ノ御所見ヲ御尋シタイノデアリマス、昭和十四年産米ハ、發表高ニ依ツテ見マスルニ、其ノ發表高トソレカラ實際ノ食糧トシテノ實數トノ上ニ、見込違ヒガナイカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、昨年度ノ減收ノ模様ヲ見マスルニ、内地ノ米ノ生産額ハ六千八百九十九萬石デ、前年ニ較ベテ三百三十三萬石ノ増收ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ朝鮮ハ千四百三十五萬石デ、實ニ九百七十八萬石ノ大減收デアリマス、臺灣ハ九百十五萬石デ、六十六萬石ノ亦減收デアリマス、差引キマシテ七百三十萬石ノ大不足トナツテ居リマス、是ヲ見マスルト朝鮮ノ旱魃ガ

供給不足ノ最大原因トナツテ居ルコトガ分ルノデアリマス、所ガ其ノ外ニ私ハ内地産ノ三百三十萬石ト云フ増收ニ付テ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ昨年政府ガ増産獎勵ノ爲ニ、増産一石ニ付テ一圓ト云フ獎勵金ヲ交付シテ居ルノガ、是ガ爲ニ其ノ實收高ノ報告シテ居ルハセウカ、サウシテ見レバ實收額ハ前年ヨリ餘程統計ノ上ニ於テ殖ヘテ居ラウ、此處ニ見込ヒガアリハスマイカ、斯ウ云フコトヲ一ツ疑フノデアリマス、又關西ノ早害地方ヲ除ク外ハ、昨年ハ非常ニ湿度ガ高カツタ爲ニ、生熟ガ完全シテ、穂末マデ結實シテ居ルト云フ爲ニ、農村ノ統計外ノ食糧トナル屑米ガ少イ、是ハ見込スコトノ出來ヌ事柄デアリマス、不作ノ年デモ、豐作ノ年デモ、概ノ數ト云フモノハ大シク變リハナイノデアリマス、唯穂末マデ實ルカ、穂末ガ細イカ穂取ガアルカト云フコトガ、豐凶ノ岐目デアリマス、ソレガ湿度ノ高イ爲ニ實際穂末マデ皆丸々トシタ米ニナツテシマツタ、ソレデ屑米ト云フモノガナクナツテ、皆依米ニナツタ、ソレガ統計ノ上ニ擧ゲラレテ居ルヤウデアリマスルガ、農家ガ食糧品ト致シマスル所ノ屑米ト云フモノハ、一戸當リ五斗ヅツ違ツテモ、八百萬戸ノ農家デハ四百萬石違ツテ來ル、斯ウ云フ違算ガ出來ル勘定デアリマス、農林省ノ方デ御調査ナルノハ、屑米ノ統計ト云フモノハ分ラナイノデアリマス、是ハ農家ノ庭ノ隅ニ何カノ容器ニ入レテ、何時カ食ベヨウト思ツテ餘分ニ置イテアル米デアリマス、是ガ大變ナ違算ヲ來シテ、此ノ七百何十萬石ノ不作ト云フノハモット殖ヘハスマイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ案ズ

ル一人デアリマス、此ノ事ニ付キマシテ農林省ノ御考ヲ御聽カセ願ヒタイノデアリマス

○島田國務大臣 米ノ豐作ノ時ニハ、屑米ガ少ナルト云フヤウナ事柄ハ、是ハ年來言ウテ居ルコトデアリマスシ、又事實左様デアラウト思ヒマス、ソレカラ一石ニ付テ幾ラト云フ獎勵金ヲ出シテ、謂ハバ懸賞附キニナツテ居ル爲ニ、實收高ノ場合ニ報告ヲ幾ラカ多クシテ居リハセウカト云フコトモ、御觀察トシテハサウ云フ觀察ノ仕方モアラウト思ヒマスガ、私共ノ經驗カラ申シマスト、所謂産額ノ報告ニ付キマシテハ、大體ニ於テ内輸ニ幾ラカ言ツテ居ルト云フコトガ考ヘラレルトデアリマシテ、或ハ獎勵金ノ爲ニ多ク言フト云フヤウナ心理ノ動カトモナイトハ言ヘナイノデアリマスケレドモ、併シナガラ全體カラ統計的ニ全國ニ實收高ノ報告ニ付テハ、大イナル誤ハナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ屑米ノ問題ハ屢々論ゼラレル所デアリマスガ、ソレニ付テノ見込ガドノ位アルカト云フコトニ付キマシテハ、ソレハ統計上現ハレテ來ニタイ事柄デアリマスノデ、此ノ事ニ付キマシテハ、多少サウ云フコトノアルコトハ考ヘラレマセウケレドモ、今山川君ノ御指摘ニナルヤウニ、一戸當リ五斗違フ、斯ウ云フヤウナ意味ニ考ヘルコトハ、ソレハ如何デアリマセウカ、尙ホ是ハ實地ニ就キマシテ、相當概略デモ調査ヲ致シテ見マセウケレドモ、相當概略デモ調査ヲ致シテ見マセウケレドモ、數字ヲ申上ゲルコトハ出來ニタイデアラウト思ヒマス、隨テ五斗ヨリ以下デアルト云フコトモ申上ゲラレマセウケレドモ、唯頭ニ考ヘテ、ドウモ五斗當リト云フコトハ、餘リ多ク見ラレテ居ルノデハ

○山川委員 ソレナラサウ云フコトニ致シマス、次ニハ勞力ノ問題デゴザイマスガ、農村ハ應召兵ヤ軍馬徵用ノ爲ニ勞力ノ不足ニ備ンデ居リマスガ、近頃重工業ノ發達ナル爲ニ、不引合ノ米作農業ヲ捨テテ、區域外ノ重工業地帯ニ走り、田畑ヲ地主ニ返ス者ガ漸ク多ク加ヘルヤウニナツテ來タノデアリマス、本問題ハ全國農村ノ爲將來由々シキ大問題デ、人ガ足ラヌゲケハナイノデアリマス、賃銀ノ昂騰、是ガ延イテ非常ニ米價ノ根本ニ大影響ヲ及ボスコトニナツテ參リマス、ノミナラズソレガ區域外ニ走ル爲、減産ノ因ニナリハスマイカト云フ心配ニモナルノデアリマス、此ノ際ニ對シテ、ソレカラモウ一ツ緒ニ申上ゲマス、部落農會ノ助成ニ付デアリマス、農會ハ

所謂支那事變終了前ニサウ云フヤウナ御用... 律ヲ以テ國民ヲ縛ツテ、サウシテ強制力ニ...

○島田國務大臣 事變ノ關係、所謂軍務ニ... 服シ、若クハ軍需産業其ノ他所謂販賣産業...

○島田國務大臣 只今ノ御質問ノ點ニ付テ... ハ、農村ノ勞働力ノ方ニハ、大シテ制限ヲ受...

○吉田委員 一寸勞働力ノ問題ニ關シマ... シテ、農村ノ勞働力ノ不足ノ問題ハ非常ニ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

○島田國務大臣 坪山君ノ御質問、竝ニ吉... 田君ノ御質問、農村ノ勞働力ト云フモノ...

テ居ルカラ、中々此ノ米ヲ買フノ困難ナ
コトニナルヲラウト思フ、シヤムニ此ノ間
行ツテ調ベテ見マシタガ、中々サウ簡單ニ
米ガ作レナイ、一年ニ一千万石位シカ輸出
ガ出来ナイ、年ニ四週モ種レト云フコト
ハ嘘デ、一遍シカ種レナイ、而モ一反デ八
斗シカ種ツテ居ラス、サウ云フ情ケテ居ル
國ノ食物ヲ、何時デモ金サヘテツテ行ツタ
ラ賣ツテ呉レルヤウニ考ヘテ居ラ、大變
ナ間違ガ起ルノデアリマスカラ、一年ニ一
千万石不足ヲ生ズルヤウナ國民ヲ持ツテ
居ル日本ハ、代用食物ニ付テ今後餘程考ヘ
ナケレバナラヌト云フコトヲ重大視スルモ
ノデゴザイマス、之ニ對スル政府ノ御所見
ヲ承リタイト思ヒマス、其ノ次ニハ濱レ地
ニ對スル課税ノ問題デアリマス、住宅地ヤ
工場ノ敷地用トシテ年々良田ヲ潰シテ行ツ
テ、食糧ノ生産地ガ減少シテ行クデアリ
マス、食糧ノ生産ノ上カテ海ニ情シイコト
デハゴザイマスガ、是ハ世ノ進歩ニ連レマ
シテ大勢如何トモ致シ方ガナイ事デゴザイ
マスカラ、潰スナト云フコトヲ申上ゲル
ノデハゴザイマセスガ、十三年度ノ耕地ノ
擴張ハ田畑ガ四方七百四十四町歩デアリ
マス、又潰レ地ノ方ハ六百七十五町歩デ
アリマス、差引二万三千町歩ト云フ生産地
ガ減ツテ來ルノデアリマス、サウシテ統計
面ヲ見マスノニ、耕地ノ擴張ノ方ハ年々ノ
統計ガズツト下ツテ來ル、潰レ地ノ方ノ統
計ハ年々上ツテ來テ居ル、此ノ趨勢ヲ考ヘ
テモ實ニ末恐ロシイ、尙ホ是ハ十三年度ノ
分ヲ申シテデアリマスガ、十四年度ニ於
キマシテハ兵庫縣ダケモ八百町歩モ減ツ
テ居ル、斯ウ云フ風ニドソノ土地ガ減ツ
テ行クト云フコトハ、一年位デハ分ラヌケ

レドモ、コソナ事ヲ五年ナリ七年ナリ
重ネタラバ、將來食糧問題ニ由キシイ
問題ガ起ルデアラウト考ヘルノデアリ
マス、デアリマスカラ是等ノ土地ニ對シ
マシテ、ソレヲ工場地ニスルモノハ買収シ
タ外ニ、生産額カラ割出シテ所ノ田地ノ價
格、畑地ノ價格、此ノ價格ヲ税金トシテ
政府ガ取上ゲル、一反八百圓ノ米ヲ生産ス
ルトスルナラバ八百圓ノ税金ヲ取ル、畑地
二百圓ナラバ二百圓ノ税金ヲ取ル、斯ウ云フ
風ニ取ツテ、サウシテ其ノ金ヲ片方ノ開墾
ノ方ヘ持ツテ行ツテ耕作サセル、耕作地ハ
十年モ経ナケレバ一人前ノ良地ニナラナイ
ノデアル、片方ニ於テハ簡單ニ生産地ヲ潰
サレテ行クノデアリマス、是ハ決シテ農村
ダケノ問題デハナイ、我國ノ食糧問題トシ
テ重大問題デアリマス、斯ウ云フ趨勢ガ只
今申スヤウニ、統計ニ依レバ穀類ノ一段々
片方ガ上レバ上レ程片方ハ下ツテ行クノデ
アリマシテ、終ヒニハ大變ナコトニナルト
思ヒマスカラ、此ノ生産ノ土地ヲ片方減
ラサレルナラバ一方ノ開墾サセル、斯ウ云
フ方法ニ付テ考ヘナケレバナラヌト思フ
デアリマスガ、大臣ノ御所見ヲ承リタイノ
デアリマス

○島田國務大臣 混合代用食ノ事ニ付キマ
シテハ、政府トシテモ考ヘテ居リ、又現時
ノ狀態ニ於キマシテ米ノ方面カラ考ヘマ
シテ、殊ニ之ヲ獎勵スルト云フ考ヲ持ツテ
居ルノデアリマシテ、甘藷馬鈴薯等ニ付キ
マシテハ、明年度ノ豫算ニ於キマシテモ相
當ノ増産スルト云フ計畫ヲ立テテ居ル次
第デアリマス、尙ホ耕地ノ減少ノ傾向ニ付
キマシテハ洵ニ憂フベキモノガアル、之ニ
對シマシテハ耕地ノ擴張維持ト云フコトニ

運デアリマス、其ノ間違デアルト云フコト
ヲ是カラ申上ゲマス

○小林主査 山川君、成ベク質問ノ要點ヲ
御話願ヒタイ

○山川委員 是ガ要點デス、原料資源ノ不足
ヲ招イテ居ルノデス、第一ハ糠ノ減少デス、糠ノ
用途ヲ申上ゲマス、第一ガ家畜ノ飼料、又
糠油ヲ取リマス、其ノ糠油箱ハ家畜ノ飼料ニテ
ルノデアリマス、第二ニハ中糠デアリマス、
是ハ米ノ澱粉ト同質ノモノデアリマシテ、
酒造米ノ中糠ハ菓子ノ原料ヤ、饅頭ノ皮ニ
使ツテ居リマス、第三ハ上糠、是ハ輸出ノ
糠布、絹布等ノ糊ニ使ツテ居リマス、第四
ハ酒ノ粕ノ減少デス、酒ノ粕ハ鮮魚ノ粕漬
用、奈良漬ノ原料、醬油ノ原料、焼酎ノ原
料ニナリマス、焼酎粕ハ清淨肥料トシテ必
要品デアリマス、以上ノ代用原料ヲ他ニ求
メルコトニシタラ、却テ高價ナモノニナリ
マシテ大損失トナル、昔カラ酒屋ハ米代ハ
粕デアル、薪代ハ糠デアルト云フコトデア
リマス、其ノ通りデアリマス、造石高ノ
減少ハ晩酌ノ廢止トナリ、晩酌ヲ止メタラ
飯ヲ薄山食ニマスカラ節米ニナリマセヌ(笑
聲)此ノ節米法ハ、結局二百万石ノ酒ト税金
三億圓程ノモノヲ無益ニ捨テバカリニナ
リマシテ、國家ノ不利此ノ上モナイコトデ
アリマス、コソナ減石ノ歩合ナドヲドナタ
ガ御決メニナルノカ、農林大臣ニ責任ハナ
イト思ヒマスガ、農林大臣モ節米ト云フコ
トデ關サレテ御實成ニナツタノデヤナイカ
ト思ヒマス、結局酒ト云フモノダケヲ無駄
ニ捨テテ、尙ホ取りタイ所ノ税金ヲ捨テテ
ト云フコトダケニ終ルヤウナ大問題ヲ、何
處カノ役人サシガ二人カ三人寄ツテ決メル
ト云フヤウナコトハ大問題デアリマス、三

○島田國務大臣 節米ヲシナケレバナラヌ
ト云フコトハ、何人モ今日ノ狀態トシテ異
存ノナイコトト思フノデアリマス、唯節米
ノ方法ニ付キマシテハ、七分搗ニ依ルノガ
效力ガアルカト云フヤウナ點ニ付キマシテ
ハ、ソレガ如何ナル程度ニ徹底スルカト云
フ點ハ、實績ノ上ニ於テ之ヲ見ルノ外ハナ
イノデアリマシテ、國民ガ時局ヲ認識シ、
自制ヲシテ、サウシテ此ノ節米ノ舉ニ出マ
スルナラバ、相當ノ成績ガ舉リ、政府モ亦
ソレニ付テ獎勵スルト云フ態度ヲ執ラネ
バナラス、又執ツテ居ルノデアリマス、唯
此ノ場合ニ最モ有效デアルト考ヘマスカラ
ハ、七分搗固ヨリデアリマスカレドモ、代
用食、混合食ト云フコトハ、一番效力ガアラ
ウト思フノデアリマシテ、其ノ意味カラ先
程御質問ニナリマシタ甘藷、馬鈴薯等ノ問
題ヲ考ヘマス、是ハ代用食又混合食ト云フ
意味ニ於テ、大イナル效果ヲ舉ゲベキモノ
ダト考ヘ居リマス、酒造米ノコトニ付キマ

シテ、酒造用ノ米ヲ減ズルト云フコトニ付
テ、既ニ政府ガ或ル方針ヲ立テテ進んで居
ルノデアリマスガ、此ノ事ニ付キマシテハ
私自身ノ考ヲ申シマス、若シ此ノ番給ノ
關係ニ於テ許サユウナ事情ガアルナラバ、
礦山ノ勞働者デアルトカ、或ハ沖ニ出テ漁
業ニ従事シテ居ル漁夫デアルトカ、或ハ寒
イ地方ニ於テ雪ノ申デ働イテ居ル人々ト
カ、大陸ニ働イテ居ル第一線ノ若イ人達、
斯ウ云フ點カラ考ヘマス、酒造米ノ減少
ヲ來シテ、ソレガ爲メ酒ノ消費ガ惡クナル
或ハ酒ノ量ガ非常ニ少クナルト云フ爲メ、酒
ニ代ルベキ他ノ衛生上寄ノアルヤウナモノ
マデモ、必要ニ應ジテ飲ムト云フヤウナコ
トガアレバ、國民ノ保健衛生ノ上カラ隨分憂
フベキコトトモ考ヘマスカラ、此ノ點ニ付
キマシテハ、將來需給ノ關係ニ於テ相當考
ヘル餘地ガ出来ルヤウナ場合ニハ、先づ第一
ニ是等ノ點ニ付テ考ヘテ見タイト云フ氣持
ヲ、私ハ今持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲ
テ置キタイト思フノデス、酒ヲ飲マナケレ
バ米ヲ他ノ方デ消費スルコトガ少イト云フヤ
ウナ議論ヲサレル人モアリマスカレドモ、
是ハ酒ノ嗜好ヲ持ツテ居ル人達ノ間ニサウ
云フコトガ言ハレマスカラ、其ノ通りト信ズ
ル譯ニハ參ラヌト思フノデアリマスカレド
モ、併シ筋肉勞働ニ從事シテ居ル人達ガ、
一日ノ勞ヲ醫スル爲メ幾分カノ清酒ヲ飲ム、
或ハ雪ノ中デ働イテ居ル人達ガ、清酒デナ
クテモセメテ濁酒デモ飲ミタイ、又之ヲ飲
マセタイ、斯ウ云フヤウナ事情ハ、ドウモ
社會ノ實情カラ考ヘテアルヤウニ思フノデ
アリマス、酒造米ノ節約ガ節米ニナラヌト
云フ議論ニハ實成スルコトガ出来ヌノデア

リマスガ、社會ノ情勢カラ考ヘマス、左
様ナモノノアルト云フコトヲ、私ハ之ニ關
聯シテ感ジテ居ルノデアリマシテ、直チニ
酒造米ニ付テドウ云フ處置ヲ取ルト云フヤ
ウナ考ハ、今起ス餘地ガナイカラシテ持ツ
テ居リマセスカレドモ、サウ云フヤウナ考
ヘ方ヲシテ居ルト云フコトダケハ、此ノ際
併セテ申上ゲテ置キマス

○山川委員 モウ一點デ終リマス、節米ニ
付テ今御答辯ヲ願ツタノデアリマスガ、私
ガ本當ノ節米トシテ申上ゲタイノハ節食デ
アリマス、少シ食ベルコトデアリマス、本
當ノ節米ハ節食ヨリ外アリマセヌ、人ハ一
年ノ中十一箇月食物ガアツテモ、アト一箇月
缺乏シタラ大變ナコトニナリマス、ソコデ
十一箇月ノ食物ヲ十二箇月ニ食ヒ延バスノ
デアリマス、今カラ在右數十分調ベ、又
外國カラノ輸入米等ノ可能數ヲ調査シテ置
イテ、サウシテ見透シテ付テ置イテ、節
米法ニ掛カルノデアリマス、此ノ節米ニ付
テハ、學理的ニ研究ヲシテ載キマシテ、必
要ノ營養ヲ取ルコトニスル、壯丁ガ自分ノ
家ニ居ツタ時分ニハ、腹一杯飯ヲ食ツテ居
ツタノガ、入營後ハ少食デ、粗食デ、而モ
過勞デ、體力ハ二三箇月ニシテ見透ヘル程
良クナルノデアリマス、又都會ノ中心地區
ノ糞便ガ、労働區域ノソレト比シ、肥料ト
シマシテ半分ノ價值ヨリアリマセヌ、是カ
ラ考ヘマシテモ、不必要ニ營養ヲ腹ヲ通シ
テ便所ニ棄テテ居ルコトハ能ク分ルノデア
リマス、斯ウ云フ點ヨリシテ、何卒十分必
要ニ營養ヲ取ル所ノ方法ヲ考ヘテ、節食ノ
方法ヲ行ツテ戴イタラドウデアラウカ、又
粥ヲ食ツタリ、雑炊ヲ食ツタリスル所ノ糞
便等モ、御考ヲ願ツタラドウデアラウカ、

現ニ角生産ヲ考ヘルコトハ大切ナコトデア
リマスガ、又同時ニ節米ヲ研究スルノガ、
時節柄緊要ノ問題デアリマスマイカ、御
意見ヲ承リタイノデアリマス、尙ホ早害對
策ニ付キマシテ、昨年ノ早害對策以來、各
府縣ヨリ「ダム、溜池、水踏、井堰等」新計畫
ガ奮然トシテ起リマシテ、是ガ助成ニ付テ
ハ多額ノ要求ガアツタコトトモ思ヒマスガ、
政府ハ之ニ對シテ「程度マデ助成ガ出來
ル」デアリマス、此ノ問題ハ食糧ノ問題
ト關聯致シマシテ、重要政策アルト存ジ
マス、此ノ點ニ付テ政府ノ明確ナル御所信
ヲ承リタイノデアリマス、歐洲ノ農村ニハ
課稅ガナイノミカ、如何ニシテ農村ヲ保護
スルカガ問題デアリマス、我國トハ雲泥ノ
相違デアリマセカ、生産漸減ノ我國農
村ノ前途ハ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガア
リマス、今ニシテ農村ヲ顧ミナイト、末恐
ロシイコトナリハシマセカ、政府ハ思
切ツテ農村保護政策ト食糧ノ確保トニ付
テ、對策ヲ講ゼラレンコトヲ要望致シマシ
テ、大臣ノ御答ヲ願フ次第デアリマス、
是デ私ノ質問ヲ終リマス

○島田國務大臣 節米ノ方法ト節食ト云フ
コトハ、是ハ同時ニ考ヘラレテ居ルコトデ
アリマシテ、節米、七分搗、混食、代用食、
節食、斯ウ云フ事柄ニ付テ、有ユル方面カ
ラ此ノ節米ノ實行ヲ擧ゲタイト考ヘテ居リマ
ス、尙ホ早害對策ニ付キマシテハ、是ハ昨年
ノ早害ガ非常ニ深刻デアラト云フコトニ
鑑ミマシテ、恒久竝ニ應急ノ處置ト致シマ
シテ、既ニ應急處置トシテハ相當ノ事ヲ致
シテ居リマス、尙ホ恒久處置ニ付キマシテ
ハ、十五年度以降ニ於テ實施スベキ事柄ニ
付キマシテハ只今追加豫算ヲ以テ之ニ對ス

ル事業ノ計畫ヲ立テ、大蔵省ト折衝中デア
リマス、成案ヲ得マシタラバ、本期議會
中ニ追加豫算ヲ以テ御協賛ヲ仰グヤウニ致
シタイト考ヘテ居リマス

○小林委員長 土屋實君

○土屋委員 私人農林大臣ニ食糧政策ニ對
シテ御同致シタイト思フノデアリマス、今
期議會ヲ通過シテ色々ト御話ヲ伺ツテ居リ
マスガ、主要食糧ノ確保ニ對シマシテハ、ハ
ツキリシテ見透シガ付イテ居ナイノデハナ
イカト云フ感ゾ私ハ持ツテ居リマス、増
産ノコトヲ常ニ口ニ致サレテ居ルヤウデア
リスマスガ、増産スルノダト仰シタルノミデ
アツテ、其ノ増産スベキ手段方法ハ御示ニ
ナツテ居ナイ、又今回ノ此ノ改正法律案ニ
於テモ雜穀ニマデ及ンデ、代用混食ヲ以テ主
要食糧ヲ確保シヨウト云フ御意見ノヤウデ
アリマス、併シ是ハ例ヲ引キマシテハ相濟
ミマセカ、前ニ山川君カラ七分搗ノ御話
ガアリマシタガ、糠ハ牛馬ガ食フモノト日
本デハ昔カラナツテ居リマス、其ノ牛馬ノ
食フモノヲ人間ガ食フヤウニスルノガ、是
ガ節米ノ規則デアリマス、勅令デ出テ居リ
マス、所謂牛馬ノ飼料ヲ人間ニ食ヘヨト云
フ勅令デアリマス、七分搗ノ米ヲ食ヘト云
フコトガ、厚生省方面カラ現ハレタモノデ
アリマシタラバ、所謂國民ノ健康保全ノ意
味カラ來ルノデアリマセカ、商工、農林
兩省カラ出サレテ居ル關係カラ見マスレ
バ、是ハ人間ニ「雜食」ヘト云フコトデアリ
マス、ソレモ宜シヨウゴザイマセウ、併シ
體ドウ云フコトニ爲サル御考デアラカ、混
用食ノ一ツノ例ヲ申上ゲマスレバ、麥ヲ混
用シテ食フコトハイカスト云フコトヲ、
頻リニ各地方ニ獎勵ニナツテ居リマスガ、

トシテ變化ナク、肥料ハ八割デアル、而モ
最モ大事ナ加里鹽ハ大缺乏デアル、甘藷ノ
栽培ヲ獎勵スルト仰シヤイマスケレドモ、
甘藷ニナクテナラヌ所ノ加里鹽ハ大缺乏デ
アリマス、米ヲ作ルニシマシテモ加里鹽ガ
ナクテハイカセカ、大缺乏デアリマス、
所ガ此ノ必要ナル肥料ノ缺乏ヲ眼ノ前ニシ
テ、耕地面積ハ増加セズシテ、勞力ハ一日
一日ト減少致シテ來テ居ル、此ノ農村ノ狀
態ニ向ツテ米ノ増産ヲセヨト云フノニハ、
相當ナル順序立ツタコトデナクテハ増産ハ
獎勵ハ出來マセカ、其ノ點ニ付イテハ増産
ヲ獎勵スルト御言明ニナルノデアリマスカ
ラ、必ズヤ何人ガ開イテモ首肯シ得ラレ
ルノ計畫ガ整ツテ居ルモノデアラウト存
ズルノデアリマス、爲ニ私ハ議會當利ヨリ、
アナト同僚トノ質問應答ヲ洵ニ耳ヲ傾ケ
テ聽イテ居ルノデアリマス、併シ農民ニ
話シテ得心スルヤウナ、アナトノ御意見
ガマダ承ツテ居ラス、要ハ米ガ澤山アリ
サヘスレバ、此ノ法律ヲ改正スルコト
ハ要リマス、併シ米ガ澤山出來ヌ
ヤウニナル此ノ周圍ノ情勢ニ於テ増産
ヲ計畫スルノダ、其ノ不足ハ代用食、
混用食ニ依ツテ濟マスノダ、然レバ混用食
ヲナサル其ノ混用作物所謂雜穀ノ從來ノ用
途ヲ如何ニスルノカ、雜穀ノ從來ノ用途ニ
ソレダケ食込シテ來マスガ、其ノ從來ノ用
途ハドウナツテ來ルカ、ソレハ我儘ガ出來
ルカ、出來ヌカ重大ノ問題デアリマス、甚
ダ突拍子ノ例ヲ引クヤウデアリマスガ、煙
草盆ノ中ニ入レマス炭ノ上ニハ何ガ入ツテ
居リマスカ、吾々ガ最モ希望スル所ノ窒素
肥料ノ代用品ニスル智利硝石ガ「パイ入ツ
テ居リマス、智利硝石ハ肥料商ニ扱ハセ

麥ヲ食フノヲ嫌フ人ガ澤山アリマス、七分
搗ガ通ツテ、其ノ後ハ「麥飯」食ツテ腹
ガ通ツテ、人間ハ瘦セテシマフ、麥ヲ食フ
ノガ嫌ナラバ、然ラバ甘藷ヲヤウウ、詰リ
米一斗ニ對シテ麥二升、若クハ三升ヲクツ
付ケケレバ、警察ノ取締ガヤカマシイカ
ラ、ドウシテモ仕方ガナイ、若シ麥ヲ付ケ
テ置カナイナラバ、甘藷一貫匁ノ之ニ付ケ
テ置ケバ、警察ノ方ノ取締リハ免レルコト
ガ出來ル、麥ノ生産額ハ、小麥、裸麥、大
麥ヲ通ジマシテ、從來ノ用途ヨリ考ヘマシ
テモ、左様ニ混ゼテ食フダケノ數量ハゴザ
イマセカ、又甘藷ヲ從來代用食トシテ獎勵
致シテ居リマスガ、其ノ代用食ガ今日ハ都
市方面、市街方面デハ混食ニ用ヒラレテ居
リマス、一貫匁三七八錢致シテ居ルヤウ
デアリマスガ、甘藷一貫匁ノ所謂腹ノ中ニ
於テノ力ハ、米一升ト同等ノ力デアリマス、
デアリマスカラ甘藷ヲ食ツテ生キテ居ル
コトヲ世間體ヨリモ、白米ヲ食ツテ生キテ居
ルコトヲ世間體ノ方ガ、ドレ位宜イカ分ラ
ナイ、デアリマスカラ、諸君實ツテ米ヲ買
ツテ食フノデアリマス、一面ニ於テハ混用
食獎勵デ、白米商ハ甘藷ヲ付ケテ需要家ニ
持ツテ行ク、百姓ハ甘藷ヲ買ル一方ニ於
テ、米ヲ買ツテ食フノデアリマス、グルレ
廻リテ鬼ゴツコヲシテ居ルト同様デアリマ
ス、斯様ナコトデアリマシテ、前ノ七分搗
ノ問題デモ、實ハ「カシイコト」ナラズ、
七分搗ノ米ト云フモノハ、其ノ專門精白業
者ノ立場カラ考ヘマスレバ、何ノ價值モア
リマセカ、幾分糧ガ出ルコトハ御認メニナ
ルコトデアリマセウケレドモ、アノ玄
米ノ表皮ニドレダケ減ル所ガアルデアリマ
セウカ、糠ノ量ノ厚サガドレダケアルノデ

バ、必ズ農家ノ手許ニ行クモノダト御考ニ
ナリマセウケレドモ、必ズ農家ノ手許ニ來
ルモノデアリマセカ、色々ナル方面ニ使
ハレルノデアリマシテ、數字ノ上デダケ御
覽下サツタノデハ、其ノ數字ハ非常ナ手違
ヒガ出テ來ル、併シ數字ヲ見ルヨリ外仕方
ガナイト仰セニナリマセウ、ソレハ御尤モ
デアリマスガ、其ノ中ニハ何ボカノ入レ算
整ヲ見テ置イテ下サラナケレバイカナイ、
デアルカラ「確安」ニシテモ過猶酸ニシテモ、
又加里鹽ハ論ズル程ノ數量ハナイ、ソレデ
増産ヲセイ、自給肥料ヲ使ヘト言ハレルガ、
自給肥料ヲ誰ガ造ルノデスカ、是ハ野山
ヲ自給肥料ヲ造リタイト言ツテ歩イタダケ
デハ出來ルモノデアリマセカ、是ハ相
當ノ勞力ト相當ノ日數ヲ要サナケレバ自給
肥料ハ得ラレヌノデアリマス、一昨年以來
自給肥料ニ付テ相當ニ申シマシタケレド
モ、私共満足スルダケノマダ政策ニ出會シ
テ居ラスノデアリマス、デアリマスカラ私
ハ此ノ場合ハ増産ハ如何ニシテスルノダ、
代用食ハ混食ヲ獎勵スルガ、混食ニ使用ス
ル所ノ雜穀ノ從來ノ用途ヲ如何ニシテ之ヲ
混食ニ用スルノデアラカ、之ヲ承リタイ、重
ネテ申上ゲマス、肥料モ足リマセカ、勞力
モ足リマセカ、耕地ハ依然トシテ増加致シ
テ居リマセカ、米ノ需要ノミガ増加スルノ
デアリマスカラ、茲デ主要食糧ヲ確保スル
ト云フコトヲ常ニ仰シタル、其ノアナタノ
具體的ノ思召ヲドウカ率直ニ御知ラセテ願
ヒタイ、尙ホ此ノ法律案ノ改正ガ果シテ妥
當ナリヤ否ヤニ付テハ掛カラス疑問ヲ持ツ
テ居リマスガ、今日ハ時間ノ關係ガアリマ
スカラ次ノ機會ニ廻シマスガ、只今ノ問題
ニ付テ大臣ノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

アリマセウ、之ヲ重量ノ上カラ計算致シマ
シテモ、ドチカラ致シマシテモ、何ノ效果
モアリマセカ、唯米穀商ガ、此ノ玄米公定價
格、白米最高販賣價格トノ差ガ窮屈ニナツ
テ、商賣スルコトガ至難デアルケレドモ、
玄米、所謂七分搗ヲ獎勵セラレテ居リマス
カラ、其ノ七分搗トノ差額ニ依ツテ漸ク商
賣ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデアリ
マスカラ、本當ニ七分搗デアリマシタラ精
精白デアリマス、デアリマスカラ是ハ左程
ノ效果ハアリマセカ、ノミナラズ此ノ七分
搗ヲ宣傳セラレテ居リマスガ、私ノ見方ガ
違フノカ知レマセカ、是ハ所謂精白ヲ業
トスル者デナクテハイカセカ、自分ノ業
デアリマス、自分ガ唐白デ搗キ、自分ノ水
車デ搗キ、詰リ農家ガ自分ノ消費スル所ノ
オ米ハ、何等カノ規則ニハ關レヌヤウデア
リマス、農家ハ精白ノ米ヲ食ツテモ宜シイ
ト云フコトニナツテ來ルノデアリマス、サ
ウスルト食糧政策ト云フ大キイ見地カラ見
ルト、國民ノ消費者、或ル半數ニハ糠ノ混ツ
タノヲ食ヘ、或ル半數ニハ糠ガ混ラナイ
ノヲ食ヘ、斯様ナ妙ナ結果ニナツテ來テ居
ルノデアリマスガ、ドレヲ見マシテモ、私
ハ甚ダ失禮ナ例デアリマスガ、子供ガオ寺
ノ鳩ヲ追ウテ居ルヤウナ食糧政策ノヤウナ
感ジガシテナラヌノデアリマス、一ツノモ
ノヲ押ヘラレバ向フニ逃ゲル、又次ヲ押ヘ
行ツテ一定ノ方針ハナイ、其ノ時ダケ通レ
ルノダ、詰リ米ノ増産ヲセヨト百姓ニ對シテ
獎勵セラレマシテモ、今日ノ時代カラ考
ヘマスレバ、集約的農業ガ粗放農業ニ流レ
ルバカリデアリマス、牛馬ノ食フ糠ヲ人間

○島田國務大臣 段々ノ御説デアリマスガ、
増産ヲ爲シ、食糧ノ確保ヲ期スルト云フ上
ニ於キマシテハ、ヤハリ土地、肥料、勞力、
斯ウ云フモノニ付テ出來ルダケノコトヲス
ルノ外ハナイ、ソレニシテ尙ホ及ナイ場
合ニ於キマシテハ、外國ノ穀物等ニ付テモ
考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ結局
ナルト考ヘテ居リマス、ソレデ質問者ノ只
今ノ御言葉ヲ聽キマス、ソレハ出來ヌデ
ハナイカ、斯ウ云フコトニ歸著スルカモ知レ
ヌト思ヒマスガ、ドウモ食糧ヲ増産シ、是
マデ出來タ分量ヲ確保スル、斯ウ云フコト
ニ付キマシテハ、土地ニ付キマシテハ耕地ノ
擴張、又改良ヲ圖ル、ソレカラ之ニ關スル
各般ノ施設ヲ完備シテ行ク、肥料ニ付キマ
シテハ所要ノ肥料ヲ出來ルダケ供給スルノ
途ヲ立テテ之ニ努力スル、所謂人力ニ於
出來テ得ル限リヲ其ノ方面ニ盡スト云フコ
トノ外ニハ、所謂其ノ他ニ特別ナ妙案ガア
ル道理ハナイカノヤウニ考ヘテ居リマス、
勞力ノ問題ニ付キマシテモ、先刻來他ノ委
員ヨリ御質問モアリマシタモ、之ニ付キマ
シテモ内外ノ情勢、全體ノ人口數ト其ノ
人口ノ分布ノ上カラ考ヘマシテ、出來ルダ
ケ必要ナル農村勞力ノ保持ヲ圖ル、斯ウ云
フコトニ向ツテ力ヲ致シテ行クト云フノ外
ハナイカノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、
尙ホ代用食ヤル場合ニ、代用食ヤレバ
ソレダケ減ルト云フコトハ御尤モデアリマ
ス、隨テ代用食ヤル所ノ麥ナリ、甘藷ナ
リ、馬鈴薯ナリ、其ノ他ノモノニ付キマシ
テモ、ヤハリ同一ノ方針ヲ以テ之ニ對スル増
産ノ計畫ヲ立テテ進ム、斯ウ云フヤウニ自
分共ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ從來
ヤリ來ツテ居ルコトハ駄目ダ、斯ウ云フ御

ニ食ヘト仰セラレルカラ、牛馬ハ瘦セマス、
甚ダ細カイコトヲ言フヤウデアリマスガ、
牛馬ガ瘦セラレバ牛馬ノ勞力ガ減ルノデアリ
マス、混食ヲ獎勵ナサツテ大豆ヲ人間ニ食
ト仰シヤレバ、又是レ牛ノ從來食ツテ居
タ大豆粕ナドモ食ヒ惡クナルノデアリマス、
總テノモノガ人間ト畜類ノ食フ物ヲ競争シ
ナケレバナラヌヤウニナツテ來テ居ルヤウ
ニ思ハレマス、即チ第一次世界大戰ニ於テ
獨逸ガ糧食タル食糧政策ヲ今日日本ガ又
其ノ通りヲ採取ツテ行ツテ居ルヤウナ感ジ
ガ致シテナラヌノデアリマス、斷乎タル決
意ノ下ニ進ンデ行カレル食糧政策ヲ私ハ承
リタイ、耕地ヲ増加セズ、勞力ヲ増加セズ、
肥料ヲ増加セズ、サウシテ増産ヲ希フト云
フコトハ誰ガ考ヘテ見テモ受取レマセカ、
眞ニ山川君ノ御話ニナリマシタヤウニ、年
年熟田ハ工場用地トナリマシテ、面積ノ上
ニ現ハレテ居リマス土地ハ新地デアリマス、
如何ニ熟練ノ農家ガ之ヲ耕作致シマシテモ
同様ノ收穫ハ得ラレマセカ、ソレデアリマ
スカラ年々熟田ハ減少致シ、時局ノ結果勞
力ハ減少シ、而シテ肥料ノ供給ハ不十分ト
ナリ、其ノ上ニ尙ホ増産セヨト仰シタルト
云フコトニナレバ、ドウ云フ方法ニ依ツテ
之ヲ増産スルノデアリマセウカ、私ハ具體
的ニ増産計畫ヲ承ラナケレバ、机ノ上デ三
石一斗餘ノ反當收穫ニナツテ居ルカラ、之
ニ一畝掛ケケテ、二石二斗ニセヨ、二石三
斗ニセヨト仰シヤツテモ、ソレハ机上ノ「ア
ラシ」デ、實際ニ出來ルモノデアリマセカ、
二石一斗ノ反當平均收穫ヲ二石二斗或ハ二
石三斗ニスルニハ、如何ナル手段方法ヲ執ツ
テヤレ、之ヲ御示シニナラナケレバ、先
ニ申上ゲマシタ通り、耕地ノ面積ニハ依然

トシテ變化ナク、肥料ハ八割デアル、而モ
最モ大事ナ加里鹽ハ大缺乏デアル、甘藷ノ
栽培ヲ獎勵スルト仰シヤイマスケレドモ、
甘藷ニナクテナラヌ所ノ加里鹽ハ大缺乏デ
アリマス、米ヲ作ルニシマシテモ加里鹽ガ
ナクテハイカセカ、大缺乏デアリマス、
所ガ此ノ必要ナル肥料ノ缺乏ヲ眼ノ前ニシ
テ、耕地面積ハ増加セズシテ、勞力ハ一日
一日ト減少致シテ來テ居ル、此ノ農村ノ狀
態ニ向ツテ米ノ増産ヲセヨト云フノニハ、
相當ナル順序立ツタコトデナクテハ増産ハ
獎勵ハ出來マセカ、其ノ點ニ付イテハ増産
ヲ獎勵スルト御言明ニナルノデアリマスカ
ラ、必ズヤ何人ガ開イテモ首肯シ得ラレ
ルノ計畫ガ整ツテ居ルモノデアラウト存
ズルノデアリマス、爲ニ私ハ議會當利ヨリ、
アナト同僚トノ質問應答ヲ洵ニ耳ヲ傾ケ
テ聽イテ居ルノデアリマス、併シ農民ニ
話シテ得心スルヤウナ、アナトノ御意見
ガマダ承ツテ居ラス、要ハ米ガ澤山アリ
サヘスレバ、此ノ法律ヲ改正スルコト
ハ要リマス、併シ米ガ澤山出來ヌ
ヤウニナル此ノ周圍ノ情勢ニ於テ増産
ヲ計畫スルノダ、其ノ不足ハ代用食、
混用食ニ依ツテ濟マスノダ、然レバ混用食
ヲナサル其ノ混用作物所謂雜穀ノ從來ノ用
途ヲ如何ニスルノカ、雜穀ノ從來ノ用途ニ
ソレダケ食込シテ來マスガ、其ノ從來ノ用
途ハドウナツテ來ルカ、ソレハ我儘ガ出來
ルカ、出來ヌカ重大ノ問題デアリマス、甚
ダ突拍子ノ例ヲ引クヤウデアリマスガ、煙
草盆ノ中ニ入レマス炭ノ上ニハ何ガ入ツテ
居リマスカ、吾々ガ最モ希望スル所ノ窒素
肥料ノ代用品ニスル智利硝石ガ「パイ入ツ
テ居リマス、智利硝石ハ肥料商ニ扱ハセ

バ、必ズ農家ノ手許ニ行クモノダト御考ニ
ナリマセウケレドモ、必ズ農家ノ手許ニ來
ルモノデアリマセカ、色々ナル方面ニ使
ハレルノデアリマシテ、數字ノ上デダケ御
覽下サツタノデハ、其ノ數字ハ非常ナ手違
ヒガ出テ來ル、併シ數字ヲ見ルヨリ外仕方
ガナイト仰セニナリマセウ、ソレハ御尤モ
デアリマスガ、其ノ中ニハ何ボカノ入レ算
整ヲ見テ置イテ下サラナケレバイカナイ、
デアルカラ「確安」ニシテモ過猶酸ニシテモ、
又加里鹽ハ論ズル程ノ數量ハナイ、ソレデ
増産ヲセイ、自給肥料ヲ使ヘト言ハレルガ、
自給肥料ヲ誰ガ造ルノデスカ、是ハ野山
ヲ自給肥料ヲ造リタイト言ツテ歩イタダケ
デハ出來ルモノデアリマセカ、是ハ相
當ノ勞力ト相當ノ日數ヲ要サナケレバ自給
肥料ハ得ラレヌノデアリマス、一昨年以來
自給肥料ニ付テ相當ニ申シマシタケレド
モ、私共満足スルダケノマダ政策ニ出會シ
テ居ラスノデアリマス、デアリマスカラ私
ハ此ノ場合ハ増産ハ如何ニシテスルノダ、
代用食ハ混食ヲ獎勵スルガ、混食ニ使用ス
ル所ノ雜穀ノ從來ノ用途ヲ如何ニシテ之ヲ
混食ニ用スルノデアラカ、之ヲ承リタイ、重
ネテ申上ゲマス、肥料モ足リマセカ、勞力
モ足リマセカ、耕地ハ依然トシテ増加致シ
テ居リマセカ、米ノ需要ノミガ増加スルノ
デアリマスカラ、茲デ主要食糧ヲ確保スル
ト云フコトヲ常ニ仰シタル、其ノアナタノ
具體的ノ思召ヲドウカ率直ニ御知ラセテ願
ヒタイ、尙ホ此ノ法律案ノ改正ガ果シテ妥
當ナリヤ否ヤニ付テハ掛カラス疑問ヲ持ツ
テ居リマスガ、今日ハ時間ノ關係ガアリマ
スカラ次ノ機會ニ廻シマスガ、只今ノ問題
ニ付テ大臣ノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 段々ノ御説デアリマスガ、
増産ヲ爲シ、食糧ノ確保ヲ期スルト云フ上
ニ於キマシテハ、ヤハリ土地、肥料、勞力、
斯ウ云フモノニ付テ出來ルダケノコトヲス
ルノ外ハナイ、ソレニシテ尙ホ及ナイ場
合ニ於キマシテハ、外國ノ穀物等ニ付テモ
考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ結局
ナルト考ヘテ居リマス、ソレデ質問者ノ只
今ノ御言葉ヲ聽キマス、ソレハ出來ヌデ
ハナイカ、斯ウ云フコトニ歸著スルカモ知レ
ヌト思ヒマスガ、ドウモ食糧ヲ増産シ、是
マデ出來タ分量ヲ確保スル、斯ウ云フコト
ニ付キマシテハ、土地ニ付キマシテハ耕地ノ
擴張、又改良ヲ圖ル、ソレカラ之ニ關スル
各般ノ施設ヲ完備シテ行ク、肥料ニ付キマ
シテハ所要ノ肥料ヲ出來ルダケ供給スルノ
途ヲ立テテ之ニ努力スル、所謂人力ニ於
出來テ得ル限リヲ其ノ方面ニ盡スト云フコ
トノ外ニハ、所謂其ノ他ニ特別ナ妙案ガア
ル道理ハナイカノヤウニ考ヘテ居リマス、
勞力ノ問題ニ付キマシテモ、先刻來他ノ委
員ヨリ御質問モアリマシタモ、之ニ付キマ
シテモ内外ノ情勢、全體ノ人口數ト其ノ
人口ノ分布ノ上カラ考ヘマシテ、出來ルダ
ケ必要ナル農村勞力ノ保持ヲ圖ル、斯ウ云
フコトニ向ツテ力ヲ致シテ行クト云フノ外
ハナイカノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、
尙ホ代用食ヤル場合ニ、代用食ヤレバ
ソレダケ減ルト云フコトハ御尤モデアリマ
ス、隨テ代用食ヤル所ノ麥ナリ、甘藷ナ
リ、馬鈴薯ナリ、其ノ他ノモノニ付キマシ
テモ、ヤハリ同一ノ方針ヲ以テ之ニ對スル増
産ノ計畫ヲ立テテ進ム、斯ウ云フヤウニ自
分共ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ從來
ヤリ來ツテ居ルコトハ駄目ダ、斯ウ云フ御

論ニナレバ、ソレニ對シテ御意見トシテ承ル外ハナイノデアリマスケレドモ、實際ニヤルトシテハ、此ノ農業用ノ耕地ニ對シテ出來ルダケノ改良ヲ加へ、潰地ノ回復ヲシ、之ニ擴張ヲ加へ、又其ノ土地ニ對スル色々ナリ障礙ニ對シテマシテ、天候ノコトハ致シ方ガナイケレドモ、人力デ及ブ方法ニ付テ出來ルダケノコトヲ考ヘル、費用ガ掛レバ、是モ財政ニ關係ガアリマスケレドモ、財政ニ於テ許ス限リノ國費ヲソレニ向ケテ、地方費ヲ向ケテ、土地ノ擴張改良ヲ圖ル、肥料ニ付キマシテハ、自給肥ヲドハ誰ガヤルカト言ハレケレドモ、ヤハリ農業ニ從事シテ居ル農民ノ奮發ヲ促シテヤル、サウシテ又有機質、無機質ノ金肥ニ對シマシテハ、出來ルダケノ是モ増産、又產出額ノ維持ヲ圖ル、之ニ依ツテ努力ヲスルト云フ途ヲ講ズルノ外ハナイノデアリマシテ、土屋君ハ平凡ニシテ奇策ナシト仰セラレルガ、私ハ其ノ是マデヤツテ居ル途ニ付テ出來ルダケノ努力ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテソレニシテ尙ホ及バザル場合ヲ考ヘマシテ、繰返シテ申上ゲマスヤウニ、外國方面ヨリノ輸入等ニ付テモ考ヘテ居ル、今日ハ我國ノ需要ガ、内地、外地——朝鮮、臺灣、内地、是ダケデハモウ考ノ區域ガ狭クナツテ居ル、滿洲ノコトモ考ヘ、北支ノコトモ考ヘナケレバナラヌ、日滿支ノ全體ニ付テ考ヘルト云フヤウニ、規模ガ段々大キクナツテ來テ居リマスケレドモ、併シナガラ原則的ニ考ヘル所ハ、耕地ニ付テハ耕地ノ擴張改良、肥料ニ付テハ豐富ナル肥料ヲ低廉ニ供給スル途ヲ講ズル、努力ニ付テハ是亦健全ナル有效ナ勞力ヲ必要程度ニ供給シ確保スルノ途ヲ立テル、斯ウ云フヤウナ方針ヲ以テ進マザルヲ得ナイコトデアラウト考ヘマス、併シ御質問ノ趣意ハ、決シテソレヲ否定スルノ御意味デハナイト思ヒマスガ、吾々ト致シマシテハ、ヤハリ此ノ御趣意ニ從ツテ、從來ヤリ來ツテ居ル事情ニ更ニ大ニ努力ヲスル、斯ウ云フ風ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス。

○土屋委員 先ニ委員長カラノ御話デ、細カシイ話ハ政府委員カラ答辯セラレルノダカラ、政府委員ニ聽クガ宜カラウト云フ話デアリマシタカラ、私ハ小サイコトニ付テハ話ハ成ベク混ゼズニヤル積リデ御尋シタアリマセウ、併シ私ハアナタニ御尋致シタイト云フコトハ、主要食糧ノ増産計畫ヲ御立テニナルノデアリマスカラ、從來ヨリ離レタル何カ劃期的ノ心持ガアルノチヤナイカ、所謂日本ノ食糧政策ノアナタガ重要ニ任ジテ居ラレルノデアリマスカラ、ドウスルノダ、サウキス御話ノヤウニ、モウ出來ルダケク作ラシテ見テ、足ラナケレバ外國米ヲ買フノダト云フ御言葉デアレバ、ソレハ簡單明瞭デアリマス、簡單明瞭デアリマシガ、併シ日本ノ國內ニ於テ、成ベク國民ノ食糧不足ノナイヤウニシテヤラウト云フアナタノ心持ガ、ドウシタラバ達スルノデアリカト云フコトモ、亦御考ヘニナツテ居ル筈ダト私ハ思フ、ソレヲ御尋スルノデアリマシテ、私ノ物ノ言ヒ方ガ強イ筈ニ、アナタノ實ハ思ツテ居ラレルコトヲ聽キ得ラレスノカモ知レマセウ、併シ私ハ他意アルノチヤアリマセウ、事變下デ——別シテ此ノ事變下デアアル、國民ガ食糧問題ニ備マヌヤウニシタイ、又相當ニ御經驗ノアル島田農相ガ御就任ニナツタノデアアル、御就任

勿々ノアナタノ御考ヲ田舎ニ居ツテ「ラヂオ」ヲ聽キマスレバ、アナタハ何カ劃期的ノ御考ヲ御持チニナツテ居ラシク私ハ拜聴シタノデアリマス、併シ此ノ議會ニ臨ンデアナタノ御意見ヲ伺ヒマスノニ、中々マダソコマデ肩カス、ソコマデノ機會ニ伺フコトガ出來ルカト實ハ思ツテ居リマシタガ、マダ伺フコトガ出來ヌ、ソコマデ只今或ハ不遜ナ言葉ガアツタカ知レマセウガ、私ノ思フノハ、アナタガ何カ此ノ食糧政策ノ重要ニ任ジタノダカラ、食糧問題ニ對シテハ相當ノ決意ヲ持ツテ居ルゾト云フ意味ノコトヲ、就任勿々ニ御漏シニナツタ其ノ御言ニ聽ス、其ノ御言葉ガドウ云フ方針ニ依ツテ具現シテ來ルノカ、私ハ仰シヤツタ言葉ヲ答メルノデアリマセウ、唯食糧問題ノ解決ガ如何ニナル、アナタノ思召ハドウ云フ思召デアラウカ、ソレヲ御尋シタイ、決シテアナタニ向ツテ彼此レ言フ心持ハ何ニモナイ、「ラヂオ」ヲ承ツタノガ間違ツテ居ルデアリマスガ、併シ私共ノ考ヘマシタノカガ殘ツテ居ルノチヤナイカ、此ノ努力不足ノ場合ニ於テ、何トシテヤツテ行ツタラ宜イカト云フノデ、昨年モ御承知ノ部落團體ノ活動ヲセシムベク非常ニ御心配ヲ願ツテ、相當ナ金額ガ出タノデアリマス、出ルニハ出マシタガ、今日未ダ農民ノ手許ニハ參リアセヌ、何處ニ轉ンデ居ルノカ知リマセウガ、農民ノ手許ニハ參リマセウ、ドウモ其ノ流レ方モ、議會デ吾々同志ノ方々ガ思ハレタヤウナ流レ方ニハナツテ居ラヌヤウニ思ヒマス、今流レ掛ケテ居ルノデアツテ、流レテシマツタ後ニ物ヲ言ヘト仰シヤレ

バ、ソレハ格別デアリマスガ、併シ流レ方ガ、最初所謂吾々ノ同僚ガ思ツタヤウナ流レ方ニナラヌヤウシ今日感シガシテ居リマス、マダ流レマセウ、米ヲ澤山作レ、滿山作レ、木炭ヲ増産セヨト、懸聲ハ宜シイ、錢モ何ボヤルト言ツタノハ宜イケレドモ、未ダニ其ノ額ヲ見ラヌト云フコトニナツテ居リマス、明年ノ増産計畫ニ於キマシテモ、微カニ承レバ主要食糧増産計畫ノ爲ニ、少カラザル國費ヲ御見込ニナルト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、ソレ程ニ御熱心ニナツテ居ルニモ拘ラズ、昨年ノアノ部落團體ヲ活動サセルト云フコトハ、所謂隣保相助ノ精神ヲ何處マデモ發揮サシテ、サウシテ一面ニ於テハ努力ノ不足ヲ補ヒ、食糧問題ノ解決ニ貢獻セシムルト云フ點ニ對シテハ、何等ノ考慮ガ拂ハレテ居ナイカノ如ク見エル、ソコマデ私ハ重ねテアナタニ御答ヲ願ヒタイノハ、耕地ノ改良デアルトカ何ト云フコトニ付テハ、ソレハ僅カノ數字デアラウト思ヒマス、デアリマスカラ只今御話ニナリマシタヤウニ、ヤラセルダケクヤラシテ、足ラヌ所ハ外國ノモノヲ買ツテ食糧ハ凌ダ積リテ居ルノダト、斯ウ簡單ナコトヲ仰シヤラズト、モウ少シドウシテヤツテ行クノダト云フ、具體的ノコトガアリマセウカラ、ソレヲ御尋シヨ願ヒタイ、ソレデナケレバ私共何ダカ気分ガ不安デナリマセウ、デアリマスカラ其ノ點ヲ御答ヲ願ヒタイ、尙ホ部落團體ニアレダケ昨年ハ御心配ヲ願ツタノデアリマスニモ拘ラズ、本年ハ是等ノ團體ヲ活動セシムル爲ニ、幾分ノ經費ハ見テアルヤウデアリマスガ、之ニ進ンデ活動セシムルベキ相當額ノ經費ガ見テナイノデアリマス、是ハドウ

シテ見テオ居デニナラヌノデアラウカト云フコトモ分リマセウ、問題ガ小サイヤウデアリマスガ、是モ併シ増産獎勵ノ上カラ行キマスレバ、一廉ノ仕事デアリマスカラ、此ノ二ツヲ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ハ明後日ノ委員會發言ノ第一順位ヲ御願シテ置キマシテ、本日ハ私ハ是ダケ御尋シテ止メマス。

○小林委員長 農林大臣ニ御注意申上ゲマシガ、定刻ガ來マシタノデ、若シ御答辯ガ長イヤウデアリマシタラ、月曜日ニ廻シテ戴キタイト思ヒマス。

○島田國務大臣 極ク簡單デス、只今ノ土屋君ノ熱心ナル御質問ニ對シマシテ、私ハ一言自分ノ肚構ヘヲ申上ゲテ置キタイ、私ハ此ノ度ト前ト二回ノ勤メヲ農林大臣トシテヤリマシテ、平生餘リ深イ研究ヲシテ居ル者デアリマセウガ、前ノ時ト異ツタル事情ノ下ニ於テ、今回此ノ任ニ就イタニ付キマシテ、此ノ任務ヲ果ス上ニ於テ、十分ニ自分ノ及バザル所ヲ傾ケテ努力シタイ、斯ウ云フ深イ決心ヲ持ツテ居ルノデアリマシガ、政府ノ方針、事業ハ、言フマデモナク、胸ニ如何ナルコトヲ考ヘテ居リマシテモ、之ヲ外ニ現ハシテ實行ニ移ス時ニハ、ヤハリ仕事ニ付テハ計畫ト共ニ多クノ國費ノ支出ヲ伴フモノデアリマス、故ニ農林大臣トシテ斯クノコトヲ考ヘテ居リマシテモ、之ヲ内閣全體ノ方針トシ、仕事トシテ、議會ノ協賛ヲ經、若クハ世間ニ發表シテ實行ニ移スト云フコトニ付キマシテハ、幾多ノ段階ガアルノデアリマス、私ハ自分ノ考ヘテ居リマスコトヲ、唯座上ノ話トシテノミ言ツテ、サウシテ其ノ實行ニ付テノ責任ヲ別ニ考ヘル、斯ウ云フコトハスベキ

モノデハナイト考ヘテ居リマス、只今提案セラレテ居ル豫算ハ、既ニ議會ニ於テ政府ノ意見トシテ申シテ居リマスヤウニ、稅ノ案ヲ初メトシテ豫算案、大體前内閣ノ組ンデ居ル所ヲ一應ノ検討ヲ加ヘテ、先ヅ此ノ際ハ是デ進ム外仕方ガナカラウト云フコトデ、議會ニ臨ンデ居ルノデアリマス、其ノ間已ムヲ得ザルモノニ付キマシテハ、更ニ應急ノ事トシマシテ追加豫算等ノ要求モ致シテ居リ、又ソレレ、處置モシナケレバナラスノデアリマスガ、大體ニ於テハ前内閣ノ組ンデ居ツタ案ヲ以テ、此ノ議會ニ臨ンダノデアリマス、隨テ米内閣、此ノ内閣ト致シマシテ、其ノ考ヲ實際ニ現ハシテ世間ニ問ヒ、國家ノ爲ニ進ムト云フコトハ、此ノ次ニ來リ、同時ニ今吾々ガ考ヘテ居ルコトデアリマシテ、是ハ更ニ他ノ機會ヲ以テマシテ、サウシテ實行ニ現ハスベキ準備ヲ整ヘタ場合ニ於テ申上ゲマス、當ニ前觸レラシテ置クト云フコトノ、往々ニシテ非常ニ逆ノ效果ヲ示シ、害ガアルコトヲ思ヒマシテ、私ハ今日ノ場合ト致シマシテハ、自分ガ其ノ職務ヲ果ス上ニ於テ、時局ニ鑑ミテ、相當ナ深イ覺悟ヲ持ツテ臨ンデ居ルト云フコトガケラ申上ゲテ、御諒解ヲ得タイト思フノデアリマス、尙ホ其ノ次ニ御話ニナリマシタ部落團體ノ活動等ニ關スルコトニ付キマシテハ、是ハ豫算ノ數字等トモ關係ガアリマスカラ、又明後日ノ機會ニ御答致シタイト思ヒマス。

○小林委員長 月曜日ハ午前十時カラ午後二時ケテヤリタイト云フ豫定デゴザイマス、本日ハ是ニテ散會致シマス。

午後零時三十六分散會

第七十五回帝國議會 院

昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件) (政府提出) (第四五號)

(六八)

會 議
昭和十五年二月十九日(月曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小林 絹治君
理事 土屋 寬君 理事 幸太郎君
高田 耘平君 今成留之助君
山川 賴三郎君 國光 五郎君
河野 一郎君 吉田 賢一君
村上 元吉君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局事務官 竹内 徳治君
外務省通商局長 山本 熊一君
農林政務次官 岡田喜久治君
農林省農務局長 土屋 正三君
農林省米穀局長 横山 敬教君
農林事務官 石井英之助君
拓務省殖産局長 植場 鐵三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)

○小林委員長 開會致シマス

○土屋委員 一昨々日部落團體ヲ活動セシムルコトニ付テ、ソレハ一ツ又ト云フ、ト云フヤウナ工合デ、一昨日ハ前段ハ大臣ノ御意見ヲ承ツタノデアリマスガ、其ノ部落團體ノ問題ニ對シテハ殘ツタノデアリマス、ソレデソレヲ御意見ノ伺ヒタイト云フコトト、他ノ質問ナサル御方モアリマセウカラ、

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日

私ガ一人長イ文句ヲ申上ゲテモ恐入リマスカラ、簡單率直ニ申上ゲレバ、米ノ増産ヲ言ハレケレドモ、何等ノ具體的計畫ハ有セナイノカドウカ、米ガ相當ノ量ヲ增加スルコトヲ希フニ止マツテ、何ニ依ツテドレケノ増産ヲ思ツテ居ル、ドレニ依ツテドレケノ増産ヲスル積リデアルカ、所謂具體的ノ計畫ヲ御持チアルノデアルカ、御持チナイノデアルカ、天候ニ依ツテ支配セラレルモノハ如何トモスルコトガ出來マセヌガ、荷モ米ノ増收ヲ計畫シテ之ヲ國民ニ示ス以上ハ、唯増額ヲ希望スルノダ、増收ヲ希望スルノダト云フ結論ニ到著スルノデハ國民ハ納得致シマセヌ、ソレデアリマスカラシテドウチカラ考ヘマシテモ、アナタノ方ノ統計上御持チニナル所ノ數字ハ、七箇年ニ於ケル豐凶二年ヲ除イタ場合ニ於テハザツト六千五百万石ヲラウト思ヒマスガ、ソレ以上ノ増産ヲドウシテナル御見込デアルカト云フコトハ、アナタトシテ具體的ニ、小サイ數字ハ仰シヤラヌデモ、項目ダケハ仰シヤツテ下ナル義務ガアルト私ハ思フ、増産サセルンダ、増産スルンダト云ハレタダケデ、足ラネバ外米ヲ買フノダト云フヤウナコトハ、ソレハオ茶話デナラバソレデモ宜シウゴザイマスガ、荷モ此ノ席上ニ於テハ左様ナ言葉デ説明ヲ濁サレト云フコトハ通用致シマセヌ、ソレデアリマスカラシテ、數字ハアナタニ御尋セヌデモ、其ノ他ノ方ガ居ラレマスカラ分リマスガ、何ト何ト何デドレ位ノ増産ヲヤルンダ、是ダケハ

仰シヤツテ然ルベキデアリ、又當然國民ノ聽カントスル所デアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、唯希フダケダ、斯ウ云フコトデアルカ、或ハ何ト何ト何ニ依ツテドレケノ増産ヲスルンダト云フコトデアルカ、若シサウナラバ其ノ御示ヲ願ヒタイ、アナタノ答辯ガ私ノ意ニ答辯ニ依リマシテ重ネテ御尋ラシ、尙ホ次ニモウ一ツ、私ハ前ニ申上ゲマシタ改正案ノ點ニ付テ御尋シタイ點ガアリマス、此ノ點ハ餘リ長ク問ハヌ積リデアリマスカラ、ドウゾ率直ニ簡單明瞭ニ一ツ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 増産計畫ニ付テハ大體前内閣ニ於テ計畫シテ居リマシタ七千万石ト云フコトヲ目標ニシテ居ル講デアリマス、其ノ項目トシテハ耕地ノ擴張、改良、耕種ノ改良ト云フヤウナ點デアリマスガ、是ハ農務局ニ於テ立案シタモノデアリマスカラ、後ニ詳細ノ點ニ付テハ農務局長ヨリ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

テ居ル次第アリマス
○土屋委員 只今ノ大臣ノ御答デ私ハ斯様ニ此ノ御答ヲ受取テ置キタイト思ヒマス、前内閣ノ計畫アルカラシテ其ノ計畫ヲ再檢討スル餘裕ナクシテ此ノ議會ニ臨ンデ居ルンダカラ、再檢討ノ上之ヲ修正シナケレバナラス場合ガアツタナラバ修正スル、ヤツテ行ケルナラバヤツテ行ク、引括メテ申上レバ、前内閣ノ計畫ヲ踏襲シテ居ルノデアツテ、島田農林大臣トシテハ之ニ對スル確信ハアルノヤラナイノヤラハツキリシナイ、斯ウ云フコトニ私ハ受取テ置キタイト思ヒマス、ソレド尙ホ他ノ數字等ニ互ル問題ガアリマスケレドモ、是ハ政府委員ノ方ニ御尋スルトシマシテ次ノ點ヲ御尋致シマス、此ノ改正法律案自體ハ申上ゲルマデモナク所謂軍用米ノ取扱ヲ主トシテ規定シタル法律デアルト私ハ存ジテ居リマス、軍需ヲ充ス爲メ定メタル法律デアルト存ジマスルガ、或ハ私ノ考ガ違フテ居ルカモ知レマセヌ、假ニ違フテ居ルト致シマシテモ、此ノ米ノ供給調節ヲ御圖リニナルノナラバ、米穀統制法ニ依ツテ——統制法ヲ改正ナサツテ、其ノ取扱方法ヲ御定メニナルノガ私ハ順序デアラウト思フ、又其ノ米穀統制法ノ改正ニ於テ目的ヲ達スルコトガ至難デアルトスレバ、米穀配給統制法ニ依ツテオヤリニナルノガ當然デアルト思フ、米穀配給統制法ノアレ程喧シク論議セラレマシタル委員會ノ速記ヲ通ジテ眺メテ見マスルナラバ、米ノ所謂配給ニ關スルコトハアレデナンドモ指ヤツテ行カレルヤウニナツテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、ソコデ政府ガ買上ゲ、政府ガ米ヲ賣ルト云フコトト、米穀配給統制法ニ依ル配給ノ機構ト、茲ニ

二ツノ配給ノ流レガ出デ來ル譯ニナツテ參リマス、ソレデ詰リ軍需米ノ取扱ニ關スル法律、謂ハバ政府ノ手持米ヲ主トシテ處分スル考ニ依ツテ作ツタル法律、萬一足りナイ場合ニ軍需米ニ支障ヲ來シテハナラナイカラ、其ノ中ニ幾分カノ買上ノ出來ルコトヲ認メテ居ル法律デアアル、其ノ法律ニ持ツテ行ツテ、今度一般ノ配給ニ關スル關係ノ條項ヲ御入レニナルト云フコトハ法制上ノ立場カラ考ヘマシテ、ドウ云フヤウナ所カラサウ云フ理窟ガ生レテ來タノデアラウカ、米穀統制法ヲ改正ニナルカ、ソレデナケレバ米穀配給統制法ナラバドウモセヌデモ、アレニ命令ヲ出サレバヤツテ行ケルノデアアル、其ノヤツテ行ケル法律ガ横手ニアルニモ拘ハラヌ、新シク斯様ヲ御改正ヲナサル、大臣ハ十分御承知デアリマセウガ、米穀統制法ノ生レル以前、米穀法時代ニ於テ相當ナル物議ヲ生ジ、隨テ其ノ物議ガ色々ト研究致サレタル結果、米穀統制法ガ生レテ來テ居ルノデアリマス、其ノ物議ヲ生ジタル根柢トモ認メラレル所、取扱ノ方法ニ依ツテハ、ソレト同様ナ徑路ヲ踏ムカモ分ラヌト云フ條項ヲ今回筋途ノ違フト思ハレル法律ノ中ニ御入レニナリマシタノハ、ドウ云フ事情デアリマセウカ、之ヲ承リタインノデアリマス

○島田國務大臣 此ノ米穀ノ應急措置ニ關スル法律ハ、御承知ノ如ク、直接ニ軍用米ニ關スル臨時ノ措置ト、ソレカラ事變ニ關係シテ直接ノ軍用米デアリ方面ニ付テ必要ナル數量ニ關スル措置、此ノ二ツノモノヲ含ンデ居ル臨時立法デアリマス、隨テ此ノ支那事變ヲ中心トシマシテ、臨時ニ是等ノ處置ヲシタイ、斯ウ云フ意味ヲ以テ出來タ法律デアリマス、即チ統制法及ビ配給統制法ニ對シマシテハ、例外ノ臨時立法デアルコトハ此ノ附則ニアル支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルコト云フ規定ニ依ツテ明ニサレテ居ルノデアリマス、其ノ臨時立法タル第二條ノ運用ニ依リマシテハ、政府ノ買上或ハ賣渡等ニ付テノ處置ガ、現時ノ米穀事情ニ於テ出來難イ事情ニアルト云フ意味ヲ以テ之ニ改正ヲ加ヘヨウトスルノデアリマシテ、事變ヲ中心トシテ立法サレタ臨時立法デアルト云フコトノ性質ハ少シモ變ツテ居ラスノデアリマス、隨テ今回改正ニ依リマシテ運用ヲ致シマシテモ、ソレハ事變ガ終了致シマシテ一年後ノ制限ノ期間內ニ於テハ是ハ廢止ニナル譯デアリマス、唯此ノ間ノコトカラシマシテ、統制法及ビ配給統制法ニ對シテ根本ノ三ニ檢討ヲ加ヘ、サウシテ或ハ之ニ對シテ改正等ノコトヲシサウシテ或ハ之ニ對シテ改正等ノコトヲシサウシテ或ハ之ニ對シテ改正等ノコトヲシナケレバナラス事情ガアリト致シマシレバ、是ハ左様ナ建前カラ改正案ヲ立案スベキデアリマシテ、今日ノ事情ト致シマシテハ、ヤハリ臨時應急ノ對策ノ一ツト致シマシテ、事變中ヲ限ツテ臨時ニ之ヲ行ヒタイ、斯ウ云フ趣意ニ出來テ居ル次第デアリマシテ、軍用ノミノ規定ヲ擴ゲルト云フ意味デハナイノデ、元ノ應急措置ニ關スル法律ガ二通りノ事柄ヲ含ンデ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ意味デ立法シタ次第デアリマス

○土屋委員 此ノ應急措置ニ關スル法律ニ付テ、大臣ト私意見ヲ異ニスルコトヲ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、大臣ハ二通りノ趣意ヲ含ンデ居ル法律ト仰セニナリマスガ、此ノ應急措置ニ關スル法律案ノ委員會ニ於ケル記録ヲ御調ベニナリマスレバ、左様ナ御便利ヲ御説明ハナイト私ハ存ジテ居リマス、而モ第二條ノ「支那事變ニ關聯シ」ト云フ此ノ字句ヲ特ニ御除キニナリマシテ「政府ハ米穀ノ配給上特ニ必要アリ」ト書イテアリマス、デアリマスカラ、配給統制法ヲ御運用ニナリマスレバ、別ニ差支ハナイノデアリマス、何モ事變後一年スレバ廢止スルト云フヤウナ窮屈ナル法律ノ中ニ之ヲ御入レニナラヌデモ、米穀配給統制法ニ依ツテ運用サレレバソレデ出來ルコトナノデアリマス、唯支那事變ニ關聯シテ必要ナル數量ヲ彼此レズルト書イテアル、其ノ條項ノ中「支那事變ニ關聯シ」ト云フ字句ヲ除イテ、サウシテ米穀ノ配給上特ニ必要アリ」ト云フ文句ニ之ヲ直シタト云フコトハ、アナタノ御考ハ二本立テグト思フテ御考ニナツタノデアリマセウガ、此ノ前ノ法律ハ、ズツト御考ニナツテモ、一本立テテ法律デアリマシテ、左様ナ二本立テテデアリマセヌ、アレダケ喧シク論議セラレタル配給統制法ガアルノデアリマスカラ、配給統制法ヲ運用ヲ御研究ニナリサヘスレバ、配給統制法デアラウ出來ル、然レニモ拘ラズ斯様ナ法律ガ出マスカラ——假令此ノ法律トナリマシテモ、何等ノ影響ヲ受ケナイ産業團體方面ニ於テハ、強ヒテ騒イデハ居リマセヌガ、所謂米穀商人ヲ刺戟シタルコト夥シノデアリマス、洵ニ全國的ニ其ノ刺戟ハ及ンデ居リマシテ、私初メ何ノコトカ知ラナカツタノデスガ、先般來頻繁ニ電報ガアチラコチラカラ參リマスカラ、何デコナコトデ電報ガ來ルノデアラウト、實ハ不思議ニ思フテ居ツタ、所ガヨク考ヘテ見レバ、此ノ第一條ヲ斯様ニ御改正ニナツテ、サウシテ其ノ配給ヲ政府ノ手ニ於テオヤリニナル、

所謂市場ニ出ル米ノ相當多額ノ割合ニ當ル米穀ヲ政府ガ御扱ヒニナルト云フノデアツテ、而シテ之ニ雜穀マデモ附隨スルト云フノデアリマスカラ、從來商人ノ取扱ツタル數量ニ大影響ヲ來シマスカラ、全國的ニ穀物商ヲ刺戟シテ居ルノデアリマス、何デモナイコトノヤウデアリマスガ、此ノ大刺戟ヲ與ヘタルコトハ、要スルニ此ノ支那事變ニ關聯シ「下」云フ字句ヲ除イテアルカラ左様ナ大衝動ヲ與ヘテ居ルノデアツテ、此ノ中ノ改正ノ仕方ガ良イトカ悪イトカ、或ハ統制法ニ入レルベキモノデアルカ、配給統制法ニ入レルベキモノデアルカト云フ論議ハ別ト致シマシテ、假ニ之ニ入レルト致シマシテモ「支那事變ニ關聯シ」ト云フ字句ヲ除イテアリマス關係上、終ヒノ附則ハアレドウナルヤラ分ラヌノダ、政府ノ都合デアドウナルヤラ分ラヌノダ、別シテ支那事變ハ長期ニ互ルト唱ヘラレ、一部ノ人ニ依レバ二十年掛ル、三十年掛ルトサヘ言ハレテ居ル、此ノ支那事變デアリマス、五年掛ルカ七年掛ルカ知レマセヌガ、其ノ長期ニ互ツテ市場ニ流レテ居ル米ノ相當多額ノ量ヲ政府ニ於テ御扱ヒニナルノミナラス、雜穀マデモ政府ニ於テ御扱ヒニナルト云フコトガ商人ヲ刺戟シテ居ルノデアリマス、諄イコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、非常ナル衝動ヲ與ヘテ居リマス、ソレデアリマスカラ、是ハモウ少シハツキリト、支那事變ナラ支那事變ニ關聯シタ問題デアラナラバ、支那事變ニ關聯シタモノデアルト云フコトヲドウシテ入レナカツタカ、是ハ政府ハ米穀ノ配給上特ニ必要アリト認ムル時ハ普通ノ文句デアルガ、一番終ヒノ附則ガアルカラト云フテ御説明ニナルノデアリマセウガ、ダガ此

ノ法律ノ生レタ時ノ名ハ、左様ナコトデ名ガ付ケテアツタノデアリナイノデアリマスカラ、此處ハ米穀統制法ニ依ルカ、配給統制法ニ依ルカ、所謂統制法ニ依ルノガ當然ノ建前デアリマス、デアリマスカラ、統制法ニ依ツテハイケナイノカ、依ルコトガ出來ナイノカ、又配給統制法ニ於テ必要ナル命令ヲ出シテ、如何ナルコトデモ出來ルヤウニナツテモソレハヤラナイノカ、此ノ二ツニ付テ御尋致シマス

○島田國務大臣 繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスガ、現行法ニ於テモ第一條ニハ御承知ノヤウニ、單ニ軍用ニ供スル爲ト云フコトデアリマシテ、支那事變ニ關スルト云フ言葉ハ使用シテアリマセヌ、ソレカラ附則ニ於テハ今申上ゲルヤウニ、明ニ支那事變終了後ト規定シテアリマスカラ、此ノ臨時立法デアルト云フコト、サウシテ支那事變ニ關聯シテ此ノ立法ガ出來テ居ルモノデアリマシテ、此ノコトハ先ニ昭和十二年ニ此ノ法案ノ提出ノ際ニモ、政府トシテハ大體其ノ意味ヲ説明ヲ提案理由トシテ致シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ事變ガ長ク續ケバ、臨時立法ノ適用ノ期間ガ長ク續クト云フコトハ當然デアリマスケレドモ、事變ニ關シテ立法シタ臨時立法デアルト云フコトハ、此ノ點ニ於テ明カダト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ茲ニ支那事變ニ關シト云フ文字ガ原案ニ挿入シテアリマシタモノヲ整理シテ、第一條ト同ジヤウナ書き方ニ致シタト云フコトニ付テ、何等ノ法律ノ性質ガ變ツタモノトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ是ガ統制ニ關聯シ、又配給統制法ニ關聯シタ點ニ付キマシテハ、配給

統制法ニ依ツテ出來タ米穀會社、斯ウ云フ機關ヲ運用スルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ此ノ立法ガ認メラレテ此ノ法律ガ出來マシテモ、日本米穀會社ト云フモノヲ此ノ法律運用ノ上ニ於テ働カシメルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、十分注意ヲシテヤル積リデアリ、又ヤラセネバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、此ノ點ガ恒久的ナル事柄ヲ、斯様ナ法律ニ臨時ニ挿入シタト云フ意味デナイト云フ點ハ、ドウノ御諒承ヲ願ヒタイ、大體ノ御意見ニ付キマシテハ、是ハ政府ト致シマシテハ拜承ヲ致シテ置キマス

○土屋委員 只今ノ大臣ノ御意見ハ能ク分リマシタ、要點ハ米穀統制法ニ依ル政府ノ買上ノ範圍ヲ擴張スルノデアルト云フ結論デアリマス、詰リ從來行ハレテ居リマス米穀統制法ノ、政府ガ米ヲ買上ゲルコトヲ得ルノ法律ノ範圍ニ於テハ、自由ニ買上ゲルコトガ出來ナイカラ、政府ガ必要ガアル場合ニ於テハ、米ヲ自由ニ買上ゲルコトガ出來ルト云フ所謂法律ノ根據ガ欲シイノデ、大臣ノ御意見ヲ伺フト斯ウ云フコトヨリ外ニ範圍ヲ出デマセヌ、然レバ米穀統制法ヲ改正ナサルノガ當然デアツテ、臨時立法デアリマセヌ、何時マデモ使ハレル、ソレガ正シイ理窟デアリマスナラバ、戰時平時ヲ問ハズ使ハレル法律ニ御直シニナルノガ當然デアツテ、何モ戰時立法デアレバナラヌ必要ハナイノデアリマス、アナタノ御説明ヲ承ツテ、外ニハ何モアリマセヌ、諄イヤウデアリマスガ、アナタノ御意見ハ、米穀統制法ノ中デ政府ノ買上米ガ制限セラレテ居ル其ノ制限以内ニ於テハ、供給調節ノ關係ニ於テ政府ガ自由ニ米ヲ買フコトガ出來ヌカ

リマスガ、又何處カニ設ガ掛リカケタヤウデアリマス、米穀統制法ノ中ニ規定スベキ本筋ダト云フノガオ前ノ意見ダラウト言ハレル、ソレハ私ノ意見カモ知レマセス、併シ米穀法ノ立場ニ於テ從來アル所ノ法規ノ一部ヲ改正スレバ宜イモノデ、眞ニ申上ゲマシタ戦時平時ノ間ハズ、適用ノ出來ル法律ニ持ツテ行ツテ入レルノガ當然デアツテ、事變ガ何年デ済ムカドウナルカ分ラナイノミナラズ、業者ニ相當ナ衝動ヲ與ヘルヤウナ改正ノ仕方ヲスルト云フコトニ付テハ、餘程ハ考フベキデハナイカ、ソレデドウシテモ此處ニ持ツテ來ナケレバナラナカウタト云フ理由ヲ承レバソレ宜イノデアリマス、私ハ此ノ法律案ニ反對スルノデモ何デモナイ、唯ハ此ノ關係カラ見マシテ、統制法ニ入レルカ、ソレデナケレバ配給統制法十分ニ運用シテ済スカ、此ノ二ツニ畫キルモノデアラウト思ハレルノデアリマスガ、此處ニ入レタノハドウ云フ譯カ、此處ニ入レタレバナラヌ理由ガ他ニアリマシタカ、統制法入レテハイケンカウツノカ、之ヲ承リマス

○島田國務大臣 統制法ハ恒久ノ立法ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ應急措置ニ關スル法律ハ臨時立法デアリマスカラ、事變ニ關聯シテ事變中行フト云フ趣意ヲ以テヤリマシタ法律ノ改正ニ依ルノ途方適當デアリ、斯ウ云フ意味デ立法シタニ過ギナイノデアリマス

○土屋委員 今ノ御答ヲ聽キマス、事變中ニ限リ配給ノ圓滑ヲ缺クト限定サツタノデアリ、所謂米ノ配給ハ事變中ニ限リ圓滑ヲ缺クノデアルカ、平時ニ於テモ配給ノ圓滑ヲ缺クノデアルカト云フコトモ考ヘナケ

レバナラス問題デアリマス、米ノ所謂需給關係ノ圓滑ヲ缺キマシタ點ニ付キマシテハ、色々ナ理由ガアリマス、私ハ餘リ長クハ申シタクハアリマスガ、理由ガアリマス、ナゼ米ノ所謂需給關係ガ圓滑ニ行カナカウツカト云フコトニ付テハ、第一ニ先日ノ本議場デアナガ米價問題ニ對シテ御説明ニナツテ居リマシタ其ノ御言葉ヲ承リマスノニ、米ノ需給關係ガ圓滑ニ行クナラバ今日ノ米價ニハ何等ノ考慮ヲ拂ハヌデモ宜イト云フ御言葉ヲ承ツタノデアリマス、私ハ少シク横道ニ入ルカヲ控ヘテ居ツタノデアリマスガ、併シ荷毛物價ヲ論ズル以上ハ、需給關係ノミヲ以テ其ノ品物ノ價値ヲ論ズベキモノデアリマセス、通貨ガ膨脹スレバ物價ガ暴騰スルト云フコトハ是ハ自由經濟デアリマシテモ、統制經濟デアリマシテモ、已ムヲ得ザル心理ノ現象デアリマス、自由經濟ナラバ堂々ト高クナリマス、統制經濟ナラバ圓滑ニ行クハレマス、是ハ通貨ノ膨脹ニ伴フ結果デアリマシテ、決シテ配給關係ガ圓滑ニ行クナラカ物ノ相場ハソレ宜シイト云フノデアリハナイト思フ、ソレデ通貨ノ膨脹ト一般物價ト米價ト、此ノ三ツノ關係ニ於キマシテ米價ガ不利ノ立場ニアラ、一面ニ於テハ農家ガ賣價ヲスルト云フ話デアリマスガ、農家ノ賣價ニモ色々ナ理由ガアリマス、穀ヲ玄米ニシ、之ヲ復ニ致シテ積ンデ置ケバ、米穀商人ガ來テ米ヲ賣ツテ與レト言フ、其ノ米ヲ賣ル時ニ多少ノ心持ヲシテ與レタ場合ニ於テハ、統制法違反シテ警察ニ引カレル、ダカラ金ニ窮スルマデハ玄米ニスル必要ハナイ、穀貯蔵シテ置イテ、金ノ必要ヲ生ジタ場合ニ玄米

ニシテ賣リサヘスレバ宜イト云フ心持ガ大イニ支配ヲ致シテ居リマス、百姓ハ何モ知りマセス、米ノ價格ガドレダケニ公定セラレテ居ルノカ知ラナイ、普通ニ商賣人ガ賣ツテ與レト言ヘバ、ソレデ賣レバ宜イト思ウヤカマシイコトナラメニシナイデ置ケバ宜イ、錢ガナイ時ニ米ニシテ賣リサヘスレバ宜イト云フコトニナリ、是ガ米穀ノ出題ニ影響ヲシテ居ルノデアリマス、斯ル點ニ於テ諸物價ト對照致シマシテ、米ハ敢テ高價デアリマセス、或ル經濟學ノ學究ハ、通貨ノ自然ニ依ツテ米價ヲ換算スレバ、今日ノ米價ハ百六圓ヲ以テ相當スルト唱ヘテ居リマス、私ハ敢テ其ノ百六圓ヲ斷言スル者デアリマセス、併シ何モ彼モ此ノ米價ガ基準アルト云フノデ、平素米價ガ抑ヘラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ物ガ外ノ物ト均衡ヲ得タル價格デアラナラバ、マダ動キモ見易イデアリマセウ、併シ私共ハ外ノ物價ト對照致シマシテ、均衡ヲ得タル價格デアルト直チニ首肯致シ兼ね、色々ナ關係ガアリマシテ、配給ノ圓滑ヲ缺イテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、法ヲ御作りニナリマシテモ、一片ノ法律ニ依ツテ國民ハ從順ニ動クモノダトバカリ信ジテハイケンカセス、國民ガ法ヲ信ジテハ、法ノ效果ハアリマセウ、國民ガ法ヲ信ゼザルニ法ヲ以テ臨ムト云フコトハイケンカセス、國民ニ納得サセテ、國民ガ法ヲ信ジテ、初メテソコニ法律ノ效果ガアルノデアリマス、今日至ル所ニ圓滑ニ行クハレ、其ノ取締ノ衝ニ當ルマデモ圓滑ニ行クハレ、其テ居ルト云フ今日ノ現狀デアリマスカラ、物價ノ問題ニ依ツテ出題ニ非常ナル支障ヲ

來シテ居ルト云フコトモ御考ノ中ニ入レナケレバナラス、色々ナ關係ヲ考ヘナケレバナラス、唯米ヲ買上ゲテ、政府ノ力デヤリサヘスレバ宜シイ、是ハ臨時立法ダカラ臨時ニヤレバ宜シイ、斯ウ簡單ニ御考ニナリマシテモ、平時ニ於テ米ノ需給關係ニ圓滑ヲ缺クコトハアリマセウカ、非常時デアリマセウガ、ソレハサウトバカリ考ヘラレナイ、何時デモアルコトト思フ、是ハ非常立法ノ中ニ特ニ紛ハシク紛レ込マヌデモ、非常時デアラウガ、平時デアラウガ、使フ法律ノ中ニ入レラレベキモノデアリマスカナイカ、私ハ斯様ニ考ヘタノデアリマスカ、御答ヲ申上ゲタイ、併シ是以上御答申シマシテモ、定メシ私ノ満足スル御答申アリマスマイシ、又是以上深ク進ンデ御考ヲシテ居ルト、前内閣デ拵ヘタ法律ダト仰シヤイマセウ、ナアタニ色々ナコトヲ申上ゲテ御氣ノ毒ト思ヒマスガ、一番オ終ヒニナルト前内閣ト云フコトニナリマスカラ、ソコハアナタハ樂ナラダガ、今度ハアナタノ責任デアルト云フコトニナツテ來ルノデアリカラ、モウ少シ得心ノ行クヤウニ御說明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、併シ私ノ方ノハ此ノ程度デ止メテ置キマセウ、何レ外ノ機會ニ於テ今少シ具體的ニ統制法ト力共ノ他ノ問題ニ付テ、一々數字ヲ舉ゲマシテ質問ヲ試ミルコトト致シマシテ、私ハ此ノ程度デ止メマス、併シアナタノ方デ、尙ホコンヤウナ者ニハモウ一口言ウテ聽カシテ置カケレバ分ラヌト云フヤウナ御考ガアリマスレバ、御答ヲ願ヒマス

グ出來ヌト云フコトデアリマシタカラ、ソレデハ二段構ヘニシテ、先ヅ大體ノ報告ヲ先ニシテ貰ツテ、細カナ數字ノ方ハ又日數ヲ置イテ出スト云フコトニ、出來レバシテ貰ヒタイト申シテ置キマシタカラ左様御承知置キテ願ヒタイ

○河野委員 只今委員長カラ資料ノ問題ニ付テ御話ガアツタノデアリマスガ、政府ガ御出シニナル資料ハ恐ラク現在物動計畫、軍ノ機密事項等ニ依リマシテ十分ナモノハ御發表ナサリ兼ネルコトト考ヘルノデアリマス、例ヘテ申セバ昭和十四年度ヲ通ジテ軍ノ方ニ要シタ米ガドノ位アル、政府ガ之ニ要スル米ヲドノ位買上スルカト云フヤウナ數字ハ恐ラク秘密ニナツテ居ルト思フノデアリマス、更ニ又消費關係ノ方面ニ行キマシテモ相當機密ニ屬スルコトガ多カラウト思フノデアリマス、併シナガラ秘密ハ秘密ト致シマシテモ、本法案ヲ審議致シマス上ニ於キマシテハ、吾々ト致シマシテドウシテモサウ云フ數字ヲ拜聴シナケレバ根本ニ觸レテ來ナイト考ヘルノデアリマス、隨テ政府ノ御考ヲ承ツタ上デナケレバ分リマセスケレドモ、成ベク最近、成ベク速カナル機會ニ於テ秘密會ヲ御開キニナルナリ、適當ナル機會ヲ委員長ニ於テ政府ト打合セノ上ニ御作りニナツテ、吾々ニ資料關係ノ納得ノ行クヤウナ御説明ヲ與ヘラレレバ機會ヲ御作り願ヒタイノデアリマス、ソレヲ伺ヒマシタ上デ吾々ハ其ノ基礎ニ立ツテ本法案ヲ審議シタイ、斯ウ考ヘマスノデ、成ベク速カナ機會ニ其ノ時期ヲ御作りアランコトヲ委員長ニ御願スルモノデアリマス、連ニ委員長ハ政府ト交渉シテ此ノ機會ニ其ノ點ヲ御述願ヒタイト思ヒマス

○小林委員長 先程土屋君ノ御質問モアリマシテ、増産計畫ニ付テノ段々ノ御質問デアリマシタガ、農務局長ガ出席サレマシタカラ、此ノ際農務局長カラ増産計畫ノ内容ニ付テ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 今委員長ハ喋ツテ居ツテ私ノ言フ事ガ分ラナカウツタノチヤナイカ、委員長ハソノコトトハイカスと思フ

○小林委員長 能ク聽イテ居リマス

○河野委員 私ハサウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリナイ、軍ノ機密ニ關スル事項ヲ米穀需給ノ點デ吾々ガ聞カケレバナラヌコトガアル、例ヘバ軍ガ一年ニドノ位米ガ要ルノカ、本法案ノ基礎ニナツテ居リマスル法律第何號ハ軍ニ必要ナル米ヲ政府ガ買上ゲルコトデアリマス、ソレヲ運用シテ參ツタ上ニ於テドウ云フ結果ニナツテ居ルカ、ドウ云フ數字ガ出テ居ルカト云フコトモ最近ハ一切秘密事項ニナツテ居リマスノデ、吾々、資料ヲ頂戴シ此ノ機會ニ説明ヲ願フタ所ガ、サウ云フ御説明ハ聽クコトハ出來ナカラウ、隨テ之ヲ秘密會ニシテサウ云フ内容ニ付テ吾々ハ承ルノデナケレバ審議ハ出來ス、例ヘバ一人當リノ消費量ガドウナツテ居ルカ、將來ノ見込シハドウナルカト云フヤウナ物動計畫ノ上ニ於テ秘密事項ヲ吾々ハ承ルノデナケレバ、將來本法ヲ運用シテ參ル上ニ於テドノ位政府ガ買上ゲ積リナカ、ドウ云フ風ニ食糧供給ノ上ニ於テ困難ガ來ルノカ來ナイノカト云フヤウナ本質的ナ問題ヲ論議スルノデナケレバイカス、隨テ連ニ秘密會ナリ適當ナル機會ヲ——ソレハ吾々ハ秘密會ヲ要求シマセウケレドモ、政府ノ方ハ秘密會ヲナケレバ言ヘスト仰シヤ

○國光委員 米穀配給法ニ關シテ之ニ關聯シタ重要ナル事項ニ付キマシテ四五ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、米穀配給問題ニ付キマシテハ、農林當局ニ於ケレマシテ非常ナ苦心ト努力ヲ拂ハレテ居ラレルノデアリマスガ、吾々ハ之ニ對シテ深ク敬意ヲ表スル所デアリマス、併シ實際ノ率直ニ申シマスルト、昨年ノ夏期以來食糧問題ガ殊ニ喧シクナツテ參リマシテカラ、實際ノ上カラ批判ヲ致シマスルト、結局此ノ配給ノ實情ニ對シテ、何ト云ヒマスカ認識ガ不足デアルト申シマスガ、サウ云フ爲ニ折角ノ御苦心モ多ク報イタル所ナクシテ、食糧問題ノ處理ニ遺憾ノ多カウツコトヲ私共共ニ申上ゲザルヲ得ナイノデアリマス、吾々ハ七十四

○島田國務大臣 統制法ハ恒久ノ立法ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ應急措置ニ關スル法律ハ臨時立法デアリマスカラ、事變ニ關聯シテ事變中行フト云フ趣意ヲ以テヤリマシタ法律ノ改正ニ依ルノ途方適當デアリ、斯ウ云フ意味デ立法シタニ過ギナイノデアリマス

○土屋委員 今ノ御答ヲ聽キマス、事變中ニ限リ配給ノ圓滑ヲ缺クト限定サツタノデアリ、所謂米ノ配給ハ事變中ニ限リ圓滑ヲ缺クノデアルカ、平時ニ於テモ配給ノ圓滑ヲ缺クノデアルカト云フコトモ考ヘナケ

來シテ居ルト云フコトモ御考ノ中ニ入レナケレバナラス、色々ナ關係ヲ考ヘナケレバナラス、唯米ヲ買上ゲテ、政府ノ力デヤリサヘスレバ宜シイ、是ハ臨時立法ダカラ臨時ニヤレバ宜シイ、斯ウ簡單ニ御考ニナリマシテモ、平時ニ於テ米ノ需給關係ニ圓滑ヲ缺クコトハアリマセウカ、非常時デアリマセウガ、ソレハサウトバカリ考ヘラレナイ、何時デモアルコトト思フ、是ハ非常立法ノ中ニ特ニ紛ハシク紛レ込マヌデモ、非常時デアラウガ、平時デアラウガ、使フ法律ノ中ニ入レラレベキモノデアリマスカナイカ、私ハ斯様ニ考ヘタノデアリマスカ、御答ヲ申上ゲタイ、併シ是以上御答申シマシテモ、定メシ私ノ満足スル御答申アリマスマイシ、又是以上深ク進ンデ御考ヲシテ居ルト、前内閣デ拵ヘタ法律ダト仰シヤイマセウ、ナアタニ色々ナコトヲ申上ゲテ御氣ノ毒ト思ヒマスガ、一番オ終ヒニナルト前内閣ト云フコトニナリマスカラ、ソコハアナタハ樂ナラダガ、今度ハアナタノ責任デアルト云フコトニナツテ來ルノデアリカラ、モウ少シ得心ノ行クヤウニ御說明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、併シ私ノ方ノハ此ノ程度デ止メテ置キマセウ、何レ外ノ機會ニ於テ今少シ具體的ニ統制法ト力共ノ他ノ問題ニ付テ、一々數字ヲ舉ゲマシテ質問ヲ試ミルコトト致シマシテ、私ハ此ノ程度デ止メマス、併シアナタノ方デ、尙ホコンヤウナ者ニハモウ一口言ウテ聽カシテ置カケレバ分ラヌト云フヤウナ御考ガアリマスレバ、御答ヲ願ヒマス

○島田國務大臣 統制法ハ恒久ノ立法ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ應急措置ニ關スル法律ハ臨時立法デアリマスカラ、事變ニ關聯シテ事變中行フト云フ趣意ヲ以テヤリマシタ法律ノ改正ニ依ルノ途方適當デアリ、斯ウ云フ意味デ立法シタニ過ギナイノデアリマス

○土屋委員 今ノ御答ヲ聽キマス、事變中ニ限リ配給ノ圓滑ヲ缺クト限定サツタノデアリ、所謂米ノ配給ハ事變中ニ限リ圓滑ヲ缺クノデアルカ、平時ニ於テモ配給ノ圓滑ヲ缺クノデアルカト云フコトモ考ヘナケ

來シテ居ルト云フコトモ御考ノ中ニ入レナケレバナラス、色々ナ關係ヲ考ヘナケレバナラス、唯米ヲ買上ゲテ、政府ノ力デヤリサヘスレバ宜シイ、是ハ臨時立法ダカラ臨時ニヤレバ宜シイ、斯ウ簡單ニ御考ニナリマシテモ、平時ニ於テ米ノ需給關係ニ圓滑ヲ缺クコトハアリマセウカ、非常時デアリマセウガ、ソレハサウトバカリ考ヘラレナイ、何時デモアルコトト思フ、是ハ非常立法ノ中ニ特ニ紛ハシク紛レ込マヌデモ、非常時デアラウガ、平時デアラウガ、使フ法律ノ中ニ入レラレベキモノデアリマスカナイカ、私ハ斯様ニ考ヘタノデアリマスカ、御答ヲ申上ゲタイ、併シ是以上御答申シマシテモ、定メシ私ノ満足スル御答申アリマスマイシ、又是以上深ク進ンデ御考ヲシテ居ルト、前内閣デ拵ヘタ法律ダト仰シヤイマセウ、ナアタニ色々ナコトヲ申上ゲテ御氣ノ毒ト思ヒマスガ、一番オ終ヒニナルト前内閣ト云フコトニナリマスカラ、ソコハアナタハ樂ナラダガ、今度ハアナタノ責任デアルト云フコトニナツテ來ルノデアリカラ、モウ少シ得心ノ行クヤウニ御說明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、併シ私ノ方ノハ此ノ程度デ止メテ置キマセウ、何レ外ノ機會ニ於テ今少シ具體的ニ統制法ト力共ノ他ノ問題ニ付テ、一々數字ヲ舉ゲマシテ質問ヲ試ミルコトト致シマシテ、私ハ此ノ程度デ止メマス、併シアナタノ方デ、尙ホコンヤウナ者ニハモウ一口言ウテ聽カシテ置カケレバ分ラヌト云フヤウナ御考ガアリマスレバ、御答ヲ願ヒマス

上ニ於キマシテ、法案ガ出来マシテ、其ノ運用ノ如何ニテモ、此ノ認識カラ改メテ買ハナケレバ、到底配給ノ調停ノ期スルコトハ出来ナイト私ハ思フノデアリマス、ソレニ付テ事實ヲ申上テ、農林當局ノ御見ヲ伺ヒタイノデアリマス、本年ハ昨年ヨリモ本格的ニ、熾境期マデハ非常ナ苦勞ヲシナケレバナラスコトヲ私共ハ今カラ豫想シテ居ルノデアリマス、隨テ農林當局ノ眞劍ナ御態度ト御意見ヲ拜聴シテ置キタイノデアリマス、米穀配給ノ問題ハ現實ノ問題デアリマシテ、理論ダケデドウニモナラナイ、是ハ農相ガ御執任當時ニモ仰シヤツテ居ルノデアリマス、是ハ口先ダケデハドウシテモ解決ノ出来ナイコトデアリマス、併シ最近色々現ハレテ居ル事實カラ見マスト、大分農林當局ノ御認識ガ改メテ居ルノデアリナカラウカト思フヤウナ氣持ヲ致シマス、流石ニ政黨大臣ガ出ラレテ、兩ニ度目ノ御登壇デハアルシ、地方ノ事情ハ能ク御分リデアリマス、私共ノ山口縣トハ大分事情ガ違ヒマスガ、兎も尙早寄ノ相當致シデアラフタ縣ノ御出身デアラカラ、事實ヲ能ク御承知デアリマス、其ノ結果デハナカラウカト實ハ其ノ意味ニ於テ心強ク考ヘテ居ルノデアリマス、私共ハ其ノ點ヲ大臣ニ伺ヒマシテ、是カラ安心シテ此ノ法案ノ運用ニ付テ自分共モ出来ルダケノ御奉公ヲ致シタイト考ヘテ居ル、山口縣ハ全面的ノ早稲デアリマシテ、殆ド各都市共變リガナイノデアリマス、八月ニ植付ヲ諦メテ、本格的ニ米穀ノ配給ニ考慮ヲ致スヤウニナリマシテカラ、農林當局ニ最初ニ懇ヘタノハ、ハツキリハ覺エマセスケレドモ、八月ノ中頃デア

ウツカト思ヒマス、其ノ頃ノ農林當局ノ考ヘ方ハドウデアラウツカト云フコト、十四米穀年度ハモウ大先ダ、山口縣ハ八月一日現在是レレノ米ガアルデハナイカ、今頃カラソレナコトヲシタツテ仕樣ガナイデハナイカ、問題ハ十五米穀年度ノコトデアラカ、十一月カラ先ノコトデアアル、斯ウ言フテシテ話シテラナイ、是ハ農林當局ノ最モ首腦部ニ居ラレル人ノ頭ガソレナコトデアリマス、私共ハ是ハ大變ニ認識不足ト思フ、モウ今日ノヤウナ形ニナツテ來ルト、在ル米モ引込シテシマフカラ、在米高ノ内容ヲ調べテ買ヒタイト申シマスレドモ、十一月カラ先ノコトハ其ノ時考ヘテ居ルナコトデアリマス、是ハ首腦部ノ人ノ名ハ指シマセスケレドモ、兎も尙農林首腦部ノ最モ重要ナ地位ニ居ラレル人ノ考ヘ方ガソレデアリマス、私共官廳ノ仕事ガ、吾々民間ガ考ヘテ居ルヤウニ手取早ク行カスコトハ十分承知シテ居ラス、ダカラ先手ヲ打タルコトニ付テ彼此申シハ致シマス、是レノ後ノコトノ目先ヲ見テ仕事ヲシテ置カナケレバ、米ノ配給ナドハテシテ置キナラナイト私共ハ思フノデアリマス、此ノ考ヘ方、吾々終始米穀配給問題ノ中ニ入ラテ居ラテ常ニ憤マレ、今日ニ至ラテ居ルノデアリマス、此ノ認識ヲ改メテ買フコトガ第一ノ問題デアリナイカト思ヒマス、間モナク櫻内農相ガ御觀察ニ御見エニナリマシタカラ、其ノ際私ハ其ノコトヲ申シタノデアリマス、櫻内サシモ政黨出身デアアルシ、能ク腕力レハシマシタケレドモ、何ト云ツテモ農林首腦部ノ人ノ頭ガソレダカラ、アソナコトヲ言ツテモ大丈夫ダラウ、斯ウ恐テカハ思

ハレタラウツカト思ヒマス、併シ間モソレハ問題ガ濃シテ、八月ノ米ニハモウ櫻内サシモ農相デハナカクツクデアリマス、其ノ次ニ又低價サンゴ果エラレマシタガ、是モ米ノコトナラバ配給ノ安心ダカラ、指サンゴ果セラレルヤウニ、心配ヲ減タルコトハ斷ズシナイカラ安心シテ置カレマシタ、是モ農林首腦部ガ大丈夫ダラウ言ツテ置ラシカラ、ソレデ公言セラレタト思ヒマス、今度ハ引續イテ小原内相ガ御見エニナリマシタ、此ノ時ハ十月ニナツテカラデアリマス、モウボツル「デマ」ガ飛ンデ來ル、内容ガ治安ノ問題デ心配ナケレバ、ソレナコトニナツクデアリマス、小原内相ガ態ニ觀察ニ見エタノデアリマス、此ノ時ニハ私ハ現實ノ山口縣ノ在米高ヲ中心トシテ、今マデノ農林當局ノ態度ガ實ニ認識ガナカクツクコトガ今日ニ至ラデ居ル、今日ニ至ラヌ中ニ十分ニ手取早クシテ置クテ、是レノコトハナイデアラウト云フコトヲ取ハ小原内相ニモシタノデアリマス、是ハ時デ時デアリマス、相當ニ效果ガアツタコトト私ハ今日マデ信シテ居ル、兎も與今マデ十月一日現在ノ山口縣ノ在米高ハ三三、三三、三三、當時ノ事情ガ發表セラレナイコトニナラテ居ルマシタガ、私ハ其ノ當時ニ配給ノ任ヲ取ラテ居ルノデ、其ノ在米高ハ承知シテ居ラス、十九萬五千石ガ第一田現在ノ山口縣ノ在米高デアラ、チウスルカ一箇月ニ消費シナイカラ、六萬石ガ十一月以降ニ持越シニナル、若シイト云フツテ苦シイ管ガナイデハナイカ、斯ウ言ハレルノデアリマス、吾々ハ小原内相ニ其ノコトヲ申シタ、十九萬五千石ト云フ米ガア

ルガ、其ノ十九萬五千石ト云フモノハ、農業者ニ在ラウガ、農家ノ庭ニ在ラウガツレハ指動キノ付カス米ナラ、是ハ指動家ガ自分ノ食糧トシテ置キテ居ル、農民ガ飯料トシテ大事ニシテ置キテ居ル、動ク米ハ十九萬五千石ノ中ノ二萬石モアリハシナイ、デアルカラ若シ此ノ體ニ置イタラテ下部モ下ノ關モ朝鮮米ハ入ツテ來サシ、全部トシテモ動キガ付カスコトニナルゾト申シタノデアリマス、事實サレバ、成程數字ノ止カラ言フト十一月ハ六萬何千石ト云フ米ガ持越シニナツテ居リマス、形ノ止テハサウデアリマス、其ノ内容モ調べ、流シテシマツテ、話モ確ニ確カナイデス、由分ノ若シ計配給事情ヲ知ツテ居ルヤウナコトニシテ居レルモノダカラ、結局サウ云フコトニナツクデアリマス、是ガ山口縣ノ實際デス、私ハ自ラ關與致シマコトヲ事實ヲ申上テ居ルノデアリマス、ソレガ治安ニ關係スルト云フ問題ニナツテ、金ヲ拵ツテ行ツテモ買ハナイト云フ所カラ、莫知ノ所在地、其ノ他山口縣ハ御承知ノ通り工業地帯ガ急激ニ發展シテ參リマシタカラ、斯種不安カラ、相當ノ手取早ク出来マシタカラ今日マデ濟ンデ參ルコトガ出来タデアリマス、併シ農林當局ノ頭デ總務官ガカラバ、飛ンデモナイコトニナツタコトハ間違ヒガナイ、私共ハ山口縣ノ飯米對策ノ首腦部ニ居ツテ、其ノ田畠シテ、此モ必要ダカラ米ヲ此方ニ運スト云フコトデ、進モ、ストツク、ヲ持ツ所ノ懸キデナイ、仕事ガ出来ナイヤウナ實際デアリマス、其ノ甚ク所ハ何處ニアラカト云ヘバ、農林當局ハ八月

十一月以降ノコトハ其ノ時考ヘテ遅クナイト云ツタヤウナ、テンデ米ノ動キナドニ付テ常識ガアルカナイカ分ラヌト云フ位ナ返事ヲシテ不然トシテ居ラレル、是ハ四五人伴レテ行ツタガ、皆驚イタ、縣會議員ナドモ驚イタ、米ノ通ト云ハレテ居ル人ガ十一月ニナツテ御考ニナツテ宜イナドト思ツテ居ルコトハ、トシテモナイコトダト思ツテ吾々ハ嘔ツテ歸ツタノデアリマスガ、併シ何ト云ツテモ職權ヲ持ツテ居ラレル方々デアリマス、仕方ガナイ、併シ今後此ノ法案デ以テ政府米ノ充實ヲ圖ラレテ、市場操作ヲセラレ上ニ付キマシテハ此ノ認識ヲ改メルト云フコトニナラナイト、幾ラ法律デ以テドレダケノ御買上ヲナサル御積リデアアルカ知レマセスケレドモ、其ノ認識ヲ先ヅ第一ニ改メテ戴カケレバナラスト思ヒマス、此ノ統計位私ハ癡ニ障ルモノハナカク、是ガ實ニ邪魔ヲシタ、山口縣ハ八月一日現在デハ三十六萬石カラアツタ、尙ホソレラズツテ食ツテ行クノデアリマス、ソレニ朝鮮米ガ入ツツテカラコソ、宜カクツクデアリマス、所ガ朝鮮米ガ入ラナイカラアノヤウナコトニナツテシマツタ、三十六萬石チ十三萬五千石食ツテ行ツタノデハ持越米ト云フモノハアル管ハナイ、ソレハ政府米ノ拂下ナリ他府縣カラノ手當ヲ濟マシテ來タノデアリマス、統計ガ禍ヲ爲シタ、是ハ大事ナモノデアリマス、唯統計ノ表面ニ現ハレタ事實ヲ以テ議論ヲサレテ此ノ配給事情ヲ觀測サレト云フヤウナコトニナツテハ、場合ニ依ツテハトシテ

ナイコトヲ起シマスカラ餘程考ヘテ戴カナケレバナラス、此ノ概ニ認識ヲ統計ヲ出サレテモ私ハ效果ハ疑フヤウナコトニナル、又集ツクモノノ如何ニ運用サレルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト云フコトニナル、此ノ點ニ付キマシテ農林大臣ノ御意見ヲ承ツテ安心ヲ致シタイト思ヒマス、
○島田國務大臣 只今ノ國光君ノ實際ニ即シテノ色々御意見ハ洵ニ貴重ナル參考トシテ承ツテ置キマス、米ノ配給ニ關係シマシテ單ニ統計ノ數字ノミニ重キヲ置イテヤルト云フコトノ危險デアアルコトハ御説ノ通りデアリマス、事實實際ニ即シテ機宜ノ處置ヲ誤ラナイヤウニシナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、而シテ其ノ根本ニ於テ樂觀ニ陥ルコトノ危險デアアルト云フコトモ亦考ヘナケレバナラス、無論餘リニ悲觀ニ陥ツテ途ニシレガ不安ヲ喚起ス、隨テ治安ノ上ニモ影響スルト云フヤウナコトニ付キマシテハ是ハ最モ注意ヲ要スルコトデアリマス、ソレドモ、同時ニ樂觀ニ流レテ事ヲ誤ルト云フコトモ亦注意シナケレバナラス次第デアリマシテ、其ノ點ハ大體論トシテ御説ノ通りデアリ、又山口縣ノ實情ニ即シテ御説ハ私モ當時ノ地方ヲ他ノ要務ヲ帯ビテ廻ツクノデアリマス、色々不安ガアルト當面シテ飯米ニ付テノ色々不安ガアルト云フコトノ話ヲ各地デ聞キマシテ、之ニ對シテ善處シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、今度ノ處置トシマシテ此ノ法案ノ運用ノ上ニ於キマシテ今御説ノヤウナ點ニ付テ十分ニ注意シ、地方ニ於テ政府米ノ買上ヲ致シマシテモ其ノ地方ノ需要ト云フコトモ相當ニ考慮ニ入レマシテ、ソレ等ノモノニ付テハ或ル程度指定

倉庫等ノ方法ニ依リマシテ地方ニ於ケル政府所有米ト雖モ、地方ニ於テ在米ノ分量ヲ相當程度ニ持ツテ居ルト云フヤウナ事情ニ付キマシテハ、十分ニ注意シマシテ機宜ヲ誤ラナイヤウニスル、今年ノ米穀事情ハ先ニ説明ヲ致シマシタヤウニ、朝鮮ノ早害ノ爲ニ朝鮮米ノ移入ハ相當困難ナ事情ガアリ、無論身代リノ麥ナリ雜穀ナリヲ渡シテヤルト云フヤウナコトニ付キマシテハ切實協議ヲ致シテ居リマス、相當困難ナ事情モアラウト想像サレマス、只今御説ニナリマシタ配給上ノ注意ト云フコトニ付テハ出来ルダケノ措置ヲ執リマシテ萬遺憾ナキヲ期シタイ、樂觀ニ流レズ、悲觀ニ墮レズ、中間ニ於テ十分注意ヲ致シテ機宜ヲ誤ラナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、
○國光委員 只今農林大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ大變安心致シマシタガ、丁度今御答辯ニナリマシタ終ヒノ頃ニ折角御説シヨウト思ツテ居ツタ御話ガアリマシタノデ、丁度好イ機會デアリマス、其ノ點ニ付テ御伺ヒ見タイ、恐ラク最後ニ御話ニナリマシタノハ、數日前ニ經濟部長ノ會議ヲ農林省デヤリマシテ、各府縣ノ買上米ノ相談ガアツタサウデアリマス、其ノ話デアラウカト私ハ思ツテ居リマス、是ハヤリ方ニ依ツテハ甚ダ結構ナコトダト思フノデアリマス、是ハ山口縣ノ如キ早害地カマ向ホ御買上ガニナルサウデアリマス、大體其ノ地ニ拂下ゲル、是ハ知事ニ其ノ權限ヲ委任サレル形デアラシ、併シ之ヲ御買上ガニナラニ運旨ハドウ云フ所ニアリマス、此ノ法案ノ運用ノ一ツノヤウナ積リデオヤリニナルノカ、或ハ山口縣ノモノヲ東京市ニ廻ス

ト云フコトモ場合ニ依ツテハヤルノデアリマス、是ハヤリ方ニ依ツテハ大變結構ナコトデアリマス、非常ニ心配ガアル、ト云フノハ山口縣ノ數量ハハツキリ分リマセヌガ、十萬石近イ、今山口縣ノ倉庫ニ入ツテ居ルノガ二十五萬依テ殆ドビツタリニナル、中々山口縣トシテハ容易ナラヌコトデアリマシテ、今大臣ノ仰シヤツタコトハ、經濟部長ノ會議デ話サレタコトノヤウナ御話デアツクノデアリマス、御買上ゲノ趣旨、精神ノアル所ヲ一ツ此ノ機會ニ於テ承ツテ置キタイト思ヒマス、
○島田國務大臣 大體ハ今國光君ノ御考ニナツテ居ルヤウナ趣意デアリマス、不足シテ居ル方面ニ付キマシテモ、ヤハリソレダケノ縣内ニ於テモ相當備在ト云フコトガアルモノデアリマス、ソレコトデアリマシテ増産シタ部分ト云フヤウナモノニ付キマシテハ買上ヲ行ヒ、サウシテ處分ノ際ニ於キマシテ移動スル場合ニ於キマシテハ其ノ縣ノ事情ニ依リマシテ十分地方長官ト能ク協議ヲ致シマシテ此ノ處置ヲスル、斯ウ云フヤウナ考デ先ヅ豫備的ニ現在調査實行ニ付テノ準備ヲ考ヘテ居ルデアリマス、決シテ山口縣ノ不足シテ居ル米ヲ他ノ持出デハアリマセヌガ、唯朝鮮米ガ入ツテ來ルトカ云フヤウナコトガアツテ、サウ云フヤウナコトノ事情デ緩和サレテ餘裕ノ生ズルヤウナ場合ニハ、ソレハ又其ノ處置ヲスルノデアリマス、此ノ山口縣ダケニ付テ考ヘマシレバ、長官ト能ク話ヲシテヤルヤウニシタイ、斯種ニ考ヘテ自然アナタ方ノ御耳ニモ入ルヤウナ方法ニ依ツテ行タラウト考ヘテ居リマス

○國光委員 今ノ大臣ノ御答辯ノヤウデア
リマシタラ、大體宜イト思ヒマスガ、私ノ
氣遣フノハ、其ノ政府ノ御買上ゲニナル時
ハ、無論倉敷料カラ總テノ經費ヲ結局政府
ガ御持チニナルト云フコトデ、大變山口縣
カラ言フト都合ノ好イ形ニナル、併シ山口
縣ナドハ此ノ場合特ニ申シテ置キタイト思
ヒマスガ、各町村毎ニ互ツテ需給計畫ガハ
ツキリ立ツテ居リマセスト、米穀ノ配給ガ
ドウシテモ皆行カナイ、之ヲ自由ニ何處
モ彼處モ手ヲ著ケルト云フコトニナツタ
ラ、配給ハ大變デス、山口縣ハ今八十五萬
石ト云フノデスガ、農家ノ數ハ十一萬五千
戸アル、先ヅ飯米其ノ他ヲ入レマスト六十
萬石餘アツタラ農村ノ手當ハ濟ムノデスカ
ラ、二十萬石バカリ殘ル、所ガ農家ノ方ノ
六十萬石ノ米ノ中ヲ取上ゲテ、シマフト、
今度ハソレダケ配給ガカスレタ場合ニハト
シデモナイコトニナツテシマフ、ソレデア
リマスカラ町村内ノ需給ヲハツキリ致シテ
置キマスレバ、大消費地ダケヲ手當ラズレ
バ宜イノデアリマスカラ、手當ガ見易イ、農村
ヲ括メテノ手當ヲシヨウトスレバ大變ナコ
トニナリマスカラ、政府モ買上ノ時ニハ能
ク考ヘテ戴カナイト、之ヲウツカリ殘ノ方
ダケヲ考ヘテ戴クト大變ナコトニナル、山
口縣ハ需給計畫ヲ立テテ、其ノ町村々々毎
ニ要ル所ノモノハ殘シテ、後ノ移動米ヲ何時
デモ市場ニ出セルヤウナ形ニ組立テテ居リ
マス、所ガ是ハ倉庫ニ集メテ置カケレバ
イカス、今マデノヤウナ産業組合ガ取扱
テ居ル形ニ致シマスト、是ハ買取ガ出來
ナイノデアリマシテ、サウナルト今ノ十七
圓ヲ渡ス譯ニイカナイカラ、假渡シハ割位
掛ケテ置カケレバナラス、サウナルト商

人ガ高イ十七圓ヲ持ツテ行クト、皆十七圓ノ
方ニ賣ツテシマス、其ノ足ヲ止メナケレバナ
ラス、ソレガ山口縣内ヲ廻ルナラ宜シイガ、廣
島ニ行ツタリ、福岡ニ行ツタリシ兼ネナイ
ノデアリマスカラ、買取ツテシマフ、買取ツテ
シマフト、自分ノ組合ノ米ダカラ、組合ハ自
分ノ米ニ對シテ倉敷料ヲ取ル譯ニモイカナ
イ、長イ間遊バシテ居ルト組合ハ其ノ金利
ヤ倉敷料デ、テンデ仕事モ何モ出來ナイコ
トニナツテシマフ、大キナ組合ニナリマスト、
ドレダケノ損失ニナカル分ラナイ、ソレデア
リマスカラ臨機ノ處置ト致シマシテ、ソ
レヲ統制シテ、其ノ町村内ニ於ケル農民ノ
飯米ヲ集メテ居ルノデアリマス、部落々々
ニ賣ツテシマフ、賣ツテシマフト、其ノ部落
ノ所有米ニナリマス、部落ノ飯米ノ引當ニ
ナリマスカラ、其ノ部落ノ米ヲ農業倉庫ガ
保管ヲシテ居ルト云フコトニナリマスガ
ラ、保管料ガ取レルシ、利子ノ勘定ナドモ
頭カラ行フ必要ガナイト云フコトニナリマ
スカラ、ソレヲヤツテ居ル、所ガ經濟警察
ノ方デヤカマシクナツテ、今カラ是ガ六箇
月先ニ渡スカ三箇月先ニ渡スカ知リマセ
スケレドモ、其ノ間ノ要ラヌ米ヲ集メテ
居ルノハ是ハ買溜ヲシテ居ルノダ、買溜
ヲシテ居ルカラ市場ニ出テ來ナイ、コン
ナ經濟警察ハ分ラナイコトヲ言フノデス、
是カラ今度ノヤウナ形ノ其ノ地方ノ米ノ
カスレテ防ギ、サウシテ配給ノ不測ヲ
來サナイヤウナ精神ノ下ニ御考ニナツテ、
其ノ倉庫ニ持ツテソレヲ保管シテ御置キ
ニナルト云フコトニナリマスト、政府ガ
保管料ヲ御出シニナルシ、金ハ無論拂ツテ
オヤリニナルカラ、金利ノ心配ハ要ラナイト
云フコトニナリマスカラ、組合ノ倉庫ハ何

處カラモ喧シク言ハレス、立派ニ大手ノ振
レル方法デ米穀對策ガ出來ルト云フコトニ
ナリマシテ、是ハ吾々カラスルト大變結構
ナ方法ニナルノデアリマス、ソレデアリマ
スカラ、ソレハ結構デアリマスカラ、併シ山
口縣ノ如ク他處カラ六十五萬石ヲ入レナケ
レバ、ドウシテモ端境期ハ渡ツテ行ケナイト
云フヤウナ、大キナガカイヲ持ツテ居ル處デ
ハ、之ヲ他處ニ出スナドト云フコトハ御考
ヲ戴イテモ是ハ大變ナコトニナル、茲デ序
ノ事デアリマスカラ、今ノ話ニナリマシタカ
ラ申上ゲマスガ、六十五萬石ヲ入レナケレバ
山口縣ハドウシテモ立タナイ、之ヲ偽數ニ
直シマスト百七十萬石ニナル、私共自分ノ
手許デ色々ノ計算ヲ立テテ居リマスガ、ド
ウシテモ毎日三十車ツツ山口縣ニ運斷ナク
入ツテ來ルト云フ算盤ニナラナイト、ソレ
ガドウシテモ充實サレナイ、一日三十車ツ
ツ即チ四千八百俵ツツ入ツテ來ナイト、何
處カデカスレテ來ル、ソレダカラ農家ノ飯
米マデ取上ゲテモシタラ、ソレヲ埋メルト
云フコトガ出來ヌノデ、足ラヌト云フ時ニ
ハ大騒動ニナリマスカラ、ソレデアリマセ
ソレヲ心配スル、一年三百六十五日、毎日
三十車ツツ入ツテ來ナケレバナラヌガ一
日、二日ト何處カデ手當ラシテ居ルモノ
ガ、殊ニ北陸道ノ富山ノ米モ入ツテ居ル
ガ、其ノ富山ナドカラ來ル米ガ風雪ノ爲ニ
妨ゲラレタ日ニハ一週ニ參ツテシマフ、現
在政府ハ三十圓大分縣ノ米ヲ買ツテ、其
ノ政府デ御買上ニナツタ米ヲ拂下ゲテ賣ツ
テ居ルガ、ソレガ中々來ナイ、全然來マセ
ヌ、金ハ此ノ十二日二百七十萬圓ト云フモ
ノ政府ノ方ハ納メテ居ル、納メテ居ルケ
レドモ米ハ動カナイ、ドウシテモ當分來サ

ウニナイ、金ハ取ツテ置イテ、其ノ金利ハ
ズンノ、般込シテ居ル、サウシテ置イテ米
ハ一ツモ來ナイ、統計ノ上デハ山口縣ハ十
萬石入ツタコトニナツテ居ル、サウ云フ實
情デアリマスカラ、六十五萬石ト云フ米ガ
山口縣ニ入ツテ來ナケレバナラヌガ、一日
三十車ツツ運斷ナク入ルト云フコトハ、是
ハ農林大臣ガ御考ニナツテモ成程今ノ運
轉ノ現狀ノ下デハ、難カシイコトデア
ルト云フコトハ常識的ニ御分リニナルト思
フ、デアリマスカラ、是ハ實情ノ上カラ御
考ヲ戴キマシテ、萬全ヲ期シテ戴カナイト、
吾々ハ懸命ノ努力ヲ拂ツテ、皆夜業マデヤ
ツテ居ル、ソレハ十月頃ノ形勢ハ中々大變
ナモノデアリマスガ、今年ハ又ソレ以上ニ
ヒドイダラウト思ツテ居リマスカラ、諄イ
ヤウデアリマスカレドモ、十分ニ其ノコト
ヲ私ハ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマ
ス、ソレデアリマシテ、今御買
上ニナル形ヲ聽イテ參リマスト、私ノ手許
來テ居ル材料デハ今十萬石シカ入ツテ居
ナイ、山口縣ノハ何デモ六七萬石カラ十萬石
間ト云フコトデアリマスカラ、ソレヲ無理ニ省
合ラドシノ、出シテヤラレルト云フト、農家
ノ飯米マデ出サネバナラス、ソレヲ前達ノ
飯米ハ決シテ取上ゲルノデアリナイト云フ
コトデアリナラバ結構デス、ソレデアリ限
リハ之ヲヤリマスト云フト、農民心理ヲ非
常ニ刺戟致シマス、何ト云ツテモ百姓ハ自
分ノ作ツタ米ヲ自分ノ倉庫ニ入レ、自分ノ
庭ニ置イテ眠メナケレバ氣ガ濟マスノガ農
民心理デス、ソレヲ私共ガ農業倉庫ヲ利用
スルヤウニ言ヒマシテ、此ノ頃チヤ農業倉
庫ニ入レルコトヲ誰モ何トモ思ツテハ居
マセヌケレドモ、是ハ三年十五年ノ努力デ

出來タモノデハナイ、ソシテコトデハ中々
言フコトヲ背クモノデハアリマセヌ、ソレ
ヲ今日ノヤウニ農業倉庫ヘドシノ、持ツテ
來ルト云フコトハ、是ハ産業組合ノ實ニ派
ダマシイ努力ノ結果ガ斯ウナツテ居ル、而
モ其ノ飯米ガ取上ゲラレルトナツタラ農業
倉庫ニ持ツテ行ケト云ツタツテ、何ヲ言ツ
タツテ誰モ耳ヲ傾ケル者ハアリマセヌ、此
ノ農民心理ヲ能ク御理解ヲ戴イテ考ヘテ下
サイマセスト、實際折角ノ政府ノ御心持ト
逆ナ效果ガ現ハレテ來マスカラ、其ノ點ヲ
一ツ能ク考ヘテ戴キタイト思ヒマス、今ノ
私ノ申上ゲタ中ニ何カ米穀局其ノ他テ違フ
ト御考ニナツタコトデアリマスカラ、指摘
シテ戴キタイノデアリマス、又ソレニ付テ
農林大臣カラ何カ御考ヲ承レバ仕合セデア
リマスカラ、敢テ御答辯ヲ要求シマセヌ

○島田國務大臣 只今ノ山口縣ノ事情ニ付
テ御述ベニナツタ事柄ハ、早害地全體ヲ通
ジテ同時ニ考ヘナケレバナラスコトト思ヒ
マス、是ハ今後ノ實施ノ上ニ於キマシテ、
十分注意ヲシテ遺憾ナイヤウニ致シマス

○國光委員 今後ノコトハ結局此ノ政府米
ノ調査ヲ十分ニサレマシテ、效果のニ之ヲ
運用シテ戴クト云フコトニナリマスカラ、
今後ノ米穀配給ノ上ニ非常ニ力強イ、斯ウ
云フ力強イ氣持ガ國民ノ間ニアリマスト、動
カス米モ動イテ來マス、是ガ不安心ダト云
フコトニナルト、動ク米モ動カスコトニナ
リマス、殊ニ早害地ニ年數ト云フヤウナコ
トヲ、類ニ申シテ居ル實情デアリマスカラ、
其ノ點ダケハ今大臣ノ御答辯ノヤウニ、餘
程慎重ニ考ヘテ戴キタイノデアリマス、又
重ねテ申上ゲマスガ、斯ウ云フコトヲシテ
戴クト、實際ノ事情トシテハ困ルト思ヒマ

ス、山口縣ハ八十七萬石ノ實收デアリマシ
テ、是ハ第二回豫想トグルツト逆轉致シマ
シタ、第二回豫想ハ六十萬石デ、實收ガ
八十七萬石、丁度逆ニ其ノ間二十萬石ノ開
キガアル、是ハ實ニ時局ニ取ツテ仕合セキ
萬ナコトデアリマス、此ノ八十七萬石食
ツテ生キテ行クコトニナルト、十一月カラ
勘定致シマシテ五月ハ大丈夫デアアルカラ
三四月マデハ大丈夫ト云フコトニナル、併
シアトヲ繋イデ行クコトダケハ米穀局長ニ
御志レナイヤウニシテ戴カケレバナラス、
山口縣ハ八十七萬石アルノダカラ、之ヲ食
ツテ行ケバ當分食ツテ行ケル、アトハ何時
デモ出シテヤラレルト云フ考ヘ方ハ大禁物デ
カラ、斷ジテサウ云フ考ヘ方ヲ起サナイヤ
ウニ願ヒマス、是ハ大臣ニ致シマシテモ、
チウ云フコトヲ下僚カラ話ガアリマシテモ、
大臣ハ決シテ御意ニナラスヤウニ、米穀
政策ノ安全性ノ爲ニ特ニ申上ゲテ置キマス
米直接ノ問題ハ是デ打切リマシテ、私ハ
次ニ重要ナ肥料ノ配給ニ關スルコトヲ御考
申上ゲマシテ、農林當局ノ考ヘ方ヲ承ツテ
見タイト思フノデアリマス

肥料ノ配給問題ハ非常ニ難シイ、又農林
當局ガ非常ニ骨折ツテ居ラレルコトモ、無
論私共ハ承知シテ居ルノデアリマス、山口
縣ノ産組デ扱ツテ居リマスカラ、確安デス
ガ、是ハ字部望素ノモノト、九州ノ日鐵ト
大牟田ノ東洋高壓ノ分ガ入ツテ來ルコトノ
割當ニナツテ居ル、所ガ字部望素ハ御承知
ノ通り縣内デアリマスカラ、是ハ殆ド入荷
シテ居リマスカラ、外ノモノハ全然入ツテ來
マセヌ、入ツテ來ヌノハ恐ラク日鐵ノ石炭
ナドノ手當ノ爲ニ、運輸機關ガ一切利カ
ナイ爲メト思ヒマス、大分ノ米ガ來ヌノモ或

ハソレガ爲メデハナカツタカト思ヒマス、
是ハ電力ノ問題ダカラ、或ル程度忍バナケ
レバナラスト思ツテ居リマスガ、全然入ツテ
來ナイ、二月バカリデナク、一月モ全然入ツ
テ來ナイ、十一月ノ分ガ半分シカ入ツテ來
ナイ、ソレデアリマシテ居ル、産業組合ニ入
テ來ヌノダカラ、恐ラク商人ノ系統ニモ入
アル彼等過シタラモウ來テモ何ノ役ニモ立
タヌ、今ノ所ハドウナルコトカ心配シテ居
リマスガ、斯ウ云フコトデアリマシテ居
計畫ノ上カラ御考ヘニナリ、米穀ノ充實ノ上
カラ御考ヘニナリマシテ、一體ドウナルト
御考ヘニナリマセウカ、政府ニ御無理ヲ申
シテモ仕様ガアリマセヌケレドモ、地域の
ノ配給ト云フコトヲ御考ヘ願ツタラドウ
カ、考ヘ直シテ下サイ、字部望素ト云フモノ
ガ現ニアルノニ拘ラズ半分シカ入レナイデ、
遠方カラ取ル、字部望素ト云フコトデア
レドモ譯ハアリマセヌ、ソレヲ遠方カラ取
ル、デアリマスカラ大牟田ノ八幡ノヤウナ
コトガアルト、石炭問題デ邪魔ニナルヤウ
ナコトニナリマス、之ヲ字部望素ナラ字部望
素ダケノ一縣内ニナケレバ仕様ガアリマセ
ヌケレドモ、縣内ニアル限りハ、ソレノ配給
ヲサセルト云フヤウナコトハナシニ濟
イタナラバ、斯ウ云フヤウナコトハナシニ濟
ム、同ジコトデアリマスカラ、私ハ斯ウ云フ地
域的ノコトニ付テ、モウ少シ考ヘ方ヲ變
テヤウツテ賣ツタラ宜イノデアリカト思
テ居ルノデアリマス、何シロ是ガ來ナケレ
バモウ大變デス、早害地ニテ隨分頭痛メ
テ居ルモノガ、麥ヲ取返サウスト、小麦
ハ恐ラク駄目ダラウト思ヒマス、私ハ農業
ノ實情ノ施肥ノコトハ能ク承知致シマセヌ

ケレドモ、大體宜イカラ言ハバ、時期ヲ過
ギテ居ル、一月ノバイニヤラナケレバ駄目
ナデアリマスカラ、足ラヌ分ダケハ外ノ
方デ何トカシテ取ルト云フコトニナル、大
體カラ言ハバ麥ナラバ彼岸マデハ宜イノデ
デアリマスカラ、是ハ何トカシテ戴カケレ
バナラナイ、ソレニ付テハ地域の——此ノ
度ハドウモナラヌデアリマセウガ、將來ノ
コトニ付テハ其ノ點ヲ考慮シテ戴キタイト
思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付テ農林當局ノ御
考ヲ承リタイ

○島田國務大臣 肥料ノ問題ハ重要ナル
ト共ニ、モウ目前ニ今御話ノヤウナ事情ガ
各地ニ澤山アリマスト、之ニ付テハ早晩
今期議會ニ提案ヲ致シタイト考ヘテ、今折
角ヤウツテ居リマスガ、尙ホ今年ノ只今ノ事
柄ニ付キマシテハ、手ノ盡セルダケ努力ヲ
シテ居ル次第デアリマスガ、其ノ詳細ノコ
トハ只今對策部長ガ居リマセヌカラ、又其
ノ點ハ能ク説明スルヤウ致サセマス

○國光委員 モウ一ツ此ノ關係デ同ヒマス、
ソレハ大臣ニ聽イテ置イテ戴キサヘスレバ
宜イノデアリマスカラ、ソレハ肥料ノ割當制
度ノ根本ニ付テノ問題デアリマス、アトデ
肥料ノ法案ガ出マシタラバ、其ノ時私ハ
委員ニナツテ十分ナコトヲ申上ゲタイ、肥
料ノ割當制ト云フ問題ハ、是ハ迪モ厄介ナ
問題デアリマシテ、農林省ニ於ケレテモ今
少シク考慮シテ戴カケレバ圓滑ナ肥料
配給ガ出來ナイト思ヒマス、私共ハ無論肥
料ノ生産者團體ニ依ル一元的配給ト云フモ
ノヲ理想ニシテ之ヲ實現シテ戴キタイトハ
思ヒマスガ、併シソレヲ今此處デ議論スルノ
デハアリマセヌガ、割當制ト云フモノニ付
テノ政府ノ考ヘ方ハ大變ニ混亂ヲシテ居

カラ、是ノ取扱ハ困ルノデアリマス、所ガ... 縣ニ於キマシテモ其ノ必要ヲ認メテ、國家ノ助成ヲ基ニ致シマシテ、サウシテ臨時縣會ヲ開イテ此ノ助成案ヲ立テテ、十一萬幾千圓ト云フモノヲ立テテ、私共ガ計算致シマスルト、山口縣テ免租地ニ關係シテモノダケテ十三萬圓餘ノモノガアリマスガ、ソレダケハ補助テアラナイト町村會ガ豫算ヲヨウ立テナイト云フコトニナル、ソコデサウ云フコトニナツタノデアリマスガ、所ガ國ガ其ノ助成ト云フモノハ削ラレテシマツタ、サウシテ今ノ三萬圓ト云フモノガ代リニ出テ來タノデアアルカドウカ、農林省ノ内輪ノコトデアアルカラ知リマセヌガ、サウ云フコトニナツタ、ソコデ縣ハ財源ニシテ十一萬何ボト云フモノガ、自分ノ方デハ一萬圓バカリヲ縣費デ出シテ後ノ十萬圓ハ國庫カラ貰フト云フコトデアリマス、臨時縣會ヘ出シテラ無論縣會ハ通過シテ成立シテ十四年度ノ追加豫算デ出テ居ル、所ガ十萬圓ハ國庫カラ來ナイカラ縣ハ財源ガナイ、財源ガナケレバ起債モヤラナケレバナラナイト吾々ハ主張シテ居ツタノデアリマスガ、參事會ニ懸ケテ、ドウモ縣モ驚キ入ツタ話デアリマスガ、其ノ臨時縣會ノ決議ヲ變ヘテ六萬圓ニシテシマツテ、コソナ見苦シイコトハナイト思ヒマスガ、ソコナコトヲ餘所デ言ウテハイケマセヌカラ申シマセヌガ、兎ニ角十三萬圓アツタノ六萬圓ニシテシマツタ、是デハ出來ヤウガナイ、之ヲ處理スル爲ニハ私共ハ非常ナ苦痛ヲ持ツタ、自分ガ縣ノ會長トシテ非常ナ苦勞ヲシナケレバナラス、ソレデ實際ニ於テハ是ハ市町村農會ガ助成カヌト云フコトニナルト、縣農會モ動カヌシ、郡農會モ動カヌ、

ソレハ何故カト云フコト金ガ入ツテ來ナイ、金ガ入ツテ來ナイト云フコトニナリマス、上級農會ニ對スル負擔金ガ納メラレケレバ、結局長ト政府ト縣ト助成バカリデナケレバナラス、補助バカリデ農會ガ動イテ行カナケレバナラス、獨自ノ財源ト云フモノハナイト云フコトニナル、是ハドウゾ私ハ能ク考ヘテ裁カチケレバナラヌト思フノデアリマシテ、是ナシカハ何トカ其ノ方法ヲ立テテ行カナイト、ドウモナラヌト思フノデアリマス、之ニ付テ農林省デハ今ノ三萬圓ト云フモノヲ交付セラレテアルノデアリマスカラ、多少其ノ點ニ付テハ、多少デハゴザイマセヌ、十分ニ證據ヲセラレテ結論デアラウト思フノデアリマスガ、サウ云フモノハ助成スル必要ガナイト云フ結論ニナツタノデアリマスガ、ドウ云フ積リテ其ノ助成ト云フモノヲ、縣ガ其ノ豫算ヲ組ムニ付テハ相當本省ト折衝ノ上デ臨時縣會ヲ開イタニ違ヒナイ、臨時縣會ヲ開イタ時ニハ、知事ノ折衝カ何カ本省ト折衝メナカッタカツタカ、或ハ大藏省ガ之ヲ認メナカッタカト云フ何カノ事情ガアルニ違ヒナイ、若シ大藏省ガ認メナカッタト云フコトデアレバ、適當ナル機會ニ於キマシテ大藏省ノ關係ノ人ニデモ來テ貰ツテ、此ノ農會ハ動カヌデモ宜シイカ、増産計畫ハ誰ガ一體擔當スルカ、部落團體ガ擔當スルト云フコトハ當リ前ノコトデアアル、部落團體ノ指導者ハ誰ダ、是ハ農會ノ技術員デアアル、今日町村ニ技術員ハアリマス、アリマスケレドモ、ソレハ全體ノ區域カラ言フト僅カニ一割ニモ足ラナイ、殆ド市町村農會ノ技術員ニ依ツテ居ルト言フテモ宜イ、月給ガ半分シカ貰ヘヌト云フコトデアリ立行ク道理ガナイ、

午後一時五十分開議

○小林委員長 午前引續イテ開會致シマス

○土屋政府委員 午前中十五年度ノ米穀生産計畫ノ内容ニ付テ御質問ガゴザイマシタガ、私不在ノ爲ニ答辯出來マセヌデシタカラ、此ノ際中上ゲタイト存ジマス、昭和十五年ノ米穀生産數量ハ、昭和十四年ノ生産計畫數量デアル六千七百四十六萬五千石ヲ維持確保致シマス、新ニ三百五十二萬六千石ヲ増産スル計畫ヲ立テテ居リマス、十四年ノ實收ハ六千八百九十九萬七千六百四十四石デアリマスガ、計畫ハ六千七百四十六萬五千石デゴザイマス、ソレヲ維持確保致シマシテ新ニ其ノ上ニ三百五十二萬六千石ヲ增加スルノデアリマス、サウスルト計畫ハ七千九百九十九萬一千石ノ生産ニナリマス、七千九百九十九萬一千石ノ生産ニナリマス、以下計九萬一千石ニナツタノデアリマス、以下計畫ノ内容ニ付テ簡單ニ御説明申上ゲマス

此ノ増産計畫中、既ニ豫算ノ確定致シマシテ只今御審議ヲ願フテ居リマス、分ト、今後ニ追加ニナツテ提出サレル分ト二口ニナツテ居リマス、ナゼサウシタカト申シマスルト、第一、第一ノ方法テ足ラナイ部分ハ、第三ノ方法トシテ此ノ案ヲ立テマシタ、昨

蟲、泥負蟲、葉潛蠅ト云ツタナウヤ病害蟲ノ防除、是等ノ方法ヲ講ジマシテ約八十八萬八千餘石ノ増産ヲ圖ルコトニナリマス、サウ致シマス、計畫數量ニ對シテ残りガ二百三十萬石バカリデアリマス、此ノ残りノ方法ニ付キマシテハ、先刻申上ゲマシタヤウニ、豫算ノ折衝中デアリマシテ、此ノ際數字ニ付テハ申上ゲ難キマスガ、ヤハリ方法ト致シマシテハ、多收穫品種ヲ一層普及サセルトカ、病害蟲ノ防除ヲ更ニ徹底的ニ行フトカ、或ハ施肥方法ノ改善ヲ行フトカ、或ハ乾土、燒土ナドノ方法ヲ施行ストカ、斯様ナ方法ヲ講ジマシテ、残りノ數量ノ増産計畫ヲ致ス積リデアリマス、極メテ概略デアリマスガ、大體以上ノ通りデアリマス

問題トシテ今統計ニ現ハレテ居ルヤウナ、或ハ政府ガ机上ノ上デ計畫ヲ立テテヤウナ成績ガ到底現ハレルモノデナイ、斯様ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、隨テ十五米穀年度ノ需給關係ニ於キマシテモ、或ハ今後ノ増産計畫ニ對シマシテモ、非常ニ不安ニ考ヘルノデアリマス、ソコデ然ラバ米ノ問題ガ其ノ不安ノナリテ行ツテ宜イカト云フコトニナリマス、サウハ行カナイ、代用食ノ難殺ノ點ニ於キマシテモ、何時モヨリモモト不足シテ居ル時代ニ於テ、米ノ不足以上ニ難殺ノ方ハ逼迫シテ居ルト思フノデアリマス、隨テ是等ニ依存スルコトモ出來ナイト云フコトニナリマス、勢ヒ外地米ト云フコトデアリマス、外地米ト云フモノモ純然タル外國ノ米デアリマスナラバ、是ハ又別ニ通商局長ニ御伺シタイト思ヒマスガ、第一番ニ朝鮮ノ米ノ問題デアリマスガ、是ハ私共ガ聽イテ居ル範圍デハ、昨年ノ早害ノ爲ニ、朝鮮米ハ大體一千萬石ノ減收ヲ來シテ居ル、隨テ舊來ノ朝鮮ノ消費大體一千七百萬石、斯ウ云フ數字カラ見マス、既ニ朝鮮米ハ今マデノ朝鮮ノ消費量ヲ充タスダケモナイ、今日マデノ朝鮮ノ消費量ヨリモ更ニ三百萬石モ少イ、斯ウ云フ數字ヲ示サレテ、實ニ驚イテ居ツタノデアリマスガ、所ガ朝鮮米ノ移入關係ニ於キマシテ、最初發表サレマシタノハ、三百萬石内地ニ移入スルコトガ出來ルト云フヤウナ意見ヲ聞イテ居ツタノデアリマス、所ガ其ノ後ニナリマシテ、只今農林大臣ガ持越米方五百萬石ハ出來ルデアラウ、斯ウ云フ需給推算ヲヤリマス時ノ朝鮮米ノ移入高ハ、五百萬石移入ガ出來ルト云フヤウナ基礎ニシテ、五百萬石ノ持

リマスガ、倍テ外米ノ輸入先ト云フコトニナツテ參リマス。一應「サイゴン」米、或ハ「シヤム」米ト云フヤウナモノガ考ヘラレルト思フノデアリマス。隨テ我國ノ「タイ」國ヤ佛領印度支那ニ對スル問題ハ、非常ニ重大ナ問題ニナツテ來ルト思フノデアリマスガ、最近ノ情報ニ依ルト、本年ノ二月頃カラ「タイ」國ト我國トノ間ニ、定期航空路ノ開設方既ニ計畫サレテ實現スルモノト、私共ハ信ジテ居ツタデアリマス。然ルニ佛領印度支那ノ不同意ノ爲ニ、是ガ途中挫折ヲシテシマツタ、是ハ何モ米ト關係ノナイ純然タル外交問題デアリマスケレドモ、南洋方面トノ通商上ニ於テ、此ノ佛領印度支那ガ不同意デアル爲ニ、其ノ計畫サレテ居ツタ定期航空路ノ問題モ、途中挫折ヲ來シテシマフコト云フヤウナコトガ現ハレテ參リマス。私ハ今後ニ於ケル是等米産地トノ通商上非常ニ不安ヲ感ジテ參ルノデアリマス、ソコデ「タイ」國ノ事情カラ申シマスナラバ、恐ラク英吉利ヤ佛領西ノ勢力ヲ持ツタ植民地ノ間ニ挾マツテ居リマシテ、今日マデ「タイ」國ハ比較的此ノ兩國ノ前ニ、何時モ遠慮勝チノ態度ヲ執ツテ居ツタト思フノデアリマス。然ルニ昨年來、例ヘバ日英會談ノ場合ニ於テ、英國ガ遂ニ我國ノ提唱シタ支那ニ於ケル基本原則ノ承認ヲシナケレバナラヌコトニナリ、天津租界ノ隔絶ガ行ハレル、斯ウ云フヤウナ日本ノ誠意ニ信賴シテ、非常ニ其ノ態度ガ變ツテ來テ、英吉利ヤ佛領西ニ對スル氣象ネテ地策致シマシテ、日本ニ對シテ非常ニ親善的ノ態度ヲ明瞭ニシテ參ツタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス。然ルニ最近、淺間丸事件ガ起リ、或ハ亞米利加トノ通商航海條約廢

棄ノ爲ニ、日本ト亞米利加トノ間ニ外交問題ガ起リ、或ハ佛領西ノ態度ニ於テモ、ウイ最近マデハ非常ニ日本ニ對シテ好意ヲ持ツテ居ル、サウシテ日本ハ歐州戰爭ニ對シテ絕對ニ介入ノ態度ヲ持スル爲ニ努力シテ居ル、所ガ今度何カ佛領印度支那ノ國境方面ニ於ケル爆撃ノ問題ナド原因シテ、「タイ」國ト日本トノ定期航空ノ問題モ頓挫ヲスルト云フコトニナリマス。又「タイ」國ノ親善關係ニ對シテモ、私共ハ非常ニ憂慮ノ念ヲ抱カザルヲ得ナイノデアリマス。日本ガ佛領印度支那ト云フアソコノ大キナ「サイゴン」米ノ産地ニ對シテ、今日マデ米ノ獲得ヲ考ヘタコトガアルカドウカ知リマスガ、佛領印度支那ニ於テハ、華僑ガ絕對ニ經濟ヲ牛耳ツテ居ル、隨テ此ノ方面ニ於テハ、通商上餘リ工合ノ好イ解決ガ得ラレナイト思フテ居ルノデアリマスガ、最近露骨ニ佛領印度支那ガ、「タイ」國ト日本トノ間ニ結バレタ定期航空ノ問題ニサヘ同意ヲ表サナイ、斯ウ云フヤウナコトガ現ハレテ參リマス。私ハ段々ト外米獲得ノ上ニ、少カラズ不安ヲ抱イテ參ルノデアリマスガ、此ノ外米ノ買入ハ相當數量ニ上ルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ於テ第一ハ買入先ニ對スル通商上ノ不安ハナイカドウカ、其ノ次ニハ日本ガ需要スル數量ノ買入ニ付テハ、決シテ心配ナイダケノ自信ガアルノカドウカ、又其ノ方面カラノ大量ノ米ノ輸入ニ對スル船舶ノ問題ニ心配ハナイカドウカ、モウ一ツ、是ハ農林省或ハ商工省ノ關係ニ付テ聽カナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、内地ノ米ハ四十三圓ト云フ最高價格ヲ、ハツキリ守ツテ行クト云フコトヲ、農林大臣ガ言ハレテ居リマスカラ、其ノ通り

私共ハ聽イテ居ルノデアリマスガ、外米ヲ相當量輸入シナケレバナラヌコト云フ問題ガ起ツテ參リマシタ時ニ、一體外米ヲ今日ノ我國ノ米ノ最高價格四十三圓ニ丁度匹敵スルヤウナ價格ヲ買入レルコトガ出來ルカドウカ、是ハ爲替ノ關係モアリマセウシ、又歐州戰爭ノ影響モアリマシテ、外國ハ外國トシテノ投機等モアリマセウシ色々ナ點デ或ハ日本ニ於テ最高價格四十三圓ノ鐵則ガ守ラレテモ、外國デハ決シテソレニ追隨シテ來ナイノデアリマスカラ、若シソレヨリ安ク外米ガ手ニ入ルト云フコトデアアルナラバ、問題ハナイト思ヒマスガ、第一ニ御聽キシタイコトハ、之ニ匹敵スル價格デ、將來日本ノ需要スル米ガ必ズ輸入出來ルカドウカ、此ノ見透シニ付テ御伺シタイノデアリマス。尙ホ農林省ノ方モ居ラレルノデアリマス、御伺シタイコトハ、此ノ外米ヲ輸入スル場合ニ、内地米ノ四十三圓ニ匹敵スル價格デ、外米ガ入ツテ來レバ宜イノデアリマスガ、ソレヨリ高クナツタ場合、勿論内地米ヨリ外米ノ方ガ日本人ニハ好マレナイト思ヒマスガ、其ノ好マレナイ外米ガ、若シ價格ニ於テ高イト云フヤウナコトガ出來テ參リマシタ場合、政府ハ一體ドウ云フ價格デ之ヲ配給ナサル御意思デアルカ、内地米ト比較ノ取ルルヤウナ配給方法デアナイト、其ノ配給上非常ニ色々ナ不公平ガ起ルト思ヒマスガ、内地米相當價格デ配給スル御方針デアリマスガ、或ハ内地米ノ方ヲ引上げテ比較ノ取ルルヤウニスル御方針デアリマスガ、或ハ最後マデ内地米ト相當價格デ配給出來ル見込デアリマスカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○植場政府委員 朝鮮米ノ點ニ付テ私カラ御答申上ゲマス、須永君ノ御話ノ通り、朝鮮ハ未曾有ノ旱魃ノ爲ニ、只今非常ニ苦シンデ居ル譯デアリマス、其ノ意味カラ申スト、朝鮮米ノ消費ガ前年通り一千七百萬石ヲ超エルト云フコトデアレバ、一千四百萬石ノ生産デハ問題ニナラヌト云フコトニナルノデアリマス、併シナガラ此ノ點ニ付テハ時局柄内外地ヲ通ジテ、消費節約其ノ他出來ルダケ米ノ消費ヲ抑ヘテ行キタイト云フノデ、何トカ朝鮮ハ朝鮮ダケノ米デ適當ニ附ツテ行クト云フ氣持デ計畫ヲ立テテ居リマス、大體平素ノ朝鮮ノ米穀事情ダケヲ申上ゲマス、米ノ食フ分ハ何時モ若干殘ルノデアリマス、サウシテ食込ミマスノハ糶穀ノ上ニ食込ンデ行ク、斯ウ云フ結果ニナリマスノデ、食糧全體カラ考ヘテ、實ハ本年モ地位食糧ガ不足スルカト云フ見込ヲ立テテ見マシテ、ソレヲドウ云フ風ニ補填スルカト云フコトヲ企畫院ナリ、農林省ニモ種々御相談ヲ願ヒ、又御配慮ヲ願ツテ來タノデアリマス、只今御指摘ノ百五十萬石ト云フ數字ハ、其ノ打合せノ過程ニ出タ數字デアリマシテ、先般農林大臣カラモ御答辯ガゴザイマシタ通り、大體百五十萬石ノ朝鮮米ヲ内地ニ出ス、斯ウ云フ問題ナノデアリマスガ、是亦須永君ノ御話ノ通り、朝鮮ト致シマシテハ、食糧ガ絕對ニ現在不足ノ状態ニアリマス、隨テ先ツ不足食糧ヲ補充ト云フコトヲ、朝鮮トシテハ第一義ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ内地ノ米穀事情ト云フモノガ、御承知ノヤウナ状態デアリマスノデ、從來朝鮮カラモ相當數量ヲ出シテ、内地ニ協力致シマシタ關係モアリマスシ、又母國ノ状態ヲ此ノ儘見テ居ルコトモ

糧當デナイト云フノデ、出來ルダケ米ヲ出シテ見タイ、其ノ代リニ不足米ハ何等カデ補フ、ソレカラ移出スルストレバ其ノ分モ何等カノ方法デ補フ、斯ウ云フ態度ヲ執リマシテ、對滿事務局ナリ、或ハ農林省ナリト種々打合せヲ年來ヤツテ居ルノデアリマス、ソレデ須永君ノ御示ノ條件附ノ移出ト云フコトニナルカモ存ジマセマスガ、其ノ問題ニ付キマシテ、滿洲カラドウ云フ風ニ糶穀ヲ買フカ、或ハ内地カラドウ云フ風ニ大麥、裸麥ヲ買フカト云フコトニ付テ、目下事務當局ノ間デ折衝ヲ重ネテ居ルノデアリマス、ソレデ其ノ問題ノ中デ難點ハ何處ダト云フコトニナリマス、御承知ノ通り先ツ價格ノ問題ガアリマス、例ヘバ大麥採麥ノ問題ヲ拾ヒ上ゲマシテモ、内地ニ於キマシテハ中央物價委員會ニ於テ、隨カ十七圓十一錢カノ價格ガ出テ居ル、ソレニ對シテ運賃諸掛ヲ入レルト、朝鮮ノ現在ノ公定價格ヨリハ高クナルト云フ現實ノ問題ガアルノデアリマス、併シナガラソレデハ朝鮮ノ公定價格ヲ改訂スレバ宜イデハナイカト云フ問題ニナリマス、餘リニ米價ニクツ附イテ行クト云フコトニナリマシテ、食糧トシテハ米ノ方ニ流レテ行ク、斯ウ云フコトニナリマシテ、麥ニタツ附イテ行カナイト云フ一ツノ支障ガ又ソコニ出テ來ルト云フ心配ガアルノデアリマス、ソレカラ滿洲トノ關係デゴザイマスガ、滿洲モ粟、高粱、黍、其ノ他ノ雜穀ニ付テ色々御配慮ヲ願ツテ居リマス、現在マデニ相當數量ヲ輸入テ來テ居リマスケレドモ、是亦價格ノ問題、或ハ糶穀會社ニ集荷サレマス關係デ思フヤウニ參リマセマス、ソコデ百五十萬石ヲ移出

スルト云フ根本的ノ決定ヲ致スノニ、相當暇ガ要リマスノデ、取敢ズ暫定的ニ、年内二十萬石ヲ内地ヘ送ラウト云フ計畫ヲ立テマシテ、大體其ノ中ノ十五萬石見當ハ内地ニ入ツタ譯デアリマス、之ニ對シマシテハ概シテ糶穀其ノ他ノ身代リ米ヲ頂戴シテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○ソレカラ次ニ滿洲ノ問題デアリマス、對滿事務局長モ見エテ居リマスノデ、御答辯ノアルコトト存ジマスガ、私ノ方ニ關係シテ居ル部分ダケヲ御答申上ゲタイト存ジマス、主トシテ移民ノ關係デアリマス、現在滿洲ニ於ケル日本ノ移民ガ作ツテ居ル米ハ、大體十一萬石前後カト思ヒマスガ、是ハ一手デ滿洲拓植公社ガ處分シテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、其ノ水田經營、或ハ米作ニ對スルヤリ方ハ、全部滿洲國政府ノ方針ニ順應シテヤツテ居リマス、日本人關係ノ主食デアル移民ノ米作ハ何處マデモ、滿洲國政府ノ方針ニ從ツテヤリタイト考ヘテ居リマス、併セテ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○山本政府委員 只今「サイゴン」或ハ佛領印度支那カラノ米穀ノ輸入ニ付テハ、將來相當ノ不安ガアリハシナイカ、又日本側ガ必要トスル額ヲ確保スルコトガ出來ルカ、更ニ値段等ニ付テモ現在ノ如キ値段ヲ維持スルコトガ出來ルカト云フヤウナコトニ付テ、御質問ガアリマシタコトト諒解致シマス、御話ノ如ク「サイゴン」佛領印度支那等ハ、非常ニ國際關係ガ複雜シテ居ル國デアリマシテ、動モスレバサウ云フ關係カラ日本ト是等ノ諸國トノ間ノ貿易ニ付テモ、影響ヲ蒙ルコトガ虞アルノデアリマス、ノミナラズ最近

ノ努力ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ折角ソレニ目標ヲ置イテ、色々盡力シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○小林委員 須永君、對滿事務局長ハ、アナクノ御質問ガ濟マレテカラ後ニ來ラレタノデスカラ、簡單ニデモ詳細ニデモモウ一遍

○須永委員 對滿事務局長ニ對シテ御伺シタイト思ヒマシタコトハ、滿洲國全體ノ稻ノ獎勵ノ問題デアリマス、現在ハ大體稻ノ作付ケニ對スル認可制度ト云フヤウナコトデ、餘リ稻ノ栽培ニ付テ積極的ノ獎勵ヲシテ居ナイガ如クニ、私共ハ承知シテ居ルノデアリマス、是ハ前ニモ御伺シタコトデアリマスガ、之ヲ積極的ニスル意思ガアルカドウカ、認可制度ト云フヤウナモノハ、無論或ル意味ニ於テハソレモ獎勵ノ一ツニナルカモ知レマセマスガ、併シ此ノ場合ニ於テハ認可スルコトシテモ、最早希望ニ任セテドンノ認可ヲシテ、サウシテ増産ヲスル上ニ於キマシテハ相當ノ經費ヲ使ヒマシテモ、灌溉用水ノ設備ト云フヤウナコトヲ致シマスナラバ、相當稻作ニ付キマシテハ朝鮮人其ノ他ノ努力ニ依ツテ、私ハ滿洲ノ米ノ増産ト云フコトハ計畫サレルト思フノデアリマス、隨テ滿洲國ノ方針ト致シマシテ、米作ノ積極的ナル獎勵ヲヤル意思ガアルカドウカ、其ノ狀況等ニ付テ御伺致シタイト思フノデアリマス

○竹内政府委員 洵ニ御尤モナ御質問ト存ジマス、御質問ノ如ク、只今現在滿洲國ハ水田開發ニ付テ許可制ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ一昨年滿洲ノ米穀政策ト云フモノヲ立テマシテ、滿洲糶穀管理辦法ト云フ法律ヲ出シテ、米穀ノ收買配給ニ當

ル爲ニ、糧食會社ト云フモノヲ作ツタ次第
デアリマスガ、其ノ當時ハ未ダ今日ノ如ク
日本内外地ヲ通ジテ、米穀ノ窮乏シテ情勢
ニハナツテ居リマセヌ、滿洲國トシテモ大
體其ノ當時朝鮮、或ハ日本内地カラ年々三
四十萬石ノ米穀ヲ輸入シテ居ツタ思ヒマ
スガ、一ツ其ノ輸入ヲ無クシテ、滿洲トシ
テ米ノ自給自足ニ達シタイ、之ヲ進シテ内
地ニ供給スルコト云フコトハ、勿論考ヘテモ
居リマセヌシ、又内地モ其ノ當時ノ情勢ニ
於テハ、未ダソコマデ考ヘルコトハ慎重ナ
考慮ヲ要スル問題ト考ヘテ居ツタ次第デ
アラウト思ヒマス、又當時ノサウ云フ状態
デ米作ノ獎勵ハスルガ、非常ナ積極ノ力
度ヲ以テ臨ンデハ居ラナカッタノデアリマ
ス、同時ニ又米價ヲ出來ルダケ合理的ノ所
ニ安定セセタイ、餘リ高イ生産費ヲ要スル
米作ヲヤラセルコトハ適當デナイト、斯ウ
云フ考モアリマシタノデ、水田開發ノ許可
制ト云フコトニシテ次第デゴザイマス、併
シナガラ其ノ後ニ於キマシテ、此ノ米穀ノ
情勢ハ段々窮乏ニナリ、米價ハ次第ニ騰貴ス
ル趨勢ニナツテ居リマスガ、之ノ刺戟モア
リマシテ、米ノ生産ト云フモノハ昭和十二
年、十四年ト年々非常ニ増加シテ參ツテ
居リマス、昨年ノ收穫高ハ第三次收穫豫想
デアリマスガ、滿洲國ハ越數現ハシテ居
リマスガ、水稻約七十萬噸、陸稻十萬噸、
是ハ概ノ總數デアリマスカラ、之ヲ玄米ニ
換算致シマスト約四百萬石近イモノデアリ
マス、其ノ前年ハ約三百五十萬石、其
ノ前々年ハ約三百萬石ト云フ風ニ、年々
三四十萬石ノ増産トナツテ居ルモノト計算
サレルデアリマス、是ハ水稻作ト云フモノ
ノガ相當有利ナ作物デアルト云フコトヲ裏

書スルモノデアリ、同時ニ又天候ノ工合等
モアツタノデスガ、年々相當ノ勢デ生産ハ
増加シテ居リマス、一方日本カラノ滿洲ニ
對スル移住民モ、年々十萬モ増シテ居リ、
軍其ノ他ノ消費米ガ相當ニアルニ拘ラズ、
日本カラノ輸出額ト云フモノハ、サウ種エ
テ居ラス、大體從來ノ額デ足りテ居ルト云
フコトハ、滿洲國ノ米ノ増産ト云フコトガ
相當行ツテ居ルコトト考ヘル次第デアリマ
スガ、本年ノ日本朝鮮ヲ通ジテノ米作、今
後ノ需給ト云フコトニ付テ鑑ミマシテ、滿
洲國ニ於キマシテモ、今年時付ヲ致シマス
米ニ付キマシテハ、極力増産ヲ圖ルト云フ
方策ヲ執ツテ居ルノデアリマス、今ノ許可
制ノ運用ナドニ當リマシテハ、米穀事情ハ
直チニ反映スルコトト思ハレマス、唯相當
長期ノ計畫トシテハ、一時ノ事情デ非常ニ
無謀ナ計畫ノ水田造成ト云フコトヲヤラセ
ルト云フコトハ、又危險ナ點モアリマスノ
デ、米穀事情、米價ノ狀況其ノ位置ノ適否、
色々考ヘマシテ、適當ナル許可制度ノ運用
ヲヤツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○須永委員 私が先程伺ヒマシタ質問ノ
内、假定ニ立ツテノ質問デアリマスガ、山
本通商局長カラ、米ノ大幅ノ値上ガアツタ
時ニハ、是ハ外交上ノ折衝デ何トカサウ云
フコトノナイヤウニ努力シタイ、謂ハバ必
ズサウ云フコトハ有り得ナイト云フコトデ
ナクテ、寧ろ大幅ノ値上ト云フモノガ有り
得ル場合ガ、想像サレルト云フヤウナ御答
辯ガアツタノデアリマス、若シ外米ノ價格
ガ騰貴スルトカ、若クハ爲替ノ關係等ニ於
キマシテ、内地ノ米ト比較ニナラナイ米價
ヲ生ジマシタ時ニハ、日本ノ米穀政策ト致
シマシテ、其ノ比較ニナラナカッタ場合ニ
ハ、外米ヲ補償シテモ安ク配給シテ、比較
ノ取レルヤウニ公平ナ方法ヲ執ル御意思デ
アルカ、或ハ内地米ノ引上ヲシテ比較ノ取
レルヤウニスル御方針デアルカ、先ヅ一般
カラ申シマスト是ハ私共ガ信ジナイト同ジ
ヤウニ、政府ノ増産計畫或ハ需給推算ト云
フヤウナモノニ對シマシテハ、是非非常ニ
敏感ナ商人、或ハ米ヲ持ツテ居ルヤウナ者
モ、之ヲ信ジナイノデアリマス、當然七八
月ニナレバ米ノ逼迫ヲ來スデアラウ、其ノ
時ニ外米買入レト云フヤウナコトガアリマ
シテモ、サウ安ク手ニ入ラナクテ、政府
ハ結局内地米ヲ引上ゲルヨリ仕方ガナカラ
ウト云フヤウナ考ヲ以テ待ツテ居ルモノア
ルノデアリマス、ソコデ一ツドツチニスル
カ明確ニ御聽キシタイト思フノデアリマス
○横山政府委員 只今輸入シタ外米ヲ國內
販賣スル場合ニハ、ドウ云フ値段ニ依ルカ
ト云フコトニ關シテ御尋ガアツタノデアリ
マスガ、此ノ點ニ付キマシテハ只今ノ御話
ニモアリマス如ク、内地米ト比較ノ取レル値
段ヲ以テヤリタイト云フ方針ヲ持ツテ居ル
譯デアリマス、尙ホ其ノ場合ニ於テ、内地
米ト輸入外米トノ値段ノ比較ガ取レルヤウ
ニ、内地米ノ方ヲ引上ゲテハ何ニモナラヌ
デハナイカト云フ御話デアリマスガ、此ノ
内地米ノ値段ノ引上ト云フヤウナコトニ對
シマシテハ、先般農林大臣ヨリ屢、言明セ
ラレテ居ル通りデアリマスカラ、御話ノ點
ハ十分御諒解ヲ得ラレルコトト存ジテ居リ
マス

○須永委員 殖産局長並ニ對滿事務局次長
ニ對スル質問ニ對シテ御答ニ付キマシテ
ハ、大體了解ヲ得ラレタノデアリマスガ、
唯滿洲國ノ稻作獎勵ノ方法ニ付テ、一時ニ
其ノ必要ニ驅ラレテ積極ノ増産獎勵ヲヤ
ルコトニ付テハ、其ノ弊害モ又考ヘナケレ
バナラス、斯ウ云フヤウナ御話ニ承ツタノ
デアリマスガ、併シ日本ノ今日ノ事情ト云
フモノハ、相當長期ニ互ツテ其ノ狀態ガ續
クト、斯ウ云フ考ヲ持タナケレバナラナイ
ト云フコトハ、言フト言ハナイト問ハズ
吾々ノ決心デアルト思フノデアリマス、隨
テ今日ノ如ク外米ヲ入レナケレバナラス、
是ハ昨年度ノ米作ガ、不幸ニシテ天候ノ爲
ニ一時足リナカツタト云フコトト考デアリ
マスナラバ、又ソコデ考ヘナケレバナラナ
イノデアリマスガ、朝鮮米ニ於キマシテ、
成程非常ニ不作ヲ來シマシタガ、年々是ガ
續クトハ考ヘラレナイノデアリマスガ、内
地ノ方面ニ於キマシテ非常ニ無理ナ増産計
畫デアツタト思フノデアリマスガ、統計ニ
現ハレタ數字カラ申シマス、其ノ非常ニ
無理ダト思ハレタ増産計畫ヲ、更ニ突破シ
タ實收統計ガ現ハレテ居ルノデアリマス、
此ノ狀態ニ於キマシテモ、今日ノ米穀需給
ハ非常ニ危ブマレ、將來ニ於キマシテモ、
私ハ日本ノ人口増加ノ趨勢カラ申シマシテ
モ、毎年々々七八十萬ノ人口ガ増加スル、
斯ウ云フ傾向カラ見マスナラバ、決シテ米
ガ豐富デ困ルト云フ時代ハ來ナイト思フノ
デアリマス、殊ニ本年度乃至來年度ニ於ケ
ル、米ノ需給カラ申シマスナラバ、其ノ持
越米ノ豫想高ニ於キマシテモ、是ハ朝鮮米
ノ不足程度ノ所謂不足ハ、既ニ生ジテ居ル
ト思フノデアリマス、サウシテ見マスナラ
バ、今年、明年、近イ中ニハ決シテ米ハ豐
富デ餘ルト云フ見透シハ付カナイト思フノ
デアリマシテ、私ノ氣持カラ申上ゲマスナ

ラバ、滿洲國ニ於テハ、日滿支一體ノ經濟
ヲ是カラ繰返シテ行ク、此ノ見解ニ立ツテ
見マシタナラバ、今日ノ場合ニ於テ積極的
ニ米ノ増産ヲ獎勵スベキデアル様ニ考ヘ
ルノデアリマスガ、唯滿洲國ニ於キマシテ
ハ、内地ノ方ニ於キマシテ是ダケノ米不足
ヲ感ジテ居ル時ニ、一概ニ増産ヲスルコト
ハ、將來ニ弊害ヲ貽ス場合モアリ得ルカラ
ト云フ程度ノ警戒ヲシツツヤル増産計畫、
獎勵方針デハ、非常ニ私共ハ満足出來ナイ
ト思フノデアリマスガ、之ニ付テ、私ノ聽
達ヒデアリマスナラバ、モウ少シ説明ヲ加
ヘテ載キタイト思フノデアリマス

ソレカラ通商局長ノ御答ノ中ニ、「タイ
國、佛印ニ付キマシテハ非常ニ不安ガアル、
是ハ私共モ何百萬石ト云フ米ヲ買入レルト
云フコトニナツテ參リマスレバ、其ノ輸送
ノ點ニ於テ、或ハ市場價格ヲソレ自體ガ暴
騰サセル原因トナル點ニ於テ、或ハ國際的
ニ考ヘテ見マスナラバ、我國ガソレダケ米
ノ必要ヲ生ジテ居ルト云フコトニ對スル國
際的立場等カラ見テ、非常ニ不安ガアルト
思フノデアリマス、私ノ質問ガ「タイ」國ヤ、
或ハ佛領印度支那、此ノ範圍ニ止メテ質問
ノ如クニ見エタカモ知レナイト思フノデア
リマスガ、若シ一步擴ゲテ、外米ノ入ル範
圍内ニ於キマシテ、「ラングン」米デアアラウ
ト、東京米デアアラウト、一切入レテノ考ヘ
方カラ申シマシテ、不安ガ絕對ニナイ、或
ハ價格ニ付テモ決シテサウ高イモノヲ入レ
ルヤウナコトハ起ラナイ、斯ウ云フ御見透
シガアルノデアリマスカドウカ、今マデノ
御答辯デハ、何カ不安ガアルガ善處シタイ
斯ウ云フヤウニ聞エテ居ルノデアリマスガ、
餘リ執拗イ質問ノヤウデアリマスガ一ツ見

透シテ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス
○竹内政府委員 滿洲ノ問題ニ付テ只今御
質問ノ點ハ、實ハ私共モ全ク御同感ノ次第
デアリマシテ、先程申上ゲタコトハ、若シ
將來ノコトガアルカラ、此ノ際輕キニト云
フ風ニ聞エマシタナラバ、ソレハ私ノ考デ
ハゴザイマセヌ、滿洲國トシテハ、實ハ本
年此ノ日本ノ苦シイ中カラ米ヲ分ケテ貰フ
コトニ付テ非常ナ苦慮ヲ嘗メテ居リマスノ
デ、差當リ本年ニ於テハ有ユル方法ヲ講ジ
テ増産ヲヤツテ、サウシテ日本カラノ供給
米ヲ一石デモ減ラシタイト云フ念願デ折角
懸命ニヤツテ居リマス、御承知ノ通り現在
滿洲ニ於テハ殆ド肥料ナシデヤツテ居リマ
スガ、之ヲ例ヘバ、南滿地方ニ多少肥料ヲ
ヤレバ反當リノ收量ガ非常ニ増加スルト云
フコトモ考ヘラレテ居リマスノデ、今年ノ
應急策トシテハ、水田造成モヤルノデア
ルガ、現在ノ耕作反別ニ對スル反當收量ノ増
加ト云フコトヲ先ヅ考ヘ、ソレカラ水田
造成ノ問題デアリマスガ、是ハ一面日本人
ノ開拓民ニ關スル政策トモ關聯ヲ持ツテ居
リマス、御承知ノ如ク滿洲ニ於ケル先程
申上ゲタ米ノ生産ノ八割マデハ朝鮮人及ビ
日本人ノ耕作デアリマシテ、滿人ノ方ハ
陸稻ハ栽培シテ居リマスガ、水田ノ方ハ其
ノ本質上、耕作ヲ得意トシナイ關係モアリ
マスノデ、今後日本人ガ大規模ノ開拓政
策ニ基キマシテ、滿洲ニ進出シテ行ク時ニ
ハ、先ヅ自分ノ食糧ノ爲ニモ水田ト云フコ
トハ絕對必要デアリ、同時ニ又水田經營ト
各種ノ作物トノ關係ヲ考ヘ、又日本人ノ水
田經營ニ關スル適應性ト云フヤウナ所カラ
考ヘテモ、日本人開拓民ノ爲ニ、此ノ水田
ト云フコトハ是非獎勵シテ行カナケレバナ

ラス、斯ウ云フ風ノ關係モアリマス、ソレ
カラ朝鮮人モ勿論水田耕作ヲ得意トスルノ
デアリマスガ、サウ云フヤウナ觀點モアリ
マスノデ、先程申上ゲタ許可制ハ其ノ儘ニ
シテ置ク、但シ其ノ運用ニ當ツテハ御話
ノ如ク、最近ノ狀況、又長イ目デ見マシテ
モ、滿洲ノ當局トシテハ將來滿洲ニ於ケル
米作ヲ以テ、日本ニ對スル供給ヲモ考ヘル
ダケノ抱負ハ持ツテ居ル次第デアリマシテ、
此ノ許可制ノ適當ナル運用ニ依ツテ、差當
リノ應急策トシテハ、本年ノ米作ヲ能フ限
リ増産ヲ致シマシテ、又將來百年ノ大計ト
シテモ、今後米作ト云フモノニ十分ナル重
點ヲ置イテ、是ガ獎勵ヲヤツテ行カウ、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山本政府委員 私が相當ノ不安ガアルト
申シマシタノハ、今日ノ複雜ナル國際情勢
デ、是等ノ諸國ニ對シテ、現狀ノ健デ何等
ノ特別ノ措置ヲ講ジナイデ行クトスレバ、
ハツキリ確保出來ルト云フコトハ難カシイ
ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、私共
ハ勿論買付先ニ付キマシテハ、「タイ」國及ビ
佛領印度支那ノ外、「ビルマ」等モ考慮シマ
シテ、是等ノ米ヲ輸出シ得ル國ニ對シマシ
テハ、有ユル措置ヲ講ジマシテ、サウシテ
具體的ニハ只今申上ゲルコトヲ差控ヘマス
ルガ、將來不安ノナイヤウナ方法ヲ講ジタ
イト思ヒマシテ現在努力中デゴザイマスカ
ラ、其ノ措置ガ兩國間ニ十分講ジラレテ、
サウシテ或ル種ノ諒解デモ出來ルト云フコ
トニナリマスレバ、決シテ將來米穀ノ問題
ニ付テ不安ハ起ラナイ、斯ウ云フ風ニ存ジ
テ居ルノデアリマス

十方石ト云フモノハ、朝鮮ノ食糧政策ノ上
カラ申シマスルト、之ヲ補填スル難穀ノ移
入ヲ絕對必要トスル、斯ウ云フモノニ考ヘテ
居リマシテ、只今ノ所其ノ難穀ノ移入ノ目
途ト申シマスルカ、大體ノ計畫ト云フモノ
ガ、完全ニマダ事務當局ノ間テ離リマセズ、
自然先程申シマシタ暫定的ニ二十方石ノ移
出ヲシテ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス
ノデ、併セテ御承願ヒタイト思ヒマス、
ソレカラ尙ホ幸ニ大麥、裸麥等ノ類ハ、十
四年ノ生産見込ガ兩方入レマシテ約百五十
万石バカリ、朝鮮、プロバ、デモ増石シテ
居リマス、併シ是等ノ點ヲ考ヘマシテモ、
尙ホ百五十万石近クハ食糧ガ不足スルノデ
ハナカラウカト考ヘテ居リマス其ノ不足數
量ト、若シ移出スレバ其ノ數量、之ヲ兩方
トモ何ガシカ埋メナケレバイケナイ、斯ウ
云フコトニナルノデアリマス、其ノ點ハ御
承願ヒタイト思ヒマス

○須永委員 殖産局長、及ビ通商局長及ビ
對滿事務局長等ニ對スル質問ハ、大體是デ
終リタイト思ヒマス、農林省當局ニ伺ヒタ
イコトモ澤山アルノデアリマスガ、大臣ハ
御居デニナリマセヌシ、農務局長モ御居デ
ニナツテ居リマセヌカラ、大臣ニ對スル質
問或ハ農務局長ニ對シテ質問シタイコトハ
保留シテ、後デ機會ヲ得テ致シタイト思ヒ
マス、唯茲ニ二三岡田サンカラデモ御答ヲ
戴キタイト思ヒマスコトハ、米ノ配給機構
ヲ今日ノ儘ニシテ置イテ、此ノ逼迫シタ米
穀事情ノ下ニ置イテ一體差支ガナイカドウ
カ、斯ウ云フ問題ニ付テ御聽キシタイノデ
アリマス、最近農村ノ事情カラ見マスルト、
昨秋來米ノ配給ガ圓滑ヲ缺イタト云フヤウ
ナ色々ナ問題ガ起ツテ居リマス、是ハ既ニ同

僚諸君カラ質問サレタ色々ナ問題ガアルノ
デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、私
ハ重複致シマスルカラ敢テ御伺シナイノデ
アリマスガ、私ガ御伺シタイコトハ二點デ
アリマス

第一ハ都市ニ於ケル資本家——ト言フヨ
リハ金ノ出來タ人ト言フタ方ガ適當カト思
ヒマスガ、斯ウ云フヤウナ人達ガ食糧不安
ヲ感ゼシメラレタ爲ニ、最近食糧ダケハ是
非安定ガ得タイ、飯米ダケ何トカ安定ガ得
タイト云フノデ、農村ニヤツテ參リマシテ
耕地ヲ買フ、サウシテ自分ノ食ベル小作米
ヲ二十依ナリ三十依ナリ是非確保シタイト
云フノデ、都市ノ金持ガ大分近頃田舎ノ土
地ヲ買フヤウナ傾向ガ出來テ參ツタノデア
リマス、農村ニ於ケル金農ノ良クナツタ關
係ト相俟チマシテ、耕地ノ價格ガ非常ニ騰
貴シテ參ツテ居リマス、勿論耕地ノ價格ガ
騰貴シテ參ツタト云フコトニハ、色々ナ原
因ガアルト思ヒマスガ、唯其ノ中、都市ノ
人々ガ自分ノ食ヒ米ダケ小作米ヲ確保シタ
イト云フ考ヘ方カラ、土地ヲ持ツト云フ傾
向ハ、農村ニ成ベク不在地主ノ出來ナイヤ
ウニ、サウシテ成ベク農民自體ニ土地ガ持
テルヤウニト云フ方針ト非常ニ變ツテ來ル
ノデアリマス、斯ウ云フ傾向ガ最近大分起
ツテ參リマシタコトニ對シテ、農林省トシ
テドシテ御考デ之ニ對處スル御方針デアリ
マスルカ、此ノ點一ツ政務次官カラ御方針
ヲ示シテ戴キタイト思フノデアリマス
ソレカラモウ一ツハ食糧米ヲ確保スル爲
ニ、最近斯ウ云フ傾向ガ非常ニ多イノデア
リマス、農民ノ方カラ言ヒマス青田賣ト
云フコトニナルノデアリマスガ、何カ金ヲ
出シテ將來ノ米ヲ約束シテ置ク、是ハ大阪

附近デハ米屋ガ仲ニ立チマシテ、サウシテ
十五年秋ノ米ヲ何トカ確保シテ置ク爲ニ、
青田賣ヲ買フテ置イタラ宜イチヤナイカ、斯
ウ云フノデ、農民ニ對シテ肥料ノ資金等ニ
金ノ必要ナ時期ヲ見込シテ、即チ舊來ト違
フテ、百姓ガ困ツテ青田賣ルト云フ青田
賣デハナイノデアリマシテ、金ノアル者ガ
詰リ秋ノ米ヲ確保スベク青田賣ヲ買ツテ置
ク、是ハ價格ノ問題、或ハ價格統制ノ問題
等モ相當ニ絡ツテ來ルト思ヒマスガ、兎
ニ角サウ云フ事ガ、私共ノ知ツテ居ル範
圍ニ於キマシテモ農村ニ於テハ相當行ハレ
テ居ルノデアリマス、是ハ多クケレバ多イ程
斯ウ云フ傾向ハ濃厚ニナツテ參リマシテ、
或ハ極端ニ言ヘバ米ハ統制價格デ以テ賣買
サレルガ、青田賣金ヲ貸シテ米ヲ縛ツテ置
クト云フコトハ良イ方法デアルト云フヤウ
ナコトデ、相當行ハレテ來ルノデアリナイカ
ト私共考ヘルノデアリマス、是ハ既ニ大阪
方面ニ於テハ、米屋ガ仲介者ニナツテ行ハ
レテ居ルノデアリマスガ、關東ニ於キマシ
テモ、私ノ地方ニ於テハ、ソレノソレヲ
見受ケルヤウナ傾向ニナツテ參ツテ居ルノ
デアリマス、一體是等ニ對シテドウシタラ
デアリマス、一體是等ニ對シテドウシタラ
宜イカ、私ハ是ハ將來米ノ配給機構ノ問題
ガ、之ニ關聯シテ來ルト思フノデアリマス
ガ、價格ヲ統制シテ居ルダケデアツテハ、
結局斯ウ云フヤウナコトガ當然——尙ホ小
作米デ食糧ヲ確保シヨウ、尙ホ金ヲ貸シテ
青田ノ内ニ食糧ヲ確保シヨウ、斯ウ云フヤ
ウナ問題ガ段々起リツツアル傾向ハ、是ハ
ヤハリ配給機構ガ極クハツキリシテ居ラナ
イデ、自分ガ米ヲ手ニ入レル方法ニ付テ
不安ガアルコトガ一ツデアリマスルシ、又
自分ノ最モ優レタル考ヘ方ト申シマセウ

如何ニモソレモ注意スベキ問題デアルト存
ジマス、併シ只今差當ツテ考ヘテ居リマス
配給機構ニ付キマシテハ、ソコマデ中々立
入ツテ、今日ノ際新ナ計畫ヲ定メルト云
フコトモ容易デナイト云フコトヲ考ヘテ居
リマスシ、必スシモソコニ及ビ得ルヤ否ヤ、
期待シ難イ情勢ニアルコトダケヲ申上ゲテ
置キタイト思フノデアリマス

カ、米ヲ手ニ入レテ安定スル方法ヲ色々ニ
考ヘテ見テ、話ニナラナイヤウナ方法デ食
ヒ米ヲ斯ウシテ確保シテ居ルト云フヤウナ
コトガ、都會ニ住ツテ居ル人々ノ間ニ於テ
ハ、殆ド今日話題ニナツテ居リマシテ、何
等カ誇リノヤウニシテ話サレテ居ルノデア
リマスガ、配給機構ト云フモノハモウ少シ
改革サレテ、商人ノ配給ニ任スト云フコト
ニシテ居リマス、一面ニ於テ價格統制ト
カ一元集荷ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リ
マシテモ、裏面カラハ斯ウ云フ問題ガ段々
喰入ツテ來ルト思フ、是等ニ對スル方策ト
私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、配給機構ハヤ
ハリ消費者ヲ歸屬セシムル所ノ基礎ト上
ニ立ツタ一ツノ機構ヲ作リマセスト、如何
ニ集荷ガ一元化サレテ居リマシテモ、持ツ
テ行ツテ賣ル場合ニ商人ガ自由ニ賣ツテ宜
イ、サウシテ又ナイト云フコトノ爲ニハ賣
ラヌデモ宜イ、斯ウ云ツタ自由ナ形態デ、
誰ガ商人ニ歸屬スル所ノ消費者デアルト云
フコトモ決メラレテ居ラナイ今日ノ機構ヲ、
其ノ儘ニ置キマシテハ、是ガモツト逼迫シテ
來テ、或ハ切符制ヲ行ハナケレバナラヌヤウ
ナ情勢等ガ生ジテ來ルト云フヤウナ場合ヲ
豫想致シマスルト、此ノ儘ノ機構デハ到底
此ノ逼迫シタ状態ニ對處スルコトハ出來ナ
イノデアリナイカ、之ヲ放任シテ置キマス、
其ノ先廻リヲシテ、色々ナ弊害ヲ起スベキ問
題ガ起ツテ來ルノデアリナイカ、斯様ニ考ヘ
ルノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺
ヒタイノデアリマス

○岡田政府委員 米ノ配給機構ノ問題ニ關
シマシテハ、種々御質問ニ際シマシテ、大
臣カラ御答ノ次第モアツタノデアリマス、

此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ極メテ目下ノ
重大ナル案件デアルト心得テ居リマシテ、
銳意是ガ具體策ノ實現ヲ、今日論見ツツア
ルヤウナ次第デアリマス、今日ノ米穀配給
ノ實情カラ致シマシテ、ドウシテモ是ハ舊來
ノ状態ニ放任シテ置ク譯ニハ參リマセヌ
デ、何カ新シイ機構ト申シマスルカ、少ク
モ全面的ノ集荷ニ對スル組織網ノヤウナモ
ノヲ定メ、且又配給上ニ對シマシテモ、能
クバクンバ適當ナル新機構ヲ考ヘナケレバ
ナラヌノチヤナイカ、斯様ナ目論見ヲ以テ
マシテ正ニ考究中デアリマスルコトハ、或
ル機會ニ於テ大臣カラモ御話ノアツタ次第
デアリマス、併セテ其ノ配給機構ニ關シマ
シテ、二ツノ點カラ致シマシテ、斯ウ云フ
點ハドウカト云フ御話ガ述ベラレタノデア
リマス、何レモ洵ニ注目スベキ現象デアリ、
或ハ傾向デアルト存ジマス、又其ノ或レモ
ノハ實ハ初テ何フコトガ出來ルヤウナコト
デアリマス、即チ青田賣ト云フヤウナ傾向
ガ段々現ハレテ居ル、斯ウ云フコトニ付テ
ハ、私ハ實ハ驚聞ニシテ今マデ承知致シマ
セヌデシタガ、併シ如何ニモサウ云フコト
ガアリサウナコトデアルト云フコトハ想像
ニ難クナイノデアリマス、其ノ指摘サレマ
シタ二ツノ中デ、第一點ハ耕地ノ騰貴ノ問
題デアツタラウト思ヒマス、洵ニ然リデア
リマシテ、耕地ガ色々ナ意味ニ於テ漸次買
編ラレテ參リマシテ、即チ意外ノ騰貴ヲ見
セツツアルト云フコトハ御話ノ通りデアリ
マス、是ハ自己飯米獲得ト云フヤウナ見地
カラ致シマシテ、不在地主ノ傾向ヲ發生ス
ル、即チ耕作セザル所ノ都會ノ人々ガ、小
作米ニ依ツテ飯米ヲ得ヨウトスルコトカラ
土地ヲ獲得スル、是ガ隨テ土地ノ價格ヲ一

層高クセシムル傾向ガアルト云フコトニ付
キマシテハ、私共モ之ヲ認メテ居リマシテ、
テ、此ノ傾向ニ對シマシテハ最モ注目スベ
キ現象デアルト云フ考ヲ持ツテ居リマス、
御承知ノ如ク今日ハ所謂九・一八ノ物價、ス
トラノ令ニ際シマシテ、諸般ノ貨金ヲ停止
シ、或ハ地代ノ如キモ之ニ準ズルヤウナ處
置ヲ取ルコトニナツテ居リマスニモ拘ラズ、
土地ノ價格ニ付キマシテハ、必スシモサ
ウハ參リ兼ねテ居ルノデアリマスルガ、是
ハ確カニ道理カラ申シマシテモ、ドチカラ
ト申セバ捨テ置クベキコトデナイヤウニモ
思ヒマスシ、隨テドウシテモ此ノ問題ハ相
當取上ゲラレナケレバナラヌ問題デアルト
云フコトハ、日頃痛感シテ居ツタ次第デア
リマス、私マダ日方淺イ爲ニ、省内ニ於ケ
ル之ニ對スル具體的ノ論議若クハ方針等ニ
付テ深ク知ルノ機會ヲ得ナイノデアリマス
ガ、大體ニ於テハ之ニ付テ重大ナ注目ヲ拂
ツテ居ル次第デアリマスガ、未ダ是ト云ツ
テ必スシモ定ツタ方針ガ立ツテ居ルハ申
サレヌ状態デアルト考ヘテ居リマス、併シ
サウ云フ譯デアリマスカラ、十分是ハ注意
致シテ、情勢ノ如何ニ依リマシテハ、ドウ
シテモ一ツノ方針ヲ考ヘル必要ガアルデア
ラウト云フコトヲ考慮シツツアル次第デア
リマス

○須永委員 只今御答辯ノ中ニアリマシタ
配給機構ノ問題ニ付テハ、私ノ質問モ不徹
底デアリマシタガ、只今政務次官ノ御答下
サイマシタ趣旨デアリマス、併シ私ハ農林
省ノ買穀政策ト申シマスガ、兎ニ角場合ニ
依ツテハ米ノ強制買上マデ用意シテ居ル、
是ハ必要ニ應ジテ已ムヲ得ナイト思フノデ
アリマスガ、一體米ノ強制買上マデ地方長
官ガ之ヲヤリ出シテ來タ場合ニ、配給機構
ハ現在ノ儘デ、強制買上ヲシタ米ヲ又配給
シテ賣ラセル、斯ウ云フコトニナルノデア
リマスガ、ソレトモ何カサウ云フ強制買上
ヲシナケレバナラヌ事態ガ立ツツ參リマ
シタ場合ニハ、別ノ配給方法ヲ考ヘラレ
ノデアリマスガ、其ノ點何ツテ置キタイ
○岡田政府委員 強制買上ニ付テ御話デ
アリマスガ、此ノ點ハ大臣カラモ或ル機
會ニ御話ガアツタ答デアリマスルガ、必ズ
シモ左様ナ手段ヲ目下ノ情勢ニ於キマシテ
用ヒヨウト考ヘテ居ル譯デアリマシマス、
併シ是ガ今日ノ事情デアリマスカラ、如何
ナル異變ヲ生スルカ測リ知レナイト云フヤ
ウナ極端ナ場合ヲ想像致シマスナラバ、其
ノ際ニハ必要ナ手段ヲ講スルノ外ハアリマ
セヌカラ、所謂米穀配給統制法ノ第四條ニ
基キマシテ、適當ナル強制買上ノ手段ヲ用
ヒルコトハ當然デアリマス、併シ現下ノ情

勢ニ於キマシテハ、必スシモ強制買上ノヤ
ウナ手段ヲ用ヒル必要モナカラウ、併シ或
ハ又之ヲ行フコトハ、極メテ逆效果ト申シマ
セウカ、幾多ノソコニ考ヘネバナラナイ事
情モ想像セラレルノデアリマスカラ、所謂
賢明ナ策デアルトモ考ヘテ居ラナイノデア
リマス、隨テ目下ノ配給機構ニ付キマシテ
モ、強制買上ノ標準トシテ、ソレノ方策
ヲ立テルト云フ所マデハ考ヘテ居リマセヌ
ト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○須永委員 アト一二御伺シタイ、耕地ノ
保護ト云フコトガ今非常ニ必要ナコトト思
ヒマスガ、是ハ勿論農地ノ國家管理ト云フ
ヤウナ所マデ發展シテ來ルト思フノデアリ
マス、之ニ付テハ又別ナ機會ニ質問致シタ
イト思ヒマスガ、此處デ極ク簡單ニ聽イテ
置キタイコトハ、耕地ノ保護ニ關聯致シテ
山林ノ問題デアリマス、近頃私ハ農村ニ居
リマシテ農民ノ不平ヲ聽キマス、一番簡
單ナ不平ハ、炭ノ價格ハ統制サレテ居ル、
或ハ伐出シタ薪ノ價格ハ統制サレテ居ル、
併シナガラ山元ノ價格ニ付テハ何等統制ヲ
シテ居ラヌト云フコトデス、去年五百圓デ
賣ラウト言ツタ山ガ、今年千圓デ賣ラレテ
居ル、サウ云フ山ガ幾ラモアル、併シ薪ノ
方ハ伐出シタモノニ付テハ去年二十貫デア
ツタモノガ、今年八十貫デアリカス斯ウ
言ハレテ居ル爲ニ、私共ノ地方ニ於テハ從
來農閑期ニ山カラ伐出シテ燃料トシテ賣ラ
レテ居ツタノデアリマスガ、今年ハ農閑期
ノ一月中殆ド薪ノ伐出シガナカツタ、何故
ナカツタカト申シマス、薪ノ賣上ニ付テ
ハ警察ガ干渉致シマシテ、二十貫以上高ク
賣ツテハナラナイト云ツテ、非常ニ強ク取
締ツテ居ル、所ガ山持チノ所ニ行ツテ山ヲ

實ツテ與レト言ヘバ、山持チハ決シテ去年ト同ジ値テ賣ツテ與レナイ、然レニ之ヲ伐ル勞力、運搬スル勞力ハ、昨年ニ比ベレバ、山ニ伐リニ行ク者ハ地下足袋ガ中キナイ、買ヘバ一足四圓、五圓相場ヲ取ラレル、之ヲ運搬スル「リヤカー」ハ「タイヤ」一本買ツテモ二十圓、三十圓取ラレル、斯ウ云フコトデ高イコトヲ主張シテ來ル、炭燒ノ方ハ一昨年ノ十二月二十日ノ價格ヲ抑ヘラレテ居ル、此ノ價格ヲ出セト言ハレルト、山元ノ方カラ去年ヨリモ安ク買ハナケレバ引合ハナイ、所ガ山元ノ方ハ去年ノ倍位ヲ請求シテ居ル、斯ウ云フ關係山ノ伐出シガチツトモ行ハレテ居ナイ、ソコデ最早キ農繁期ヲ前ニシテ色々準備ヲシナケレバナラズガ、山ヲ持チナイ小農ノ所ニハ焚木ハ殆ド手ニ入ラナイ、隨テ警察ガ折角一昨年ノ十二月二十日ノ價格ヲ指定シテ、二十貫ヨリ高ク賣ツテハナラナイト云フコトヲ言ツテ下サツテ居ルニモ拘ラズ、必要ナ物ヲ得ルコトガ出來ナイ爲ニ、以前ヨリ高イモノヲ、コソツリ行ツテ今ナクテ困ルカラト云ツテ、一把ダケ買ツテ來ルヤウナコトヲヤツテ居ル、隨テ農民ガ米ノ公定價格何カヲ守ルカ守ラナイカト云フヤウナ場合ニナツテ參リマス、一番初メニ一體山持チヲドウシテ構ハナイノダラウト云フコトガ、何時デモ出テ來ルノデアリマス、斯ウ云フ弊害ガ相當アリマシテ、今日ニ於テハ勞力ガ貴重ダト言ハレテ居ルニ拘ラズ、農閑期ヲ唯過シテシマツテ、最早キ春ノ作業ニ掛ラナケレバナラナイ時ニナツテモ、マダ山ガヤレナイ、斯ウ云フコトハ勞力ノ不足ナ今日、非常ニ考ヘルベキコトダト思フノデアリマス、一體山林ノ管理トカ、價格ノ統制トカ云フ

ヤウナ問題ニナツテ來ルト、事變ガ始ツテ以來、山林ノ所有者ガ其ノ價格ノ騰貴ノ爲ニ三倍、三倍ト云フ利益ヲ得テ居ルカモ知レマセズ、是ハ米ノ生産等ト違ヒマシテ、肥料ヲ與レル譯デハナシ、或ハ勞力ヲ掛ケテ管理スル譯デハナシ、唯所有シテ居レバ自然ニ發育シテ來ル雜木林ノ如キハ、相當ニ價格ノ統制、管理ヲヤツテモ差支ナイト思フノデアリマスガ、之ヲヤツテ居ラナイト云フコトノ爲ニ、例ヘバ炭ノ公定價格ノ問題ニ付キマシテモ、或ハ其ノ他ノ問題ニ於テキマシテモ、農村ノ物ノ考方ノ土蓋ニ於テ一番非難サレテ居ルノデアリマス、此ノ山林管理ノコトニ付キマシテ何カ御考ガアルカドウカ、或ハ今日マデ是程或ル地方ニ於テハ大キキ弊害ガアルニ拘ラズ、山林立木ノ伐採ニ付テハ何等管理ノ手ヲ伸バサナイノハ何カ特別ナ事情ガアルカ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○岡田政府委員 薪炭ノ價格ガ公定セラレマシテ、而モ山元ノ立木代等ガ自由ニサレテ居リマスガ爲ニ、其ノ立木代ガ徒ニ高クナツテシマツテ、薪炭ノ公定價格ト相應シナイ、是甚ダ不合理デハナイカ、矛盾デハナイカ、或ハ不徹底デハナイカト云フヤウナコトカラ起ツタ御意見デアラウト思ヒマス、洵ニ御尤御話デアリマシテ、私共モ常ニ此ノ傾向、此ノ現象ニ對シマシテハ、是ハ何トカセネバナラス、極メテ注目スベキコトダト云フコトヲ感シテ居ル者デアリマス、併シ之ヲドウスルカト云フコトニナリマス、御承知ノ如ク相當困難ナ問題デアリマシテ、何レニシマシテモ、現在ノ所ニ於テキマシテハマダソコマデ及バナイ状態デアリマス、唯用材等ニ付キマシテハ、御承知ノ

如ク全國的ニ先ツテ規格ヲ定メ、是ガ檢査ノ制度ヲ施行スルコトニ相成ツタノデアリマシテ、此ノ檢査制度ヲ前提ト致シマシテ、又此ノ素材、用材等ノ價格ヲ、先ツテ自治的協定價格ヲ定メシメルト云フコトニマデ致スコトニ相成ツタノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ用材方面ニハ、多少ナリトモ御心配ニナツテ居ルヤウナ點ニ付キマシテ先ツ一步ヲ進メタノデアリマスガ、薪炭ニ對シマシテハ、マダ左様ナ類似ノ方法ガ考ヘラレヌノデアリマス、併シ唯ココニ同ジヤウニ目的ニ副ウタ施設トシテ、一寸御參考ニ申上ゲテ置キタイコトハ、薪炭林ガ洵ニ高クヤツテ困ツテ居ル、其ノ一ツハ茲ニ國有林ノ拂下價格ガ高キニ失シテ居ル、殊ニ會計法上ニ是ガ競争入札ノ形ニ於テ行ハレル結果、益以テ之ヲ擧ゲマシテ、國有林ノ薪炭材ガ非常ニ高イ、是ガ延イテ以テ一般民有林ノ薪炭材ノ價格ヲ騰貴セシムルト云フコトガ、始終非難ヲ受ケテ居ツタコトデアラウト思フノデアリマス、之ニ對シテ色々議論ガアツタコトハ固ヨリ當然デアリマス、斯様ナ事情ニ鑑ミマシテ、昨年ノ暮デアリマシタカ、今年ノ一月初メデアリマシタカ、此ノ點ニ對シマシテ當局ニ於テキマシテ方針ヲ改メマシテ、關係當局ト折衝ノ結果、國有林ノ拂下、即チ十圓以上ニ上ル拂下額ニ付テモ、隨意契約ニ依ツテ拂下ガ出來ル、必ズシモ競賣ニ附スル必出ルヤウニ相成ツタノデアリマス、隨意契約ニ附スルコトニ致シマスレバ、言フマデモナク時價ニ準據シナケレバナリマセズガ、併シ時價ト言ヘバ認定デアリマセウカラ、少トモ徒ニ競争入札ノ爲ニ過當ナル、

或ハ不當ナル價格ニ於テ拂下スルト云フコトダケハ防ギ得ルノデアリマス、寧ロ此ノ處置ニ依リマシテ努メテ安價ナル、低價ナル拂下ヲ行ヒマシテ、低價政策ノ線ニ沿フコトガ出來ルヤウニスルト同時ニ、又併セテ薪炭、木炭等ノ價格ヲ引下グルコトニ立テタシメヨウト云フヤウナ方針ヲ新ニ立テタノデアリマスカラ、之ニ依ツテ其點ニ付キマシテハ相當ノ效果ヲ得ルモノデハナイカ、即チ延イテ及ンデ一般民有林ノ立木代モ、之ニ相應スルコトガ出來ルヤウニ致シタイモノデアアルト云フ期待ヲ以テ、左様ナ方針ニ致シタ譯デアリマス、此ノ段御諒承願ヒマス

○須永委員 能ク分リマシタガ、國有林ノ非常ニ多イ地方ニ於テキマシテハ、國有林ノ拂下ガ自由契約ニ依ルト云フコトニ依ツテ緩和サレタト思フノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り炭ノ場合デアリマス、或ル程度出來ルト思ヒマスガ、薪ノ場合デアリマス、運賃ノ關係ガ地方的ニ非常ニ關係ガ變ツテ來ルノデアリマス、殊ニ山林ノ所有者ノ立場カラ申シマスナラバ、是ハ米ノヤウナモノデアリマスルナラバ、一年置ケバ置タダケ倉敷料ヲ掛リマスルシ、品質モ惡クナツテ來ル、所ガ山林ノ場合デアリマス、一年經テバ經ツダケ倉敷料モ要リマセシ、木ハ大キクナツテ結局何年持ツテ居ツテモ、決シテ差支ヘナイト云フ條件ニ置カレテ居ルモノデアリマスルカラ、結局山ヲ持ツテ居ル者ノ立場ガ非常ニ強クナツテ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對シテ何カ國家ノ手ガ延ビマセスト、地方ニ依ツテハ非常ニ迷惑ヲ蒙ツテ居ル事實アルノデア

リマスカラ、一ツ其ノ點御考慮ヲ御願スル次第デアリマス、農林大臣ニ對スル質問ハ、後デ大臣ノ御居デ時トシテ保留致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○小林委員 農務局長ガ來テ居リマスカラ、國光君

ノ外ハナイ、是ダケハ誰モ異存ガナイ、御承知ノヤウニ町村ニモ技術員ハ居リマス、居リマスケレドモ、ソレハ言フニ足ラヌ數デアル、大部分ハ市町村農會ノ技術員デアル、サウシテ會費ヲ取ル場合、一人ガ出サスト云フコトニナルト、外ノ者モ出サス、併シ是ハ免租地デアリマスカラ、一面其ノ農會費モ結局賃賃價格ニ持ツテ行クコトニナル、併シ一般ノ農會費ノ會員割ト云フ普通ノ割ハ、僅カナモノデ始メテ言フニ足ラナイ、ソレデ市町村農會ノ一番下級ナ者ガ、今ノヤウナ免租地ニ對スル會費ガ出テ來ナイ爲ニ、仕事ニ差支ヘルト云フコトニナルト是ハ大變デアリマス、サウスルト上級農會ニ對シテ農會費ヲ納メハシマセズ、郡農會モ困ルシ、延イテハ帝國農會マデ困ツテ來ル、是ハ増産計畫ノ遂行ノ上ニハ大キキ問題デア

萬圓實ヘルト云フコトヲ、豫メ相談ヲシタコトハ先ツナカラウト思ヒマス、併シ尙ホ其ノ點ハ一應調査シテ見マス、私ハ少クトモ知事トノ間ニ話ヲシタコトハゴザイマセズ、或ハ農政課アタリデ話ヲシタコトハ、多分ナカラウト思ヒマスケレドモ、ナイト斷言ハ致シ難ナマスカラ調ベテ見マス、部落團體ノ活動、或ハソレヲ指導綜合スル農會ノ活動ガナケレバ色々ナ農業政策モ行ハレナイ、隨テ農會ノ活動ハ非常ニ大事ナモノデアアルト云フ國光委員ノ御意見ニハ、全然同感デアリマス、私共モサウ云フヤウナ方針ヲ仕事ヲヤリタイト考ヘテ居リマス、ソコデ此ノ早害地ノ助成ノ問題デアリマスガ、御承知ノ通り從來政府ノ豫算ト云フモノハ、中々新シイコトヲスルノハ困難デアリマシテ、先例々々押通スノデアリマスガ、團體等ニ對シマシテ、免租地ニ對シテ財政的ノ助成ヲシタコトハナイヤウデアリマス、結果ニ於テハ左様ナコトニナリマスガ、表向ハ左様ナ災害ガ多イ場合ニ於テハ、技術員其ノ他農會ノ活動ガ大變化シイカラ、ソレニ對スル助成ヲスルノダ、斯ウ云フ意味デ助成ヲ致シマシタ、ソレデ一昨年茨城縣ノ水害ノ際ニ、初メテ農會ノ助成金ト云フモノガ取レマシタ、ソコデ十四年ノ早害ニ際シテ、今度ハ農林省ガ獨リ農會ノミナラズ、例ヘバ養蠶業組合デアアルトカ、山林會デアアルトカ、其ノ他ノ産業團體ノ活動助成マデモ實ハ要求シタノデアリマス、所ガ外ノモノハ全部前ラレマシテ、農會ダケガ總額デ三十萬圓ダケヲ認メラレマシタ、是ハ農會モヤラナイデ、郡農會ト町村農會ノ活動助成金ニ出スト云フコトニナリマシタ、ソレデ山口縣ノ配當ガ只今御話ノ三

○國光委員 農務局長ガ居デデアリマスカラ一寸御伺致シマス、午前中ニ免租地ニ對スル農會費ノ助成關係ヲ御尋致シマシタ、是ハ農林大臣ニ大變詳シク申上ゲマシタガ、農務局長ニハ度々御厄介ヲ掛ケテ居ルノデアリマスカラ、詳シイコトヲ申上ゲヌデモ能ク御諒承願ヘルト思ヒマス、先般三萬圓ノ助成ヲ——是ハ山口縣ダケデアリマスケレドモ、餘所ノ縣ハドウ云フ程度デアツタカ知リマセヌガ、山口縣ハ三萬圓餘リノ助成ヲ戴イテ、各町村モ今多分ソレノ伺ヒヲ出シテ居ルト思ヒマス、大體山口縣ノ免租地ノ關係ト云フモノハ、總額ニシマシテ十三萬圓バカリアルノデアリマス、ソレデ申上ゲルマデモナク之ニ對シテ農會費ハ、取ルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、是ハドウモ免租地デ國稅ヲ免除サレテ居ルノニ、ドウモ會費ヲ課ケル譯ニモ行キマセヌ、一方ニ助成ヲヤレバ取ツテモ、農會費ニハ何等ノ苦痛ヲ與ヘナイカラ宜イノデアリマスガ、ソレデ縣モ其ノ點ヲ大變心配シマシテ、私ノ方デハ十三萬ト云フノデスケレドモ、ソレヲ査定シテ十一萬ニシテ臨時縣會ヲ開イテ、之ヲ決議シタノデアリマス、所ガ此ノ國庫ノ助成ガナイ、マアソレニ代ツテ居ルノガ三萬圓デアラウト思ヒマセヌガ、其ノ開キガ實ニ大キイノデアリマス、縣ハ十萬圓バカリ國費ノ助成ヲ算盤ニ入レ

テ、二萬圓何ボト併セテ十一萬何ボ、是デ何トカ賄ガ付タラウ、斯ウ云フ積リテ臨時縣會決議シタノデアリマス、之ニ付テ私共常識判斷シマスルト云フト、是ハ農林省ト十分協議ノ上、十萬圓位出ルダラウカラ、ソレヲ組ンデ臨時縣會ノ決議デヤルガ宜カラウト云フ打合せガ出來テ居ツタニ違ヒナイ、ソレデナケレバ知事ガソノコトヲヤル道理ガナイ、ソレガナクナツテシマツタモノデアリマスカラ、知事モ恐ラク當感シタデアリマセウ、臨時縣會決議ツテ居ルモノヲ更ニ縣會デ改メルト云フノハ變ダ、又之ヲ參事會ニ付議シテ改メルト云フソノナ不見識ナコトガアルベキモノデナイ、斯ウ吾々ハ主張シテ居ツタノデアリマス、ソコデ一時ハ起債デモヤルト云フツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ起債モ恐ラクハ内務省ガ何トカ言ツテ許サスト云フコトハ、内交渉テ恐ラクソレハイケナイダラウト云フ氣持ニナツタノダラウ、遂ニ十一萬ノモノヲ一月末頃デシタラウ、六萬圓ニ削ツテシマツタ、斯ウ云フノハ農林省ト打合せガナケレバ、縣會ノ決議デヤル道理ガナイ、打合せノ上デ出シタモノニ違ヒナイガ、ソレガドウ云フコトデアラウナツタカ、農會費ノ助成ト云フモノハ要ラナイ、或ハ農林省デハドウシテモヤラナケレバイケナイト御考ニナツタノガ、大藏省ニ通ラナカツタノデハナイカトモ思ヒマス、ソレガマア想像スレバ常識ダト思ヒマス、兎モ角申上ゲルマデモ中心、是ハ吾々カラスレバ、此ノ増産計畫ノ中心ヲ成スモノハ何ト云フテモ部落團體、ソレヲ監督シ指導致シテ、朝ニ夕ニ附イテ此ノ増産計畫ヲヤラセルニハ、何ト云ツテモ市町村農會ノ技術員ノ力ヲ俟ツ

○土屋政府委員 御答申上ゲマス、山口縣ノ早害ノ救済ノ施設トシテ、農會費ノ補助ヲ幾ラ組ンダラ宜イカト云フコトハ、私ハ勿論サウ云フ相談ハ致シマセヌガ、金額ニ付テハ農林省ト知事トノ間ニ下打合せハナイト思ヒマス、ソレハ配當モ決ラナイノニ、金額ヲ内示スルト云フコトハナイ管デアリマス、併シ先ツ農會ノ活動助成金ガ實ヘルト云フ位ノ話ハシタカモ知レマセヌ、十何

ハ御諒承願ヒマス

万圓ニナツタラウト思ヒマス、實ハ私此處ニ府縣ノ配當數字ヲ持ツテ居リマセヌカラ、正確ニ申上ゲ發見ナラセマスガ、多分サウデアラウト思ヒマス、私共モ此ノ金額決シテ満足シテ居ルノデハナイノデ、少シ最初ノ要求モ多カツタノデアリマスガ、外ノ團體ハ全部削ラレマシテ、農會ダケハ第二豫備金デ、三十万圓出サウト云フコトニナツタノデアリマスカラ、遺憾ニハ思ヒマシタケレドモ、其ノ程度デ應ジマシタヤウナ譯デゴザイマス

○國光委員 只今農務局長ノ御答辯デ大體諒承致シマシタガ、山口縣ノ内輪ノコトヲ餘リ此處サウケ出スコトハ差控ヘテ置キマス、ドウモ十萬圓ト云フ大キナ金ヲ國庫助成トシテ縣費ニ組ンダト云フコトハ、今局長ノ答辯ヲ承リマスト不可能千萬ノコトデアリマス、殊ニ三萬圓ト云フモノヲ賣ツテ居ル、六萬圓ヲ加ヘレバ九萬圓アル道理デスケレドモ、併シ三萬圓ハ何シヨ農林省ノ説明サレテ居ル趣旨ニ依ツテ配當サレテ居ルモノデアリマスカラ、非常ニ窮困デアツテ困リマス、マア色々御心配ヲ願ツタ結果デアリマシテ、此ノ程度デハ止メテ置キマス

ソレカラ次ニモウ一ツ是モ農務局長ニハ隨分御心配ヲ煩ハシク問題デアリマシテ、詳シイコトハ申上ゲズトモ、局長ノ方ガ能ク御承知デアリマスガ、保險組合ノ問題デアリマス、是ハ農務局長ノ御心配ヲ戴イテ、相當ノ所マデ參ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ私共非常ニ感謝致シテ居ルノデアリマス、山口縣ハ組合ハ二郡ノ組合シカ出来テ居リマセヌ、併シ此ノ大旱害ニ制戦サレマシテ、一齊ニ全縣ニ保險組合ヲ作ルト云

フコトニナツテ居ル、此ノ間各郡デ懇談會ヲ開キマシタガ、殆ド皆ヤルト云フコトニナツテ居リマスカラ、十五年度ニハ全部出来上ルコト思ヒマスガ、此ノ補償金問題ノ始末次第デハ、一遍ニ又倒レテシマフト云フコトヲ吾々ハ慮レルノデアリマス、ソコデ此ノ點ヲ度々御心配ヲ煩ハシテ相濟ミマセヌガ、申上ゲテ置キタイノデアリマス、何シヨ二郡デハアリマスガ、早害ト云フモノガ全面的ニ互ツテ居リマスカラ、其ノ數字ト云フモノハ非常ニ大キイノデアリマス、二郡ニシテ百七十萬ト云フ支拂金ニ相成ツテ居ル、實ニ大キナ問題デアリマス、是ハ尤モ農林省ハ能ク御分リノコトデアリマスケレドモ、此ノ中デ支拂財源ヲ、政府ノ非常災害ニ對スル補償金ナリ、或ハ組合ノ保險料ト云フモノヲ差引マシテモ尙ホ三十四萬カラ殘ツテ居ル、是ハ其ノ場合ニ私ハ缺席致シテ居リマシタカラ局長カラ、デカニ御聽キシタノデアリマセヌガ、間接ニ聞ク所ニ依レバ、後三割ノ中ノ一割五分ト云フモノハ、政府ノ低利資金ヲ貸シテヤラウ、其ノ中ノ一割ダケハ利子モ持ツテヤラウ、斯ウ云フ所マデ進ンデ居ルカノヤウニ聞イテ居リマス、私ハ是ハ又聞キニ聞イタノデスカラ、果シテ其ノ通りデアルカドウカ分リマセヌガ、兎ニ角サウ云フ所マデ御心配ヲ進ンデ居ルト承ツテ居ルノデアリマスガ、是デモマダ實際中途半端ニ困ル、サウシマス、アトノ七割ハ政府ノ當然ノ御責任デアリマセヌガ、三割ト云フモノハ、是ハドウシテモ當リ前カラ言ヘバ、保險組合ガ負擔シナケレバナラスモノデアリマス、其ノ一割五分ト云フモノハ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤラウト仰シヤルト云フコトニナルト、當然

一割五分ニ付テハ保險組合ガドウシテモヤラナケレバナラス義務ガ生ズル、ソレデナケレバ農民ガ承知致シマセヌ、オ前途ハ此處テ切ツテ呉レヨトハ、ドウシテモ言ヘナク、ソレデ七割ノ所デ切ツテ、ソレカラ一文モ出サヌト政府ガ御切リニナリマス、却テ保險組合ハ仕合セダ、仕合セト云フ語弊ガアリマスケレドモ、仕合セト云フコトニナルノデス、ドウシテモ七割以上ハイカヌ、政府ガ責任ヲ持ツテ呉レナイカラ仕方ガナイ、餘所ノ保險組合ノ出来テ居ラヌ所ハドウスルカト言ヘバ、曲リナリニデモ濟ミマスガ、一割五分モ政府ガヤツテヤラト仰シヤルト、アトノ一割五分ハ何トカシテ出サナイト義務ガ濟マナイ、保險組合ハ苦シイ立場ニナル、是ハ常識デ御想像下サツタラ分ルト思ヒマスガ、其ノ一割五分トシマシテモ、金ハ兩郡三分レテ十七萬圓以上ニナル、吉敷郡ガ十萬圓カラニナル、上ニナル、金ヲドウスルカ、此ノ金ヲ出サウテ此ノ金ヲドウスルカ、此ノ金ヲ出サウテ云ツテモ何處ニモ貸シ手ハナイ、縣ノ聯合會ハ貸ス譯ニイカナイ、組合員個々ノ名前ニナレバ、全部組合員ナラザル役員ハナイカラ脱法行爲デハナイガ、併シソレニ持ツテ行ツテ貸スニシタ所デ、個人々々ノ名前ガ要ル譯デアル、例ヘバ十萬圓ヲ一萬圓宛デモ、重複ノ數ニ割ツテ十人ガ責任ヲ負ハナケレバナナイ、サウデナカウツラ個人保證ノ責任ヲ負フコトニナリマシタラ、皆重役ハ辭職スルコトハ分ツテ居リマス、今現ニサウ言ツテ居リマスガ、是ハ威カシニ言ツテ居ル譯デアリナイ、組合長初メ理事モ監事モ皆一掃ニ退職デス、無理ハナイノデス、金ガ假ニ出来ルトシテモ十

折角交渉シテ居ル際デアリマシテ、マダ交渉ガ纏ツテ居リマセヌカラ、此ノ應デ申上ゲル譯ニ參ハリマセヌガ何分最初ニ申上ゲマシタヤウニ、豫想ヲシナイ大キナ災害ガ起キタ譯デアリマスカラ、或ル程度、十割ハマルノ貴ヘナイト云フヤウナコトガアリマシテモ、其ノ點ハ一ツ能ク諒解ヲシテ戴キタイト思フ、尙ホ此ノ際附加ヘテ申上ゲマスガ、農業保險ニ入ツテ居ル人ト入ツテ居ラナイ人ト、災害ノ救済ニ付テ何等區分ニ入ツテ居ル人ハ、ソレダケ金ヲ貴ヘル譯デアリカト云フ理窟モ立ツカモ知レマセヌガ、ソレハ全然區分ヲ致シマセヌ、一般ノ罹災者トシテ之ヲ扱ツテ居リマス、ソレ等ノ點ニ於キマシテモ、保險ニ入ツテ居ル人ハ相當優遇サレテ居ル譯デアリマスカラ、事情ヲ一ツ御諒解願ヘルヤウニシタイト思ツテ居リマス、大藏省トハ折角今交渉中デゴザイマス

インデス、是ハ常識デ農村ノ事情ヲ考ヘテ實際態ヘルノデスカラ、之ヲドウシテモヤツテ戴キタイト思フノデアリマシテ、アナタノ過去ニ於ケル御努力ニ對シテハ、私共衷心カラ感謝シテ居ル、其ノ序ニモウ一息ノ御盡力ヲ御願シタイト思フノデ、之ニ付テノ御考ヲ此ノ際承ツテ置キタイ

○土屋政府委員 御答申上ゲマス、御承知ノ通り今日ノ農業保險ハ既往十七年、大正七年カラ昭和九年マデノ災害統計ヲ取リマシテ、ソレニ依ツテ保險ノ料率ヲ算出致シマシテ、サウシテ政府ガ或ル程度ノ賦課保險料ニ對スル助成ヲ認メマシテ、サウシテ特別會計ハトシテ行ク、サウ云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ只今御引例ニナリマシタ昭和九年程度ノ災害デアリマスレバ、大シク問題デナク經理ガ出来ルノデアリマスガ、昨年ノ早害ト云フノハ、是ハ御承知ノ通り、六十年、八十年、或ハ地方ニ依リマシテハ百何十年來ノ大旱害デアリマシテ、現在ノ農業保險ノ計畫ニナイ桁外レノ災害ガ、開業ノ初年ニ始ツタノデアリマスカラ、ソコデ非常ニ大キナ混亂ヲ招イテ居ルヤウナ譯デアリマス、只今御話ノ通り、保險金ノ七割ハ聯合會並ニ政府ノ再保險ニナツテ居リマスガ、此ノ再保險ノ方デサヘモ、中々其ノ話ハ簡單デナイノデアリマシテ、一般會計ガ持ツナラバ政府ノ義務デゴザイマスカラ、先ツ話ハ簡單デ、因ツタモノデ濟ムノデアリマスガ、特別會計ハ自給自足デゴザイマスカラ、將來ノ保險料ノ收入ヲ引當ニシテ借金ヲシテ、此ノ際七割モ拂フト云フ建前ニナツテ居ル、ソコデ中々是ハ七割ノ分デサヘモ解決ガ容易デナイ、今大藏省トノ交渉ハ其ノ一部ハ借

金デヤル、後ノ一部ハ政府ノ一般會計デ持ツテ貴ハナケレバナラス、サウシテ農業保險ノ基礎ヲ破壊シナイヤウニシテ貴ヒタイト云ツテ交渉ヲヤツテ居ル始末デス、殘リノ三割ハ保險組合ガ負擔スル、是モ御話ノ通り十割貴ヘル貴ヘルト云ツテ、アノ仕事ノ趣旨ノ宣傳ヲヤツテ居リマス、法律ニハ今年ノヤウナ大キナ災害ガアツタ場合ハ、削減シテモ宜イト云フ規定ガアルノデアリマセヌガ、其ノ規定ヲ明ラサマニ出シテハ、普及ニ支障ガアルモノト見ヘテ、其ノ條文ハ藏ツテ置イテ、事實ハイツデモ十割貴ヘルト云フヤウナコトヲ話シテ居ルヤウデアリマセヌ、其ノ爲ニ今日削減スルト云フコトハ非常ニ事情ガ困難デアル、唯財務當局ハ、サウ云フ法律ニ規定ガアルカラ削減シテ、七割ダケ拂ヘバ宜イデハナイカト云フコトヲ申シマス、ソコデ先ツ今交渉ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ交渉ノ過程ニ於テハ、只今御話ニアリマシタヤウニ、一時低利資金ヲ貸シテヤツテ、利子ヲ補助シテヤツテハドウカト云フ話モシテ見マシタ、所ガドノ縣ノ方カ知リマセヌガ、大藏省ノ方ニ參リマシテ、借金ナドハ絕對ニ御免ヲ蒙ル、低利資金ヲ貸シテ下サルト云ツテモ、吾々ガ個人保證ヲシナケレバ借リラレマセヌカラ、逆モ借金ヲスル譯ニハ參リマセヌト云ツタ向キモアル、是モ聞イテ見レバ尤モデアル、隨ヒマシテ只今ノ國光君ノ御話ニアリマシタヤウニ、一割五分金ヲ貸シテ遣ルト云フ方法デハ參ツテ居リマセヌ、他ノ方法デ今交渉ヲシテ居ルノデアリマス、逆モ十割共ノ儘參ルコトハ困難ダト思ヒマスガ、三割ノ部分ニ付キマシテモ、或ル程度ノモノハマア一般會計カラ出シテ貴ヒタイト思ツ

テ、折角交渉シテ居ル際デアリマシテ、マダ交渉ガ纏ツテ居リマセヌカラ、此ノ應デ申上ゲル譯ニ參ハリマセヌガ何分最初ニ申上ゲマシタヤウニ、豫想ヲシナイ大キナ災害ガ起キタ譯デアリマスカラ、或ル程度、十割ハマルノ貴ヘナイト云フヤウナコトガアリマシテモ、其ノ點ハ一ツ能ク諒解ヲシテ戴キタイト思フ、尙ホ此ノ際附加ヘテ申上ゲマスガ、農業保險ニ入ツテ居ル人ト入ツテ居ラナイ人ト、災害ノ救済ニ付テ何等區分ニ入ツテ居ル人ハ、ソレダケ金ヲ貴ヘル譯デアリカト云フ理窟モ立ツカモ知レマセヌガ、ソレハ全然區分ヲ致シマセヌ、一般ノ罹災者トシテ之ヲ扱ツテ居リマス、ソレ等ノ點ニ於キマシテモ、保險ニ入ツテ居ル人ハ相當優遇サレテ居ル譯デアリマスカラ、事情ヲ一ツ御諒解願ヘルヤウニシタイト思ツテ居リマス、大藏省トハ折角今交渉中デゴザイマス

○國光委員 今ノ農務局長ノ御答ヲ承リマシテ、御苦心ノ程御察申上ゲル次第デアリマス、私共ノ申上ゲルノハ、結局中途半端ナコトヲシテ戴ク、却ツテイケンイト思フノデアリマスカラ、寧ろ今日政府ノ方デ最初保險制度ト云フモノヲ御作りニナツタ當時ノ氣持デ出来テ居ルノデアリマスカラ、下ノ者モ苦シイ、同ジコトニナツテ居ルノ下ガ出来ルヤウナ風ニ、農民ヲ納得セセルヤウナコトニ、保險組合ノ首腦者ガヤレルヤウニ、政府ガ仕向ケテヤレバ宜イコトニナル、寧ろ中途半端ナコトヲシマス、養

万ナラ何十年掛ルノデス、其ノ間ニハ又何時カ農務局デモ御心配下サツタヤウニ、五十年モ六十年モ先ニナルト、非常災害ガ何時來ルカ分ラヌ、ドンナ災害モ來ナイト云フコトナラ宜イガ、サウデナイ限りハ又來ルモノト見ナケレバナラス、山口縣ハ昭和九年ニアレ程ノ災害ガアツタガ、又今度五年目ニヤラレタ、吉敷郡ハ非常災害デアツタガ、又ヤラレタトモ限ラヌ、昭和九年ノ時モ吉敷郡ガ一番酷カウツタ、私モ義捐金ヲヤツタ、サウナルト吉敷郡ダケハ身代限リニナツテシマフト皆逃ゲル、保險組合ハ解散シナケレバナラスコトニナル、美禰郡ノ組合デモ七萬圓デスカラ、アノ小サイ郡ガ七萬圓モヤルト云フノデアツタラ、役員ノ總辭職ハ必然ノ結果デアル、ソレデアリマスカラ、私ハドウシテモ此ノ金ダケハ、一割五分ダケヲ低利資金マデ御出シニナツテオヤリニナルト云フ所マデ話ガ進ンデ居リマスガ、残りノ一割五分モドウシテモ是ハ低利資金デ出シテ戴キタイ、サウデナイトモウ保險組合ノ普及ノ運動ハ出来マセヌ、此處マデ農務局長ガオ骨ヲ折ツテ下サツタノデアリマスカラ、モウ一息ノ努力ヲシテ戴イテ、全部ノモノデモ大シク金デアリマセヌ、低利資金ノ問題ト云ツテモ百萬圓モ二百萬圓モ出シテ戴クト云フ譯デアリマセヌ、十七八萬圓出サレル序ニ、モウ十萬圓出サレルヤウニ、山口縣ハ今年一遍ニ出来上ツテシマフノデス、是非之ヲ御苦勞序ニ御心配願ヒタイノデアリマス、サウデナイト山口縣バカリデナク、他ノ廣島縣デモ同様ダト思ヒマスガ、若シ相當ノ金額ニナレバ是ハ中々容易ニ出セルモノデヤナ

務方附イテ來マスカラ却ツテ苦シクナツテ、保險制度ノ將來ノ發達ニ邪魔ニナルヤウニナツテバ困ル、折角金ヲ出シテアトガカシイコトニナルト、却ツテ何ナラナイコトニナリマスカラ、其ノ點ハ私共氣道ツテ居リマス、ソレデ七割ダケニスルコトガ宜イト、故ニ申上ゲルコトハアカシイコトニナリマスカラ申シマセヌガ、兎ニ角不撤底ナコトニナリナイヤウニ、又保險組合ノ首腦者ガ言ヒ分ガ立チマセヌヤウニ、政府自ラ御處理ヲナサルコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、御苦心ノ程ハ十分御察シ致シマスカラ、保險組合ノ關係ハ是デ質問ヲ打切りマス

○土屋委員 此ノ増産計畫ノコトニ付テ、モット御尋シタイト思フノデアリマスガ、最早時刻デスガ、只今國光君ノ御話ノアツタ保險ノ問題、國光君ノ所ハ七割切ラレバ宜イ、色々ナコトヲシテ貴フト難儀スルト云フコトデアリマスガ、併シソレダケガ委員會ノ速記ニ殘ルト、アト貴ヒタイ者ガ難儀シマス、七割切ツテシマハヌデモ、八割デモ九割デモ九割五分デモ貴ヘサヘスレバ貴ヒタイノデアル、七割切ツテハ申シマセヌ、國光君ハ三十萬圓餘リデセウガ、私ノ所ハ二十萬圓デアリマスガ、是ハ色々御配慮願ツテ居ルノデ、斯ウ云フ席デ申上ゲテハイケマセヌガ、兎ニ角本年ハ農業保險ノ豫想セザリシ災害ニ出會シタノデアリマスカラ、隨テ我國ノ農業保險ノ最初ノ試ミトシテ勸誘ニ極力努メタ、ソレデアリマスカラ、ドウ云フ方法ヲ執リマシテモ、保險金ガ支拂ガ出来ヌト云フコトニナリマシレバ、役人ハ嘘ヲ言フ者ナリト云フコトニナツテ來ル、是ハ中央ノ役人バカリデハナイ

務方附イテ來マスカラ却ツテ苦シクナツテ、保險制度ノ將來ノ發達ニ邪魔ニナルヤウニナツテバ困ル、折角金ヲ出シテアトガカシイコトニナルト、却ツテ何ナラナイコトニナリマスカラ、其ノ點ハ私共氣道ツテ居リマス、ソレデ七割ダケニスルコトガ宜イト、故ニ申上ゲルコトハアカシイコトニナリマスカラ申シマセヌガ、兎ニ角不撤底ナコトニナリナイヤウニ、又保險組合ノ首腦者ガ言ヒ分ガ立チマセヌヤウニ、政府自ラ御處理ヲナサルコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、御苦心ノ程ハ十分御察シ致シマスカラ、保險組合ノ關係ハ是デ質問ヲ打切りマス

務方附イテ來マスカラ却ツテ苦シクナツテ、保險制度ノ將來ノ發達ニ邪魔ニナルヤウニナツテバ困ル、折角金ヲ出シテアトガカシイコトニナルト、却ツテ何ナラナイコトニナリマスカラ、其ノ點ハ私共氣道ツテ居リマス、ソレデ七割ダケニスルコトガ宜イト、故ニ申上ゲルコトハアカシイコトニナリマスカラ申シマセヌガ、兎ニ角不撤底ナコトニナリナイヤウニ、又保險組合ノ首腦者ガ言ヒ分ガ立チマセヌヤウニ、政府自ラ御處理ヲナサルコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、御苦心ノ程ハ十分御察シ致シマスカラ、保險組合ノ關係ハ是デ質問ヲ打切りマス

務方附イテ來マスカラ却ツテ苦シクナツテ、保險制度ノ將來ノ發達ニ邪魔ニナルヤウニナツテバ困ル、折角金ヲ出シテアトガカシイコトニナルト、却ツテ何ナラナイコトニナリマスカラ、其ノ點ハ私共氣道ツテ居リマス、ソレデ七割ダケニスルコトガ宜イト、故ニ申上ゲルコトハアカシイコトニナリマスカラ申シマセヌガ、兎ニ角不撤底ナコトニナリナイヤウニ、又保險組合ノ首腦者ガ言ヒ分ガ立チマセヌヤウニ、政府自ラ御處理ヲナサルコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、御苦心ノ程ハ十分御察シ致シマスカラ、保險組合ノ關係ハ是デ質問ヲ打切りマス

地方ノ役人モ、役人ハ皆噓ヲ言フ者デアリ、此ノ保險ハ入レ、保險ニ入ツタラ是ダケノ保險金ヲナルノダ、災害ガアツタラヤルノダカラ入レト言フツテ、日時ヲ費シ、場所ノ多クナルノモ構ハズニ實ニ動議是レ努メタ、サウシテ出來上ツタ保險ガ、豫想セザリシ大災害ニ出會シタ爲ニ金ガ拂ハレナイ、始メマシタ第一年デアリカラ、此ノ場合金ガナイカラ拂ハレナイト言フケレドモ、是ハ何トカ考ヘナケレバイカヌノデ、私ハ何トカ御心配ヲ仰ガレモ、出來ルモノト思フテ居リマスガ、大蔵省方面ニ相當難色ガアルヤウデアリマスケレドモ、大蔵省ハ能ク承知シテ居ル答、農業保險ノ法律制定ニ對シテ、私共モ幾年間カ運動ヲ致シタノデアリマスケレドモ、其ノ間ノ大蔵省ノ意向ハ、此ノ保險組合法案ノ委員會等ニ於テ、色々表ニ問ヒ薩ニ問ヒシタ大蔵省側ノ意向カラ言ヘバ、組合ト云フモノハ最初ノ第一年カラ一度ニ澤山拵ヘテ與レタラ困ル、若シ災害ガアツタ時ニ、政府ガ難儀ヲスルカラ、或ル豫定シタ組合數以上ニ拵ヘテ與レタライカス、斯ウ云フコトデ大蔵省ハ得心シテ居ツタノデアリマスカラ、第一年ニ出會シテ居ツタノ對シテ、其ノ損害ニ對シテハ、支拂金ガ特別會計デアラウガ、普通會計デアラウガ、彼此レ言フベキモノデハ無論ナインデアツテ、ソレヨリ皆シテ動メタ我國ノ農業保險ノ試ミニ、第一年ニ此ノ失敗ガ出來タノデアリマスカラ、當然十割ノ金ガ支拂ヘルヤウニ、大蔵省モ心配シテ與レラレルコトデアラウト實ハ思ツテ居ルノデアリマス、農務局長ニ於テモ色々御心配下サリテ居ラレルノデアリマスガ、非常ニ難色アリトセラレルノデアリマスケレドモ、若

シ是ガ旨ク行カスト云フコトニナリマスレバ、アナタニモ度々申上ゲマシタヤウニ、農業保險ハ其ノ基礎ガ鞏固ニナルマデ、保險金ハ全額ヲ支拂フコトヲ得ザルモノデアリマス、ハツキリ致シテ刻印ガ捺サレルノデアリマス、デアリマスカラ農業保險組合法ノ大缺陷ヲ暴露シタコトニナツテ來ルノデアリマス、何處ノ地ニドウ云フ災害ガアリマシテモ、現在ノ此ノ法律カラ行キマスレバ、組合ノ基礎ガ鞏固ナラザル間ニ災害ニ出會シタ場合ニハイケンナイ、即チ水害デアルトカ蟲害デアルトカ云フモノナラバ、左程デナイカモ知レマセヌケレドモ、此ノ早害ノ如キハ、即チ此ノ保險組合ノ法律ヲ定ムル際ニ、例外トシテ除イタコト云フノ非常ニ喧シカワツタデアリマシテ、天候ノ支配ヲ受ケル氣候ニ依ツテ災害ヲ受ケタルモノニ對シテハ、必ずナ保險金ノ金額支拂ハ不可能ナリト云フ言葉ガ使ヒ得ラレルノデアリマス、今後ニ於ケル農業保險ノ獎勵ドウシテスルノデアリカ、農業保險ト云フモノハ良イモノダガ、併シ拵ヘテ十年、二十年シナイト、組合ノ基礎ガ固マラス、又オ前ドモ二十四ノ保險ヲ附ケテ居ルケレドモ、若シ一朝天候ニ依ル大災害ニ出會シタ場合ニハ、二十四ニ對シテ七割シカ金ヲ拂ハレヌノダト云フコトヲ附加ヘテ動議シナイト、農民ハ二十四貫ヘルト思ツテ居ツテ、保險金ヲ貰フ時ニハ十四個シカ貫ヘナイ、斯ウ云フコトニナリマス、洵ニ重大ナ問題ニナリマスノデ、澤山言ヘバ色々ト障リガ出ルカラト思ツテ、差控ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、近頃此ノ議論ガ相當多クナリ、又洵ニ我國ノ農業保險ノ將來ノ發達ノ上ニ、檢討スベキ重大問題ニ出會シテ居ル

ノデアリマス、多クハ申シマセヌカラ、現ニ角私ハ如何ナル名稱ガ付キマシテモ、ドウ云フ道筋ヲ通りマシテモ宜シイカラ、保險金ノ支拂ガヨリ多ク出來ルヤウニ御配慮下サツテ、サウシテ所謂此ノ保險組合ノ運用ガ將來ニ於テ滑カニ出來ルヤウニ致シタイト思ヒマス、甚ダ駄辯ヲ弄シタヤウデアリマスケレドモ、ドウカ名前ハ何デモ宜シウゴザイマス、補助金デモ何デモ宜シウゴザイマスカラ、ドウゾ金ガ出マスヤウ、先ゾ一番アツサリシタ所ハ、其ノ三割ハ早害見舞金トシテ全部包ンデ敷ケレバ、ソレデ何トモ申サヌノデアリマス、ドウゾ宜シク御願シテ置キマス、此ノ希望ヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

シテ、大正七年カラ昭和九年マデノ十七箇年ノ間ニアリマシタ損害ノ程度デアリマシタナラバ、本年起リマシテモ既定計畫ノ通りニ參ルノデアリマス、尤モ昨年ノヤウナ災害ガ、今年又ハ來年起ラヌト云フコトハ保證致兼ネマスカラ、サウ云フ場合ニハ是亦御話ノ通りニナリマセウガ、十七年ノ間ニ起リマシタ損害ノ程度ナラバ、是ハ本年起キマシテモ、來年起キマシテモ、拂ヘルト思ヒマス、何ニシテモ只今大蔵省ト交渉中ノ問題デアリマスカラ、マアヤツテ見ルコトニ致シマス

○土屋委員 今ノ御話ヲ聽クト、モウ一言申上ゲスト工合ガ悪い、十七年間ノ災害ニ依ツテ幸ラ出シタノダカラ、其ノ程度ノ災害ナラバ拂ハレルノダト、斯ウ仰セニナリマシタガ、私ノ算盤ヲ採リヤウガ違フノカ知リマセヌガ、ソレハ十七年間ニ於ケル災害ノ程度ニ出會シテモ、保險金ヲ支拂フ餘裕ハ組合ニハゴザイマセヌ、ソレハ相互保險ノ趣旨デアリマスカラ、局部的災害ニ出會シマシタ場合ハ支拂ハレルカ知レマセヌガ、所謂天候ニ支配セラレタル普遍的災害ニ出會シマシタ場合ニ於テハ、ソレハ拂ハレマセヌ、拂フ金ガアリマセヌ、此ノ點モソレハアノ各ガ流レタ、此ノ各ガ流レタ云フ災害デアラナラバ拂ハレルカ知レマセヌガ、早害ノ如キ非常ニ廣ク著シイ、害ヲ及ボシテ來タ場合ハ、十七年間ノ災害ト雖モ、災害ニハ色々ノ災害ガアリマスケレドモ、ソレニ出會シタナラバ初ノ一年カレドモ、二年デハ掛金ガ反當リ十錢シナイモノヲ拂フト云ツテモ、ソレニ拂フ金ガアリマセヌカラ、此ノ點モ御念ミ置キテ願ヒタイト思ヒマ

ス、固ヨリ私共ハ此ノ農業保險組合法案ガ議會ニ提出セラレタ際ニ、委員トシテ色々ト審議ヲ附シタ一人デアリマスカラ、洵ニドウモ斯ウ云フコトニ出會シマスト心外ニ思フノデアリマス、併シ農業保險ノ經營ハ御承知ノ通り歐洲ニ於テモ、何レモ失敗ノ歴史ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ組合法案ノ委員會ノ時ニモ政府委員ニ、歐洲ノ所謂農業保險經營ハ、其ノ多クハ失敗ニ歸シテ居ルノデアリカラ、我國ノ農業保險ノ經營モ、餘程慎重ニヤラナケレバイカスト申シタラ、相互保險デアルカラヤツテ行ケヨウデハナイカ、斯ウ云フコトヲ一據ノ望ミトシテ、實ハアノ法律ハ生レテ來タノデアリマス、所ガ最初ノ年カラ斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、ソレハ皆壯ニアルコトデスガ、ソレデ民間ニ於キマシテモ錢ヲ拂フコトニナルト色々採メルヤウナ工合デ、政府ニモ成行キハ能ク御承知ノ方モアルノデスケレドモ、オ金ヲ出シテ戴ク時ニハ、一寸話ガ難カシクナルト思フノデアリマスカラ、是以上何モ申上ゲマセヌガ、宜シク御計ヒテ願ヒマス

○小林委員長 吉田賢一君

○吉田委員 肥料ニ付テ少シ何ツテ見タイノデアリマスガ……

○小林委員長 米ノ方ヲ先ニヤツテ戴キタイノデスガ、肥料ノ方ハ何レ肥料ノ法案ガ出テ、此ノ委員會ニ併託サレル管デアリマスカラ、其ノ時ニ御願ヲ致シマス

○吉田委員 米ノ問題ニ付テハ實ハ色々根本的ナコトガアリマスノデ、少シ時間ガ取レルト思ヒマス、ソレデ私丁度分科會ノ文部ノ方ノ願番ガ廻ツテ來マスノデ……

○小林委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

シマス 午後四時十三分散會

シテ、大正七年カラ昭和九年マデノ十七箇年ノ間ニアリマシタ損害ノ程度デアリマシタナラバ、本年起リマシテモ既定計畫ノ通りニ參ルノデアリマス、尤モ昨年ノヤウナ災害ガ、今年又ハ來年起ラヌト云フコトハ保證致兼ネマスカラ、サウ云フ場合ニハ是亦御話ノ通りニナリマセウガ、十七年ノ間ニ起リマシタ損害ノ程度ナラバ、是ハ本年起キマシテモ、來年起キマシテモ、拂ヘルト思ヒマス、何ニシテモ只今大蔵省ト交渉中ノ問題デアリマスカラ、マアヤツテ見ルコトニ致シマス

○土屋委員 今ノ御話ヲ聽クト、モウ一言申上ゲスト工合ガ悪い、十七年間ノ災害ニ依ツテ幸ラ出シタノダカラ、其ノ程度ノ災害ナラバ拂ハレルノダト、斯ウ仰セニナリマシタガ、私ノ算盤ヲ採リヤウガ違フノカ知リマセヌガ、ソレハ十七年間ニ於ケル災害ノ程度ニ出會シテモ、保險金ヲ支拂フ餘裕ハ組合ニハゴザイマセヌ、ソレハ相互保險ノ趣旨デアリマスカラ、局部的災害ニ出會シマシタ場合ハ支拂ハレルカ知レマセヌガ、所謂天候ニ支配セラレタル普遍的災害ニ出會シマシタ場合ニ於テハ、ソレハ拂ハレマセヌ、拂フ金ガアリマセヌ、此ノ點モソレハアノ各ガ流レタ、此ノ各ガ流レタ云フ災害デアラナラバ拂ハレルカ知レマセヌガ、早害ノ如キ非常ニ廣ク著シイ、害ヲ及ボシテ來タ場合ハ、十七年間ノ災害ト雖モ、災害ニハ色々ノ災害ガアリマスケレドモ、ソレニ出會シタナラバ初ノ一年カレドモ、二年デハ掛金ガ反當リ十錢シナイモノヲ拂フト云ツテモ、ソレニ拂フ金ガアリマセヌカラ、此ノ點モ御念ミ置キテ願ヒタイト思ヒマ

第七十五回帝國議會 院

昭和十二年法律第九十號中改正法律 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件) 委員會會議錄(速記)第四回

付託議案 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件) (政府提出) (第四五號)

會議 昭和十五年二月二十一日(水曜日)午後一時三十分開議

- 出席委員 左ノ如シ 委員長 小林 胡治君 理事 土屋 寬君 理事 坪山 德彌君 理事 森 幸太郎君 高田 松平君 今成留之助君 國光 五郎君 須永 好君 平野 力三君 出席政府委員 左ノ如シ 對滿事務局長 竹内 德治君 農林事務次官 岡田 嘉久治君 農林省農務局長 土屋 正三君 農林省米穀局長 橫山 敬教君 農林事務官 石井 英之助君 拓務省殖産局長 植場 鐵三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 昭和十二年法律第九十號中改正法律案 (米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出) ○小林委員長 開會致シマス ○河野委員 此ノ機會ニ恐縮デスガ、材料ノ要求ヲサセテ戴キマス、此ノ中ニハ既ニ政府デ準備中ノモノモアルカモ知レマセヌガ、重複致シマシタ點ハ御容赦ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ御願シタイノハ、先ヅ第一ニ事變以來改正スル前ノ法律ニ依ツテ買上ゲタ米ノ數量ハ幾ラカ

第二ハ、昭和十四年度、米穀年度デハハ

シニ昨昭和十四年度ニ政府ノ米ノ買上賣渡ノ量並ニ拂下ハドウ云フ風ヲ相手別ニ拂下シタカ、例ヘバ商業組合ニ幾ラシタカ、其ノ他ノ團體ニ幾ラシタカト云フコトノ量デアリマス 第三ニハ、昨年昭和十四年度米ノ買上、即チ昨年ノ十一月以降ニ於テ政府ハドウ云フ數量ノ米ノ買上ヲヤツタカ、其ノ買上米別、表ヲ一ツ頂戴シタイ、之ヲ頂戴シタイ所以ノモノハ、現在ノ改正案前ノ法律ニ依ツテ、政府ハドウ程度ニ買上ヲヤツタカ、ドウ云フ風ニヤツタカト云フコトヲ聞キタイノデアリマス

第四ニハ、最近五箇年間ニ於ケル米ノ生産量ト消費量並ニ府縣別ノ十五年度一今年度ニ於ケル、米ノ需給推算、之ヲ頂戴シタイ所以ノモノハ、各府縣ニ於キマシテ府縣當局ガ、自分ノ縣ニ米ガ幾ラ入用ダカラ外ニ買入ニ出ルトカ、乃至ハ他ノ縣ハ縣外ニハ出セストカ、極端ナ所デハ警察署長ガサウ云フコトヲヤツテ居リマスノデ、各府縣別ノ需給推算ヲ御願シタイ

其ノ次ニハ十五年度ニ於キマスル所ノ内地米、米ト麥ノ生産豫定量 其ノ次ニハ十四年度、昨年度ト十五年度ニ於キマスル所ノ移輸入數量、輸入ヲ幾ラスルカ、シタカ、又スル豫定デアルカ、移入ニ付テモ同様デアリマス、特ニ御願シタイノハ、滿洲國關係ハドウナツテ居ルカ、支那關係ハドウナツテ居ルカト云フコトモ承ツテ置キタイ、並ニ又之ノ單價ヲ頂戴シタイ

其ノ次ニハ大豆粕ノ府縣別肥料飼料ノ消費、過去ニ於キマスル大豆粕ノ府縣別肥料飼料ノ消費高ノ調ヲ頂戴シタイノデアリマス

其ノ次ニハ、最近五箇年間ニ於ケル主要農産物ノ物價指數ノ表ヲ頂戴シタイ 其ノ次ニ有機質肥料並ニ主要ナル飼料ノ十五年度ニ於キマスル需給推算ヲ頂戴シタイノデアリマス

其ノ次ニ政府ガ一石當リ本改正案ニ依ツテ買上ガマシテカラ大體半箇年間所有スルト致シマシテ、之ヲ賣渡スマデニ要スル一切ノ諸掛リハドウ位掛ルモノデアルカト云フコトノ表ヲ頂戴シタイノデアリマス、ドウソソレダケ、差當リ至急私ガ質問ヲスルマデニ必要デアリマスカラ、御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田政府委員 只今ノ河野君カラ御要求ノ資料デアリマスガ、澤山ノ各表ノ御要求デアリマシテ、實ハ只今何ツテ居リマシタガ、中ニハ十分總取り難カツタ點モアリマスノデ、間違ガアルトイケマセスカラ後程係ノ者ニ詳ク書キ物ニデモシテ更ニ御手渡シ下サルコトヲ希望致シマス、又只今何ツテ居リマス、中ニハ一寸調製シ得ルヤ否ヤ、難カシイ表モアリハセヌカト云フ感シガ致シマス、更ニ又中ニハ需給推算等ニ關スル問題ガアリマスルシ、殊ニ外米ノ買入、ソレノ單價等ニ關スル點モアツタヤウニ思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、豫メ

是非御諒解置キテ願ヒタイト思ヒマスコトハ、豫算總會ニ於テ同様ノ御質問ニ對シマシテモ大臣カラ、又私カラ御答シタコトモアルノデアリマスルガ、外米ノ買入、買付ノ數量トカ、或ハ又單價トカ、又何處カラドレダケノモノヲ買ツタカ云フヤウナ諸點ニ對シマシテハ、將來ノ外米買付ノ都合上之ヲ公表シ難イ點ガ多クアルノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ公表スルコトニ付キマシテハ、其ノ困難ナコトヲ御諒解願ヒマス、隨ヒマシテ御要求ノ表ヲ出シ難クモモノガアルダラウト思ヒマスカラ、此ノ點豫メ御諒解ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、大體左様ナ次第デアリマスカラ、一應御諒解願ヒ、又出来マスモノニ付キマシテハ速ニ提出スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○河野委員 今御話デアリマスガ、大體私ハ只今御願シマシタモノハ、米穀政策上是非トモ政府ノ方ニ御持合セガナレバナラヌモノヲ御願シタノデアリマス、又同時ニ調製ガ困難ナモノト云フ御話ガアリマスケレドモ、調製ガ困難トハ思ヘヌノデアリマス、ソレカラ又外米ノ問題乃至ハ軍關係ノモノニ付テ先程色々御話モアリマシタケレドモ、是等モ私ハ敢テ公表ヲ希望スル者デアリマス、本改正案審議ノ上ニ吾々少數ノ委員ガ認識ヲ其ノ程度マデニ持タナケレバナルマイト思フモノヲ御願シテ居ルノデアリマシテ、豫算委員會ノ公開ノ席デ論議ヲサレタコトト自ラ違フト思フノデアリマス、隨テ私ハ先日モ申上ゲマシタヤウニ、

秘密會其ノ他ノ適當ノ機會ヲ政府ガ御作リニナツテ、サウシテ御發表ニナツテ然ルベキモノト思フノデアリマス、例ヘバ物動計書ノ内容ニ付キマシテモ、本會議ニ於テ御説明ニナツテ居ル、是ハ要スルニ政府ガ共ニ吾々ト此ノ困難ナ米穀問題ヲ論議シヨウト云フ立場カラ御考ヘニナレバ、自ラ問題ハ解決スルト思フ、其ノ程度ノモノヲ知ラサズニ置イテ、本案ヲ審議セヨト仰シヤツタ所ガ、審議スルコトハ困難デアル、例ヘバ本法ニ依ツテドノ位ノ數量ヲ集荷シテ消費地ヘ持ツテ來ルカ、東京初メ大阪其ノ他ラドノ程度ノモノガ軍ノ入用ニ持ツテ行カレモノカ、ドノ程度ノ數量ヲ確保シテ置ケバ宜イカト云フコトモ、私ノ質問ヲ續ケテ行ク上ニ於テ必要デアリマス、國民ノ常識ト致シマシテモ、米ノ出來秋ニ消費地ニ米ガナカウツト云フコトハ、日本ニ米ガナカウツト云フコトハ、ハナハナデアリマシテ、政府ノ政策ガ惡カツタ、政治ノヤリ方ガ惡カツタト云フコトニナル、是ハ自ラ明カデアリマス、隨テサウ云フ事態ヲ繰返サザル爲ニハ、ドウ云フ方向ニ行カケレバナラスカト云フコトハ、此ノ機會ニ吾々委員ト協力シテ政府ガ審議セラルベキコトデアリマス、先日モ土屋委員カラ話ガアリマシタ通り、私モ土屋委員ト全ク同意デアリマス、本法ハ邪道ニ依ツテ居ルト云フコトヲ私ハ深ク認識スル者デアリマス、事變處理ニ必要ナル法律ノ一部ヲ改正シテ、サウシテ國民ノ必需品ノ配給ノ円滑ヲ期サウトスルガ如キハ、是ハ邪道デアリマス、何ト大臣ガ強辯セテラマシテモ邪道デアリマス、サウ云フヤウナ邪道ヲ以テ此ノ米ノ問題ハ解決ス

ルモノトハ吾々ハ考ヘスノデアリマス、モウ少シ深刻ニ考ヘナケレバナラス、是等ノ考ヲ致シマス、只今色々御意見デアリマシタケレドモ、更ニ十分御考ヘ戴キマシテ、其ノ上デ然ルベク善處サレシコトヲ希望スル者デアリマス、何レ私ノ質問ノ順位ガ参リマスレバ、私ノ所見ヲ具サニ申上ゲテ色々御意見ヲ伺フ積リテ居リマスケレドモ、豫メ申上ゲテ置キマス

○岡田政府委員 御意見ハ極メテ御尤ナ點モアリマスルガ、前段申上ゲタヤウナ考ヲ持ツテ居リマスルノデ、十分御期待ニ副ヒ得ルヤウニ致シ兼ねル點モアラウカト思ヒマスルガ、尙又御話ノ點ニ付キマシテハ十分考慮致スコトニ致シマス

○小松委員 坪山君
○坪山委員 簡單ナ問題ヲ質問シタイト思ヒマス、先般來政府ガ買上ゲマシタ六百五十萬石ノ米デスガ、是ハ現在ドノ程度ニナツテ居リマスカ、ソレカラ米穀商ノ謂ハバ買上ゲタル状態ト、産業組合ガ取扱ツタ大體ノ謂ハバ奉テ言ヒマセウカ、之ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ更ニアト何カ三百五十萬石バカリ買上ゲテ居ルハ、到底底底デスガ、是ハ何時頃ドウシテ買上ゲル見込デアリマスカ、其ノ點モ御伺ヒタイト思ヒマス

○横山政府委員 只今政府ガ昨年末來買上ゲマシタ居リマス數量ガドノ程度ニ現在進行シテ居ルカト云フ御質問デアリマスルガ、概數申上ゲマス、全部約四百萬石程度ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ産業組合ト米穀商トガ如何ナル割合デラ納入シタカト云フコトニ付キマシテハ、マダ判明ヲ致シテ居ラスノデアリマス、本日差

得ルト云フ見込デアリマセウカ、更ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○土屋政府委員 努力、肥料其ノ他資材ノ不足ノ際ニ、ソレデ以テ米ノ増産ヲスルコトハ非常ニ困難デアル、是ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマシテ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ事情モアルカト思フノデアリマス、唯今日ノ狀況ト致シマシテ、ドウシテ米ノ増産ヲヤル必要ガアリマスノデ、是非トモ是ハ色々ナ難條件ノ下ニ於テモ増産ヲヤリ遂ゲナケレバナラス、ソコデ是ハ御参考ニナルカナラヌカ分リマセウカ、昨年ノ米ノ増産ノ成績デゴザイマスガ、全體ノ府縣ノ中カラ早稲ノ特ニ甚シカウツ兵庫縣以下ノ十二縣ヲ除キマシタ分ニ付テ、天候ノ影響ト、ソレヲ所謂増産ノ努力トノ影響トガドウナツテ居ルカト云フコトハ、非常ニ難カシイ調査デ不正確デアリマスガ、一應ツツ見タイト思ヒマス、其ノ成績ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、是ハ各府縣ニ於キマシテ豊凶考照試驗ト云フコトヲヤツテ居リマス、其ノ豊凶考照試驗ト云フハ、年々ノ肥料ノヤリ方トカ努力ノ使ヒ方、作付ノ方法ト云ツタヤウナ耕作方法ニ付テ同ジ方法ヲ採リマシテ、同ジ水田デドノ位種レルカト云フコトヲ引續イテ試驗ヲヤツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ田ニ現レマス收穫ノ高ト云フモノハ、ヤハリ天候ノ影響ヲ先ツ主トシテ考ヘテ宜カラウト思フノデアリマス、其ノ豊凶考照試驗ノ結果ニ依リマス、兵庫縣以下ノ十二縣ヲ除キマシタ他ノ府縣デ種レマシタ米ガ五千六百十六萬餘石ゴザイマシテ、ソレガ基準數量ハ四千七百七十八萬餘石ゴザイマスカラ、八百三十八萬石ノ増收ニナルノデアリマス

上ゲマシタ資料ノ中ニ、當初買上ゲマシタ其ノ割合ヲ表シテ差上ゲテアルノデアリマスガ、其ノ後ノ實行ノ成績ト云フ分ハマダ判明ヲ致シテ居リマセウ、ソレカラ其ノ後デ又今申シタ六百五十萬石以外ニ買上ゲテ種ラシテ居ルヤウデアアルガト云フ御話デアリマスガ、是ハ第二回豫想收穫高ニ比シテ實收高ガ相當増收ニナツテ居ルノデアツテ、此ノ増收分程度ハ政府ニ於テ將來買上ゲマシタ希望ヲ持ツテ、其ノ準備ヲ各地方長官ニ依頼ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマス、其ノ買上ハ自然現在實行致シテ居リマスモノガ濟ンダ後ニナルト考ヘテ居リマス

○坪山委員 朝鮮、臺灣ヲ含ム十四年度ノ謂ハバ作付反別、農地反別ト言ヒマスカ、是ハ有ユル作物ヲ含メテ居ルノデスガ、更ニ大體ドノ程度ニナツテ居リマスガ、更ニ十四年度ノ同ジ農地ノ作付反別ノ見込ガドウナツテ居リマスカ、是ハ米ノ増産ナリウナツテ居ルノ謂ハバ、ドウシテモ或ル程度ノ増反ヲシナケレバナラスコトニナリマス、サモナケレバ現在ノ状態デハ到底底底ノ増收ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアリマス、努力モ不足、肥料モ不足デアル、總テノ條件ガ最モ惡イ状態ニアル、然ラザル限りニ於テハ、他ニ減反ヲスベキ作物ガナケレバカラズ減反アル、減反ヲスベキ作物ガナケレバ到底底底ノ増收ヲ圖ルコトハ出來ナイ、又他ノ代用食物ノ増反ヲ圖ル譯ニハ行カナイノデアリマスガ、斯ウ云フ關係ニ付テハドウナツテ居リマスカ

○横山政府委員 只今御話ノ件ニ付キマシテハ、尙ホ資料ヲ取揃ヘマシテカラ御答ヲ

申上ゲマス
○土屋政府委員 只今ノ答辯ヲ少シ補足シテ申上ゲマスガ、數量ハ今米穀局長カラ申上ゲマシタ通り、取揃ヘマシテ申上ゲマス、内地ノコトダケヲ申上ゲルノデアリマスガ、米ニ付キマシテハ先般ノ委員會デ御答辯申上ゲマシタガ、十五年ノ米作ハ水田ト陸稻ニ若干ノ開墾ヲ見テ居リマス、其ノ以外ニハ作付反別ハ現狀維持デアアル、ソレデ栽培法ノ改善等ニ依リマシテ、反收ノ増加ニ依ツテ豫定數量ヲ擧ゲタイ、ソレカラ麥類デアリマスガ、是ハ此處ニ統計ガゴザイマスカラ申上ゲマスガ、既ニ只今播付ケマシタモノニ付テ申上ゲマス、十四年ニ播キマシタ大麥ガ三十五萬百十六町デゴザイマス、ソレニ對シテ十五年ハ三十三萬九千八百二町步デゴザイマシテ、一万町步バカリノ減少ニナツテ居リマス、又別途ノ調査ニ依リマス、調査ガ二本ゴザイマスカラ、ドナラガ正確カ、只今ノトコロ判斷シ兼ねルノデアリマスガ、別途ノ調査ニ依リマス、五十四年七十四町步ノ減反ニナツテ居リマス、ソレカラ裸麥ハ十四年ノ作付ガ三十九萬七千七百餘町步デゴザイマシテ、十五年ノ作付ガ三十九萬四千二百六十九町步、三千七百餘町步バカリノ減反ニナツテ居リマス、小麥ハ十四年ノ作付ガ七十三萬五千三百二十四町步、十五年ノ作付ガ八十一萬六千六百町步、其ハ八萬一千町步餘ノ増ニナツテ居リマス、其ノ他ニ付キマシテハ資料ヲ取揃ヘテ申上ゲマス

○坪山委員 今栽培法ニ改良ニ依ツテト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、ドナラ栽培法ノ改良ニ依ツテ増收ヲ圖ルノデスカ
○土屋政府委員 米ニ付キマシテ申上ゲマ

シマシタ肥料ノ割當數量ガ行クモノト致シマシテ是ダケノモノガ出來ル、但シ是ガ全部デハゴザイマセウ、來年度ノ増産計畫ノ一部デゴザイマシテ、残りノ部分ハマダ豫算ガ確定致シテ居リマセウカ、ソレガ確定致シマスレバ追加豫算トシテ御審議ヲ願ヒタイト思フテ居リマス

○平野委員 私が聽キマスノハ、結局吾々ハ減ルノチヤナイカト云フ質問ナンデス、只今坪山委員カラ質問セラレル意見モ減ルノチヤナイカト云フコトデアアル、減ルノチヤナイカト云フコトニ、政府ノ方ハ去年ヨリモ百二十一萬石餘計作ルト言ハレル、私共ハ去年ノ統計ト云フモノハ信ゼラレナイト思フケレドモ、兎ニ角政府ノ統計ニ依ツテ去年ヨリモ今年ハ餘計作ルト言ハレルナラバ、其ノ作付ト云フコトノ具體的内容、其ノ手段方法ガ此ノ八項目ニナルノカ、是レ以外ノ方法ガアルノカト云フコトヲ聽クノデアリマス、豫算ノ内容デナク方法論ナンデス

○土屋政府委員 百二十一萬石ノ増收ノ手段ハ、此處ニ擧ゲテアル方法デゴザイマス切ナコトデアリマス、此ノ八項目ノ中、凡ソ此ノ項目ニ依ツテ是レ位ノ増産ガ出來、此ノ項目ニ依ツテ凡ソ是レ位ノ増産ガ出來ルト云フ内譯ヲ、尙ホ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 此ノ各項目ニ依ツテ大體ドレダケノ數量ガ出來テ、百二十一萬石ニナルト云フ計算ノ基礎ハ持ツテ居リマスガ、何分ニモ是ハ見込ノコトデゴザイマスカラ、正確ナ數量トシテハ一寸申上ゲ兼ネルト思ヒマス

スト、多收穫品種ノ普及、ソレカラ病害蟲ノ防除、ソレカラ施肥方法ノ改善ト云フヤウナコト栽培法ノ改善ヲ致シマス
○坪山委員 肥料ト努力ト云フヤウナコトニ付テハ十分御認メニナツテ居ルノデスカ
○土屋政府委員 肥料ト努力ニ付キマシテハ、十分ハ申上ゲ兼ネルト思フテ居リマス、上デハ或ハ濟ムカモ知レマセウガ、吾々實際毎日米ヲ作ツテ居ル立場カラ見マス、到底底底產下コトデアリナイ、昨年ノ平年作モ望ムコトガ出來ナイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデスガ、ソレデモ米ハ種レルト云フ御見込デアリマス、私ハ唯論議ナクシテ言フノデアリナイノデ、肥料ノ割當等ニ付キマシテモ兎ニ今日農民ノ不平ノ聲ハ恐レベキモノガアル、私ハ現ニ自分ノ村ノ今年度ノ合成肥料ノ割當ヲシテ見マシタ、政府ハ米麥ニ對シテ八割ダトカ、或ハ其ノ他ノ作物ニ對シテ六割ダトカ云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスガ、實際一反歩ノ反別ニ之ヲ割當テタナラバ、到底是デハ實ガ結バスト云フヤウナ状態デアリマス、今私ノ村デ割當テタ數量ヲ申上ゲテ見ルト、水稻陸稻ニ對シテ一反歩當リ配合肥料ガ五貫目、即チ半噸、硫安ガ一貫三百匁、過燐酸石灰ガ二貫五百匁、石灰燐酸ガ一貫二百匁、加里ガ三百匁、サウシテ其ノ他ノ作付ハドウナルカト云フト、米麥ハ非常ニ厚クヤリマシタガ、其ノ他ノ作物ニシマスト僅ニ配合肥料ガ三貫四百匁、硫安ガ百四十匁、過燐酸石灰ガ七百五十匁、斯ウ云フ状態デアリマス、是デドウシテ米ガ種レルデアラウカ、ソレデモ増收ガ出來

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應置措置ニ關スル件)委員會會議錄 第四回 昭和十五年二月二十一日

○平野委員 無論ソレハ見込デ結構デアリマス、如何ニ政府ガ仰ツシヤラレマシテモ、天候ニ依ツテ左右セラレマスコトハ萬々承知致シテ居リマス、其ノ見込ヲ承リタイノデアリマス

○岡田政府委員 御尤モデアリマス、但シ餘リ仔細ニ互リマス、之ニ依ツテ何千何百万石、或ハ何千何百何十何石ト云フヤウナ計數ガ見出勝チチモノデス、サウ云フモノヲ申上ゲテ見テモドウカト思ヒマス、ソレニ對シマシテ色々觀察若クハ意見ヲ加ヘマス、中々究極スル所ガナイト云フヤウナモノデアラウカト思ヒマスカラ、大綱ニ付テ御示申上ゲ、大綱ニ付テ御承願フコトヲ程度ニ致シタ方宜クハナカラウカト思ヒマシテ、餘リ仔細ナコトハ差控ヘタイト思フノデスガ、其ノ點御承願ヒタク思ヒマス

○平野委員 ソレハ今此處デ御説明ヲ願フコトガ出来ナケレバ、或ハ御研究ノ上表ニシテ御渡シ願フテモ宜シノデス、是ハ決シテ難カシコトヲ言フテ御答辯ヲ苦シメルヤウナ意味デアリマセヌノデ、惡シカラズ御承願フテ、一ツ親切ニ御答辯ヲ願ヒタイノデス、是ハ結局吾々ガ此ノ法案ノ改正ヲ承認シテモ、増産出來ルト云フ御意見ト出來スト云フ見解ノ相違ガアル限リハ、政府ノ方ニ於テ、ドウシテモ是レノノ手ヲ依ツテ出來ルノダ、又肥料ガ足ラヌナラバ追加豫算ニ於テ是レノノモノヲ要求シナケレバナラヌト仰シヤルナラバ、ソレニ對スル御協力モシナケレバナラヌト思フノデアリマスカラ、此ノ八項目ノ手段ニ依ツテ、一例ヲ言フト、「ヘ」ニ當ル所ノ陸稻開墾事業獎勵ニ依ツテ凡ソドレ位出來ルト云

フヤウナ程度ノコトガナケレバ、唯只今政府次官ノ御説フヤウニ細カナコトハ言ハズ、大マカニ任シタラドウカト云フコトハ承服出來ナイト云フコトヲ申上ゲマス、唯此處デ御答辯出來ナケレバ表ニシテ御渡シ願ヒタイ

○岡田政府委員 宜シウゴザイマス、サウ云フ意味デアリマシタラ、凡ソト云フヤウナコトニシテ、極ク大略ニ付テ御答辯マデニ農務局長カラ申上ゲルコトニ致シマス

○土屋政府委員 概數ヲ申上ゲマス、(イ)ノ水陸稻ノ耕種改善規程ノ設定竝ニ之ガ實踐獎勵、是ハ昭和十三年ノ生産カラヤツテ居ルコトデゴザイマシテ、六千七百四十六万五千石ノ生産ヲ維持スルト云フ手段デゴザイマシテ、今度新ノ執手手段ハゴザイマセヌ、隨テ(イ)二百二十一万石ノ内譯ヲ成シテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ次ノ(ロ)多收品種子ノ購入獎勵、是ハ多收品種子ヲ獎勵致シマシテ、之ニ依ツテ約十五万石ノ増收ヲ圖ル見込デアリマス、ソレカラ其ノ次ハ(ハ)水稻温床苗代ノ設置獎勵、是ハ専ラ東北地方ニ行ハレルノデアリマシガ、之ニ依リマシテ約二万石ノ増收ヲ圖ル見込デアリマス、ソレカラ(ニ)陸稻ノ開墾事業ノ獎勵、之ニ依リマシテ約二万石ノ増收ヲ圖ル見込デアリマス、ソレカラ(ト)ノ暗渠排水、客土及ビ床締事業獎勵デアリマスガ、暗渠排水ハ十三万八千石、客土ハ一万五千石、床締ガ六千石ノ増收ヲ圖ル見込デアリマス、(テ)農業公

共施設新設改良獎勵、之ニ依リマシテ約十三万石ノ増收ヲ圖ル見込デアリマス

○坪山委員 農作物ガ自然ノ力ニ左右サレルコトハ當然デアリマスガ、自然ノ作用モ、十分ナル努力モアリ、或ハ肥料モ十分デアラナラバ、或ル點マデハ之ヲ補ヘルトスル、學理上ノ問題ハイザ知ラズ、多年自分ガ自ラ米ヲ作り或ハ麥ヲ作ツテ居ル立場カラ私ハサウ申スノデアリマシテ、實際今政府デ色々御説明ニナツテ居リマスガ、今年ハ容易ナル年柄デアハナイト私ハ考ヘテ居ル、殊ニ萬ガ一天候或ハ其ノ他ノ害デモ被ルヤウナコトガアリマシタラバ、ソレコソ我國ノ食糧問題ニ重大ナル問題ガ招來スルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ特ニ政府ニ於ケレマシテモ最大ノ努力ヲ願ハナケレバナラヌト思フ、殊ニ農業用ノ藥品ノ配給ノ状態デアリマスガ、病虫害其ノ他ガ出マシテモ農業用ノ藥品ガ圓滑ニ行カナイ、是ハ決シテサウ云フ御心配ガナイト仰シヤルノデアリマスガ、其ノ状態ヲ承リタイト思ヒマス

○土屋政府委員 農業用ノ藥品ノ問題デゴザイマスガ、主ナルモノハ硫酸ニ……

一圓五十錢マデシテ居ツタモノガ、政府ノ公定價格デハ八圓八十何錢、九圓以内デア

○横山政府委員 御話ノ點甚ダ御尤モト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ能ク實際ニ當リマシテ、買ヒ得ルナラバ買ヒタイト云フダケデ、現在直ダ是ガ入手極メテ容易デア

○坪山委員 然ラバ此ノ十五年度ニ出來ル米ハ勿論ノコト、大麥、小麦、是等ハ公定價格ヲ變更スル必要ガアラウト思フノデア

○岡田政府委員 其ノ點私カラ御答申シテ置キマス、時價ガ或ル意味ニ於テ非常ニ高

ス、其ノ場合ニ於テ決シテ不自由ヲ感ゼナイヤウニスルカドウカ、ソレヲ御聽キ致シテ居ルノデアリマス

○土屋政府委員 物動ノ計畫ニ合ヒマシクモノハ必ず入手出來ル積リデ居リマス

○横山政府委員 此ノ法案ニ於テ「米穀以外ノ穀物及穀粉」ト書イテアリマスモノハ差當リ何ヲ言フコト云フ御質問デアリマス

ノ如ク低物價政策ヲ堅持シヨウト云フ建前カラシマシテ、容易ニ公定相場ヲ動かスコトハ爲シ得ナイモノト思ヒマス、左様ナ前途ノ假定的ノ問題ニ付キマシテハ、只今彼此レ考ヘテ居リマセヌ、公定相場ヲ行キ得ルカト考ヘテ居リマス

○坪山委員 イツカノ商工大臣ノ御説明ニ依ルト非常ニ不適當ナ公定價格、謂ハバ無理ナ、到底適用ノ出來ナイ價格ハ順次ニ研究シテ訂正スルト云フ御言明ノヤウニ私ハ拜承シテ居ルノデスガ、如何ニ政府ガ低物價政策、低物價政策ト言ヒマシテモ、チヨイチヨイ他ノモノハドンノ上ツテ行ク、獨リ農民ガ生産スル所ノモノノミヲ無理ニ壓迫シヨウト云フヤウナコトハ決シテ行ハ

○岡田政府委員 一般的ニ申シマスレバ、只今商工大臣ノ答辯ヲ御引用ニナリマシタガ、サウ云フコトモ當然考ヘテ置カネバナ

○坪山委員 今年度ノ麥、謂ハバ大小麥ノ收穫見込ヲ政府ハドウ見テ居リマスカ

デ、申スマデモナク之ニ付テ申上ゲルコトガ出來ナイコトヲ遺憾トスル次第デアリマ

○坪山委員 政府ハ代用食物トシテ甘藷ノ獎勵ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、私ノ縣ナドモ相當薩摩芋ハ出來テ居リマス、併

○岡田政府委員 甘藷ニ付キマシテモ只今米麥等ニ付テ御答申上ゲタト同様ナ次第デア

○坪山委員 今年度ノ麥、謂ハバ大小麥ノ收穫見込ヲ政府ハドウ見テ居リマスカ

込シテ居リマス、併シソレ以上ニ豐凶如何ト云フ御尋デアレバ、中々以テ答ヘニクイ

○河野委員 只今ノ御答ヘ、甚ダ私カラ申上

○坪山委員 現在ノ麥ナリ小麦ノ相場ヲ買

○坪山委員 今此處デ御説明ヲ願フ

ヤウナ答辯ハ少シ不謹慎ト思フ、此ノ機
會ニ御即答サレル適當ナ係ガ居デニナラ
ナケレバ、然ルベク後刻調査ヲサレタ上デ
御答辯アツテ然ルベキモノト思フ、現下ノ
事情ニ於キマシテ食糧資源ヲドウスルト云
フコトハ、朝野ヲ擧ゲテノ問題デアリマス、
麥作ニ對スル見込ノ質問ガアツタ際ニ、今
其ノ事ヲ云々スルコトハ、斯クハト云フヤ
ウナ御答辯デハ一層不安ヲ増スノミデアリ
マス、然ルベキ機會ニ御訂正アラントラ
私ハ希望スル者デアリス

○岡田政府委員 御尋ノ氣持、内容ガ能
ク明瞭デアリマス、取敢ズ御答ヲシ
タ譯デアリマスガ、重ネテ御話デアリマス
ルカラ改メテ申上ゲマス、麥作ニ付キマシ
テ今日マデノ経過ガ、天候共ノ他ノ事情上
中々以テ安心ノ出來ナイ状態デアリマス、
相當ノ影響ト打撃ノアルコトハ、今日マデ
ノ経過ニ付テ言ヘバ之ヲ明ニ認メテ居リマ
ス、併シ之ニ付テ詳細ナル御説明申上ゲ
ルベキデアリマス、今其ノ點ニ付キマ
シテ調査報告ガ十分デアリマス、之ハ御
詳シク申上ゲ使ナマスガ、一般的ニハ御
説ノ如ク勿論觀察致シテ居リマス、之
ヲ非常ニ憂慮致シテ居リマス、併シ又麥作
ノ點ニ付キマシテハ此ノ後ノコトモ長クア
ルコトデアリマス、最後ノ見込ニ付テ
マデ中々ノ確ニ申上ゲ使ナマスガ、今日マ
デノ経過ノ不良デアルト云フコトニ付テハ
之ヲ心配致シテ居リマス

○坪山委員 色々御答辯モアリマシタガ、
吾々素人ガ考ヘ、事實細ヲ見麥作ヲ見ル經
驗カラ申シマス、今年ハ決シテ上等ノ收
穫ヲ得ラレナイト確信シテ居ル、サウ云フ
點カラ吾々ハ食糧問題ヲ論ジ、非常ニ心配

シテ居ルノデアリマス、別ニ數字上ドウト
云フノデハナイ、大體今年ハ半年作或ハ九
分作位デアラウ、斯ウ云フ御返答ヲ私ハ總
キタカツクデアリマス、併シ今改メテ御
答辯ガアリマシタカラ、是レ以上ハ見込
相違或ハ議論ニナリマス、カキ申上ゲマセ
次ニ金肥ノ問題ハ別問題トシテ、政府デ
モ自給肥料ノ獎勵ヲ常ニ能クヤツテ居ラレ
マス、是ハ農業經營上極メテ必要ノ問題ガ
ト思ヒマス、併シ自給肥料ノ根柢ヲ成ス
例ヘバ養雞、養豚或ハ牛、馬ニ致シマシテ
モ、現在ノヤウナ飼料ノ配給状態デハ自給
肥料ヲ取ルコトハ困難デアル、又農村ノ畜
力ノ原動力デアル牛馬ノ飼料ノ問題、之
ニ付テモ極メテ配給ガ困難ト感ジツツアル
ノデアリマス、斯ウ云フ家畜ニ對スル飼
料ノ配給ハ、是モヤハリ見込デアリマス、
是カラハモウ少シ潤澤ニ配給ガ出來マ
セウカ、是モヤハリ今マデト同ジヤウデ
ムヲ得ナイ、斯ウ云フ見込デアリマス、
是ハ大體便宜イノデス、別ニ數字上ドウト
言ツテ數字ヲ聽イテ見テ所仕方ガナイカ
ラ、大體便宜イノデス、今マデヨリハ良
クナルドラウカ、斯ウ云フ點ヲ承リタイ
デアリマス

○岡田政府委員 畜産局長ガ居リマス、詳
シク申上ゲルコトガ出來ヨウカト思ヒマス
ガ、只今一寸見エマセヌ、私カラ大體
付テ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、飼料ノ
不足ニ付マシテハ全ク御指摘ノ通りデア
リマシテ、頗ル之ヲ心配致シテ居リマス、
併シナガラ目下又全力ヲ講ジマシテ是ガ補
給ヲ講ジテ居リマシテ、相當程度ニ於テ見
込ヲ立テツツアル、見込モアリマスカラ幾
許カノ補ヒガ付タラウト思ヒマス、尙且

少手持モアツタカラサウデナイガ、現在ニ於
テハドウスルコトモ出來ナイ、統制外ノ肥料
モ非常ニ暴騰ニ暴騰ヲ來シテ居ル、統制ノ
肥料ハ今言フ通り、全ク藥品位ノモノ、小
サナ秤計ナケレバ計レナイヤウナ一反
當リノ肥料、サウ云フ状態デアリマシテ、
近來非常ニ土地ヲ返還スル傾向ガ出テ來
マ、近時ソレガ増加シテ來テ居ルノデアリ
マス、斯ウ云フ點ニ付テハドウ考ヘテ居ル
カ、昨年ノ六月ノ表ヲ出サレテモソレハ當
リマセ

ウツ十分ニ行キ兼ネルト云フ點ニ付テハ非常
ニ心配シテ居リマス、是ガ趣イテ所謂自給
肥料ノ點ニ付テ影響スルデアラウト云フコ
トハ洵ニ當然ノコトデアリマシテ、是ガ又
自給肥料ニ及ボス影響ノ少ナカラザルコト
ヲ考ヘマシテ、ヤハリ是ガ相當ノ影響ガア
リハシナイカト云フコトヲ心配シテ居ル次
第デアリマス、大體ノ状態デケラ申上ゲテ
置キマス

○坪山委員 ドウカ他ノ機會デ結構デスカ
ラ、畜産局長カラ詳シク吾々ノ安心ノ付ク
ヤウニ、國民ガ安心シテ居ラレルヤウニ
御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、
農業保險ノ普及ノ状態デアリマスガ、表ヲ
貴ヒマシテ大體ノ數字ハ分リマスガ、此ノ
農業保險ノ實施シマシテ日ハマダ淺イノデ
アリマスガ、中國ニ非常ナル早害ガアツタ、
之ニ入ツテ居ツタ所ハ恩澤ヲ蒙ツタコトニ
ナリマスガ、不幸ニシテ未加入ノ地方ニ於
テハ、折角法ガアリマシテモ其ノ恩澤ヲ蒙
ラヌ、斯ウ云フ状態ヲ一ツ承リタイ、ソレ
ヲ私共ドウシテ言ヒマスカト云フ、農業
保險ノ手續ハ極メテ煩瑣ナ爲ニ、折角法ガ
アリマシテモ加入スルコトヲ嫌フヤウナ傾
向ガアル、サウ云フ點ヲ一ツ承リタイト思
フノデアリマス

○土屋政府委員 農業保險ハ御承知ノ通り
ニ制定後日尙ホ淺イモノ、デゴザイマス、カ
ラ、マダ全國ニ普及スルニ至ツテ居リ
マセヌ、御手許ニ差上ゲマシタ資料ニモゴ
ザイマスヤウニ、本年二月十一日現在デ保
險組合數ガ百三十八、農業保險組合聯合會
ガ四十二ト云フ數デアリマス、併シ此ノ數
ハ多少豫定致シマシタヨリモ多イ數デゴザ
イマス、ソコデ昭和十五年度ノ豫算ニ於キ

マシテハ既定計畫ヲ繰上ゲマシテ、當初ノ
豫定計畫ヨリモ餘計組合ガ出來ルヤウナ建
前デ、豫算ノ要求ヲ致シテ居リマス、手續
ノ煩雜ト云フ點モ御示シノ通りアルカト思
ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ色々ノ
機會ニ趣旨ノ普及ニ努メテ居リマス、一番
普及ニ支障ヲ生ズルノハ保險料率ノ問題デ
ゴザイマシテ、料率ガ從來ノ十七箇年間ノ
災害統計ヲ基礎トシテ建ツテ居リマス、カ
ラ、十七年間ニ災害ノ多カツタ地方ニハド
ウシテモ料率ガ高イノデ、其ノ間ノ事情ガ
能ク納得キマセヌト、保險組合ノ普及ガ
中々骨ガ折レマス、是ハ關係者ガ一生懸命
ヤツテ居リマス、今申上ゲマシタ通り
數ハ少ウゴザイマスガ、當初ノ計畫ヨリモ
成績ハ擧ツテ居ルヤウナ状態ニナツテ居リ
マス

○坪山委員 今保險率ガ高イガ爲ニ云々ト
言ヒマシタガ、私ハサウデハナイト思ヒマ
ス、私ハ實地ニ之ヲ扱ツテ居ルノデアリマ
シテ、金ヲ掛ケルノハ僅カナ金デ、是ハ問
題デハナイト思ヒマス、唯當事者トナル人
ガ個人別ノ、謂ハバ麥作ノ場合ニ一回、水
稻ノ場合ニ一回ト云フ個人ノ、反別ノ調
査、一筆毎ニ之ヲ調査スルコトガ極メテ困
難デス、例ヘバ村長ト農會長ヲ兼ネテ居ル
人ナラバ、是ハ別ニ問題デハナイノデアリ
マシテ、町村ノ土地臺帳ナリ或ハ個人別
總寄セナリヲ實地ノ調査所ニ持ツテ行キマ
シテ調査ガ出來マス、若シサウデ
ナイ町村ガアツタトシタナラバ、容易ニハ
一筆毎ノ調査ガ出來ナイ、サウ言ツテハ失
禮デスガ、百姓デ自分ノ土地ガ何番ノ土地
ガドウト詳シク知ツテ居ル人ハ殆ドナイノ
デアル、大體把ニ何升時トカ、或ハ種ヲ幾

シテモ麥ニ致シマシテモ、一生懸命作ツテ
政府ノ公定價格デ、是ハ殆ド開ク買ハレ
テシマフノデアル、ドノ人ハ耕作段別ガ幾
ラアル、何段歩テ幾ラノ收穫ガアル、今度
ノ政府買上カラ是レノ出シテ與レト云フ
何價出來ルカはレノ出シテ與レト云フ
割當ノ強制的買上ニ喜ンデ居リマス、
ソレデ買方ノ者ハドウカト云フ、全ク
開相場デアアル、物質的ニモ甚ダ惠マレナイ
状態デアリマス、殊ニ物ノ方面カラ考ヘマ
シテモ、大都會ニハ非常ニ厚クシテ、地方
ニ薄イ、一ツノ例ヲ見マシテモ、日用雜貨
ノ如キモノニ致シマシテモ、東京ヘ來レバ
幾ラデモアル、地方ハドウカト云フト全ク
缺乏致シテ居ル、現ニ實地一反買フトシテ
モ、要リモシナイ表地ヲ買ハナケレバ賣ツ
テ與レナイノデ、ドウスルコトモ出來ナイ
ト云フ状態デアリマス、労働者ガ其ノ日ノ
疲レヲ忘レテ明日ノ興奮ノ爲ニ飲ム一杯
ノ酒ニ致シマシテモ中々得ルコトハ出來ナ
イ状態デアアル、又労働服ノ紺ノ木綿ノ半纏
袴、股引、地下足袋ニ致シマシテモ其ノ通
ハアリマセヌ、本當ニ働ク爲ニ必要ナ經
濟的ナ木綿ノ著物ヲ必要トスルノデアリマ
ス、其ノ取引、半纏袴ノ布ヲ得ルコトモ出
來ナイヤウナ状態デゴザイマス、殊ニ甚シ
キニ至リマシテハ、我國ノ男子、殊ニ労働
者ガナクテハナラヌ所ノ晒布ノ襪、日本人
特有ノ晒布ノ襪、之ヲ得ルコトガ困難デア
ル、コンナコトデ農民ニ緊要ト云フコト云
フコトヲ要求シテ見タ所デ、ドウシテ緊要
一番ガ出來マセウト云フヒタイ、別ニ相
反物モ欲シクハナイノダ、サウ云フ風ナ物
ヲ要求スルノデアリマスカラ、斯ウ云フ配

ラ下スカラ斯ウダト言フ、然ルニ實地ニ調
べル時ハヤハリ一筆毎ニ、大字ノ何處ハド
ウ、反別ハ幾ラ、斯ウ云フヤウニ調べナケ
レバナラヌカラ、ソレガ爲ニ非常ニ手數ガ
掛ル、殆ド期間通りニ、調査ヲシテ徵收令
狀ヲ出ス組合ナドハナイト思ヒマス、現ニ
吾々ガ今年ノ麥ノ調査ヲ疾ニシナケレバ
ナラヌガ未ダ出來テ居ラヌ状態デアリマ
シテ、率ノ問題ヲ云々ト申サレマス、ケレド
モ、率ノ問題ヨリモ手續ノ問題デス、故ニ
一ツ特ニ御留意ヲ願ツテ、極メテ簡便ニ加
入等ガ出來ルヤウニスルコトガ農業保險
ノ第一ノ問題ダト思ヒマス、百姓ナドヲス
ル人ハ非常ニ大難把ナモノデアリマシテ、
頭モ杜撰カモ知レマセヌガ、大難把ニサウ
云フ風ニ物ヲ解釋シテ居ルノデアリマシ
テ、是等ハ餘程御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス
ソレカラ現在小作地ノ返還状況デス、他
ノ地方ハイザ知ラズ、私ノ聞キ得ル範圍内
デハ、相當今日ニナリマシテ小作地ヲ返還
シテ居リマス、ソレハ肥料ガ思フヤウニ買
ヘナイコト、不十分デアルコト、努力ガ不
足シテ居ルコトカラ、イツソ小作地ヲ作ルコ
トヨリモ他ノ方ノ労働者ニ出タ方ガ收入ガ
アル、是ガ非常ニ増加シツツアル傾向ニア
リマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ政府ハ
下御考ニナルカ

○土屋政府委員 努力ノ不足ニ依リマシテ
小作地ノ返還ヲ致シタト云フ例ハ、事實ナ
イコトハゴザイマセヌ、此處ニ持ツテ居リ
マスハ昨年ノ六月ノ調デゴザイマスガ、
事變ノ影響ニ依リ...

給ニ付キマシテモ、特ニ御配慮ヲ願ヒタイト
思ヒマス、殊ニ同シ大蔵省デヤツテ居リマ
ス煙草ノ如キニ至リマシテモ、地方デハ決
シテ良イ煙草ヲ要求シナイ、バットトカ、
或ハ刻ミノ極ク下ノモノヲ要求スルケレド
モ、地方ニハモウ品切レデアル、東京ヘ來
レバ何時デモアル、同シ政府デヤル專賣ノ
品サヘモ斯ノ如ク都會ニ厚クシテ地方ニ薄
イ、外ノ綿製品ナリ其ノ他ノ配給品ニ付キ
マシテハ推シテ知ルベシデアル、サウシテ
毎日ノ新聞ヲ見レバドウデアリマセウ、綿
製品ノ開取引ダトカ色々アル、是等ハヤハ
リ其ノ配給方法ガ惡イノデアル、是ハ農林
省ノ關係デハナイト思ヒマスケレドモ、是
非サウ云フ配給上ノ問題ニ付キマシテモ特
ニ一段ノ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、今
日農民ニ實際ニ接シテ見ルト、不平不滿ノ
聲ガ非常ニ充チ満チテ居リマス、私ハ現ニ
一昨日モ、肥料ノ配給トカ色々問題デ、
農民ニ直接接シタノデアリマスケレドモ、
ヤハリ不平不滿ノ聲ガアル、肥料モ十分與
ヘズ、著ル物モ平等ニ與ヘズ、飲ム物モ與ヘズ、
總テノ物ヲ十分ニシテ居ル、是デ米ヲ餘
計作レトカ、麥ヲ餘計作レトカ言フガ、極
端ニ言フナラバ吾々ハ自分デ食フ物サヘ作
ツテ居ツタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ極
端ナ言ヲ吐ク者モアリマス、此ノ農村ニ不平不
滿ノアルコトハ、決シテ看過スベカラザル間
題デアルト思ヒマス、ドウカ農林當局ハ、
此ノ不平不滿ガ決シテ程度ヲ越サナイヤウ
ニ、特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、過日
來米內總理大臣ハ、苦シイ時ニハ共ニ苦シマウ
ト言ハレタ、當然デアリマス、併シナガラ今ノ狀
態デハ農民ニノミ之ヲ強ヒテ居ル、農民ト
雖モ或ル點マデハ勿論辛抱シマセウ、程度

ヲ越ストソコニ危險性ヲ持ツノデアル、ソ
レコソハ食糧問題ノミナラズ、日本ノ國家
ノ將來ノ爲ニ洵ニ憂慮スベキ問題ダト思フ
ノデアリマシテ、ドウカサウ云フ點ニ付キ
マシテモ、特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、今言ツタ精神的、物質的ニ更ニ優遇ス
ル必要ハナイカ、殊ニ又政府ハ近ク家族手
當ヲ實施サレルヤウナコトヲ聞イテ居リマ
スガ、是ハヤハリ七十圓以下ノ安イ月給
取、勞働者ノ一部分ノ人ニ對シテデアツ
テ、無論額モ少イシ、遲イ感ハアリマス、
ガ、併シ是ハ結構ダト思フノデアリマス、
併シ是ト同ジヤウニ同ジ百姓デモ月收七十
圓以下ノ農民ハ幾ラデモアル、サウ云フ人
コソハ、何ト言ヒマセウカ、非常ニ子供サ
シガ多イノデアル、裕福ナ人ヨリモ月收七
十圓以下位ノ百姓ノ人コソ子供ガ十人モ十
二三人モアルヤウナ状態デアル、是等ニ對
シテモ何トカ考ヘル必要ハナイカ、他ニ對
シテハ家族手當ノ制度ヲ設ケテ、獨リ農民
ノミニ付テ何等ノ考ガナイト云フコトハ、
私ハ不合理千萬ダト思フ、斯ウ云フ點ニ付
テモ何等カノ方法ヲ研究スル必要ハナイ
カ、ソレガ第一デス

時期デナイカ、ソレニハヤハリ米ノ國營檢
査、殊ニ現在ノヤウニ政府ガ米ヲ全國的ニ
買上ゲル場合ニ於テハ、ヤハリ同ジヤウナ
檢査方法デスルコトガ一番宜イノデハナイ
カ、今日マデノ檢査ヲ見ルト、自分ノ縣ノ
産米ノ價格ヲ引上ゲル爲ニ、品質ヨリモ寧
ロ斥量ヲ餘計入レル傾向ガアツタ、四斗入
レル米ノ中ハ決シテ四斗入レテナイ、四斗
ニ升カラ三升入レル、サウ云フ傾向ガアル
ノデアリマシテ、現在栃木縣ナドニ於キマ
シテモ丁度四斗デハ檢査ガ受カリマセヌ、
看貫ノ都合デヤハリ四斗ニ升位入レナケレ
バイケナイ、斯ウ云フ際ニハ統一シタル所
ノ國營檢査ヲ施行スル考ハナイカ、是ガ第
二デアリマス

向ケルコトデアル、是ガ第三デアリマス
ソレカラ第四ハ水源ト森林行政ノ問題デ
アリマス、今日炭ガ高イ、炭ガ無イ、木材
ガ非常ニ騰貴シテ居ル、驚クベキ傾向ヲ以
テ山林ガ伐採サレツツアリマス、ヤハリ之
ニハ一ツノ目安、一ツノ標準ヲ決メズニヤ
ルナラバ濫伐ニ陥ツテ、サウシテ水源ハ涸
渴シテシマフ、其ノ結果ハヤハリ旱害ヲ招
來スル、或ハ水害ヲ起ス、米ノ收穫ニ非常
ナ影響ヲ及ボスト思フノデアリマス、ヤハ
リ炭モ必要デアラウ、併シナガラ森林行政
ノ上ニ於テ是ハヤハリ一ツノ計畫ヲ立テテ
ヤラナカツタナラバ、育ツ方ヨリモ伐ル方
ガ多クナツテハ決シテ爲ニナラヌト思フノ
デアリマシテ、水源ト森林行政ノ問題ニ付
テ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ四ツハ適當ナ
機會ニ大臣ガ出デニナツタ時伺ヒタイト
思ヒマス

昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院

昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第五回

付託議案 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件) (政府提出) (第四五號)

會議 昭和十五年二月二十二日(木曜日)午前十時 二十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 小林 組治君
- 理事 土屋 寬君 理事 深澤 吉平君
- 理事 坪山 德彌君 理事 森 幸太郎君
- 高田 叔平君 坂下仙一郎君
- 今成留之助君 須永 好君
- 平野 力三君 山川頼三郎君
- 國光 五郎君 吉田 賢一君

二月二十一日委員森下國雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ深澤吉平君ヲ議長ニ於テ選定セリ

- 出席國務大臣左ノ如シ
- 農林大臣 島田 俊雄君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林省畜産局長 岸 良一君
- 農林省米穀局長 横山 敬教君
- 農林省臨時農 重政 誠之君
- 村對策部長 農林事務官 石井英之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)

○小林委員長 開會致シマス、理事森下國雄君ハ委員ヲ辭任セラレマシタ、ソレデ理事ノ補闕選舉ヲ行フデアリマスガ、先例ニ依リマシテ委員長カラ指名致シタイト存

シマスガ、御異議ハアリマセカ (異議ナシ)ト呼フ者アリ

○小林委員長 ソレデハ深澤吉平君ヲ指名致シマス(拍手)

○小林委員長 大臣ガ來ラレルマデ便宜政府委員ニ簡單ニ御答辯ヲ願ヒマス

○岸政府委員 昨日坪山君ノ御質問ハ、飼料ノ需給狀況ノ御話デアツタト思フノデアリマスガ、左様デアリマスカ(坪山委員「サウデス、ソレト今後ノ見通シデス」飼料ノ狀態ハ大體昨日政務次官カラ御話モアツタラウト思ヒマスガ、相當困難ナ事情ニアルトハ事實デアリマス、ト申シマスノハ、一面ニ於テ朝鮮、滿洲、北支方面ノ旱害ニ因ツテ飼料資源ガ食糧化サレテ居ル、是ガ爲ニ滿洲カラ供給サレテ居ツタ糶穀或ハ雜下言ツタヤウナモノノ供給方計算的ニモ減ジテ居ル、ソレト國內ノ資源モ同様に事情デ數量ガ減少シテ居ル、更ニ困難ヲ加ヘタ一ツノコトハ、國內ニ於ケル飼料ノ需給カラ言ヒマス、七五割ガ自給サレテ居ツタノデスガ、此ノ七五割ノ飼料モ非常ニ動搖シタ即チ其ノ飼料用ニ向ケテラレタ糶穀等ガ非常ニ値上リシタ爲ニ、之ヲ賣放ツト言ツタヤウナ關係カラ、從來使ツテ居ツタ飼料資源ガナクナツテ、其ノ代リヲ求メルト云フヤウナ關係デ非常ニ動搖シテ居ル、ソレト關係ガ十一、十二、一月ニ掛ケテ非常ニ變化ヲ來シテ居ル譯デアリマス、是等ノ數量ハ色々推算ヲシテ居リマスガ、假ニ内地ノ生産デ埋メ得タトシテモ、ソレガ何等カノ形

デ利用サレテ居ルト云フ假定ノ下ニ、此ノ十五年度ノ見透シヲ考ヘマシテモ、總體デ供給ガ六十萬噸程ハ不足スルノチヤナイカト思フテ居リマス、之ニ對スル考ヘ方トシテハ、ドウ云フ風ニシテ之ヲ補給シテ行クカト云フ點デハ非常ニ苦心ガ要ル譯デアリマス、一應私共考ヘテ居リマスノハ、此ノ六十萬噸ノ數量ノ中デ、度々大臣カラモ御話ノアリマシタヤウニ、甚ダ遺憾デアリマスガ、小動物ガ減ツテ居リマスノデ、其ノ關係デ一部ノ需要ガナクナツテ居ル、斯ウ云フゴトモ因テ入レマシテ、色々補給ノ對策ヲ立テテ居ル譯デアリマス、幸ヒ數年前カラ獎勵シテ居リマス「サイロ」ノ建設モ相當數ガ殖エテ參リマシテ、是等ノ方デ計算上ハ約五萬六千噸程ノ濃厚飼料ノ節約ガ出來ル見込ニナツテ居リマスガ、是等モ實際ノ問題トシテハソレ程ノ量ヲ期待スル譯ニハイカスト思フノデアリマス、併シソレデモマア三四萬噸ノ節約ガ出來ルダラウト考ヘテ居リマス、其ノ他多少外麥モ入ツテ參リマスヤウデアリマスカラ、ソレ等ノ總モヤハリ三萬五千噸ノ利用ガ出來マシタケレドモ、一面ニ於キマシテ大豆及ビ大豆粕ノ方面デ輸入ガ殖エマスノデ、多少其ノ方面デノ補給モ受ケル、併シソレデモ尙本相當ノ量ガ不足致シマスノデ、十五年度ノ物動關係ニ於テモ第三國カラノ輸入ヲ減ヤシテ賣ツテ辻褄ヲ合セタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、併シ是デハ勿論

尙ホ不安デアリマスカラ、目下滿洲方面ニ於テ利用シ得ルモノ、北支方面ニ於テ利用シ得ルモノ等ニ付キマシテモ調査ヲシ、取り得ルモノハ取ツテ補ヒラ付ケタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坪山委員 サウスルト、色々數字ハ御示デスガ、飼料ハ今マデヨリハ多少緩和サレルヤウニ解釋シテ差支アリマセカ

○岸政府委員 第三國カラノ輸入ノ見當モ付イテ參リマスレバ、今マデヨリハ緩和サレルト思フテ居リマス、唯懸ニ付キマシテハ、國內ノ生産ガ減ツテ居ルノミナラズ、滿洲北支カラノ供給モ非常ニ減ツテ居ルノデアリマス、殊ニ最近ノ情勢カラ言ヒマスデ、滿洲カラ供給サレルト期待サレテ居ツタモノニ付テモ多少減ジヤシナイカト云フ感ジモ持ツテ居リマス、其ノ代リトシマシテハ、馬ノ方ニ付キマシテハ大豆ヲ相當量入レル、大豆粕モ特別ニ相當量使フ、斯ウ云フコトニシテ居リマスノデ、懸ハ入りマセスケレドモ、其ノ方面ノ糶穀分ノ補給トシテハ十分付キ得ルト考ヘテ居リマスカラ大體緩和サレル、斯ウ思フテ居リマス

○坪山委員 牛馬モ日ナラズシテ相當糶穀ニ從事シナケレバナラズ場合ニ、濃厚飼料ノ缺乏ハ全ク農村ノ勞働力ヲ減殺スル重大ナル結果ヲ生ムト思フ、懸ノ話ガ出マシタガ、懸ハ元來多少他ノ方ニ行クコトハ當然デアリマスガ、是ノ配給方法トデモ言ヒマスカ、非常ニ是ハ圓滑ニ行カチイチヤナイカ、殊ニ商人ノ手ニアリマシテ、殆ド倍相

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第五回 昭和十五年二月二十二日 五一

場ノ間取引ヲサレテ居ル現狀アリマス、少イモノハ據ドコロナイガ、之ヲ圓滑ニヤハリ少シクツデモ、馬ヲ持ツテ居リ牛ヲ持ツテ居ル者ニ分ケラレルヤウニ、配給機構ノ點ニ付テハ御考ハアリマセカ

○重政政府委員 販賣肥料が本年度ハ相當減ジテ居リマスノデ、自給肥料ノ増産獎勵ニ努メル一策トシテ、都市ノ糞尿ノ利用ニ付テ考ヘテ居ルカト云フヤウナ御質問ガアツタヤウデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ實ハ最近「ガソリン」ノ配給不足ニ依リマシテ運搬上支障ヲ來シテ居ルト云フコトモ考ヘマシテ、ソレ等ニ對シマシテハ「ガソリン」ノ配給ノ特配ヲ致シテ、運送ノ圓滑ヲ期シテ、糞尿ノ利用ニ支障ノナイヤウニシテ居ルノデアリマス、或ハ又近縣ニ於キマシテハ、船ニ依ツテ之ヲ運ビマシテ利用シヨウト云フヤウナ計畫、其ノ他色々目論ムレテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ自給肥料ノ増産獎勵ノ施設ノ一ツト致シマシテ、相當ノ豫算ヲ計上致シマシテソレガ獎勵ヲ致スコトニ大體考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ化學肥料ノ不足ニ對シテ、代用化學肥料ノ

研究ヲヤツテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、是モ實ハ備前石ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ鐵礦土ヲ非常ニ含ンデ居リマス、備前石ノ國內産ノモノガ相當ニアルノデアリマス、ソレ等ニ對シマシテハ、前年來助成金ヲ交付スルコトニ致シテ居リマス、又是ガ利用ニ付キマシテハ、特別ナ方法ニ付テハ農事試驗場等ニ於テ、簡單ナル設備デアリマスガ工場設備モ設ケサシテ、利用ニ付テノ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ特殊化成肥料ト云フ名目ノ下ニ、特殊備前ノ利用ハ或ル程度實用化ヲ現ニ致シテ居リマス、又加里鹽ガ御承知ノヤウニ我國ハ全然資源ガナイノデアリマスガ、海綠石ト云フモノガ最近處々ニアルコトガ發見セラレマシテ、是ガ或ル程度ノ加里分ヲ含ンデ居リマスノデ、是ガ處理ニ付テ早速農事試驗場ニ於テ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、マダハハツキリシテ見透シハ付キマセカ、相當ニハ有望ナリマシテハナイカト云フヤウナコトモ言ハレテ居ルノデアリマスガ、海綠石ノ所在ノ發見ヲ致シマス同時ニ、是ガ利用ニ付テノ研究ヲ現在致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○重政政府委員 特殊備前ニ付キマシテハ、今申上ゲマシタヤウニ現ニ利用ヲ致シテ居リマス、是ハ過燐酸ノ補給ニ使ツテ居ル次第デアリマス、加里鹽ニ付キマシテハ、少クモ本肥料年度ノ間ニハ一寸合ヒ兼ネルト考ヘテ居リマス

○重政政府委員 一寸今ノハドウ云フ御趣旨ノ質問デアリマシタカ、甚ダ恐入リマスガ……

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

料ヲ非常ニ心配シテ居ルノデアリマシテ、國家トシテ今八月後ノ肥料ニ付テドウモ見透シガ付カストカ、ドウモ當ニナラスト云フコトニナツタラ、之ヲ聞キマシタ農民ハドウ考ヘマスカ、謂ハバ今日マデハ前年ノ肥料ガ相當殘ツテ居ルカラ、ソレガ幾分ノ肥料イテ居リマスガ、段々去年カラ肥料ガ非常ニ少額ニナツテ居ル、今年ノ水稲ニ於テモ其ノ通り段々少クナツテ居ル、八月後ノ肥料ノ見透シガ付カスト云フコトニナリマシタラ、是ハ米ノ増産、食糧問題ノ増産ドコロデアリマセカ、非常ニ由々シキ問題ガ招來スルト思ヒマス、大凡ノ見透シデモ宜イ、大體ニ於テ去年ノ麥ヲ仕付ケル時ヨリモ百姓ノ方ヘハ大體多ク行ク豫定デアルト云フ大體論ヲ結構ト思フノデス、ドウカソレヲ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス

トニスル方ガ段取ガ宜イノチヤナイカト思ヒマス

○重政政府委員 勿論段取ハ其ノ方ガ宜イノデスガ、米ノ増産ト云フ問題ニナルトドウシテモソコヘ行クト思ヒマス

○重政政府委員 特殊ノ天災地變等ニ依ル場合ニハ豫想ガ出來ナイト思ヒマス、是ハ據ドコロナイ場合モ出來ヨウト思ヒマスガ、併シ農家カラ言ハセルト、既ニ先カラ先ト肥

○重政政府委員 ソレハ只今申上ゲマシタヤウニ、非常ニ條件ガ好ク生産ヲ致シマスレバ、相當ノ確安ノ生産ハ我國ノ現狀ノ設備ガ出來ル譯デアリマスカラ、平年通りノ生産條件ニ於キマシテモ、本年度ノ如キ減産ハナイ管デアリマスノデ、來年度ノ麥作ニ付キマシテハ相當確安ノ供給ハ出來ルコトト考ヘテ居リマス

○重政政府委員 大體ノ項目ニ止メテ居リマスガ、併シ政府委員ノ答辯ニ依リマシテ已ムヲ得ズソコニ至ラザルヲ得ナイト思ヒマス、吾々ハ落著ク所ニ落著クナケレバ安心ガ付カナイノデス、私個人ノ問題デナクシテ、國民ノ聽カントスル所ヲ私ハ聽クノデアリマス、併シ委員長ガサウ云フ御發言デアレバ此處デ議論スル譯デアリマセカ……

○重政政府委員 是ハ重大ナ問題デアリマスカラ十分ニ質問シテ戴イタラドウカト思フノデス

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

○島田國務大臣 委員長ノ御話モアリマシタカラ、私ハ強ヒテ發言スルコトモナイカト思ヒマスガ、坪山君ノ御質問ノ御趣旨ハ私ハ御尤モト思フノデアリマス、ソレト同時ニ、事務當局トシテ只今政府委員ガ御答シタ點モ、是ハ坪山君ニ於テ御諒察ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、只今議會ヲ控ヘテ、サウシテ色々ナ案ガアリナガラ、一

○重政政府委員 是ハ重大ナ問題デアリマスカラ十分ニ質問シテ戴イタラドウカト思フノデス

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

○重政政府委員 是ハ重大ナ問題デアリマスカラ十分ニ質問シテ戴イタラドウカト思フノデス

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

○重政政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、併シ本年ノ八月以後、來年ノ二月マデノ間ハ來肥料年度ノ上期ニ於ケル推算ハ、是ハ中々難カシイコトト思フデアリマス、マア常識ニ申上ゲマシレバ、假ニ確安ニ付キマシテハ、前年ノ如キ數十年來稀ナ早害ガ起ツテ、サウシテ水力電氣ノ發電量ガ減ジテ、其ノ爲ニ確安工場ニ供給スル電力ガ減ツタト云フヤウナコトガ起ラネバ、少クモ確安ニ於キマシテハ、普通ノ年柄ニ於ケル確安ノ生産量ハ、本肥料年度ノ如キ著シイ減少ヲ來スコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ是モ天候ノコトデアリマスノト、一ツハソレヲ補給致シマス火力發電、即チ供給セラレル石炭ノ量ト云フコトニ關係ヲ持ツデアリマスガ、ソレ等ノ石炭ノ増産計畫其ノ他ガ願望ニ付テ云フコトデアレバ、確安ハ恐ラク本肥料年度ヨリハ相當量ノ生産ガ殖エルコトト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ確安ニ付キマシテハ、本肥料年度ノ如キ窮屈サハ感ゼズニ濟ムノデハナイカト云フ風ナ、常識的ナ觀察ハ出來マスガ、之ヲ數字ニ當リマシテ、今カラ推算ヲ致スコトハ中々困難ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ、現在ニ於キマシテハ、吾等ト致シマシテハ、今年ノ稻作ニ如何ニ多ク肥料ヲ供給スルカト云フコトニ日夜奔命ニ疲レテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、本年ノ八月以降ノ肥料ニ付テハ、實ハ未ダ考ヘテ居リマセカ

シテモ出来マセスガ、八月以降ノ事柄ハ只今ノ状態ヨリハ相當著シテ計畫ノ立テ得ルヤウナ事情ニナルモノ、又ナラセナケレバナラヌモノト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、其ノ自己ノ責任者トシテノ見透シヲ一應申上テ御覽解ヲ得タイト思フデアリマス。

○坪山委員 昨日質問シテ置イタノニ對スル大臣ノ答辯ヲ顧ヒタイト思ヒマス。問ノ一ツハ、農民ノ精神的及ビ物質的ニ優遇スル必要ガアル、斯ウ云フ點ニ付テノ御所見デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、其ノ詳細ノ質問ノ内容ノ御意見ハ承ル機會ヲ得マセシタケレドモ、是ハ御尤モナコトデアリマシテ、精神的ノコトニ付キマシテハ色々方面カラ農民ノ精神ヲ鼓舞激刺シマシテ、農民トシテノ使命ヲ喜シナケレバナラヌコトハ勿論デアリマシテ、又常ニ左様ナ點ニ付テハ是マデノ當局モ努力ヲシテ居ルコトデアリマス、唯斯ウ云フ方面ノ事柄ハ、非常ニ形ニ現レニタイ、成マスカラ、其ノ成績ヲ擧ゲルト云フコトニ付テハ相當困難ガ伴フコトト思フノデス、又物質的ノ方面カラ優遇ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ所謂國民ノ全體カラ言ヒマス生活ノ安定ヲ得セシムル、抽象的ニ言ヘバ斯ウ云フコトニナリマスガ、是ハ現内閣トシマシテ既ニ總理大臣ガ世間ニ發表シテ居リマス國民ノ戰時體制下ニ於ケル生活ノ確保ト云フコトヲ、一ツノ大イナル目標トシテ居ル次第デアリマシテ、就中此ノ國家ノ基礎ナル農民ノ生活ヲ安定セシメ、其ノ基礎ヲ確カニスルト云フコト

ハ、第一ノ努力ムベキ事柄デアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、固ヨリ組織マダ日ガ淺ウゴザイマスカラ、此ノ内閣ノ之ニ對スル具體的ノ方策ト云フモノヲ技ニ掲ゲテ協賛ヲ得ルノ程度ニ達シテ居ナイモノガ多クアルノデアリマスケレドモ、御意見ノ點ニ對シマシテハ優遇ヲシ、精神的ニモ物質的ニモ向上ヲシ、生活ノ安定ヲ確保スルト云フ風ヲ考デアリマス。

ソレカラ米穀ノ專賣ニスルト云フコトガ宜イト思フコト云フコトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ本會議ノ席上ニ於テモ度々御答申上ガマシタヤウニ、今日ハ專賣ニスルカ、又強度ノ一種ノ國家管理ノ方法ヲ持チ得ルカト云フコトニ付キマシテ、相當ニ突進シテ研究ヲシテ、何等カ其ノ方面ニ向ツテ具體的ノ考ヲ進メナケレバナラヌヤウナ事態ニナツテ居ル、唯專賣案ト云フモノヲ往年ノ如ク研究話題トシテ他日ニ殘スト云フヤウナ緩慢ナ態度ヲ臨ムコトハ出來ナイ状態ニ、今日ノ米穀ノ事情、殊ニ戰時ニ於ケル事情ト云フモノガナツテ居ルヤウニ自分ハ考ヘテ居リマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ眞劍ニ研究ヲ致シテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス。

ソレカラ米穀ノ國營檢査ヲ實施スルノ點ニ付キマシテハ、是ハ既ニ昨日豫算總會ヲ通過シマシタ豫算中ニ、國營檢査ノ豫算ガ通過シテ居リマシテ、只今法制局トノ間ニ折衝ヲシテ、不日此ノ米穀ノ國營檢査ニ關スル法律案ヲ提出スルヤウナ運びニナツテ居リマス。

ソレカラ自作農創設ヲ徹底シ、全國農民ヲ自作農ニスル必要ガアルト云フ御意見ニ付キマシテハ、是ハモウ年來唱ヘラレテ居

ルコトデ、自作農ノ創設維持ト云フコトハ傳統ノ一ツノ方針ト見テ宜カラウト考ヘルノデアリマス、唯茲ニ私ハ此ノ自作農創設ト云フコトニ付テ考ヘテ居ル事柄ヲ一言附加ヘテ申上ゲマスガ、小作制度ノ改善ヲシ、小作人ノ地位ヲ向上スル、是モ現下ノ問題デアリマス、ソコデ小作人ヲ保護シ、又其ノ地位ヲ向上セシムルト云フ、其ノ極點ハ何處ニアルカト云フコト、自作農ト云フコトニナル、小作人ト云フコトニナル、是ハ租稅ノ負擔モシ、小作人ト違ツテ意味ノ公課ノ負擔等モスル譯ニナルノデアリマス、ソレデ小作人ヲサウ云フ風ニシテ、小作制度ト云フモノガ然ラバマルデ無クナルカト云フコト、ヤハリ小農、小作イ土地、畑ヲ持ツテヤウテ居ル所ノ農民ハ自作農トシテ居ルケレドモ、一朝不慮ノ事ガアリ、或ハ財政、經濟等ノ關係カラ致シマシテ、家計上ノ都合等カラ、自分ノ土地ヲ放スト云フコトハアルケレドモ、農民タル地位ハヤハリ離レルコトガ出來ナイカラ、ソコデ自作農ハ維持獎勵ヲシテ、是ノ創設ノコトニ努力ケレドモ、一方ニ於テハ自作農カラ小作農ニナツテ行ク所ノ者ガ相當アルモノト見ナケレバナラヌ、ソコデ之ヲ全體トシテ考ヘレバ、局部的ノ言ヘルカモ知レヌガ、全體トシテ之ヲ見ルト云フコト、自作農ガ小作農ニナルコトガアリ、小作農ガ向上シテ自作農ニナル、斯ウ云フ風ニ小作ヲ自作ニ持上ゲテ行クト云フコトガ、サウシテソレヲ維持スルト云フコトガ國家ノ

政策デアルケレドモ、ソレ同時ニ、ソレハ總テ自作農ガ何時カノ機會ニ、折角自作農ト云フコトガアル、サウシテ其ノ間ニ自作農ト小作農ニテ居ル自作農ト云フ者モアル譯デ、自作農ト云フモノノ制度ハサウ云フヤウニ考ヘルト、土地ノ制度ト共ニ併セテ、其ノ兩者ノ共通シテ居ル點ニ付テ著目ヲシテ、此ノ對策ヲ立テ行クノ必要ガアルモノデアラウト云フ風ニ自分ハ考ヘテ居リマス、隨テ其ノ意味ニ於キマシテモ自作農ト小作農ニ階級シメルニ小作農ニナルヤウナ境遇ニ置カナイヤウニ之ヲ維持シテ、ソレカラ又小作ヲ保護シテ或ル程度ノ之ニラ之ヲ自作農ニ至ラシムルヤウニシテ行ク、又土地ヲ持ツテ居ツテ自ラ耕作ヲシナイ所ノ人達ニ對シテハ、成ベク自ラ耕作ヲスルヤウナ立場ニナラシムルヤウニ、ソレナラ大地主ヲ直チニ廢止シテドウスルト云フヤウナコトハ亦重大ナル問題デアリマスケレドモ、大體ノ考ヘ方ガ、農地地ハ其ノ土地ヲ持ツテ居ル者ガ自ラ耕ス、斯ウ云フヤウナ根本ノ大キナ原則ニ副ヒ、ソコノ大キナ線ニ沿ウテ國策ヲソレニ向ケテ行クヤウニスベキデアラウ、左様ナ意味カラ考ヘマシテ、此ノ自作農ノ創設維持ト云フコトニ付テハ、農林省トシテハ、又歴代ノ政府モ此ノ點ニ付テハ傳統的ニ此ノ方針ヲ持ツテ來テ居ルモノト斯様ニ考ヘテ居リマス、自分自身ト致シマシテモ左様ナ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス。

今一ツ最近山林ノ伐採狀況ニ鑑ミテ治山治水、水源涵養ニ付テ考慮ヲ拂フノ要ガアルガト云フコトデアリマスガ、是ハ私ハ戰

時下ノ今非常ナ場合ニ於テ外國ノ用材ガ入ラナイ、ソレガ爲ニ内地ノ需要ハ固ヨリ、滿洲支那ノ需要ニ應ズル爲メ非常ナ木材ヲ伐出ス、又木材ノ關係カラ致シマシテ、ガソリンノ代用ノ木材ガ要ルト云フヤウナコトデ、是マデノ家事用其ノ他ノ需要以外ニ、ガソリンノ代用ノ木材ガ非常ニ必要トスル、是モ山ヲ伐出スコトニナリ、ソレカラ又石炭ガ不足スルト云フヤウナ事情カラ、燃料ノ爲ニスル石炭代用、或ハ工業用ノ木材ノ需要モ御承知ノヤウニ非常ニ増加ヲ來シテ居ル、左様ナ關係カラシテ山ヲ非常ニ荒スト言ヒマスガ、木ヲ伐出スコト云フコトガ非常ニ多クナツタト云フコトハ、只今ノ時勢トシテハ一時の見テ、或ハ此ノ事變中ノ現象ト見マシテ已ムヲ得ザル事柄デアルカラ、ソレヲ直チニ反對スルトカ阻止スルト云フコトハ容易ナラヌコトデアルト思フ、此ノ事變ノ困難ヲ切抜ケルト云フコトニ付テハ、之ヲ敢テ忍ンデヤウナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスケレドモ、併シナガラ此ノ結果又其ノヤリ方如何ニ依ツテ、治山治水並ニ水源ノ涵養、斯ウ云フ問題ニ深刻ナ重大ナ影響ノアルト云フコトヲ、深く當路者トシテハ考ヘナクテハナラヌコトデアリマシテ、隨テ官民有ノ區別ヲ問ハズ山林ノ保護、又伐採後ノ處置ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、大イニ注意ヲ以テ其ノ善後ノ計畫ヲ立テナケレバナラヌコトト考ヘテ居ル次第デアリマス、固ヨリ治山治水ノ事柄ハ、平時ニ於キマシテモ大イニ注意ヲシナケレバナラヌ、直目ニ見エナイコトデ疎カニ勝チデアルカラ、尙ホ政府ノ當局トシテハ深キ注意ヲ以テ其ノ保護ヲ圖ラネバナラヌデアリマス、今日ノヤウ

ニ木材ノ伐採等ガ非常ニ多クナツテ、或ハ濫伐ト云フヤウナコトニマデナラントシテ居ル時ニ當リマシテ、一層深キ注意ヲ以テ此ノ對策處置ニ付テ考ヘナケレバナラヌト思ツテ、非常ニ私ハ此ノ點ニ付キマシテハ心配ヲシテ、其ノ處置ニ關シテ考究ヲセネバナラヌト憂慮ヲ以テ考ヘテ居ル次第デアリマス、大體私ニ御承知シナリマシタ點ハ以上ノヤウナ點ト思ヒマスカラ、是ダケヲ御答致シテ置キマス。

○坪山委員 色々大臣カラ御答ガアリマシタガ、直接大臣ガ御聽ニナラヌ結果デアリマセウガ、餘程私ノ質問ノ眞意ヲ外レタ點モアリマス、併シ是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、唯最初ノ農民ニ對シテ物質的優遇ヲシナケレバナラヌト云フ點ニ付テ、モウ一點御答致シマス、私昨日ヤハリ申上ゲタノデスガ、今度或ル一部ノ勞務者、謂ハバ月收七十圓以下ノ勞務者、俸給生活者ニ對シテ家族手当ヲ支給サレルヤウナコトニナリマシタ、併シ同ジヤウナ状態ハ、月ニ割ツテ見タナラバ七十圓以下ノ農民ガ隨分アルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、サウ云フ人コソ老人ヲ持チ、深山ナ小供ヲ持ツテ居ル、洵ニ勇氣ノ毒ノヤウナ状態ノ農民ガ多イノデアリマシテ、月收ノ少イ人ホド子供ヲ深山持ツテ居ル、斯ウ云フ農民ニ對シテモヤハリ當然何カ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマス。

○島田國務大臣 農民ノ生活状態ノ非常ニ困難デアルト云フコトニ付テ、多數ノ農民ノ苦シンデ居ル、又苦シミツク農作ニ從事シテ居ルト云フコトハ何人モ認メル所デアリ、私モ深クソレヲ認メテ居ルノデアリマ

スガ、此ノ多數ノ農民ニ對シテ、小額ノ俸給生活者ニ對シテ只今家族手当トシテ、御承知ノヤウニ十四歳以下ノ扶養者ヲ持ツテ居ル者ニ對シテハ、月二圓程度ト思ヒマシタガ、ソレヲ平均ト致シマシテ、其ノ程度ノ特別ナル手当、或ハ年末ノ手当等ノ方法ニ依ツテ特別ノ手当ヲスルト云フコトガ今日決定サレタノデ、ソレニ對シテ政府トシテ出支ヲスルト云フヤウナコトハ致サナイノデアリマスガ、政府内部ノモノニ付キマシテモ、此ノ政府ノ持ツテ居ル各省各都府ノ豫算ノ人件費ノ申カラソレ等ノコトヲ融通出來ル場合ニハ、非常ニ限ラレタ部分ニ過ギナイノデアリマシテ、今日ノ状態カラ申シマスレバ七十圓以下ト云フコトハ或ハモット高イ程度ニシ、十四歳以下ノ扶養者ト云フコトモ此ノ範圍ヲ擴ゲル必要ガ事ニ於テハアルカモ知レナイガ、中キサウ云フ餘裕或ハ財源ト云フコトニ付テモ考ヘニタイコトデアリマシテ、殊ニ軍隊ナドノ方面ニ於テハ、小額ノ俸給ヲ以テ軍務ニ從事シテ居ルト云フ人ノ數ガ随分多イ、又警察署等ニ於キマシテモ、役所ノ關係ヨリハ多イノデアリマスガ、中キ今ノ檢約ヲシテ此ノ大キナ戰爭ヲシナケレバナラヌト云フ場合ニ於テ、サウ云フ餘裕ヲ見ルコトガ出來ニクイ、ソレデアラレテ居ル人件費ノ中ヲ何トカ繰廻シヨ付ケテヤレバト云フ意味デアラウト云フコトデアリマシテ、之ヲ直ニ全國ノ農民全體ニ其ノ事ヲ考ヘ及ボシテヤルト云フコトハ、政府ノ出支ニ於テヤルト云フコトニ付キマシテハ中キ巨額ヲ費用スルコトデアリ、今日ノ財政状態トシテ餘程困難ナコトデアラウト思ヒ

マスガ、其ノ意味心持ト云フコトニ付キマシテハ、出來得ル限リト云フ考ニ於キマシテハ、坪山君ノ御質問ノ趣意ヲ詢ニ御尤ト私ハ思フノデアリマスガ、事實ニ於テ之ヲ行フト云フコトハ相當困難ガアル、財政上ノ關係カラ云ツテ、國庫ヨリ之ヲ支拂シテ行クト云フヤウナコトニ付テハ相當困難ガ伴フモノノヤウニハ考ヘテ居リマス、唯今同稅制ノ整理改正等ガアリマシテ、地方ノ分與稅ト云フ形ニ於テ、地方農村ノ力ニ應ジテ、政府ガ一旦取上ゲタ稅ヲ分與シヤルト云フコトガ出來、多少ノ斟酌ガ出來ルヤウニナツテ居リマスカラ、サウ云フ生活困難ナ農村等ニ對シテ相當ノ力ヲ與ヘテ、ソレニ依ツテ間接ニ農民ノ生活ノ幾分カデモ好タナリ、潤フヤウニスルト云フヤウナコトハ、實行ノ上ニ於テハ多少ノ事ガ出來ルカト思ヒマスガ、直チニ此ノ小額ノ俸給者ニ是ダケノコトヲスル方針ガ出來タカラ、農民ニ對シテモソレニ均當スルノ途ヲ開クト云フコトハ、趣意ハ洵ニ御尤デアリ、同感ノ意ヲ表セザルヲ得ナイノデアリマスケレドモ、實行トシテハ今申上ゲマスヤウナ困難ノアルト云フコトヲ、私ノ立場トシテ一應申上ゲテ置キマス。

○小林委員長 高田君

○高田委員 事實ハ餘リ質疑ナドヲシタクナイノデ、十數年前ヨリ農林行政ニ付テハ實際一度モ質疑シタコトハアリマセヌ、併シ今度ハ我慢ガ出來ナイ、即チ食糧ニ對スル農林當局ノ考ト私ノ見方トモ非ニ違ツテ居ルノデスカラ、ドウシテモ是ハ餘リヤリタクナイ質疑デモ出來ルダケ徹底的ニ伺ツテ、サウシテ國民ヲ安心セシメ、吾々モ同様安心シタイト思フ爲ニ伺フノデアリマスガ

シテモ出來ルベシガ、八月以降ノ事柄ハ只一ハ、第一ノ努力ムベキ事柄ナリトシテ、今ノ伏見ヨリ、ヨリトシテ...

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第五回 昭和十五年二月二十二日
テ此ノ場合モ其ノ際ニ値上ヲスルカ、補助...

ラ、ドウソ出來ルベシガ、八月以降ノ事柄ハ只一ハ、第一ノ努力ムベキ事柄ナリトシテ、今ノ伏見ヨリ、ヨリトシテ...

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第五回 昭和十五年二月二十二日
出セバト云フ考ガ其處ニ動イテ來ル、是ハ...

シテモ出來ルベシガ、八月以降ノ事柄ハ只一ハ、第一ノ努力ムベキ事柄ナリトシテ、今ノ伏見ヨリ、ヨリトシテ...

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第五回 昭和十五年二月二十二日
出セバト云フ考ガ其處ニ動イテ來ル、是ハ...

ラ、ドウソ出來ルベシガ、八月以降ノ事柄ハ只一ハ、第一ノ努力ムベキ事柄ナリトシテ、今ノ伏見ヨリ、ヨリトシテ...

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第五回 昭和十五年二月二十二日
出セバト云フ考ガ其處ニ動イテ來ル、是ハ...

フ關係カラ國家ノ事情ヲ能ク知ラシメ、サ
ウシテハ學生、生徒、兒童、斯ウ云フモ
ノヲ通シテ、又厚生省トシマシテハ保健衛
生ノ立場カラ節米ニ協力ヲセシムルヤウニ
一ツノ手段ヲ立テ、之ヲ實行徹底セシムル
ヤウニ致シタイト云フ考ヲ以テ折角協議ヲ
シテ、兩大臣トモ之ニ付テハ全額ノ賛意ヲ
表シテ、此ノヤリ方ニ付テ唯形式ニ流レナ
イヤウ、實際ニ效果ノ舉ルヤウニ致シタイ、
殊ニ一番困ルコトハ、農村ニ於キマシテハ他
ノ農作物ガアリマスカラ、代用食、若クハ混
食ノ場合デモ、農民ガ是ノ理解ヲ十分ニ致
シマスレバ、混食、代用食、又節食ノ實ヲ
直チニ上テ得ルト云フヤウナ事情ガアルノ
デアリマスカ、消費地、殊ニ大都會地ニ於
キマシテハ、人口ノ組織ガ非常ニ複雑シテ
居ルヤウナ關係、又種々社會ノ事情、爲ニ、
直チニ大消費地ニ於ケル節米ノ實績ヲ舉
ゲルコトガ非常ニ困難デアリマスカ、私
ノ主トシテ力ヲ注イデ考ヘネバナラヌコト
ハ、即チ大ナル消費地、東京ヲ初メ大阪外
大都會ニ於キマシテ、全體ノ人口ニ付テ千
何百万ト云フ人口ヲ包容シテ居ル大ナル消
費地デ、俗ニ言フ米ノナル木ヲ見タコトノ
ナイ都會人士ニ對シテ、節米及ビ混食、代
用食ノ實ヲ舉ゲシムルヤウニシテ行クコト
ガ、今日ノ非常ニ急務デアルト考ヘルノデア
リマスカ、農林大臣ノ官舎デ食事ヲシタ時ニ
白飯ヲト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、
大抵高田君ガ御出デニナル時ハ、私ハ西洋
料理カ何カデハナカウタカト思ヒマスカ、併
シハ辨當屋ガ持ツテ來タリスル關係デア
リマシテ、之ヲドウモ強制スルコトモ出來
難イノデ、サウ云フ事柄ガアツタカモ知レ
マセスケレドモ、是ハ決シテ農林省ガ節米

ニ不熱心デアルト云フヤウナ意味デアアリ
マセシ、現ニ本省ノ大キナ食堂へ、私ハ今
度ハ忙シクテ餘リ行キマセシガ、一度バカリ
出掛ケテ行キマシタガ、本省ノ食堂ノ辨當ハ
皆七分搦テ黒飯ヲヤツテ居リマスカ、決シ
テ吾々ガ之ヲロニスルガケデ行ヒニ不熱心
デアルト云フヤウナコトハナイ次第デアリ
マスカ、唯ソレニ付テ、私ガ言ツタコトガ不
熱心ニ聞エタト云フヤウナコトニ付キマシ
テハ、是ハドウモ私ノ顔付ガ、サウ云フヤ
ウニ物ヲ非常ニ悲觀シタリ苦ニシタリスル
ヤウナ顔ニ見エナイコトガ(笑聲)或ハ禍ヲ
シテ居ルノカモ知レナイと思フノデアリマ
スカ、自分ハ内心、節米ヲシテ食延シマス
ルトカ、代用食、混食ヲシテ食延シマス
ト云フコトハ私モ深ク考ヘテ居ル次第デア
リマシテ、是ハ需給ノ推算ニ於テ是ガ足リ
ルトカ足ラナイトカ言フノデハナク、實際
ニ於テ此ノ事柄ハ、平時ニ於テモ米ヲ大切
ニシ、節米ヲスルコト云フコトニ付テハ、大
イニ努メナケレバナラヌと思フノデアリマ
スカ、殊ニ只今ノヤウナ事情ノ下ニ在ツテハ、
一層注意ヲ要スルコトト考ヘテ居ル次第デ
アリマスカ

○高田委員 兎ニ角大臣ガ徹底的ニ節米ノ
宣傳ヲスルト云フ決心ナラバ結構デアリマ
スカレドモ、世間デハサウデナク傳ヘテ居
ルノガ中キアルノデアリマスカ、此ノ場
合ニ於テ大臣ガ徹底的ニ節米ヲ宣傳スルト
云フコトヲ言明サレタコトハ、私非常ニ意ヲ
強クスル所デアリマスカ、ドウゾ一ツ徹底的ニ
節米ノ宣傳ヲナサレンコトヲ希望シマスカ
時間ニナリマシタケレドモ、モウ一ツ
差掛ツタ問題ト云フカ、端境期ニ處スル間
題ガ一ツアリマスカ、ソレヲ伺ツテ置

キマスカ、馬鈴薯増産ノ問題ハ、便宜ヲ得タ
コトト存ジマスカ、此ノ前ノ本會議ノ時ニ大
臣ニ、私ガ大麥、裸麥、小麥ノ本年出來ル
モノヲ確保シテ、之ヲ端境期ノ食糧ニ供ス
ル方法ヲ執ラナケレバ困ルデハナイカト云
フ警告ヲ申上ゲマシタ所、大臣ハ御同意ノ
旨ヲ御答ニナツタ、ソコデ問題ハナゼ私ガ
御承知ノ通り、滿洲、北支ニ對シテ、歐洲
ヨリ輸入スル小麥百五十万石、ソレニ内地
産ノ小麥ノ二百五十万石、滿洲ニ内地ヨ
リ供給スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマ
スカ、尙ホ其ノ外ニ米百萬石ガアリマスカ、内
地ノ食糧ガ不安デアアル此ノ際ニ、小麥、米ヲ
合セテ四百五十万石モ、昭和十五年度ニ供
給スルコトニナツテ居ルコトハ、マア從來
ノ交誼上カラ已ムヲ得マセシカ私共忍シ
テ同意ヲ致シマスカレドモ、北支、滿洲ニ
四百五十万石モ、米、小麥ヲ送ツテ、而シ
テ内地ニ於テ是ラナイ場合ニナツタナラバ、
是ハ何ト申シテ宜シイカ、批評ノ仕様ヲナ
イ失政デハナイカト思ヒマスカレドモ、今
ノ所サウ云フ状態ニナツテ居リマスカ、併
シ本年ノ端境期ニ於テ、本年出來ル米麥ヲ又
來年滿洲北支ニ送ルト云フコトハ、勿論滿
洲北支ノ本年ノ小麥作等ノ狀況ヲ見ナケレ
バナリマセスケレドモ、成ベク私ハ端境期
ニ於テ出來タ大麥小麥裸麥ト云フモノハ、
之ヲ他ヘヤラズニ内地ニ確保シテ、所謂混
食、代用食ニスルコト云フコトデナケレバ
ラスト思ヒマスカ、其ノ點ニ付テハドウ御
考ニナツテ居ルノデアリマスカ

○島田國務大臣 只今ノ高田君ノ御質問ニ
對シテハ大體私同感ニ考ヘマスカ、無論滿洲
ニ對シテモ、日滿支ノ關係等カラ考ヘマシ
テスベキ事、餘裕ノアル事ハ、出來ルダケ
オ五ニシナケレバナラヌノデアリマスカレ
ドモ、今日ノ我國ノ事情トシマシテハ、食
糧ノ確保ト云フコトハ有ユルモノニ優先シ
タ第一ノ條件デアリマスカ、斯ウ云フ風ニ考
ヘマスカ、此ノ點カラ慎重ニ態度ヲ以テ、
是等ノ事柄ニ付テ統制シテ行カナケレバナ
ラヌ、斯ウ云フ風ニ深ク考ヘテ居ルノデア
リマシテ、御意見ノ點ニ付キマシテハ十分
參考ニシマシテ、其ノ場ニ臨ンデ處置ヲ誤
ラナイヤウニ致シタイト思ヒマスカ

キリシタ日取ハ申上ゲラレマセシ、併シ委
員長ノ御注意ハ、本法案提案ノ際ニ申上ゲ
マシタヤウニ、是ハ兩院トモ成ベク速ニ御
協賛ヲ願ツテ、本案ガ通過シマスレバ、議
會ノ終了ヲ俟タズシテ直チニ之ヲ實施致シ
マシテ、サウシテ本法案ニ含ム重要ナル操
作ヲ政府トシテシタイト云フヤウナ意味デ
申上ゲタノデアリマシテ、其ノ趣意ニ鑑ミ
ラレテ議事ヲ進行シテ載キタイト云フ意味
デ、委員長ハ言ハレタコトト思フノデアリ
マスカ、假令肥料ノ法案ガ出ルニシマシテモ、
肥料、食糧並ニ飼料等ノ事柄ハ、何レモ牽
聯致シテ居ル事柄デアリマスカ、時間ノ
許シマス限リ私モ出席ヲ致シマシテ、御返
事ノ出來ルコトハシマスカ、私共トシテハ
特ニソレノ制限ヲ希望シ、或ハ肥料ノ點ガ
ケヲ後ニ殘シテ載クト云フヤウナ希望ヲ持
ツテ居ル譯デアリマセシガ、サウ云フヤ
ウナ御見透シデ御審議ヲ急イデ載ケバ、政
府トシテハ非常ニ幸ダト存ジマスカ、是ガケ
申上ゲテ置キマスカ、肥料ニ關スル法案ハ早
ク出ルコトト思ヒマスカ、マダ關係省ト折
衝中デゴザイマスカ、何日ト云フ日取ヲ
申上ゲルコトハ出來ネマスカ、餘リ遠ク
ナイ時期ニ出ス積リデ居リマスカ

○小林委員長 本日ハ是デ散會致シマスカ、
明日ハ午前十時カラ午後二時ケテ開會
致シタイト思ヒマスカ
午後零時二十一分散會

○平野委員 議事進行ニ付テハ委員長ノ
御注意ニ依リマスカ、肥料問題ハ成ベク肥
料ノ方ノ委員會デスルヤウニ云フ御注意
ハ諒致シマシタガ、サウ致シマスカ、肥料
ノ法案ハ何時上程サレルカト云フコトヲ、
一ツ政府ノ方カラ御質問ヲ願ツテ置クガ
宜イノデアリマスカ、吾々ガ本案ヲ審議致シ
マス上ニ於テハ、肥料問題ニ付テ十分伺ハ
ナイト、本案ニ對スル賛否ヲ決スルコトガ
出來ナイト思ヒマスカ、若シ肥料法案ノ提案
ガナイトスレバ、此ノ際十分肥料ノ問題ニ
付テモ審議ヲシナケレバナラヌコトニナリ
マスカ、一ツ委員長カラ政府ノ方ニ其ノ
點御問合セテ願ヒマスカ

○島田國務大臣 其ノ點ニ付テハマダハツ
テスベキ事、餘裕ノアル事ハ、出來ルダケ
オ五ニシナケレバナラヌノデアリマスカレ
ドモ、今日ノ我國ノ事情トシマシテハ、食
糧ノ確保ト云フコトハ有ユルモノニ優先シ
タ第一ノ條件デアリマスカ、斯ウ云フ風ニ考
ヘマスカ、此ノ點カラ慎重ニ態度ヲ以テ、
是等ノ事柄ニ付テ統制シテ行カナケレバナ
ラヌ、斯ウ云フ風ニ深ク考ヘテ居ルノデア
リマシテ、御意見ノ點ニ付キマシテハ十分
參考ニシマシテ、其ノ場ニ臨ンデ處置ヲ誤
ラナイヤウニ致シタイト思ヒマスカ

○高田委員 只今マデ本年ノ端境期ニ
於ケル私ノ氣ノ付イタ點ニ對シテ御意見ヲ
伺ツタノデアリマスカ、十五年度ノ増産計
畫ノ問題ニ付テ、色々マダ本會議ニ於テ申
述ベタコトニ付テモ御答辯ヲ得テ居リマセ
ヌノデ、引續キ其ノ點ニ付テ詳細ニ申上ゲ
テ御答辯ヲ得タイト存ジマスカ、モウ時間
モアリマセシカ、本日ハ此ノ程度ニシテ
置キマシテ、後日ニ願ヒタイト存ジマスカ

第七十五回帝國議會 院 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會議錄(速記)第六回

(八八)

會議

昭和十五年二月二十三日(金曜日)午前十時
二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事坪山 徳彌君
理事土屋 寛君 理事深澤 吉平君
理事森 幸太郎君

高田 松平君 坂下仙一郎君
今成留之助君 助川啓四郎君
山川頼三郎君 須永 好君
吉田 賢一君 平野 力三君
村上 元吉君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 岡田喜久治君
農林省農務局長 土屋 正三君
農林省米穀局長 横山 敬教君
農林省臨時農 重政 誠之君
村對策部長 石井英之助君
農林事務官 加藤健五郎君
商工政務次官

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十二年法律第九十號中改正法律案
(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)

○坪山委員長代理 ソレデハ只今カラ會議
ヲ開キマス、小林委員長ガ已ムヲ得ザル事
故ノ爲ニ私ガ代ツテ此ノ席ヲ汚シマス、何
分價レナイ者デスカラ宜シク……坂下サン
ニ御願シマス

○坂下委員 先輩ノ諸君ガ各方面カラ質問
サレテ居リマスノデ、成ベク重複ヲ避ケテ
簡單ニ質問シテ見タイト思フノデアリマス、
本議會ノ中心問題ハ何ト申シマシテモ支那

事變處理ト、電力飢饉ノ問題ト、米穀問題、

此ノ三ツニ重點ヲ置カレテ居ルヤウニ思ヒ
マス、支那事變ハ御承知ノ通り第四年目ニ
ナツテ、サウシテ占領地域デ言ヘバ我が國
土ノ三倍以上ニモナツテ居ル、敵ニ與ヘタ
損害ハ、人間デ言ヘバ三百万以上ダト言ハ
レテ居リマスガ、併シ冷靜ニ考ヘテ見マス
ト、百里ノ道ヲ行クニハ九十里ヲ以テ半バ
トスルト云フヤウナ諺モアリマス通り、支
那事變ハ事變處理ト云フ新シイ段階ニ入ッ
タト言ハレテ居リマスケレドモ、私ハ今ガ
半バダト思フ、サウシテ極端ニ言ヘバ、勝
敗ハ五格ダ、相撲ニ例ヘテ言フト、四ツニ
組ンデ居ツテドツテモ息ガ切レテ、サウシ
テ水ヲ入レナケレバナラヌト云フ時デアッ
テ、足ノフヲ付イタ方ガ先ニ參ル、蔣介石
ガ現在尙ホ長期抗戰ヲ叫ビ、最後ノ勝利ハ
支那側ニアルト豪語シテ居ルノモ強チ最後
ノ奮闘、最後ノ叫ビダトバカリモ言ツテ居
ラレスト思フ、ソコデ第一次歐洲戰亂ノ當
時ヲ考ヘテ見マス、現在ノ我國ノ状態ガ
第一次歐羅巴戰事ノ末期ニ於ケル猶逸ノ如
キ感ガナイデモナイ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ
ト思フノデアリマス、ソコデ米ノ問題、腹
ガ減ツテハ戦ガ出来ヌト云フ言葉ガアルガ、
米ノ問題ヲ相當慎重ニ考ヘナイト支那事
變ノ將來ハ恐ルベキモノガアルト思フ、寧
ロ電力問題ヨリモ米ノ問題ガ一番此ノ際ト
シテハ大キイ問題デアラウト思フノデアリ
マス、農林大臣ハ本會議ノ席上ニ於キマシ
テモ、豫算委員會ノ席上デモ、樂觀モシナ

イガ悲觀モシナイト言ツテ居ラレル、結局

樂觀モセヌガ悲觀モセヌト云フコトハ、是
ハ確信ガナイト云フコトニナルダラウト思
フノデアリマス、強權ヲ發動シナイデ唯國
民ノ協力ニ依ツテ米ノ需給調節ヲシテ行カ
ウト云フ考ヲシケレドモ、私ハ現在ノ實
情カラ見ルト、本法ノ改正ヲ致シマシタ所
デ、連モ將來米ノ需給調節ガ圓滿ニ行ハレ
ルモノデハナイヤウニ考ヘテ居ル、政府當
局ハ本法サヘ改正スレバ需給調節ガ完全ニ
行ハレルノダ、米穀不安ハ招來シナイ、斯
ウ云フ風ニ確信セラレテ居ルカドウカト云
フコトヲ、先ヅ最初ニ伺ツテ見タイト思フ
ノデアリマス

○岡田政府委員 事變下ノ現段階ニ於キマ

シテ、食糧問題ガ特ニ最モ急用ナモノデア
ルト云フコトニ付キマシテ段々御述ベニナ
リマシタ御意見ニ對シマシテハ、洵ニ同感
ニ堪ヘナイ次第デアリマス、併セテ又之ニ
對シマシテ、先日米色々ナ質疑應答ノ間ニ
現ハレマシタ農林大臣ナリ農林當局ナリノ
答辯ノ成行キニ付キマシテ、樂觀モセズ悲
觀モセズト云フヤウナ言ヒ方デアツテ、甚
ダ心許ナイガト云フ御話モアリ、或ハ又此
ノ案サヘ改正スレバ米ノ當面ノ處置ハ是デ
宜シイト云フ考カ、他ニ策ハナイノカト云
フヤウナ意味合ニ於キマシテ御尋ガアツタ
ト思ヒマス、洵ニ御心配感キマス點ニ付キ
マシテハ私共同ジ憂ヒヲ持ツテ居ル次第デ
アリマス、樂觀モセズ、悲觀モセズト云フ
コトハ、此ノ際ニ於テ必ズシモ樂觀的ニモ

ノヲ考ヘテ居ルノデハ無論ナイ、寧ロドチ

ラカト云フト、非常ニ現下ノ米穀事情ニ對
シマシテハ、深刻ナル憂慮ヲ拂ツテ居ルニ
ハ間違ナイノデアリマス、サレバトテ諸般
ノ對策ヲ講ズルニ於テ、此ノ難況、此ノ不
況、此ノ惡條件ヲドウカシテ吾々ハ克服シ
タイ、又克服シ得ル、サウ云フ意味ニ於キ
マシテ徒ニ悲觀的ニ考ヘテ居ルノデハナ
イ、斯ウ云フ一ツノ確信ヲ申シテ居ル次第
デアリマシテ、無用ノ樂觀、或ハ無用ノ悲
觀ハ共ニ禁物デアツテ、信ズル所ニ向ッ
テ、信ズル政策ヲ實行スルナラバ何ト
カ此ノ難局ヲ切抜ケ得ルデアラウ、又切抜
ケナケレバナラヌト云フ覺悟ノ下ニ諸
政策ヲ進メテ居ル、斯ウ云フ意味ニ於テ申
シテ居ル御リデアリマシテ、御諒承願
ヒタイト思ヒマス、隨ヒマシテ又當面ノ食
糧對策、殊ニ米穀對策ニ付キマシテハ、
此ノ提案致シマシタ應急措置ニ關スル法律
是ノミガ唯一ノ手段デアリコトハ勿論デア
リマス、御承知ノ通り色々ナ部面カラ、色
色ナ施設ト或ハ對策トヲ進メテ居ルノデアリ
マスガ、分ケテ今日此ノ案ヲ難レマシテ考
ネバナラヌ重大ナ事柄ハ、米穀ノ配給ニ關ス
ル處置——勿論根本ニ立遣ツテ言フナラバ、
生産増殖ニ關スルコトガ根本デアリマセウ、
併シ此ノ生産増殖ノコトハ姑ク措キマシ
テ、現下ノ状態カラ見マスルト、配給措置ニ
關シマシテ一段ト適切ナル方法ヲ講ズルコト
ガ、最モ急務デアルト云フコトヲ痛感致シ
テ居リマス、此ノ點ニ付キマシテモ屢、御質

問モアリ、大臣カラ御答ノ次第アリマシテ、或ハ配給處置ニ關シマシテ現在ノヤリ方、現在ノ組織機構ヲ以テ甘シズルノカ、ソレトモモウ一段進シテ新機構、新組織、新方法ヲ加ヘテ、配給措置ニ對シマシテハ適切ナル方途ヲ立ツル必要ガアルノデハナイカ、是ハドウカト云フ御答ニ對シマシテハ、無論其ノ點ニ及ンデマデ目下考究中デアツテ、何等カノ策ヲ以テ、サウ云フ手段ヲ講ズル積リデアルト云フ意味合ニ於テ御答ガアツタ次第デアリマシテ、左様ニ當局ト致シマシテ考ヘテ居ルノデアリマス、今日此ノ點ニ付キマシテ未ダ具體的ノ成案ノ一切ヲ申上ゲル域ニ達シテ居リマセウガ、非常ニ苦心致シマシテ、謂ハバ晝夜ヲ分タズ、此ノ點ニ對シマシテモ、色々具體的成案ヲ研究中デアリマシテ、何等カ近キ中ニ於キマシテ、之ニ付テハ其ノ政策ヲ實現或ハ發表致ス時期ガ到來スルデアラウト考ヘテ居リマス、又左様ナ譯デアリマスカラ、研究中ニ於テアレヤ是ヤノ意見ヲ申シテ居リマス、ソコニ無用ナ、センセーションヲ起シマシタリ、甚ダシキハ誤解ヲ起シマシタリ、誤ガセルト云フコトモアリマス、努力メテ現在ハ一切ノ政策ヲ成立ツマデハ、其ノ途中ニ於テアレは抱負ヤ意見ヲ述ベルコトハ、寧ろ差控ヘタイト思フノデアリマス、總テ今日ノ狀態ニ於テハ米ニ限リマセウガ、微妙ナ關係ガアリマシテ、非常ニ世間ガ注目ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、ヤルナラバヤル、不實行ヲ以テ何處マデモ實行スルト云フダケノ一切ノ用意ト覺悟ガ立ツテ初メテ臨ムト云フコトガ、極メテ居リマスガ爲ニ、斯様ナ機會ニ於キマシテ

モウ少シ此ノ點ニ付テ御話申シテ宜イノカモ知レマセウガ、以上ノヤウナ考ヘ方カラ中々今日ハドウモ未熟ナ、不用意ノ意見ヲ述ベルト云フコトハ、考ヘ物ト云フ考ヘ方カラシテ、ドチカラト云フト差控ヘテ居ル事情モアリマシテ、左様ナ點ニ於テ御話承願ヒタイト思ヒマス
○坂下委員 只今ノ御話ニ依リマス、唯此ノ法ノミデナク、多方面ニ互ツテ色々ナコトヲ研究スルノダ、就中配給ト云フ問題ガ一番大キナ問題デアルカラ、其ノ方ニ付テハ相當研究モシテ居ルガ、今發表ハ出来ナイト云フ御話デアリマス、勿論配給ニ付テ相當ナ覺悟ヲ持ツテ居ナケレバ、假ニ米ハ豐富ナルト致シマシテモ、今ノ實情デハ、圓滿ナ配給調節ハ不可能ト思ヒマス、先達此ノ席上ニ於キマシテモ御話ノアリマシヤウニ、強權ヲ發動スルカ、或ハ專賣制度ヲ實施スルカ、或ハ國家管理ニスルカ、斯ウシヤウナ方法デナケレバ、今日ノ事態トシテハ配給調節ニ行ハレナイ、需給調節ハ皆ク行カスト云フヤウニ思ハレテ居ルノデアリマスガ、千五百石ノ買入ノ内六百萬石ヲ現在買ヒツツアルト云フ話デアリマスガ、残り九百萬石、此ノ買入モ皆ク行カカカ私共ハ心配ガアリマス、又雜穀ノ買入ニ付キマシテモ、是ハ到底政府ノ豫期スルヤウナ買入ハ出来ナカラウト思ヒマス、一體雜穀ハ何ヲ幾ラ、何ヲ幾ラト豫定ガアルノデアリマセウカ、ソレカラ米ニシテモ雜穀ニシテモ、何時頃マデ豫定ノ數量ヲ買上ゲラレル方針デアルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス
○横山政府委員 今後政府ガ買フ米ハドウ位デアツテ、何時頃マデニ之ヲ實行スル考

デアルカト云フ御話デゴザイマスガ、先般モ此ノ席上御答申上ゲマシタヤウニ、只今計畫致シテ居リマス内地米ノ買入ハ、舊ニ計畫致シテ居リマス六百五十萬石、其ノ外ニ更ニ第二回豫想收穫高カラ、實收高ニ於テ增收致シテ分、ソレ等ノモノヲ大體ノ目安ト致シテ現在計畫ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、併シ早クテ申シマシテモ、アリマスガ、更ニ必要ニ依リマシテハ、尙ホ買入ヲ實行致サナケレバナラヌカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレヲ何時頃マデニ實行スルカ、是ハ成ベク早ク實行ヲ致シタインデアリマシテ、早ケレバ早イ程宜イト思ヒマスルガ、併シ早クテ申シマシテモ、アリマスルガ、サウ早クテ申シマシテモ、何時頃マデト云フコトヲ今日カラ確定的ニ豫定致スト云フコトハ、非常ニ困難ナ事情ガアルト考ヘテ居リマス、是ハ事情ノ推移ニ對シテ出來得ル限リ努力シテ、成ベク早ク政府ノ手ニ入ルヤウニ實行致シタイト考ヘテ居リマス、雜穀ノ買入ニ付キマシテモ併セテ御答ガアリマシタガ、此ノ點モ亦出來得ル限リ早イ機會ニ實行致シタイトゴザイマスルガ、何時頃マデニドウ位ト云フヤウナコトハ、是ハ實際ノ事情ニ即應シテ運用致シテ參ルノデアリマシテ、今日カラ的確ニ豫定申上ゲルコトハ非常ニ困難ナ事情ニアリマス、其ノ點ハ一ツ御話承戴キタイト思ヒマス
○坂下委員 只今局長ノ御話デ見ルト、其ノ時々ニ即應シテヤツテ行クノデアルカラ、今ノ所申上ゲ兼ネルト云フヤウナ意味ニ私御伺シタデアリマスガ、其ノ時々ニ即應スルコト申シマシテモ、今ノ農村ノ考ヘ方農民ノ思想カラ言ヘバ、何時ニナツテ買上不可能ト思ヒマス、殊ニ雜穀ノ如キモノハ、

市價ト政府ノ買上價段トハ恐ラク相當ノ開キガアルト思フ、斯ウ云フ意味合ニ於テ到底本法ヲ施行セラレマシテモ、其ノ目的ヲ達成スルコトハ不可能ト思ヒマス、配給ノ方法ハ別ト致シマシテ、政府ガ買上ゲルニ對シマシテモ、是ハドウシテモ將來米雜穀等ヲ豫定ノ如ク買上ゲテ配給シヨウ、サウシテ食糧不安ヲ除カウト考ヘマスルナラバ、此ノ際國家管理ナリ、專賣ナリ、或ハ強權ノ發動ナリヲ絕對ニ覺悟シナケレバ、此ノ目的ヲ貫徹スルコトハ不可能ト思ヒマス、何故ナラバ今マデ農民ニ對シマシテハ相當犧牲ヲ拂ハシテ居ル、例ハバ米ノ供出トカ、或ハ大麥ノ供出、或ハ甘藷ノ供出、供出トカ義務出納ト云フヤウナ名ヲ以テマシテ、再三再四犧牲ヲ拂ハシテ居ル、其ノ義務出納デアルトカ供出デアルトカ名付ケテ出サセタ米穀、甘藷ノヤウナモノガ、市價ト匹敵シテ居ルナラバ、是ハ別問題デアアルケレドモ、何時デモ市價ヨリハ相當安イ、サウシマスルカ、農民ニダケ、莫大ニ金ヲ強制附サシタト云フ結果ニナツテ來ル、農民以外ニ、供出トカ或ハ義務出納トカ名付ケテ、政府ガ市價ヨリモ安く取上ゲタコトガアルカナイカ、此ノ方面モ私ハ聽イテ見タイト思ツテ居リマス、恐ラク無イト思フ、或ハ又金ヲ強制シテ附サセタト云フヤウナコトモナイト思フ、勿論戰爭ハ國家ガヤツテ居ルノデ、農民ダケガ戰爭シテ居ルノデハナイ、獨リ農民ニノミスウシタヤウナ莫大犧牲ヲ拂ハセル、義務ト名ヲ付ケタリ、供出ト名ヲ付ケタリシテ莫大犧牲ヲ拂ハセルト云フコトハ、是ハ農民ニ對シテ氣ヲ毒デアアリ、農民モ現在デハ非常ナ不平ヲ持ツテ居リマス、一方デハ

統制經濟ヲ利用シタリシテ不當ナ金儲ケヲシテ居ル、サウシテ義務的ニ出荷モセラレナイ、供出モ命ゼラレナイ、強制附納モ仰付カラス、農民獨リ斯ウシタヤウナ名前ノ下ニ屢々犧牲ヲ強サレテ居ル、之ニ依ツテ農民トシテハ非常ナ不平ヲ持ツテ居リマスト云フコトト、米ノ價值ガ外ノ物ノ價值ニ比較シテ非常ニ安イ、是ハ獨リ農民ガ考ヘテ居ルバカリデナク、國民全部ガ安イモノハオ米ダト考ヘテ居ルダラウト思フ、是モ低物價政策ヲ堅持シテ行ク上ニ於テ已ム得ナイトスレバ、背ケヌコトモナイノデアリマスケレドモ、商工大臣カラモ、公定物價ヲ檢討シテ著シイモノニ對シテハ適正物價ヲ決メルト云フヤウナ言明モアツタ、サウスト適正物價ヲ決メルト云ヘバ、米ガ一番安イト云フコトハ、是ハ國民全體ガ背イテ居ル所デアリマスカラ、是モ値ヲ上ゲラレルノダラウト云フ風ナ考ヘテ持ツコトモ、無理モナイト云フコトガ、ソレカラ島田農相ノ講義ニ於ケル御話デモ、十四年ノ産米ニ付テハ値ヲ上ゲナイ、十五年産米ニ付テハ何トモ申上ゲラレナイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、サウスト十五年産米ニ付テハ値ガ上ガルノダト斯ウ考ヘラレレト云フアリマス、何レニシテモ賣リナシニ持ツテ居レバ、何ト云フ名前デ値ガ上ルカ、或ハ獎勵金トカ云フヤウナ名前デ補助ガアルト云フコトニナルダラウ、又近イ例デ言ヘバ、石炭ガ出ナケレバ、一億一千万圓モ今度ノ議會ニ追加豫算デ出スト言ツテ居ル、斯ウ云フ譯合デ、先ツ賣リナシニ持ツテ居レバ、何等カノ名義デ金ガ多ク來ルノダ、是ハ一般ニ農民ハサウ考ヘテ居リマス、ソ

レト今一ツハ肥料ガ無イ、米サヘ持ツテ居レバ肥料ト交換ガ出來ル、斯ウ云フ考ガアル、是マデモソレヲヤツテ居ル、肥料商ハ大抵米穀商ト兼ネテヤツテ居ルノデアアル、昨年アタリ米穀商、肥料商ノヤリ方ヲ見マスト、米ヲ持ツテ來レバ肥料ヲヤル、現在デモ肥料商ハ相當ナ、ストツクガアル、秘密ニシテ隱シテ居ル、自分ノ店ニハ置カナイデ、或ハ屋敷内ニ在ル倉庫内ニハ置カナイデ、餘所ニ隱シテアル、ソレヲ少シ宛持ツテ來テ、米ト交換ナラバ、大概ノ肥料ガ間ニ合フ、サウ云フ實情ニ在ル、政府ノ方デ心配シテ呉レル肥料ノ割當ハ極メテ少イシ、其ノ少イ肥料モ時季々々ニハ配給サレヌノダ、オ米サヘ持ツテ居レバ何トカ肥料モ間ニ合フノダ、斯ウ云フ風ニ一般ガ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、恐ラク政府ガ米ヲ本法ニ依ツテ買上ゲヨウシテモ、或ハ雜穀ヲ買上ゲヨウシテモ、今申上ゲタヤウナ農民ノ不平ト、米ガ足ラナクナルダラウ、高タナラヌナラバ、何カノ名前ニ依ツテ金ヲ買ヘルダラウト云フコトト、肥料ト交換スル一ツノ材料トスル、斯ウ云フ三ツノ考ヘ方カラ、恐ラク強權ノ發動ナシニハ豫定ノ買上ハ困難ダラウ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、政府ノ御考ハ如何デセウカ、承リタイノデアリマス
○岡田政府委員 段々立入りマシタ極メテ重要ナ御答ニ接スル次第デアリマス、何レモ深く考慮セネバナラヌ點ノミデアラウト考ヘル次第デアリマス、借テ御話ノ中ニ、先ツ以テ買上ニ付テモ何等カノ大キナ豫想ガアルベキデハナイカト云フ點ニ付テ申上ゲテ見マスナラバ、ソレハ大體ノ計畫ナリ見當ナリハ無論致シテ居ルノデアリマス、

例ハバ米ニ付キマシテモ、既ニ發表ト申シマスカ、申上ゲテ居リマスル當面ノ買上ニ付キマシテハ、大體三月底位マデニ此ノ買上ヲ致シタイト思ツテ居リマス、積イテ此ノ情勢ニ應ジマシテ二次、三次ノ買上ヲ目論メバナラヌコトハ固ヨリデアリマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ皆其ノ諸般ノ情勢ヲ考ヘマシテ、具體的ノ決定ヲスル以外ニハ餘儀ナイコトデアラウト思ヒマス、又斯様買上ニ付キマシテハ、市場ノ關係モアリマスノデ、餘リ巨細ノ具體的計畫ヲ前以テ彼此發表スルコトハ、是亦御承知ノ通り困ルノデ、一々左様ナコトハ公表ハ致シマセウガ、固ヨリ計畫トシマシテハ、左様ナ種々ノ段階、計畫ヲ以テ買上ヲ執行シタイト思ヒマス、又今日ノ情勢ヲ以テシマシテ、買上ニ付テ困難ノナイコトハアリマス、大體左様ナコトト考ヘテ居リマス、狀況ハ大體左様ナコトニ相成ツテ買上ノ目的ヲ達成シ得ルモノト考ヘテ居リマス、積イテ米ノ買上ハ色々ナ理由ニ依ツテ殆ド不可能デハナイカ、困難ハオロカ、寧ろ不可能デハナイカ、此ノ理由ト致シマシテ例ハバ値上ノ豫想ト云フモノヲ農民ガ持ツテ居ル、或ハ他物價トノ關係、低物價デアアルガ爲ニ、ソレノ犧牲ニ對スル不平等ナル、或ハ肥料ト交換スル材料トシテ之ヲ保持スルト云フ心構ヘガアルカラ、ソレナ理由カラ恐ラク農民ハ容易ニ手離サヌノデハナイカ、隨テ若シ之ヲ十分ニ買上ゲルト云フナラバ、或ハ強權ノ發動ト申シマセウカ、即チ出荷強制ト云フヤウナ手段、乃至國家管理ト云フヤウナ手段ニ出ツルニアラザレバ、到底出來ナイト思フガ、ドウ考ヘルカ、斯ウ云フ

御答デアツタト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ一應御尤モ注意スベキ點デアラウト考ヘマス、併シ假定的ニ若シサウ云フ情勢ガ起ツタト致シマシテ、ソレガ御説ノ如ク全ク已ム得ナイ情勢デアリ、本當ニ出來ナイト云フ場合ニ於テハ、政府ニ於テモソレニ相當シタ手段ヲ講ズル必要ガアルノデアアルマイト思ヒマス、即チ已ム得ズサウ云フ場合ガアルト假定スレバ、所謂強權ノ手段ヲ用ヒマシテモ、出荷強制ト云フコトモ考ヘネバナラヌマ、ソレハ假定トシテノ上カラ申シマスレバ、ソレハサウ申上ゲル外ナイノデアリマス、併シ見込ト致シマシテハ、ソレ程今御述ニナリマシタヤウナ惡條件ノミガ重ナリマシテ、買上不可能トノミ考ヘテハ居リマセウ、困難デアアラウガ、政府ノ志スル所ノ買上ハ何トカ出來得ベキ管ノモノト一應考ヘテ居リマス、デアリマスカラ出來得ル限リ出荷強制等ノ手段ハ執リタコトナイト云フコトヲ、段々申上ゲテ居ル次第デアリマス、併シ情勢ガ全ク以テ今御話ノヤウナコトデアツテ、ドウモ仕舞ガナイト云フ場合ニハ、即チ已ム得ザル場合ニハ、ソレハ相當ノ手段ヲ講ズル外アリマセウカラ、一段ト強化シテ手手段ヲ執リナケレバナラヌト云フコトハ用意シナケレバナラヌ、又覺悟シナケレバナラヌト云フコトヲ豫テ申上ゲテ居ル譯デアリマス、見込トシマシテハ、必ズシモサウ極端ナ惡條件ニ付テノ極惡ノ場合ノミヲ豫想スル必要ハナイ、大體諸般ノ事態ニ於テ最惡ノ手段ヲ用ヒズシテ行ケサウナモノデアアル、斯ウ云フ見透シデアリマス、行ケナイ場合ニハ勿論ソレニ對スル手段ヲ用ヒル、

斯ウ云フ幾段附ノ考ヲ持ツテ、當局ト致シマシテハ臨マザルヲ得ナイノデアリマス、大體左様ニ御座承願ヒマス

○坂下委員 今ノ御話見ルト、結局私ト政府ノ見所トハ見解ノ相違カモ知レナイ、私ハ最前申上テヤウナ惡條件ヲ附テ居ルノデ、到底強權ノ發動ガナイ限リハ政府ノ豫期シテ居ルヤウナ買上ハ出来ナイト見テ居ルノデアリマス、政府ノ考ハ方ハ已ムヲ得ナケレバヤウシナケレバナラナイ、強權ノ發動モシナケレバナラナイ、ダガヤウシナクトモ行ケルト云フ見透シヲシテ居ルヤウデアリマス、是ハ一ツノ私トハ見解ヲ異ニシテ居ル、ヤウ行ケバ至極結構ダラウト思ヒマスガ、先達テノ農相ノ御話ニ、地方長官ニ頼ンダラト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマスガ、地方長官ニ頼ミマシテモ——是ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルト總テ私ガ悲觀論者ノヤウニナリマスガ、長官ニ頼ンデモ是ハ皆行カスト思フ、其ノ例ガアル、是ハ縣ノ名ヲ申上ゲテモ宜イガ、某縣ト申シテ置キマセウ、昨年ノ暮デアリマス、昨年ノ冬ニハハリ米ノ問題デ相當各所ニゴテゴテシタコトガゴザイマシタ、私ガ今申上ゲヨウトスル某縣ノ如キハ、各方面デ不安ニ驅ラレテ、將ニ昔アツタヤウナ米騒動デモ起リヤウナ情勢モ此處彼處ニ見エタ、其ノ時ニ知事ハ、農會ト各方面ノ農會長、或ハ町村長、或ハ産業組合長、斯ウ云フヤウナ人達ヲ集メテ泣カンバカリノ御頼ミヲシタ、所謂泣キヲ入レタ、是デハ到底仕方ガナイカラ、一ツ農民ノ耕作反別ニ割當テテ義務出荷ト名ヲ付ケテ出シテ貰ヒタイ、其ノ出ス米ハ割當出荷ヲサシテ懸懸ニ配給ヲサセル、懸懸ノ手ニ依ツテ地位組合、町村ノ

産業組合或ハ米穀商組合ニ配給サセル、斯ウ云フ方法ヲ執ルカラ是非トモ一ツ此ノ際ハ協力シテ欲シ、協力ヲシテ貰ヒレバ、後不足シタ場合ハ政府ノ方トドウ云フ風ナ打合せヲシテモ御座シテ、此ノ縣ニ米ノ困ルヤウナ事態ハ起サナイト云フノ泣キヲ入レテ頼ンダ、サウシテ耕作反別ニ割當テテ、其ノ割當ト集荷ヲ町村長ノ責任ニシテ行ハシタ、町村長ハ農會ノ役員ニ協力ヲ頼ミ、相當ノ開演シテシテ割當テテ、見ニモ角ニモ懸テ割當テタケケノ數量ヲ確メタノデアリマス、其ノ確メタ米ハ懸懸ニ手ニ依ツテ何郡何町ノ米ハ何々米穀商組合ニ、何々村ノ米ハ何々産業組合ニ、斯ウ云フ風ニ机上デ配給ノ具體的方法ヲ決メテ、サウシテ命令ト云フカ其ノ旨ヲ傳ヘタ、ソレデ現ニモ角ニモ懸レニ依ツテ米穀不安ハ一時去ツタ、所ガ其ノ後ヲ調ベテ見マスルト、責任ヲ負ツタ町村長ヤ、ソレニ協力シタ農會ノ役員ガ、農民ノ賑ガルノヲ反別ニ應ジテ割當テタノデアリマスカラ、相當者ニモナリ、相當ニ開演シテシタ、申ニハ出サナイ人モアリマシタケレドモ、大部分ハ此ノ割當ニ應ジテ出シタ、サウシテ町村役場デハ晝間モ夜モ寄合ヲシテハ、農會ノ役員或ハ組合長ト云フヤウナ方面ニ飯ヲ出シタリ、色々ト御頼ミシテ先ツ見ニモ角ニモ懸レテ頼メタ、サウスルト懸懸ニ方デハ運賃ダトカ、或ハ手数料ダトカ、合計ダトカ云フヤウナ名前ヲ付ケテ一俵三十五錢、能ク記憶モアリマセウガ、何ニシテモ三十五錢ダト思ヒマスガ、サウシテヤウナ金ノ公定價格ニ加算シテ、サウシテ米穀商組合ニ持ツテ行カシタノデアリマス、其ノ最寄リノ産業組合或ハ米穀商組合

ニ持ツテ行カシタノデアアルカラ運賃モ掛ラナイ、手数料云ツタ所ガ、手数料ハ農會ノ役員ヤ町村役場デヤツタノデ、別ニ手数料ガ掛ラサウ云フコトヲ思フノデアリマスガ、一方デハサウ云フコトヲ思フノデアリマス、一俵三十何錢カラ公定價格ニ加算シテ米穀商組合ニ渡シタ、米穀商組合ハソレヲ持ツテ行ツテ何ヲシタカト云フト、今度ハ其ノ中ノ或ル部分ヲ藏ヒ込シテ置キマツテ、サウシテ等外ノ米モ、四等米モ、三等米モ混ゼテ精白シテ、ソレヲ一等米トシテ賣ツテ金儲ケヲシテ居ル、普通ナラバ米穀商組合モ買出シニ行カナクテハナラヌノヲ、買出シニ行カナクテモ、一方デ難メテ呉レテ配給シテ呉レタノデアアルカラ手数料ハ掛ラナイ、サウ云フ場合デアリマスカラ、等外モ、四等米モ、三等米モ一精ニ混ゼテ、一帯上等ノ米トシテ賣ツテ金儲ケシテ居ル、机上デ手ヲ組ンデ買出シノ心配モスルコトナシニ儲ケタ米屋、斯ウ云フ者デアルノニ、一方ハ農民カラ怨ミヲ買ツテ、非常ニ手数料費シテ、而モ多少ノ入費ヲ使ツテ農會ノ役員ダトカ、或ハ町村役場ト云フモノハ洵ニ氣ノ毒ナコトデアル、サウシテ農民ニハ隨分惡ク言ハレテ居ル、農民ノ方デハ役場ヤ農會ノ人達ヲ來テ、ヤアノ言フカラ仕方ナシニヤツタ、其ノ結果ハ團體或ハ米穀商ノ金儲ケ手傳ツテヤウナ形ニナツテ居ル、モウ今後ハサウ云フコトヲ言ツテ來テモ斷ジテ出シマセウ、知事ヤシカカラ泣イテ頼レタカ色々ナコトヲ仰シヤルカラ出シタガ、今後ハ知事ヤシカ何ト云ツテモ出シマセウ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、又世話ヲシタ農會ヤ町村役場デハ、ソレダケ惡ク言ハレテ世話ヲシタニモ拘ラズ、一方ノ連中

ハ儲ケテ居ツテ、町村役場ノ方モ、農會ノ役員ノ方モ、斯ウ云フ風ニナツテ結果ガ付イタ有難カツタト云フ御禮ノ葉書一本モ來ナイ、斯ウ云フ馬鹿ナコトデハ今後御手傳シナイ、斯ウ云フ風ニ言ツテ居リマス、ソレナコトニ依ツテ昨年末ノ米穀不安ヲ排除シタ縣モ相當アルト思フノデアリマス、ソレナヤリ方ヲシタ縣デハ、恐ラク農林省カラ縣知事ニ頼ンデ見タ所ガ、今後買上トカ配給トカ云フコトハ、到底豫期シテ居ルヤウニ出来ナイト思ヒマスガ、サウシタヤウナ實情ヲ御存ジナクテ、知事ニデモ頼メバ何トカナルト御考ニナツテ居ルノカ、或ハ他ノ變ツタ方法ニ依ツテ買上若クハ配給スルヤウナ御積リデ居ルノカ、ソレナ點ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○岡田政府委員 只今御述ニナリマシタ御話、洵ニ參考トナルコトデアリマシテ、能ク分リマシタ、同時ニ又ソレニ依リマシテ御尋ノ眞意ニ付キマシテモ、一段ト諒解ガ參ツタノデアリマス、之ヲ推斷致シマスト、御話ハ米ノ買上ナリ、殊ニ配給制限ニ付キマシテ、現在ノヤウナヤリ方、或ハ昨年秋以來ノヤウナヤリ方ノミニ放置シテ居ツタノデハ、大變ダソト云フヤウナコトデアアルヤウニ思ヒマス、是ハ先刻申上ゲタ通り、決シテサウ云フコトハナイノデアリマス、初メニ申上ゲタ通り米ノ配給制限ニ付テハ、一段ト今新工夫、新研究ヲ致シマシテ、近キ中ニ是ガ具體案ヲ實施スル積リダ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居リマス、サリナガラソレニ付キマシテ、一概ニ強制出荷トカ國家管理トカ云フヤウナ言葉ヲ以テ御尋ニナラレルモノデスカラ、必ズシモ出荷強制トカ或ハ國家管理トカ云

フヤウナ言葉ヲ以テ示ガ如キ、餘リ強イコトハヤリタクナイノダ、權力ガマシイコトヲヤリタクナイノダ、是ダケノ意味デアリマス、併シ其ノ内容ハ、ドレダケガ權力ガマシイノカ、ガマシクナイノカ、目下私共ガ意圖シテ居ル案件ノ内容ヲ申上ゲレバ自ラ分ルノカモ知レマセウガ、私共カラ言ハセレバ、サウ云フ極端ナコトハシナイガ、併シ或ル程度マデハ非常ニ是ハ強化学ノデアリマス、配給機構強化ハ當然ノコトデアリマス、ダカラ去年ノ秋ヤ現在ノヤウナ状態デ以テ放置シテ居ツテ、今後ノ米ノ配給ガ巧ク行クモノトハ考ヘテ居リマセウ、ダカラ此ノ點ニ付テハ一段ト申サバ全面的ニ組織モ變ヘマス、機構モ考ヘマス、サウシテ何トカ合理的ニ漏レナク此ノ配給ガ徹底シ得ルヤウニ、其ノ手段方法ヲ強化スルコトハ固ヨリデアリマス、隨テ府縣「ブロック」ト云ツタヤウナ、地方長官任セノ状態デ、府縣各別ノ處置ニ任シテ居ツテ、其ノ間却テ米ノ交流、流出ヲ妨ゲルヤウナ、所謂「ブロック」的組織ノ如キモノガアツタノデハ、到底是ハ配給ガ徹底スル筈ハナイノデアリマスカラ、所謂「ブロック」ニ對シマシテハ、之ヲ解消スルト申シマセウカ、少クトモサウ云フ傾向ヲ打破シテ、全國全面的ニ米ノ交流、流動キト云フモノガ巧ク行クヤウニ組織的ニ考ヘルト云フコトニ於テ、今政策ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ初メニ申シタ通り、此ノ點ヲ逐一申セバ宜シイノデアリマセウガ、併シ總テノ成案ガ出来上ルマデハ、非常ニ此ノ問題ニ對シマシテハ社會ニ於テ敏感デアリマスカラ、未熟ノ案ヲバツ／＼ニ申上ゲルト、却テ是ガ爲ニ諒解ヲ生ズルト云フコトヲ心配致シ

マシテ、ソレガ事成ルノ日マデハ、成ベクアレモヤル是モヤルト云フヤウナコトヲ大袈裟ニ申シタクナイ、斯ウ云フ氣持ニ於テ目下密ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ヲドウ御諒解願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、決シテ之ヲ現狀ニ放任スルト云フコトハナイノデアリマス、坂下サンノ丁度御考ニナツテ居ル程度ノコトヲヤルノデアリカト云フコトハ、心密ニ自分自身ガ考ヘテ居ルコトヲ若シ自分ガ發表スレバ、アナタノ丁度御期待ニナルヤウナコトト合致スルノデアリカト云フ感ジガ致シテ居ル次第デアリマス

○坂下委員 私人岡田サンガソレハ何カ考違ヒヲシテ居ルノデアリカト思ヒマス、ソレナコトニ合致スレバ連モ出来ハシマセウ、私ノ言フノハトソレナコトヲシテハイケナイト云フコトデス、私ハ今後ノ政府ノ御考ノアル所ハ、今發表ナラヌデモ、宜シイ、相當強權ト云フヤウナコトヲ言ハヌデモ、ソレニ近イモノヲ覺悟シテ居ルノダ、配給機構ニ付テモ、之ヲ考ヘテ居ルノダ、配給機構ハ分リマシタ、今マデ御話ノアツタヤウニ、成ベク精神の協力ニ依ツテヤリタイノダ、法ノ發動ハシタクナイ、強制スルヤウナコトハヤリタクナイト云フヤウナ御考デハ、サンノ今日マデホツタラカシテヤツテ來タノデ、最前申上ゲタヤウナ惡條件ノ下ニ置カレテ居ルカラ、配給トカ、需給調節トカ云フコトハ、巧ク行カナイノダ、ダカラ已ムヲ得ナケレバ今日カラ斯ウ云フコトヲ發動スルノダ、斯ウ云フ強力ナコトモヤルノダ、或ハ國家管理モヤルノダトカ云フコトヲ前提トシテ、所謂傳家ノ寶刀トシテ置イテ、サウシテヤウテ行タト云フ位

ナコトハ覺悟シナケレバ、連モ今後開滿ナ調節ハ出来テ行カナイコトデアルト、私ハ心配シテ居ルノデアリマス、ソレトモ今申上ゲタヤウナ方法ヲ緩和サレルナラバ、何カ強力ナ方法ニ依ツテ、農民ト同ジ立場ニ總テノ機構ヲ、例ヘバ、米穀商組合ニシテモ、懸懸ニシテモ、産業組合デハ、農民ニモ無理ヲ強ヒテ出シテ貰フノダカラ、ソレヲ取扱フ所ノ産業組合モ無手数料デヤリ、米穀商モ義務出荷トカ供出トカ名ヲ附ケテ配給シタ米ダケハ、一厘モ儲ケナイデ、唯國家ノ爲ニ犠牲ヲ拂フノダ、斯ウ云フコトニシテ行ケバ、恐ラク幾分緩和モ出来ルト思ヒマスガ、何ヲヤツテモ犠牲ヲ拂フ者ハ農民一人ダ、斯ウ云フヤウナコトニシテ行ツタノデハ、今後農民ノ思想ハ強化スル、斯ウ云フコトモ相當御考ニナラナクヤイカスト思フ、今一ツ肥料ト肥料ノ御話ヲ伺ヒタイノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、現在肥料ヲ得ル一ツノ手段トシテ米ヲ放シタクナイト云フ農民ノ考ガアルノデアリマスカラ、肥料ヲ十分ニ配給シテ農民ニハ困ラセズソト云フ風ニ安心ヲサセルト云フコトガ、ソレカラ圓満ニスル一ツノ手段ダト思フ、ソレカラ肥料ニシテモサウデス、現在ハ肥料ニ非常ニ困ツテ、米ヲ呉レタリ或ハ雜穀ヲ與レタリシテ居リマスガ、肥料ト肥料ハ互ニ關聯シテ居ル問題デアアルカラ、肥料ト肥料ヲ農民ノ困ラナイヤウニ、必ズ配給シテヤルノダト云フコトヲ御示シマシテ、農民ニ安心ヲ與ヘルコトガ、米ノ需給調節スル有力ノ手段ダト思ヒマス、サウ致シマスニハ肥料ト肥料ハ、米穀ヲ増産スル唯一ノ材

料デアアルカラ、此ノ際物動計畫ニ於テ、軍需資材ト相並シテ優先的ニ十分ニ確保スルト云フコトヲ、政府ガ言明シテ農民ニ安心ヲ與ヘル、斯ウ云フ方法ガ私ハ必要ダト思フガ、關係各省ト御相談ノ上ニ、軍需資材ト並行シテ肥料ト飼料ハ十分ニ確保シテ農民ヲ困ラセナイ、斯ウ云フコトヲ言明シテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、政府ノ御考ハドウカ、之ヲ察シタイノデス

○岡田政府委員 肥料ノ供給ニ付キマシテハ、御述ニナリマシタ通り、此ノ時局下ニ於テ是非トモ之ヲ確保セネバナラヌ考デゴザイマスガ、併シナガラ物ノ實情ハ百方手段ヲ講ジツツアルニ拘ラズ、中々容易ニ完全ニ其ノ目的ヲ達成シ得ルヤウ否ヤ、極メテ困難ナ狀況ニアルノデアリマス、併シ何トカ大體ニ於テ生産増殖ノ期待ニ悖ルコトノナイ程度ニ於テ、之ヲ確保セネバナラヌト云フ必ズノ努力ヲ致シテ居リマス、御承知ノ通り確安ノ如キモノ、既ニ今日マデノ其ノ生産ノ狀況ハ、石炭ノ不足トカ電氣ノ不足トカ云フヤウナ餘儀ナイ事情ニ於テ、餘程ハ遅レテ取ツテ來テ居リマス、之ヲ挽回スベク此ノ一月以來關係各廳ト折衝スルコトハ固ヨリ、是ガ爲ニ電氣調整令ノ發動モ見マシタシ、併セテ又肥料生産ニ關スル工場ニ對スル供給電力ニ付キマシテハ、政府ノ方針トシマシテ、御話ノ如ク特ニ軍需品中ニ於テモ最モ優先位ヲ占メル地位ニ於テ電力ヲ供給スル、隨テ一般ノ電力ハ平均二割減ト云フノハ已ムヲ得ナイ状態デアリマスガ、確安製造ノ肥料工場ニ對シマシテハ、コチラノ計畫的供給量ニ對シテ、僅ニ一割ヲ減ズルト云フヤウナ狀況ニ在ルノ

デアリマス、爾來今月二十日以後ニ於ケル
實況モ、大變工合好クアリマシテ、此ノ分
ナラバ餘程生産ノ回復モ可能デアリガ如ク
思ヒマシテ、ドウニカ斯ウニカ確定ニ付テ
モ増産ヲ確保スルコトガ出來ルノデハナイ
カト云フ考ヲ持ツテ居リマス、併シナガラ
既ニ今日マデ如何ナル手段ヲ用ヒテモ、確
安ノ完全ナル増産ト云フコトニ付キマシテ
ハ、中々ソレニ達スルコトガ容易デナイト
云フ實況ニアルノデアリマス、飼料ニ付キ
マシテモ、是亦極メテ困難デアリマシテ、
滿洲糧穀ヲ輸入スベク、是亦有ユル努力及
ビ方法ヲ講ジテ居ル次第デアリマスガ、中
中以テ満足ナ程度ニマデ至リ得ルヤ否ヤ、
今以テ是ハ惡戰苦闘中デアリマス、已ムラ
得ズンバ第三國カラノ輸入ト云フコトモ、
大臣ガ或處ニ於テ申シマシタ通り、是亦考
慮シツアルヤウナ状態デアリマシテ、如
何ナル手段ヲ用ヒテモ、滿洲ノミニ期待シ
テ完全ナ豫期スル飼料ノ供給ヲ求ムルコト云
フコトモ、餘程困難ナ情勢ニアリハシナイ
カト云フコトヲ心配致シテ居リマス、併シ
萬一ノ際ニハ、第三國ニ依ツテ幾分カノ補
給ヲスルコト云フ必要ガアルカノ如ク考ヘテ
居ルノデアリマシテ、兎ニ角各種ノ手段ヲ
講ジテ、是ガ確保ヲシタイノデアリマスガ、
實情ハ極メテ惡條件ノ下ニ惡戰苦闘シテ居
ルト云フ状態ニ在ルコトヲ免レナイ次第デ
アリマシテ、其ノ點御諒解ヲ願ヒタイと思
ヒマス

○土屋委員 一寸關聯質問デスガ、只今
ノ御答ノ確定製造ガ、優先的ニ電力ノ供給
ヲ受ケテ製造スルコト云フコトヲ承ツタノデ
アリマスガ、電力供給順位ハ今日マデ變更
ニナツテ居リマセヌ、極ク最近ノ書類ヲ見
マシテモ、電力ノ供給順位ハ、肥料ハ相當
ノ方ニ居リマシテ、決シテ優先的地位ニ
ハ書類ハ直ツテ居リマセヌ、ソレデ此ノ點
ニ付キマシテハ、私モ相當注意ヲ拂ツテ居
ルノデアリマスケレドモ、最初カラ配電ノ
方法ニ於テ順位ガ下ノ方デアツタノミナラ
ズ、最近ニ於テキマシテハ、電力ノ供給
地區別ニ對スル配電ノ方法マデモ決定ニナ
ツタガ、其ノ順位ハ書類カラ見ルト優先致
シテ居リマセヌ、デアリマスカラ議會中ハ、
肥料ニ要スル電力ハ、有ユル動力ニ優先シ
テ供給スルノダト云フ御説明得心ヲシテ
レバ、ソレデ歸ラレマセウケレドモ、多
少電力調整合ノ問題ヲ研究シ、電力供給ニ
關係ヲ致シテ居リマスル者ノ立場カラ見レ
ルハ、空念佛デアリマス、空念佛ヲ承ツテ歸
ラ、ドウ云フヤウニ御運ビニナツテ居ル
デアリマスガ、色々ノ方面ニ支障ヲ來シ、
摩擦ノ生ズルコト云フコトモ、仄カニ聞イテ
居ルノデアリマスガ、若シ公開ノ席上ニ
於テ其ノ發表ガ難カシイナラバ、秘密會ト
セラレテモ宜シウゴザイマスカラ、一種ノ
空念佛ニ終ルガ如クコトノナイヤウニ、所
謂有ユル物ニ優先シテ肥料製造ノ電力ノ供
給ガ、實際ニ出來ルヤウニナツテ居ルカト
云フコトヲ承リタイノデアリマス、ソレカ
ラモウツハ、只今ノ坂下君ノ御質問ニ對
シテ、滿支方面ニ對スル食糧ノ補助ヲシテ
ケレバナラスヤウナコトニナルト云フヤウ
ナ、意味ノ御言葉ガアツタカノヤウニ承ツ
タノデアリマス、此ノ點ハ何處カラサウ云
フ言葉ガ出テ來ルカト、私實ニ首ヲ長クシ
テ待ツテ居ツタノデアリマス、所ガ偶、政務
次官カラサウ云フ言葉ガ出テ來タノデア

リマスガ、米穀ノ供給關係ノ立場カラ考ヘ
マシテ、ドウシテモ算盤ノ合ハヌ點ガアル、
所謂食糧以外ノ米ノ消費ト云フモノガ相當
ニナケレバ、此ノ米穀供給推算ハ私共得心
ガ行カヌ點ガアルノデアリマス、ソレデ私
ハ先日モ此ノ食糧以外ニ對スル米ノ消費ノ
表ヲ、參考資料トシテ要求致シタノデアリ
マスガ、其ノ要求シテ戴イタ資料ニ依リマ
シテモ得心ヲ致シテ居ラス、然ル所滿支ニ
於ケル食糧補助ノ爲ニ云々ト云フ言葉ガ出
テ參リマシタカラ、是ハ相當量ガ行ツテ居
ルノデハナイカ、昨日デアリマシタカ、高
田委員ノ質問ノ言葉ノ中ニモ、ソレガ含マ
レテ居ツタノデアリマス、高田委員ノ質問
ニハ、鮮カニ數量マデ言ハレマシタガ、委
員ノ言葉デアリマスカラ、私ハ政府ニ御尋
ハシナカツタノデアリマスガ、今日ハ政務
次官ノ御口カラ補助云々ト云フ言葉ガ出マ
シタカラ、其ノ補助數量ハ如何程デアルカ、
ソレニ向ツテ流レル數量、流レニ從ツテ區
別シテ私ハ此ノ場合承リタイと思ヒマス、
關聯質問トシテ是ガ御尋致シマス
○岡田政府委員 確定工場ニ對スル電氣ノ
供給ニ付キマシテハ、細カナ御尋デアリマ
スカラ、對策部長カラ御答サセルコトニ致
シマス、ソレカラ滿支食糧ノ補助ノ爲トカ
頻リニ仰シヤイマシタガ、少シモ私ハサウ
言ツテ居ラス言デアリマス、何カ御疑違ヒ
デハアリマセヌカ、全然言ツテ居リマセヌ
デス
○土屋委員 御言葉ガナケレバ私ノ懸違ヒ
デス
○坂下委員 私ハ最後ニ希望ヲ申上ゲテ私
ノ質問ヲ打切リタイと思ヒマス、ドウシテ
モ私ハ本年ノ七八月頃、或ハ早ケレバ六七
月頃ニ、米穀ノ配給ニ付テ不安ガ來ルノ

デハナイカト云フヤウニ悲觀シテ居ル者デ
アリマス、萬一今度サウシタヤウナ米穀配
給ガ不圓滑デ、問題ガ起ルコト云フコトニナ
リマス、昨年ノ冬起ツタヤウナモノデナ
ク、相當深刻ナ問題ニナツテ、支那事變處理
ニモ大分影響スルヤウナコトガ出來ハセヌカ、
又出來タラ大變ト云フコトガ出來ハセヌカ、
ニ希望ヲ申上ゲルノデアリマス、農民ニ安心
ヲ與ヘテ米ヲ出シ渡ラヌヤウニ致シマスニハ、
何トシテモ十五年度ノ産米ハ豫定ノ通り増産ヲ
スルノダ、詰リ肥料、飼料モ關聯シテ居リ
マスカラ、ドウシテモ入レナケレバナラナ
イ、肥料モ飼料モ完全ニ十分ナ配給ヲシテ、
増産計畫ヲ必ズ實行スル、斯ウ云フコトヲ
發表シテ農民ニ安心ヲ與ヘナケレバナラス、
唯政府ガ考ヘテ居ルヤウニ、是カラアレヲ
研究スルコトカ、或ハ飼料ニ付テモ、肥料ニ
付テモ、滿洲ノ方ノ對策ガドウトカ、愈
仕方ガナケレバ第三國カラ買入レル、斯
ウ云フヤウナコトヲ言ツテ居ル中ニ問題ハ
起ツテシマヒマス、ダカラ今ノ申ニ一方滿
洲ナラ滿洲ト云フモノニモ努力スル、ト同
時ニ第三國カラ買入ル方針ヲ直チニ決メテ
第三國カラ買入レル策ヲ、執ラナケレバナ
ラスト私ハ思フ、デアアルカラ滿洲ノ方ニ色
色ナ手段ヲ盡シテ見テモ、思ハシク行カ
ケレバ、第三國カラ買入レルト云フコトデ
ナク、滿洲國ヘモ出來得ル限りノ手ヲ盡
ト同時ニ、政府ノ方針ヲ第三國カラ買入レ
ルノダト云フ風ニシテ、第三國ノ買入ニモ、
滿洲ノ方ニ手ヲ盡スノモ同時ニ働キ掛ケテ、
サウシテドツチカデ農民ニハ困ラセヌヤウニ、
肥料モ飼料モ供給スルコト云フコトヲ言明シ
テ、農民ニ安心ヲ與ヘル、デナケレバ逆モ
圓滿ニ米ノ供給調節ハ出來ナイ、又政府ノ

計畫致シマシタ、一昨日御發表ニナリマシ
タヤウナ、例ヘバ水陸稻ノ耕種改善基準ノ
改訂、或ニ是ガ實踐獎勵デ六千七百四十六
万五千石ヲ確保シテ、サウシテアト色々ナ
項目ヲ並ベテ百三十万石ノ増産ヲ圖ルト云
フヤウナコトヲ、斯ウ云フ「イロハ」ニ依ツテ
並ベテ見タ所ガ、肝腎ノ肥料ト云フ問題ガ
今日ノヤウニ不安ナ状態デアツテハ、到底
農民ハ安心ハ出來マセヌ、デアアルカラ諄イ
ヤウデアリマスケレドモ、滿洲國ガケテ常
テニシテ居ナイデ、滿洲國ノ方ハ只今モ色
色ナ御話モアツタヤウデ、私ハドウモ難カ
シイト思フ、政府ノ方ガ考ヘテ手ヲ盡シテ
居リマシテモ、滿洲國デハ到底満足ナ確
保ハ出來スト思フ、デアアルカラ此ノ際思切
ツテ所謂軍需資材ヨリモ優先シテ肥料ト飼
料ハ確保スルコト云フ考ヘテ、先ツ最初ニ
第三國カラ買入レル方針ヲ決メテ、此ノ際
農民ニ安心ヲ與ヘテ欲シイト思フ、是非是
ハ御尋シタイと思フ、サウスルニハ關聯デ
所謂軍需資材ヨリモ、肥料ト飼料ダケハ優
先シナケレバナラスト云フコトヲ、各關係
大臣ニ諒解サセナケレバナラスノデアリマ
スカラ、何レモ關聯デナクテハ決リマセヌ
イガ、ソレヲ第一ニ決メテ、サウシテ第三
國ヘ手ヲ入レルト云フ風ニスルト同時ニ、
其ノ方針ヲ此ノ議會ナリ、他ノ方法ニ依ツ
テナリ國民ニ發表シテ、サウシテ農民ハ安
心シテ成程ニナラバ今年ハ米ノ増産ガ出來
ル、斯ウ云フ風ニ考ヘサヘスレバ、色々ナ
條件ガアリマシテモ或ル程度農民ガ米ヲ手
放サヌニナルダラウト思フ、此ノ際ハ
農林省ハ他ノモノハ捨テテ置イテモ、肥料
ト飼料ヲ十分ニ確保スルコト云フコトニ是非
御尋力下サルヤウニ御願申シマシテ、私ノ

質問ヲ打切ルコトニ致シマス
○坪山委員 長代理 只今土屋君ノ關聯シタ
質問ニ對スル電氣等ニ對スル政府ノ答辯ハ、
議事ノ進行上午後ニ願フコトニ致シマシテ、
過般來政府委員ニ保留ニナツテ居リマシタ
今成委員 極メテ簡單ニ要點ダケヲ申上
ゲテ、私ノ質問ヲ終リタイと思ヒマス、昨
年ノ秋ノ政府ノ米穀對策ハ明ニ失敗デアツ
タコトハ、是ハモウ輿論デゴザイマシテ、
今更ニ返返スノデハゴザイマセヌ、併シ事情
トシテハ、之ヲ申上ゲナケレバナラスノデゴ
ザイマスガ、一體我國ニ於テ國民ノ食糧ガ
不足ニナルノハ何時デアアルカト申シマスレ
バ、只今坂下委員ノ申サレタ通り、端境期
ト申シマス出來秋ノ前デアアル、六七七月頃ガ
最モ米穀ノ窮乏事情デアツタ、然ルニ
昨年ノ秋ハ全國ニ米ガ出來テ居ルニモ拘ラ
ズ、國民ノ米ニ對スル窮乏事情ガ起キ
テ來タコトハ、政府ガ政策ヲ誤ツタト云フコ
トハ何人モ否ム人ハナイト思フノデアリマス、ソ
コデ從來ノ端境期ニ於ケル國民ノ食物ヲ保有
スル爲ニ、ドウシテモ此ノ早出來——大臣ハ
早場米ト仰シヤイマシタガ、私ハ早出來ト
稱シテ居リマス、此ノ早出來ヲ獎勵スルノ
ガ最モ策ノ得タルモノデアルト云フコトヲ、
私共ハ信ジテ居リマス、殊ニ中國、九州等
ノヤウニ二毛作ヤル土地デハ、此ノ早出
米ト云フモノハ出來得ナイノデアリマシテ、
是ハドウシテモ東北若クハ北陸方面ノ一毛
作ノ土地デナケレバ行カナイト云フコト
ハ、政府デモ能ク御承知ノ管デアアル、ソコ
デ本年ノ此ノ早出來ニ對シテ政府ハドウ云
フ御對策ヲ御執リニナルデアラウカ、過日
滿場ニ於テ農林大臣ヨリ此ノ早出來ニ對シ

テ相當ノ處置ヲ執ルト御述ニナツテ居ツタ
ノデアリマスガ、最早省ノ方針モ決リ、政
府ノ方針モ決ツタト聞イテ居ルノデアリマ
スカラ、此ノ早出來ニ對シテハドウ云フ御
處置ヲ御執リニナルノデアリマセウカ、之
ヲ寧ろ公表致サレマシテ、サウシテ一般國
民ニ安心ヲ與ヘマスコトガ、最モ良イ方法
ダト思フノデゴザイマス、坂下委員ハ滿洲
支那ノ方面ノ消費モ十分ニ研究シ、若シ足
リナケレバ第三國ノ處置モ御執リニナツテ
戴カナケレバナラス、斯ウ御述ニナリマシ
タガ、已ムヲ得ザル場合ニハ其ノ方法モ宜
イノデアリマスガ、私共カラ考ヘルナラバ、
貿易關係其ノ他色々ナ關係カラ言ツテ、成
ベク國內ニ於テ支辨ナサルコトガ最モ策ノ
得タルモノダト思フノデゴザイマシテ、此
ノ早出來出荷ニ對スル政府ノ方針ヲ、一ツ
此ノ機會ニ於テ御諒解ヒタイと思ヒマス
○横山政府委員 只今國民ノ食糧確保上、
特ニ此ノ端境期ニ近イ頃ニ於テ出廻ル所ノ
所謂早場米トカ早出來トカ云フモノガ、極
メテ重要ナ關係ニアル、殊ニ本年ノヤウナ
米穀事情ノ下ニ於テキマシテハ、此ノ早出來
ガ能ク出廻ルト云フコトガ、需給ノ關係ヲ
緩和スル上ニ於テ大切デアルト云フコトデ
アリマシタ、ソレ等ノ御趣意ニ付テハ洵ニ
御尤モ其次第ト存ジテ居ルノデアリマス、
而シテ此ノ事ニ關シマシテ、昨年ノ秋ニ早
場米地方ニ對シマシテ極力刈取調整ヲ促進
サレ、我國ノ食糧需給ノ緩和ノ爲ニ、色々
ト御努力ニナツタ點ハ、是亦政府ニ於テモ
十分考ヘテ居ル點デアリマス、而シテ本年
ノ早場米ニ付キマシテモ其ノ大切ナコトヲ
認メテ居ルコトハ、先程申シタ通りデアリ
マスガ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル方法ヲ

此ノ際特ニ執ル考デアアルカト云フ御尋ノコ
トト拜承致シタノデアリマス、此ノ點ニ付
キマシテハ既ニ本會議其ノ他ノ機會ニ於テ、
農林大臣ヨリモ色々御答辯ガアリマシテ、
何等カ適當ナ方法ヲ之ニ對シテ講ズル考デ
アルト云フコトヲ言明セラレテ居ツタノデ
アリマス、吾々事務當局ノ關係ト致シマシ
テモ、此ノ方針ノ下ニ豫算其ノ他ノ方法ニ
於テ、何等カ適當ナ方法ヲ講ジタイト云フ
ノデ、目下關係者ト折角折衝中デアリマシ
テ、マダ確定ハ致シマセヌガ、不日何等カ
ノ確定ヲ見ルニ至ルノデハナイカト云フヤ
ウニ、期待ヲ致シテ居ル次第デアリマス、
目下ノ狀況ハ只今申上ゲタヤウナ程度ニ達
シテ居ルノデアリマス
○今成委員 ソレヲ承リタイノデアリマス
ガ、中々御滿シニナラスノデ困リマスガ、
承ル所ニ依リマスレバ、農林省ハ決定ヲシ
テ大藏省ノ方デア案ヲ御協議中ダト云フコト
デアリマス、其ノ農林省ノ案ナルモノデモ、
御示ヲ願フコトガ出來ナイデセウカ
○横山政府委員 是ハハハリ財務當局其ノ
他ト十分折衝致シマシテ、確定ヲ致シテカ
ラ申上ゲタ方ガ適當デハナイカ、斯様ニ考
ヘテ居リマス
○今成委員 御滿シニナツテ宜イコトデヤ
ナイカト思フノデアリマスガ、ソレナラ私
ノ方カラ進シテ申上ゲマスガ、恐ラク早出
米ヲ獎勵ナサルト云フコトデアレバ、ソレ
ハ種子ノ買入若クハ肥料ノ入手等ニ對シテ、
助成金ヲ御與ヘニナルト云フヤウナ方法ダ
ラウト思フノデアリマス、左様ナコトヲナ
サツテ早出來ヲ農民ニ獎勵ナサルコトモ是
非必要ダト思ヒマスケレドモ、ソレダケデ
ハ私ハ到底早出來ヲ出スコトハ出來ナイト

思フ、御承知ノ通り非常ニ早出来ハ不利益ナリ...

昨年ハ御承知ノ通り政府ニ於キマシテハ獎勵スル...

ルヤウニ、適當ナ方法ヲ考ヘタイト思ツテ...

ルカト云フ御承知デゴザイマスガ、是ハ先般...

飼料配給法ト云フモノガアリマシテ、ソレニ準據...

ノ増殖補給ノ手段ヲ講ズルノ方宜クハナ...

ト云フ御承知、拜承致シタノデアリマスガ、...

アリマスガ、サウ云フ場合ニハ此ノ肥料工...

○今成委員 モウ時間切迫致シマシタカラ...

○今成委員 能ク分リマシタ、最後ニモウ...

○重政政府委員 先程土屋君ノ答辯ヲ求メ...

○今成委員 飼料ガ含シテ居ラヌト云フコ...

常ニ改善ヲ現在ニ於テハセラレテ居ルノデ
アリマスガ、併シ吾々ト致シマシテハ、御
質問ノ御趣意モソコニアラウト思フノデア
リマスガ、最大受電可能量マデハ配電ヲセ
シムルヤウニ、更ニ一段ノ努力ヲ關係當局
ト致シタイト云フノデ、色々協議ヲ致シテ
居ルヤウナ次第デアリマス

○土屋委員 只今御答下サツタコトハ私ノ
御尋シタ問題ハナイノデ、第一種デア
リ、肥料製造用ノ電力ハ第一種甲ノ中ニア
ルト云フコトモ能ク承知シテ居ルノデアリ
マス、併シ食糧政策ノ見地カラ、肥料製造
用ノ電力ハ有ル生産ニ優先シテ之ニ配電
スルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、
是ハ軍需ニ優先シテマデモ配電スルト云
フコトニナツテ、話合ガ済ンデ居ルト承
テ居ルノデアリマス、是ハ私ノ聞キ損ネカ
知レマセヌガ、左様ニ聞イテ居ルノデアリ
マシテ、之ヲ表面化スルト云フコトハ摩
ガアルカラ表面化シテハイケナイト云フコ
トデ、御尤モノコトト思フテ私ハ黙ツテ聞
イテダケ居ツタノデアリマス、聞イテダケ
居ツタノデアリマスガ、併シ第一期ハ既ニ
各配電區ニ互リ電氣ノ配電割當モ全國的ニ
結了シタト思ヒマスガ、其ノ中デ有ル生
産ニ優先シテ肥料製造用ノ動力ガ供給セラ
レタト思ハレマセヌ、詰リ電力配給順位ニ
居ル其ノ順位ガ、或ル程度ノモノヨリモ好
イ位置ニ居ルト云フニ止マルノデアツテ、
此ノ議會始マツテ食糧問題ガヤカマシクナ
リ、肥料問題ガヤカマシク論ジラレル結
果、軍需ニ優先シテマデモ製造用ノ電力ハ
配給サセルノダト云フ言葉ト、實際トガ違
ツテ居リマスノデ、ソレデ實ハ御尋シタノ
デアリマシテ、只今政府委員ノ御説明下サ

ツタ點ハ、概略私モ成行ハ聞イテ居リマス、
御言葉ノ中ニ選信當局トモ交渉中デアルト
仰セラレタ、其ノ御言葉ガ私ハ聴キタイノ
デ、選信當局トモ交渉シテ有ル物資ノ生
産動力ニ優先シテ、動力ヲ供給スルコトニ
ナツタト云フ後ノ方ノ言葉ガ、實ハ欲シカ
ツタノデアリマス、所ガ後ノ方ノ御言葉
戴タコトガ出来ヌノヲ甚ダ遺憾ニ思ヒマス
ガ、何處デ交渉ガ出来タカ、ドウシタカト
云フコトヲ、ハツキリ私ハ申上ゲ兼ねマス
ケレドモ、所謂食糧ニ必要ナルモノデア
カラ、軍需ニ優先シテ此ノ動力ヲ供給スル
ト云フコトニマデ、話合ガ付イテ居ルト承
ツテ居ルノデアリマスカラ、ドウシテ此ノ上
ノ御配慮ヲ煩ハシマシテ、肥料製造用ノ電
力ニ對シマシテハ、他ノモノヨリモ其ノ比
率ニ於テモ優先スルヤウニ、配電ヲ御取計
ヒ下サルヤウ御願ヲ致シテ置キマス、是ダ
ケ申上ゲテ私ハ打切りマス

○坪山委員代理 午前ノ會議ハ是デ閉
ルコトニ致シマスガ、河野君等カラ政府ニ
御要求ニナツテ居ル參考資料ヲ早ク御提出
ニナルコトガ、議事ノ進行上好都合ト考
ヘマスカラ、努メテ早ク御提出ヲ願ヒマス、
午後一時半カラ會議ヲ閉キマス、午前ハ
是デ會議ヲ閉チマス

午後零時十分休
午後一時四十分開議

○坪山委員代理 午前ニ引續キ會議ヲ開
キマス——高田君

○高田委員 一寸判明シナイノデ尙ホ伺
ヒマスケレドモ、早場米ノ獎勵ト云フハ、
何か農林第何號ト云フヤウナ、種デモ配給
スル金ヲ出スヤウニ聞イテ居ツタノデス
ガ、サウデハナクテ、唯出来タモノヲ早ク
出荷サセルト云フ意味ノ金ヲ出スニ過ギナ
イノデスカ、反別ヲ増スト云フ意味ハ含
デ居ラスノデスカ

○土屋政府委員 御質問ニ御答申上ゲマス
考ヘ方ハ、詰リ早場米ヲ從來通り出シマス
分、ソレカラ從來ハ中稻ヲ作ツテ居ツタケ
レドモ、ソレヲ今度早稻ニ替ヘル分、此ノ
兩方ニ付キマシテ反收ノ減ヲ考ヘマシテ、
其ノ減ヲ金デ補給スルト云フ考ヘ方デ、金
ヲ出スコトニ致シテ居ルノデゴザイマス、
其ノ金ヲ使ヒマス使ヒ途ニ付テハ、從來早
稻ヲ作ツテ居リマス者ハ、其ノ必要ハナイト
思ヒマスガ、新ニ早稻ヲ作りマス部分ニ付
テハ、ヤハリ種子ノ購入ヲスルトカ何トカ
云フ方法デ、其ノヤリマシタ金ガ使ヘル
ヤウニ指導スルコトモ必要ダラウト考ヘ
テ居リマス、尙ホ併セテ申上ゲマス、増
産計畫ノ中、多收種品種ノ普及、此ノ方
ハ種子ノ購入ノ助成ヲスル考デゴザイマ
ス

○高田委員 モウ一ツ伺ツテ置キタイコト
ハ、是ハ豫算ニ關係スル問題デゴザイマス
ガ、十四年度ニ於テ四百万石カノ増産ヲス
ル、一石出来タモノニ付テハ一圓ノ獎勵金

ノコトヲヤルノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ、
何か米ノ種類ニ依ルノカ、或ハ早タ米ノ出
ル所ト云フノデスカ、兩様ノ意味ニナルト
思フノデスカ、ソレカラ本年ノ春ノ馬鈴
薯、甘藷、甘藷ハ早イ所ナラバ六七月頃ニ
出来マスガ、サウ云フ問題ニ付テ、ドウ云フ
計畫ヲ立テテ居ラレマスカト云フコトト、
モウ一ツハ、此ノ間戴イタ生産計畫、内地
ノ方デスガ、水田造成、陸稻開發、暗渠排水
云々、農用公共施設云々ト、此ノ方デ相當
數量——五十万石近クノ數量ヲ得ントスル
目的ヲシノデスガ、豫算ガ決ツテカラヤ
ルト云フコトニナレバ、此ノ中ノ多クハ間
ニ合ハヌダラウト思フガ、ドウナツテ居
マスガ、何か特ニ當局ハ是等ノ問題ニ付テ
豫備費デモ支出スルト云フコトニ依ツテ、
此ノ四ツノ目的ヲ達セルヤウニ各地方應
通知サレルノカ、サウシナイト豫算ガ決ツテ
カラハ到底間ニ合ハヌト思フガ、ドウナ
ツテ居リマスカ

○土屋政府委員 御答申上ゲマス、第一點
ノ早場米ノ問題デゴザイマスガ、是ハ九月
ノ中旬マデニ出マス米ヲ先ヅ一應早場米
ト考マシテ、其ノ作付反別ガ計數上大體
分ツテ居リマスカラ、ソレヲ基礎ト致シマ
シテ、ソレデ豫算ハ十五年度ノ追加豫算ト
シテ、只今大藏省ニ折衝中デゴザイマス
ラ、金額等ニ付テハ此ノ席デ申上ゲルマデ熟
シテ居リマセヌ、考ヘ方ダケ申上ゲマス、
九月ノ中旬マデニ出マス早稻米ヲ放任シテ
置キマス、早稻米ハ出ナクナルノデハハ
イカ、ソレハ從來ハ早稻米ガ相當高ク賣
マシタカラ、農民ハ早稻米ヲ出スコトニ一
生懸命ニ骨ヲ折ツタノデアリマスガ、公定
價格制度ガ確立致シマシテ、早ク出シテモ

後デ出シテモ値段ニ違ヒガナイ、サウナリ
マスト數量ノ少イ早稻米ヲ作ルヨリモ、收
量ノ多イ中稻、晚稻ヲ作ツタ方ガ、是ハ冷
害ノ危険ハゴザイマスガ、利益デアルト云
フ所カラ、自然早稻米ノ作付反別ハ減ルデ
アラウ、斯様ニ考ヘマシタ、ソコデ數量ノ
少クナリマス分ヲ金デ補ツテヤル、反收ド
ノ位ノ減收ニナル、ソレヲ公定價格ノ四十
三圓計算スルト幾ラ幾ラノ金額ニナル、
ソレヲ金デ補ツテヤラウ、斯ウ云フ考デゴ
ザイマス、數字モ申上ゲテ宜シウゴザイ
マスガ、只今大藏省ト折衝中デ、數ガマダ確
定致シテ居リマセヌカラ、確定次第申上ゲ
ルコトニ致シマス、ソレカラ第二ノ御質問
ノ本年ノ甘藷、馬鈴薯ノ問題デゴザイマス
ガ、是ハ既定計畫ニ依リマシテ「アルコ
ル」原料ノ甘藷、馬鈴薯トシテノ増産計畫
ガゴザイマシテ、ソレニ或ル程度ノ豫算ガ
既ニ昨日衆議院デ御決議ニナリマシタモノ
ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマスガ、併シ其
ノ後ノ食糧通達ノ情勢ニ鑑ミマシテ、今高
田委員ノ御指摘ノヤウナ意味ニ於ケル甘藷、
馬鈴薯ノ増産ガ必要ト考ヘマシテ、是モ十
五年度ノ追加豫算デヨリ以上ノ増産ヲ爲ス
ベク、只今大藏省ト折衝中デゴザイマス、
是モ數字ガ決リマシタナラバ、申上ゲル機
會ガアラウト思フテ居リマス、ソレカラ第
三ノ御質問ハ、洵ニ御尤モナ御質問デ、豫
算ガ確定シテカラヤリマシテハ到底間ニ合
フモノデアリマセヌ、ソレデ是ハ既ニ昨
年ノ秋カラ、一部ハ十四年度ノ第一豫備金
一部ハ十四年度ノ追加豫算トシテ、先般兩
院デ成立致シマシタ、一部ハ先般御決議ニ
ナリマシタ十五年度ノ豫算、此ノ三本建
ナツテ既ニ工事ヲヤツテ居リマス、昨年ノ

際アナタノ御氣持ヲ伺ヒタイ

○土屋政府委員 四百萬圓ノ増産獎勵金
ヲ、ドウシテ削ツタカト云フ御質問ハ、御
尤モト拜聴致シマシタ、是ハ只今御述べニ
ナリマシタ通り議論ガゴザイマシテ、一石
出来レバ一圓ヤルト云フコトハ、ドウモ農
民ノ實際ノ状態ニ合ハヌノデハナイカ、幾
ラ骨ヲ折ツテモ、水害ヲ被ツタリ早害ヲ被
ツタリシタ人ハ貰ヘナイ、ソレカラ遊シ
居ツテモ天氣ガ好クテ巧ク出来レバ貰ヘル、
ソレデハドウモ農民ノ心理ト申シマスガ、
働キト申シマスガ、ソレニ合ハナイデハハ
イカト云フ考カラ、本年ハ之ヲ止メタノデ
アリマスガ、尤モ十四年モ四百萬圓ノ中、
一石ニ付テハ四十錢ト六十錢トニ分ケマシ
テ、四十錢ノ方ノ百六十萬圓ハ、是ハ途中
デ方針ヲ變ヘマシテ出来高ニ依ラズ事前ニ
交付ヲ致シマシタ、六十錢ノ方ダケガ出来高
ニ依ツテ今日殘ツテ居ル課デアリマス、其ノ
百六十萬圓ハ十五年度ノ豫算ニモ同様ニ計
上致シマシタ、是ハ府縣ニ配付致シマシテ、
府縣デ色々部署等ニ分ケルト思ヒマスガ、
増産ノ施設ニ使フヤウニ云フコトニ致シ
マシタ、其ノ他ノ經費モ、或ハ病蟲害ノ防
除デアルトカ、何トカ云ツタヤウナ用途ヲ
指定シタ方ニ大體振向ケマシテ、サウシテ
十五年度ノ米穀ノ生産維持費並ニ増産ノ助
成費トシテ、四百四十三萬餘圓ノ金ヲ計上
シタヤウナ次第デアリマス、是モ追加豫算
デ出ス考ハナイカト云フ御話デゴザイマス
ガ、大臣ハドウ云フ御考カ伺ツテ見マセヌ
デ、私共ノ所デハ只今申上ゲタヤウナ經過
デ、豫算ガ出来テ居リマスカラ、ソレニ依
ツテ一ツ私共ノ心持ヲ御承願ヒタイト思
ヒマス

○高田委員 モウ私ノ質問ハ是デ打切りマス
○坪山委員代理 此ノ際商工關係ノ御答
辯ガ殘ツテ居リマスカラ、御願スルコトニ
致シマス——加藤商工務次官

○加藤政府委員 先日坪山君ヨリ農村ニ於
ケル農業用資材ガ非常ニ缺乏致シテ居ル、配
給モ洵ニ拙イ、斯クテハ増産ナドハ中々出来
ルモノデハナイ、殊ニ勞働用ノ作業服、木綿
紺地、地下足袋、晒、其ノ他ノ木綿用品ガ
非常ニ缺乏シテ居ル、是デハ農村ニ非常ナ
苦痛ヲ加フルト共ニ、洵ニ迷惑ヲ感ジ、増
産計畫ナドト云フモノハ全ク出来ヌデハハ
イカ、政府ハドウ考ヘルカト云フ御質問ガ
アツタヤウニ承ツタノデアリマスガ、如何
ニモ御尤モナ御質問デアリマシテ、是ハ屢
本會議ニ於キマシテモ御答辯申上ゲマシタ
ヤウニ、何分資材ノ不足ト相俟ツテ、配給
ノ手落ノ爲ニ農村方面ニ多大ノ御迷惑ヲ掛
ケマシタ段ハ、何トモ恐縮千萬ニ堪エヌ次
第デアリマス、殊ニ特免ノ作業服其ノ他ニ
至リマシテハ、是亦同様ニ立場デアリマシ
テ、配給資材共ニ不足シテ洵ニ申譯ナイ次
第デアリマス、今後ハ精々配給ノ方面ニモ
努力致シマシテ、圓滑ヲ期シタイト存ジテ
居ル次第デアリマス、殊ニ勞働作業服其ノ
他特免ニ關シタ物ニ付キマシテハ、只今ノ
儘デハ縦シ如何ニ配給ヲ圓滑ニ致シマシテ
モ、不足ヲ感ズル次第デゴザイマスガ故
ニ、商工省ト致シマシテハ先般モ他ノ席ニ
於テ申シマシタガ、モウ少シ綿ヲ多ク出ス
ト云フ方針ノ下ニ、來年度ヨリハ作業服、
地下足袋、晒其ノ他ノ方面ニ於キマシテ
モ、モウ少シ多ク生産致シマシテ、農村
方面ニソレヲ配給致シマシテ、幾分デモ
只今ノ御迷惑ヲ緩和致シタイト、精々努力

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀)應置措置ニ關スル件(委員會會議錄) 第六回 昭和十五年二月二十三日

七三

ス、時價トハドウ云フ點ニ於テ御定メニナ
ル積リテアリマセウカ、時價ト云フモノハ
ドウ云フ考ヘ方ニ依ツテ御決メニナルカ、
之ヲ私ハハツキリシテ置カナレバ、此ノ
法案ノ執行ニ付テ重大ナ問題ガ起ツテ來ヤ
シナイカト思フノデアリマス、今日ノ相
ハ公道價格デアリマスカラ、勝手氣儘ニ統
制經濟ノ上ニ決メテ價格デアリマシテ、眞
ノ價格デアリマセウ、適正價格デアリナイ、
固ヨリ公道價格デアリナイ、公道價格ト云フ
モノハ生産者ガ賣ルト致シマシテモ不
滿ガナク、買フ消費者ニ致シマシテモ、眞
實ニ得ル所ノ價格ガ所謂公道ナル價格
デアリマス、其ノ公正ナル價格ニ付テ行
クト云フマツハ現在ノ米穀トシマシテハ、
ズツト私ハ茲ニ開キガ出テ來ルノデア
イカト思ヒマス、斯ウ云フ情勢デ新ニ法案
ヲ改正シマシテモ、政府ノ期待サレルヤウ
ニ米穀ト云フモノガ圓滿ニ行互ルコト出
得ナイ、斯様ニ私ハ心配スルノデアリマス、即
チ先づ第一ニ農生産者ニ對シテ不安ヲ除去
ルコトデアリ、其ノ不安ヲ除去スルコト云フ
ハ肥料ノ點ニ於テモ電力デアルトカ、石炭デア
ルトカ、色々心配ガアリマセウ、ケレドモ其
ノ心配ヲ吾々方同ヘバ伺フ程、政府ガヨチ
ヨチサレルカラ一層心配ニナルノデアリマ
ス、相當ノ確信ヲ持ツテ金ヲ外國ニ送ツテ
南京米、外米ヲ買ツテ勇氣ガアリマスナ
ラバ、私ハ思切ツテ肥料供給ノ政策ヲ考ヘ
得ラレルコト思フノデアリマス、ソレデ
心配シテ呉レルナ、肥料ハ是ダケ十分供給
ガ出來ル、或ル程度マデ生産ヲ確保スル
ケノ肥料ガ出來ルカラ心配シテ呉レルナ、
此ノ一ツノ安心ヲ與ヘルコト、チウシテ諸
物價ガ關取引ニナワテ居ル、商工大臣ハ或

ノ爲ニ憂フベキ状態デアルト思ヒマス、連
ニ各府縣ガ思ヒ(ニヤツテ居ルコト云フコ
トヲ撤廢セシメナケレバナラナイ、ソレニ
ハ前途ニ何等ノ心配モナイト云フヤウニ考
ヘシメルト云フ手段ヲ政府ガ執ラナケレバ
ナラヌト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソ
レデ私ハ茲ニ増産ノ方面ニ付テ御尋致シタ
イコトハ、今十五年度ノ米ヲ考ヘマスノ
ニ、先づ天候ガ順調ニ參ツタト致シマシテ、
肥料ノ第一ニ必要ナルコトハ勿論デアリマ
ス、殊ニ昨年ノ旱魃地方ニ於キマシテハ、
土地ガ非常ナル高熱ノ爲ニ分解作用ヲ盛
ニ致シテ居リマスカラ、一層ノ肥料ヲ要ス
ル譯デアリマス、肥料ヲ潤澤ニスル、併シ
色々ノ事情ハ中々御困難ノヤウデアリマス
ケレドモ、此ノ肥料ヲ第一ニ十分ニシテ、
サウシテ稲作ニ對シマシテ今日マデ執ツテ
居ル所ノ適切ナル指導方針ニ依ツテ、稲作
ノ栽培ヲ致サナケレバナラヌト思フノデア
リマス、第一ニ考ヘナケレバナラヌコト
ハ、臺灣ニ於ケル第一期作デアリマス、之
ヲドウ御考ニナウテ居リマスカ、昨年臺灣
ノ米ノ管理案ガ出來マシテ、サウシテ一石二
圓ト云フ差額ニ依ツテ買上ゲルト云フ状態
ニナツテ居リマス、實際ハ今日ニ於テ五圓
モ或ハ七圓モ安ク總府府ガ買ツテ居ルト云
フヤウナコトモ聞イテ居リマス、昨年私ハ
第一期作ノ末、第二期作ノ掛リノ時期
ニ臺灣ヘ參リマシタガ、米作ト云フコトニ
對シテハ、臺灣當局トシテ殆ド捨テテ置
ク、寧ロ甘藷栽培ノ爲ニ犧牲ニ供シテモ宜
イ、或ハ犧牲ニ供シテ居ルト云フヤウ
ナ情勢ヲ目撃致シテ來タノデアリマス、
殊ニアア云フ暑イ所デアリマス、ルカラ
ラ、稻熟期ノ澤山出テ居リマスルコトニ對

○岡田政府委員 前段御話ノ點ハ大體精
デアリ、御意見デアリヤウデアリマシタガ、
御尤モ御意見ノミデアリマシテ、大體ニ
付キマシテハ能ク拜承致シマシテ、參考ニ
資シタイト存ジマス、唯其ノ中一點百二十
一萬石ノ増産計畫ニ付テノ御話モアリマシ
タカラ、此ノ點ノミニ付テ申上ゲテ置キマ
ス、其ノ仔細ノ内容ニ付キマシテハ、又御
質問ニ依ツテ改メテ御答スルノガ宜カラウ
ト思ヒマスガ、大體ノ氣持ハ御覽ノ通り、
必ズシモ農民ノ從來ノ努力ガ足ラヌカラ、
殘サレタ努力ガアルカラ、此ノ上ソレヲ輕
健スルコトニ於テ、果シテ増産ガ出來ルカ
ト云フ點ニ付テハ、必ズシモサウ云フ風ニ
御考下サラスニ、寧ロ或ル意味ニ於テ、殘
サレタル指導ガアルノデアラウト思ヒマス、
施設ガアルノデアラウト思ヒマス、サウ云
フコトモアルノデ、指導ニ於テ、施設ニ於
テ一段ノ力ヲ加ヘマシテ、而シテ又一層ノ
農民ノ努力ニ俟ツテ増産ヲ圖リタイ、斯ウ
云フ氣持ニ於テ計畫サレテ居リマスノデ、
御諒承願ヒタイト思ヒマス、又續イテ臺灣米
ノ御話ガアリマシタガ、此ノ點ハ或ハ拓務
當局カラ、必要ニ依リマシテハ仔細ノ御答
辯ヲ申上ゲルノガ宜シカラウト思ヒマス、
併シ既ニ參考書類トシテ御配付申上ゲマシ
タモノニ記載致シテ居リマス通り、兎ニ角
特ニ臺灣當局ニ於キマシテモ、内地ノ米不
足ニ對シテ各種ノ計畫ヲ定メマシテ、
増産目標百石、總生産數量千二百二十五
萬石、斯様ノ目標ニ於テ各項目記載セラレ
タヤウナ手段方法ニ於テ、是非トモ是方違
成ヲ圖ルベク、誓ツテ努力致シツアルヤ
ウナ次第デアリマスノデ、大體之ニ期待シ
ツアルノデアリマス、事ノ仔細ハ只今申

上ゲマシタ通り、必要ニ依リマシテハ拓務
當局カラ御答申上ゲルコトニ致シマス、其
ノ他時價ニ付テノ御話モゴザイマシタ、此
ノ點ハ現在公道價格ノモノガ往々ニシテ
實際價格ノ以下ニアル、隨テ時價自體ヲ以
テハ到底買入レルコトモ出來ナイデア
カト云フ點ニモ觸レテ御話ガアリマシタガ、
或ハサウ云フ傾向ガナキニシテアラズデア
リマスルガ、併シ言フマデモナク政府
ガ米ヲ買上ゲルシマシテモ、其ノ他ノ
モノヲ買上ゲルニシマシテモ、公道價格
ノ範圍内ニ於テ、而シテ市場ニ於ケル
實際相場ニ準據シテ之ヲ買上ゲヨウト云フ
計畫デアリマス、又時價ノ決定ニ付キマシ
テハ、巨細ノ基準ハ倍テ置キマシテ、米ニ
付キマシテハ米穀統制委員會ノ諮問ニ掛ケ
ル、其ノ他ニ於キマシテ要スルニ市場相場ニ
準據致シマシテ、其ノ實際價格ヲ決定ス
ル、斯ウ云フコトニ於テ時價ト云フモノヲ
考ヘテ居ル次第デアリマス、箇米ノ點ニ付
キマシテハ、實ハ一十同ツテ居リマシタガ、
要スルニ此ノ簡米ノ方法ハ甚ダ不徹底デア
リ、今マデ説明シタヤウナ方法ニ於テ、果
シテ其ノ實ガ上ルカト云フ意味デナイカト
伺ヒマシタガ、是ハ私ガ少し懸念シガアル
カト思ヒマス、此ノ點ハ今マデ廣く説明モ致
シマシタガ、實際申シマシテ簡米ノ點ニ付
キマシテハ、適正ナル手段方法ヲ盡シテ居
ルトハ決シテ思ヒマセウノデ、私共自身ニ
於テモ、此ノ點ハ一層ノ手段ヲ考究セネ
バナラナイト云フコトモ痛感致シテ居リマ
ス、但シ實際ニ於テハ、是ハドウモ名案ト
申シマセウカ、十分效果ヲ奏スルト云フヤ
ウナ適正な案ト云フモノガ中々得難イノデ
アリマス、隨ヒマシテ從來ノ施設ニ因ハレ

ズシテ、改メテ一層ノ手段ヲ是方爲ニ考究
スル、例ヘバ關係省デアル厚生省ノ方面デ
アルトカ、或ハ内務省ノ方面トモ能ク連絡
致シマシテ、與ニ俱ニ考究ヲ進メテ、實施
方法ニ付テハ一段ト鍊直ス必要ガアルチヤ
ナイカ、事柄ガ豫算等ニ關係スルコトモナ
イデアリマス、マイガ、政府ハ必ズシモ豫
算ヲ伴ハズトモ爲シ得ル場合ガ多イノデア
リマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ、實施上
ニ一段ノ工夫ヲ凝ラスト云フコトヲ考ヘツ
ツアルヤウナ次第デアリマス

○委員 御答辯有難ウゴザイマシタ、先
程申シマシタ如ク、各府縣ガ領國のニ、所
謂封建の時代ノ如ク、ヤツテ居リマスノ
ヲ、一日モ速ニ解除セナケレバ、農民ノミ
ナラス國民總テガ、所謂前途ニ不安ガアル
ノデアリマス、自衛上サウ云フ風ナ
横著ナコトト云ヒマス、已ムヨ得ナイ態
度ニ出ルノデアリマス、之ヲ一日モ早ク除
去スルト云フコトヲ、私ハ考ヘナケレバナ
ラヌト思ヒマス、ソレニ付テハ物資ニ對シ
テ、殊ニ必需物資ニ對シマシテハ心配ガナ
イ、此ノ心配ガナイト云フコトニナレバ、
買溜デアルトカ或ハ賣情ト云フヤウナコト
ハ全然ナイノデアリマス、唯ソコニ何等カ
穴ハ入ツテ行クヤウナ氣持ガアルカラ、先
ヅ今ノ中ニ、斯ウ云フヤウナ氣持ニナルノ
デアリマス、百姓ニ致シマシテモ、從來ハ
肥料ヲ買ハナケレバナラヌ時期ニナツテ居
ル、或ハ肥料ヲ米商人カラ買ウテ居ルト云
フ關係カラ、米ガ穫レマス、當座ノ食糧
分ダケヲ殘シマシテ、アトハ全部賣ツテシ
マフノデアリマス、サウシテ其ノ金ヲ以テ
肥料ノ支拂ヲシ、サウシテボツツ、働イテ
ハ食糧モ買入レテ行クノガ、所謂小農ノ生

活ノ情勢デアリマス、所ガ政府ガ慌テ返シ
テ外米ヲ輸入スルノダ、米ガ足ラヌヤウニ
ナルノダ、サウスルト米ハ關取引高ク賣
レルナラ、斯ウナワタモノダカラ、百姓ハ
今賣ツテハ米ガナクナツテシマフ、サウシ
テ之ヲ以テ途ニハ南京米ヲ食ハナケレバ
ラスヤウニナル、モウ南京米ハ先ノ米騒動
ノ起ツタ時ニ百姓ハ慘メナ目ニ遭ツテ懲リ
テ居ル、アノ時ノ南京米ハ今ノ南京米以上
ニ石油臭クテ食ベラレナカツタ、喉ガ通ラ
ナカツタト云フ經驗ヲ持ツテ居リマスルカ
ラ、ソナナ米ヲ買ナケレバナラヌノナラバ、金
ヲ借リテ米ヲ手放サズニ置カウ、此ノ氣
持デ居ルノデアリマス、總テ今日ノ政治ノ
ヤリ方ト云フモノハ、不安ニ滿チテ海ヲ渡
ルヤウナモノデアリ、殊ニ怖ガル御答ヲ滿
載シテ、小船ガ大時化ノ海ヲ航海致シテ居
ルヤウナ情勢デアルト思ヒマス、此ノ場合
ニ頼リトスルノハ船頭ノ度胸一ツデアリマ
ス、乗合ノ人々ニシツテ居テ居ルカラ、
俺ガ引受ケテ向フノ岸ニ渡シテヤルカラ、
如何ニ風ガ吹カウト雨ガ降ラウト心配スル
ナト云フ、此ノ船頭ノ度胸一ツデアリ、ソ
レデコソ乗ツテ居ル人ハ怖々ナガラモ安心
シテ船ニ乗ツテ渡レル、所ガ今ノ政府ノヤ
リ方ハ乗合ノ御答ヨリモ飽食ツテ、ヤアド
ダ斯ウウダト騒ギ出シタノデアリマスカラ、
乗合ノ人ハ堪ツタモノデアリナイト云フヤウ
ナ情勢デアリ、是ハ卑近ノ例デアリマスガ、
サウ私ハ思フ、先ヅ以テ政府ハ食糧或ハ日
常消費物資ニ對シテハウキリシタ方針ヲ立
テラレテ、不安ヲ除クコト云フコトニ折角ノ
力セラレナケレバ、益々ハ人心ノ不安ヲ醸
成スルバカリデアツテ、サウシテ長期抗戰ダ
ノ、東亞新秩序建設ノ努力ヲシテ、努力ハ致

シテ、何等ノ防除ノ施設モシテ居ラナイ、
又灌漑水ト云フヤウナ點ニ於テモ不完全デ
アル、殆ド原始的ノ稻作栽培ヲヤツテ居ル
ヤウニモ見ラレタノデアリマス、アノ當時
色々臺灣米管理ニ對シテノ議論モアツタヤ
ウデアリマスルガ、今日先づ十五年度ノ食
糧確保ノ爲ニ、第一ニ政府トシテ眼ヲ著ケ
ナケレバナラヌコトハ、此ノ臺灣ノ第一期
作デアリ、之ニ依ツテ救ハナケレバ、内地
ノ十五年ノ需要ヲ充スコトハ出來ナイト考
ヘルノデアリマス、ソレデ此ノ方面ニ對シ
テ政府ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、
私ハ相當ノ力ヲ盡シ、相當ノ考慮ヲ爲スナ
ラバ、臺灣第一期作ニ於テ、政府ノ御考ニ
ナツテ居ル以上ノ第一期增收ヲ得ルコトモ、
困難ナ問題デアリナイト考ヘルノデアリマス
ガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ所信ヲ承リタイ
ノデアリマス

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案米穀ノ應急措置ニ關スル件ノ委員會議錄 第六回 昭和十五年二月二十三日

七七

シテ居リマシケドモ、斯ウ云フ重大ナル時局ニ對シテハ、國民ニ生活上不安ヲ與ヘルト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテハ、獨リ農林當局ダケニ申上テモ無理ナコトカモ知レマセズ、併シテ吾々ハ決シテ天祐ノミ頼ル譯デアリマセズガ、我國ハ昔カラ瑞穂ノ國トシテ、食糧問題ニハ心配ナクツタ國柄デアリマス、洵ニ天佑ト吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、人事ノ總テヲ盡シ、サウシテ初メテ天佑ガアルノデアリマス、私ハ人ノ色々ナ作爲ト云フモノハ、却テ天佑ヲ受ケルコトノ出來ナイヤウニ、自ら招イテ居ルノデハナイカト思フデアリマスガ、此ノ農林ニ對スル不安除去ニ對シテ、農林當局トシテハ、ドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ、又此ノ時價ト云フ問題ニ付テ、其ノ時ノ審議會ニ掛ケテ決メルト云フ言葉ハイケナシ、審議會ニ於テ決定シタル公定價格ニ依ツテ訂正シナケレバナラヌト私ハ思フ、時價ナラバ是ハ公定價格ト違ヒマス、全然違ヒマスカラ、其ノ點ヲハツキリシテ置イテ戴カケレバナラヌト思ヒマス。

○岡田政府委員 不安除去ノ點ニ付キマシテ段々ノ御説デアリマシテ、洵ニ御尤モ千萬ノ次第ト思ヒマス、言フマデモナク政府ノ態度ト用意トハ、全ク御説ノ如クアラネバナラヌト云フコトヲ感ジマス、及バズナガラ其ノ心持ヲ以チマシテ、諸般ノ政策ニハ當ツテ居ル次第デアリマスガ、如何セシ極メテ事重大ナ時局デアリマスガ爲ニ、必ズシモ一般ノ期待ニ副フヤウニ、進行キ得ナイ點モ御見エニナルダラウト思ヒマシテ、此ノ點ハ一段ノ戒心ヲ加ヘテ行キタイ

ト云フコトヲ感ズルノミデアリマス、又斯ウ云フ際デアアルカラ、餘リ慌テズ念ガズ、不安ヲ助長スルヤウナコトガアツテハナラズ、是亦全ク同意デアリマス、隨ヒマシテ先日來米ノ問題ニ付キマシテモ、政府ハ必ズシモ樂觀セズ又悲觀セズト云フヤウナ言葉ヲ以テ述ベテ居ルノデアリマシテ、言葉ハ足ラスカモ知レマセズ、却テ一層ノ誤解ヲ受ケルコトサヘナイデハナクツタノデアリマスガ、サウ云フ説明ヲ致シテ居リマスル氣持ハ、寧ろ御説ニナツタヤウナ心構ヘヲ以テ行キタイト云フ所ニアル次第デアリマス、又封建制度ト申シマセウカ、府縣ニ於ケル「ブロック」關係ハ、須ク打破スベシト云フ御説デアリマシテ、是ハ午前ニモ申シマシタ通り、固ヨリ其ノ方針ヲ以テ臨ンデ居ルノデアリマス、是ハ昨秋ニ於キマシテ、アノヤウナ異常變態ナ現象ヲ呈シタ爲ニ、或ル意味ニ於テ時ノ事情上已ムラ得ズシテ、各地方府縣等ニ於テ自衛的手段ヲ講ズルヤウナ處置ニ出テ、アノヤウナ狀態ヲ呈シタノデハナカラウカト思ヒマス、固ヨリ事ハ異常變態デアリマシテ、常態トシテスノ如キコトアラシムベカラザルコトデアリマスカラ、ドウシテモ之ヲ撤廢シ、解消セシメナケレバナラヌコトハ、當然ト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シナガラ何ラ申シマシテモ、サウ云フ現象ガ起ツタノハ、由テ來ルベキ原因、今申シマシタ通りノ原因ガアルノデアリマスカラ、須ク此ノ原因ニ向ツテ根本原因ヲ途ヲ立テテ外ナイ、之ニ付テハ配給ニ關スル全國的ノ組織網ヲ張りマシテ、新機構ヲ定メテ、而シテ全國一様一體、一貫シタル政策ヲ以テ行タダケノ用意ト手段ナシニハ、申々唯單ニ之ヲ解消スルトカ、打破スルト云フ、一片ノ命令的處置ヲ以テシテハ、容易ニ徹底シ難イモノト考ヘマシテ、左様ナ意味ニ於テ、只今來ニ付テ申上テマシタ通りノ色々ナ根本對策ヲ考ヘツアル譯デアリマス、或ハ又炭ニ於テモ、或ハ魚肥等ノ肥料ニ於テモ、同ジヤウナ意味ニ於キマシテ、新シイ他ノ配給機構ヲ全面的ニ、組織的ニ計畫致シマシテ、或ルモノハ既ニ發表致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、各種ノ方面ニ互ツテ斯様ナ用意ヲ整ヘマシテ、而シテ之ヲ著々解決スルト云フ方針ニ於テ進ンデ居ルノデアリマスカラ、何トカシテ、遠カラズ斯ウ云フヤウナ陰謀ナ空氣及ビ有ルマジキ變態ノ事態ヲ緩和シ、若クハ解消スルヤウニ致ス考デ居リマスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ時價ノ問題ニ付キマシテハ、私一應ノ説明ヲ致シマシタ、其ノ中ニ米ノ統制委員會等ニ諸問シ云々ト申上テマシタガ、是ハ別ニ米ノ統制委員會ニ諸問シテ居リマセズ、改メテ申上テマシタガ、要スルニ時ノ市場ノ相場ト云フコトヲ斟酌致シマシテ、適當ナリトスル價格ニ於テ決定スル、併シナガラ是ハ米ノ公定相場ヲ上ラザルコトハ勿論デアリマシテ、左様ナコトニ於テ考ヘル、極メテ常識的意味ニ於ケル時價デアリマスカラ、御諒承願ヒマス。

○森委員 諒承シマシタ、最後ニ私ハ希望ヲ述ベテ質問ヲ終リタイト思ヒマス、今日食糧生産ニ對シマシテハ、當面ノ問題、所謂今日只今ノ問題ニ汲々ト致シテ居ルノデアリマス、折角努力苦心致シマシテ、今考ヘテ居ルノハ十五年度ノ米穀問題デアリマス、十六年度ハドウナルデアラウカ、更ニ十七年度ハドウナルカト考ヘテ見マス、益

キタイト云フコトヲ、前以テ御願シテ置ク次第デアリマス。

○坪山委員長代理 承知シマシタ

○平野委員 尙ホ私ハ農務局長出席ヲ要求シテ居ルノデスガ……

○坪山委員長代理 今貴族院ニ參ツテ居ルサウデスカラ、直グ呼ビマセウ

○平野委員 先ヅ本論ニ入ル前ニ簡單ニ承ツテ見タイト思フコトハ、今回改正案ヲ御出シニナリマシタ趣意ハ、政府米ノ増強ヲ圖ラウト云フコトデアラウト解スルノデアリマス、即チ政府所有米ヲ相當ニ澤山持チタイ、斯ウ云フ考ノ下ニ御出シニナツタト云フコトハ、十分觀ハレルノデアリマスガ、然ラバ其ノ政府ノ所有米ノ理想的保有高ト云フモノヲ、ドノ邊ニ置イテ居ラレカ、之ヲ先ヅ最初ニ御答願ヒマス。

○岡田政府委員 提案ノ根本趣旨ハ、如何ニモ御述ニナリマシタ通りデアリマス、所ニ有米ノ増強ト申シマスルカ、要スルニ之ヲ增加スル理想的標準ハ何處ニアルカト云フ御考デアリマス、是ハ今日當面シテ居リマスル米穀事情ニ相當スル數量ヲ確保シタイト云フノデアリマシテ、當時的、一般的ニ、必ズシモ理想標準ニ依ルト云フコトヲ、目前ニ於テ考ヘテ居ル譯デアリマセズ、過日來申上テマシタ通り、差當ツテ政府ハ六七百萬石ノ買入ヲ考ヘタイノデアリマスガ、續イテ第二ノ計畫ニ付キマシテハ、時ノ必要ト事情トヲ斟酌シテ、其ノ程度ヲ決定スルガ適當デアラウト考ヘテ居リマス、隨テ唯一概ニ之ヲ一千万石、一千五百万石、二千万石ト云フヤウナ、決リマシタ假定的ノ、具體的ノ標準ヲ必ズシモ考ヘテ居リマセズ、モウ少シ一切ノ情勢、即チ配給ノ實情

ニ付キマシテ見透シヲ付ケマシテ、必要ニ應ジタル所有量ヲ持チタイト云フコトノ程度ニ於テ考ヘテ居リマス。

○平野委員 徒來吾々ノ知ル範圍ニ於キマシテハ、大體八百万石程度ヲ以テ、政府所有米ノ標準トシテ居ルヤウデアリマス、勿論是ハ端境期ニ於ケル所ノ問題デアリマシテ、ソレダケ持ツテ居ナケレバ危險デアルト云フコトヲ、嘗テ農林當局ハ發表サレタコトガアルノデアリマス、今日ハサウ云フ數字ノ根據ハナイ、只漫然少シ餘計持チタイ、漫然買ヒタイト云フヤウナ程度デアリマシテハ、餘リ應急過ギルト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル確固タル數字ノ御發表ヲ願ヒタイ。

○岡田政府委員 只今御話ニナリマシタノハ、詰リ持越米ノ理想標準高ト云フヤウナ點ニ付テデアラウト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何ニモ御話ノ通り、數年前ト申シマスガ、若クハ十數年來種々議論セラレタ問題デアリマシテ、或ル時ハ千万石ヲ適當ナリト云フ説ガアリ、或ハ八百万石、七百万石ヲ以テ足ルデアラウト言ハレ、更ニ最モ少イモノハ、當時米穀ノ事情ニモ依ツタデアリマセウガ、五百万石ヲ以テ最少限度ト見テ宜シカラウ、最少限度ニ於テモ、必ズシモ絕對ニ一貫シタル方針ガアツタハ私共ハ聞イテ居リマセズガ、併シ大體ニ於テ、ソコハ一ツノ目標デアリマスカラ、目標トシテハ七八百万石以上千万石ト云フ程度ニ置クノガ相當デアラウト云フ程度ニ於テ、標準ガ置イテアツタモノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、併シ是ハ申上テマシタ通りニ、端境期ニ於ケル持越米ノヤウ

ルトカ、打破スルト云フ、一片ノ命令的處置ヲ以テシテハ、容易ニ徹底シ難イモノト考ヘマシテ、左様ナ意味ニ於テ、只今來ニ付テ申上テマシタ通りノ色々ナ根本對策ヲ考ヘツアル譯デアリマス、或ハ又炭ニ於テモ、或ハ魚肥等ノ肥料ニ於テモ、同ジヤウナ意味ニ於キマシテ、新シイ他ノ配給機構ヲ全面的ニ、組織的ニ計畫致シマシテ、或ルモノハ既ニ發表致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、各種ノ方面ニ互ツテ斯様ナ用意ヲ整ヘマシテ、而シテ之ヲ著々解決スルト云フ方針ニ於テ進ンデ居ルノデアリマスカラ、何トカシテ、遠カラズ斯ウ云フヤウナ陰謀ナ空氣及ビ有ルマジキ變態ノ事態ヲ緩和シ、若クハ解消スルヤウニ致ス考デ居リマスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ時價ノ問題ニ付キマシテハ、私一應ノ説明ヲ致シマシタ、其ノ中ニ米ノ統制委員會等ニ諸問シ云々ト申上テマシタガ、是ハ別ニ米ノ統制委員會ニ諸問シテ居リマセズ、改メテ申上テマシタガ、要スルニ時ノ市場ノ相場ト云フコトヲ斟酌致シマシテ、適當ナリトスル價格ニ於テ決定スル、併シナガラ是ハ米ノ公定相場ヲ上ラザルコトハ勿論デアリマシテ、左様ナコトニ於テ考ヘル、極メテ常識的意味ニ於ケル時價デアリマスカラ、御諒承願ヒマス。

○森委員 諒承シマシタ、最後ニ私ハ希望ヲ述ベテ質問ヲ終リタイト思ヒマス、今日食糧生産ニ對シマシテハ、當面ノ問題、所謂今日只今ノ問題ニ汲々ト致シテ居ルノデアリマス、折角努力苦心致シマシテ、今考ヘテ居ルノハ十五年度ノ米穀問題デアリマス、十六年度ハドウナルデアラウカ、更ニ十七年度ハドウナルカト考ヘテ見マス、益

○岡田政府委員 大體御答シタ管デアリマスガ、尙ホ御諒解ヲ得難イヤウデアリマスカラ重ネテ申上テマス、詰リ配給上必要ナル數量ヲドレダケ持ツカト云フコトハ、政府方全體ノ米ヲ今日ノ制度ニ於キマシテハ、國家管理シテ居ル譯デアリマセズ、獨リ決メテ是ダケノ數量ヲ持ツト云フ所藏量ハ、一寸考ヘルコトガ無理デハナイカト思ヒマス、御承知ノ通り大體ニ於テハ自由配給ト申シマセウカ、主トシテ自由制度ヲ建前トシテ居リマスカラ、現在米方實際ニ需要ニ對シテ必要ナ程度ニ於テ流レテ行クナラバ、好ンデ敢テ政府ガ必ズシモ之ヲ買上ゲテ所有スル必要ハナイト思ヒマス、併シナガラ是ハ實際上サウ云フ狀況デハ中々以テ配給ガ停頓致シマシテ、往々ニシテ政府自體ニ相當ノ持米ガアリマセズト、圓滑ナル需給關係ヲ調整スルコトガ出來マセズノデ、サウ云フ必要ニ應ジタル所有米ヲ持ツト云フノガ限度デアリマス、デアリマスカラ申上テマシタデアリマシテ、必ズシモ一體ノ數字ヲ以テ申上テ兼ネル、或ハ配給ノ實際事情ニ相應シテ相當ニ斟酌スル必要ガアル、斯ウ云フコトヲ考ヘ申上テマシデアリマス、之ヲ以テ御諒承願ヒタイト思ヒマス。

○平野委員 私ハ實ハサウ云フ御答辯デアリカラ心配ナノデス、少クとも今日ノ米穀政策ニ於キマシテハ、内地ノ移動米ト云フモノハ、殆ド政府ノ管理ニ移シ得ルト云フヤウナ對策ガナケレバ、危險デアルト思フノデアリマス、即チ臺灣米、朝鮮米ハ申上マデモナク、内地ニ於ケル移動米ニ對シテ、政府ガ殆ド全部管理シ得ル位ノ對策ガナケレバ、唯其ノ時ノ關係ニ依ツテ政府米ガ多クナツタ

ルカモ知レマセシ、或ハ法律ヲ要セズシテ、既發ノ法律ニ準據致シマシテ命令ヲ以テ事足ルカモ知レセシ、何レニシマシテモ、左様ナ案件ヲ今考ヘ中デアリマシテ、此ノ事ヲ只今總テ申上ゲマシタラバ、政府ガ何ヲ考ヘテ居ルカト云フコトガ、極メテ明瞭ニナラウト思ヒマセガ、立案中デアリマスガ爲ニ、申上ゲ發見ト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ十分ナル色々ノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ事情ヲ能ク御酌取リ願ヒマシテ、決シテ拙ッテ居ルノデモ何デモナイ、一生懸命ニナツテ適切ナ案ヲ考ヘテ居ル、斯ウ云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス。

○平野委員 私ハ其ノ努力ヲシテ居ラレドモ、斯ウ云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、努力ヲシテ居ラレドモ、ドウモ御説明ノヤウナ方針ハ安心ガ出來ス、斯ウ云フコトデアリマスガ、只今仰シヤツタヤウニ、サウスル此ノ改正法律案以外ニ、何か今議會ニ米ノ法律案ヲ御出シシタルト云フノデスカ、農林大臣ハ、吾々ニ此ノ改正ヲ今議會ニ於テヤツテ貰ヘバ、米穀政策ハ大體之ニ依ツテヤウト云フヤウナ御答辯ガ、今マデアツタヤウニ聽イテ居リマスガ、其ノ點一ツハツキリ願ヒマス。

○岡田政府委員 今申上ゲタヤウナ譯デアツテ、此ノ手段ノミデアリマセス、他ノ手段ヲ考ヘルト云フコトハ、屢、私ガ申シテ居リマス。

○平野委員 其ノ外ノ手段ト云フコトノ内容ハ、又別ノ法律案、又ハ改正案ヲ御出シシタルト云フノデスカ。

○岡田政府委員 法律案ニ限リマセス、ドウナリマスカ知リマセスガ、今研究中ダト云フコトヲ御承知願ヒタイノデアリマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

研究中デアリマスカラソレノ全部ヲ申上ゲナイ方宜カラウト思ヒマス、謂ハバ配給ニ關スルモツト適切ナ機構トデモ申シマセウカ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス。

○平野委員 私ガ聽イテ居リマスノハ、結局米ガ行詰ツテ出ナイ場合ニハ、強權ノ發動力價格政策カ、ドツチカ極端ナコトヲヤラナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ聽イテ居ルノデス、是ハ私バカリデナク、前ニモ先輩同僚諸君カラ非常ニ聽カレタガ、此ノ點ハ答辯トシテハハツキリシテ居ラヌノデス、今政府次官ノ仰シヤルヤウニ此ノ問題ニ付テハ確固タル御答辯ヲ爲サラスニ、政府デモ色々ヤツテ居ルノダ、何かヤツテ居ルノダト仰シヤルガ、ソレハ研究中ダカラハツキリ言ハレヌト云フコトハ能ク諒承シマスケレドモ、唯研究中ダト云フコトダケデハハツキリシマセス、若シ斯ウ云フ法律ヲ斯ウ變ヘテ斯ウ云フヤウニヤラウト云フ御明示ガアルナラバ、其ノ點ハ追究シマセスガ、唯何トカヤラウト云フコトデアララバ、其ノ「イデオロギー」ト云フノハ價格政策ニ行クノカ、強權發動ニ行クノカ、此ノ點ダケハ御明示ニナラナケレバ、安心ガ出來ナイノデスカラ、モウ一遍御答辯シマセ。

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○岡田政府委員 今マデア申上ゲテ居ル點デ御承知ト思ヒマセガ、價格政策ニ行クノデハアリマセス、又極端ナ出賃命令ヲ出スノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

ラ繰返シ申シテモドウカト思ヒマス、又今御述ベニナリマシタ色々ナ米ノ生産費ニ關スル統計デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り統計ノ取り方ハ随分様々アルヤウニ思ヒマス、又只今伺ヒマシタ統計ハ、ドツチカト云ヘバ、私共ハ初耳デアリマシテ、果シテサウアルカドウカハ極メテ注目スベキコトデアリマスカラ、篤ト又研究ハ致シマス、併シ御説ノ如ク米ガ一石八十圓ニナラネバ生産費割ノダト云フヤウナコトニナツテハ、言フマデモナク大變デアリマス、併シ現在ノ實況ハ必ズシモ左様ナ統計ノヤウニ行ツテ居ルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、此ノ點ダケヲ申シテ置キマス。

○平野委員 ソレハ實ヲ申シマス、今ノ政府ハ丁度前ノ内閣ガ色々ナ行詰リヲシテ倒レテ、新シタ出來タ政府デアリマシテ、此ノ政府自體トシテハ米ノ問題ニ付テマダ深刻ナ場面ニ達セテ居ラヌカラ、只今政府次官ノ仰シヤツタヤウナ御答デアリマセウケレドモ、是ハ實際私ハ豫想サルベキ事實ヲ若シ御否定ニナラナラバ、最早私ノ議論ハスル必要ハアリマセヌカラ、私ハ止メテモ宜シイノデアリマセガ、斯ウ云フ事實ト云フモノニ付テハ、例ヘバ地主ノ方ノ代表カラ言ヒマセナラバ、先程高田サン、其ノ他ノ諸君カラ兎ニ角米價ノ上ゲナケレバ、絶對ニ米ノ生産ハ出來ヌ、出賃獎勵ヲシテモ米ハ出ヌト斯ウ斷定サレテ居ル、之ニ對シテ政府ハ確固タル方針ヲ明示シテ居ナイ、私ハ其ノ點ハ今言ハナイガ、私ハ小作人ノ建前カラ言ツテ居ルノデス、只今私ガ擧ゲタ數字ヲ、政府次官ハソレハ初耳ダト仰シヤイマセケレドモ、政府次官モ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

驅除トカ、ソレガ三人手間、刈取、糶摺、依裝ニ十二人手間、小作料運搬ニ一人手間、是ガ三十六人手間ニナル、是ハ私ノ方ニ來マシタ十本位ノ手紙ヲ、私ガ要約シテ計算致シタノデスカ、田ヲ一段歩作ルノ小作人ノ拂フベキ努力ハ三十六人手間、約四十人手間掛ル、ソレカラ金ノ方ハドレ位現金支出ニナルカト申シマス、紐代方約六十錢デアリマス、肥料ガ金肥ト致シマシテ八圓、此ノ八圓ハ後程説明致シマスガ、今日ノヤウナ肥料ノ不足ヲ告ゲテ居ナイ時ニ於ケル私ノ計算デアリマシテ、是ガ八圓、堆肥ガ一圓五十錢、綠肥ガ二圓、農具損料ガ三圓、村稅ガ五圓、詰リ肥料代ガ十一圓五十錢、ソレニ紐代ノ六十錢、現金支出ガ二十圓十錢ニナルノデアリマス、是非當ニ簡單ニ要約シテ説明ノ爲ニ申上ゲル數字デアリマスカラ、其ノ積リテ御聽キテ願ヒタイノデアリマセガ、一段歩作ルノニ現金支出ガ二十圓、ソレカラ努力ガ四十人手間、實ハコソナ程度デハナイノデアリマスガ、假ニ此ノ程度デ小作人ガ一段歩作ツテドウ云フ計算ニナルカト申シマス、一段歩デ二石獲レタトスル、二石獲レタ中ニ於キマシテ一石ヲ小作料トシテ納メマス、残りガ一石デアリマス、一石ノ米價ガ今日四十三圓デアリマスガ、之ヲ假ニ四十圓ト計算致シマス、其ノ四十圓ノ中カラ現金支出ノ先程申上ゲマシタ肥料代其ノ他ノモノヲ引キマスト、残りガ二十圓デアリマス、四十人手間ニ對スル二十圓ト云フモノハ勞働賃銀トシテ五十錢デアリマス、若シ此ノ勞働賃銀ト云フモノヲ今日ノ都會並ノ計算ト致シマシテ、一圓ノ計算ヲシテ米ヲ作り

出來ルカ出來ナイカト云フコトハ、斯ウ云フ極ク深刻ナ掘下ゲタ所ノ經濟關係ト云フモノガ左右スルノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シテハ政府次官ナドモモウ少シ、唯何トカスル、先程モ答辯ヲシタ、答辯シタト云ハレケレドモ、私ノ聽イテ居ル所ノ答辯ニハナラヌカラ、私ハ繰返シ聽クノデアリマシテ、若シ此ノコトヲ何回同ツテモ要領ヲ得ナイト云フコトデアリマスカラ、畢竟スルニ私共ハ政府ニ於テ策ナシト云フコトニ付テ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマスカラ、ドウカ此ノ點ハ大臣ニ御話願ヒマシテ、一ツ大臣カラ私ノ今申上ゲマシタ此ノ憂フベキ農村ノ一ツノ趨勢、從來ノ農林當局ヤ今マデノ農政關係ノ人ガ考ヘテ居ツタヨリハ、モツト深刻ニシテ非常ニ窮迫セラル場面ト云フモノガ、此ノ昭和十五年度ノ所謂端境期ニハ起ツテ來ルノデアリ、起ツテ來ザルヲ得ナイ、若シ是ニ於テ小作人ノ米價ト云フモノガドウシテモ上ゲラレナイト云フコトデアリマスカラ、勢々趨ク所ノ勢ヒ小作料ノ輕減デアリマス、小作料ノ輕減ト云フコトニ付テハ、地主ノ方ニ於テモ默ツテ居リマセス、現在施行サレテ居ルヤウナ農地調整法ヤ其ノ他ニ依ル安價ナル裁判ヤ、其ノ他ノ調停位デハ、此ノ米ノ問題ガ深刻化シテ收マラナクナツテ來タ場合ニ、政府ガ色々ナ方法ヲ考ヘラレテモ其ノ時ハ遅イ、マダ、此ノ議會ノ開會中、今日ニ於テ是等ノ事態ヲ豫想セラレテ米穀對策ヲ御立テナルト云フコトガ、私ハ當然ダト思フ、此ノ點ニ對シテハ大臣カラ一ツハツキリシテ御答辯願ヒタイト思ヒマス、ソコデ是ダケノコトヲ申上ゲマスト共ニ、私ガ自分ノ所論ヲ進メタイト思フコトハ、私

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

○岡田政府委員 簡單ニ申シテ居リマスカ

ハ之ニ對シテ一ツノ意見ガアルノデス、是ハ今日如何ニ窮迫シテ居リマス所ノ事情デアリマシテモ、今日カラ相當ノ政策ヲ以テ臨ムノデアリマスレバ私ハ方策ガアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、其ノ方策ハ如何カト云ヒマス、所謂私ノ持論デアリマスガ、土地問題ノ解決デアリマス、是ハ從來ノ農林當局ニ於ケレマシテモ、少クトモ相當ニ御研究ニハナウタデアリマセウガ、今日ノ時勢ハドウシテモ以上申上ゲマシヤウナ、又當局ガ答辯ヲサレマシヤウナ、幾ヲ議論シテ見テモ、此ノ米ノ問題ガ深刻ニナラテ來タ時ニハ、其ノ態度決定ヲ致シマシテ、農村ノ土地制度ニ對シテ私ハ著點ヲスルノデナケレバナラヌ、斯ク信ズルノデアリマス、何ガ故ニ土地制度ノ問題ニ付テ著點ヲシナケレバナラヌカト云ヒマス、是ハ有ニル産業ヲ管理スルト云フ場合ニ於テ、其ノ産業ヲ管理スル所ノ本件ニ付テ、自由放任ノ主義ヲ執ツテ居ツテ、其ノ産業ガ管理出來ル善ハアリマスマイ、米ニ付テ言ヒマシタラバ、米ノ出來テ來ル所ノ根源ハ土地デアリ、其ノ土地ト云フモノヲ自由ニ放任シテ置イテ、其ノ土地ヲ持ツテ居ル人ニ自由ニ賣ラセ、工場ガ建ツテ行クノデ其ノ工場ニ對シテハ現在地價ハ四百圓デアルガ、陸軍省ノ飛行場デアルカラ六百圓ニ賣レラカト云フノデ之ヲ六百圓デ賣ル、斯ウ云フヤウニ土地其ノモノニ對シテ自由放任ニサレテ置イテ、米穀政策ナリ或ハ農業政策ナリヲオヤリニナルト云フコトハ、私ハ根本ニ誤リガアルト思フノデアリマス、私ハ根本ニ誤リガアルト思フノデアリマス、少クトモ今日此ノ米ノ問題ニ付テ確固タル成案ガナラニ付コトハ、抑是等ノ點ニ私ハ重大ナル當局ノ研究不

足ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ土地問題ヲ此ノ邊ニ於テ取上ゲテ、十分ナル研究對策ヲ考ヘラレテハドウカト思フノデアリマスガ、先ヅ此ノ邊ヲ一ツ當局ニ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス
○岡田政府委員 土地問題ニ付テ重要デアリ、或ハ又急務デアリマスコトニ付キマシテハ、全ク御話ノ通りデゴザイマス、勿論從來農林當局ニ於キマシテモ、此ノ土地問題ニ付キマシテハ十分長イ間、アレヤ是ヤト考慮ト研究ヲ續ケテ居リマス、併シ又一面カラ言ヒマス、言フマデモナク事ガ重大デアリマス爲ニ、中々輕々ニ之ニ手ヲ染メルコトモ許サレズ、ソレハ相俟チマシテ今尙ホ之ニ對シテ具體的ノ的確ナル方策ヲ現ハスニ至ツテ居ラスヤウナ譯デアリマス、又今日、此ノ時局ノ情勢ト云フモノハ、一面カラ申セバ御説ノ如ク今ニ於テコソ土地問題ノ如キ肝要ナル問題ニ對シマシテ、根本的ノ策ヲ立テマシテ、所謂根本ノ途ヲ作ルト云フコトモ、非常ニ必要ナルヤウニモ思ハレノデアリマス、併シ又他面カラ考ヘテ見マス、斯ノ如キ米穀ノ事情ヲ初メ、食糧ノ需要供給等ノ關係ニ於キマシテ、或ル意味ニ於テ極メテ逼迫セル、寧ろ非常ニ困難ナ紛糾セル状態ヲ呈シテ居ルヤウナ折柄ニ於キマシテ、以上ノ如キ根本的ノ政策、殊ニ土地ニ對スル根本的ノ政策ニ手ヲ染メルト云フコトハ、其ノヤリヤウ如何ニ依ツテハ尙且ツ是ハ許サレラカモ知レマセウガ、手段方法之ニ餘程宜シキヲ得ルニアラザレバ、又目前ノ事態ニ對シマシテ、容易ナラザルト云フコトガアリマシテ、斯ウ云フ見方カラ致シマシテ中々今日此ノ土地制度ニ

手ヲ付ケルト云フコトハ、果シテ其ノ時機ヲ得タルヤ否ヤト云フ議論モアリ得ルデアラウト思フノデアリマス、大體ニ於テ議論ト申シマセウカ此ノ兩面ノ意見ト云フモノハ、何ヲ申シマシテモ現在共ニ存在シテ居ルノデアリマシテ、時局デアルガ故ニヤルベシト云フ論ト、餘リニ時局ガ急デアルガ爲ニ暫ク大勢ヲ待ツベシト云フ意見、要スルニ此ノ點ハ依然トシテヤハリ私共ハ能ク考ヘテ見ナケレバナラヌ點デアリマシテ、ト思ヒマス、サウ云フ事情モアリマシテ、未ダ此ノ問題ニ對シマシテ申上ゲテ如何具體的ノ成案ヲ立テ、而シテ御話リスルダケノ域ニ達シテ居ラスノデアリマス、併シナガテ非常ニ注意スベキコトデアリマス、色々アレモ是モ調査研究ニ努力シツツアルコトハ固ヨリデアリマス
○平野委員 既ニ裁キマシタ調査ニ依リマシテモ、工場等ニ依リ耕地ノ潰レタノガ四万町歩、斯ノ如キ四万町歩ト云フハ百万石ノ米ヲ生産スル耕地デアリマス、ソレカラ吾々ノ研究ニ依リマシレバ、是ハ私ノ研究ト云フヨリモ、農林省デ既ニ研究シテ居ルコトデアリマセウガ、耕地ノ交換分合ヲヤルナラバ、我國ノ農業生産力ハ二割ハ増加スル、言ヒ換ヘレバ此處ニ住ンデ居ル所ノ農家ガ自轉車ニ乗ツテ二里モ向フニ行ツテ耕作スル、然ルニ又自分ノ近所ニハ三里モ向フニ居ル所ノ農民ガ來テ耕作シテ居ル、斯ウ云フコトハ農家努力ノ上カラ言ツテモ不經濟デアルノミナラズ、若シ山手デアリマスレバ山手ノ坂道トカ山路デアリマスレバ、肥料等ヲ運搬スルノニ極端ナル勞力ヲ要シテ、是ガ農業努力ノ足ラナイ上ニモ、彌ガ上ニ我國ノ農村生産力ヲ減退セシ

メテ居ルコトハ言フマデモナイノデアリマス、例ヲ深山取リマセウガ、現ニ建ツテ居ル所ノ工場等ニ付テモ、吾々ハ尙々ノ事實ヲ知ツテ居リマス、直ク隣マデ行ケバ荒地ガアツテ米ヲ作ツテ居ラナイ、其處ハ工場ヲ建テレバ宜イニ拘ラズ、其ノ土地ヲ所有シテ居ル地主ガ偶々其ノ工場主ニ賣レバ、現在ノ地價ヨリモ二百圓モ三百圓モ餘計ニ賣レルト云フコトカラ、無理ニ其處ニ誘導シテ、耕地ヲ潰シテモ自分ノ土地ヲ賣ツテ逃ゲルト云フコトハ、恐ラク此ノ四方町歩ノ潰レテ居ル地面ノ上ニ於テハ少クナイデアリマス、所謂生産ニ付テハ項目ヲ上ゲラレマシテ、色々御説ヲ農務局長ハ仰セラレマシタケレドモ、斯ウ云フヤウナ細カイコトハ固ヨリ必要デアラコトヲヤツテ耕地ト云フモノノ根幹ニ觸レタコトヲヤツテ裁キタイ、其ノ工場カラ一町モ行ケバ荒地ニ建テラレルモノヲ、立派ナ良田ヲ潰シテ其ノ土地ヲ所有シテ居ル者ガ一反二百圓餘計ニ儲ケルト云フコトニ付テ、國家ガ何等ノ干涉ヲモセズシテ、此ノ三年間放任サレテ居ツタト云フコトハ、果シテ國トシテ責任ハナイデアラウカ、此ノ點ヲハツキリ伺ヒタイ、ソレカラ交換分合ニ依リマスマナラバ、少クトモ農業生産力ハ二割ハ増加スル、是ハ專門的ナ農政學者及ビ調査ニ依ツテ明確ニナツテ居リマスガ、而シテ此ノ交換分合ト云フモノニ付テ、當局ニ於テモ多少豫算ヲ取ツテ居ルガ、其ノ實績ヲ擧ゲテ居リマス、此ノ二ツニ付テ此ノ際責任アル御答辯ヲ裁キタイ
○岡田政府委員 後段ノ方ハ農務局長カラ御答申上ゲマス、前段ニ付テ申上ゲマスガ、御話ノ如ク工場用地ノ爲ニ巨大ナル潰地ガ生

ジツツアル、或ハ又御話ハナカウツヤウデアリマスガ、地價ガ彌ガ上ニモ騰貴シテ已マナイ、斯ノ如キ現象ニ對シマシテ適當ナ對策ヲ執ラヌコトハ、甚ダ怠慢デアルト云フヤウナ意味ノ御話デアリマス、此ノ點ハ洵ニ注意スベキ事柄ト思ヒマシテ、私共モ日頃カラ非常ニ之ニ注意ヲ拂ツテ居リマス、何カ是ハ適當ナ策ヲ立テナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居リマス、唯實際ニ於テハ私共ハ御承知ノ通り就任極メテ日ガ淺イ爲ニ、中々以テ斯様ナ問題ニマダ的確ナ策ヲ立テテ進ガナイノデアリマスガ、非常ニ日頃カラ注意スベキモノデアリ、時局的ニ相當ノ處置ヲ講ズベキ必要ヲ感ジマス、追テ是ハ引續キ十分調査ヲ致シマシテ、善處スルコトヲ致シタイト思ヒマス
○土屋政府委員 後段ノ問題デゴザイマスガ、農地ノ交換分合ニ依ツテ、生産力ノ増加スルコトハ御説ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ政府トシテモ先般法律ヲ出シテ、之ニ對スル登録稅ノ免除ヲ致シマス、尙ホ農林省豫算ニ若干ノ豫算ヲ計上致シマシテ、之ヲ獎勵シテ居リマス、是ハ先程御話ノ通りデアリマス、只今手許ニ持ツテ居ル材料ハ少シ古イノデ恐縮デアリマスガ、本年一月末日マデニ手許ニ集リマシタ材料ヲ取纏メマシタノデ、昨昭和十四年九月末日現在ノ資料ガゴザイマスカラ、ソレデ一應申上ゲマス、農地ノ交換分合ノ發展ヲ農地委員會ニ關與サセテ居リマス、其ノ數字デゴザイマスガ、取扱ヒマシタ委員會ノ總數ガ全國デ四百八十二デゴザイマス、殆ド是ハ各府縣ニ高遍ナク行渡ツテ居ルヤウデアリマス、ソレノ爲ニ既ニ實施ヲ終リマシタモノ、又交換分合ヲ爲スベク發展中ノ反別ガ、三十二

百四十九町九反ト相成ツテ居リマス、尙ホ前段ノ點デゴザイマスガ、平野委員ノ御話ノ通り、私共モ土地問題ガ非常ニ大事ナ問題デアルト云フコトハ、能ク諒承致シテ居リマス、殊ニ時局ノ影響ヲ受ケマシテ、一方ニ於テ非常ニ大事ナ耕地ガドシ、工場共ノ他ノ爲ニ潰レテ行ク、又一方ニ於テ之ヲ耕作ニ使ヘバ、食糧ナリ其ノ他ノ作付ガ出來ルニ拘ラズ、ソレガ放任サレテ居ル空閑地ガ相當ナルノデアリマス、是等ノ問題ニ付テハ政府トシテモ是非何トカシナケレバナラヌコト考ヘテ居リマス、ソコデ先般從來ゴザイマシタ自作農創設維持ノ委員會ヲ改組致シマシテ、農地審議會ト云フ委員會ヲ設ケマシテ、朝野ノ方々ニ委員ニナツテ裁キマシテ、其ノ委員會デ農地問題全般ノ調査ヲ致スノデゴザイマスガ、是ハ私共ニ考デゴザイマスガ、私共ノ考ト致シマシテハ、先ヅ第一ニ臨時ニ此ノ際起ツテ居ル所ノ、只今御話ニナリマシタヤウナ農地問題ヲ取上ゲテ、至急ニ其ノ委員會デ研究ヲシタイト思ツテ居リマス
○平野委員 次ニ承リタイノハ、今日土地ノ所有者ノ中ニ於テ不在地主ト云フモノガアルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、是ハ統計ヲ調べテ見マシタガ、中々ハツキリシタ統計ハアリマセウケレドモ、大體ノ見當ノ數字カラ申シマスマナラバ、恐ラク全日本ノ耕地ノ二割位ハ、不在地主ノ所有デアリ、或ハモット統計ノ角度ヲ變ヘマスマナラバ、三割以上ニ及ブカモ知レマセウ、其ノ土地ニ在住シナイニモ程度ガアリマシテ、其ノ郡カラキニ在住シテ居ルト云フノナラ、マダ問題ハ幾ラカ情狀酌量スベキ點ガアリマスガ、東京ナリ大阪ナリ其ノ他ノ都市

ニ住ンデ居ツテ、地價ノ暴騰ト云フコトダケ狙ツテ、土地ヲ營利ノ對象トシテ其ノ土地ヲ所有スルト云フ觀念ハ、生産ト云フコトノ考ヘ何等持タナイ、言ヒ換ヘレバ土地ノ値上リニ依ツテノ利益ヲ得ヨウト考ヘテ居ル不在地主ガ、日本全國ニ相當ナル積リ所有シテ居ルコトハ事實デアリマス、政府ハ一方ニ於テ増産計畫ヲ立テテ、一石米ヲ作レバ四十圓、五十圓損ヲスルヤウナ小作人ニ向ツテ、ヤア米ヲ作レ、米ヲ作レト極力宣傳サレマスマスガ、眞ニ大局の見地カラ、所謂農村ニ於ケル増産計畫ニ對シテ根本的ナル誠意ガアリマスマナラバ、此ノ營利ノ對象トシ、又小作料取立ト云フコトダケヲ以テ所有シテ居リマス不在地主ノ地面ニ對シテハ、何等カノ對策、何等カノ國家ガ之ニ對シテ相當ナル方策ヲ考ヘタルベキ必要アリト私ハ信ズルノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ御所見ヲ承リタイ、尙ホモウ一ツハ、銀行ニ擔保ニ入ツテ居ル地面ハ、今日莫大ノ數ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、或ル意味ニ於キマシテハ我國農村ニ於ケル土地ハ、殆ド銀行ノ中ニ入ツテシマツテ、土地ハ死物化シテシマツテ居ル、現ニ山梨縣ナドニ於キマシテハ、驚ク勿レ日本銀行ガ五百町歩持ツテ居ル、土地ハ勸業銀行ガ持ツテ居ルノカト思フト、日本銀行ガ持ツテ居ル、一體日本銀行ガ土地ヲ所有スルコトハ、果シテ法規上許サレテ居ルモノカドウカト云フコトハ、私ハ疑問ニ思フノデアリマスガ、何ノ關係カ五百町歩モノノ地面ヲ日本銀行ガ持ツテ居ル、若シ一朝不作トナリマシテ、此ノ土地ニ對シテ小作料ノ引下等ヲ要求致シマスレバ、日本銀行ハ國家ノモノデアル、國家ノ所有シテ

居ル地面ニ對シテ云々スルガ如キ者ガアルカト云フ極端ナ差配ガアリマシテ、其シク小作人ヲイデメテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ地面ヲ耕作シテ居ル小作人ハ、何トカ他ノ機會ガアリマスマナラバ、斯ウ云フ關係ノ土地カラ離レテ、モット別箇ノモノニ移リタイト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ小作人ノ心理ダケカラ考ヘテモ、銀行ガ土地ヲ所有シテ居ルト云フコトハ、此ノ事變下、時局下ニ於テ餘リニ不合理ニ千方モノデアルト私ハ考ヘマスガ、當局ハ此ノ不在地主ノ地面及ビ銀行ノ擔保ニ入ツテ居ル地面ニ對シテ、此ノ際何等カ適切ナル考ヘ方ヲ廻ラシテ、所謂増産ノ線ニ沿フヤウナ或ル程度ノ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレルカ、持ツテ居ラレナイカ、之ヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス
○岡田政府委員 不在地主ノ點ニ付キマシテハ、私一人トシテハ極メテ同感デアリマシテ、私モ就任淺イモノデスカラ、農林省ノ在來ノ之ニ對スル方針ガドウデアツタカニ付テ、明確ニ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、御承知ノ如ク是ハ非常ニ注目スベキ問題デアリマス、大體ニ於テ農地問題、殊ニ土地制度ハ所謂耕作本位トデモ申シマセウカ、耕作本位ヲ以テ立ツト云フノガ、日本ノ今日ノ狀況トシテ至當デアルト云フコトガ、通説ヲラウト存ジマス、隨テ尙モ土地制度ニ手ヲ著ケルナラバ、大體ニ於テ斯ノ如キ方針ニ向ツテ、物事ノ計畫ガ進メラレラバデアラウト存ジマス、其ノ際不在地主ハ差當ツテ最モ矛盾シテ現象デアリマシテ、何レノ方面カラ見マシテモ、若シ土地制度ニ手ヲ著ケルノナラバ、是ハ適當ナル改善的處置ヲ講ゼバナラヌト云フコト

ヲ、痛感シツツアルノデアリマス、但シ申上
 格々通り一般的ニ土地制度ニ對スル根本政
 策ニ付キマシテハ、未ダ是ガ計畫ヲ發表ス
 ル時機ニ至ラズテ居リマセヌノデ、當局トシ
 テ具體案ヲ申上ガ蒙レルノデアリマス、以
 上御參考マデニ感想ノ一端ヲ申上ゲマス、
 又銀行擔保ノ問題ニ付キマシテモ、是レ亦
 非常ニ注目スベキコトデアリマシテ、如何
 ニシテ斯様ナ狀況ヲ緩和シ、若クハ解決ス
 ベキカ、是亦同ジヤウニ土地問題ノ一端ト
 シテ考ヘネバナラスノデアリマス、又殊ニ
 此ノ問題ハ、根本的ノ土地問題トシテ考ヘ
 ルノミナラズ、或ハ當面ノ急トシテ、適當
 ナル處置ヲモ講ゼシメナケレバナラスト云
 フコトヲ、感シテ居ル次第デアリマス、併
 シ是亦農林當局ト致シマシテ、未ダ之ニ對
 シテ具體的ニ申上ゲル程ノ政策ヲ持ツテ居
 リマセヌノデ、以上ノ狀態ニ付キマシテ、
 取敢ズ御答申上ゲテ置タコトニ止メタイト
 思ヒマス

〇平野委員 其ノ程度ノ御答辯ナラバ、唯
 政務次官ノ御意見ヲ承ツタト云フ程度デ、
 私ノ質問スル點カラ申シマスト不満足ナン
 デス、私ハ實ニ不思議ニ思ヒマス、肥料ノ
 問題ニ致シマシテモ、石炭ノ問題ニ致シマ
 シテモ、何ノ問題ニ致シマシテモ、其ノモ
 ノニ對スル増産トカ、或ハ管理トカ云フコ
 トヲスルノニ對シテ、肥料デアリマスレバ、
 肥料工場、石炭ナラバ石炭ヤツテ居リマ
 ス業者、斯ウ云フ者ニ對シテ相當深刻ナル
 研究ガアル、所ガ農村問題ノ、農村ノ一番
 根據デアル土地制度問題ニ對シテハ、農林
 省ト云フ立派ナ省ガアツテ相當農村問題ニ
 對シテ研究シテ居ラレケレドモ、實際土
 地問題ニ對スル研究ガ淺イコトヲ、私ハ遺

憾トスルノデアリマス、私ハ只今不在地主
 ト、銀行ノ擔保ニ入ツテ居ル土地ニ對スル
 所見如何ト云フコトヲ問ウタノデアリマス
 ガ、此ノ程度ノ問題ニ對シテ、増産ヲ一方
 ニ於テ主張セラルル位デアリマスナラバ、
 唯興味アル意見デアルトカ何トカ云フ程度
 ノ御意見デハナクシテ、現ニ土地審査委員
 會ト云フモノヲ御作リニナツテ居ルト致シ
 マスレバ、是等ニ對シテ、是位ノ程度ノ方
 法ヲ考ヘナケレバナラスト云フ御意見ヲ持
 合セガナイコトハ、洵ニ遺憾デアルト云フ
 コトヲ一言申上ゲテ置キマス、無論是以上
 申上ゲマシテモ答辯ガ或ハ出来ニナラナ
 イカト思ヒマスノデ、此ノ點ハ遺憾ノ意ヲ
 表シマシテ、次ノ議論ヲ進メテ、御答辯ヲ
 得タイノデアリマス

是ニ於テ私ハ斯ウ云フコトヲ政府ニ提示ヲ
 致シマシテ、政府カラ責任アル御答辯ヲ得
 イノデアリマス、少クモ私共ノ所見ヲ以テ政
 シマスルナラバ、増産政策ニ對シテハ土地問
 題、肥料問題、米穀政策、此ノ三ツノ問題ガ
 關聯性ヲ持ツテ、ソコニ一本ノ方針ガ立ツテ
 初メ安心出来ル、政府ノ今議會ニ臨ンデ居
 ラレマスル態度ヲ見マス、此ノ委員會ガ米
 ノ委員會ナラ、成ベク米ノ問題ダケヲヤツテ
 料ノ所デアツテ置キタイ、土地問題ノ質問
 ヲ致シマス、尤モノコトデアルト云フケ
 レドモ、何等ノ具體策ガナイ、斯ウ云フコト
 デ果シテ我國ノ農業政策ヲ擔當スル資格ガ
 アリマスカ、私ハ今日ハ時局ガ時局デアリ
 マスカラ、多少深刻ナルコトハ申シマスル
 ケレドモ、是ハ御許シ願ヒタイ、今年ノ端
 境期ニ於ケル我國ノ米ノ問題ハ、唯漫然
 ト行ツタナラバ大變ナコトニナルト云フ考

會計トシテ十三億圓モ見テ居ラレマスガ、
 ソレヲ見マスト殆ド米ヲ賣ツタ買ツタト云
 フコトヲ損ヲシテ、國庫ニ對シテ多大ナル
 損害ヲ與ヘテ居ルト云フ、此ノ犧牲ヲ少ク
 ル爲メ、土地ヲ地主カラ買フ場合ニ於テハ、
 或ル程度地主ト話合ノツタダケノ値段デ以
 テ、之ヲ御買ヒニナツテモ宜シウゴザイマ
 ス、地主ハドウスルカ、地主モ今日斯ウ云
 フ時局ニ於テ、小作料ヲ取立テト云フコ
 トハ、實際ニ於テ辯護士ニ頼ミマシテモ洵
 ニ不便デアル、地主ト致シマシテモ、小作
 人ノ引合ハナイノヲ見テ小作料ヲ取立テ
 ト云フノハ江合ガ惡イカラ、之ヲ國家ニ賣
 リ、國カラハ公債デ買ヒマス、私ハ之ヲ
 土地證券ト言ツテ居リマスガ、土地證券
 ヲ賣フ、サウシテ政府ガ得タ所ノ米ヲ賣
 ラシテ現金ニスル、其ノ現金デ證券ニ對
 スル利子ヲ支拂ツテヤル、斯ウ云フ風ニ
 ナリマスレバ、今日デハ立派ニ成立ツ計算
 ナノデアリマス、是ハ或ハ抽象的ニ申上ゲマ
 シタノデハ、サウ云フヤウナ澤山ナ公債
 ヲ發行シタリ、又サウ云フコトニ依ツテ數
 字ガ成立ツカドウカト云フヤウナ疑問ガア
 リマセウカラ、私ハ借越デアリマスルケレ
 ドモ、是ガ成立ツト云フコトニ付テ私ノ聊
 カノ計算ヲ申上ゲマシテ、一ツ當局カラ之
 ニ對スル御意見ヲ承リタイノデアリマス、
 三百二十万町歩ノ田ノ中デ、小作地ガ百七
 十万町歩デアリマス、今此ノ百七十万町歩
 ノ地面ヲ一反四百圓デ買ヒマス、公債ノ發
 行額ト云フモノハ、土地證券ノ發行額ハ
 六十八億デアリマス、ソコデ小作人カラ取
 ル小作料ヲ收穫ノ四分ノ一ト看做ス、現在
 ノ小作料ハ收穫ノ半分デアリマスケレドモ、
 之ヲ極端ニ切下ゲマシテ、四分ノ一ト計算

ヲ致シマシテモ、八百五十万石政府ノ倉庫
 へ米ガ入リマス、是ガ四分ノ一ニサレタラ
 小作料ノ取り損ヒハアリマセヌ、小作料ハ
 安ケレバ必ズ納メルノデアリマスカラ、八
 百五十万石入ル、此ノ八百五十万石ノ米ヲ
 現在ノ米ノ値段デアリマス所ノ四十二圓ヲ
 四十圓トシテ計算致シマス、三億四千
 圓、政府ガ此ノ米ヲ現金デ買フ、三億四千
 萬圓ノ中ニ於テ、六十八億圓ノ證券ニ對ス
 ル利子ヲ三分トシテ支拂ヒマシテ、二億四
 百萬圓デアリマス、之ヲ地主ニ利子トシテ
 拂フ、是ガ地主ノ從來ノ小作料ニ當ツテ居
 ル、之ヲ差引キマシテモ、政府ニハ尙ホ一
 億三千六百萬圓ト云フ金ガ殘ル、是ダケ割
 ル、剩リマシタ一億三千六百萬圓ト云フ金
 ヲドウスルカト言ヒマスナラバ、之ヲ以テ土
 地ヲ管理スル所ノ費用トシ、尙ホ町村ニ向
 ツテ之ヲ公平ニ配分致シマスナラバ、一町
 村平均一萬圓ツツ配給出来ルノデアリマス、
 非常ニ町村ノ財源ニナリマス、ソレデア
 カラ出来ナイ相識デハナイ、此ノ出来ル相
 識ト云フモノヲ、政府ガ此邊デ一ツ御考
 ニナリマシテ、全國ノ不在地主ヲ銀行ノ代
 表者ヲ御集メニナツテ、ドウカ君等ハ國家
 ノ米穀政策ノ上ニ於テ、此ノ相識ニ乘ラスカ
 ト言ハレタラ、私ハ「ノー」トハ言ハスダラウ
 ト思フ、ノー」トハ言ハスダラウト思フケレ
 ドモ、政府ニハソレダケノ肚ガナイ、日本
 ハ今大軍ヲ支那ニ送ツテ重大ナル時機ニ逢
 著シテ居ル時デアリマスカラ、是位ノコト
 ハ農林大臣ノ肚サハ決マレバ出来ル、又農
 林當局ノ眞誠ナル態度サヘアレバ、此ノ小
 作地ノ國有ト云フコトハ、只今私ガ申上ゲ
 マシタヤウナ數字ニ依ツテ出来ル、假ニ一
 反四百圓ト云フモノガ、是デハ安イト云フ

御議論デアリマスルナラバ、之ヲ一反五百
 圓デ買ツタラドウカ、公債ノ發行額ガ八十
 五億圓、小作料ハヤハリ八百五十万石、此
 ノ八百五十万石ノ小作料ヲ金ニ換算致シマ
 スナラバ、同ジク三億四千萬圓、利子ガ
 二億五千五百萬圓デアリマス、其ノ利
 子ヲ引キマシテモ、尙ホ八千五百萬圓ト云
 フ金ガ殘ルノデアリマス、五百萬圓平均ニ買
 ツテモ、其ノ小作地國有ト云フモノハ、立
 派ニ成立ツ計算デアリマス、是ハ決シテ地
 主寄メデアルトカ、地主ノ耳ニ達フヤウナ
 議論ヲスルノデハナクシテ、國家ノ大局カ
 ラ、日本ガ今逢著シテ居ル所ノ此ノ米穀事
 情ノ困難ヲ打開シテ、茲ニ國民ニ安心ヲ與
 ヘル、何ヲ以テ安心ヲ與ヘルカト言フナラ
 バ、端境期ニハ政府ハ日本一ノ地主デア
 カラ高價買フ、端境期ニハ千万石流レテ來
 ル、此ノ安心ガアレバ、米穀局長サシモ其
 處ニオ居デニナリマスガ、是ハ斷シテ出来
 ル、而シテ町村ニ委任シテ小作料ヲ取立テ
 テヤリマスナラバ、今日ニ於テハ何處ノ町
 村デハ地位ノ收穫ガアルト云フコトガ明
 確ニ分ツテ居リマスカラ、町村ノ倉庫ニ入
 レテシマツテ、切符制度ヲオヤリニナルナ
 ラバ、是ハ出来ルコトデアリマスカラ、ド
 ウカ之ヲ農林大臣ニ御話ヲ願フテ、銀行ヤ、
 或ハ不在地主サシモ御話ヲ願フテ、ドウ
 シテモ御下ノ國策ニヤラネバナラスト云フ
 シテモ御下ノ國策ニヤラネバナラスト云フ
 農林大臣ノ肚サハ御決リニナルナラバ、決
 シテ出来ナイ相識デハナイカラ、之ヲ一ツ
 御考願ヒタイ、是ガ私ノ小作地國有ヲ政府
 ニ御買ヒマスル所ノ一ツノ理由デアリマス、
 〇岡田政府委員 洵ニ重大ナル問題ニ對シ
 マシテ御熱心ノ御話デアリマシタ、御高見

ノ次第八號ト拜承致シタ次第デアリマス、
 但シ斯様ナ問題ニ付キマシテ、即時ニアレ
 コレノ批評ヲセヨト云フコトデアリマスガ、
 批評ガマシイ批評ヲ申上ゲルコトハ、中々
 容易デナイト思ヒマス、唯只管伺ヒマシテ
 感ジマスコトハ、非常ニ含蓄ノ多イ尤モ
 ナ點モ多クアラウト存ジマス、サリナガラ
 斯様ナ危急ノ時局ニ際シマシテ、今ノヤウ
 ニ土地問題ノ根本ニ觸レマシテ、而シテ増
 産等ノ爲メニスル當面ノ問題ノ解決ヲ圖ラ
 ト云フコトガ、果シテ適切ナ方法デアルカ
 ドウカ、即チ他ニ又之ニ代ルベキ諸策モア
 ルベキデアリマスガ、一切ノ策ヲ振擧ゲテ、
 是ガ唯一ノ途デアルヤ否ヤ等ニ付キマシテ
 モ、中々以テ考慮ヲ要スベキコトガ尙且ツ
 アルデアラウト思ヒマス、隨ヒマシテ土地
 國有トカ、專賣制度トカ、切符制度トカ、指
 摘セラレマシタ數々ノ問題ハ、十分當局ニ
 於テ考慮研究シテ居ル所デアリマス、殊ニ
 又御高見ニ對シテハ、深ク之ヲ參酌致シマ
 シテ考慮致シタイト思ヒマス、併シ以上ノ
 ヤウナ事情カラ、今日ノ場合ニ於キマシテ
 ハ、必ズシモ斯様ナ方策ニ謂ハバ實成致シ、
 且ツ之ヲ唯一ノ目標トシテ實現ヲ圖ラウト
 云フコトニ於テ考ヘテ居ル譯デアリマセ
 スノデ、唯只今ノ折角ノ御話モアリマシタ
 ノデ、一段ト研究ヲ致シタイト云フコトヲ
 申上ゲテ答辯ト致シマス

地問題ニ對シテ何等ノ對策ガナクシテ、今ノ審議會位ヲ作ツテ、不在地主ヤ其ノ他ニ對スル態度如何ト云フコトニモ答辯ガ出來ナクシテ、私ガ只今具體的ニ可能ナル問題ヲ申上ゲタ、可能ナル問題ヲ申上ゲタニモ拘ラズ、ソレヲ唯批評ヲ申上ゲルコトモドウカト云フヤウナ御答辯デアリマシテハ、ソレハ少クモ吾々議員ノ満足スルモノデハアリマセヌ、ドウカ此ノ點ニ對シマシテハ、政務次官カラ大臣ニ御話ヲ願ヒマシテ、大臣カラ一ツ是位ノ程度ノコトハ今日オヤリナラナクバ駄目ナノダ、斯ウ云フコトヲ吾々考ヘテ居ルガ、大臣ハソレデモ唯漫然トシテ居ラレルノカ、土地政策ニ對シテ近キ將來ニ於テ一ツ御方針ヲ明示セラレヌノカ、之ヲ一ツ承リタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ先程申シマシタ土地、米ト、肥料ガ三本建デナケレバナラナイト云フ、此ノ點ニ付テ聊カ附言シテ、肥料ノ問題ニ付テ簡單ニ申上ゲテ、斯ウ云フコトヲ進言スルノデアリマス、今日地方見マスト、肥料ノ問題ヲ産業組合行カカ、肥料商行カカト云フコトガ、昨年ノ肥料ノ配給ノ際ニ非常ニ深刻デアツタ、當局モ御存ジノ通り、吾々モ色々苦心シタ、ソコデ私ガ痛切ニ感ジマスルコトハ、是ハヤハリ肥料政策ノ根本對策ガ政府ニナイカラ、アア云フ馬鹿ナ騷ギヲスル、ナゼカト云フト、肥料ガ專賣ニナル——現在五千万圓程度ノモノヲ、肥料製造會社ニナルト云フコトヲ言ツテ居ラレルガ、是ハ專賣ノ前提デセウ、當局ハ一歩々々行カレルト云フコトモ結構デアルケレドモ、斯ウ云フヤウニ時局ガ窮迫シテ居ララバ、凡ソ宜イト云フコトガ分ツタラバ、何故一歩前ニオ

ヤリニナラヌカ、是ガ一番イケンイト思フ、一歩々々行カコトモ結構ダガ、宜イト分ツタラ、人カラ問ハレヌデモ、先ニ行ツテ、或ル程度ニ於テ明確ナル所ヲ示サレバ、國民ガ安心スルノデアルカラ、肥料ノ專賣ト云フコトハ、私ガ議論スル必要ガナイ位デアル、恐ラテ政府モ贊成デアラウ、民間モ贊成デアラウ、肥料業ニモ贊成デアリマセウ、而シテ肥料ガ増産出來ナイト云フコトハ、ドウ云フコトデアアルカト申シマスナラバ、肥料新法ニ依ツテ肥料業者ガ旋毛ヲ曲ゲテ居ル、旋毛ヲ曲ゲテ居ル肥料業者モ惡イケレドモ、事甚ニ至ツテハ已ム得ヌ、ドウシテモ肥料ヲ増産スルコトニ付テハ、例ヘバ硫酸、アンモニヤニシテモ、其ノ工場ニ付テノ生産ノコストハ分ツテ居ルカラ、其ノ生産ノコストニ依ツテ引合フダケノ値段デアツテヤツテ、政府ガ一大貯藏地ニ集メテ、ソレヲ農民ニ賣出ス時ニ五千万圓ナリ、一億圓ナリ損ヲシテ、之ヲ御出シニナルト云フナラバ、肥料ノ配給ガ皆行ク、ソコデ配給方法ヲドウスルカト云フコトニ付テハ、議論ハ飛躍ヲシテ居リマスガ、出來ナイ相談ハナイ、町村ノ生産反別別調上ゲマシテ、其ノ專賣致シマシタ肥料ヲ町村ニ即時ヤル、町村ニヤリマシタ肥料代金ヲ米デ取レト言フノデス、私ハ是ハ今日ノ經濟ノ上ニ於テ當然デアル、農民ノ今日ノ心理カラ言ヒマス、農委員等デモ申上ゲマシタガ、米ヲ現金デ賣ルト云フコトニ付テハ相當反對ヲスルガ、肥料ト米ヲ交換スルト云フコトニナリマスレバ、ソレハ相當農民ノ心理ニ合致スル、ナゼカト云ヘバ農家ノ現金支出ノ最大ナルモノハ肥料デアアル、言フマデモナク農家ノ現金支出

リマスガ、固ヨリ非常ニ參考ナルベキ貴重御意見ノミデアリマシテ、十分考慮致シタイト思ヒマス、併シナガラ當局ニ於テモ斯様ナ問題ヲ從來決シテ考ヘナカツタノデアリマセヌデ、言フマデモナクアレモ是モト様々議論ヲ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ專賣ト云フヤウナ行キ方ガ、果シテ今日此ノ場合行フベキ一審適當シタル方法デアリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、實施上中々以テ考慮スベキ事柄モ他ニアルト云フコトヲ考ヘマシテ、之ヲ今日取上ゲテ以テ實現スルコトニ付テハ、購置致シツツアルト云フコトニ付テハ、今日ノヤリ方ハ、一歩々々ト云フヤリ方デアツテ、ソレ位ナラバ寧ロ專賣ヲヤレト云フヤウナ點モアツタヤウニ思ヒマス、是モ併シ今日ノヤリ方ガ確ニ一歩々々デアアルノデアリマス、斯ノ如キ段階ノ手段ヲ用ヒマシテヤツテ居ル事柄ガ、見方ニ依リマシテハ所謂一種ノ國家管理ト云フテ宜イトデヤナイカト思ヒマス、國家ノ管理ノ手段ニ於テ當面ノ急ニ應ズベキ現在ノヤウナ行キ方ト、或ハモウ一歩進シテ專賣ノ手段ニ於テ國家ガ一切ノ經理、經營スルト云フコト、兩者何レガ宜イト云フコトハ、餘程考ヘモノデアアル、言フマデモナク政府ノ見ル所デハ、現在段々ヤリ來ツテ居ルヤウナ手段ノ方ガ實情ニ適シ、現在ノ時局ニ相應スルモノト考ヘテ實行シテ居ルノデアリマシテ、專賣制ニハ又之ニ伴ヒマシタ幾多ノ餘弊ト云ヒマスガ、缺陷ト云ヒマスガ、其ノ實施上ニ於キマシテ隨分アレハ難點ガ又考ヘラレルノデアリマシテ、必ズシモ今日專賣ヲ以テ爲スベキ唯一ノ途デアルトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、併シ何ヲ申シ

ノ四割ハ肥料デアアル、ドンナ農家デモ百圓ノ現金支出ヲスル農家ハ四十圓ト云フ肥料代ヲ拂フ、是ハ絕對拂ハナケレバ來年ノ生産ガ出來ナイカラ、何ヲ買ニ置イテデモ肥料代ハ拂フ、隨テ自分ノ作ツタ米ト肥料ヲ「リソク」スルト云フコトナラ、是ハ極メテ農民ノ心理ニ合致スル問題デアリマスカラ、肥料ノ專賣ニシテ町村單位ニ依ツテ肥料ヲヤル、ソコデ町村ハ貫ツタ肥料代ヲ米拂フト云フコトニナリマス、私ノ計算デ申シマス今日ノ金肥ト云フモノハ約三億圓、其ノ三億圓ノ金肥ト云フモノヲ米デ計算ヲ致シマスナラバ、色々計算モアリマセウケレドモ、少クトモ五百萬石カラ千石近イ米ト云フモノガ政府ニ入ツテ來ル、肥料ト米ヲ「リソク」シテ、其ノ肥料代ト云フモノヲ米デ取得致シマスレバ、米ノ値段ガ幾ラト云フヤウナ難シイ所ノ所謂高米價、低米價ト云フ議論ヲシタテモ、政府ノ倉庫ニ千石ノ米ト云フモノガ入ル、會テ委員會ニ於キマシテ政府ハ二千萬石ノ米ヲ欲シヤウナ御話モアツタヤウニ思ヒマスガ、少クトモ肥料ノ專賣ニシテ、其ノ肥料ト云フモノハ産業組合ダ、商人ダト云フムツカシイコトヲ言ヒマセヌデ、日本ニハ町村ト云フ——兵隊ノ出ル時ニモ町村ニ頼ム、租稅ヲ出ス時ニモ町村ニ頼ム、立派ナ町村ト云フ自治體ガアリマスカラ、此ノ自治體ニ肥料ヲ配分致シマシテ、其ノ間利益ヲ取ル必要ハナイ、オ前ノ所ハ十萬石作ルノダカラ是ダケヤルノダ、其ノ代リ肥料代金ハ米デ與レ、斯ウ云フナラバ喜ンデ町村民ト云フモノハ其ノ米ヲ獲ツテ政府ニ納ムルト云フモノハ其ノ米ヲ獲ツテシソクト云フモノハ今日何デモナイ、肥料ヲ專賣ニシテ、米ヲ政府ノ倉庫ニ出來秋ニ

スガ、是ハ餘リニ規模ガ小サクハナイカト
思フ、私共ノ研究ニ依リマスナラバ、現ニ
政府カラ戴キマシタ表ニ依ツテ見テモ、昌
ト云フモノノ相當ナル面積ニ向ツテ、百萬
町歩位ナ耕地面積ガマダアルト云フ研究ヲ
サレテ居リマス、現ニ全國ヲ調ベテ見テモ、
陸稻ノ耕作地ヲ段々研究ヲ致シマシタナラ
バ、少クトモ五十町歩ダケハ立派ニ陸稻
ノ耕作地ト云フモノガアルノデアリマシテ、
此ノ五十町歩ニ對シテ陸稻ノ普及ト云
フコトヲ徹底サルナラバ、一反ニ付テ
一石種レトシマシテモ、五百萬石種レル、
是ハ農林省ガコンナニ澤山ハツモ項目ヲ竝
ベテ、色々言ツテ居ラレルガ、若シ本當ニ
私ノ言フ積極政策ヲ以テ臨マレルナラバ、
陸稻ダケデモ今年三十五萬町歩位御開墾ニ
ナリマシテ、サウシテ之ニ依ツテ少クトモ
三十萬石トカ、或ハ五十萬石トカ、モウ少
シ立派ナ米ヲ種レルダケノ陸稻計畫ト云フ
モノガアルト然ルベシト思フノデアリマス
ガ、農務局トシテハ折角今年初メテ陸稻開
墾ノ豫算ヲ是ダケ取ラレタ、是ハ日本ノ陸
稻問題カラ言ヘバ劃期的ナコトデアリマス、
相當自信モアツテヤラレタノダト思ヒマ
スガ、是ガ二萬石位ノ擴張デアツテハ、増
産計畫トシテハ問題ニナラス、陸稻ノ今日
ノ増産ノ水準ニ當嵌メルナラバ、モウ耕作
方法ハ分ツテ居ルノダカラ、之ニ對シテ更
ニ追加豫算ヲ御出シニナリマシテ、陸稻ノ
百萬石計畫ヲ御立テニナツタラドウカト思
フノデアリマスガ、之ニ對シテ御答辯ヲ聽
カセテ戴キタイ

種ガゴザイマシタ、本年二萬石ト云フノハ、六
月ノ植付マデニ四合ワヤウナ耕地事業デ
出來ルト云フ制約モゴザイマスカラ、ソレ
デサウ澤山ハ出來ナカッタノト、一ツハマ
ダ全國到ル處ニ陸稻ヲ普及サセルト云フ程
ノ確信ガナイ、關東地方其ノ他陸稻ノ栽培
ヲ現在ヤツテ居リマス地方ニ於キマシテ
ハ、マダ(相當延ビル餘地ガアルノデ、
取敢ズ御話ノヤウナ程度ニ止メタノデアリ
マスガ、併シ將來ハモウト是ハ擴張シテ行
キタイト考ヘテ居リマス

○平野委員 ソレカラ産米検査ノ問題デア
リマスガ、是ハ何カ法案ガ出ルヤウデアリ
マスガ、産米検査ト云フモノハ撤廢シタラ
ドウカ、撤廢ト云フト極端ニ議論ノヤウデ
アリマスガ、此ノ問題ニ付テハ、私ハ思想
上ニツツ申上ゲテ置キタイ、産米検査ヲ嚴重
ニスルト云フコトハ、小作人ヲ侮辱シテ居
ル、結局産米検査ヲ嚴重ニキルカト云フ言
クツテ、米ノ目方ガ足りナカツタリ、惡イ
米デアツタラ賣レナイコトハ分ツテ居ル、
ソレヲ今日ドウ云フモノカ、産米検査ヲ嚴
重ニシテ、取立テ小作米ダケハ、嚴重ナ
荷造リヲシテ優良ナ米ヲ取ル、サウシテ小
作人ハ作ツタケレドモ屑米ヲ食フト云フヤ
ウナコトハ、小作人自ラ言ツテモ甚ダ好感
ヲ持タナイ、而モ今日ノヤウナ米ヲ増産ス
ル、米ヲ澤山集荷スルト云フ場合ニ於テハ、
斯ウ云フ産米検査ナドニ依ツテ、役人ガ行
ツテ調べナケレバ米ヲ運搬サセナイ、現ニ
何處ソコヘ持ツテ行キタイト云フヤウナ米
デモ、マダ検査ガナイカラ持ツテ行ケナイ
ト云フヤウナコトデ、今日ノ時局カラ申シ
マス、米ヲ出セ(ト云フコトニ對シテ、
「ブレイキ」ヲ掛ケテ居ルヤウナモノデアリ

マス、此ノ産米検査ニ對シテハ、少クトモ
之ヲ撤廢シテ、農民諸君ニ明ルイ感ジヲ起
サセ、米ノ増産ニ對スル思想上ノ問題トシ
テ、産米検査ニ對スル所ノ當局ノ御見解ヲ
承ツテ置キタイ

○土屋政府委員 産米検査ヲ思想上ノ見地
カラ撤廢シタラドウカト云フ御意見デアリ
マスガ、私共ハ産米検査ヲモウト充實致シ
マシテ、ソレニ依リマシテ農民ガ利益ヲス
ルヤウニ致シタイト考ヘテ、其ノ豫算ニ付
テハ昨日成立致シタヤウナ次第デ、近ク法
律案ヲ提案致シマシテ、御審議ヲ仰ギタイ
ト思ツテ居リマス、但シ産米検査ノヤリ方
ニ付テハ、是ガ農民ニ心理上惡影響ヲ與ヘ
ルト云フヤウナコトヲ、極力避ケテヤル考
デアリマス

○平野委員 産米検査ヲ充實シテ、農民ニ
利益ヲ得サセルト云フ御議論ハ、一應ノ御
議論デアリマスケレドモ、實際問題トシテ
今日ノ産米検査ハ成ツテ居ラナイ、米ヲ出
セ七セト云フツテ、産米検査ヲ嚴重ニシテ、
寧ロ縛ツテ居ルト云フヤウナ現狀デハ、實
際農民ノ聲トシテ承服シテ居ラナイモノデ
アルト云フコトヲ、一言此ノ際申上ゲテ、
當局ノ御參考ニ供シテ置キタイ、私ハ大體
是デ御終ヒデアリマス

○坪山委員代理 今日ハ是デ散會致シタ
イト思ヒマス、先程モ申上ゲマシタガ、河
野君ノ材料ヲ早ク御出シニナラスト、議事
ノ進行上困リマスカラ、早ク御出シヲ願ヒ
タイト思ヒマス、アト發言サレル方ハ、高
田君ノ大臣ニ對スル保留ノモノト、平野君
ヘノ答辯ノ殘リト、ソレカラ新ニ吉田賢二
君、深澤吉平君、河野一郎君ダケニナツテ
居リマス

○須永委員 私モ農林大臣ニ對シテ質問シ
タイト思ヒマス

○坪山委員代理 其ノ時ノ事情ニ依ツテ
御許シ致シマス、次會ハ二十六日ノ午前十
時ヨリ開キ、午前、午後ナル豫定デアリマ
ス、ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時二十分散會

昭和十五年二月二十三日印刷

昭和十五年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

イト云フ考ノ下ニ、目下其ノ方法其ノ他ニ付テ説意調査考ヲシテ居ル最中デゴザイマシテ、只今拜聴致シマシタヤウナ御意見モ、極メテ有力ナル御意見ト致シマシテ、ソレ等モ併セテ考致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス。

○澤澤委員 本員ノ考デハ、政府ガ心配スル如ク、吾々モ深甚ナル憂慮ヲ抱イテ居ルノデアリマス、本年ノ端境期ニ於ケル米ノ窮乏ヲ觀念致シマシテ、本年ノ端境期以前ニ於ケル所ノ配給ノ考ハ、不素ニ於ケル考デハ連モ及ビ足ラナイモノデアルト思フノデアリマス、米ガ足ラナイナラバ更ニ增加購入ノ方法ヲ立テテデアリマスガ、米ハ有ル、其ノ有ル米ノ配給ヲ憂ヘルト云フコトハ所謂買割、買占デアリマス、ソレガ爲ニ平均ニ流レナイ、ソコニ缺陷ガアルコトヲ本員ハ信ジテ居ルノデアリマス、故ニ此ノ乏シキヲ憂ヘルノデハ、ナクテ、等シカラザルコトヲ憂ヘル、ソコニ思フ置カネバナラヌノデアリマス、是ハ配給機關ノ方ニナリマスガ、更ニ生産ノ方面ニ關シテデアリマスガ、大臣ハ御見エニナリマセスガ、只今述べマシタ配給機構ノ事務ノ處理ノ意見ダケヲ述べマシテ、只今政府デハソレニ付テハ有力ナ一ツノ意見トシテ、研究シテ居ル申シマシテモ、一切ノ事情、日本ニ於ケル商業者團體、生産者團體ニ於ケル所ノ摩擦部面ト云フコトヲ考ヘマシテ、私ハ此ノ意見ヲ立テテデアリマスガ、是ヨリ外ニ良キ途ナシト本員ハ信ジテ意見ヲ立テマシテ、政府ノ是方斷行ガ最モ可ナリト私ハ信ジテ居ルノデス、唯政府デハ重キヲ何處ニ置カト云ヘバ、斯様ナコトハ既ニ不素定論トナツテ居ル所デアリマスガ、

唯商業者對農業者間ニ於ケル所ノ摩擦ト云フ社會事象ノ一現象ニ深イ眼ミヲ以テマシテ、之ヲ斷行シナケレバイカス、斯ウ思フノデアリマス、胃ノ附ヲ控ヘタ米ノコトデアリマス、事情ニ依ツテ運送スルコトハ愛ノ大増ス所以ダト思ヒマス、斯様ナ方法ハ最モ宜イト私ハ信ズルノデ、政府ニ連ニ斷行スルコトヲ御進言申上ゲタイ、更ニ大臣ハ居ラレマセスカラ、私ノ質問ハ今日ハ此ノ程度デ打切りマシテ、他日ノ機會ニ譲リタイト思ヒマス。

○河野委員 米ノ問題ハ中々重大ナ問題デアリマスノデ、結局ハ大臣カラ色々所見ヲ伺ハナケレバナリマセスカレドモ、今日ハ大臣ニ御尋テマシマス準備的ニ、色々事務當局ニ米穀政策ノ經過或ニ取扱等ニ付テ、以下少シク御尋致シマス、率直ナル御答ヲ願ヒマス、昨年ノ端境前後カラ極端ナル米穀不足、食糧不足ガ全國的ニ現ハレマシテ、取分ケ大消費地ニ其ノ傾向ガ非常ニ強カツタノデアリマス、其ノ主ナル原因ニ付テハ、政府ハドウ云フ御認識ヲ御持チデアリマスカ、政府ノ認識ヲ一ツ伺ウテ見タイト思ヒマス。

○澤澤委員 只今昨年ノ端境前後カラ米ノ不足ガ全國的ニ現ハレテ、取分ケ大消費地方面ニ於テ其ノ一ツノ現象ガ顯著ニ相成ツタ、其ノ原因ハ主トシテ何處ニアルカト云フ御尋デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、私共ノ考デハ其ノ大キナ原因ト致シマシテハ、西日本地方ニ於ケル旱害ニ因ツテ米ガ減收ヲ來スノデハナイカト云フヤウナコト、又朝鮮ニ於ケル旱害ニ因ツテ中南部

地方ニ於テ未曾有ノ旱魃ガアリ、ソレニ依ツテ又朝鮮米ガ内地へ移入スル分量ガ非常ニ少クナルノデハナイカト云フヤウナコト、又其ノ外ニ戰時經濟體制下ニ於キマシテ、色々米ノ調整、出荷、其ノ他ノ問題ニ種々ナル不便ガアツタト云フヤウナコト、サウ云フヤウナコトガ色々錯綜致シマシテ、其ノ他種々原因ガアラウカト考ヘマセスカレドモ、荒方申シマス、只今申上ゲマシタヤウナ事項ガ大ニ原因ヲ致シテ居ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○河野委員 是ハ大臣ニ審ク御尋申上ゲタ方ガ適當カト考ヘマスガ、大臣ハ時々選ラレテデアリマシテ、事務當局ガシツカリオヤリ願ハヌト、連モ適當ナル食糧ノ配給ハ出來ヌト思ヒマス、所ガ只今御同致シマシタヤウナ御認識デハ、其ガ私ハ憂慮ニ堪ヘヌト思フ、凡ソ米穀政策ヲ立案ナサイマス際ニ、此ノ法律ノ改正案ヲ提案サレルニ付キマシテモ、現下ノ此ノ事情ハ如何ナル原因ニ依ツテ起ツテ居ルカ、原因ヲ十分ニ御探究ナサラズニ、對策ハ立ツモノデハナイト思フ、早魃デアツタカラ、斯ウ云フコトニナツタラウ、事變下ニ於テ努力不足、其ノ他ノ都合デ出テ居ラレタカラ、斯ウ云フコトニナツタデアラウト云フヤウナ程度ノ認識ナラバ、早魃ガナケレバ宜シイカ、例ヘバ早魃ガアツタ所ガ、米ノ收穫量ガ六千四百何十万石ト云フ數量ガ實收ニナルト云フコトニナレバ、自ラサウ云フ問題ハ解消スルカ、所ガ解消シテ居ラス、調整ノ努力ガ不足デアツタ、調整ガ出來テシマツタ今日ハサウ云フ原因ハモウ解消サレテ居ル、然ラバ今後ニ於テサウ云フ事態ガ起ラスカ、起ル、斯ウ私ハ斷定セザルヲ得ヌ、

是ハ今當局ヲ追究シタ所ガ仕方ガアリマセスガ、何レ大臣ノ御出席ノ際ニ——此ノ問題ガ一番重大ダト思フ、現在ノ此ノ米ノ配給不調滑ノ事情ハ一體何處カラ起ツテ居ルカ、ドウ云フ原因デ起ツテ居ルカト云フコトヲ明確ニ確カメマセス以上ハ、之ニ對スル方策ハ立タス、又其ノ原因ニ對スル當局ノ御認識ヲ吾々ガ適當ナリト考ヘマセス以上ハ、當局ニ委セテ置クコトハ出來ヌト思フ、吾々ノ考デハ此ノ米ノ配給不調滑ノ事情ハ、日ヲ逐ウテ甚シクナルモノト思フ、是カラ春ニナリ、入梅ニナリ、土用ニナリ、雨ガ降ツタ、早魃ガ續イタト云フ、其ノ聲ノ度ビニ甚シクナルモノト思フ、此ノ原因ニ付テハ、次ノ大臣ノ御出席ノ機會マデ十分ニ當局トシテ御意見ヲ御尋ニナリ、大臣カラ明確ナル御答ヲ願ヘルヤウニシテ置イテ戴キタイ。

○澤澤委員 移リマス、全國ニ於キマスル白米ノ小賣價格ハ、ドウ云フコトニナツテ居ルカ、又昨年來配給不調滑ノ事情ニ直而致シマシテ、從來ノ商習慣ガドウ云フ風ニ變ツテ居ルト認定ニナツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ御答願ヒタイト思ヒマス。

○澤澤委員 白米ノ小賣價格ニ付キマシテハ、商工省ニ於キマシテハ其ノ價格ヲ公定致シ、主要ナル都市ニ付テ之ヲ公定シ、尙ホ其ノ他ノ地方ニ付キマシテハ、地方長官ヲシテ其ノ價格ヲ決定セシメテ居ルノデアリマス、ソレカラ……

○河野委員 白米ノ小賣價格ニ付キマシテハ、以下ノ第三回ニ關シテ御尋シタ方ガ明確ニナルト思ヒマス、米ノ價格トシテ最低ノ答ヲ願ヒマス、玄米ノ價格トシテ最低ノ價格トシテ、最低ノ價格ハ一體幾ラニナ

ト云フ御尋デアリマシタ、是ハヤハリ只今御質問ノ中ニモアリマシタ如ク、其ノ買上ゲマス場所ニ依リマシテ、色々ト違ツテ來ルコトデアラウト思ヒマスガ、大體ニ於テ政府ニ買ヒマシテモ、ソレヲ更ニ政府ガ自ラノ負擔ニ於テ消費地ノ方へ運搬スルノデアリマスガ、大體ノ要素トシテハ、運賃ガソレダケ掛ルト云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、大體ノ所ニ於テハ、ヤハリ他ノ者ガ持ツテ來ヌト同ジヤウナ要素デハナイカト考ヘテ居リマス。

○澤澤委員 一寸御尋シタ趣旨ガ徹底シナイヤウデアリマス、ソレドモ、是モ何レ大臣ニ色々所見ヲ質シテ見ルコトニ致シマシテ、一寸此ノ際ニ前ノ質問ニ關シテ、御尋シテ置キマスコトハ、白米ノ小賣價格ニ付キマシテハ、商工省若クハ地方長官ガ獨自ノ見解ヲ御決メニナルモノデアツテ、農林省ノ米穀當局ハ之ニハ關聯ハナイモノデアリマスカ、アルモノデアリマスカ、モウ一ツハ先日モ此ノ委員會問題ニナリマシタガ、妻作ノ出來秋ニナリマシテ收穫量ヲ想像シマスノニ、相當ノ減收ヲ見越サナケレバナラスダラウト云フ豫想ヲ、吾々持ツノデアリマスガ、一體本改正案ヲ運用ニナリマス際ニ、雜穀ニ付テ適用サレルノデアリマスガ、其ノ適用セラレマスル場合ニハ、米ニ付テハ相當ノ權威者ノ御集リニナツタ委員會ニ於テ、御決定ニナル最高價格ガアル、一方其ノ他ノ雜穀ニ付キマシテハ、然ルベキ機關モナイヤウデアリマス、調査モナイヤウデアリマス、サウ致シマスルト何ヲ基準ニシテ、ソレ等ノ價格ヲ御決定ニナルカ、乃至ハ現在協定セラレテ居リマスル妻作ノ價格ヲ以テ、適當ト御考ニナルカドウカ、

○澤澤委員 是ハ極々事務的ノコトデアリマスガ、政府ガ産地ニ於テ米ノ買上ラシテ、之ヲ東京、大阪等ノ消費地ニ於テ拂下ラサレテデアリマセウ、本法改正ノ根本ノ要點モソコニアルト思フノデアリマス、政府ノ手集荷シテ之ヲ消費地へ持ツテ來テ流スト云フ所ニアルダラウト思フノデアリマス、サウ致シマス、其ノ差額ハ一體ドウ位ニナリマスカ、是ハ無論場所ニ依ツテ違ヒマセウカラ、中々斯ウトカ、アトカ答辯出來ナイト云フコトニナルカモ知レマセスカレドモ、大體ノ常識トシテハ、ドウ云フ風ニ要素ガ計算セラレマスカ、商人ガ之ヲ持ツテ來、全販聯ガ之ヲ持ツテ參リマシタ場合ト、政府ガ買ツテ東京へ持ツテ參リマシタ場合トノ比較ハドウナルカト云フコトニ付テ、御説明願ヒマス。

○澤澤委員 政府ガ産地ニ於テ買ヒマシテ、ソレヲ消費地ノ方へ運搬ラ致シテ、之ヲ又拂下ゲルコト云フコトニ付キマシテハ、是ガ商人ガヤツ場合、或ハ全販聯等ガ實行シタ場合トニ於テ何カ違ヒガアルカ、又其ノ場合ニ於テドウ云フ要素ガ考ヘラレルカ

シテ算定スルコト云フ建前ニナツテ居リマシテ、大體ガ四等玄米ト云フモノヲ基準ニシテ、作ツテ居ル譯デアリマス。

○澤澤委員 是モ此ノ次ノ機會ニ御答辯願ヒバ結構デアリマスカラ、御調査置キテ見マス、白米ト玄米トノ値開キガ不當ニアル、其ノ結果ト致シマシテ、一方ニ於テ政府ガ玄米ノ公定價格ヲ定メマシテモ、之ヲ精白シテ販賣致シマス間ノ値開キニ接近致シマシテ、取引セラレマス結果、間取引ガ行ハレルコトハ是ハ當然デアリマス、隨ヒマシテ、政府ガ米ノ政策ヲヤリマス際ニ、ドウシテモ是ガ支障ニナルト思フ、何レガ適當カハ議論ハ別デアリマスガ、若シ今日消費者側ニ於キマシテ白米價格ヲ以テ我儉ガ出來ル、此ノ程度ニ公定シテ然ルベキモノト考ヘマスナラバ、玄米ノ價值ハ白米ニモウ少シ接近サシテ然ルベキモノデアラウダラウト思フノデアリマス、現ニ接近セシメテ協定價格ガ出來テ居リマス、先日來米價ヲ今日ノ像ニシテ置カ、置カスカト云フコトデ、相當論マシイ議論ガアリマス、大分喧マシイ議論ガアリマスガ、現實ニ地方ニ於テハ協定價格トナツテ、今日ノ政府ノ公定價格ヨリモ更ニ上ツテ取引セラレテ居ルト云フ事實ガ、多分ニアルノデアリマス、一體此ノ事實ヲ政府ハ如何ニ御解釋ニナリマスカ、議會ニ於テモ、今日ノ價格ヲ少シデモ上ゲルコトハ、低物價政策ニ非常ニ支障ヲ來シ、非常ナ大問題ノ如クニ論セラレマセカレドモ、政府ノ公定セラレマス價格モ、地方ノ警察官ニ於テソレソレノ關係者ヲ集メテ協定價格ヲ作ツテ、此ノ公定價格ヲ無視シテ取引セラレテ居ル事實ハ、全國

ニ澤山アリマス、此ノ事實ヲ政府ハ何ト見ルカ、之ヲ妥當ト見ルカ、不適當ト見ルカ、此ノ點トシタ事實ガアリナガラ、全國ニ一貫シタル米穀政策ヲ以テ臨マウトスル所ニ非常ナ無理ガアル、此ノ事實ガ全國ニ散在スル所ニ、都會地、消費地ニ於ケル所ノ米ハ配給難ガ起ツテ來ルコト云フ事實ヲ、吾々ハ認識セネバナラヌノデアリマス、隨テ次ノ機會マデニ白米價格ト玄米價格、此ノ關係ニ付テ十分ナル調査ヲシテ、本員ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、是モ次ノ機會ニ質問ヲ譲リマス。

○澤澤委員 一寸御尋シタ趣旨ガ徹底シナイヤウデアリマス、ソレドモ、是モ何レ大臣ニ色々所見ヲ質シテ見ルコトニ致シマシテ、一寸此ノ際ニ前ノ質問ニ關シテ、御尋シテ置キマスコトハ、白米ノ小賣價格ニ付キマシテハ、商工省若クハ地方長官ガ獨自ノ見解ヲ御決メニナルモノデアツテ、農林省ノ米穀當局ハ之ニハ關聯ハナイモノデアリマスカ、アルモノデアリマスカ、モウ一ツハ先日モ此ノ委員會問題ニナリマシタガ、妻作ノ出來秋ニナリマシテ收穫量ヲ想像シマスノニ、相當ノ減收ヲ見越サナケレバナラスダラウト云フ豫想ヲ、吾々持ツノデアリマスガ、一體本改正案ヲ運用ニナリマス際ニ、雜穀ニ付テ適用サレルノデアリマスガ、其ノ適用セラレマスル場合ニハ、米ニ付テハ相當ノ權威者ノ御集リニナツタ委員會ニ於テ、御決定ニナル最高價格ガアル、一方其ノ他ノ雜穀ニ付キマシテハ、然ルベキ機關モナイヤウデアリマス、調査モナイヤウデアリマス、サウ致シマスルト何ヲ基準ニシテ、ソレ等ノ價格ヲ御決定ニナルカ、乃至ハ現在協定セラレテ居リマスル妻作ノ價格ヲ以テ、適當ト御考ニナルカドウカ、